

—嘉瀬川ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書8—

地蔵平遺跡

(本文編)



平成24(2012)年3月

佐賀県教育委員会

— 嘉瀬川ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 8 —

地蔵平遺跡

(本文編)

平成 24 (2012) 年 3 月

佐賀県教育委員会

序

本書は、国土交通省九州地方整備局による嘉瀬川ダム建設事業に伴い、佐賀県教育委員会が実施した埋蔵文化財発掘調査の記録をまとめたものです。

今回の報告は、地蔵平遺跡に関するもので、旧石器時代から縄文時代の遺構・遺物が多数出土しました。なかでも、約 28,000 年前に始良カルデラから噴出した始良 - 丹沢火山灰 (AT) の一次堆積層が検出されるとともに、極めて多数の遺物が出土したことから、遺跡の年代を知ることができ、さらに、後期旧石器時代から縄文時代早期にかけての人々の生活を知るうえで貴重な調査例となりました。

本書が学術文化の向上に幾分なりとも寄与し、併せて地域の歴史を学ぶ資料のひとつとして生涯教育や学校教育の場で活用されることを切に願うものであります。

発刊にあたり、埋蔵文化財の保護に御理解と御協力を賜った国土交通省嘉瀬川ダム工事事務所並びに関係各位に対し厚く御礼申し上げます。

平成 24 年 3 月

佐賀県教育委員会
教育長 川崎俊広

例 言

- 1 本書は、嘉瀬川ダム建設に伴い佐賀県教育委員会が平成19～22年度に実施した、佐賀市富士町に所在する地蔵平遺跡の発掘調査報告書で、嘉瀬川ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の第8集である。
- 2 発掘調査は佐賀県教育委員会が主体となり、国土交通省九州地方整備局嘉瀬川ダム工事事務所の委託を受けて実施した。
- 3 発掘調査区にあたっては、国土交通省九州地方整備局嘉瀬川ダム工事事務所、佐賀県土木部ダム対策課・河川砂防課ダム対策室（現 佐賀県県土づくり本部水資源対策課）、富士町教育委員会（現 佐賀市教育委員会）、富士町ダム対策課（現 佐賀市富士支所嘉瀬川ダム対策課）、並びに地元各位の協力を得た。
- 4 本書の表紙と写真図版の一部に用いた航空写真は、嘉瀬川ダム工事事務所から提供を受けた。
- 5 地蔵平遺跡の現地調査から報告書作成までの作業に従事した機関・関係者は下記のとおりである。

表土除去等： (株)川原建設 (株)松永産業

発掘作業：	市丸利光	嬉野サツキ	岡部 馨宏	岡本和子	岡本君子
	小副川千代恵	貝野啓子	嘉村未人	川原清美	佐保マリ子
	下津浦理恵	庄島信子	時松紗喜子	中田政信	中山博司
	納富弘子	野中清輝	東川福代	藤田一雄	丸山民江
	宮添廣海	吉原俊輔	吉原文代	吉原松美	吉原美智子
	糸山禎一	岩熊素子	内川さつき	嬉野みつ代	遠藤啓輔
	大谷節子	川崎恵美子	川崎はつえ	川原トシ子	北島裕司
	坂井和子	坂井義人	眞松政秀	進藤睦美	杉原茂子
	千綿一夫	千綿伸義	野田美恵子	真崎政嗣	丸内隆康
	三角憲一郎	光武直子	藤井千枝子	古川勲	杠 義臣
	横尾和夫	新井英雄	荒木聖剛	井手口昇	江口敏郎
	江崎章	柿本由紀子	古賀芳子	下川利信	副島正義
	竹下政征	長倉真美子	野中賢之	野中静枝	晴角敏子
遺構実測：	市田佳奈子	渡部芳久	津田文	西野元勝	竹内奈央
	白木原直	内田真一郎			
遺構写真撮影：	市田佳奈子	加藤吾郎	井上倫生	吉田大輔	梶山裕史
	今泉好孝	西野元勝	渡部芳久	津田文	白木原直
	内田真一郎				
遺跡空中写真撮影：	(有)空中写真企画	九州航空株式会社			
遺物整理：	市田佳奈子	佐保敦子	谷澤裕美	指山美江子	坂本明子
	松尾三枝子	堀田香澄	兵動美紀	植木玲子	徳永智恵子
	西野元勝	吉田大輔			

遺物実測：	渡部芳久 一番ヶ瀬富士子 (株)とっぺん	梶山裕史 (株)パスコ	徳永智恵子 (株)埋蔵文化財サポートシステム	兵動美紀	上瀧光子
製図：	市田佳奈子 (株)パスコ 藤井菜穂子	白木原直 (株)埋蔵文化財サポートシステム 吉田大輔	徳永智恵子 (株)埋蔵文化財サポートシステム	西野元勝 (株)とっぺん	
ドットマップ作成：	市田佳奈子	西野元勝	吉田大輔		
遺物写真撮影：	今泉好孝 (株)とっぺん	梶山裕史	西野元勝	吉田大輔	
写真整理・編集：	市田佳奈子 津田文 西野元勝	井上倫生 白木原直 梶山裕史	竹内奈央 内田真一郎	森幸一郎 今泉好孝	渡部芳久 吉田大輔
調査記録整理：	市田佳奈子 渡部芳久 西野元勝	加藤吾郎 津田文	井上倫生 今泉好孝	竹内奈央 吉田大輔	森幸一郎 梶山裕史

6 本書は、白木原直・西野元勝・吉田大輔・今泉好孝・梶山裕史・藤井菜穂子の協力を得て、市田佳奈子が編集した。執筆分担は、下記のとおりである。

第1章・第2章：今泉好孝

第3章：梶山裕史・白木原直・杉原敏之

第4章～第6章：白木原直・吉田大輔

第7章：白木原直

第8章：角縁進（佐賀大学文化教育学部）・(株)古環境研究所・(株)火山灰考古学研究所・(株)パレオ・ラボ

7 地蔵平遺跡に関わる自然科学分析のうち、テフラ分析及び放射性炭素年代測定については、下記の機関に委託して行った。分析を実施した試料を採取した箇所は、図9のとおりである。

テフラ分析：(株)古環境研究所（九郎遺跡他も併せて実施）・(株)火山灰考古学研究所

放射性炭素年代測定：(株)パレオ・ラボ

また、石器の蛍光X線分析による産地同定を、佐賀大学文化教育学部の角縁進先生に実施していただき、分析結果について玉稿を賜った。

8 地蔵平遺跡の調査及び整理・報告に際し、下記の方々から御教示・御協力を賜った。

角縁進	林和広	早田勉	小畑弘己	佐藤宏之	下岡順直
八木浩司	森光一貴	重藤輝行	島田和高	宮田剛	関口博幸
古豊裕次郎	麻生敏隆	小菅将夫	田島龍太	徳永貞綱	藤野次史
副島智子	晴氣美智子	渡部芳久	川道寛	杉原敏之	越智睦和
吉留秀敏	萩原博文	芝康次郎	岩永雅彦	萩幸二	平ノ内武史
古豊裕次郎	福岡旧石器研究会をはじめとする関係各位（順不同・敬称略）				

本書の記載方法

1 佐賀県教育委員会が実施した埋蔵文化財発掘調査の対象遺跡には、英大文字3文字の遺跡略号を付しており、実測図・写真等の記録類や遺物の注記等に使用している。嘉瀬川ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査の対象遺跡にも、同様の遺跡略号を付しており、本書で報告する地蔵平遺跡の遺跡略号はJZDである。

2 個々の遺構名は、遺構の種別を表す英大文字2文字の分類記号と4桁の遺構番号の組み合わせで示す。遺構番号の千の位の数字は、遺跡の中の地区名を示す。

SA：柵列・塀・土塁・石塁	SB：掘立柱建物・礎石建物	SC：石棺墓・石蓋土坑墓	
SD：堀・溝・流路	SE：井戸	SF：道路	SG：圃地・庭園
SH：竪穴住居・竪穴建物	SJ：甕棺墓・土器棺墓	SK：土坑	
SP：土坑墓・木棺墓	ST：古墳・その他の墳墓	SX：その他・不明遺構	

3 嘉瀬川ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査に関する記録類は、全て日本測地系による旧国土座標である。本書で示す方位は、旧国土座標第Ⅱ系の座標北で、磁北はこれより西偏約6°30'である。

4 石器の種別については、特に必要な場合を除き、「KN」「TP」等の略号を用いて表す。略号については、第3章7「石器の分類について」を参照されたい。

5 本書は、石器等のドットマップ、一覧表等が中心となりページ数も多いことから2分冊とし、本文・図版等を「本文編」、遺物の基礎データをまとめた遺物一覧表および写真図版類を「データ・写真編」とした。また、DVDを付録とし、本書の内容をPDF形式で収録した。PDF文書を表示するには、コンピュータにAdobe Systems社のAdobe Reader（アドビ・リーダー：無償版）もしくはAcrobat Reader（アクロバット・リーダー：無償版）もしくはAcrobat（アクロバット：有償版）がインストールされている必要がある。なお、本書利用者によるデータ解析等が可能のように、遺物ドットマップ及び遺物一覧表については、下記のソフトで作成したファイルも収録した。

遺物ドットマップ	AutoCAD LT2009 - Japanese
遺物一覧表	Microsoft Office Excel 2007

6 「データ・写真編」の遺物一覧表のうち、各項目の内容は次のとおりである。

登録番号…実測を行った遺物に対して付した8桁の遺物登録番号

遺物番号…すべての遺物に付した番号（現場での遺物取上げ番号と同じ）

ただし、表採等については付していない

B…石器ブロック（第3章5「遺構の認定と観察」で設定したブロック番号）

石材・産地…第3章6「石器石材分類・接合作業・母岩分類の概要」を参照

器種…第3章7「石器の分類について」を参照

接合…接合した遺物番号

母岩…表3～表6を参照

- 7 「データ・写真編」の富士小学校保管石器一覧表については、表採資料であることから、遺物番号（遺物取上げ番号）および出土位置（座標）についての記録はない。
- 8 「データ・写真編」の各区の接合資料一覧表のうち、各項目の内容は次のとおりである。
 - 寸法…接合した状態での計測値
 - 接合方法…折れ面接合（折れ面で接合できたもの）・剥離面接合（剥離面で接合できたもの）の分別
- 9 「データ・写真編」の写真図版 225、226 については、「本文編」第 8 章「地蔵平遺跡出土石器石材の産地同定」の表 28、29 の資料である。

目次

本文目次

第1章 調査の経過	1
1 調査の経緯	1
2 調査組織	1
3 発掘調査の経過	2
第2章 位置と環境	6
1 地理的環境	6
2 歴史的環境	6
第3章 調査と整理の概要	11
1 地蔵平遺跡の概要	11
2 確認調査の内容	13
3 調査区の設定と調査方法	17
4 遺跡の層序	19
5 遺構の認定と観察	21
6 石器石材分類・接合作業・母岩分類の概要	23
7 石器の分類について	24
8 富士小学校保管の表採資料について	32
1) 資料について	32
2) 採集資料の概要	32
3) ナイフ形石器文化期を中心とする資料	32
4) 細石刃文化期の資料	35
5) 小結	35
6) その他の重要資料	36
7) 右近法真氏について	37
第4章 地蔵平遺跡1区の遺構と遺物	47
1 地蔵平遺跡1区の概要	47
2 旧石器時代の遺構と遺物	47
1) 石器ブロック	47
2) 礫群	57
3) 性格不明遺構	58
3 縄文時代の遺構と遺物	59
1) 石器ブロック	59
2) その他の遺物	60
第5章 地蔵平遺跡2A区・2B区・各トレンチの遺構と遺物	185
1 地蔵平遺跡2A区・2B区・各トレンチの概要	185
2 旧石器時代の遺構と遺物	185
1) 石器ブロック	185
2) 礫群	192
3) 土坑	194

3	縄文時代の時代の遺構と遺物	194
1)	石器ブロック	194
2)	集石遺構	195
3)	その他の遺物	195
第6章	地蔵平遺跡3区の遺構と遺物	262
1	地蔵平遺跡3区の概要	262
2	旧石器時代の遺構と遺物	262
1)	礫群	262
2)	3区出土の遺物について	262
2	縄文器時代の遺構と遺物	267
1)	土坑	267
2)	遺物包含層出土の遺物	268
第7章	まとめ	287
1	旧石器時代各層の石器ブロックについて	287
2	旧石器時代各層の石器群について	288
1)	1区について	288
2)	2A区について	292
3)	3区について	293
4)	小結	294
3	旧石器時代の石器石材について	295
4	おわりに	296
第8章	自然科学分析	377
1	地蔵平遺跡1区ほかテフラ分析業務	377
1)	はじめに	377
2)	土層の層序	377
3)	重錳物組成分析	378
4)	屈折率測定	380
5)	考察	380
6)	まとめ	382
2	地蔵平遺跡の地形地質とテフラ・テフラ分析委託業務総括報告	392
1)	はじめに	392
2)	地蔵平遺跡の地形と土層	392
3)	重軽錳物組成分析・重錳物分析・火山ガラス比分析	394
4)	屈折率測定	395
5)	火山ガラスの主成分化学組成分析	395
6)	考察	396
7)	まとめ	398
3	地蔵平遺跡出土石器石材の産地同定	410
4	地蔵平遺跡出土旧石器時代資料の放射性炭素年代測定	414
1)	はじめに	414
2)	試料と方法	414
3)	結果	415
4)	考察	415

挿図目次

図1	嘉穂川ダム水没地区周辺と埋蔵文化財調査地区（1/25,000）	3
図2	遺跡位置図	7
図3	嘉穂川ダム建設予定地周辺の遺跡（1/100,000）	8
図4	遺跡位置図（1/5,000）	12
図5	確認調査トレンチ配置（1/1,500）	14
図6	確認調査出土石器（1/2）	16
図7	調査区・区画・トレンチ配置（1/1,500）	18
図8	石器ブロック設定のための分布と密度	22
図9	富士小学校保管石器1（3/5）	38
図10	富士小学校保管石器2（3/5）	39
図11	富士小学校保管石器3（3/5）	40
図12	富士小学校保管石器4（3/5）	41
図13	富士小学校保管石器5（3/5）	42
図14	富士小学校保管石器6（3/5）	43
図15	富士小学校保管石器7（3/5）	44
図16	富士小学校保管石器8（3/5・1/3）	45
図17	自然科学分析位置	46
図18	1区 調査区範囲（1/300）	48
図19	1区 土層（1/100）	49
図20	1区 3層 土器・石器別の分布（1/300）	61
図21	1区 4層 土器・石器別の分布（1/300）	62
図22	1区 6層 土器・石器別の分布（1/300）	63
図23	1区 1層 石材・産地別の石器の分布（1/300）	64
図24	1区 2層 石材・産地別の石器の分布（1/300）	65
図25	1区 3層 石材・産地別の石器の分布（1/300）	66
図26	1区 4層 石材・産地別の石器の分布（1/300）	67
図27	1区 5a層 石材・産地別の石器の分布（1/300）	68
図28	1区 5b層 石材・産地別の石器の分布（1/300）	69
図29	1区 6層 石材・産地別の石器の分布（1/300）	70
図30	1区 7層 石材・産地別の石器の分布（1/300）	71
図31	1区 8a層 石材・産地別の石器の分布（1/300）	72
図32	1区 9a層 石材・産地別の石器の分布（1/300）	73
図33	1区 9b層 石材・産地別の石器の分布（1/300）	74
図34	1区 9c層 石材・産地別の石器の分布（1/300）	75
図35	1区 9d層 石材・産地別の石器の分布（1/300）	76
図36	1区 9e層 石材・産地別の石器の分布（1/300）	77
図37	1区 10a層 石材・産地別の石器の分布（1/300）	78
図38	1区 10b層 石材・産地別の石器の分布（1/300）	79

図 39	1区	10c層	石材・産地別の石器の分布 (1/300)	80
図 40	1区	10d層	石材・産地別の石器の分布 (1/300)	81
図 41	1区	11層	石材・産地別の石器の分布 (1/300)	82
図 42	1区	13a層	石材・産地別の石器の分布 (1/300)	83
図 43	1区	13b層	石材・産地別の石器の分布 (1/300)	84
図 44	1区	13c層	石材・産地別の石器の分布 (1/300)	85
図 45	1区	14層	石材・産地別の石器の分布 (1/300)	86
図 46	1区	ATおよび9層上面地形測量	(1/300)	87
図 47	1区	4層ブロック1・2・3	器種・母岩別の石器の分布 (1/60)	88
図 48	1区	4層ブロック4・5	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	89
図 49	1区	4層ブロック6	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	90
図 50	1区	4層ブロック7・8	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	91
図 51	1区	5a層ブロック1	器種・母岩別の石器の分布 (1/80)	92
図 52	1区	5a層ブロック2	器種・母岩別の石器の分布 (1/60)	93
図 53	1区	5a層ブロック3	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	94
図 54	1区	5a層ブロック4・5	器種・母岩別の石器の分布 (1/60)	95
図 55	1区	5a層ブロック6	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	96
図 56	1区	5a層ブロック7	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	97
図 57	1区	5b層ブロック1	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	98
図 58	1区	5b層ブロック2	器種別の石器の分布 (1/50)	99
図 59	1区	5b層ブロック3	器種別の石器の分布 (1/50)	100
図 60	1区	6層ブロック1	器種・母岩別の石器の分布 (1/60)	101
図 61	1区	6層ブロック2・3	器種・母岩別の石器の分布 (1/60)	102
図 62	1区	6層ブロック4	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	103
図 63	1区	6層ブロック5	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	104
図 64	1区	6層ブロック6	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	105
図 65	1区	6層ブロック7	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	106
図 66	1区	6層ブロック8・9	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	107
図 67	1区	9a層ブロック1・2	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	108
図 68	1区	9a層ブロック3	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	109
図 69	1区	9a層ブロック4	器種・母岩別の石器の分布 (1/80)	110
図 70	1区	9a層ブロック5	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	111
図 71	1区	9a層ブロック6	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	112
図 72	1区	9b層ブロック1	器種・母岩別の石器の分布 (1/60)	113
図 73	1区	9b層ブロック2・3	器種・母岩別の石器の分布 (1/60)	114
図 74	1区	9b層ブロック4	器種別の石器の分布 (1/50)	115
図 75	1区	9b層ブロック5	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	116
図 76	1区	9b層ブロック6・7・8	器種・母岩別の石器の分布 (1/80)	117
図 77	1区	9b層ブロック9	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	118
図 78	1区	9b層ブロック10・11	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	119

図 79	1区	9b層ブロック 12・13	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	120
図 80	1区	9c層ブロック 1	器種別の石器の分布 (1/50)	121
図 81	1区	9d層ブロック 1	器種・母岩別の石器の分布 (1/60)	122
図 82	1区	9d層ブロック 2	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	123
図 83	1区	9e層ブロック 1・2	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	124
図 84	1区	9e層ブロック 3・4	器種・母岩別の石器の分布 (1/60)	126
図 85	1区	9e層ブロック 5	器種・母岩別の石器の分布 (1/60)	125
図 86	1区	10c層ブロック 1・2	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	128
図 87	1区	10d層ブロック 1	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	129
図 88	1区	10d層ブロック 2	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	130
図 89	1区	旧石器時代の遺構 1	(1/40)	131
図 90	1区	旧石器時代の遺構 2	(1/30)	132
図 91	1区	旧石器時代の遺構 3	(1/40)	133
図 92	1区	旧石器時代の遺構 4	(1/30)	134
図 93	1区	出土石器	4層 1 (1/2)	135
図 94	1区	出土石器	4層 2 (1/2)	136
図 95	1区	出土石器	4層 3 (1/2)	137
図 96	1区	出土石器	5a層 1 (1/2)	138
図 97	1区	出土石器	5a層 2 (1/2)	139
図 98	1区	出土石器	5a層 3・5b層 (1/3・1/2)	140
図 99	1区	出土石器	6層 1 (1/2)	141
図 100	1区	出土石器	6層 2 (1/2)	142
図 101	1区	出土石器	6層 3 (1/2)	143
図 102	1区	出土石器	9a層 1 (1/2)	144
図 103	1区	出土石器	9a層 2 (1/2・1/3)	145
図 104	1区	出土石器	9b層 1 (1/2)	146
図 105	1区	出土石器	9b層 2 (1/2)	147
図 106	1区	出土石器	9b層 3 (1/2)	148
図 107	1区	出土石器	9b層 4・9c層 (1/2)	149
図 108	1区	出土石器	9d層 (1/2)	150
図 109	1区	出土石器	9e層 1 (1/2)	151
図 110	1区	出土石器	9e層 2 (1/2)	152
図 111	1区	出土石器	10c層 (1/2)	153
図 112	1区	出土石器	10d層 (1/2)	154
図 113	1区	出土石器	接合資料 4層・5a層・5b層 (1/2)	155
図 114	1区	出土石器	接合資料 6層 (1/2)	156
図 115	1区	出土石器	接合資料 9a層 (1/2・1/3)	157
図 116	1区	出土石器	接合資料 9b層 1 (1/2)	158
図 117	1区	出土石器	接合資料 9b層 2 (1/2)	159
図 118	1区	出土石器	接合資料 9b層 3 (1/2)	160

図 119	1区出土石器 接合資料 9b層4・9c層・9d層・9e層（1/2）	161
図 120	1区出土石器 接合資料 10b層・10c層（1/2）	162
図 121	2A区、2B区の調査範囲および各トレンチ配置（1/800）	186
図 122	2A区 土層（1/150）	187
図 123	各トレンチ 土層1（1/80）	188
図 124	各トレンチ 土層2（1/80）	189
図 125	2B区 土層（1/80）	190
図 126	2A区・各トレンチ2層（2層に対応する層） 土器・石器別の分布（1/400）	196
図 127	2A区・各トレンチ3層（3層に対応する層） 土器・石器別の分布（1/400）	197
図 128	6トレ1層（1層に対応する層） 土器・石器別の分布（1/100）	198
図 129	6トレ3層 土器・石器別の分布（1/100）	198
図 130	8Aトレ・8Bトレ1層 土器・石器別の分布（1/150）	199
図 131	2A区1層（1層に対応する層） 石材・産地別の石器の分布（1/400）	200
図 132	2A区・各トレンチ2層（2層に対応する層） 石材・産地別の石器の分布（1/400）	201
図 133	2A区・各トレンチ3層（3層に対応する層） 石材・産地別の石器の分布（1/400）	202
図 134	2A区・各トレンチ4層（4層に対応する層） 石材・産地別の石器の分布（1/400）	203
図 135	2A区・各トレンチ5層（5層に対応する層） 石材・産地別の石器の分布（1/400）	204
図 136	2A区6層 石材・産地別の石器の分布（1/400）	205
図 137	2A区7層 石材・産地別の石器の分布（1/400）	205
図 138	2A区8層 石材・産地別の石器の分布（1/250）	206
図 139	2A区・各トレンチ9層（9層に対応する層） 石材・産地別の石器の分布（1/400）	207
図 140	2A区10層 石材・産地別の石器の分布（1/400）	208
図 141	2A区11層 石材・産地別の石器の分布（1/400）	208
図 142	2A区12層 石材・産地別の石器の分布（1/400）	209
図 143	2A区13層 石材・産地別の石器の分布（1/400）	209
図 144	2A区15層 石材・産地別の石器の分布（1/250）	210
図 145	2A区16層 石材・産地別の石器の分布（1/250）	211
図 146	6トレ1層（1層に対応する層） 石材・産地別の石器の分布（1/100）	212
図 147	6トレ2層 石材・産地別の石器の分布（1/100）	212
図 148	6トレ3層 石材・産地別の石器の分布（1/100）	213
図 149	7Cトレ6層（6層に対応する層） 石材・産地別の石器の分布（1/250）	213
図 150	7Cトレ7層 石材・産地別の石器の分布（1/250）	214
図 151	8Bトレ・8Cトレ1層 石材・産地別の石器の分布（1/250）	214
図 152	8Bトレ5層 石材・産地別の石器の分布（1/250）	215
図 153	8Bトレ10層 石材・産地別の石器の分布（1/250）	215
図 154	8Bトレ・8Dトレ12層 石材・産地別の石器の分布（1/400）	216
図 155	8Dトレ13層 石材・産地別の石器の分布（1/400）	216
図 156	2B区 1～18層 石材・産地別の石器の分布（1/100）	217
図 157	2A区 3層ブロック1 器種・母岩別の石器の分布（1/80）	218
図 158	2A区 3層ブロック2 器種・母岩別の石器の分布（1/100）	220

図 159	2A 区	3 層ブロック 3	器種・母岩別の石器の分布 (1/80)	220
図 160	2A 区	4 層ブロック 1	器種・母岩別の石器の分布 (1/80)	221
図 161	2A 区	4 層ブロック 2	器種・母岩別の石器の分布 (1/80)	222
図 162	2A 区	4 層ブロック 3	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	223
図 163	2A 区	5 層ブロック 1・2	器種・母岩別の石器の分布 (1/80)	224
図 164	2A 区	5 層ブロック 3	器種・母岩別の石器の分布 (1/50)	225
図 165	2A 区	5 層ブロック 4	器種・母岩別の石器の分布 (1/80)	226
図 166	2A 区	15 層ブロック 1	器種・母岩別の石器の分布 (1/80)	227
図 167	2A 区	16 層ブロック 1	器種・母岩別の石器の分布 (1/80)	228
図 168	6 トレ	1～3 層	器種別の石器の分布 (1/100)	229
図 169	7C トレ	6 層（6 層に対応する層）・7 層	器種別の石器の分布 (1/250)	229
図 170	8B・8C・8D トレ	1・5・10・12・13 層	器種別の石器の分布 (1/200)	230
図 171	2B 区	1～18 層	器種別の石器の分布 (1/100)	231
図 172	2A 区	旧石器時代の遺構 1	(1/40)	232
図 173	2A 区	旧石器時代の遺構 2	(1/50)	233
図 174	2A 区	旧石器時代の遺構 3	(1/40)	234
図 175	2A 区	旧石器時代の遺構 4	(1/20)	235
図 176	2A 区	縄文時代の遺構 1	(1/20)	236
図 177	2A 区出土石器	3 層	(1/2・1/3)	237
図 178	2A 区出土石器	4 層 1	(1/2)	238
図 179	2A 区出土石器	4 層 2	(1/2)	239
図 180	2A 区出土石器	4 層 3	(1/2)	240
図 181	2A 区出土石器	4 層 4	(1/2)	241
図 182	2A 区出土石器	4 層 5	(1/2)	242
図 183	2A 区出土石器	4 層 6	(1/2)	243
図 184	2A 区出土石器	5 層 1	(1/2)	244
図 185	2A 区出土石器	5 層 2	(1/2)	245
図 186	2A 区出土石器	5 層 3	(1/2)	246
図 187	2A 区出土石器	9 層・12 層・13 層	(1/2)	247
図 188	2A 区出土石器	15 層	(1/2)	248
図 189	2A 区出土石器	16 層 1	(1/2)	249
図 190	2A 区出土石器	16 層 2 (1)、8B トレ出土石器 4 層 (2)、8D トレ出土石器 13 層 (3～5)、 9 トレ出土石器 4 層 (6)、9 トレ出土石器 5 層 (7)	(1/2)	250
図 191	2A 区	出土石器 接合資料	3 層 (1/2)	251
図 192	2A 区	出土石器 接合資料	4 層 1 (1/2)	252
図 193	2A 区	出土石器 接合資料	4 層 2 (1/2)	253
図 194	2A 区	出土石器 接合資料	5 層 (1/2)	254
図 195	2A 区	出土石器 接合資料	15 層・16 層・8D トレ 12 層 (1/2)	255
図 196	3 区	調査範囲・区画位置	(1/500)	263
図 197	3 区	各区画土層 1	(1/100)	264

図 198	3区	各区画土層 2 (1/100)	265
図 199	3区	各区画土層 3 (1/100)	266
図 200	3区	1層 土器・石器別の分布 (1/500)	270
図 201	3区	2層 土器・石器別の分布 (1/500)	271
図 202	3区	3層 土器・石器別の分布 (1/500)	272
図 203	3区	4層 土器・石器別の分布 (1/500)	273
図 204	3区	5層・6層・遺構 土器・石器別の分布 (1/500)	274
図 205	3区	1層 石材・産地別の石器の分布 (1/500)	275
図 206	3区	2層 石材・産地別の石器の分布 (1/500)	276
図 207	3区	3層 石材・産地別の石器の分布 (1/500)	277
図 208	3区	4層 石材・産地別の石器の分布 (1/500)	278
図 209	3区	5層・6層・遺構 石材・産地別の石器の分布 (1/500)	279
図 210	3区	旧石器時代の遺構 (1/40)	280
図 211	3区	縄文時代の遺構 (1/40)	281
図 212	3区	出土石器 2層 (1/3)	282
図 213	3区	出土石器 3層 1 (1/3)	283
図 214	3区	出土石器 3層 2 (1/2)	284
図 215	3区	出土石器 4層 (1/3・1/2)	285
図 216	1～3区	縄文時代の土器・石器 (1/2・1/3・1/4)	286
図 217	1区	各層 全器種の器種別点数比率	297
図 218	1区	各層 旧石器の製品等の器種別点数比率	298
図 219	1区	各層 石材別の点数	299
図 220	1区	各層 石材別の重量	299
図 221	1区	1層 器種別の重量	308
図 222	1区	2層 器種別の重量	308
図 223	1区	3層 器種別の重量	308
図 224	1区	4層 器種別の重量	308
図 225	1区	5a層 器種別の重量	309
図 226	1区	5b層 器種別の重量	309
図 227	1区	6層 器種別の重量	309
図 228	1区	7層 器種別の重量	309
図 229	1区	8a層 器種別の重量	309
図 230	1区	9a層 器種別の重量	310
図 231	1区	9b層 器種別の重量	310
図 232	1区	9c層 器種別の重量	310
図 233	1区	9d層 器種別の重量	310
図 234	1区	9e層 器種別の重量	311
図 235	1区	10a層 器種別の重量	311
図 236	1区	10b層 器種別の重量	311
図 237	1区	10c層 器種別の重量	311

図 238	1区	10d層	器種別の重量	312
図 239	1区	11層	器種別の重量	312
図 240	1区	13a層	器種別の重量	312
図 241	1区	13b層	器種別の重量	312
図 242	1区	13c層	器種別の重量	312
図 243	1区	14層	器種別の重量	312
図 244	1区	黒曜石産地別の重量	314	
図 245	1区	黒曜石産地別の重量比率	314	
図 246	1区	各層の黒曜石産地別の重量	315	
図 247	1区	各ブロックの黒曜石産地別の重量	325	
図 248	1区	石器の接合状況・組数	326	
図 249	1区	各層の石器の接合組数	326	
図 250	1区	各層の石器の接合組数（折れ面）	327	
図 251	1区	各層の石器の接合組数（剥離面）	327	
図 252	2A区	各層全器種の器種別点数比率	328	
図 253	2A区	各層旧石器の製品等の器種別点数比率	329	
図 254	2A区	各層 石材別の点数	330	
図 255	2A区	各層 石材別の重量	330	
図 256	2A区	1層 器種別の重量・点数	336	
図 257	2A区	2層 器種別の重量・点数	336	
図 258	2A区	3層 器種別の重量・点数	336	
図 259	2A区	4層 器種別の重量・点数	336	
図 260	2A区	5層 器種別の重量・点数	337	
図 261	2A区	6層 器種別の重量・点数	337	
図 262	2A区	7層 器種別の重量・点数	337	
図 263	2A区	8層 器種別の重量・点数	337	
図 264	2A区	9層 器種別の重量・点数	337	
図 265	2A区	10層 器種別の重量・点数	338	
図 266	2A区	11層 器種別の重量・点数	338	
図 267	2A区	12層 器種別の重量・点数	338	
図 268	2A区	13層 器種別の重量・点数	338	
図 269	2A区	15層 器種別の重量・点数	339	
図 270	2A区	16層 器種別の重量・点数	339	
図 271	2A区	黒曜石産地別の重量	341	
図 272	2A区	黒曜石産地別の重量比率	341	
図 273	2A区	各層の黒曜石産地別の重量	342	
図 274	2A区	各ブロックの黒曜石産地別の重量	349	
図 275	2A区	石器の接合状況・組数	350	
図 276	2A区	各層の石器の接合組数	350	
図 277	2A区	各層の石器の接合組数（折れ面）	351	

図 278	2A 区	各層の石器の接合組数（剥離面）	351
図 279	3 区	各層全石器の器種別点数比率	352
図 280	3 区	各層旧石器の製品等の器種別点数比率	353
図 281	3 区	各層 石材別の点数	354
図 282	3 区	各層 石材別の重量	354
図 283	3 区	1 層 器種別の重量・点数	358
図 284	3 区	2 層 器種別の重量・点数	358
図 285	3 区	3 層 器種別の重量・点数	358
図 286	3 区	4 層 器種別の重量・点数	359
図 287	3 区	5 層 器種別の重量・点数	359
図 288	3 区	6 層 器種別の重量・点数	359
図 289	3 区	遺構 器種別の重量・点数	359
図 290	3 区	黒曜石産地別の重量	361
図 291	3 区	黒曜石産地別の重量比率	361
図 292	3 区	各層の黒曜石産地別の重量	362
図 293	3 区	石器の接合状況・組数	368
図 294	3 区	各層の石器の接合組数	368
図 295	3 区	各層の石器の接合組数（折れ面）	369
図 296	3 区	各層の石器の接合組数（剥離面）	369
図 297	1 区・2A 区・3 区	の土層柱状図および主要器種の変遷	370
図 298	1 区	各層出土のナイフ形石器（1/4）	371
図 299	1 区	各層出土の台形石器（1/3）	372
図 300	1 区	各層出土の剥片尖頭器・角錐状石器（1/3）	373
図 301	2A 区	各層出土のナイフ形石器（1/4）	374
図 302	2A 区	各層出土の台形石器（1/3）	375
図 303	2A 区	各層出土の剥片尖頭器・角錐状石器（1/4）	376
図 304		地蔵平遺跡 1 区ほかの土層柱状図	385
図 305		嘉穂川ダム遺跡群テフラ試料の重鋳物組成ダイヤグラム	386
図 306		地形区分図	400
図 307	3 区	20 トレンチ東端地点の土層柱状図	401
図 308	3 区	20 トレンチ北東壁の土層柱状図	402
図 309	3 区	22 トレンチ南東壁の土層柱状図	402
図 310	3 区	31 トレンチ北東壁の土層柱状図	402
図 311	2A 区	北壁の土層柱状図	403
図 312	3 区	20 トレンチ（東端地点・北東壁）の火山ガラス比および重鋳物組成ダイヤグラム	405
図 313	3 区	22 トレンチ・3 区 31 トレンチの火山ガラス比ダイヤグラム	406
図 314	2A 区	北壁の火山ガラス比ダイヤグラム	407
図 315		サヌカイトの Rb-Sr-Zr 図	413
図 316		黒曜石の Rb-Sr-Zr 図	413
図 317		層序層年校正結果	416

図 318 層年較正結果 417

表目次

表 1	嘉瀬川ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査	2
表 2	2A 区と各トレンチ・2B 区の土層の対応	20
表 3	1 区 黒曜石母岩分類	25
表 4	1 区 安山岩母岩分類	27
表 5	2A 区 黒曜石母岩分類	30
表 6	2A 区 安山岩母岩分類	31
表 7	1 区 各ブロックの遺物の内容	163
表 8	1 区 各ブロックの器種組成	169
表 9	2A 区 各ブロックの遺物の内容	256
表 10	2A 区 各ブロックの器種組成	258
表 11	1 区 各層の器種組成	300
表 12	1 区 各層の黒曜石産地別の点数・重量	313
表 13	1 区 各層の黒曜石産地別の器種組成	316
表 14	1 区 各層の石器の接合状況・組数	326
表 15	2A 区 各層の器種組成	331
表 16	2A 区 各層の黒曜石産地別の点数・重量	340
表 17	2A 区 各層の黒曜石産地別の器種組成	343
表 18	2A 区 各層の石器の接合状況・組数	350
表 19	3 区 各層の器種組成	355
表 20	3 区 各層の黒曜石産地別の点数・重量	360
表 21	3 区 各層の黒曜石産地別の器種組成	363
表 22	3 区 各層の石器の接合状況・組数	368
表 23	分析試料	383
表 24	重錳物組成分析結果（火山ガラス比）	383
表 25	重錳物組成分析結果（重錳物組成）	384
表 26	屈折率測定結果	384
表 27	重錳物組成分析結果	404
表 28	重錳物組成分析結果	404
表 29	火山ガラス比分析結果（表 27 の一部データを統合）	404
表 30	屈折率測定結果	408
表 31	3 区 20 トレンチ東端地点試料 33 に含まれる火山ガラスの主成分化学組成	408
表 32	2A 区北壁試料 1 に含まれる火山ガラスの主成分化学組成	409
表 33	地蔵平遺跡試料と指標テフラに含まれる火山ガラスの主成分化学組成	409
表 34	遺跡出土サヌカイト資料の蛍光 X 線分析値	411
表 35	遺跡出土黒曜石資料の蛍光 X 線分析値	412
表 36	測定試料および処理	414
表 37	放射性炭素年代測定および層年較正の結果	415

第1章 調査の経過

1 調査の経緯

嘉瀬川ダムは、嘉瀬川水系嘉瀬川の総合開発の一環として佐賀県佐賀市富士町（平成17年10月1日に佐賀市、佐賀郡富士町、同郡大和町、同郡晴富町、神埼郡三瀬村が対等合併した）に建設された多目的ダムである。

嘉瀬川ダム建設事業とこれに伴う文化財調査の詳しい経緯については既刊の『東畑瀬遺跡1・大野遺跡1』に記しているので参照されたい。ダム建設に伴う文化財調査のうち現地調査については、平成22年度中にすべて終了しており、平成23年度は、大野遺跡1・4～8区、フルタ遺跡、平島遺跡、音無瓦窯跡、西畑瀬遺跡8・9A・9B区、東畑瀬遺跡6T区、垣ノ内遺跡、地蔵平遺跡について、計3冊の報告書を作成した。

本書は、嘉瀬川ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書の第8冊目となるもので、地蔵平遺跡を収録した。

2 調査組織

調査主体 佐賀県教育委員会

調査協力 国土交通省九州地方整備局嘉瀬川ダム工事事務所
 富士町教育委員会（現・佐賀市教育委員会）
 佐賀県土木部ダム対策課・河川砂防課ダム対策室
 （現・佐賀県県土づくり本部河川砂防課水資源調整室）
 富士町ダム対策課（現・佐賀市富士支所嘉瀬川ダム対策課）
 地元各位

調査組織（平成23年度）

総括	佐賀県教育委員会教育長	川崎俊広
	佐賀県教育庁社会教育・文化財課長	瀬戸口謙郎
	佐賀県教育庁社会教育・文化財課副課長	森田孝志
	佐賀県教育庁社会教育・文化財課副課長	徳富則久
調査総括	佐賀県教育庁社会教育・文化財課係長	白木原直
調査員	佐賀県教育庁社会教育・文化財課主査	梶山裕史
	佐賀県教育庁社会教育・文化財課主査	今泉好孝
	佐賀県教育庁社会教育・文化財課主査	渋谷 格
	佐賀県教育庁社会教育・文化財課嘱託	市田佳奈子
	佐賀県教育庁社会教育・文化財課嘱託	西野元勝
	佐賀県教育庁社会教育・文化財課嘱託	藤井菜穂子
事務局	佐賀県教育庁社会教育・文化財課副課長	古川英生
	佐賀県教育庁社会教育・文化財課係長	宮本宏之

佐賀県教育庁社会教育・文化財課主査 井手弘幸
 佐賀県教育庁社会教育・文化財課主事 黒田康裕
 調査指導・助言 文化庁記念物課 佐賀県文化財保護審議会

3 発掘調査の経過

嘉瀬川ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査は、関連工事に伴って富士町教育委員会（当時）により平成7～9年度に断続的に行われたが、平成11～12年度の水没地区内確認調査の結果を踏まえ、平成12年度以降は佐賀県教育委員会が継続して実施している。水没地区内及び付替国道・付替市道など嘉瀬川ダム工事事務所所管工事に伴って発掘調査が必要な遺跡は、13遺跡にのぼり（図1、表1）、平成22年度前半までに発掘調査はすべて終了した。また、平成22年度末までに調査報告書を6集刊行している。

本書で報告する地蔵平遺跡の発掘調査は、平成18～22年度に実施した。

表1 嘉瀬川ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

番号	遺跡名	略号	対象面積 (㎡)	遺跡の時代	遺跡の概要	番号	遺跡名	略号	対象面積 (㎡)	遺跡の時代	遺跡の概要
①	東洲宮遺跡	HHT	121,300	縄文～近世	集落・祭祀 神社・墓地	②	フルタ遺跡	EKT	26,600	縄文～近世	集落
②	洲原宮遺跡	HTJ	12,800	中世～近世	塚跡・墓地	③	小ヶ倉遺跡	KKA	47,000	旧石器～近世	集落
③	西洲宮遺跡	MHT	56,800	縄文～近世	集落	④	地蔵平遺跡	JD	20,000	旧石器～縄文	集落
④	畑ノ内遺跡	KMU	21,000	弥生～古墳	集落	⑤	平島遺跡	HPT	13,000	縄文～近世	集落
⑤	九井遺跡	KRO	17,960	旧石器～近世	集落	⑥	音無瓦倉遺跡	OTM	1,500	近世	生産遺跡
⑥	大車遺跡	OOK	3,000	中世	集落	⑦	入道遺跡	MYD	400	旧石器～縄文	集落
⑦	大野遺跡	OOM	35,200	縄文～近世	集落・古墳						

地蔵平遺跡1区

略号：J Z D 1

所在地：佐賀県佐賀市富士町大字大野字入道

調査対象面積：5,500㎡

調査担当：加藤吾朗・市田佳奈子（平成18年度）

井上倫生・市田佳奈子（平成19年度）

地蔵平遺跡2区

略号：J Z D 2

所在地：佐賀県佐賀市富士町大字大野字入道

調査対象面積：5,500㎡

調査担当：井上倫生・市田佳奈子・竹内奈央・森幸一郎（平成19年度）

渡部芳久・津田文・白木原直（平成20年度）

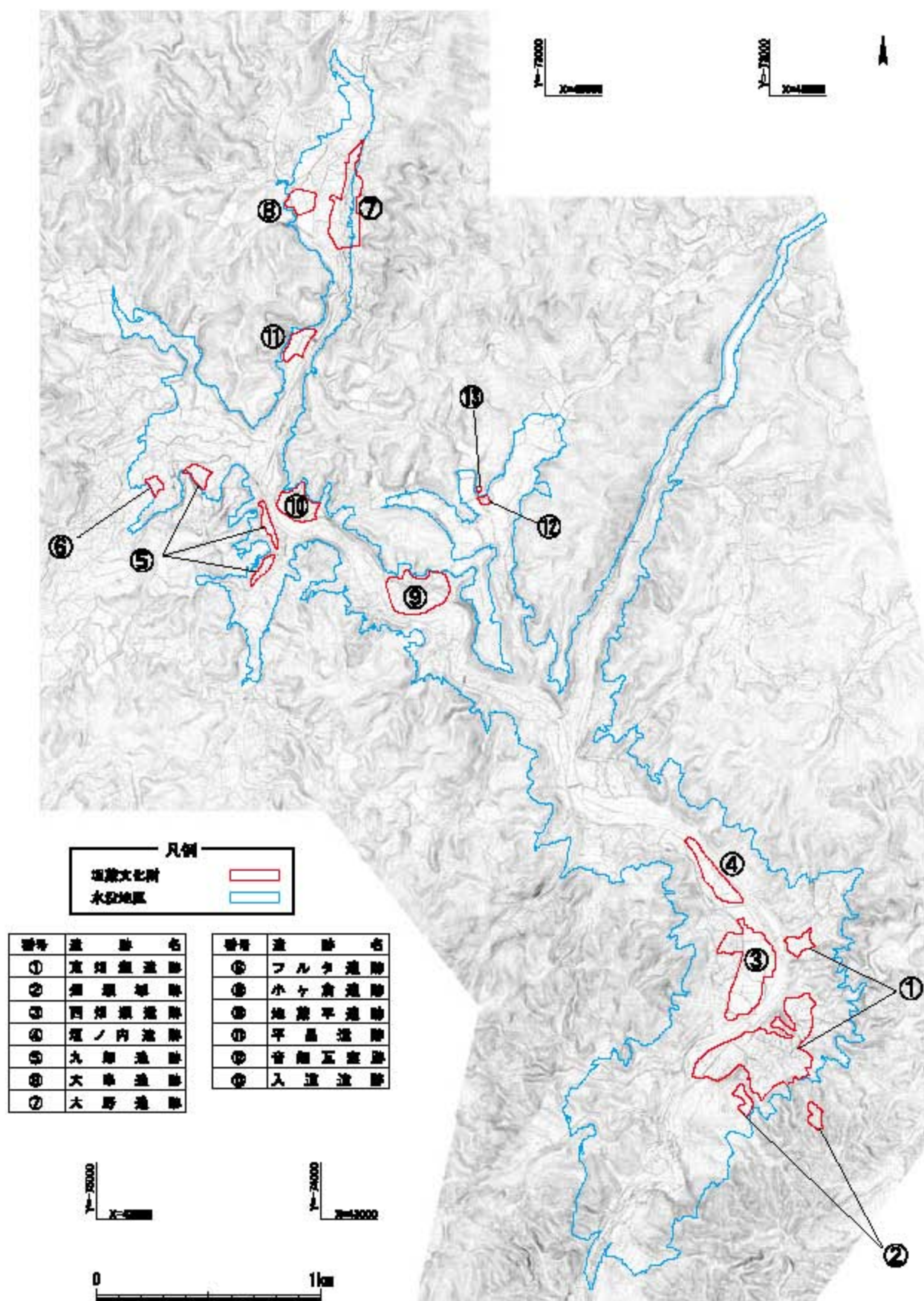


図1 高瀬川ダム水没地区周辺と埋蔵文化財調査地区 (1/25,000)

地蔵平遺跡（本文編）

地蔵平遺跡3区

略号：J Z D 3

所在地：佐賀県佐賀市富士町大字大野字入道

調査対象面積：9,000㎡

調査担当：渡部芳久・津田文・今泉好孝・吉田大輔・白木原直・内田真一郎・井上倫生（平成20年度）

今泉好孝・津田文・西野元勝・白木原直・渡部芳久（平成21年度）

今泉好孝・西野元勝・白木原直・市田佳奈子・渡部芳久・梶山裕史・吉田大輔（平成22年度）

第1章 参考・引用文献

嘉瀬川ダム環境検討委員会・国土交通省嘉瀬川ダム工事事務所（2003）『嘉瀬川ダム事業における環境保全への取り組み』国土交通省嘉瀬川ダム工事事務所

嘉瀬川ダム建設に伴う学術調査委員会（2000）『嘉瀬川ダム建設に伴う学術調査報告書』富士町教育委員会

佐賀県教育委員会（2008）『佐賀県内遺跡検視調査報告書』26 佐賀県文化財調査報告書第174集

富士町史編さん委員会（2000）『富士町史』上・下巻 富士町

第2章 位置と環境

1 地理的環境

嘉瀬川は、佐賀県と福岡県の分水嶺をなす脊振山地の金山に源を発し、山間部を流下して神水川、天河川、名尾川などの支流を合わせ、肥前国府や肥前国一宮河上神社のあたりで山地を抜け、佐賀平野のほぼ中央を貫流して有明海に注ぐ、幹線流路延長 57km、流域面積 368km²の一級河川である。上流部には灌漑用水を主な目的とする北山ダムが昭和 32（1957）年に完成しているが、すぐ下流にあたる佐賀市富士町の中央部に多目的ダムとして建設中なのが、嘉瀬川ダムである。ダム予定地の下流には古湯温泉と熊の川温泉があり、県内外から多くの人々が訪れている。

佐賀市富士町（旧佐賀郡富士町）は、佐賀県の北端部に位置し、北は県境の分水嶺を境に福岡県糸島市・福岡市草良区と、東は佐賀市三瀬村（旧神埼郡三瀬村）・佐賀市大和町（旧佐賀郡大和町）と、西は唐津市七山・厳木町（旧東松浦郡七山村・厳木町）と、南は天山山地の尾根筋で小城市小城市・多久市とそれぞれ接している。旧富士町役場、現在の佐賀市役所富士支所の位置で言うと、東経 130° 12′ 03″、北緯 33° 22′ 58″ に位置し、東西 10 km、南北 17 km、面積 143.25 km² である。気候は、温暖湿潤な佐賀県内の中でも平均気温が低く、降水量は多い。山間部特有の日照時間の短さともあいまって冬季の寒さが厳しい地域である。

地勢は、福岡県との県境をなす脊振山地の東西脊梁のうち羽金山・雷山・井原山・金山の峰々を北に仰ぎ、南に脊振山地の一部でもある天山山地がそびえ、両山地の間は高原状の丘陵地・山地とその間を流れる河川により開析された谷底平野・河岸段丘などからなる。西側には羽金山から龜岳を経て天山に連なる南北方向の分水界峰があり、これより東側が有明海に注ぐ嘉瀬川水系、西側が玄界灘に注ぐ玉島川・松浦川水系となっている。佐賀市富士町地域は、東側の佐賀市三瀬村や更に東側の神埼市脊振町（旧神埼郡脊振村）と大小の谷や峠を介して連続しており、このような一体的な地勢の特徴が、「山内」という独自の地域圏を育んできた。

表層地質は中世代白亜紀に生成した花崗岩類を主体とし、雷山や天山周辺に局地的に三郡変成岩の塩基性深成岩類および蛇紋岩と結晶片岩類が分布する。土壌は、南北の大起伏山地は礫質・粗砂質であるが、中央部の小起伏山地・丘陵地では風化が進んでやや粘土質の土壌に覆われている。山麓部や斜面には礫質・中粗粒の黄色土壌、河川沿いの谷底平野に中粗粒の黄色土壌や礫質・中粗粒・細粒の灰色低地土壌などが分布する。また、嘉瀬川上流域の北山ダム（北山湖）を中心とする一帯には北山層と名付けられた泥炭層を挟む湖成層が分布していて、第四期更新世末期頃に存在した「古北山湖」の湖底に堆積したものと考えられている。

旧富士町域の 8 割以上が森林で、更にその 8 割以上がスギ・ヒノキの人工林である。人工林以外の植生は、ほとんど常緑広葉樹林帯に属するが、標高 900 m 級の南北山地の山頂部近くには夏緑広葉樹林帯が僅かに認められる。動物相は、大型哺乳類ではイノシシ、キツネ、ニホンザル、タヌキ、アナグマ、イタチ、ノウサギ、テンなどが生息し、ニホンザルやキツネは減少傾向にあるが、イノシシは近年急増しており、発掘調査中にも遭遇することがある。鳥類では主な留鳥として大小のサギ類、キジ、コジュケイ、キジバト、カワセミ、ヤマセミなどが見られ、国指定天然記念物のカササギ（カチガラス）は古湯地区より上流部には生息しておらず、嘉瀬川ダム地区内では確認されない。

2 歴史的環境

本地域の歴史的環境全般については、『富士町史』などを参照していただくとして、ここでは近年の遺跡調査に

より急速に充実してきた考古学的な所見を中心に概述する。

旧石器時代の遺跡は、地蔵平遺跡（⑩）、小ヶ倉遺跡（⑨）、九郎遺跡（⑥）などである。特に地蔵平遺跡では、以前から旧石器～縄文時代の遺物が多く採集されていて、この地域の拠点的な遺跡と目されていたが、平成18年度から着手した発掘調査で恰良Tnテフラ（AT）の一次堆積層が良好な状態で検出され、その上下層からは、多様な石器が出土している。周辺地域に目を向けると、佐賀市三瀬村田ノ宇曾（床並）遺跡では、ナイフ形石器・彫器が出土している。また、唐津市七山の馬川谷口遺跡でもナイフ形石器文化期から細石刃文化期の石器群が出土しており、その中には国府型ナイフ形石器が含まれている。この資料は、神崎市神崎町の船塚遺跡で出土した国府型ナイフ形石器およびその製作工程を示す資料と共に、瀬戸内技法の西九州地域への波及を示すものと考えられる。脊振山地南麓の小城市・多久市は安山岩が産出することで知られ、小城市三日月町の岡本遺跡・老松山遺跡では、これらの安山岩を用いた剥片尖頭器・ナイフ形石器・角錐状石器等が出土している。また、多久市の茶園原遺跡・三年山遺跡・長尾開拓遺跡も安山岩製の石器製作を行った原産地遺跡であり、両面に調整加工を施した尖頭器が出土している。このように、旧石器時代の遺跡は、脊振山地山間部とその周辺一帯に広く分布するものと考えられる。

縄文時代の遺跡は非常に多く、近年の発掘調査で縄文時代各時期の遺物が竪穴住居や炉跡などの遺構と共に検出され、遺跡の内容が明らかになりつつある。早期前葉の資料としては、小ヶ倉遺跡で円筒形刺突文土器や石槍が出土しているほか、入道遺跡（③）でも刺突文土器が出土している。早期中葉の資料としては、入道遺跡で当該時期と推定される集石炉が確認され、貝野遺跡、中原遺跡、九郎遺跡、平島遺跡（⑩）、垣ノ内遺跡（④）などで稲荷山式～田村式期の遺物が出土している。早期後葉の資料としては、九郎遺跡や西畑瀬遺跡（③）で壘ノ神A式・B式・轟A式系土器などが出土しており、西畑瀬遺跡では地床炉と思われる焼土遺構と焼礫集積遺構が検出されている。前期の資料は九郎遺跡や小ヶ倉遺跡、西畑瀬遺跡で轟B式・西唐津式・曾畑式土器が出土している。また、西畑瀬遺跡では鬼界アカホヤテフラ（K-Ah）を含む層が部分的にはあるが広がっていて、下層から壘ノ神B式・轟A式期、上層から轟B式・曾畑式期の遺構・遺物が確認されている。なお、地蔵平遺跡、九郎遺跡、小ヶ倉遺跡でも鬼界アカホヤテフラ（K-Ah）が検出されている。早期～前期の資料は、採集品も含めて山間部各地で比較的多く知られ、佐賀市三瀬村天徳遺跡で集石遺構や土坑と共に早期～前期の資料が出土しているほか、同村狂言平遺跡などで押型文土器、同村宿北方遺跡では1個体分の曾畑式土器が採集されている。中期の資料はやや少ないが、九郎遺跡、西畑瀬遺跡で船元式・春日式・阿高式系土器が出土している。後期初頭の資料としては、東畑瀬遺跡（①）で坂の下式土器、西畑瀬遺跡から中津式系土器が出土している。後期中葉～末の資料としては、西畑瀬遺跡で鐘崎式～広田式土器が確認され、鐘崎式期頃の遺物集中部から石製垂飾が出土している。また、大野遺跡（②）で三万田式期の集落で竪穴住居などの遺構が確認され、三瀬村吉野山遺跡では北久根山式～太郎迫式期頃の遺物が多数採集されている。晩期では、東畑瀬遺跡で黒川式期～弥生時代前期まで集落が断続的に営まれているほか、西畑瀬遺跡でも黒川式期の遺物群が出土している。

縄文時代と比べると、当地域における弥生時代から平安時代までの様相を知る手がかりは非常に少ない。その要因としては、当地域は、標高が高く寒冷地であることから水稲耕作を基盤とする生活が成り立ちにくかったことが考えられる。弥生時代の遺跡数は極端に減少している。それでも、近年の埋蔵文化財調査の進展によって、これまで不明であった山間部の弥生時代～古代の様相が少しずつ知られるようになってきた。

弥生時代の資料としては、東畑瀬遺跡で弥生時代前期の竪穴住居らしき遺構が検出されている。しかし、弥生時代特有の大陸系磨製石器は出土しておらず、縄文時代的な生活が続いていたようである。西畑瀬遺跡では中期の土器埋納遺構や後期の小児塚指墓が検出されており、1点ずつではあるが石包丁（磨製穂摘具）・太形蛤刃石斧も見つかっている。

古墳時代では、古墳はもちろん、竪穴住居などの集落の広がりを示す遺構は確認されていないが、同時代の土器は発掘調査や採集資料で散見される。西畑瀬遺跡では、完形の土師器壺と土師器高杯の杯部2点を、垣ノ内遺跡で

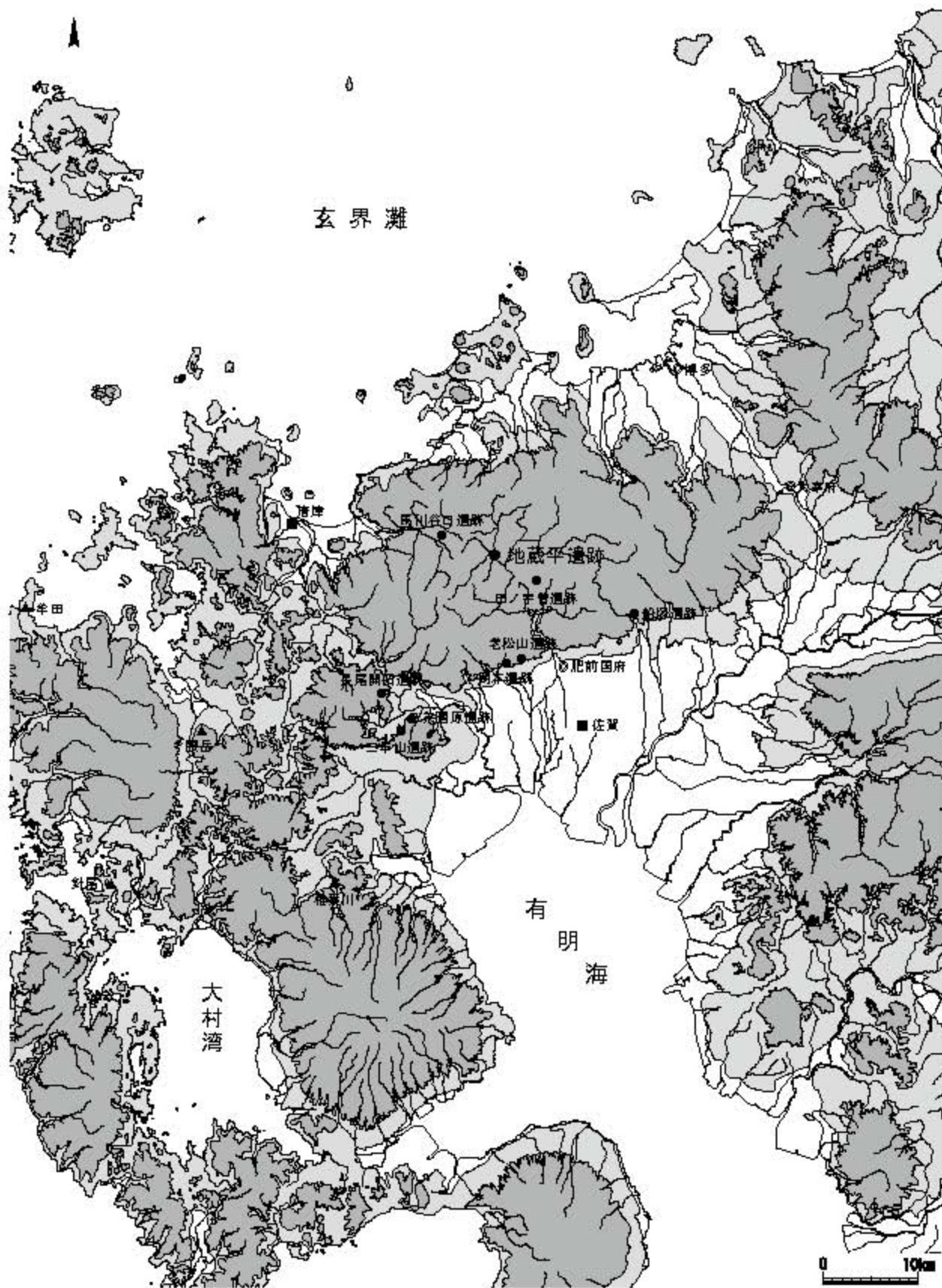


图2 遺跡位置図

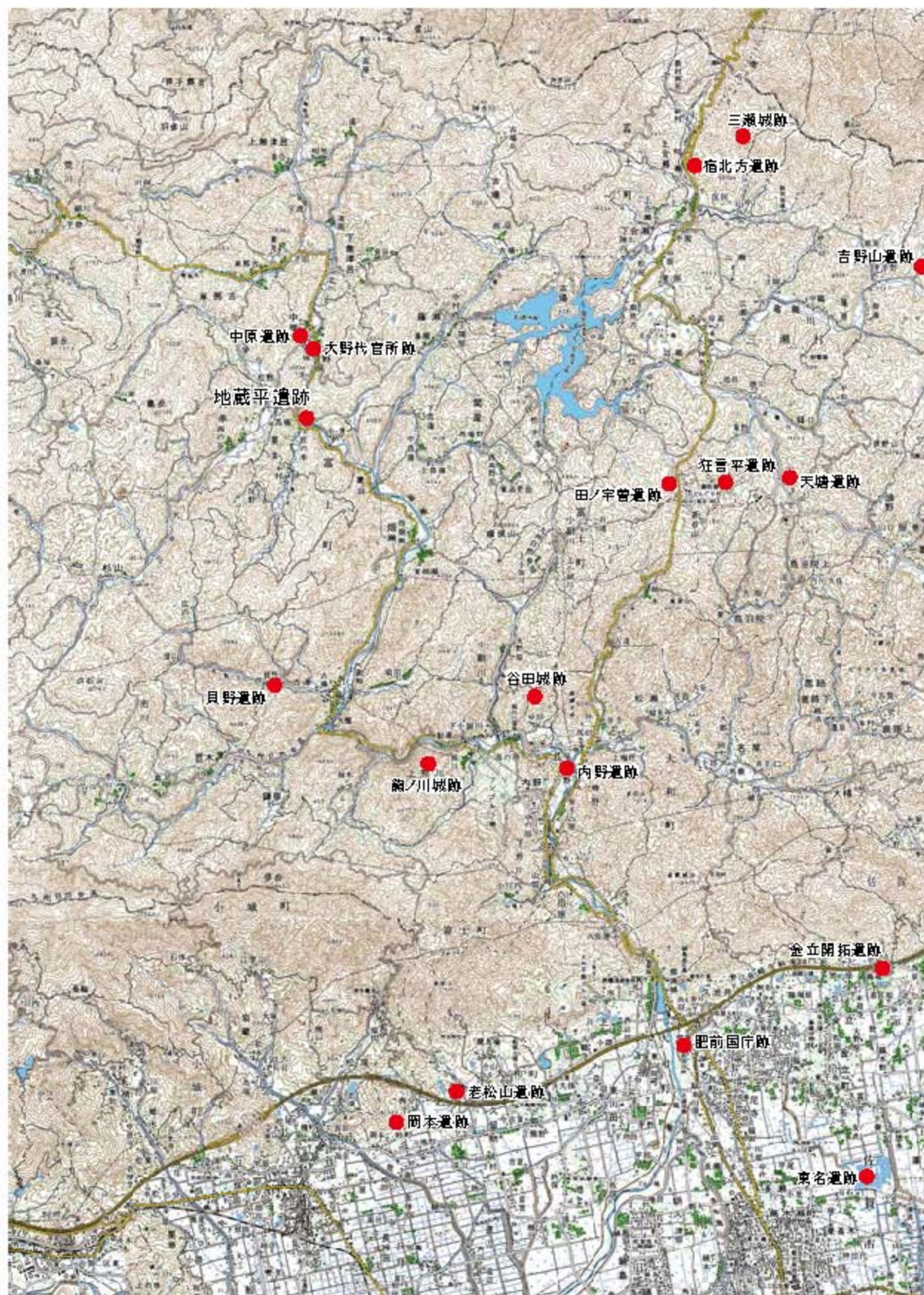


図3 高瀬川ダム建設予定地周辺の遺跡（1/100,000）

は土師器をそれぞれ埋納した何らかの祭祀に関わると考えられる小穴が確認されている。この他、大野遺跡でも土坑が確認されている。

律令制下の当地域は、肥前国佐嘉郡の範囲であったと考えられる。嘉瀬川沿いの脊振山間部と佐賀平野部との結節点に肥前国府が置かれていることを考えると、嘉瀬川上流域も律令国家の関心外であったとは思えない。しかし、具体的な様相を知る史料は少なく、内野遺跡で平安時代前期頃の土師器、西畑瀬遺跡で越州窯系青磁碗や須恵器等の平安時代前半期に遡る遺物が数点出土しているにすぎない。

古代末以降も、富士町域の各所がどの荘園公領に含まれていたかを示すことは難しいが、少なくとも肥前安富荘領があったことは史料上で確認できる。南北朝初期の暦応2(1339)年4月25日石志定阿隣状奏(石志氏家文書)は、中世前期の富士町域を知る貴重な史料で、松浦党一族の石志氏が恩賞として配分された所領を子孫に伝えたものである。その中に「安富庄内畑瀬村、同村内火桶」と「安富庄畑瀬村内上於副河」が記されている。肥前安富荘に関しては宮武(1991)に詳しいが、佐賀郡一带に散在的に散らばる荘領のうち、富士町畑瀬・上小副川、佐賀市大和町東山田・佐保・久留間、佐賀市久保田町北部で確認される遺称地については嘉瀬川流域に分布している点が注目される。古代末～中世前期の遺跡としては、東畑瀬遺跡、西畑瀬遺跡、九郎遺跡、大野遺跡、中原遺跡で屋敷地などの遺構が見つかった。中でも、東畑瀬・西畑瀬遺跡の屋敷地は安富荘畑瀬村との関連で重要である。また、中原遺跡では土師器杯・皿を40点ほど集積した遺構が検出されている。

安富畑瀬の名は、近世初期まで鍋島直茂所領目録(江家文書)の「安富畑瀬山」や東畑瀬宗源院半鐘銘の「佐賀郡安富庄畑瀬山」などで確認できるが、中世後期には畑瀬、栗並、藤瀬、菖蒲、等々の山内の各地を名字とする在地勢力の台頭によって荘園としては実態の伴わないものへ変化していったと思われる。大串遺跡(⑥)では14～15世紀代の在地有力層に関わるとされる遺構群が確認されており、平島遺跡でも中世後期の屋敷地と考えられる建物群が検出されている。

戦国期に至ると、神代勝利が各地に割拠した小領主をまとめあげて山内を統一し、佐賀市三瀬村三瀬城を本城として佐賀の龍造寺隆信と覇を競った。富士町域にも畑瀬城、熊川城、谷田城などを構えたとされる。戦国期の城館については近年の中近世城館跡分布調査によって、山内では三瀬城の規模が際立って大きく、それ以外の在地領主のものと考えられる山城は規模・構造とも簡素なものが多いこと、個々の集落単位で領主居館跡、詰城、領主の墓址、菩提寺、氏神がセットで残っている例が数多く確認できることなど、この地域の独自性が徐々に明らかになりつつある。東畑瀬遺跡・畑瀬城跡(②)では、畑瀬城に関連すると考えられる城郭遺構が数多く確認され、総体としての畑瀬城の実態がかなり把握できるようになってきている。

勝利の嫡子長良は龍造寺氏と和睦し、龍造寺氏の重臣で鍋島藩祖となる鍋島直茂の甥を養子に迎えた。神代氏は小城普別、更に佐嘉川久保へと転封されたが、川久保色主として1万石の大身を保持した。山内は鍋島氏の所管となったが、元和3(1617)年の小城鍋島家(小城支藩)創設にあたって嘉瀬川以西の地域が分け与えられた。これ以降、明治維新を迎えるまで、それぞれ佐賀山内、小城山内として郷村支配が続いた。佐賀山内郷では松瀬三反田に、小城山内郷では大野に代官所が設置された。このうち大野地区に現存する大野代官所の遺構は江戸時代後期のものであるが、その設置時期や詳しい経緯についてはよく判っていない。城郭を思わせる本格的な石垣造りの遺構であり、単に一支藩が山間部の経営のために設けた代官所としては破格の規模であり、隣藩との国境に近い軍事上の重要地であることが、その背景として想定される。隣接する大野遺跡では近世初期の役所的施設と見られる建物群が検出されており、これが大野代官所の前身のような施設であった可能性がある。東畑瀬遺跡では神代勝利の菩提寺である宗源院跡で近世から現代までの寺院跡が4面重複して確認され、付属する墓地では多数の近世墓が調査されている。また、集落部の調査によって近世の開拓の様相を知る手掛かりが得られた。

明治維新の後、伊万里県の設置や長崎県への統合などの紆余曲折を経て、明治16(1883)年に現在の佐賀県が成立した。これに先立つ明治11(1878)年の郡区町村編成法により、富士町域にあたる範囲では、佐賀郡小副川

村、蘭屋村の2ヶ村、小城郡鎌原村、菅米村、吊川村、杉山村、天串村、兼並村、天野村、中原村、麻那古村、上無津呂村、下無津呂村、上合瀬村、下合瀬村、古場村、藤瀬村、畑瀬村、古湯村、上鯨川村、内野村、下鯨川村の20ヶ村が行政単位となっていた。その後、明治22（1889）年の市制町村制により上記の各村は佐賀郡小関村と小城郡北山村・南山村の3村に統合され、旧村名は大字として残ることになった。なお、この時期に採集していた音無瓦窯跡では、釉薬瓦を焼いた瓦窯跡とこれに関連する物原・瓦溜が確認されている。

昭和31（1956）年には佐賀郡小関村と小城郡北山村・南山村の3村が対等合併して富士村となり、昭和41（1966）年10月1日の町制施行により佐賀郡富士町となった。その39年後にあたる平成17（2005）年10月1日に、佐賀市・佐賀郡大和町・同郡嬉富町・神埼郡三瀬村と対等合併して佐賀市富士町となった。なお、佐賀市は平成19年10月1日に、佐賀郡川副町・東与賀町・久保田町を編入合併している。

※については、表1、回1を参照

第2章 参考・引用文献

- 嘉瀬川ダム建設に伴う年行調査委員会（2000）『嘉瀬川ダム建設に伴う年行調査報告書』富士町教育委員会
- 神埼町教育委員会（1984）『郷土遺跡』神埼町文化財調査報告書10集
- 佐賀県企画室（1979）『土地分譲基本計画概論』
- 佐賀県教育委員会（1997）『佐賀県の地質遺物』佐賀県文化財調査報告書第134集
- 佐賀県教育委員会（1964）『佐賀県の遺跡』佐賀県文化財調査報告書第13集
- 佐賀県教育委員会（1988）『長尾開拓遺跡』佐賀県文化財調査報告書第88集
- 佐賀県教育委員会（1989）『老松山遺跡』佐賀県文化財調査報告書第92集
- 佐賀県教育委員会（2007）『東瀬遺跡1・大野遺跡1』佐賀県文化財調査報告書第170集
- 佐賀県教育委員会（2008）『西瀬遺跡1』佐賀県文化財調査報告書第176集
- 佐賀県教育委員会（2009）『西瀬遺跡2・大串遺跡』佐賀県文化財調査報告書第180集
- 佐賀県教育委員会（2010）『東瀬遺跡2・畑瀬遺跡』佐賀県文化財調査報告書第185集
- 佐賀県教育庁文化財課（1997）『九郎遺跡1区』『佐賀県文化財年報2』
- 佐賀県教育庁文化財課（1998）『大野遺跡（1区）』『佐賀県文化財年報3』
- 佐賀県教育庁文化財課（2008a）『地藏平遺跡（1区）』『佐賀県文化財年報13』
- 佐賀県教育庁文化財課（2008b）『小ヶ瀬遺跡』『佐賀県文化財年報13』
- 佐賀県教育庁文化財課（2008c）『九郎遺跡（1B区）』『佐賀県文化財年報13』
- 佐賀県教育庁文化財課（2008d）『九郎遺跡（2区）』『佐賀県文化財年報13』
- 佐賀県教育庁文化財課（2008e）『九郎遺跡（3区）』『佐賀県文化財年報13』
- 佐賀県立図書館（1986）『佐賀縣史料集成古文書編』第27巻
- 佐賀市教育委員会（2007a）『大串遺跡』佐賀市埋蔵文化財調査報告書第16集
- 佐賀市教育委員会（2007b）『中瀬遺跡—2・3区の調査—』佐賀市埋蔵文化財調査報告書第19集
- 多久市教育委員会（1998）『茶田原遺跡』多久市文化財調査報告書第26集
- 多久市教育委員会（2004）『三年山遺跡』多久市文化財調査報告書第35集
- 徳永真澄（1995）『神埼郡三瀬村田ノ字遺跡の旧石器時代遺物』『佐賀考古』第2号 佐賀考古学研究会
- 七山村教育委員（2001）『馬川谷口遺跡』七山村文化財調査報告書第2集
- 七田忠志（1949）『三瀬村出土の縄文式土器』『佐賀県史跡名勝天然記念物調査報告』第8輯佐賀県教育委員会
- 全国神代ゆかりの会（1980）『神代本伝記』『神代本とその一族』1号
- 富士町教育委員会（1999）『鳥居遺跡1区』富士町文化財調査報告書第1集
- 富士町教育委員会（2003a）『富士町内遺跡発掘調査報告書平成7年度～13年度』富士町文化財調査報告書第2集
- 富士町教育委員会（2003b）『中瀬遺跡1区』富士町文化財調査報告書第3集
- 富士町教育委員会（2005）『畑瀬遺跡』富士町文化財調査報告書第4集
- 富士町住居さん委員会（1968）『富士町誌』富士町教育委員会
- 富士町史編さん委員会（2000）『富士町史』上巻・下巻富士町
- 松本茂（2008）『九州地方における国府石器群の来歴と伝播論』『東京大学公開シンポジウム予集集伝播を巡る縄文変遷—国府石器群と瀬石刃石器群—』東京大学
- 三瀬村住居さん委員会（1977）『三瀬村誌』三瀬村
- 武正正隆（1991）『本村遺跡をめぐる中世世界—安富荘内村荘としての位置付け—』『本村遺跡』佐賀県文化財調査報告書第102集佐賀県教育委員会
- 池部芳久（2010）『地藏平遺跡の発掘調査—筑山間部の旧石器時代—』平成22年度九州考古学会総会研究発表資料集

第3章 調査と整理の概要

1 地蔵平遺跡の概要

地蔵平遺跡は、佐賀市富士町大字大野字入道に所在する（図4）。

遺跡付近は、嘉穂川水系上流域を流れる河川の合流部にあたる。遺跡の北西側では、嘉穂川の支流である神水川、大串川、浦川が合流し、流域は盆地状の地形が形成され、脊振山間部においては比較的広い耕地が展開している。また、遺跡のすぐ南側では、南から東へと流路を変えた神水川に栗並川が流れ込んでいる。江戸時代初期の「慶長国絵図」によると、これらの河川に沿って小副川・佐賀方面及び杉山方面、七山方面への道が記されており、遺跡付近が脊振山間部の交通の要衝であったことがうかがえる。

本遺跡の約800m東側には、入道遺跡（旧石器時代の散布地、縄文時代の集落跡）・音無瓦窯跡（近世～近代の窯跡）、神水川沿いの約600m上流には平島遺跡（縄文・中世の集落跡）、約600m下流には小ヶ倉遺跡（旧石器時代の散布地、縄文・古墳・近世の集落跡）、神水川を挟んで対岸には九郎遺跡（旧石器時代の散布地、縄文・古代～近世の集落跡）が所在する。

本遺跡は昭和33年に地元の研究者右近法真氏によって周知され、これまで数千点以上の石器・土器が採集されるなど、旧石器時代から縄文時代の遺物散布地として知られていた。昭和39年刊行の佐賀県文化財調査報告書には、「黒曜石の剥片と多数の石礫がこの遺跡から発見されている。」という記述がみられる。また、昭和43年発行の「富士町誌」には、「地蔵平からは石核7、ブレイド1、スモールブレイド11、尖頭器9」が発見されたという記述があり、右近氏が作成した同誌の石器時代遺跡出土品表には、「大野地蔵平」遺跡の出土品として「石礫（300）、皮剥（37）、土器片（押型文外若干）、石片（数万）」があげられている。現在、右近氏によって採集された資料は、佐賀市立富士小学校に寄贈されている。

地蔵平遺跡は、神水川の左岸に形成された河岸段丘上に位置し、段丘面は神水川に突き出すように南に向かって緩やかに傾斜しており、中央は北から南への小さな谷で開析されている。

嘉穂川ダム建設事業に伴う今回の発掘調査では、この谷の出口周辺にあたる下位段丘面を1区、東側の上位段丘面を2A区、西側の上位段丘面を3区として調査を実施した。

調査の結果、広域テフラである始良Tnテフラ（AT）の一次堆積層が検出され、後期旧石器時代～縄文時代早期の遺物約47,000点が層位的に出土し、礫群、土坑、炭化物集中部などの遺構も検出された。ATは1区・2A区（一部のトレンチ含む）で検出し、特に2A区の残存状況は極めて良好で、最厚約15cmの火山灰が連続的に堆積していることが確認された。

遺構については、1区で、旧石器時代の礫群4基（AT上位2基、AT下位2基）、性格不明遺構5基（すべてAT直上）が検出された他、石器ブロック50基を設定した。また、縄文時代の石器ブロック8基を設定した。2A区では、旧石器時代の礫群5基（すべてAT上位）、土坑1基（AT上位）が検出された他、石器ブロック9基を設定した。また、縄文時代の集石遺構1基が検出されるとともに、石器ブロック3基を設定した。3区では、旧石器時代の礫群が1基、縄文時代の土坑6基が検出された。

遺物は、遺跡全体で石器46,779点、土器338点が出土している。出土した石器を時期ごとにみると、後期旧石器時代前半期のナイフ形石器・台形様石器、後期旧石器時代後半期のナイフ形石器・台形石器・剥片尖頭器・角錐状石器・スクレーパー・彫器・ドリル、後期旧石器時代終末期～縄文時代草創期の細石核・細石刃、縄文時代早期の石槍・石礫・石匙・磨製石斧・敲石・砥石などがみられる。これらの他にも、原石、石核、素材剥片が大量に出土しており、接合関係がみられるものもことから、外部から石材を持ち込んで多様な石器製作が行われてい

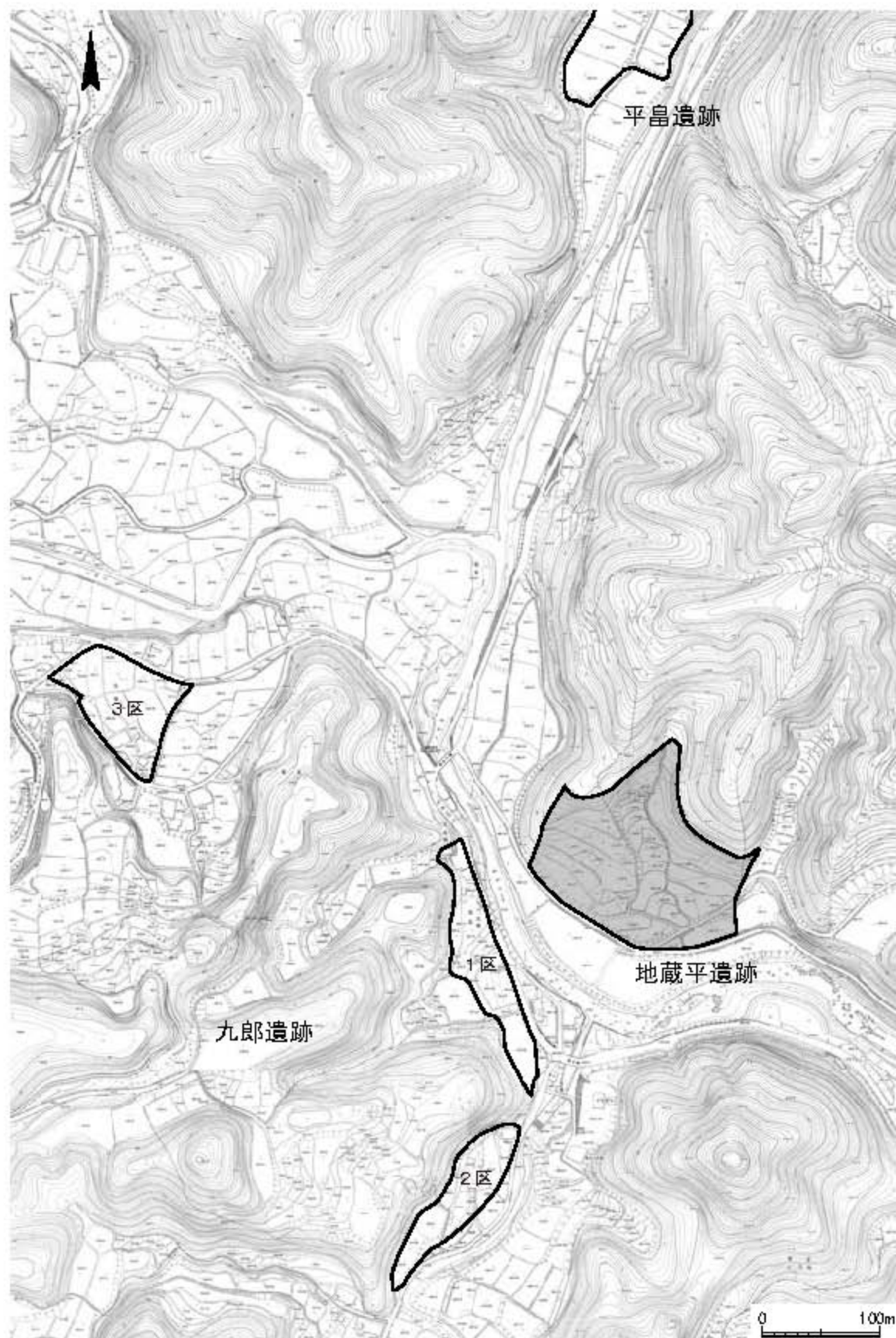


圖4 遺跡位置圖 (1/5,000)

たことがうかがえる。石器の石材は、黒曜石と安山岩が主体であり、黒曜石は伊万里市腰岳、松浦市辛田、嬉野市稚葉川、佐世保市針尾島、熊本県小国、安山岩は多久市鬼の鼻山、小城市岡本など、複数の産地のものが用いられている。その他、量は少ないがチャート類、アプライト（細粒花崗岩）、石英、緑色片岩、花崗岩といった在産地の石材も用いられている。土器は、縄文時代早期の押型文土器などが多く出土している。

調査区によって層序・器種構成などに異なる傾向がみられるが、断続的ではあるが、AT直下頃から縄文時代早期にかけて、人類活動の拠点であった可能性が高い。

2 確認調査の内容

地蔵平遺跡の確認調査は、遺構・遺物の有無および内容を把握することを目的とし、周辺地域を含め、平成12年度に実施された。

確認調査では、調査対象地区内の26箇所にトレンチが設定された（図5）。各トレンチの大きさは2×2mで、掘削はすべて人力による。なお、調査区内を南北に通る谷部については、南端部付近を除きトレンチは設定されていない。これは、遺物の散布状況および地形的にみて、遺構・遺物が存在する可能性が低いと判断されたためである。当所については、本調査を行う際、改めてトレンチを設定し内容を把握したが、結果的に、遺構・遺物ともに出土せず、調査区を設定するに至らなかった。

確認調査の結果、表土の下には、多くのトレンチで黒色土および黒褐色土が堆積しており、その下部には、黄色～黄褐色粘質土（確認調査の記録では黄色土）が堆積することが確認された。本調査で得られた調査所見と照らし合せると、おおむね、黒色土層および黒褐色土層が縄文時代の遺物包含層、黄色土層が旧石器時代の遺物包含層であると理解されよう。

26箇所のトレンチのうち、18箇所から遺物が出土した。出土した遺物は、中近世の陶磁器・土器類、縄文時代の土器・石器、旧石器時代の石器である。これらのうち、縄文土器については、微細な破片で型式等の識別が難しい。また、石器については、微細なものも含め、縄文時代に属するのかわかりにくく旧石器時代に属するものなのか、判断できないものが多い。石器の風化の具合で推定できるものもないわけではないが、ここでは時代を考慮せず記載することにする。なお、遺構は確認されなかった。

以下、遺物が出土したトレンチについてのみ概要を記すが、調査時に三次元で出土位置を記録したもの、および出土位置を三次元で記録せず一括して取上げた遺物のうち、重要なものについては写真撮影または図化を行い別表1 確認調査出土石器一覧表（データ・写真編）に記載した。

A3トレンチでは、表土および黄色土から安山岩製の石器2点が出土した。いずれも剥片で、三次元で出土位置が測定されておらず別表には記載していない。

A4トレンチでは、表土および埋土から石器17点（安山岩製10点・黒曜石製7点）が出土した。これらのうち、三次元で出土位置を測定したものについては、いずれも剥片で、別表に記載していない。写真図版20-1は、縦長の剥片を素材としており、左側縁に二次調整が施されている。

B3トレンチでは、表土および黒色土から石器4点（安山岩製2点・黒曜石製2点）と縄文土器片が出土した。写真図版20-2は、安山岩製、大型、薄手の石鏃で、先端が欠損する。

C1トレンチでは、表土（表面採集含む）および埋土から石器52点（安山岩製27点・黒曜石製25点）と土師器片が出土した。これらのうち、三次元で出土位置を測定したものの一部および重要資料については、別表に記載した。

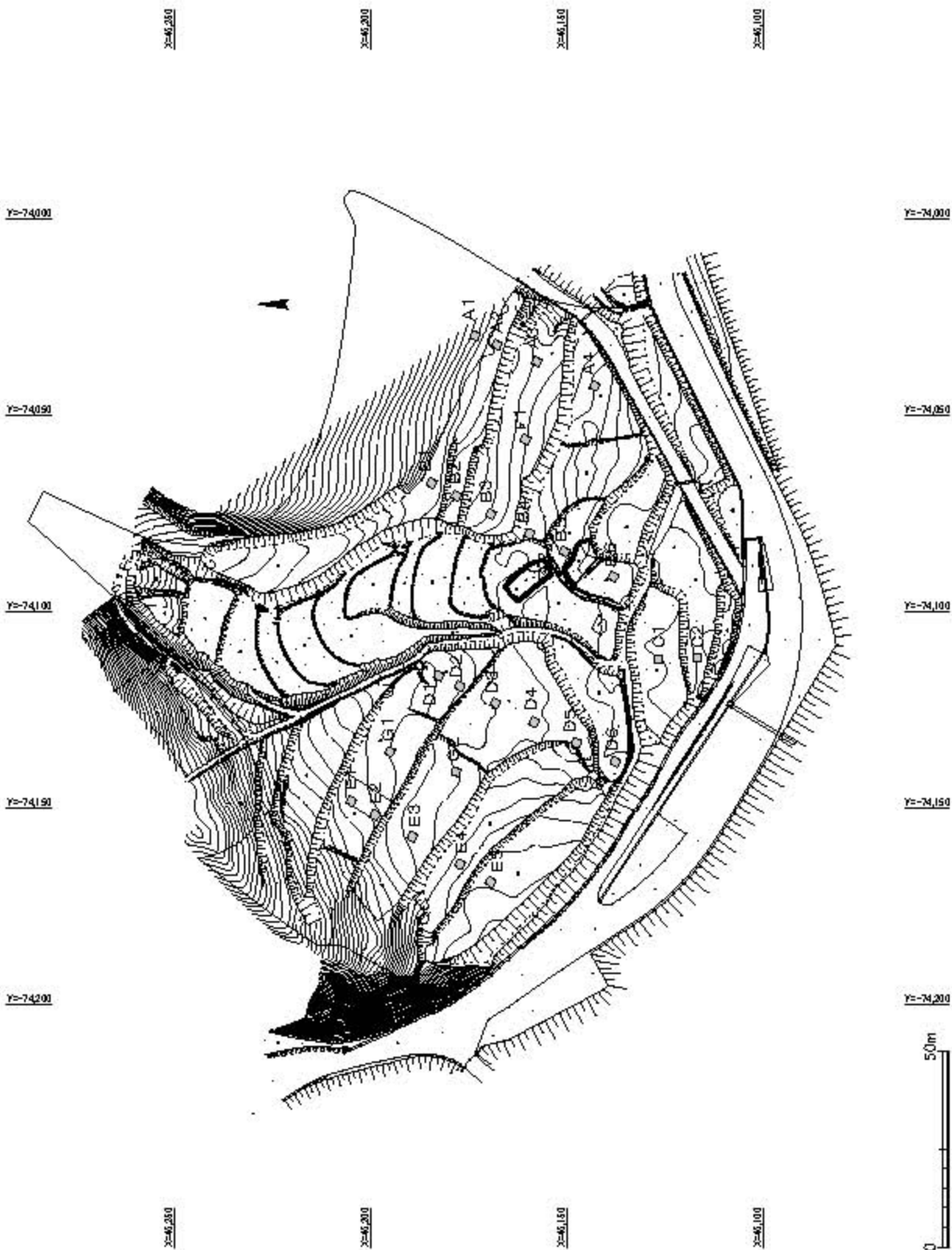


図5 確認調査トレンチ配置 (1/1,500)

図6-7は黒曜石製のナイフ形石器の先端部、写真図版20-12は黒曜石製の小型のナイフ形石器の基部、図6-4は大型の石刃を用いた安山岩製の剥片尖頭器、図6-1は黒曜石製の福井型の細石核である。

C2トレンチでは、表土（表面採集含む）および埋土から石器20点（安山岩製5点・黒曜石製15点）が出土した。

図6-8は安山岩製で幅広の縦長剥片を素材とするナイフ形石器としたが、剥片尖頭器とみるべきかもしれない。図6-3は大型の石刃を用いた安山岩製の剥片尖頭器で、基部および先端部・刃部に調整を加えるが、基部の成形がやや不明瞭である。図6-11は黒曜石製の台形石器、図6-10は黒曜石製のドリルである。

D1トレンチでは、表土から石器1点（黒曜石製の剥片）が出土した。また埋土から石器10点（すべて安山岩製）が出土した。いずれも剥片、チップのため別表に記載していない。

D2トレンチでは、表土（表面採集含む）および埋土から石器50点（安山岩製33点・黒曜石製17点）と縄文土器片・中世～近世の青白磁片が出土した。

写真図版21-1は黒曜石製の大型の石鏃、写真図版21-2は黒曜石製の細石刃である。写真図版21-4は黒曜石製の小型の石核で、自然面を残し剥離は多方面からである。図6-9は、安山岩製で縦長剥片を素材とする細身の二側縁加工ナイフ形石器である。

D3トレンチでは、表土（表面採集含む）および埋土から石器28点（安山岩製17点・黒曜石製11点）と縄文土器片・土師器片が出土した。

写真図版21-5は安山岩製の微細剥離痕剥片である。写真図版21-6は安山岩製で縦長の二次加工剥片である。写真図版21-7は安山岩製で縦長剥片素材のスクレーパーで、両側縁に連続した二次加工が認められる。

D4トレンチでは、表土（表面採集含む）および埋土から石器114点（安山岩製57点・黒曜石製57点）と縄文土器片・土師器片・近世陶磁器片が出土した。

図6-5は横長剥片を用いた安山岩製のナイフ形石器である。写真図版21-11は、黒曜石製の二次加工剥片とも考えられるが、基部調整らしき加工がみられることから小型のナイフ形石器である可能性がある。写真図版21-17は礫面を残す黒曜石製の二次加工剥片で、側縁の一部に二次加工が施されている。写真図版21-14は黒曜石製の縦長の剥片で一側縁に微細剥離痕が認められる。写真図版21-13は黒曜石製で縦長の剥片である。両側縁に微細剥離痕が認められる。写真図版21-18は自然面を多く残す黒曜石製の石核であり、原石の可能性もある。

D5トレンチでは、表土（表面採集含む）から石器5点（安山岩製3点・黒曜石製2点：いずれも碎片・剥片）、近世磁器片が出土した。これらは、別表には記載していない。

E1トレンチでは、表土（表面採集含む）および埋土から石器12点（安山岩製7点・黒曜石製5点）が出土した。

写真図版21-21は安山岩製の石核で、剥離は多方面からで、一部に礫面を残す。写真図版21-20は安山岩製の二次加工剥片、図21-19は黒曜石製の微細剥離痕剥片で、ナイフ形石器の先端である可能性もある。

E2トレンチでは、表土（表面採集含む）および埋土から石器35点（安山岩製12点・黒曜石製22点・チャート製1点）が出土した。これらのうち、三次元で出土位置を測定したもの、および重要資料についてのみ別表に記載した。

図6-6は縦長剥片を用いた黒曜石製で小型の二側縁加工ナイフ形石器である。写真図版22-7は、黒曜石製で縦長の剥片を用いた小型のナイフ形石器の基部である可能性がある。写真図版22-1は安山岩製のスクレーパーで、欠損のため不明瞭な部分もあるが、側縁から先端にかけて二次加工が施されている。写真図版22-4は、黒曜石製の二次加工剥片だが、ナイフ形石器の基部である可能性もある。

E3トレンチでは、表土（表面採集含む）および埋土から石器29点（安山岩製15点・黒曜石製14点）と土師器片が出土した。

写真図版22-11は背面に礫面を残す安山岩製の石核で、剥離は多方面からである。写真図版22-10も背面に礫面を残す安山岩製の石核で、剥離は多方面からである。一部に二次加工されたような剥離もある。写真図版22-9

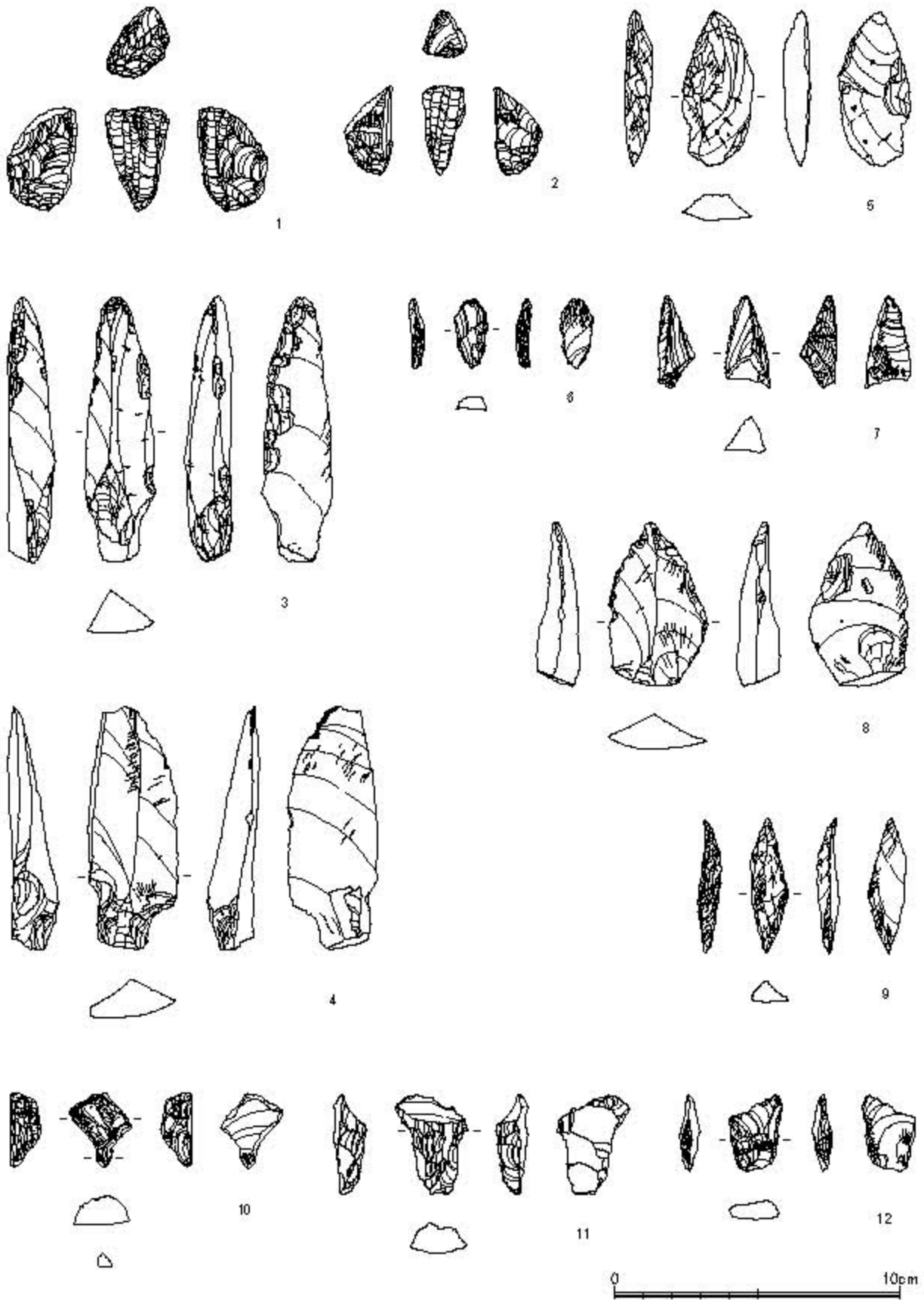


図6 確認調査出土石器（1/2）

は黒曜石製の細石刃である。

E4トレンチでは、表土（表面採集含む）および埋土から2点の石器が出土した。このうち、埋土出土の石器のみ別表に記載した。写真図版 22-12は黒曜石製の二次加工剥片である。

E5トレンチでは、表土（表面採集含む）および埋土から石器18点（安山岩製9点・黒曜石製9点）が出土した。

図6-2は石ヶ元型の黒曜石製の細石核である。写真図版 22-14は安山岩製の石核で、剥離は多方面からである。

F1トレンチでは、表土から石器3点（安山岩製1点・黒曜石製2点）と縄文土器片が出土した。写真図版 22-15は、安山岩製の二次加工剥片で、基部に礫面を残し、一側縁および先端部に二次加工を施す。

G1トレンチでは、表土（表面採集含む）および埋土から石器81点（安山岩製35点・黒曜石製48点）と縄文土器片・底部糸切の土師器片が出土した。

図6-12は黒曜石製の台形石器で、素材の打面（礫面）と打痕が残る。写真図版 23-10は礫面を残す黒曜石製の石核で、打面調整の後、剥離している。写真図版 23-6は剥片素材の安山岩製のスクレーパーで、先端近くに二次加工を施す。写真図版 23-4は礫面を残す黒曜石製のスクレーパーで、両側縁に粗い二次加工を施す。写真図版 23-5は黒曜石製のスクレーパーで、二側縁に細かい剥離を連続的に施す。写真図版 23-2は礫面を残す黒曜石製の台形石器である。

G2トレンチでは、表土（表面採集含む）および埋土から石器104点（安山岩製45点・黒曜石製59点）と縄文土器片・土師器片が出土した。写真図版 23-18～20は黒曜石製の細石刃である。

写真図版 23-24は黒曜石製の二次加工剥片で、側縁の一部に抉り状の加工を施す。写真図版 23-25は礫面を残す黒曜石製の石核で、上下両方からの剥離の後、打面調整が施されている。4～5cmほどの原石であったと思われる。写真図版 23-11、12、14は安山岩製の石鎌、写真図版 23-13、15～17は黒曜石製の石鎌である。

3 調査区の設定と調査方法

本調査の調査区は、遺構・遺物の出土状況等を勘案し設定した。1区は、遺跡域を東西に分断する谷部の南端、2A区は谷部東岸の調査対象地区東端近く、2B区は2A区の南東側の低い狭小な段丘面、3区は谷部西側の調査対象地区内の最高所の平坦面にそれぞれ設定した（図7）。

1区は、遺跡域を東西に分断する谷部の南端に設定した。遺跡域を東西に分断する谷部については、確認調査の際、トレンチの設定箇所が少なく、内容が不明であったことから、本調査に際し、まず調査対象範囲にトレンチを設定し内容を判断しながら、調査範囲を絞り込んでいった。その結果、谷部の南端付近に設定した5トレンチ以外では、遺構・遺物とも確認されなかったため、結果的に調査区は5トレンチを拡張しながら設定することになり、これを1区とした。調査に際しては、5トレンチの土層を観察するとともに、遺物が出土しなくなる層まで掘下げ、調査方針を決め全体の調査に着手した。なお、本報告に際しては、土層の記録、分析試料の採取地点等々に5トレンチの名称をそのまま用いている箇所もある。

2A区は、前述した谷部の東岸のうち、東端近くに設定した。2A区の周辺についても、1区と同様、調査前の情報が不足気味であったため、あらかじめトレンチを設定し、遺物の分布範囲および遺物包含層を把握した上で調査区を設定した。具体的には、7Aトレンチ・7Bトレンチを東側に拡張する形で調査区を設定することとなった。

2B区は、2A区の南東側の低い狭小な段丘面に設定した。この段丘面についても、確認調査の際にトレンチが設定されておらず情報がなかったため、あらためてトレンチを設定した。調査対象地が狭小な段丘面であったことから、設定したトレンチを拡張することが難しく、トレンチの範囲が、すなわち本調査範囲となった。

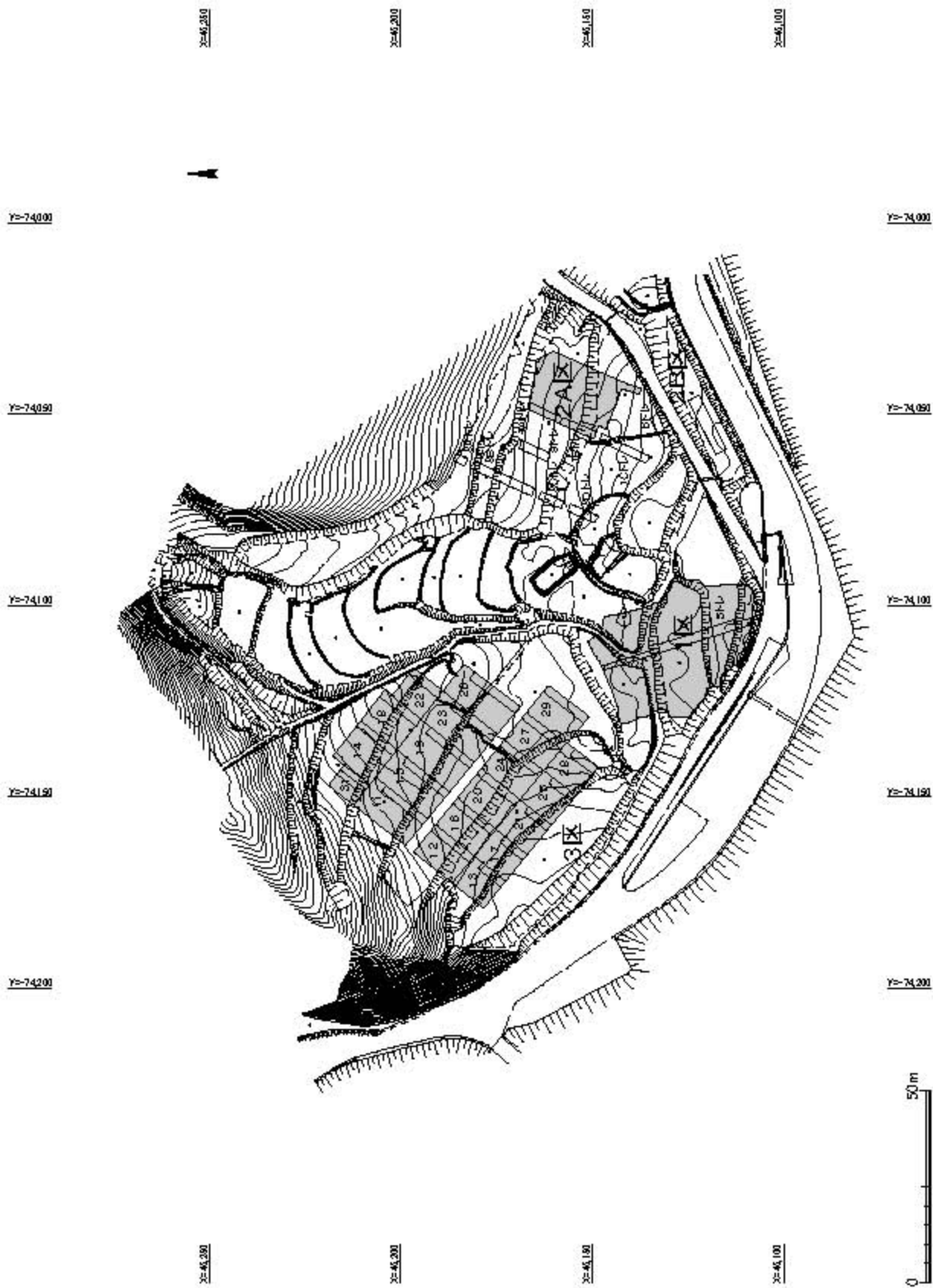


図7 調査区・区画・トレンチ配置 (1/1,500)

3区は、谷部西側の調査対象地区内の最高所の平坦面に設定した。3区に関しては、確認調査で得られた情報に加え、1区・2A区の調査で得られた知見を参考にし、当初から範囲を決めた上で調査に臨んだ。調査範囲内には、定期的にトレンチを設定し、土層を観察するとともに、遺物が出土しなくなる層を確認した後、各トレンチを拡張しながら調査を進めた。したがって、各トレンチ番号が、そのまま区画番号となった。

なお、2A区に隣接する6トレンチ、7Cトレンチ、8Aトレンチ、8Bトレンチ、8Cトレンチ、8Dトレンチ、9トレンチ等々については、遺物の出土状況その他を勘案した結果、トレンチ調査にとどめ、範囲を拡張しなかったのだが、これらの内容については、トレンチ名をそのまま用いて報告した。

調査に際しては、各調査区とも、耕作土や近現代の堆積土等は重機により除去した。その後、人力により掘下げを行ったわけだが、基本的には、移植ゴテを用い、深さ5cmを目途に面的に掘下げていった。出土遺物については、原則として、すべて光波測量機を用いて、出土位置を三次元で記録しながら取上げを行った。

遺物の取上げ番号については、調査箇所が容易になるよう工夫したが、調査地点が期間的に前後した箇所があり、結果的に、1区は184～4811・4872～17775、2A区・2B区および8A・8B等のトレンチは4812～4871・20001～23648、3区は30001～71127となった。

上述したように、基本的に、耕作土や近現代の堆積土はあらかじめ除去したのだが、部分的に除去しきれなかったものが残っており（1区1・2層、2A区1層、3区1・2層）、これらの層から出土した遺物の中には、出土位置を三次元で記録せずに「〇層一括」として取上げたものもある。ただし、これらについても、重要と考えられる遺物については、報告書に掲載した。

4 遺跡の層序

地蔵平遺跡で確認された層序は、1区が14枚、2A区が17枚、2B区が18枚、3区が8枚で、これらを区ごとに上から順に1層、2層、3層…とした。また、層によっては細分したものもあるが、その場合は、例えば9a層、9b層…とした。以下、各調査区およびトレンチの層序について、概要を説明する。

1区は、調査対象地の南端で、調査区を東西に分断する谷部の出口あたりに位置する。調査区内の最高所と最低所は、調査前の比高差で7m近くにおよぶ。土層の堆積は、地形にほぼ沿っており、概観すれば北から南に向けて傾斜しているということになるが、実のところ、傾斜しているのは北側近くだけで、南側の大部分はほぼ水平である。

1区の土層については、図19に示したとおりである。1・2層は近現代の堆積土、3・4層は縄文時代の遺物包含層で黒褐色～黒色土である。基本的には、5a層以下が旧石器時代の遺物包含層と考えるが、5a層・5b層・6層には縄文時代の遺物が数点ずつ含まれる。縄文時代の遺物包含層である4層からは、樹皮の影響と考えられるクラックが多く伸びており、これら5a層以下の層から出土する縄文時代の遺物については、4層から移動したものと考えている。なお、前述したとおり、1区および2区は近現代の堆積土であるが、参考のため他層と同様に出土遺物のドットマップを作成した。

9b層には始良Tnテフラ（以下AT）が含まれるが、ATは面的に広がって検出されたわけではなく、非常に小さなブロックが点々と検出されたという状況である（図46）。9b層自体の厚みが薄く、さらに9a層・9b層・9c層の分別が容易であったとは言えず、不明瞭な点はあるものの、おおよそ、ATは9b層の上面近くから検出される傾向がある。

8b層および12層は無遺物層だが、この他の層からは、最下層の14層に至るまで遺物が出土した。ただし、14層から出土した遺物は、黒曜石製の剥片1点のみで、しかも、5トレンチ内から出土していることを考えると、上層の遺物が混入した可能性は否定できない。なお、7層および8a層は遺物が極めて少ない。

2A区は、上述した谷部の東岸で調査対象地の東端近くに位置しており、北東側にそびえる急傾斜の丘陵裾部にあたる。調査前の状況で、2枚のやや広い段丘面をまたいでいる。ちなみに、調査に際しては、7Aトレンチ・7Bトレンチを東に拡張し調査区を設け、最終的に2A区とした。報告に際しては、必要に応じて、7Aトレンチ・7Bトレンチの名称を用いることもある。

土層の堆積は、地表面の傾斜と同様に、緩やかに北から南に向けて傾斜しているが、北端近くに若干の段差が認められる。また、東西方向についてみると、わずかではあるが、西から東に向かって傾斜している。

2A区の土層は、図122に示したが、このうち、1層は表土、2層・3層は縄文時代の遺物包含層、4層以下が石器時代の遺物包含層である。4層より下位からは、縄文時代の遺物は出土していない。また、17層は無遺物層である。9層にはATが含まれる。ATは、1区のように点在するのではなく、面的に広がって検出された。ATは調査区の北側で厚く、南に向けて急激に薄くなり、調査区の南端では視認できなかった。最も厚く堆積していたのは、調査区北端の中央付近で、約20cmの厚みがあるが、樹痕の影響だろうか、ところどころに間隙がみられる。

2A区周辺の各トレンチおよび2B区についてだが、2A区との土層の対応は表2のとおりである。おおよそ、5層あたりまでは、各トレンチとの対応が把握できるのだが、それ以下の層になると、対応を把握するのが難しい。また、2A区の9層、つまりATを含む層との対応が確認できるのは8A～8Dトレンチの14層だけである。この層では、土層図を記録した面には表れないものの、調査時にATが視認されている。

2A区の調査区内には、大きいものでは径5～6mにもおよぶ巨石が多数横たわっていた。この巨石は、北西～南東に向けて連なっているように見え、土石流等により運ばれてきたものと考えられる。

2A区	1層	2層	3層	4層	5層	6層	7層	8層	9層 (AT)	10層	11層	12層	13層	14層	15層	16層	17層
6トレンチ			4層	5層													
7Cトレンチ	1層	2層	3層	4層	5層												
8A・8B・8C・ 8Dトレンチ		2層	3層	4層	6層			7層	14層								
9トレンチ	1層	2層	3層	4層	5層												
2B区			3層														

表2 2A区と各トレンチ・2B区の土層の対応

3区は、調査区域を東西に分断する谷部の西岸上に位置し、複数の段丘面をまたいでいる。これら段丘面は比較的広く、それぞれはかなり平坦である。3区の北西側は、丘陵の尾根筋に向けて高くなっており、東側は、上述した谷に面している。また、南東側の1区の間には3m前後の段丘崖がある。さらに、南西側には、道路敷設の際の開削も加味されて出来上がったのであろうが、約8mほどの断崖が形成されている。3区は、このような急斜面や断崖等に囲まれた、丘陵の尾根からやや下った比較的平坦な場所に位置しており、おおむね北東から南西に向けて傾斜する。

3区の土層は図197～199に示したが、1層および2層が表土、3層が縄文時代遺物包含層、4層が旧石器時代遺物包含層、5層以下は遺物は極めて少ない。このうち4層については、AT前後～細石刃期の遺物が混在して出土しており、二次的な遺物の移動が激しいことがうかがえる。

4層については、調査区の北東壁周辺および北西壁で精査した結果、4上層・4中層・4下層に細分できた。4中層・4下層は、調査区の北西側から流出したと考えられる泥流の堆積物で、層の中には礫が位置（高さ）に統一性をもたずに混在している。この泥流の痕跡は、調査区全体で把握されたわけではなく、調査区の南東部ではせん

滅し確認されていないが、一部には、同時異層と考えられる砂層が確認されている。

これら4層の細分を行った箇所は一部に留まったため、断定的なことは言い難いが、遺物の大部分は4上層に相当する高さから出土していること、また、それより下位の4中層から出土する遺物についても、4上層に極めて近い高さから出土していること等を勘案すると、遺物包含層は4上層だけであると考えてよさそうである。なお、分析の結果、4上層からは、ATが確認されている。ということで、4上層が、上述した旧石器時代遺物包含層に該当するわけだが、これも上述したとおり、遺物はAT前後～細石刃期の時期幅をもっており、出土状況や堆積環境等を勘案すると、遺物の二次的な移動が大きいものと考えられる。

5 遺構の認定と観察

地蔵平遺跡の調査では、1区および2A区において、計70箇所の石器ブロックを設定した。これら石器ブロックは、調査中に認識したものではなく、すべて整理作業の段階において、机上で設定したものである。層ごとに、1mメッシュを設定し、その中に何点の石器が分布するかを色の濃淡で表し、色の濃い部分(=石器の集中部)を明確化させ、これを元にドットマップ上に範囲を設定した。最終的な範囲の設定は、整理担当者の視覚作業による。具体的には、1m四方の中に石器が1～4点、5～9点、10～29点、30～49点、50点以上ある場合の5段階に分け作業を行った(図8)。

石器ブロックは、1区では4層以下、2A区では3層以下の層について検討し設定した。1区については、4層は縄文時代の遺物包含層ととらえられるのだが、遺物の出土状況(出土数・分布等)が、3層とは極端に異なり旧石器時代の遺物包含層である5層の様相と類似することから、4層についてもブロックを設定した。また、2A区についても、3層は縄文時代の遺物包含層ととらえられるが、1区と同様の理由でブロックを設定した。なお、2B区および各トレンチについては、調査区が狭小で分析が困難であること、また、3区については、旧石器時代の遺物包含層である4層は、前項で述べたように遺物の二次的な移動が大きいと考えられ、AT前後～細石刃期の時期幅をもった遺物が混在していること等から、石器ブロックの設定作業を行っていない。

旧石器時代の礫群は、1区～3区で計10基が確認されたが、これらは全て調査中に認定したものである。礫群の認定基準については特になく調査員の主観によるが、言うまでもなく、礫の出土する範囲が明らかに周辺部と分離できることが要件となっている。これら礫群のうち、1区および2A区の9基については、礫の大きさ、赤色化の度合い(被熱の度合い?)および黒色の付着物(焦げか)の有無を各個別図に示した。

また、縄文時代の集石遺構については、2A区から1基が確認されたが、これについても礫群同様、調査中に認定したものである。礫の被熱度合いおよび黒色の付着物(焦げ?)の有無を個別図に示している。

この他、1区から旧石器時代の不明遺構5基、2A区から同じく旧石器時代の土坑1基、3区から縄文時代の土坑6基が、それぞれ確認された。

なお、遺物のドットマップについては、全調査区について、遺物が出土したすべての層について作成した。石器と土器が出土した層については、これらの分布状況を示すとともに、石器についての石材産地別の分布状況および器種別の分布状況を示した。また、石器だけが出土した層については、同じく石材産地別の分布状況および器種別の分布状況をそれぞれ示した。本書では、旧石器時代および縄文時代の遺物を分別してドットマップを作成していないため、特に1区については、6層までは、両時代の遺物が同じマップ上に掲載されている。ただし、時代が識別できる遺物については、その内容を一覧表およびドットマップに反映させた。

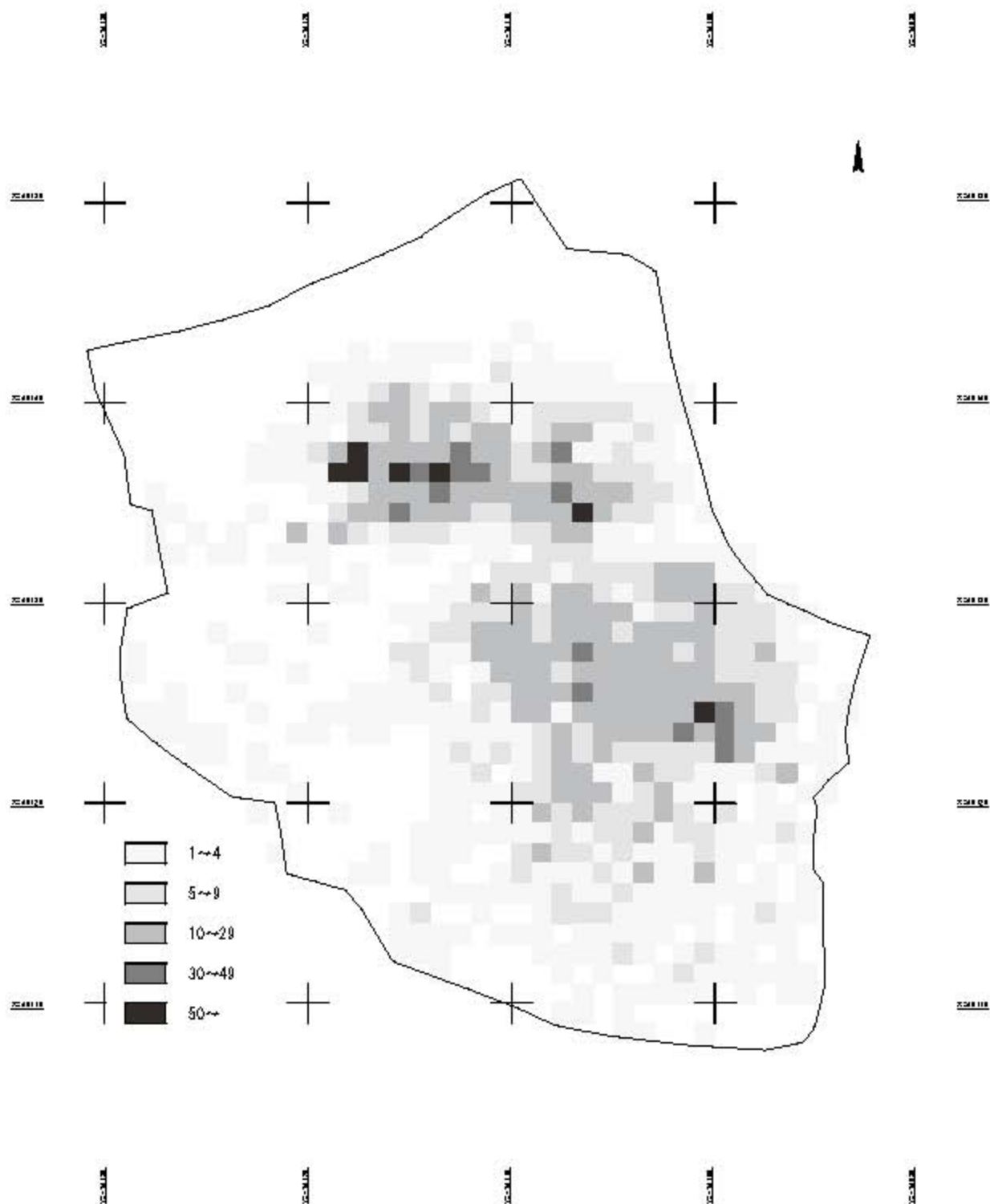


図8 石器ブロック設定のための分布と密度

6 石器石材分類・接合作業・母岩分類の概要

出土した石器については、石器全点を対象に石器石材分類を行うとともに、極小のチップを除いた石器を対象に接合作業・母岩分類を行った（母岩分類は1区・2A区のみ実施）。

まず、石器石材分類に着手したが、分類に先立ち、一部の資料について、佐賀大学文化教育学部角縁進先生に肉眼による石材鑑定および蛍光X線による産地同定を行っていただいた（同定資料＝写真図版225・226）。蛍光X線による産地同定で結果が得られ、さらに肉眼での識別が可能な資料を基準資料とし、整理担当者が視覚的に分類を行った。肉眼での識別が可能な資料とは、具体的には黒曜石ということになるのだが、整理担当者が分類した際の基準は下記のとおりである。なお、黒曜石⑤（辛田産）、黒曜石⑥（針尾牛ノ岳産）については、蛍光X線分析においては識別されたのだが、視覚的には、それぞれ黒曜石①および黒曜石③と識別することは困難であった。そのため、分析対象となった個体以外に関しては、黒曜石⑤は①に、黒曜石⑥は③に、それぞれ含まれている。ちなみに、一覧表・ドットマップ等には、下記の丸囲いの数字を用いて表している。

黒曜石①：腰岳産。漆黒色。良質なものが多いが、白色の不純物を含むものもある。視覚的に識別困難な黒曜石⑤（辛田産）が含まれる。

黒曜石②：椎葉川産。半透明質で乳白色、明るい黄白色、灰白色。原石は小型の円礫で、剥片や製品も小型のものが多い。

黒曜石③：針尾島産。青灰色、暗灰色、明灰色。色調、質感、礫面等の特徴に変化が多いことから、針尾島内の複数産地のものが含まれていると考えられる。明灰白色のものは一見、椎葉川産のものに近いが、椎葉川産のものが明るい。礫面が蜂の巣状のものもある。視覚的に識別困難な黒曜石⑥（針尾牛ノ岳産）が含まれる。

黒曜石④：小国産。漆黒色だが、部分的に茶褐色にくすんだ部分がある。白色の球類を多く含む。フィッシャーの入り方が腰岳のものとは異なる。

黒曜石⑤：辛田産。分析で1点確認された。卵大の小円礫。視覚的には黒曜石①（腰岳産）と識別困難。

黒曜石⑥：針尾牛ノ岳産。分析で2点確認された。暗灰色。視覚的には黒曜石③（針尾島産）と識別困難。

黒曜石⑦：赤色の縞模様が入る。2点確認（接合資料）。阿蘇熔結凝灰岩（象ノ鼻）か。

黒曜石⑧：産地不明。いわゆるガラス質安山岩。表面は安山岩だが、部分的に明灰色でガラス質。

黒曜石⑨：産地不明。識別不能。上記1～8のいずれにも当てはまらないもの。

次に、接合作業だが、まず、各層ごとに2.5×2.5m程度の範囲を一単位と設定し（3区は5.0×5.0m）、範囲内での接合関係を確認、次に、隣接する範囲との接合関係を確認した。その後、さらに、石器ブロック内での接合関係を重点的に確認したが、上下の層でも、平面的に同じ位置にあるブロックについては、層をまたいで作業を行った。なお、接合作業は、極小チップは作業対象としていない。接合関係が確認された資料＝接合資料については、各区各層の土器・石器分布図、石材・産地分布図、各層各ブロックの器種・母岩分布図に、接合資料相互を線で結んで示した。ただし、複数の層をまたぐ接合資料については、関係する層のうち最上層の図のみに示しており、他の層の図には表していない。

母岩分類については、上記した石器石材分類や接合作業の結果を参考にしたうえで、各ブロック内で石器の色調や含有物という視覚的な共通点または相違点を見極めながら整理担当者が行った。分類に際しては、極小チップは対象としていない。なお、複数の石器について同一母岩であることを認定する際、石器相互が接合されれば、これらは、同一母岩であることが確実に証明されることになる。つまり、2点（1組）の接合資料があれば、これらは

同一母岩だということになるのだが、ここでは、2点以上の接合資料＝母岩としているわけではない。接合関係を考慮しつつ、視覚により同一母岩と考えられる石器を選別し、これらのうち、おおむね4点以上（大型の石器については2点以上）のものについて母岩と認定した。母岩別資料の内容については表3～6に、接合資料の内容については別表4・7・10（データ・写真編）にそれぞれ記す。

7 石器の分類について

地蔵平遺跡から出土した石器の分類について、特に留意されたいものについて付記しておく。

・ナイフ形石器

剥片の鋭利な縁辺を刃部とし、他の縁辺に刃潰しのための二次加工を施す石器。それと判るものについては、今峠型・狸谷型等の型式名を一覧表に記載するとともに、必要に応じて本文にも用いた。

・台形石器

「平面形が台形を呈し、石器の主軸に対して直交する刃部を一端にもつ剥片石器。刃部には第1次剥片によって得られた素材剥片の鋭い縁辺をあてる。素材や形状の違いから台形様石器と台形石器に区別されることもある」（『旧石器考古学辞典』学生社 2000年）とされるが、実際に両者を明確に分離することは難しく、本書では、これらに類する資料をも一括して「台形石器」と表しておく。

・スクレーパー

素材の側縁の1/2以上に連続した調整を施し、調整した部分を刃部とした石器。調整の部位は、一側縁だけでなく、両側縁や基部・縁辺全体におよぶものもある。削器・掻器とされるもので、石器の形態には統一性はなく不定形である。そのため、本分編では、削器・掻器を一括して「スクレーパー」と表す。ただし、一覧表の備考欄には、わかるもののみ削器・掻器の分別を記載している。

・二次加工剥片

剥片の側縁の1箇所以上に明瞭な二次加工を施す石器。二次加工の幅が一定程度長ければ、スクレーパーとなる。二次加工が部分的に留まるものも多く、加工の意図が明確でないものも多い。

・微細剥離痕剥片

剥片の縁辺に微細な剥離痕がある石器。意図的な剥離ではなく、使用痕（刃こぼれ）と解する。剥離痕の状態によっては、スクレーパーや二次調整剥片との分別が困難である。

また、石材については、黒曜岩を「黒曜石」、無班晶質安山岩を「安山岩」と呼び、それぞれOb、Anの略号で表す。チャート・流紋岩等、その他の石材については、そのまま表す。

石器の略号については、下記のとおりである。なお、下記以外の石器については、略号を用いず名称をそのまま使用する。

細石核：MC、細石刃：MB、剥片尖頭器：剥尖、角錐状石器：3P、ナイフ形石器：KN、
台形石器：TP、スクレーパー：スク、彫器：GB、ドリル：DR、二次加工剥片：RF、
微細剥離痕剥片：MF、石核：CR、微細剥離痕のある石刃：MF(BD)、石刃：BD、原石：RS、
剥片：FK、チップ：CP、石鏃：AP、石槍：PT、石匙：IS、SS：削器、ES：掻器

表3 1区 黒曜石母岩分類

母岩 No.	層	※P	方位	柱面の性状	境界の性状	点状	内容	柱面状況	柱面内容 (欄外番号)	実測回もしくは写真で記録した欄外 (欄外番号)	備考
1	9a	3・4・5	尾岳	透輝少・流石少・まばらに白い不規則	角礫少	46	KN(1点), PF(2点), MF(1点), EK(3点), CP(4点)	3 透(6点)	MF(No.13633), EK(No.13009, 13494, 13828, 14343, 17145)	KN(No.17150), PF(No.6295, 13471, 13792), EK(No.13009, 13494, 14343, 17145)	
2	9a	4	尾岳	透輝少・流石多・不規則無	-	10	KN(1点), CR(1点), EK(2点)	3 透(7点)	CR(No.14283), EK(No.13801, 13802, 13895, 14281, 14282, 14284)	KN(No.14285), CR(No.14283), EK(No.13801, 13802, 13895, 14281, 14282, 14284)	
3	9a	5	尾岳	透輝多・流石少・結晶に不規則	-	11	KN(2点), CR(1点), EK(2点)	2 透(4点)	KN(13225, 13516, 14301, 15822)	KN(No.14958, 14454), CR(No.14949), EK(No.13516, 16822)	
4	9a	6	尾岳	まばらに白い不規則	角礫少	11	CP(1点), EK(2点), CP(1点)	3 透(6点)	EK(No.13222, 14364, 14365, 14679, 14682, 16367)	CP(No.14963), EK(No.13222, 16367)	9c 透 1点含む
5	9a	4	尾岳	透輝少・流石少	-	13	TP(1点), PF(2点), MF(1点), EK(5点), CP(3点)	-	-	TP(No.14272), PF(No.5925, 14252), MF(No.13845)	
6	9a	4	尾岳	透輝少・流石多・歪斜の不規則	-	6	ED(1点), EK(5点)	1 透(2点)	EK(No.13811, 13812)	ED(No.13738)	
7	9b	12	尾岳	透輝少・流石多・白い不規則	-	9	EK(4点), CP(5点)	1 透(2点)	EK(No.15744, 15749)	EK(No.15754)	
8	9b	9	尾岳	透輝少・流石多	円礫少 境界白色	6	スラ(1点), MF(2点), EK(3点)	-	-	スラ(No.14930), MF(No.15504, 16148)	
9	9b	3・5	尾岳	透輝少・流石多・歪斜の不規則	-	7	EK(5点), CP(1点)	-	-	EK(No.14419, 16027)	
10	9b	7・8	尾岳	透輝少・流石少・まばらに白い不規則	-	13	ED(3点), EK(7点), CP(3点)	2 透(5点)	ED(No.5895, 14166, 15026), EK(No.5887, 5944)	ED(No.5895, 14166, 15026), EK(No.5887, 5944)	
11	9b	12	尾岳	透輝少・流石多・歪斜の不規則	-	16	KN(1点), EK(3点), CP(7点)	-	-	KN(No.15758)	
12	9b	10	尾岳	透輝多・流石多・歪斜の不規則	-	7	EK(2点), CP(4点)	1 透(2点)	EK(No.13695, 14201, 14938)	EK(No.13695, 14201, 14938)	
13	9b	12・13	尾岳	透輝少・流石少	円礫少 境界白色・白点 径10mmの円礫 境界白色	11	PF(1点), MF(2点), EK(5点), CP(2点)	-	-	PF(No.16301), MF(No.16599, 16703)	
14	9b	8	尾岳	透輝少・流石少・不規則無・歪斜の不規則	-	5	CP(1点), EK(4点)	1 透(5点)	CR(No.15950), EK(No.6276, 15585, 15610, 16217)	CR(No.15950), EK(No.6276, 15585, 15610, 16217)	
15	9b	8	尾岳	透輝少・流石少・不規則無	径5mmの黒円礫 境界白色	5	CP(1点), EK(4点)	1 透(5点)	CP(No.15424), EK(No.15200, 15604, 15985, 16111)	CP(No.15424), EK(No.15200, 15604, 15985, 16111)	
16	9b	8	尾岳	透輝少・流石少・歪斜の不規則	-	8	KN(1点), CP(1点), MF(ED)(1点), EK(5点)	-	-	KN(No.14170), CP(No.16280), MF(ED)(No.16060)	9c 透 1点含む
17	9b	8	尾岳	透輝多・流石多・不規則無・歪斜の不規則	-	18	KN(1点), MF(3点), ED(2点), EK(12点)	3 透(6点)	MF(No.16095), ED(No.15453, 15970), EK(No.15201, 16072, 16094)	KN(No.13779), MF(No.16069, 16095, 16119), ED(No.15453, 15970), EK(No.16094)	9c 透 1点含む
18	9b	8	尾岳	透輝多・流石多・不規則無・結晶無	-	19	EK(12点), CP(7点)	-	-	-	
19	9c	4	尾岳	透輝少・流石少・まばらに白い不規則・歪斜の不規則	-	12	EK(10点), CP(2点)	-	-	-	№.10 と隣接?
20	9c	4・5	尾岳	透輝少・流石少・不規則結晶に歪斜を含む	-	17	MF(1点), EK(14点), CP(2点)	1 透(2点)	EK(No.17290, 17291)	EK(No.16495, 17363)	
21	9d	1	尾岳	透輝多・流石多・歪斜の不規則	円礫少	11	MF(3点), EK(6点), CP(2点)	-	-	MF(No.6174, 16320, 16337)	
22	9d	1・2	尾岳	地質学に属比・歪斜の不規則	-	13	PF(4点), MF(0点), EK(5点), CP(0点)	-	-	PF(No.16342, 16482, 16506, 17270), MF(No.16482)	
23	9d	1	尾岳	透輝多・流石多・歪斜の不規則	-	10	KN(1点), EK(3点), CP(1点)	-	-	KN(No.13382)	

表3 1区 黒曜石岩分群

母岩 No.	層	※P	所在地	剖面の特徴	境界の線画の体裁	点数	内容	採合状況	採合内容 (層番号)	実測目もしくは写真記録した層画 (層番号)	備考
24	9d	1・2	尾岳	透輝成層・片麻岩等・おすかに不規則・大きな結晶塊	-	6	PK (6点)	1層(2点)	PK No.16390, 16678	PK No.16390, 16678	9e層 35 1点含む
25	9e	4	尾岳	透輝成層・片麻岩・おすかに白い不規則・結晶塊	-	9	RF (1点), MF (1点), CP (1点)	-	-	RF No.16817, MF No.13333	
26	9e	4	尾岳	透輝成層・片麻岩・白い不規則・結晶塊	角縁か	8	RF (2点), PK (4点), CP (2点)	-	-	RF No.13345, 16799	
27	10d	1・2	尾岳	透輝成層・片麻岩等・白い不規則多	-	6	TP (1点), MF (2点), PK (2点)	-	-	TP No.17519, MF No.17094, 17482	
28	10d	1・2	尾岳	片麻岩の多い灰色に紫色	円縁 境界線の凹凸	7	CP (1点), PK (5点), CP (1点)	-	-	CP No.17048	
29	4	1	物部川	半透輝成層の乳白色・片麻岩等・おすかに不規則・大きな結晶塊	-	12	MP (1点), PK (6点), CP (5点)	-	-	MP No.3223	
30	4	1	物部川	片麻岩等・片麻岩等・おすかに不規則・大きな結晶塊	-	9	MP (1点), PK (5点), CP (3点)	-	-	-	
31	4	5	物部川	半透輝成層の乳白色・片麻岩等・おすかに不規則・大きな結晶塊	-	6	MP (1点), PK (2点), CP (3点)	-	-	-	
32	4	4・6・7・8	尾岳	結晶～灰色に紫色・透輝成層・片麻岩等	-	11	MP (1点), RF (1点), PK (9点)	-	-	MP No.10645, RF No.11352	
33	4	3	尾岳	透輝成層・片麻岩等・結晶塊	-	7	PK (6点), CP (1点)	-	-	-	
34	4	5	尾岳	透輝成層・片麻岩	円縁 境界線の凹凸	11	PK (6点), CP (3点)	-	-	-	
35	5a	1	尾岳	透輝成層・片麻岩・まばらに白い不規則	円縁か	17	MP (1点), MF (2点), PK (9点), CP (5点)	-	-	MP No.6533, MF No.6879, 6899	
36	5a	1	尾岳	透輝成層・片麻岩等・透輝成層・おすかに白い不規則	角縁か	5	PK (6点)	1層(2点)	PK No.7031, 7070	PK No.6997	
37	5a	1	尾岳	透輝成層・片麻岩・結晶塊無	-	12	MP (5点), PK (3点), CP (4点)	-	-	-	
38	5a	2	尾岳	透輝成層・片麻岩・おすかに白い不規則・結晶塊	-	8	PK (8点)	-	-	-	
39	5a	2	尾岳	透輝成層・片麻岩	-	12	MP (1点), PK (6点), CP (5点)	-	-	MP No.7991	
40	5a	2	尾岳	透輝成層・片麻岩・おすかに不規則・結晶塊	-	9	MP (1点), PK (5点), CP (3点)	1層(2点)	CP No.5021, 5022	MP No.7963	
41	5a	2	尾岳	透輝成層・片麻岩等・透輝成層・おすかに白い不規則・大きな結晶塊	角縁か	12	TP (1点), PK (6点), CP (5点)	-	-	TP No.8270	
42	5a	2	尾岳	透輝成層・片麻岩等・おすかに白い不規則・大きな結晶塊	-	12	PK (10点), CP (2点)	2層(5点)	PK No.8011, 8615, 8766, 8769, 12461	PK No.8011, 8615, 8766, 8769, 12461	8層 1点, 6層 12点 6層
43	5a	6・7	尾岳	透輝成層・片麻岩・まばらに白い不規則	円縁 境界線の美状	5	CP (1点), PK (3点), CP (1点)	-	-	CP No.12676	
44	5a	5・6	針尾	片麻岩・まばらに白粒	円縁 境界線の美状	5	PK (6点)	-	-	-	
45	5a	7	物部川	半透輝成層の白濁の結晶塊	-	5	PK (2点), CP (2点)	-	-	-	
46	6	1・6	尾岳	透輝成層・片麻岩・おすかに白い不規則	-	6	TP (1点), MF (3点), PK (1点), CP (1点)	-	-	TP No.8706, MF No.7218, 8622, 8695	
47	6	2・3・4・5	尾岳	透輝成層・片麻岩・大きな白い不規則多	-	18	MP (1点), MF (2点), PK (13点), CP (2点)	1層(2点)	MF No.5856, 5857	MP No.11802, MF No.5856, 5857	
48	6	4	尾岳	透輝成層・片麻岩	径3cm程度の 小円縁か	7	PK (4点), CP (3点)	1層(2点)	PK No.5840, 11084	-	
49	6	3・4・5	針尾	ミウの多い透輝成層・白い不規則	円縁か 境界線の美状	5	PK (2点), CP (2点)	-	-	-	

※P=平直ブロック

表4 1区 安山岩母岩分類

母岩 No.	層	※3	断面の産状	構造の産状	点数	内容	採合状況	採合内容 (標本番号)	光面回もしくは浮遊名保持した標本 (標本番号)	備考
1	9a	3・4	灰色・白砂・黒多引塊	角礫・凹凸少・深い結核・多引塊	18	CP (1点), ED (1点), EK (5点), CP (7点)	2 塊 (5点)	CP (No.13900), ED (No.13486), EK (No.13487, 13496, 13490)	CP (No.13900), ED (No.13486), EK (No.13496)	
2	9a	4	灰色・ボラボラ・白結核ばら	角礫・凹凸少・深い結核	11	EK (3点), CP (2点)	1 塊 (2点)	EK (No.5914, 11897)	EK (No.5914, 11897)	
3	9a	2	灰色・不規則砂	浅い凹凸	13	EK (4点), CP (9点)	-	-	-	
4	9a	3・5	暗い灰色・ツルツル・不規則砂・結核少	角礫・多引塊・浅い結核の凹凸	17	EF (2点), EK (15点)	1 塊 (4点)	EF (No.15850), EK (No.12942, 12943, 12949)	EF (No.15850), EK (No.12942, 12943, 12949, 12959, 14474)	9a 層ブロック5 5点含む
5	9a	4	灰色・ボラボラ・不規則砂	浅い凹凸	7	EK (5点), CP (1点)	-	-	-	
6	9a	5・6	オリーブ灰色・ツルツル・わずかに粗い結核	-	5	EK (1点), CP (4点)	-	-	-	
7	9a	4・5	暗い灰色・ボラボラ	角礫・凹凸少	12	EK (3点), CP (4点)	2 塊 (4点)	EK (No.13239, 13245, 14907, 16319)	EK (No.13239, 13240, 16319)	
8	9a	4	暗い灰色・ボラボラ	-	8	EK (6点), CP (2点)	-	-	CP (No.5902)	
9	9a	3・5・6	暗い灰色・ツルツル・細い結核多	角礫・凹凸少	15	MF (1点), EK (5点), CP (3点)	2 塊 (4点)	MF (No.13519), EK (No.13456, 13478, 14229)	EK (No.13227, 13478, 14229)	
10	9b	1	灰色・白不規則砂・細い結核多	角礫・凹凸少・表面めらめら	19	EK (11点), CP (8点)	2 塊 (4点)	EK (No.13037, 13153, 14213, 17099)	EK (No.13037, 13153, 14213, 17099)	
11	9b	12	灰白色に黒北・ボラボラ	大型塊砂・凹凸少・表面めらめら	11	EK (7点), CP (4点)	2 塊 (4点)	EK (No.15701, 15710, 15751, 16293)	-	
12	9b	11	オリーブ灰色・ボラボラ	角礫・凹凸少・表面めらめら	21	ED (1点), EK (11点), CP (9点)	1 塊 (2点)	EK (No.13531, 13548)	ED (No.13538), EK (No.13531, 13548)	
13	9b	1・2	灰白色・ツルツル・不規則砂	角礫・凹凸少・多引塊	25	MF (9点), EK (18点), CP (6点)	3 塊 (6点)	MF (ED) (No.13099, 14724), EK (No.13100, 13112, 13126, 13417)	MF (ED) (No.13099, 14724), EK (No.13100, 13112, 13126, 13417)	ブロック外1点含む
14	9b	1	暗い灰色	凹凸少・多引塊	6	EK (5点)	1 塊 (2点)	EK (No.13147, 15105, 15327)	EK (No.13147, 15105, 15327)	
15	9b	1・2・3	灰色・わずかに結核	凹凸少・多引塊	29	EK (25点), CP (4点)	2 塊 (8点)	EK (No.13129, 14391, 14392, 14393, 14558, 15827, 15828, 16029, 16034, 16036)	EK (No.13129, 14391, 14392, 14393, 14558, 15827, 15828, 16029, 16034, 16036)	
16	9b	3	灰白色・結核	-	16	EF (1点), EK (6点), CP (9点)	1 塊 (2点)	EK (No.16037, 17495)	EF (No.13449), EK (No.16037, 17495)	10c 層ブロック1 1点含む
17	9b	2	オリーブ灰色・ボラボラ・細い結核	大きい凹凸	8	EK (5点), CP (3点)	-	-	-	
18	9b	2	暗い灰色	凹凸少	13	EK (3点), CP (5点)	1 塊 (3点)	EK (No.13098, 14544, 14540)	EK (No.13098, 14544, 14540)	
19	9b	8	灰色・結核・白粒・わずかに結核	凹凸少・多引塊	8	スクレーパー (2点), EK (5点), CP (1点)	1 塊 (2点)	スクレーパー (No.6400, 15056)	スク (No.6400, 15056)	
20	9b	2・8	灰白色・ボラボラ・不規則砂・結核	-	5	MF (1点), EK (2点), CP (1点)	-	-	MF (No.15964)	
21	9b	8	暗い灰色・ボラボラ・微細白結核・わずかに結核	角礫・凹凸少・表面めらめら	20	EK (15点), CP (5点)	4 塊 (3点)	EK (No.6281, 14179, 15068, 15080, 15595, 16009, 16010)	EK (No.6281, 14179, 15068, 15080, 15595, 16009, 16010)	9a 層ブロック外1点含む
22	9b	8	暗い灰色・わずかに白粒・結核多	角礫・凹凸少・多引塊	8	EF (1点), MF (2点), EK (5点)	1 塊 (2点)	EK (No.16001, 16240)	EF (No.16099), MF (No.16222, 16236), EK (No.16001, 16240)	
23	9b	8	暗い灰色・結核多	凹凸少	11	MF (1点), EK (7点), CP (3点)	-	-	MF (No.16183), EK (No.16195, 16294)	

表4 1区 安山岩母岩分類

母岩 No.	層	※B	断面の体相	結晶の体相	結晶の表面の体相	点数	内容	採合状況	採合内容 (層番号)	実測回もしくは写真記録した層号 (層番号)	備考
24	9b	8	緑の原色・ツルツル・ わずかに結晶		角礫・凹凸少	21	RF (17点), CP (4点)	-	-	RF (No.16098, 16171, 16180)	
25	9d	2	灰白色・ボラボラ		-	7	RF (2点), CP (5点)	-	-		
26	9d	1	オリブ原色・ボラボラ・ わずかに結晶		-	11	RF (7点), CP (4点)	-	-	RF (No.16313)	
27	9e	4	灰白色・ボラボラ		-	7	RF (3点), CP (4点)	-	-		
28	9e	4	緑の原色・細い結晶		凹凸少	8	RF (8点)	-	-		
29	9e	4	オリブ原色・ボラボラ		-	5	RF (2点), CP (3点)	-	-		
30	9e	1	緑の原色・結晶		粗角礫・凹凸少	9	RF (1点), RF (2点), CP (5点)	1点 (2点)	RF (No.17451), RF (No.17017)	RF (No.17451), RF (No.17017)	
31	9e	3	灰白色・ボラボラ・わずかに不規則		-	8	RF (4点), CP (4点)	1点 (2点)	RF (No.16395, 16907)		
32	9e	5	灰白色・ボラボラ・不規則多		-	13	RF (1点), RF (5点), CP (7点)	1点 (2点)	RF (No.16571), CP (No.16570)	RF (No.16795)	
33	10c	2	緑の原色・斜紋・細い不規則		角礫・大粒・ 凹凸少・ 表面めくれ	41	RF (3点), RF (2点), RF (26点), CP (10点)	5点 (14点)	RF (No.17624, 17625, 17657), RF (No.17659, 17660), RF (No.17538, 17542, 17550, 17563, 17616, 17620, 17630, 17631, 17649)	RF (No.17624, 17625, 17657), RF (No.17659, 17660), RF (No.17538, 17542, 17550, 17563, 17616, 17620, 17630, 17631, 17649)	
34	4	1・2・3・ 7	緑の原色・ツルツル・太い結晶		凹凸少・多角礫	17	RF (1点), RF (12点), CP (4点)	1点 (4点)	RF (No.3889), RF (No.3625, 3648, 3754)	RF (No.3889), RF (No.3625, 3648, 3754)	
35	4	1・3・5・ 6・7・8	オリブ原色・結晶		凹凸少・多角礫	14	スケレナー (1点), RF (12点), CP (1点)	-	-	スケ (No.12401)	
36	4	1・2・3・ 8	緑の原色・ボラボラ・細い不規則		-	9	RF (1点), RF (1点), CP (1点)	1点 (2点)	RF (No.3598, 3601)	RF (No.12209), RF (No.3648)	
37	4	2	緑の原色・細い白結晶		-	8	RF (7点), CP (1点)	1点 (2点)	RF (No.3640, 3641)	RF (No.3429)	
38	4	1・3・6	原色・ツルツル・まばらに結晶		-	8	RF (8点)	-	-		
39	4	2・3・5	緑の原色・ボラボラ・白粒・ わずかに結晶		-	7	RF (6点), CP (1点)	-	-		
40	4	3・4・5	褐色気味の原色・わずかに結晶		凹凸少	6	RF (1点), RF (5点)	-	-	RF (No.4448)	
41	4	4・5・6	緑の原色・ツルツル		-	8	RF (8点)	-	-		
42	4	1・4・ 3・4	緑の原色・斜紋		-	51	スケレナー (1点), RF (36点), CP (14点)	-	-	スケ (No.3784)	
43	4	1・4・ 6・8	オリブ原色・ボラボラ・多角礫		角礫・凹凸少	8	RF (7点), CP (1点)	-	-		
44	4	3・5・7	原色・ボラボラ		凹凸少・多角礫	9	RF (9点)	-	-		
45	4	7	緑の原色		凹凸少	10	RF (1点), RF (7点), CP (2点)	-	-	RF (No.11350)	
46	4	6・8	原色・ツルツル		凹凸少	8	RF (5点), CP (3点)	-	-		
47	4	7・8	原色・ボラボラ・微細な白粒		凹凸少	8	RF (4点), CP (4点)	-	-		
48	5a	1	オリブ原色・ボラボラ・褐色不規則・ 結晶		角礫・凹凸多・ 多角礫	5	RF (1点), RF (2点), CP (2点)	1点 (3点)	RF (No.6325), RF (No.6577, 6702)	RF (No.6325), RF (No.6577, 6702)	
49	5a	1・2	原色・ボラボラ		角礫・凹凸少・ 表面めくれ	7	RF (5点), CP (1点)	1点 (2点)	RF (No.4901, 6465)	RF (No.4901, 6465)	
50	5a	1・2	原白色・ボラボラ		凹凸少	7	スケレナー (1点), RF (4点), CP (2点)	-	-	スケ (No.7044)	
51	5a	1	緑の原色・斜紋		-	6	RF (1点), RF (3点), CP (1点)	-	-	RF (No.12753)	
52	5a	2	白原色・ボラボラ・多角礫		凹凸少	9	RF (1点), CP (8点)	-	-		

表4 1区 安山岩母岩分類

母岩 No.	層 No.	※3	打面の体相	構造の体相	点数	内容	採合状況	採合内容(備付番号)	実測回もしくは予定を保持した測回 (備付番号)	備考
53	5a	2	緑の灰岩・ツルツル	凹凸少	6	PK (4点) CP (2点)	-	-	-	
54	5a	2	オリブ灰岩・ツルツル・多孔質	凹凸多	10	PK (3点) CP (7点)	-	-	-	
55	5a	2	緑の灰岩・ツルツル・まばらに大きな孔・結晶多	-	6	PK (4点) CP (2点)	-	-	-	
56	5a	2	オリブ灰岩・ツルツル	-	8	PK (6点) CP (2点)	-	-	-	
57	5a	1・2	オリブ灰岩・ツルツル・多孔質	角礫・凹凸少	18	PK (12点) CP (6点)	-	-	PK (No.8108)	
58	5a	1	灰岩・斜紋・わずかに不規則・わずかに結晶	-	9	PK (4点) CP (5点)	-	-	-	
59	5a	3	暗灰白色・ツルツル	凹凸少	13	PK (8点) CP (5点)	-	-	-	
60	5a	5・6	灰岩・ツルツル	凹凸少	6	PK (6点)	-	-	-	
61	5a	6・7	灰岩・ツルツル・孔まばら・結晶多	角礫・凹凸少	5	PK (5点)	-	-	-	
62	5b	1	緑の灰岩・孔まばら	凹凸少	6	PK (6点)	-	-	-	
63	6	1	緑の灰岩・ツルツル・わずかに斜紋・孔・まばらに大きな結晶	角礫・凹凸少	6	PK (6点)	-	-	-	
64	6	3・4・5・6	灰白色・ツルツル	-	14	PK (3点) CP (11点)	-	-	-	
65	6	5・6	オリブ灰岩・ツルツル・うすい灰色不規則	円礫・凹凸少	14	PK (1点) PK (10点) CP (3点)	3塊(7点)	PK (No.11655) PK (No.8805, 8894, 9186, 9306, 11540, 11658)	PK (No.11655), PK (No.8805, 8894, 9186, 9306, 11540, 11658)	ブロック外1点含む
66	6	4・5	暗灰白色・ツルツル・斜紋結晶	凹凸少	5	PK (2点) CP (3点)	1塊(2点)	PK (No.11621, 11904)	PK (No.11621, 11904)	
67	6	5	緑の灰岩・ツルツル・太い結晶	-	18	PK (15点) CP (3点)	2塊(4点)	PK (No.9037, 9044, 11845, 11853)	-	ブロック外1点含む
68	6	5・6	オリブ灰岩・ツルツル・わずかに結晶	-	5	CR (4点) PK (4点)	-	-	CR (No.11637)	
69	6	6・7	緑の灰岩・斜紋・不規則多	凹凸少	10	PK (4点) CP (6点)	-	-	-	
70	6	6・7・8	暗灰白色・ツルツル	-	9	PK (5点) CP (4点)	-	-	-	
71	6	7	オリブ黒色	大型角礫・凹凸多	9	PK (8点) CP (1点)	1塊(5点)	PK (No.10756, 10987, 11380, 11381, 11685, 11686)	PK (No.10756, 10766, 10987, 11380, 11381, 11685, 11686)	ブロック外1点含む
72	6	8	灰白色・ツルツル・多孔質	-	4	PK (1点) CP (3点)	-	-	-	

※3 - 打面ブロック

表5 2A区 黒曜石母岩分類

母岩No.	層	※B	所在地	打面の特徴	構成の特徴	点数	内容	採合状況	採合内容 (遺物番号)	未開掘もしくは予定が採合した遺物 (遺物番号)
1	4	1・2	狛尻	明るい灰白色・透明感強・ 光沢無・結晶粗	黒円錐・多孔・ 採面なめらか	6	EX (5点)	2組 (5点)	EX (No.20493, 20659, 20779, 20786, 21672)	EX (No.20493, 20659, 20779, 20786, 21672)
2	4	1・2	狛尻	黒灰色・透明感少・光沢やや有・ 細かい白粒多・結晶粗	黒凸者・円錐少	8	EX (3点)	-	-	EX (No.20603, 21652)
3	4	1・2	狛尻 (川橋川?)	黒灰色・透明感少・光沢有・ 細かい白粒多・細い結晶粗	黒凸者・円錐少	6	EX (5点)	-	-	-
4	4	1・2/ 3層B2/ 5層B1・2・外	狛尻	黒灰色・透明感無・光沢強・顕定・不 規則少・わずかに細い結晶粗	縦線状の黒状・ 円錐	25	CR (4点), EX (21点)	4組 (6点)	CR (No.20518, 20617, 20619, 21581), EX (No.20630, 20632, 21559, 22695)	CR (No.20518, 20617, 20619, 21581), EX (No.20630, 20632, 21559, 22695)
5	4	2・B外	狛尻	くすんだ黒色・透明感少・ 光沢無・顕定・不規則少・結晶粗	黒凸者・多孔・ 円錐少	7	EX (7点)	1組 (2点)	EX (No.20548, 21956)	EX (No.20548, 21956)
6	4	1/4層B2/ 5層B1	狛尻	黒灰色・透明感やや有・光沢やや有・ 大きな白粒まばら・うすい結晶粗	黒凸者・多孔・ 円錐・ 径7~8cmほどの 円錐	7	CR (2点), EX (5点)	2組 (4点)	CR (No.20494, 20495), EX (No.20667, 20881)	CR (No.20494, 20495), EX (No.20667, 20881)
7	5	1・B外/ 3層B外/ 4層B1・2	小田	鉄黒・透明感少・光沢有・顕定・白色 鉄粒多・茶褐色の結晶粗	円錐少	10	CR (1点), EX (3点), CP (1点)	1組 (5点)	CR (No.20545), EX (No.20829, 22650, 22735, 22892)	CR (No.20545), EX (No.20629, 22650, 22735, 22892)
8	4	2/ 5層B1	狛尻	黒灰色・透明感少・光沢有・ 顕定・うすい灰色の結晶粗	黒凸者・多孔・ 円錐・ 径6~7cmの	7	EX (7点)	1組 (2点)	EX (No.20532, 20866)	EX (No.20532, 20866)
9	4	1・2	黒岳	透明感やや有・光沢有・ 結晶粗	円錐少	6	CR (1点), EX (4点), CP (1点)	-	-	CR (No.20491), EX (No.21265)
10	4	2・3	黒岳	透明感少・光沢有・ 大きな白粒・結晶粗	-	7	CR (2点), スクレーパー (1点), RF (1点), EX (2点)	-	-	CR (No.22047, 22318), スクレーパー (No.21976), RF (No.21207)
11	4	1・2	黒岳	透明感少・光沢有	黒凸少	5	スクレーパー (1点), RF (1点), EX (2点)	-	-	スクレーパー (No.21596), RF (No.20870)
12	5	1・2/ 4層B1	黒岳	黒色・光沢有・細かい白粒多・ 結晶粗	黒凸少・ 採面なめらか	5	MEF (1点), EX (4点)	-	-	MEF (No.20928), EX (No.22614)
13	15	1/ 15層B1	狛尻 (川橋川?)	黒灰色・透明感少・光沢有・ 白粒まばら・うすい結晶粗	黒凸少・ 採面なめらか	6	EX (5点)	-	-	EX (No.23503)
14	15	1/ 15層B1	黒岳	透明感やや有・光沢有・白粒多	黒凸多	9	CR (1点), EX (8点)	1組 (2点)	EX (20294, 23045)	CR (No.23110), EX (20294, 23045)
15	15	1	黒岳	透明感少・光沢有・白粒多・ 褐色の大きな結晶粗	黒凸多	5	EX (5点)	-	-	EX (No.23238, 23262)
16	15	1	黒岳	透明感有・光沢有	-	10	MEF (2点), EX (8点)	-	-	MEF (No.23174, 23284), EX (No.23200)

※B = 採合ブロック

表6 2A区 安山岩母岩分類

母岩No.	層	ブロック	断面の形態	構造の概要	点数	内容	採合状況	採合内容 (標本番号)	実測もしくは写真で採合した標本 (標本番号)
1	3	1・2	塊状・ツルツル	塊状・ツルツル	9	RF (6点), CP (1点)	-	-	RF (No.21023)
2	4	1・2/ 5層B1・B外	灰白色・ギラギラ・多孔質	角礫・ 表部なめらか	12	RF (12点)	2組 (4点)	RF (No.21494, 21667, 21688, 22726)	RF (No.21494, 21667, 21688, 22726)
3	4	1・2/ 3層B2	白色・ギラギラ	-	10	RF (9点), CP (1点)	-	-	-
4	4	1・2	暗灰白色・ツルツル	表部なめらか	6	RF (6点)	1組 (4点)	RF (No.21582, 21762)	RF (No.21582, 21762)
5	4	2・B外	灰色・ツルツル・結晶粗多	角礫・大型か・ 多孔	4	RF (1点), スケレナー (1点), RF (1点), CP (1点)	1組 (4点)	RF (No.22277), RF (No.22255)	RF (No.22277), スケレナー (No.22313), RF (No.22255)
6	4	1・2/ 5層B1・B4	暗灰色・緻密・塊状結晶粗	-	10	RF (10点)	2組 (4点)	RF (No.20535, 20541, 20604, 22438)	RF (No.20535, 21240, 21899)
7	4	2・B外	灰色・ツルツル	大型か	6	RF (2点), MF (1点), RF (1点)	1組 (4点)	RF (No.20221), RF (No.20457)	RF (No.20221, 21779), MF (No.20538), RF (No.20457, 21122)
8	4	1・2 3層B1/ 5層B1	オリーブ灰色・ギラギラ	-	13	RF (1点), RF (1点), CP (1点)	-	-	RF (No.20519)
9	4	2・3/ 5層B4	暗灰色・緻密	大型か	8	RF (8点)	1組 (4点)	RF (No.22877, 22888)	RF (No.22877, 22888)
10	4	1・2/5層B1	オリーブ灰色・ギラギラ・塊状結晶粗	角礫・凹凸少	8	RF (1点), RF (7点)	1組 (4点)	RF (No.20531, 20622, 21554, 22443)	RF (No.20544), RF (No.20531, 20622, 21554, 22443)
11	3	2・3/ 4層B2/ 5層B1・2	暗灰色・ツルツル・うすい白結	大型の角礫・ 凹凸少・ 表部なめらか	5	RF (5点)	1組 (4点)	RF (No.20168, 20621, 22595)	RF (No.20168, 20621, 22291, 22535)
12	4	1・2/ 5層B2	暗灰色・緻密・塊状結晶粗多	-	8	RF (1点), スケレナー (1点), RF (6点)	1組 (4点)	RF (No.20547, 21686)	RF (No.22206), スケレナー (No.20659), RF (No.20547, 21686)
13	4	1・2/ 3層B1・2/ 5層B1・2	灰色・ツルツル・白粒多く含む・ 白い結晶粗多	角礫・凹凸少	17	RF (1点), RF (15点), CP (1点)	3組 (7点)	RF (No.20512, 20525, 20633, 20687, 22128, 22239, 23255)	RF (No.22620), RF (No.20512, 20625, 20633, 20687, 22128, 22239, 23255)
14	3	3/ 4層B1・2/ 5層B1・2・4	灰色・ツルツル・ 太い結晶粗多	角礫	27	RF (1点), MF (1点), RF (23点), CP (2点)	2組 (4点)	RF (No.20112, 20525, 20651, 22214)	RF (No.21485), MF (No.21750), RF (No.20112, 20525, 20651, 20770, 22214, 22815)
15	5	2	灰白色・ツルツル	凹凸少	4	RF (4点)	1組 (4点)	RF (No.22542, 22545)	RF (No.22542, 22545, 22628)
16	5	4	オリーブ灰色・ギラギラ・うすい結晶粗	凹凸少・ 表部なめらか	5	RF (5点)	2組 (4点)	RF (No.22874, 22903, 22910, 22919)	RF (No.22874, 22903, 22910, 22919)
17	4	3/ 5層B3・4	オリーブ灰色・ギラギラ	-	13	スケレナー (1点), RF (1点), RF (11点)	2組 (4点)	スケレナー (No.22918), RF (No.22911, 22913, 22917)	RF (No.22645)
18	5	1・2/ 3層B3/ 4層B2	暗灰色・ギラギラ・ 塊状結晶粗・うすい結晶粗	大型の円礫	25	RF (2点), RF (22点), CP (1点)	1組 (4点)	RF (No.22588, 22615, 22629, 22772)	RF (No.20173, 22135), RF (No.22205, 22558, 22615, 22629, 22772)

※ B = 硬質ブロック

8 富士小学校保管の表採資料について

1) 資料について

佐賀市立富士小学校の郷土資料室には、佐賀市富士町大串の光照寺住職をされながら、旧富士町内を中心として踏査による遺跡調査を行った右近法真氏（1902～1987年）が採集された石器・土器等の資料が保管されている。

この資料は、右近氏が旧富士町内の各所の遺跡において、大正～昭和期のおおよそ60年間にわたり、表面採集や表面観察を行った際に採集された資料で、御遺族により佐賀市立富士小学校に寄贈され、現在に至っている。氏は地蔵平遺跡においても、精力的に遺物の表面採集を行っており、小学校には多数の石器・土器が保管されている。

右近氏が地蔵平遺跡から採集した資料は、遺跡の内容・性格等をより具体的に把握するために欠かすことができないものであることから、報告に際し、これら資料を活用することにし、一部のものについて、実測図および写真を掲載し概要を記しておく（図9～16、データ・写真編の別表2、写真図版24～31）。

2) 採集資料の概要

現在、右近法真氏によって地蔵平遺跡で採集された資料は、富士小学校に保管されている。その総計は、8,088点になる。これらを、まず肉眼観察によって、石材ごとに分類した結果、腰岳・辛田系黒曜石 3,401点、灰色系黒曜石 221点、安山岩 4,454点、珪質岩系 12点に分けられた。

さらに、器種ごとに整理した場合、腰岳・辛田系黒曜石（石核 105点、石器 158点、剥片系 412点、二次調整剥片 57点、破片 2,672点）、灰色系黒曜石（石核系 5点、石器 0点、剥片系 412点、二次調整 57点、破片系 2,672点）、安山岩（石核系 36点、石器 44点、剥片系 980点、二次調整剥片 186点、破片系 3,208点）、珪質岩系（石核系 0点、石器 0点、剥片系 8点、二次調整剥片 1点、破片系 3点）となる。このうち、腰岳・辛田系黒曜石 3,401点のうち風化の強いものは 3,234点（石材の95%）、安山岩は 3,178点（石材の72%）である。そのため、採集された腰岳・辛田系黒曜石や安山岩製の石器は、旧石器時代を主体とする資料の可能性が高い。

ここでは、右近法真氏の地蔵平遺跡採集資料から図化したものを報告する。

3) ナイフ形石器文化期を中心とする資料

ナイフ形石器（図9-1～図10-11）

図9-1～12は石刃、あるいは縦長剥片素材のナイフ形石器である。図9-1は黒曜石製の比較的厚手の石刃を素材とし、打面部を先端に設定して二側縁を加工する。図9-2も同様の二側縁加工だが、裏面（腹面）基部に両側縁より平坦調整を行っている。図9-3は素材背面の剥離は上下方向に認められる。図9-4・5の表面（背面）には礫面が残る。図9-6は石刃素材の二側縁加工で先端部が尖るように仕上げる。図9-9は安山岩製の石刃を素材とするナイフ形石器で厚い打面部を整形加工して、先端部を作り出す。図9-11は厚手の素材を使用して、片側縁部を中心に加工する。図9-12は二側縁加工だが、基部は平坦で切出し状に近い形態をとる。

図9-13・14は横長剥片を素材としている。図9-13は、国府系ナイフ形石器で、安山岩製で瀬戸内技法による横剥技術によって素材剥離を行っている。打面部を除去する調整によって、一側縁加工に仕上げる。図9-14は黒曜石製で石核のボジ面を素材に取り入れ、打面部を除去する形で加工する。片側縁に挟りを入れたような切出し状を呈しており、狸谷型ナイフ形石器として理解できる。図9-15～17は厚手の縦長剥片を使用しており、片側縁を中心に調整している。図9-15・16は安山岩製、17は黒曜石製。

図9-18～10-3は石核ボジ面を素材に取り込み、「ノ字状剥片」を素材とする今峠型ナイフ形石器に属する一群である。図9-18は端部に素材を残し、左右側縁を加工して先端部を尖らせる。図9-19はガジリにより、調整が不明瞭な箇所があるが、左右端部付近を二次加工している。図9-20・10-3は、素材を活かして僅かに調整する。

図9-21はガジリが多く刃部も明瞭でないが、素材形状から今峠型に属するものであろう。図10-1はやや寸詰まり気味の素材の左側縁を中心に調整する。

図10-4は先細りとなる素材の端部付近に二次加工する。石核小口より素材剥離が行われている、安山岩製。

図10-5～7は不定形の素材を利用した安山岩製の小型ナイフ形石器で、素材端部や側縁部に二次加工を行って仕上げている。ナイフ形石器文化終末期に属する一群であらう。図10-8～11は欠損や素材形状が不明だが、刃部の確保や二次加工の状況からナイフ形石器として扱った。32は基部を中心に加工しており、剥片尖頭器の可能性もある。

台形石器 (図10-12～21)

図10-12・13はどちらも黒曜石で、台形様石器と理解される一群である。図10-12は不定形剥片の打面部を除去するように二次加工している。図10-13は不定形の寸詰まり剥片を素材としており、打面部と端部に調整を行い平面台形状に仕上げる。

図10-14・15は、石核のボジ面を取り込んだ厚手の剥片を素材としている。図10-14は黒曜石製で素材端部に礫面を残す。打面部を腹面側からの剥離によって除去している。図10-15は背面から打面部を除去する形で二次加工を行い、対極の側縁部は腹面からの調整によって挟りを入れたように仕上げる。原の辻型台形石器に属するものである。図10-16は厚手の素材の両側縁より急傾斜の調整を行って搦状に仕上げる。図10-17は比較的整った石刃状の素材の両端部を折りとって両側を調整する。図10-17～20は黒曜石製で、調整に差はあるが百花台型台形石器に属する。図10-21は折断のみで調整は無い。

剥片尖頭器 (図11-1～図12-2)

図11-1～5は、右近氏が石槍と認識して板材に貼りつけて展示していた資料である。図11-1は表面に稜線が鎧のように一条走る、大型の縦長剥片を素材としている。ノッチ状の剥離によって基部を作出しているが、左側については、表裏面からの剥離。長さ8.4cm、幅3.6cm。板材には「1958.4.24」とあり、採集日か設置日を示すものであろう。図11-2は、打面部付近にはノッチ状の大きな剥離によって基部を作出し、さらに軸修正のため先端部付近を中心に調整して細く仕上げる。先端部を僅かに欠損。図11-3は図11-1に近い素材を使用しているが、先端部から胴部を大きく欠損する。打面を残す形で、ブランディング状に加工しながら基部を作出する。右側縁裏面には先端方向からの剥離がみられる。図11-4は、両側縁部を整形しながら先端部を作出する。図11-5は石刃状の剥片を素材とし、ノッチ状の剥離によって打面部を残す形で基部を作出する。先端部を大きく欠損する。裏面には「61.12.15」の注記がある。図11-6は基部形態から剥片尖頭器と理解できるが、石核のボジ面を取り込んだやや幅広の剥片を素材としており、技術的には今峠型ナイフ形石器に近い。図11-7・8は黒曜石製で先端部から胴部を大きく欠損している。図11-7の左側縁部には使用痕とみられる微細剥離がある。図11-8の基部付近の背面には稜線が擦れた箇所があり、装着に関する可能性がある。図12-1・2は縦長剥片を素材とし、僅かな挟りを入れて基部を作出することから剥片尖頭器として取りあげた。ただし、図12-2については、宮崎平野で確認される「北半牧型」ナイフ形石器に近い形態で注意される。

角錐状石器 (図12-3～図13-2)

素材に急傾斜の調整加工を行い、先端部を尖らせる一群である。図12-3は厚手の縦長剥片を素材として、左側縁を中心に整形する。先端部付近には一部礫面が残る。図12-4・5は黒曜石製の横長剥片を素材とする。図12-4はノッチ状の剥離によって基部を作出し、先端部に稜上調整を含めた細かい調整によって仕上げる。図12-5は背面の左上部に礫面を残す。図12-6～8は厚みがあり、断面三角形に仕上げる。図12-6は厚手の縦長剥片を素材とし、基部を中心に稜上調整が頻繁である。先端部の表裏面には衝撃剥離がある。図12-7は腹面からの急傾斜調整によって整形し、基部裏面には平坦調整がある。図12-8は基付近を中心に細かい調整をおこなっている。大きく欠損するが、器体に稜上調整は認められない。図12-9は黒曜石製で、剥片の周辺部を急傾斜調整によって

仕上げることから角錐状石器とした。図 12-10～13 は破片資料で、いずれも黒曜石製の横長剥片を素材とする。図 12-11～13 には稜上調整が見られ、本来は図 12-7・8 などに近い形になるのであろう。図 12-14 も同様の一群と見られる横長剥片素材だが、安山岩製で風化が強い。図 13-1 は板状の素材の周辺部に加工を施し先端部を作出している。図 13-2 は先端部に自然面を残しており、下半が欠損した段階で製作を放棄している。

尖頭器（図 13-3・4）

図 13-3・4 は、厚手の素材を交互剥離によって両面を調整する一群である。図 13-3 は裏面を成形した後、表面を中心に加工している。角錐状石器の未成品の可能性もある。黒曜石製。図 13-4 も裏面の成形の後、側面部の調整を行っている。中央の剥離面同士が切合う箇所は、角錐状石器の稜上剥離に近い。図 13-5・6 は、安山岩製で両端部を欠損する両面調整の槍先形尖頭器である。形態からみると、縄文草創期に属する資料であろう。

スクレーパー（図 13-7～図 14・1）

図 13-7 は、安山岩製の比較的整った石刃状の縦長剥片の左側縁部に刃部加工している。礫面を打面や側縁に残しており、石核の表皮に近い箇所より剥離されたことが分る。図 13-8 は不定形の厚手剥片を素材として、端部を中心に刃部加工している。図 13-9・14-1 は安山岩製の幅広の不定形剥片を素材としている。図 13-9 は両面に刃部加工がおよんでいる。図 14-1 は端部や左側縁部を中心に端部を加工する。左側縁部には細かな刃こぼれ状の剥離も見られる。この 2 点はナイフ形石器文化期以外の時期も想定される。

厨器（図 14-2）

厚手の縦長剥片を素材として側縁部には整形加工している。打面部を除去する形で数度の剥離を行い、端部より桶状剥離を行って溝を作出する。黒曜石製。

二次加工剥片（図 14-3）

図 14-3 は、黒曜石製で厚手の素材の打面部と左側縁を中心に二次加工している。スクレーパーとして理解して良いかもしれない。

剥片（図 14-4～10）

図 14-4 は、黒曜石製の不定形の幅広剥片で端部には礫面を残す。打面部を大きく残しており、比較的厚手の石核から剥離されている。図 14-5～10 は、安山岩製の縦長剥片の一群である。素材の一部に表皮や石核ボジ面を取り込んでおり、石核小口から剥離されたことが分る。接合は無いが、図 14-11～13 の石核と同時期と考えられる。

石核（図 14-11～15-5）

図 14-11～13 は、安山岩の分割礫を素材とした縦長剥片石核である。図 14-11 は、厚手の素材の小口から縦長剥片を剥離している。図 14-12 石核同士が接合した。どちらも無調整の平坦打面で、A から B へ作業面が左から右へ進行している。ただ、中央の剥離面はどちらの石核にも跨っており、作業途中までは一つの石核であったことが分る。図 14-13 も分割礫を素材とするが、平坦打面の端部を丁寧に打面調整している。図 15-1 は、サイコロ状の分割礫の一旦を打面として小型の縦長剥片を剥離している。作業面は一面所のみで作業は横位に移動する。図 15-2 は、板状に近い円礫の一旦に傾斜打面を設定し、小型の縦長剥片や不定形剥片を剥離している。図 15-3 は剥片を素材とする石核で無調整打面の小口より、ボジ面を取り込む剥片を剥離している。図 15-4 は、黒曜石製で厚手の剥片を素材として背面に一部調整を行っており、長さは 3 cm 程度である。正面、右側面を作業面として小型の不定形剥片を剥離している。図 15-5 は板状の石核端部より、ボジ面（底面）を取り込む幅広剥片を剥離しているが、明確な打面調整はみられない。

4) 細石刃文化期の資料

細石刃核 (図 15-6 ~ 9)

図 15-6 は背面に礫面を残す分割礫を素材とし、幅広の作業面より細石刃剥離を行っている野岳・休場型細石刃核である。傾斜する打面部には僅かに打面調整がみられる。図 15-7 は分割礫の一面に多方向からの調整によって打面を形成し、その後周辺部に石核調整を行っている。小口より細石刃剥離を試みるが失敗して廃棄されている。形態から船野型に近い。図 15-8 は作業面再生剥片である。正面観は楔形に近いが、細石刃剥離面の大きさなどから、野岳型に関するものであろう。図 15-9 は楔形細石刃核とみられる。作業面に二度の大きな剥離が認められるが、十分な細石刃は得られていない。ブランクに近い状態で遺棄されている。

削片類 (図 15-10 ~ 16-4)

いずれも楔形細石刃核に関する削片類である。図 15-10 ~ 16-1 は打面形成のための削片である。図 15-10 は両面体のブランクの端部より剥離した削片である。背面の状況から、一度目の剥離でないことが分る。図 15-11 は中央の稜線を中心にスリガラス状の擦痕がある。図 15-12・16-1 は両面体より剥離している。図 16-2 は削片と考えられるが明確な石核成形の痕跡がみられない。図 16-3・4 は作業面の形成(再生)に関する削片類である。ただし、図 16-4 は下端からの加撃により剥離しており、異質である。作業面再生以外の目的があったのかもしれない。

細石刃 (図 16-5 ~ 27)

図 16-5 ~ 16 までは頭部の資料、図 16-17 ~ 24 は中間部、図 16-25 ~ 27 は下部の資料である。比較的大型の細石刃を剥離している。図 16-5・22 などは、小石刃に近い大きさである。野岳・休場型、あるいは楔形に関する細石刃核より剥離されたとみられる。

5) 小結

右近資料には、表面採集という制約があるが、遺跡全体を復元する上で重要な情報が幾つかある。まず、AT 下位と考えることができる資料が極めて少ないことである。その可能性があるのは、台形様石器 2 点 (図 10-12・13) であり、ナイフ形石器の一部に可能性を求めたとしても、総合的にみると AT 上位の石器群と理解できる。今回の発掘調査においては、AT 下位石器群が認められることから、右近氏が資料を採集した段階には、遺跡の掘削(攪乱)が深く下位におよんでいなかったと考えられる。ここでは、主要器種を中心に資料を概観する。

まず、ナイフ形石器には幾つか種類があり、複数時期に亘って展開していることが分る。黒曜石を中心とする縦長剥片素材のナイフ形石器 (図 9-1 ~ 8・10 ~ 12)、国府系ナイフ形石器 (図 9-13)、狸谷型ナイフ形石器 (図 9-14)、今峠型ナイフ形石器 (図 9-18 ~ 10-4) などがある。このうち黒曜石製の二側縁加工ナイフ形石器の一群は、良質の石材を使用するなど、東松浦半島の上場台地の様相に近い。ただし採集資料中には、剥片や石核類が少ないなど、より消費地的な様相が強い。そして、示準石器である国府系や狸谷型ナイフ形石器については、僅か 1 点のみの出土である。近接する神崎市船塚遺跡では、瀬戸内技法関連資料が一定量出土することから、安山岩石材産地からの距離的問題とは言えない。そのため、これらを主体とする石器群の積極的な遺跡形成は無かった結果であろう。

量的にも多く確認されるのは、今峠型ナイフ形石器の一群である。「ノ字状剥片」を素材として、両側縁を対象的に調整して仕上げるものが多い。大きさは 3.5 ~ 4.0cm 程度で、1 点を除いて黒曜石製である。石核や剥片など、剥離工程を示す資料は確認できてないが、まとまりを持った一定量の出土から、ある時期において、本遺跡の主体となった石器群とみられる。

さて、この遺跡で最も注意されるのは、比較的出土量の多い剥片尖頭器である。素材形状や型式などから、石器群として少なくとも 2 時期に細分される。まず、安山岩製の大型品を中心とする一群がある (図 11-1 ~ 5)。この中には、黒曜石製の一部 (図 11-7・8) も含んで捉えることができる。特に製品に対する欠損品の出土量は多く、

剥片尖頭器の消費地での在り方を示しているとみられる。これに対して、素材が縦長剥片ではないものや、小型品の一群がある（図 11- 6・12- 1・2）。素材形状や調整加工から、今峠型ナイフ形石器とさほど遠くない時期が考えられる。剥片尖頭器の終末期の様相であろう。

ところで、同じ尖頭器である角錐状石器については、黒曜石製の小型品が多い。老松山遺跡などでみられるような比較的古い時期から認められる、大型三面加工品がない点は注意される。そのため、本遺跡の角錐状石器は、剥片尖頭器に後出する時期が主体とみられ、遺跡内における尖頭器としての両者の関りは少ないと考えられる。

ナイフ形石器の終末期に近い石器群も幾つかみられる。まず、石核小口から剥離された縦長剥片類（図 14- 5～10）とそれに対応する石核（図 14-11～13）がある。石核のボジ面を取り込み、小口から縦長剥片を剥離する技術は、大分県岩戸遺跡 6 層上部などに類例がある。

さらに注意されるのは、小型ナイフ形石器の一群（図 10- 5～7）である。ナイフ形石器は、安山岩の石材を使用した不定形剥片に二次加工を行っているが、調整や形態に規則性は認められない。この製品に対応する石核は、接合は無いが図 15- 1 や 15- 2 とみられる。平坦打面から剥離したサイコロ状の石核や、傾斜打面を持つ扁平な板状石核から小型の剥片を剥離している。おそらく図 15- 4 もこの一群に含めて良いであろう。これらは、平戸市堤西幸田遺跡第 IV 文化層石器群や筑紫平野の原の東遺跡 9a 層石器群と共通しており、終末期のナイフ形石器群と理解される。この一群と、先に述べた、縦長剥片とその石核類の時間的な前後関係については時間差とみるか、同時期と捉えられるのか不明だが、本遺跡において両者が確認された意義は大きい。ただし、この終末期ナイフ形石器群に後続する細石刃石器群については、断片的である。野岳・休場型の 2 点以外は、楔形細石刃核の削片類が多い。

以上の石器群を、時間軸上において整理してみたい。まず、AT 降灰直後として、石刃素材の二側縁加工ナイフ形石器と剥片尖頭器を中心とする石器群が挙げられる。事例としては、福岡平野の有田遺跡 6 次石器群がある。特に本遺跡の安山岩製の大型剥片尖頭器の一部（図 11- 1）は、型的にみても有田遺跡例に近い。また、本遺跡で確認された狸谷型ナイフ形石器の一部もこの時期に含まれる可能性がある。そして、この剥片尖頭器群に後続して、主体となるのが黒曜石を主体とする今峠型ナイフ形石器である。瀬戸内技法盛行以後に位置づけられ、また剥片尖頭器の終末段階とも重複するであろう。さらに、今峠型ナイフ形石器に続いて小型角錐状石器の一群が位置づけられる。これらは、再び縦長剥片石器群が優勢となる、終末期ナイフ形石器群の直前に比定される。そして、ナイフ形石器文化終末期には、小型ナイフ形石器や縦長剥片剥離技術を持つ一群が比定される。特に、安山岩の石材を持ち込んだ遺跡内での石器製作や石材消費は、終末期の様相を示している。

以上のように石器群をみると、ナイフ形石器文化、細石刃文化期をとおして断続的ではあるが、石器群が存在しており、本遺跡が幾度か、人類活動の拠点になったことが分る。そのため、これら石器群が、発掘調査資料の補完的役割をもつ可能性は高いと考えられる。

6) その他の重要資料

彫器（図 16-28）

厚い縦長剥片を素材とした彫器である。「長野県境附近」と注記がある。いわゆる九州型に含まれる。左側面に 2 回の挿状剥離を行った後、再び先端部を細調整して、右側面に 2 回の挿状剥離を行っている。また、両側縁の中央付近には、2ヶ所の微細剥離が認められる。長さ 4.25cm、幅 2.0cm、厚さ 0.8cm、重さ 6.23g。腰岳産とみられる黒曜石製である。

局部磨製石斧（図 16-29）

いわゆる「神子柴型」と呼ばれる局部磨製石斧である。「一九六七、春 垣内(畑)磯岸工事中 小ヶ蔵姉川薫氏」と注記されており、右近氏に持ち込まれた採集資料であろう。背面へは両側縁からの急角度剥離によって成形をおこなっており、一番高い中央付近で器体を減じるための稜上調整を行っている。そのため、やや扁平の断面三角形

となる。また、腹面は成形剥離の後、細かな整形を行っている。丸盤状の片刃となる刃部の形成は、先端から中央付近へ向けて数度の縦方向剥離を行い、その後稜線を磨き落としている。そのため、神子柴型石斧の技術的基準は満たされている。先端には、使用によるとみられる歯こぼれがある。発掘調査資料にも、同様の「神子柴型」石斧が出土しており、両者の関係が注目される。本資料は、富士地域周辺の縄文文化の始まりを考える上で重要である。長19.7cm、幅5.5cm、厚さ2.8cm、玄武岩製。

7) 右近法真氏について

右近法真氏は、富士町大串の光照寺住職の傍ら、富士町を中心に大正期から昭和初期に遺跡調査を行っていた人物である。調査は、全て徒歩による踏査であり、旧富士町を中心に広範囲の遺物採集と表面観察を行っている。およそ60年間に集積された資料は、現在、佐賀市富士小学校郷土資料室に保管されている。採集遺跡は30箇所におよび、総数で1万点を超える資料であり、詳細な採集履歴やその位置が分る貴重なものである。今回、発掘調査を実施した地蔵平遺跡の資料を補完する意味でも重要である。

右近法真氏は、明治35年(1902)に北山村大串(現在の佐賀市富士町大串)の光照寺右近家長男として誕生した。大正4年(1915)の大野尋常小学校6年時、先史時代に興味を抱いたという。その後、大正10年(1921)に京都の龍谷大学に進学して、本格的に歴史を学び始める。しかし大学2年時に父が亡くなり、大学を中退して、実家の寺を住職として継ぐこととなった。以後、一貫して富士地域の歴史を明らかにするために、遺跡踏査を行っていった。昭和30年代(1960年代頃)には、寺に「光照寺郷土原始古代文化室」を開設して、地元の人びとに自らの活動を公開して、地域の遺跡の重要性を説いていった。さらに昭和40年代(1960年代)には、富士町に考古室が設置され、また調査成果の一部を『富士町誌』に執筆された。そして、昭和62年(1987)に85歳で亡くなられた。その後、資料は、平成7年(1995)に富士小学校に遺族より寄贈され、現在に至っている。

氏が、先史学を志したきっかけを知る上で貴重な資料がある。郷里に戻って住職となって間もない頃、地元北山村の新聞、『北山公論』に3回にわたって執筆した、「有史以前の北山(1)～(4)」がある。その内容は、当時の人類学会、考古学界の動向を理解した上で、北山地域において、有史以前となる石器時代にどのような民衆がすんでいたかを研究する重要性を述べている。そして、50年余前の江戸時代に採集された石斧を京都帝国大学の濱田耕作博士に送っている。その分析に時間を要することや、研究方法においては鳥居博士の著書を選んで学んだという。そして、石斧の出た場所の地層を観察して、古代民族生存の遺跡として好適地としている。さらに、民族論を中心としながらも日本人の起源についても言及している。

おそらく大学で学んだ数年の間、本格的に歴史学を学んでいく上で必要な、最新の学界の問題にも精通する基盤が生まれたのであろう。こうした氏の問題意識や、当時の学界の最新情報を踏まえた上での踏査活動が、富士地域において着実に実施されていったと考えられる。その資料に対する認識は適格であり、氏の研究活動が学界へ広く報告されていたら、研究の歴史も違った形で展開していった可能性もあろう。

参考文献

- 右近吉業(1926)「有史以前の北山(1)、(2)」『北山公論』13号
- 右近吉業(1926)「有史以前の北山(3)」『北山公論』14号
- 右近吉業(1926)「有史以前の北山(4)」『北山公論』13号
- 右近法真(1968)「原始」『富士町誌』富士町誌編纂委員会
- 葛川川ダム建設に伴う学術調査委員会(2000)『葛川川ダム建設に伴う学術調査報告書』富士町教育委員会
- 佐賀県教育委員会(1964)『佐賀県の遺跡』佐賀県文化財調査報告書第13集
- 富士町誌編さん委員会(1968)『富士町誌』富士町教育委員会
- 富士町教育委員会(2003)『富士町内遺跡発掘調査報告書平成7年度～13年度』富士町文化財調査報告書第2集
- 吉留秀敏「北山の「かもしみち」、大野先学右近法真氏とその業績」『シンポジウム 地蔵平遺跡からよみがえる水何時代の大地』平成22年8月29日
- ※右近法真氏の略歴など、活動に関する情報は吉留秀敏氏の作業によるところが大きい。

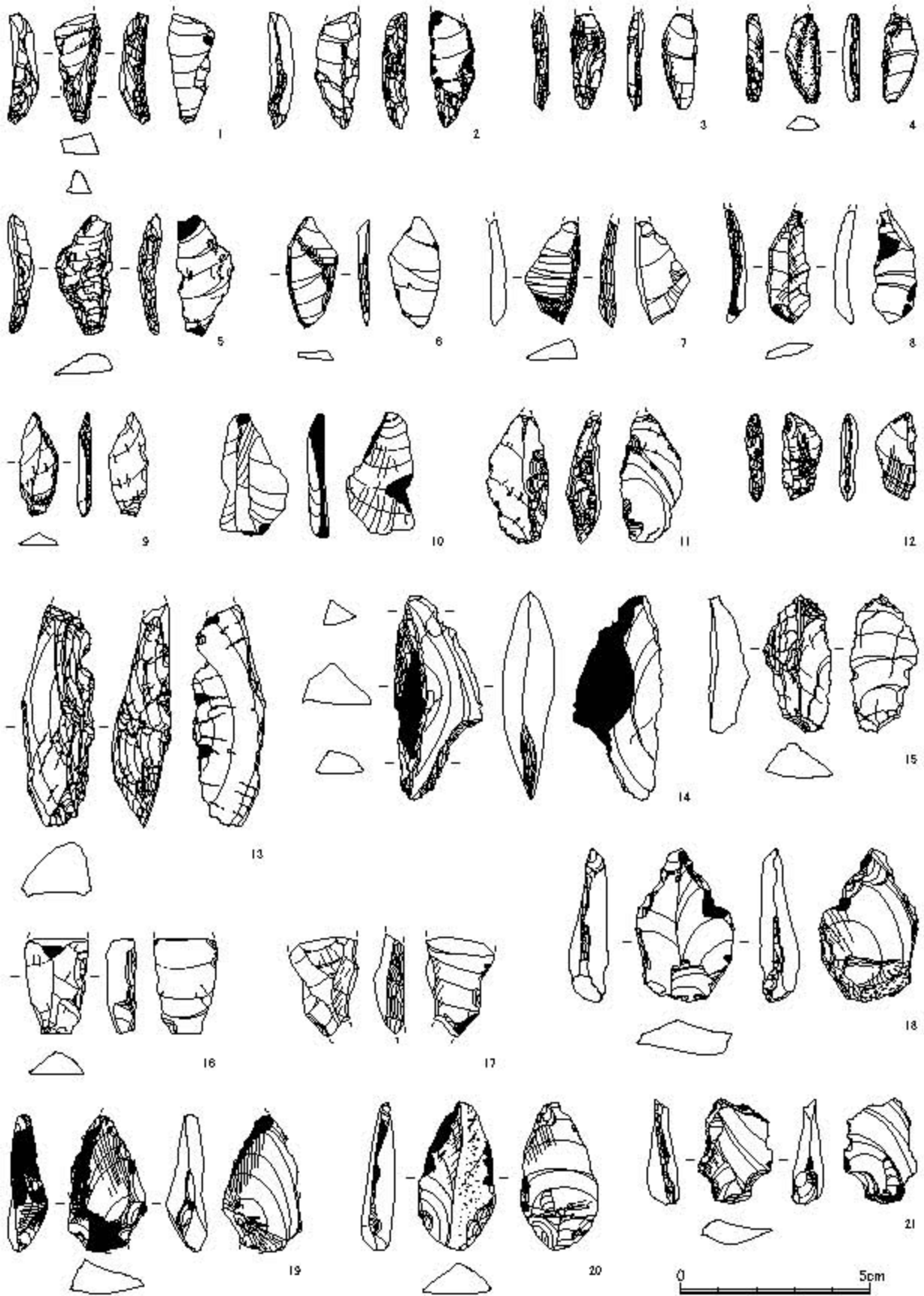


図9 富士小学校保管石器1 (3/5)



图10 富士小学校保管石器2 (3/5)

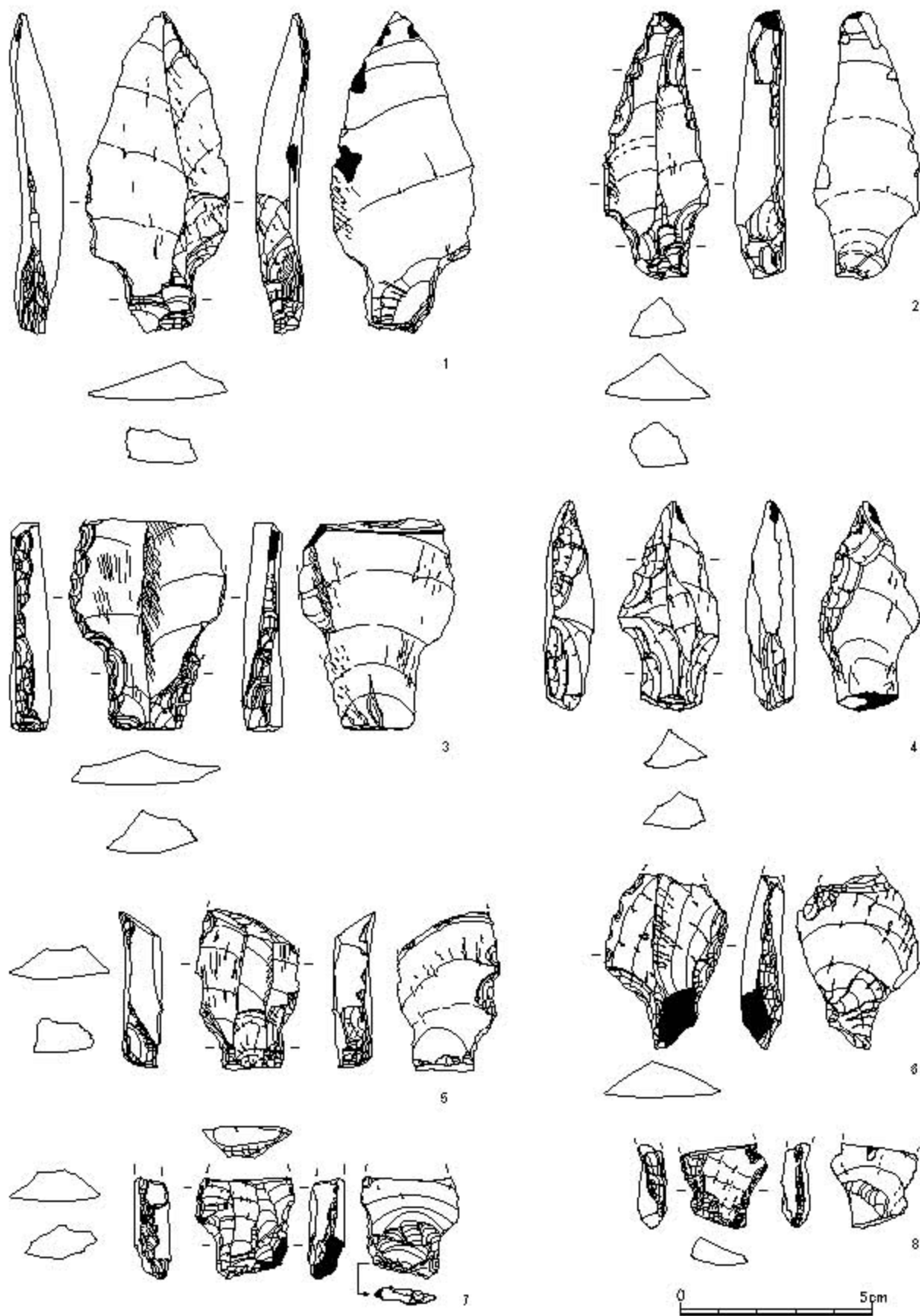


图 11 富士小学校保管石器 3 (3/5)

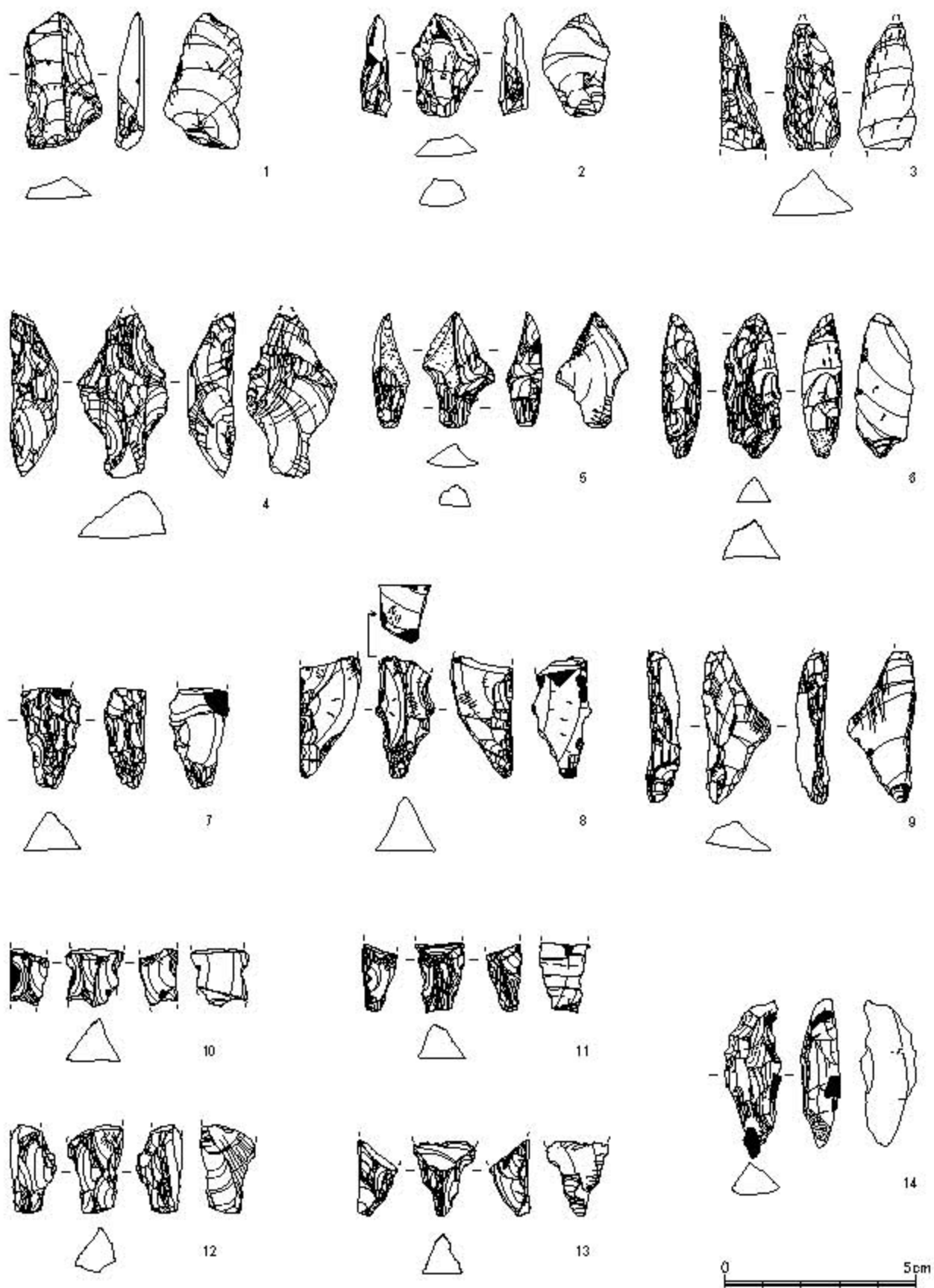


图 12 富士小学校保管石器 4 (3/5)

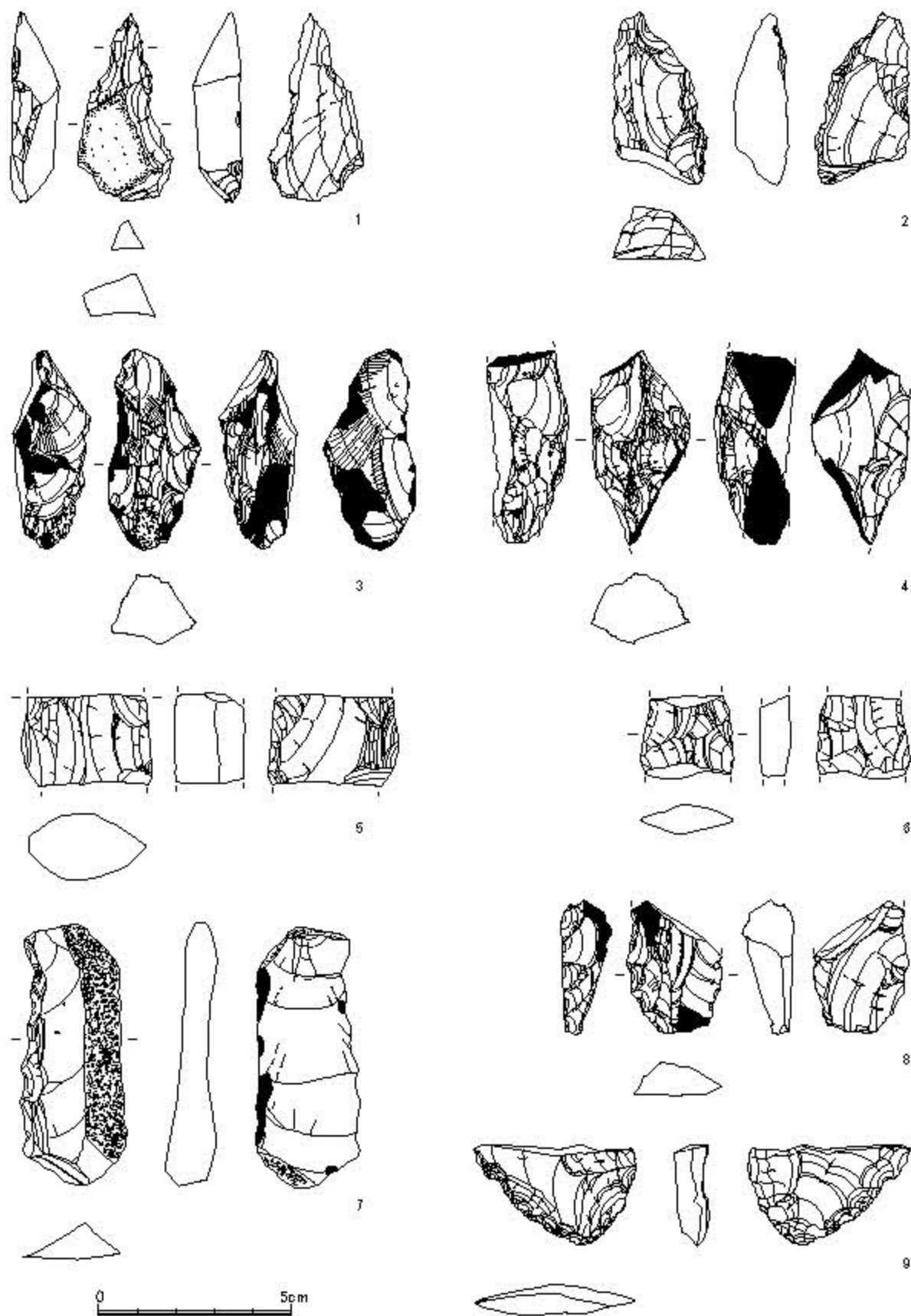


图 13 富士小学校保管石器 5 (3/5)

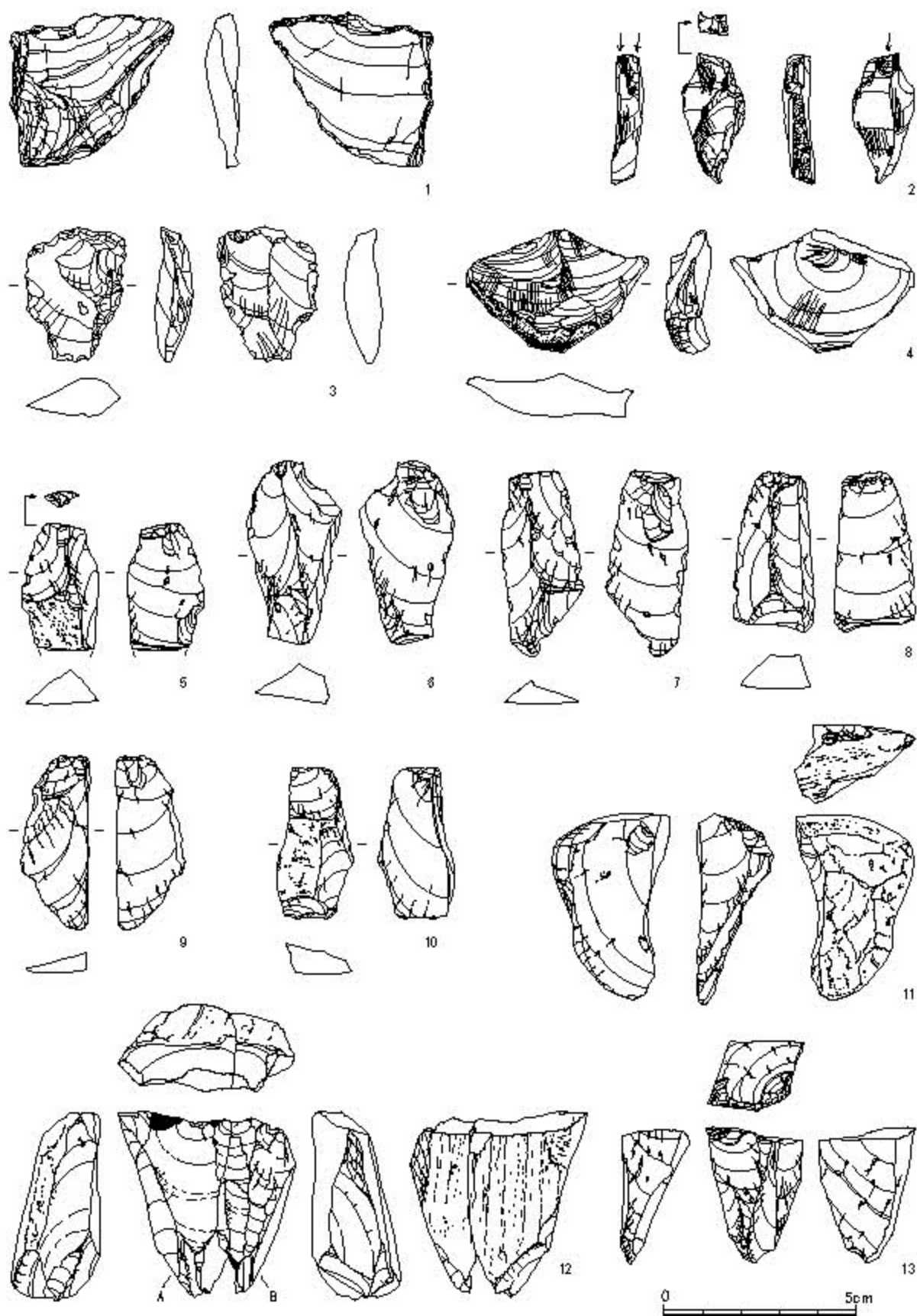


图14 富士小学校保管石器6 (3/5)

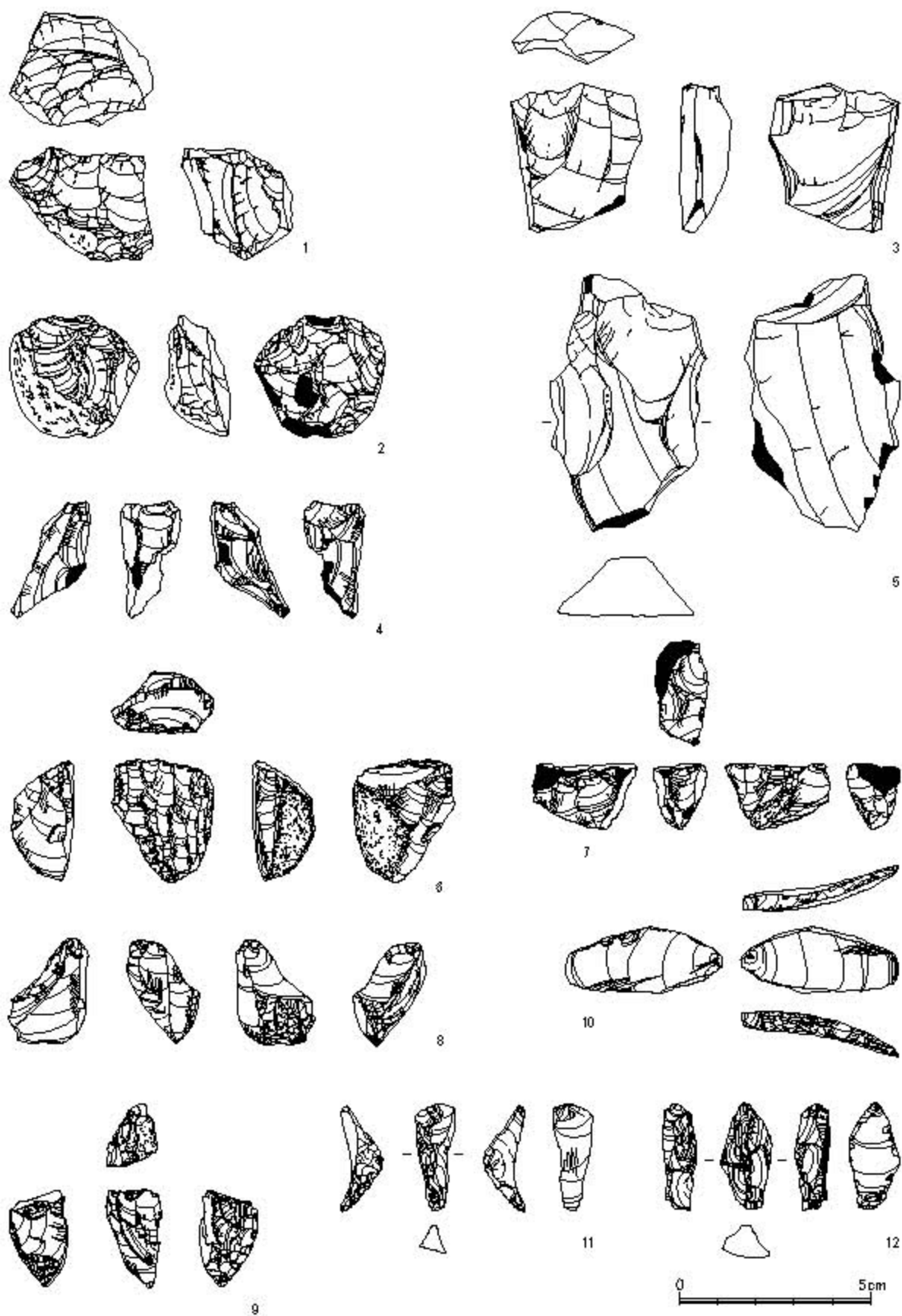


图 15 富士小学校保管石器 7 (3/5)

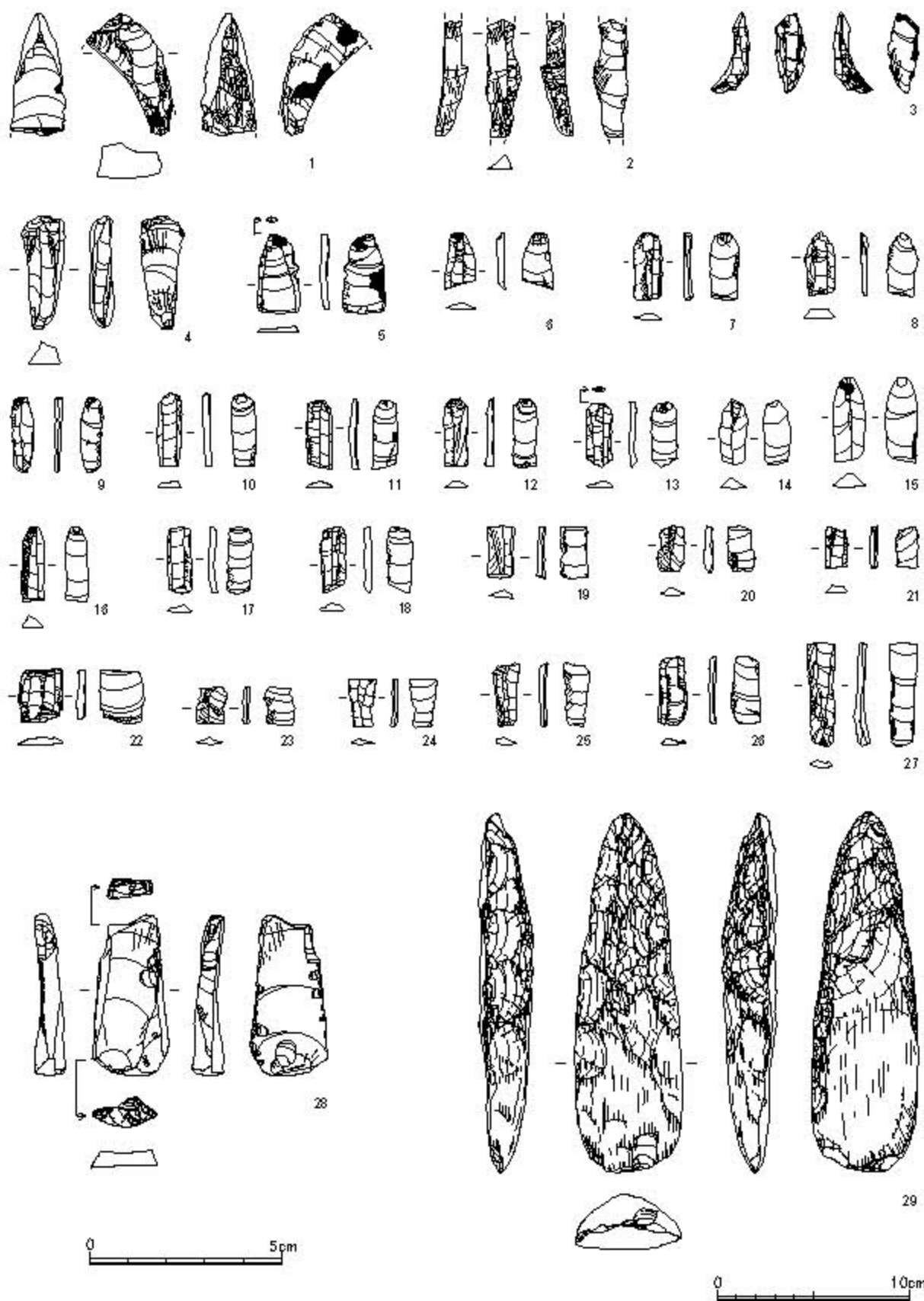
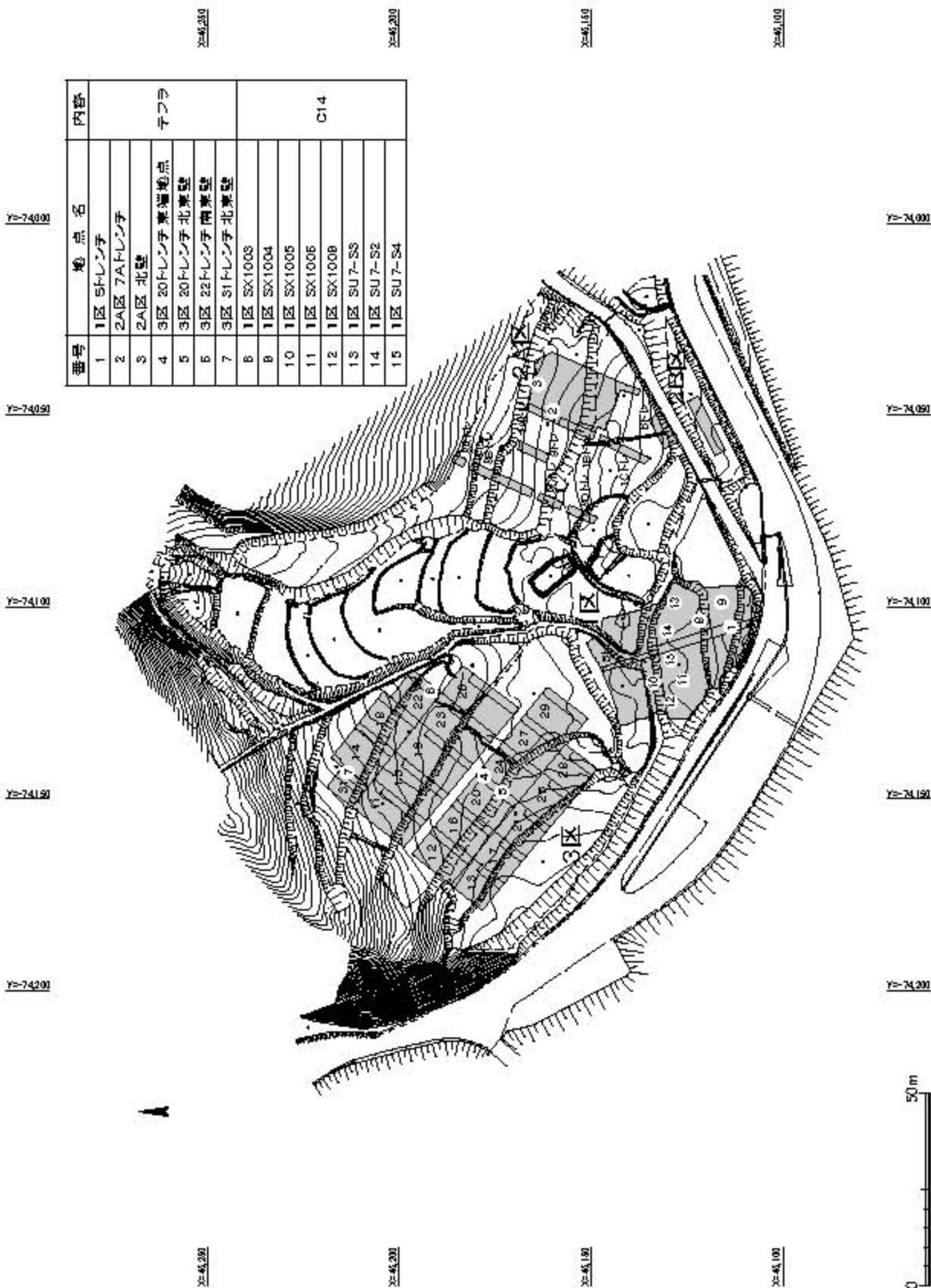


图16 富士小学发掘石器8 (3/5·1/3)



番号	地点名	内容
1	1区 5トレン子	テフラ
2	2A区 7Aトレン子	
3	2A区 北壁	
4	3区 20トレン子 東端地点	
5	3区 20トレン子 北東壁	
6	3区 22トレン子 南東壁	
7	3区 31トレン子 北東壁	
8	1区 SX1003	C14
9	1区 SX1004	
10	1区 SX1005	
11	1区 SX1006	
12	1区 SX1008	
13	1区 SU7-S5	
14	1区 SU7-S2	
15	1区 SU7-S4	

図 17 自然科学分析位置

第4章 地蔵平遺跡1区の遺構と遺物

1 地蔵平遺跡1区の概要

地蔵平遺跡1区からは、旧石器時代の石器ブロック50基、礫群4基、性格不明遺構5基、縄文時代の石器ブロック8基が検出された。これらのうち、石器ブロックについては、前章で述べたとおり、調査中に認識したものではなく、整理段階に机上で設定したものである。

1区から出土した遺物の総点数は、17,384点である。このうち、1層～4層（表土～縄文時代の遺物包含層）からは、FK・CPが4,399点の他、縄文時代の土器（甲型文土器他）86点・石器（製品）87点、旧石器時代の石器（製品）457点が出土した。また、5a層（旧石器時代の遺物包含層）以下の層からは、FK・CPが11,347点の他、縄文時代の土器1点・石器（製品）14点、旧石器時代の石器（製品）993点が出土した。

2 旧石器時代の遺構と遺物

1区からは、石器ブロック50基、礫群4基、性格不明遺構5基が検出された。石器ブロックは、5a層～10d層まで設定されたが、層ごとに数に多寡があり、最も多いのは9b層の13基である。

礫群は、5a層・5b層・9e層・10b層から各1基ずつ、計4基が検出されている。いずれの礫群でも、礫に煤等の黒色付着物が認められるか、赤色化するかしており、火が使用された可能性があるだろう。

性格不明遺構5基は、すべて9a層から検出された。径0.6～1.0mの円形で、いずれも深さは0.1m前後である。形状・規模等がほぼ同一で、同じ目的の遺構である可能もあろう。

遺物については、上記したように、FK・CPが11,347点の他、縄文時代の土器1点・石器（製品）14点、旧石器時代の石器（製品）993点が出土した。FKおよびCPについては、大部分は旧石器時代に属するものと思われる。なお、旧石器時代の石器（製品）およびFK・CPについては、ブロック内から7,559点（石器597点、FK・CP6,962点）、ブロック外から4,781点（石器396点、FK・CP4,385点）が出土した。

1) 石器ブロック（図51～88）

50基の石器ブロックを設定した。各ブロックにおける石器の点数、石材、器種、接合関係等の情報は各一覧表（表7・8・14）にまとめ、ここでは概要のみを記す。

5a層ブロック1（図51）

調査区の北部に位置しており、ブロック2と共に段丘裾に形成されている。広い範囲に石器が散在する。段丘裾の斜面に位置しており、接合資料相互の高低差が大きい。502点の石器からなるブロックで、このうち55%（274点）が安山岩製である。黒曜石製の細石刃が15点認められる。ブロック内で4組（FK + FK = 2組、BD + BD、CR + FK 2点）、ブロック外との間に2組（FK + CP）の接合資料がある。ブロック内だけで認定された7母岩（Ob母岩No.35～37、An母岩No.48・51・58）の他、ブロック2にまたいで認定された3母岩（An母岩No.49～50・57）の石器が含まれる。図97-3・7は黒曜石製のナイフ型石器。3は背面に礫面を残す。7は二側縁加工ナイフ。図96-2は黒曜石製で縦長剥片素材の剥片尖頭器。茎部の成形がやや甘い。図113-2（CR + FK 2点）は、接合資料で、An母岩No.48に属する。

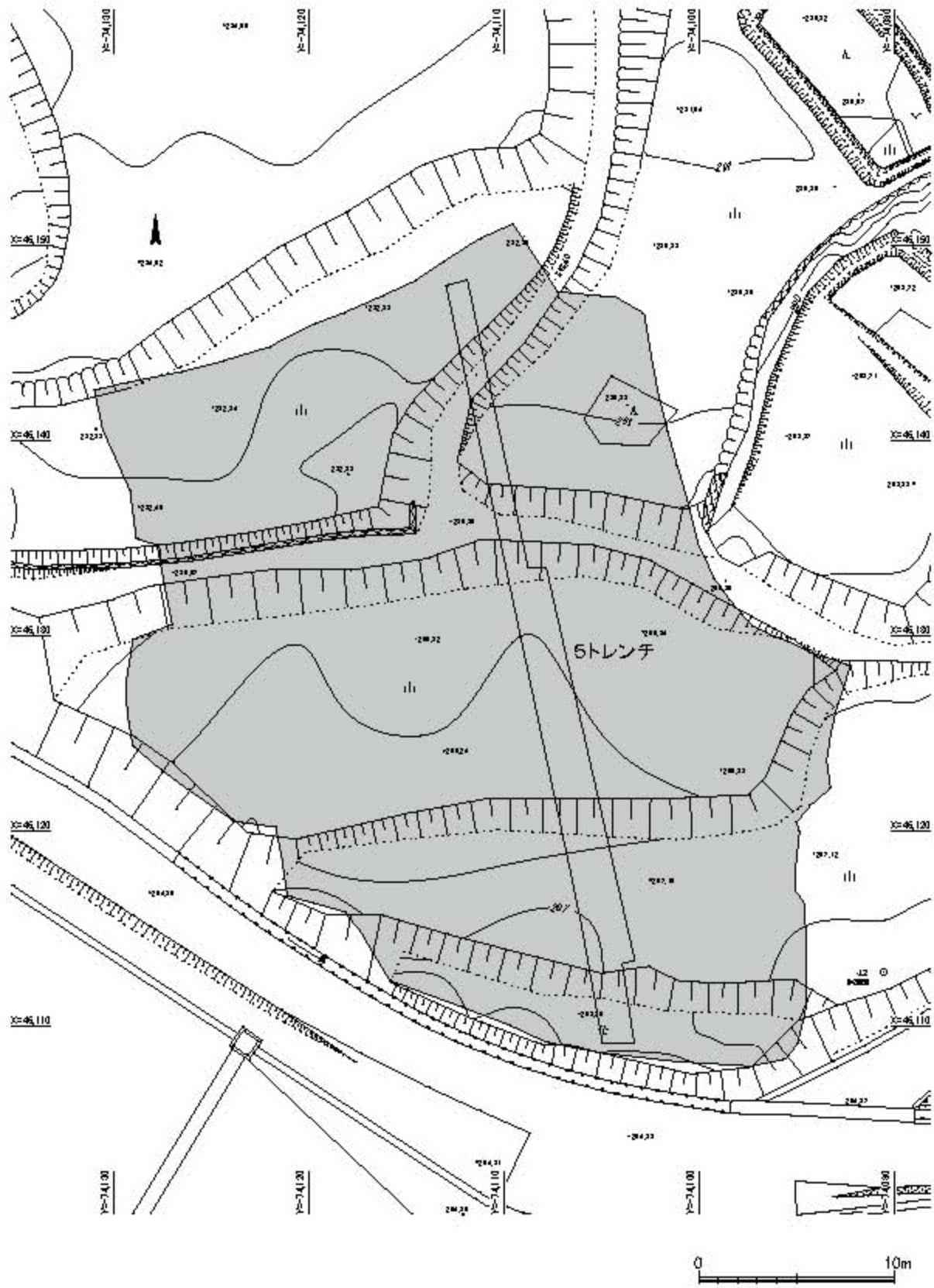


図18 1区 調査区範囲 (1/300)

1区(5トレンチ)西壁

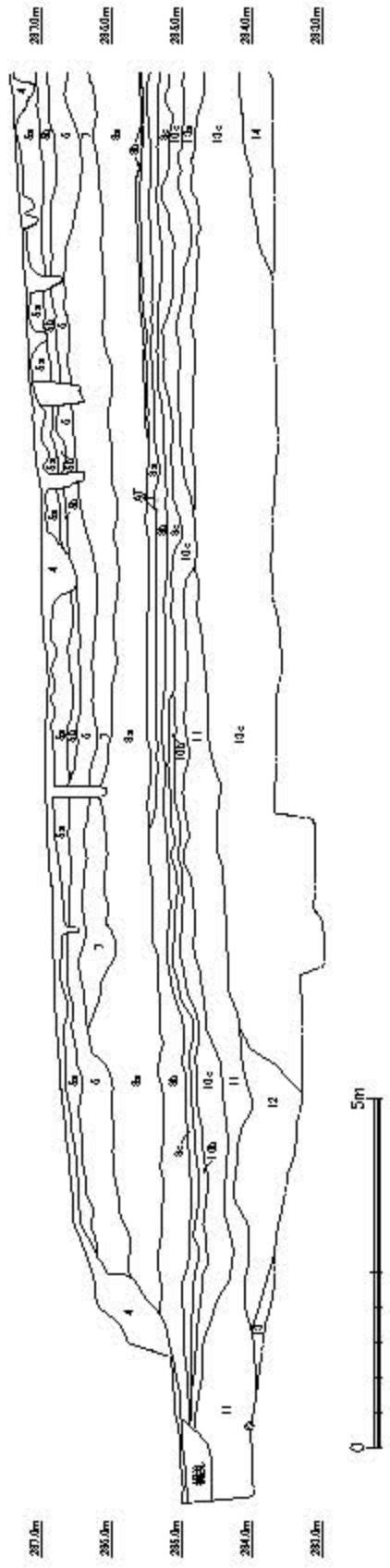
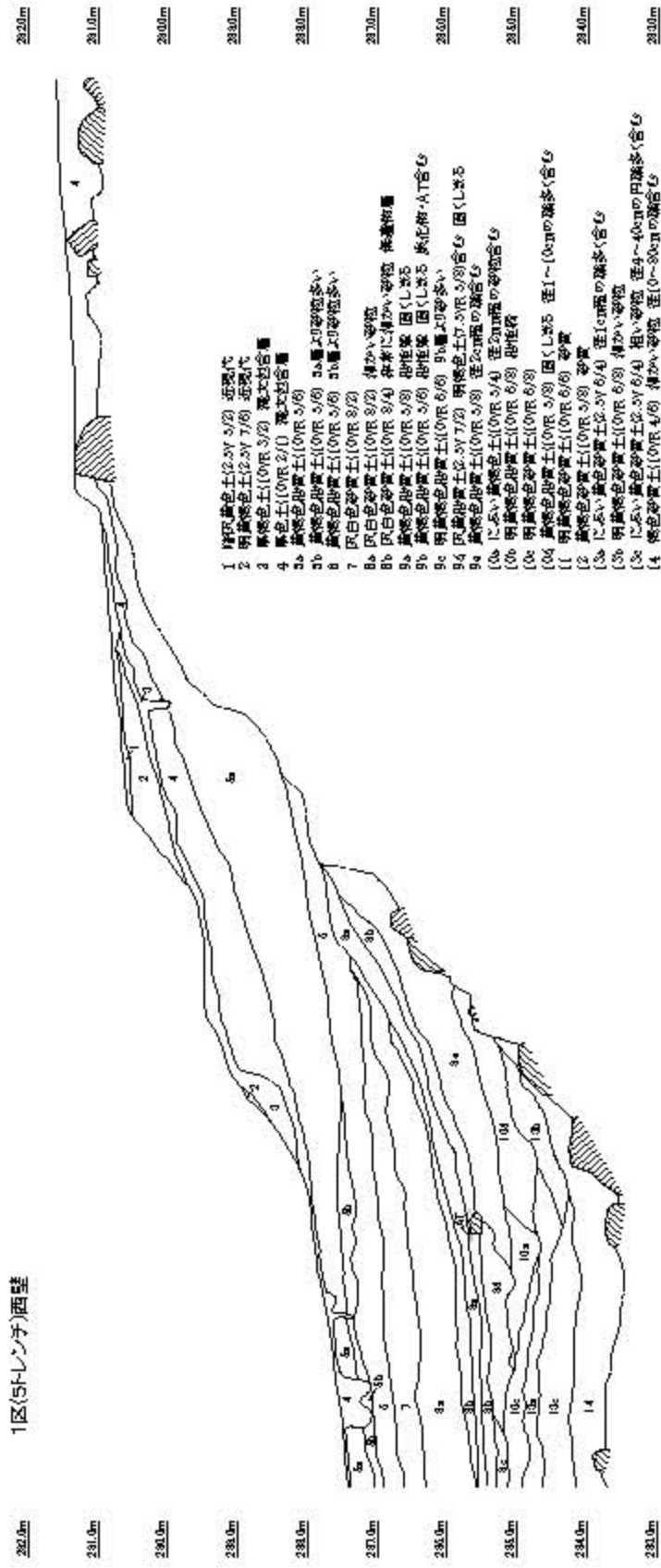


図19 1区 土層 (1/100)

5a 層ブロック 2（図 52）

調査区の北部、ブロック 1 の東隣に位置する。広い範囲に石器が点在するが、東側にやや密度の高い箇所がある。ブロック 1 同様、段丘裾の斜面に位置しており、接合資料相互の高低差が大きい。1,025 点の石器からなるブロックで、このうち 61%（629 点）が安山岩製、39%（395 点）が黒曜石製である。黒曜石製の細石刃が 4 点認められる。ブロック内で 3 組、ブロック 1 との間に 1 組、6 層との間に 1 組、ブロック外との間に 1 組、計 6 組の接合資料があるが、このうち、剥離面での接合は 1 組である（Ob:CR + CP）。ブロック内だけで認定された 9 母岩（Ob 母岩 No.38 ~ 41、An 母岩 No.52 ~ 56）の他、ブロック外・6 層ブロック 2 にまたいで認定された 1 母岩（Ob 母岩 No.42）、ブロック 1 にまたいで認定された 3 母岩（An 母岩 No.49 ~ 50・57）の石器が含まれる。図 96- 5 は、アプライト製の角錐状石器で礫面を多く残す。図 96- 7 は黒曜石製の角錐状石器。図 97- 9 は安山岩製の国府型ナイフ形石器。図 98- 2 は黒曜石製の石核。

5a 層ブロック 3（図 53）

調査区中央、やや東寄りに位置する。244 点の石器からなるブロックで、このうち 54%（132 点）が安山岩製であるが、製品はすべて黒曜石製に限られる。黒曜石製の細石刃が 8 点認められる。ブロック内で 2 組（AnFK + FK、Ob:FK + FK）、6 層との間に 2 組（Ob:CR + MF、ObFK2 点 + RF）、計 4 組の接合資料がある。ブロック内で 1 母岩（An 母岩 No.59）が認定された。図 97-12 は黒曜石製の台形石器。

5a 層ブロック 4（図 54）

調査区東部に位置する。5a 層においては、最も小型のブロックである。113 点の石器からなるブロックで、51%（58 点）が安山岩製であるが、安山岩製の製品はナイフ形石器が 1 点認められるだけである。黒曜石製の細石刃が 3 点認められる。ブロック 3 との間に接合資料が 1 組ある（Ob:RF + FK 2 点）図 97- 4 は安山岩製の「ノ字状剥片」を素材とする今峠型ナイフ形石器。図 96-12 は黒曜石製の小型の角錐状石器で、基部の成形が甘い。図 98- 4 は黒曜石製のドリルと考えられるが、先端部の二次加工がさほど丁寧ではない。

5a 層ブロック 5（図 54）

調査区東端に位置する。5b 層のブロック 2 と平面的に重複する。147 点の石器からなるブロックで、このうち 56%（82 点）が安山岩製であるが、安山岩製の製品は、ナイフ形石器と二次加工剥片が 1 点ずつ認められるだけである。黒曜石製の細石刃が 1 点認められる。接合資料はない。ブロック 6 にまたいで認定された 2 母岩（Ob 母岩 No.44、An 母岩 No.60）の石器が含まれる。図 96-14 は黒曜石製の角錐状石器。図 97- 2 は安山岩製の二側縁加工ナイフ形石器。図 97- 6 は黒曜石製の二側縁加工ナイフ形石器。

5a 層ブロック 6（図 55）

調査区南側に位置する。5b 層のブロック 3 と平面的に重複する。265 点の石器からなるブロックで、このうち 57%（150 点）が黒曜石製である。安山岩製の石器は、スクレーパー、石核が 1 点ずつ認められるにすぎない。黒曜石製の細石刃が 18 点認められる。ブロック内で 2 組の接合資料があるが、いずれも折れ面接合である（AnFK + CP、Ob:FK + CP）。ブロック 5 にまたいで認定された 2 母岩（Ob 母岩 No.44、An 母岩 No.60）と、ブロック 7 にまたいで認定された 2 母岩（Ob 母岩 No.43、An 母岩 No.61）の石器が含まれる。図 96- 1 は黒曜石製の細石核（船野型）。図 96-11・13 は黒曜石製の角錐状石器。図 98- 1 は安山岩製の石核。

5a 層ブロック7 (図 56)

調査区の南側に位置する。接合資料はない。125点の石器からなるブロックで、このうち94% (117点) が黒曜石製で占められている。安山岩製の石器は、剥片、チップが計8点認められるだけで製品はない。黒曜石製の細石刃が7点認められる。ブロック内で1母岩 (Ob 母岩No.45) が認定された他、ブロック6にまたいで認定された2母岩 (Ob 母岩No.43、An 母岩No.61) の石器が含まれる。図 97-14 は黒曜石製の台形石器としたが、未成品か。

5b 層ブロック1 (図 57)

調査区の中央やや東寄りに位置する。接合資料はない。86点の石器からなるブロックで、このうち71% (61点) が安山岩製で占められる。石器のうち、製品は、黒曜石製の微細剥離痕剥片、安山岩製の二次加工剥片および石核がそれぞれ1点ずつ認められるだけである。ブロック内で1母岩 (An 母岩No.62) が認定された。図 98-12 は安山岩製の石核。

5b 層ブロック2 (図 58)

調査区東端に位置するブロックで、6層ブロック6と平面的に重複する。29点の石器からなり、このうち12点が黒曜石製、17点が安山岩製である。製品は、黒曜石製の角錐状石器、安山岩製の二次加工剥片が1点ずつ認められるだけである。接合資料はない。図 98-9 は黒曜石製の角錐状石器。

5b 層ブロック3 (図 59)

調査区中央やや南寄りに位置するブロックで、5a 層ブロック6と平面的に大部分が重複する。47点の石器からなり、このうち35点が黒曜石製、12点が安山岩製である。黒曜石製の細石核削片が1点認められる。接合資料はない。

6層ブロック1 (図 60)

調査区ほぼ中央に位置する大型のブロック。北側の段丘裾の斜面から平坦面に移行したあたりに位置する。152点の石器からなり、このうち61% (93点) が安山岩製である。製品についてみると、安山岩製が4点、黒曜石製が10点と、黒曜石製が多い。ブロック内で2組 (An:CR + FK、Ob:FK + MF)、ブロック外との間に1組 (An:MF + MF)、計3組の接合資料がある。ブロック内で1母岩 (An 母岩No.63) が認定された他、ブロック6にまたいで認定された1母岩 (Ob 母岩No.46) の石器が含まれる。図 100-14 は安山岩製のナイフ形石器としたが、剥片尖頭器の未成品の可能性もある。

6層ブロック2 (図 61)

調査区やや北側、段丘裾部に位置する。144点の石器からなるブロックで、このうち69% (100点) が黒曜石製である。ブロック内で1組 (Ob:MF + MF)、5a 層ブロック2との間に1組 (Ob:FK + FK)、計2組の接合資料が確認された。いずれも折れ面での接合である。なお、ブロック内で接合された1組は、Ob 母岩No.47に含まれる。図 99-7 は黒曜石製の角錐状石器。

6層ブロック3 (図 61)

調査区中央やや東寄りにあり、ブロック2の南側に隣接する。207点の石器からなり、このうち64% (133点) が安山岩製である。ブロック内で2組 (An:CR + FK、Ob:FK + FK)、5a 層ブロック3との間に1組 (Ob:CR + MF)、計3組の接合資料がある。また、ブロック2～5にまたいで認定された1母岩 (Ob 母岩No.47) の他、ブロッ

ク3～5にまたいで認定された2母岩（Ob母岩No.49、An母岩No.64）の石器が含まれる。図101-5・6は黒曜石製の台形石器。図101-8は安山岩製のドリルで、欠損のため詳細は不明だが、先端は背側から二次加工を施すだけのものである。

6層ブロック4（図62）

調査区中央やや東寄りにあり、ブロック3の南側に位置する。74点の石器からなり、このうち54%（40点）が安山岩製である。製品は計6点認められるが、安山岩製は石核1点のみである。ブロック内で1組（ObFK + FK）、ブロック外との間に1組（ObFK + スクレーパー）、ブロック5との間に1組（ObFK + FK）、5a層ブロック3との間に1組（ObRF + FK 2点）、計4組の接合資料がある。ブロック内だけで認定された1母岩（Ob母岩No.48）の他、他ブロックをまたいで認定された4母岩（Ob母岩No.47、Ob母岩No.49、An母岩No.64、An母岩No.66）の石器が含まれる。図99-8、100-3は黒曜石製の角錐状石器で、図99-8は礫面を大きく残す。

6層ブロック5（図63）

調査区東端近くに位置する。212点の石器からなるブロックで、このうち66%（139点）が安山岩製である。ブロック内外および他ブロックとの間で7組の接合資料（AnFK + FK = 5組、AnFK + RF、ObMF + MF）があり、このうち剥離面で接合できたのは1組である（AnFK + RF）。ブロック内だけで認定された1母岩（An母岩No.67）の他、ブロック外および他ブロックをまたいで6母岩が認定された。図100-5・9・12は黒曜石製のナイフ形石器で、9は二側縁加工ナイフ、12は今峠型ナイフである。図101-4は黒曜石製のスクレーパー。

6層ブロック6（図64）

調査区東端に位置する。101点の石器からなるブロックで、このうち61%（62点）が安山岩製である。ブロック内で3組（AnFK + CP、AnFK 3点、ObFK + FK）、ブロック外との間に1組（ObFK + FK）、計4組の接合資料があり、このうち剥離面で接合できたのは、ブロック外との間で接合された1組である。ブロック内だけに認められる母岩はないが、他ブロックにまたいで認定された6母岩の石器が含まれる。図100-1は黒曜石製の角錐状石器。図100-13は黒曜石製の二側縁加工ナイフ形石器。図101-7は黒曜石製の台形石器。

6層ブロック7（図65）

調査区南東部に位置する。67点の石器からなるブロックで、このうち90%（59点）が安山岩製である。6層の中では、最も小型のブロックである。接合資料は1組で、ブロック外の1点をあわせ計6点（An:すべてFK）で構成される。ブロック外にまたいで1母岩（An母岩No.71）が認定された他、7ブロックにまたいで認定された1母岩（An母岩No.69）、ブロック6・8にまたいで認定された1母岩（An母岩No.70）の石器が含まれる。

6層ブロック8（図66）

調査区南部に位置する。70点の石器からなるブロックで、このうち60%（42点）が黒曜石製である。接合資料はない。ブロック内で1母岩（An母岩No.72）が認定された他、ブロック6・7にまたいで認定された1母岩（An母岩No.70）の石器が含まれる。図101-3は安山岩製のスクレーパー。

6層ブロック9（図66）

調査区南部、ブロック8の西側に隣接する。72点の石器からなるブロックで、このうち94%（68点）が黒曜石製である。接合資料はない。図100-2は黒曜石製の角錐状石器。

9a 層ブロック 1 (図 67)

調査区西端に位置する。小型のブロックで、特に石器が集中する箇所はない。接合資料はない。図 102-4 は黒曜石製の二側縁加工ナイフ形石器。

9a 層ブロック 2 (図 67)

調査区中央西寄りに位置する。ブロック 1 と同程度の小型のブロックである。9b 層ブロック 4 と平面的な位置関係で重複する。接合資料はない。ブロック内で 1 母岩 (An 母岩 No. 3) が認定された。

9a 層ブロック 3 (図 68)

調査区中央西寄りに位置する。SX1006 土坑に近接する。127 点の石器からなるブロックで、このうち 67% (85 点) が安山岩製である。他ブロックとまたぐものも含めると 8 組の接合資料があり、このうち、2 組は剥離面で接合された (An:CR + BD + FK、An:FK 3 点 + RF)。ブロック内だけで認定された母岩はないが、他ブロックにまたいで認定された 4 母岩の石器が含まれる。図 115-4 は石核と石刃・剥片、図 115-7 は剥片・二次加工剥片からなる接合資料。

9a 層ブロック 4 (図 69)

調査区中央やや北寄りに位置する。南側で SX1005 土坑と重複するが、ブロックとの関連を示す材料は見当たらない。414 点の石器からなる、9a 層中で最大のブロックである。このうち 59% (242 点) が黒曜石製である。ブロック内だけで 10 組の接合資料があり、このうち 6 組が剥離面接合である (うち 1 組は CR + FK)。この他にも、ブロック 3 との間の 2 組があり、1 組は剥離面接合で石核を含む。ブロック内で 6 母岩 (An 母岩 No. 2・5・8、Ob 母岩 No. 2・5・6) が認定された他、他ブロックにまたいで認定された 4 母岩の石器が含まれる。図 102-6・8・10 は二側縁加工ナイフ。図 102-12 は黒曜石製の台形石器。図 102-13・14 はスクレーパー。図 103-1 は安山岩製の石核。図 115-5 は、石核と剥片の接合資料。

9a 層ブロック 5 (図 70)

調査区東部に位置する。ブロックの北側で、石器の分布密度がやや高い。西側で SX1003 土坑と重複するが、ブロックとの関連を示す材料は見当たらない。74 点の石器からなるブロックで、黒曜石と安山岩の割合は 50% ずつである。ブロック内だけで 7 組、ブロック 6 との間で 1 組、計 8 組の接合資料があり、このうち 3 組 (An:FK + FK、Ob:FK + FK、Ob:FK + CP) が剥離面接合である。ブロック内で 1 母岩 (Ob 母岩 No. 3) が認定された他、他ブロックにまたいで認定された 4 母岩の石器が含まれる。102-3 は黒曜石製の二側縁加工ナイフ。

9a 層ブロック 6 (図 71)

調査区西端に位置する。石器は、特に密集する箇所はなく、全体的に散在する。ブロック内で 4 組、ブロック外との間に 1 組、他層にまたいで 2 組、計 7 組の接合資料があり、いずれも FK + FK、RF + FK の組み合わせである。ブロック内で 1 母岩 (Ob 母岩 No. 4) が認定された他、ブロック 5 にまたいで認定された 1 母岩 (An 母岩 No. 6)、ブロック 3・5 にまたいで認定された 1 母岩 (An 母岩 No. 9) の石器が含まれる。図 102-1・5・6 はナイフ形石器で、1 には一側縁加工、5・6 には二側縁加工が施される。図 103-3 は黒曜石製の石核。

9b 層ブロック 1 (図 72)

調査区南西部に位置する。石器は、ブロック内南側にやや偏る傾向がうかがえる。146 点の石器からなるブロッ

クで、このうち 87%（127 点）が安山岩製である。ブロック内、ブロック外、他ブロックとの間に計 12 組の接合資料があり、このうち 5 組が剥離面接合である（いずれも CR は含まれない）。ブロック内で 2 母岩（An 母岩 No.10、An 母岩 No.14）が認定された他、他ブロックにまたいで認定された 2 母岩の石器が含まれる。図 104-15～17 は黒曜石製の切出形で基部に抉りを入れるように仕上げる二側縁加工ナイフ形石器。

9b 層ブロック 2（図 73）

調査区南西端、ブロック 3 の南側に位置する。2 箇所、石器がやや密集する箇所が認められる。172 点の石器からなるブロックで、このうち 71%（121 点）が安山岩製である。ブロック内で 7 組、他ブロックとの間に 2 組、他層との間に 2 組、計 11 組の接合資料があるが、すべて折れ面接合である。ブロック内で 2 母岩（An 母岩 No.17・18）が認定された他、他ブロックにまたいで認定された 3 母岩の石器が含まれる。図 104-5・10 は黒曜石製の小型の切出形の二側縁加工ナイフ形石器。

9b 層ブロック 3（図 73）

調査区西端、ブロック 2 の北側に位置する。232 点の石器からなるブロックで、このうち 65%（150 点）が安山岩製である。石器は、ブロック内の北側に密集する傾向がうかがえる。ブロック内で 6 組、ブロック 1 との間に 1 組、他ブロックとの間に 1 組、他層との間に 3 組、計 12 組の接合資料がある。9b 層ブロック 1 との間は剥離面接合である。ブロック内で 1 母岩（An 母岩 No.16）が認定された他、他ブロック、他層にまたいで認定された母岩の石器を含む。図 105-13 は石刃素材の黒曜石製のスクレーパー。図 104-20 は黒曜石製の二側縁加工ナイフ。

9b 層ブロック 4（図 74）

調査区西側に位置する。極めて狭い範囲に石器が集中するブロックである。接合資料はない。

9b 層ブロック 5（図 75）

調査区西側に位置する。105 点の石器からなるブロックで、このうち 75%（79 点）が黒曜石製である。9a 層、10d 層との間に計 2 組の接合資料（折れ面接合）がある。ブロック 3 にまたいで認定された 1 母岩（Ob 母岩 No. 9）と 9a 層ブロック 3 および 5 にまたいで認定された 1 母岩（An 母岩 No. 4）の石器が含まれる。図 104-19・21 は黒曜石製の二側縁加工ナイフ形石器。

9b 層ブロック 6（図 76）

調査区ほぼ中央に位置する。95 点の石器からなるブロックで、このうち 54%（51 点）が黒曜石製である。4 組の接合資料（すべて折れ面接合）がある。図 104-9 は黒曜石製の一側縁加工ナイフ。

9b 層ブロック 7（図 76）

調査区中央やや東寄りに位置する。66 点の石器からなるブロックで、このうち 76%（50 点）が黒曜石製である。ブロック内で 1 組、ブロック 8 との間に 1 組、計 2 組の接合資料（どちらも折れ面接合）がある。ブロック 8 にまたいで認定された 1 母岩（An 母岩 No.10）の石器が含まれる。

9b 層ブロック 8（図 76）

調査区中央やや東寄りに位置する。704 点の石器からなる、9b 層で最も大型のブロックである。このうち 68%（482 点）が黒曜石製である。ブロック内のやや東寄りの箇所に特に石器が密集する。他ブロックにまたいで接

合されたものも含めると、計28組の接合資料があり、このうち剥離面で接合されたものは13組である（うち3組にCR含む）。また、ブロック内だけで7母岩（Ob母岩No.14～18、An母岩No.19・22～24）が認定された他、他ブロックおよび他層にまたいで認定された2母岩の石器が含まれる。図106-8は黒曜石製の石核。図116-10・11、117-2は、いずれも石核を含む接合資料である。図104-6・11・12・18は黒曜石製の二側縁加工ナイフで、図104-23は一側縁加工ナイフ。図105-2・3・5・6は黒曜石製の台形石器。図105-9は黒曜石製の彫器。

9b層ブロック9（図77）

調査区東端、ブロック8の東隣に位置する。245点の石器からなるブロックで、このうち69%（168点）が黒曜石製である。ブロック内および他ブロックとの間に、計15組の接合資料があり、ブロック内およびブロック8との間に、計2組の剥離面接合の資料がある。ブロック内で1母岩（Ob母岩No.8）が認定された。図104-22・26は黒曜石製の二側縁加工ナイフ。図105-10は黒曜石製で、上下両端に桶状剥離があり、厚手の彫器か。図105-15は黒曜石製のスクレーパー。

9b層ブロック10（図78）

調査区東端近くに位置する小型のブロックである。1組の接合資料（剥離面接合Ob:FK3点）がある。ブロック内で1母岩（Ob母岩No.12）が認定された。図118-4は、Ob母岩No.12に属する接合資料で、剥片3点から構成される。図104-4は黒曜石製の二側縁加工ナイフ形石器。

9b層ブロック11（図78）

調査区東端近く、ブロック10の西隣に位置する小型のブロックである。1組の接合資料（折れ面接合An:FK+FK）がある。ブロック内で1母岩（An母岩No.12）が認定された。

9b層ブロック12（図79）

調査区南東端近くに位置する。95点の石器からなるブロックで、このうち60%（57点）が黒曜石製である。5組の接合資料があり、このうち剥離面接合は3組である（うち1組はOb:CR+FK）。ブロック内だけで認定された3母岩（Ob母岩No.11、An母岩7・No.11）の他、ブロック13にまたいで認定された1母岩（Ob母岩No.13）の石器が含まれる。図116-12は石核と剥片からなる接合資料。図104-2は黒曜石製の小型の切出形の二側縁加工ナイフ。図107-2は黒曜石製の剥片で、ナイフ素材か。

9b層ブロック13（図79）

調査区南東端、ブロック12の東隣に位置する小型のブロックである。1組の接合資料（折れ面接合Ob:GB+GB）がある。ブロック12にまたいで認定された1母岩（Ob母岩No.13）の石器が含まれる。図104-1は小型の切出形の二側縁加工ナイフ。

9c層ブロック1（図80）

調査区中央やや北東寄りに位置する小型のブロックである。1組の接合資料（剥離面接合Ob:FK+FK）がある。

9d層ブロック1（図81）

調査区中央やや東寄りに位置する。ブロック内の北東端近くに、石器がやや集中する箇所がある。136点の石器からなるブロックで、このうち62%（84点）が黒曜石製である。ブロック内、および他層にまたいで3組の

接合資料があり（FK + FK、FK + CP）、このうち1組は剥離面接合（Ob:FK + FK）である。ブロック内で3母岩（Ob母岩No.21・23、An母岩No.26）が認定された他、他ブロック・他層にまたいで認定された2母岩の石器が含まれる。図108-3は黒曜石製の台形石器。図108-4・5はスクレーパー。図108-6は黒曜石製の剥片。

9d層ブロック2（図82）

調査区東端近く、ブロック1の東隣に位置する。9b層、9e層との間に接合資料3組がある（折れ面接合）。接合資料はない。ブロック内で1母岩（An母岩No.25）が認定された他、他ブロック、他層にまたいで認定された2母岩（Ob母岩No.22～24）の石器が含まれる。図108-1は黒曜石製の二側縁加工ナイフ形石器。

9e層ブロック1（図83）

調査区西端に位置する。隣群SX1009と重なっており関連するものと考えられる。ブロック内で2組の接合資料があり、うち1組は剥離面接合である（An:CR + FK）。ブロック内で1母岩（An母岩No.30）が認定された。図109-1は黒曜石製の小型の切出形の二側縁加工ナイフ形石器。

9e層ブロック2（図83）

調査区西寄りに位置する。接合資料はない。

9e層ブロック3（図84）

調査区ほぼ中央、ブロック4の西隣に位置する。76点の石器からなるブロックで、このうち67%（51点）が黒曜石製である。ブロック内および他層との間に計7組の接合資料があり、このうち剥離面接合は2組である（An:FK + FK、Ob:FK + FK）。ブロック内で1母岩（An母岩No.31）が認定された。図109-3・8・9は黒曜石製のナイフ形石器。図109-13は黒曜石製の台形石器。

9e層ブロック4（図84）

調査区ほぼ中層、ブロック3の東隣に位置する大型のブロックである。505点の石器からなるブロックで、このうち51%（257点）が安山岩製である。ブロック内および他層との間に計9組の接合資料があり、このうち剥離面接合は1組である（An:FK + FK）。ブロック内で6母岩（An母岩No.27～29、Ob母岩No.19・25・26）が認定された他、ブロック5にまたいで認定された1母岩（Ob母岩No.20）、9b層ブロック8にまたいで認定された1母岩（Ob母岩No.16）の石器が含まれる。図109-2・7は二側縁加工ナイフ、10は一側縁加工ナイフ。図109-11・12・14は黒曜石製の台形石器。図109-16・17はスクレーパー、図110-2は安山岩製の石核。

9e層ブロック5（図85）

調査区東端に位置する。126点の石器からなるブロックで、このうち60%（76点）が黒曜石製である。ブロック内外および他層との間に計10組の接合資料があるが、いずれも折れ面接合である。ブロック内で認定された1母岩（An母岩No.32）の他、ブロック4にまたいで認定された1母岩（Ob母岩No.20）の石器が含まれる。また、9b層ブロック8にまたいで認定された1母岩（Ob母岩No.17）、9d層ブロック1・2にまたいで認定された1母岩（Ob母岩No.24）の石器が含まれる。図109-4・5は黒曜石製の二側縁加工ナイフ。図110-1・3は石核。

10c層ブロック1（図86）

調査区西端、ブロック2の北側に位置する。ブロック内および他層との間に計3組の接合資料がある（いずれも

折れ面接合)。図 111-7 は黒曜石製の石核。9b 層ブロック 3 にまたいで認定された 1 母岩 (An 母岩 No.16) の石器が含まれる。図 111-4 は黒曜石製の台形石器。図 111-7 は黒曜石製の石核。

10c 層ブロック 2 (図 86)

調査区西端、ブロック 1 の南側に位置する。88 点の石器からなるブロックで、このうち 90% (79 点) が安山岩製である。ブロック内 5 組、9b 層ブロック 2 との間に 2 組、計 7 組の接合資料があり、このうち 3 組が剥離面接合である (FK + FK + CR、FK + FK + FK、FK + FK + CR + CR)。ブロック内で 1 母岩 (An 母岩 No.33) が認定された。なお、上記の 5 組の接合資料は、すべて同一母岩 (An 母岩 No.33) である。図 111-8 は流紋岩製のスクレーパー。

10d 層ブロック 1 (図 87)

調査区東寄り、ブロック 2 の西側に位置する。62 点の石器からなるブロックで、このうち 55% (34 点) が黒曜石製である。接合資料はない。ブロック 2 にまたいで認定された 2 母岩 (Ob 母岩 No.27・No.28) の石器が含まれる。図 112-3・7 は黒曜石製の台形石器。図 112-10 は安山岩製の石核。

10d 層ブロック 2 (図 88)

調査区東寄り、ブロック 1 の東側に位置する。接合資料はない。ブロック 1 にまたいで認定された 2 母岩 (Ob 母岩 No.27・28) の石器が含まれる。図 112-5・6 は黒曜石製の台形石器。図 112-8 は黒曜石製のスクレーパー。

2) 礫群 (図 89～91)

1 区からは、5a 層・5b 層・9e 層・10b 層から各 1 基ずつ、計 4 基の礫群が検出された。4 基は、いずれも密集型といつてよく、比較的狭い範囲に礫が集中する。

SX1001 (図 89)

SX1001 は、調査区の東部に位置する礫群で、5b 層を掘り下げている最中に出土した。おおよそ 2.5 × 2.0m の範囲に 49 点の礫が分散しており、中央付近にやや集中する。礫のうち、角礫は 9 点、円礫は 40 点で、円礫の割合が比較的高い。また、礫のうち 35 点 (71.4%) が花崗岩である。礫の平均重量は 425.4g。破損礫は 28 点 (57.1%) である。これら破損礫については、接合できたものが近接する 1 組 2 点に止まることから、使用中に破損したのではなく元々破損した礫が集められた可能性が高い。また、13 点の礫が赤化しており、このうち割れ面が赤化した礫は 8 点である。礫表面に煤等の黒色付着物が認められるものは、おおよそではあるが礫群の中央に集まっており、さらに、割れ面が赤化した礫に黒色付着物が認められる割合が高いことから、火が使用された可能性が考えられる。

SX1002 (図 90)

SX1002 は、調査区南端近くに位置する小型の礫群で、5a 層を掘り下げている最中に出土した。17 点の礫で構成される。おおよそ 1.0 × 0.5m の範囲に礫が集まる。礫のうち角礫は 14 点で、円礫は 3 点である。また、礫のうち 16 点 (94.1%) が花崗岩である。礫の平均重量は 526.7g である。破損礫は 9 点 (52.9%) である。破損礫について接合を試みたが、接合できたものはない。礫の大半は赤化しており (15 点:88.2%)、このうち、破損礫の割れ面赤化率は 88.9% である。また、すべての礫に煤等の黒色付着物が認められるか、もしくは赤化するかしっており、これらは、火の使用の結果、被熱により変化したものと考えられる。

SX1008（図 91）

SX1008 は、調査区南端近くに位置する礫群で、10b 層を掘り下げている最中に出土した。24 点の礫で構成される。おおよそ 2.0 × 1.6m の範囲に礫が集まる。礫のうち角礫は 21 点で、大半を占める。礫のうち、18 点（75%）が花崗岩である。礫の平均重量は 430.2g である。破損礫は 7 点（29.1%）と少ない。また、破損礫で接合できたものはない。礫の大半は赤化しており（22 点：91.7%）、破損礫の割れ面赤化率は 85.7% である。すべての礫に煤等の黒色付着物が認められるか、もしくは赤化するかしており、SX1002 同様、火の使用の結果、被熱し変化したものと考えられる。

SX1009（図 91）

SX1009 は、調査区西部に位置する礫群で、9e 層を掘り下げている最中に出土した。110 点の礫で構成される。浅い不定形の窪みを伴っており、窪みの埋土およびその上面から礫および石器が出土した。石器ブロック（9e 層ブロック 1）と大部分が重複しており、換言すると、石器ブロックの主体がこの遺構であるといえる。礫のうち 94 点が角礫。礫のうち 105 点（95.5%）が花崗岩。礫の平均重量は 96.8g である。これらのことから、SX1009 は、小型の花崗岩の角礫で構成される礫群であるといえる。破損礫は 102 点（92.7%）で礫の大部分を占める。また、外面もしくは割れ面が赤化した礫は 9 点（8.2%）に止まり、煤等の黒色付着物が認められるものも 5 点に留まる。これら赤化もしくは黒色付着物のある礫は、礫群内の一箇所に集中するのではなく、全体的に分散している。また、窪みの埋土からは炭化物が出土した（放射性炭素年代の測定結果については、第 8 章を参照されたい）。赤化した礫や黒色付着物のついた礫が少ないことから、被熱した礫もあわせて集められた結果、成立した礫群であるとも解されるが、炭化物が出土する点を重視し、やはり火の使用を想定しておきたい。

石器については、チップ、剥片、スクレーパー、石核等が計 23 点出土した。このうち、4 点（2 組）については接合できた。石器ブロックの範囲は、この礫群の範囲に重複しており一連の遺構である可能性が高い。

3) 性格不明遺構（図 92）

1 区からは、5 基の性格不明遺構が出土した。すべて、9a 層を掘り下げている最中に検出されたものである。径 0.6 ~ 1.0m の円形で、深さはいずれも 0.1m 前後である。これらのうち、SX1007 を除く 4 基については、埋土から炭化物が出土しており、これについては放射性炭素年代測定を行った（測定結果については第 8 章を参照されたい）。これらの遺構については、いずれも同じ面から掘り込まれていること、形状・規模等がほぼ同じであること等から、同じ目的をもって規格的に掘られた可能性がある。

SX1003（図 92）

径約 0.9m の円形の土坑状で、調査区南西部に位置する。範囲としては 9a 層石器ブロック 5 に含まれるが、石器ブロックとの関係は明確にし得ない。遺構の性格は不明である。

SX1004（図 92）

径約 1.0m の円形の土坑状で、調査区南西部に位置する。遺構の性格は不明である。

SX1005（図 92）

径約 0.7m の円形の土坑状で、調査区ほぼ中央に位置する。範囲としては 9a 層石器ブロック 4 に含まれるが、石器ブロックとの関係は明確にし得ない。遺構の性格は不明である。

SX1006 (図 92)

径約 0.7m の円形の土坑状で、調査区中央やや西寄りに位置する。範囲としては、一部が 9a 層石器ブロック 3 と重複する。遺構の性格は不明である。

SX1007 (図 92)

0.8 × 0.6m ほどの楕円形の土坑状で、調査区南端近くに位置する。遺構の性格は不明である。

3 縄文時代の遺構と遺物

石器ブロック 8 基を設定した (図 47～50)。他に、遺構は検出されなかった。

石器ブロックは、4 層において設定した。前章で述べたとおり、4 層は縄文時代の遺物包含層であるが、遺物の出土状況 (出土数・分布等) が、旧石器時代の遺物包含層である 5 層の様相と類似することから、旧石器時代の遺物包含層と同様の方法により、石器ブロックを設定した。

これらブロックには、旧石器時代～縄文時代の遺物が混在するのだが、旧石器時代の遺物については、下層である 5a 層から移動したものが多くと想定される。ちなみに、4 層の時期については、おおよそ縄文時代草創期～早期と考えられる。

1) 石器ブロック

4 層ブロック 1 (図 47)

調査区北部に位置する。ブロック 2・3 と共に、段丘裾に形成されている。石器は、ブロックの北東部にやや集中する傾向がある。223 点の石器からなるブロックで、このうち 80% (178 点) が安山岩製である。ブロック内で 1 組の他、ブロック 2 およびブロック 3 との間に、それぞれ 1 組ずつ、計 3 組の接合資料がある。ブロック内で 2 母岩 (Ob 母岩 No.29・30) が認定された他、他ブロックにまたいで認定された 6 母岩の石器が含まれる。

4 層ブロック 2 (図 47)

調査区北部に位置する。ブロック 1・3 と共に、段丘裾に形成されている。119 点の石器からなるブロックで、このうち 66% (78 点) が安山岩製である。ブロック内で 1 組、ブロック 1 との間に 1 組、計 2 組の接合資料がある。これらは両者とも剥離面接合である。ブロック内で 1 母岩 (An 母岩 No.37) が認定された他、他ブロックにまたいで認定された 4 母岩の石器が含まれる。なお、このブロックでは、押型文土器を含む縄文土器が 4 点出土したが、いずれも小片のため図化していない。図 94-6 は黒曜石製のナイフ形石器で、刃部の先端が欠損する。

4 層ブロック 3 (図 47)

調査区北部に位置する。ブロック 1・2 と共に、段丘裾に形成されている。226 点の石器からなるブロックで、このうち 63% (143 点) が安山岩製である。ブロック内で 2 組、ブロック 1 との間に 1 組、計 3 組の接合資料がある。このうち、ブロック内の接合資料はどちらも剥離面接合である (うち 1 組は CR + FK)。ブロック内で 1 母岩 (Ob 母岩 No.33) が認定された他、他ブロックにまたいで認定された 8 母岩の石器が含まれる。

このブロックでは縄文土器が 2 点出土したが、そのうち、図 216-8 は押型文土器で、やや外反する口縁部をもつ。外面には横位、内面には縦位に格子目文が施される。もう 1 点は小片のため図化していない。図 94-15 は黒曜石製の彫器。

4 層ブロック 4 (図 48)

調査区の北東側に位置する。ブロック1～3同様、段丘裾に位置するのだが、わずかではあるが、これらと距離をあけて位置する。73点の石器からなるブロックで、このうち64%（47点）が安山岩製である。ブロック内で1組、ブロック外との間に1組、計2組の接合資料がある。ブロック内だけで認定された母岩はないが、他ブロックにまたいで認定された5母岩の石器が含まれる。

4層ブロック5（図48）

調査区北東側、ブロック4の南側に位置する。ブロック1～4と同様、丘陵裾部に形成されたブロックといつてよい。207点の石器からなるブロックで、このうち52%（107点）が黒曜石製である。接合資料はない。ブロック内だけで認定された2母岩（Ob母岩No.31・34）の他、他ブロックにまたいで認定された5母岩の石器が含まれる。

4層ブロック6（図49）

調査区東部に位置する。128点の石器からなるブロックで、このうち64%（82点）が安山岩製である。ブロック外との間に1組の接合資料がある。ブロック内だけで認定された母岩はないが、他ブロックにまたいで認定された6母岩の石器が含まれる。なお、このブロックでは縄文土器が1点出土したが、小片のため図化していない。図94-5は黒曜石製の二側縁加工ナイフ。

4層ブロック7（図50）

調査区東部、ブロック8の北側に位置する。161点の石器からなるブロックで、このうち55%（89点）が安山岩製である。ブロック内で1組の接合資料がある。ブロック内で認定された1母岩（An母岩No.45：非接合10点）の他、他ブロックにまたいで認定された5母岩の石器が含まれる。図93-3は黒曜石製の細石核（石ヶ元型）。

4層ブロック8（図50）

調査区東部、ブロック7の南側に位置する。91点の石器からなるブロックで、このうち53%（48点）が安山岩製である。接合資料はない。ブロック内で認定された母岩はないが、他ブロックにまたいで認定された6母岩の石器が含まれる。なお、このブロックでは縄文土器が1点出土したが、小片のため図化していない。

2) その他の遺物（図216）

ブロック外から、計75点の土器（接合作業後の点数）および65点の石器（石鎌・尖頭器・石匙等）が出土した。土器のほとんどは、微細片で型式等の判別は不能であるが、文様等の判別ができるやや大型の破片8点を図示しておく。土器の大半は4層から出土したが、3層から5点、6層から1点が出土した。このうち6層から出土した1点については、第3章3「遺跡の層序」で述べたとおり、本来の所属層である4層から移動したものと考えている。

1～8はすべて押型文土器で、器面調整はいずれもナデである。1・2は外面に格子目文が斜位・横位に、4の外面には山形押型文が横位に、3・5・6・7の外面には楕円押型文が横位あるいは斜位に施される。5・6は内面口縁部にも楕円押型文がみられる。3～7は楕円・山形押型文の大きさ、施文の方向等から下昔生B式並行期のものと考えられる。なお、1・2も器壁の厚さなどから、この時期のものと考えられる。

石器については、いわゆる「神子柴型」石斧だけを図化し、これ以外のうち概要の判るものについては写真を掲載した。また、微細な破片については一覧表に情報を掲載するにとどめた。

16は「神子柴型」とされる局部磨製石斧で、最大長15.23cm、最大幅3.76cm、最大厚2.80cm、重量は183.98gで、断面略台形である。全体に摩耗が激しく、全体の調整等は不明瞭である。玄武岩製か。

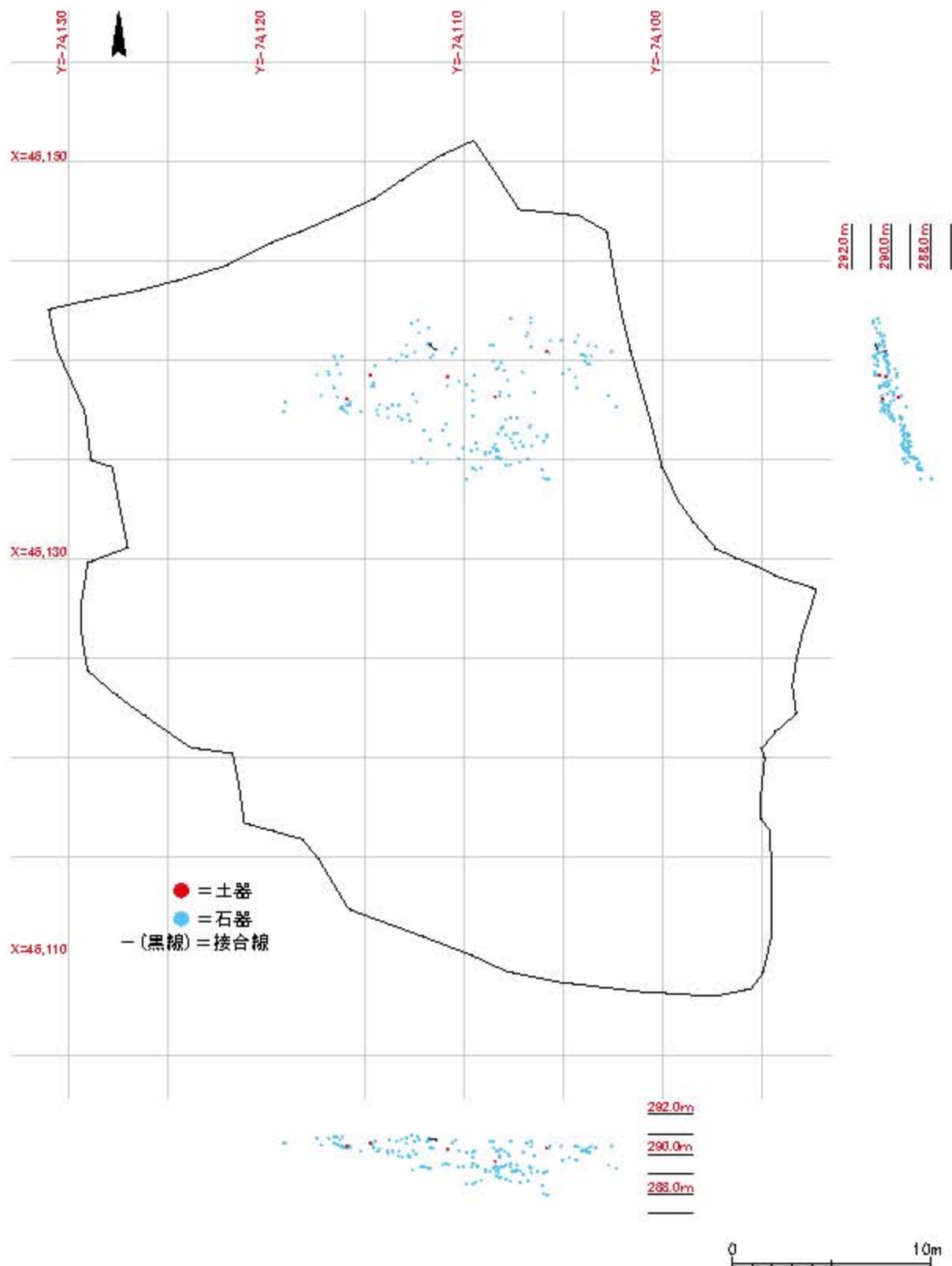


図20 1区 3層 土器・石器別の分布 (1/300)

地蔵平遺跡（本文編）

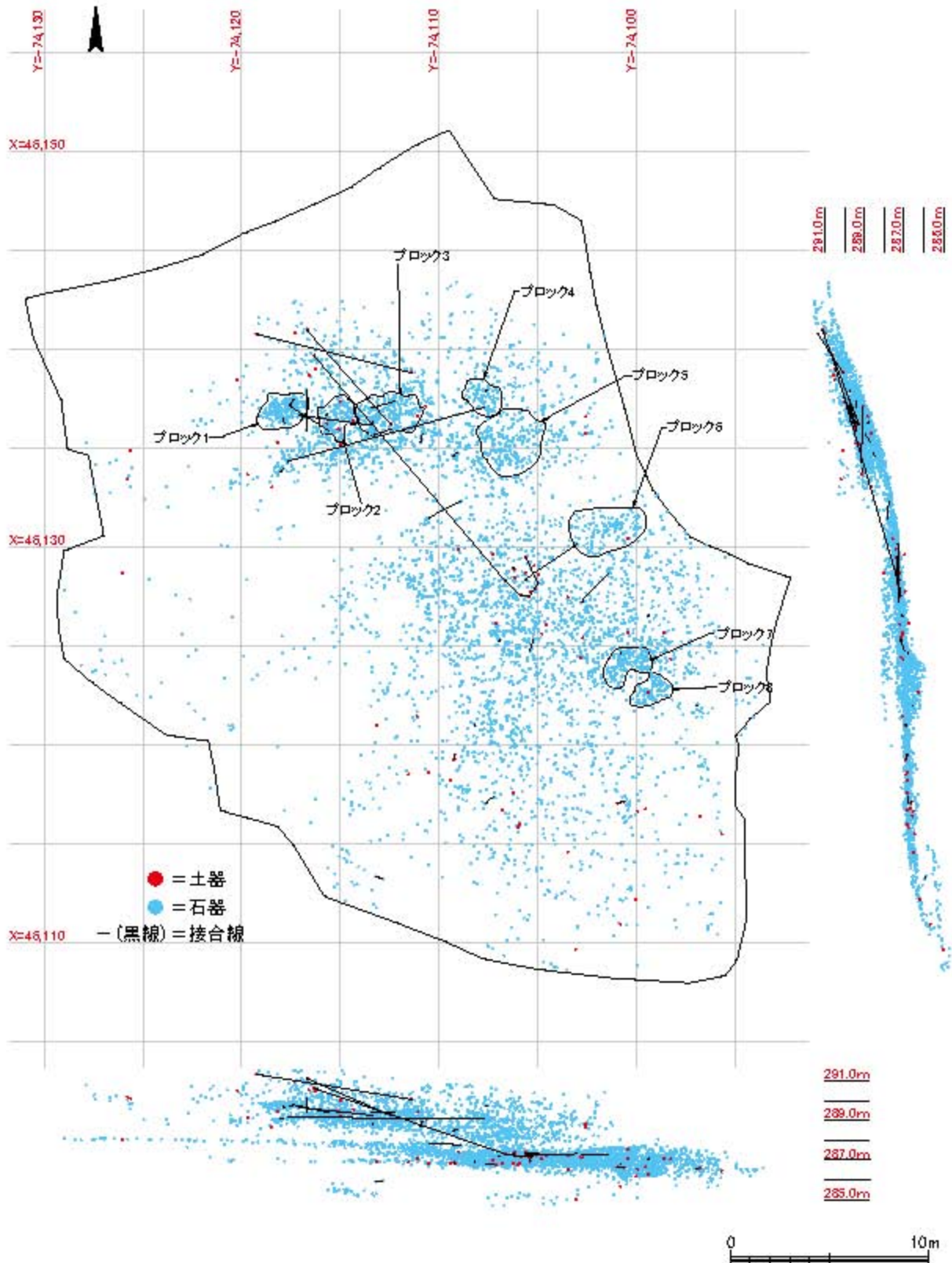


図21 1区 4層 土器・石器別の分布 (1/300)

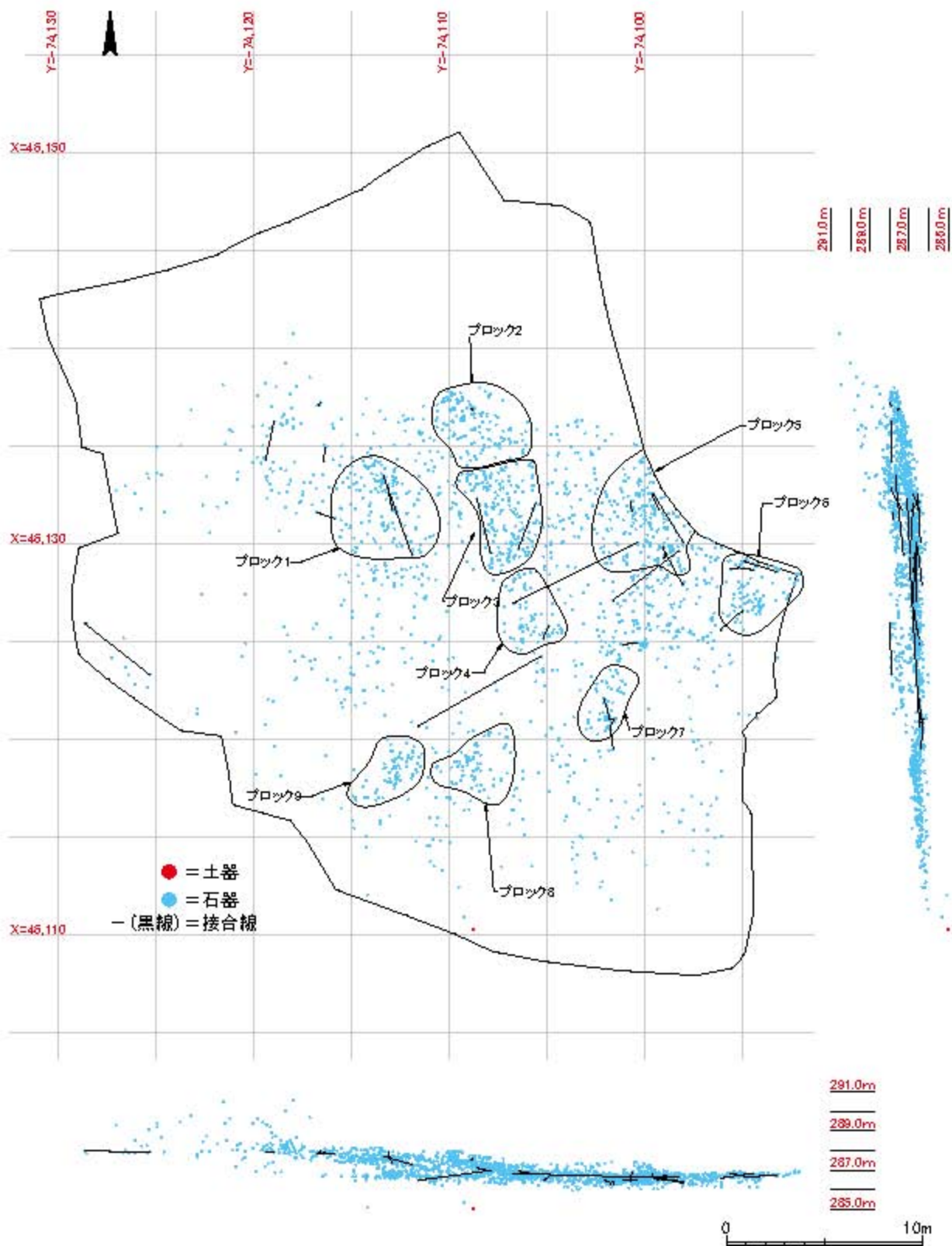


図22 1区 6層 土器・石器別の分布 (1/300)

地蔵平遺跡（本文編）

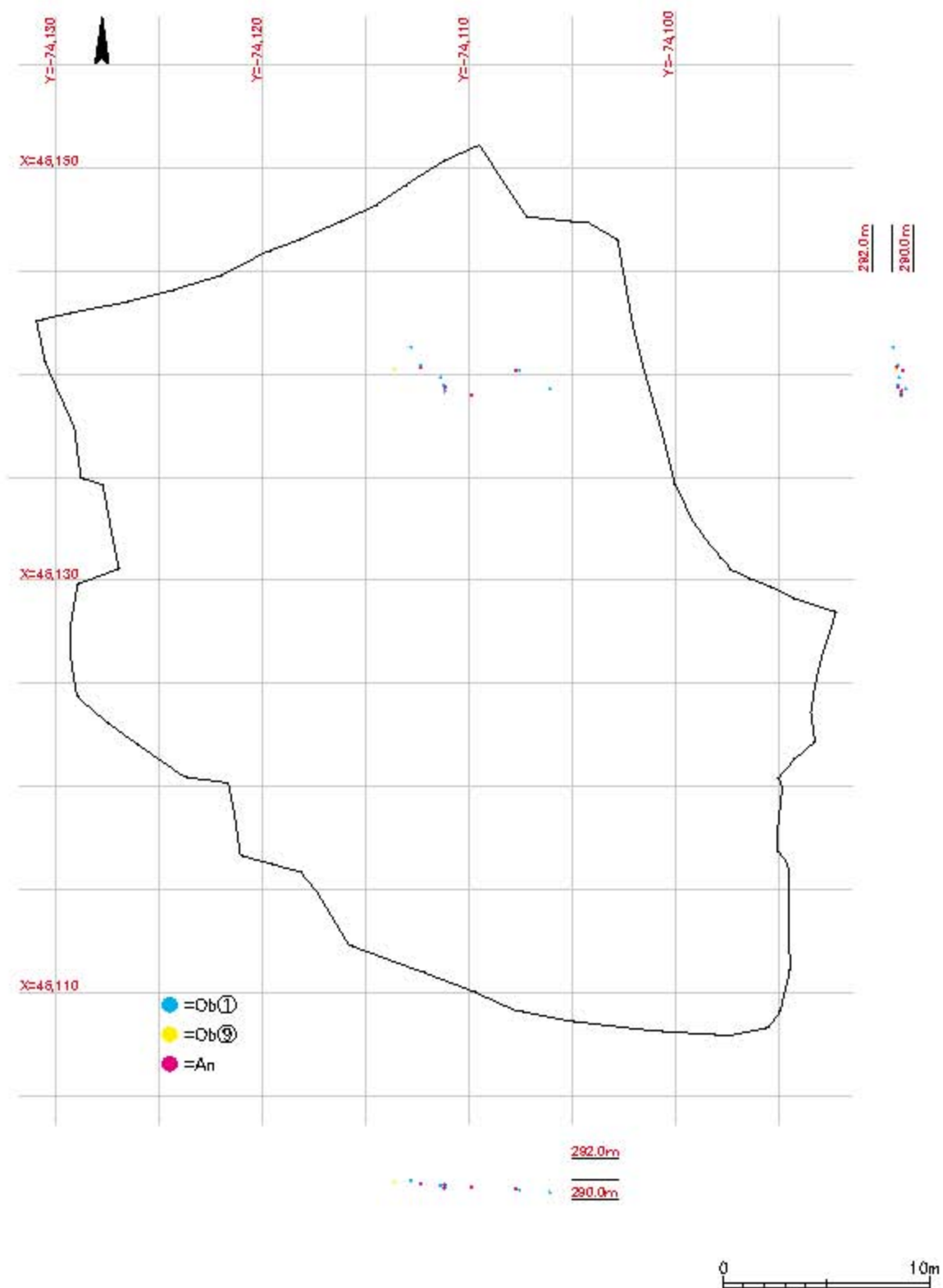


図23 1区 1層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

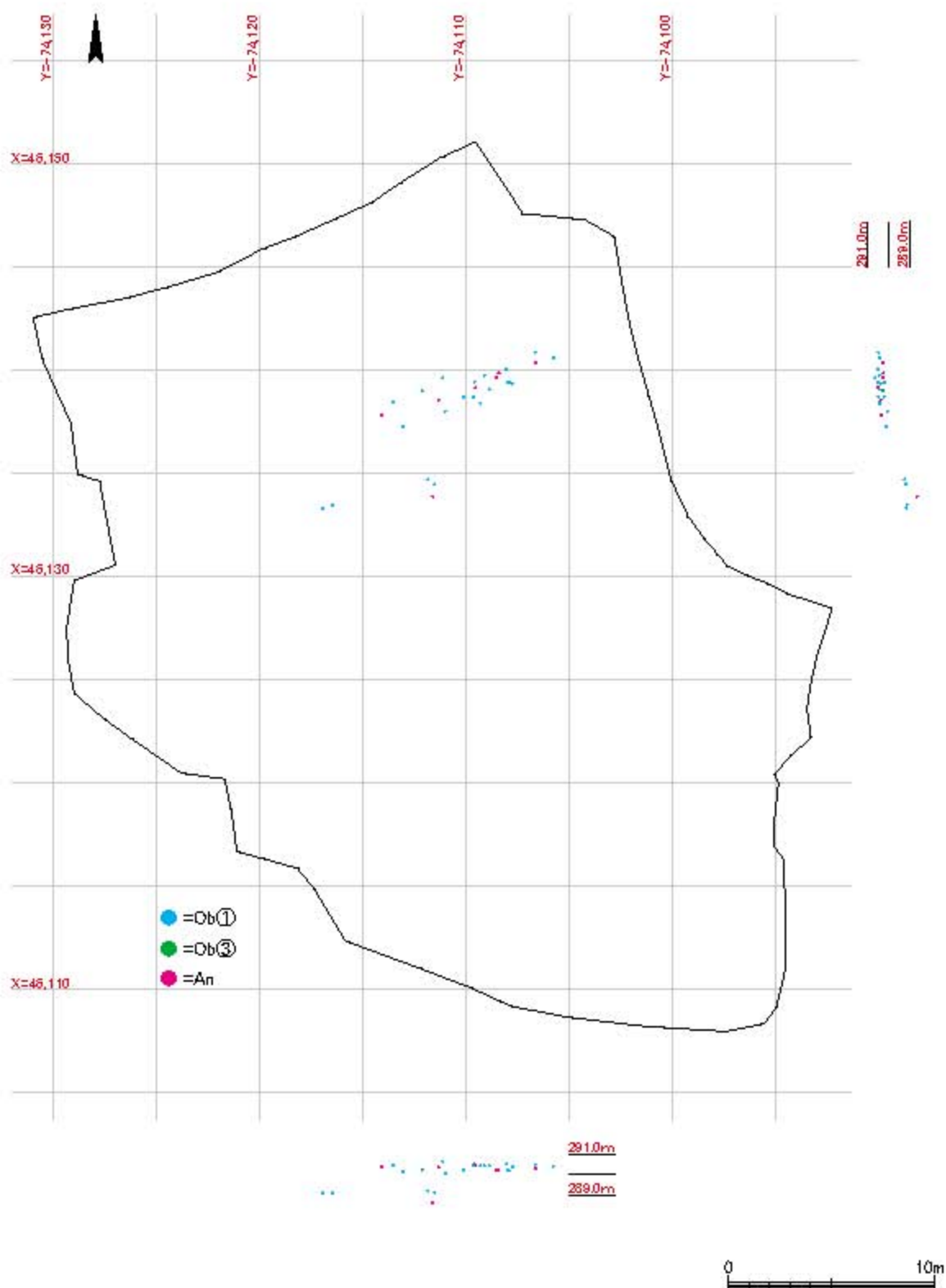


図24 1区 2層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

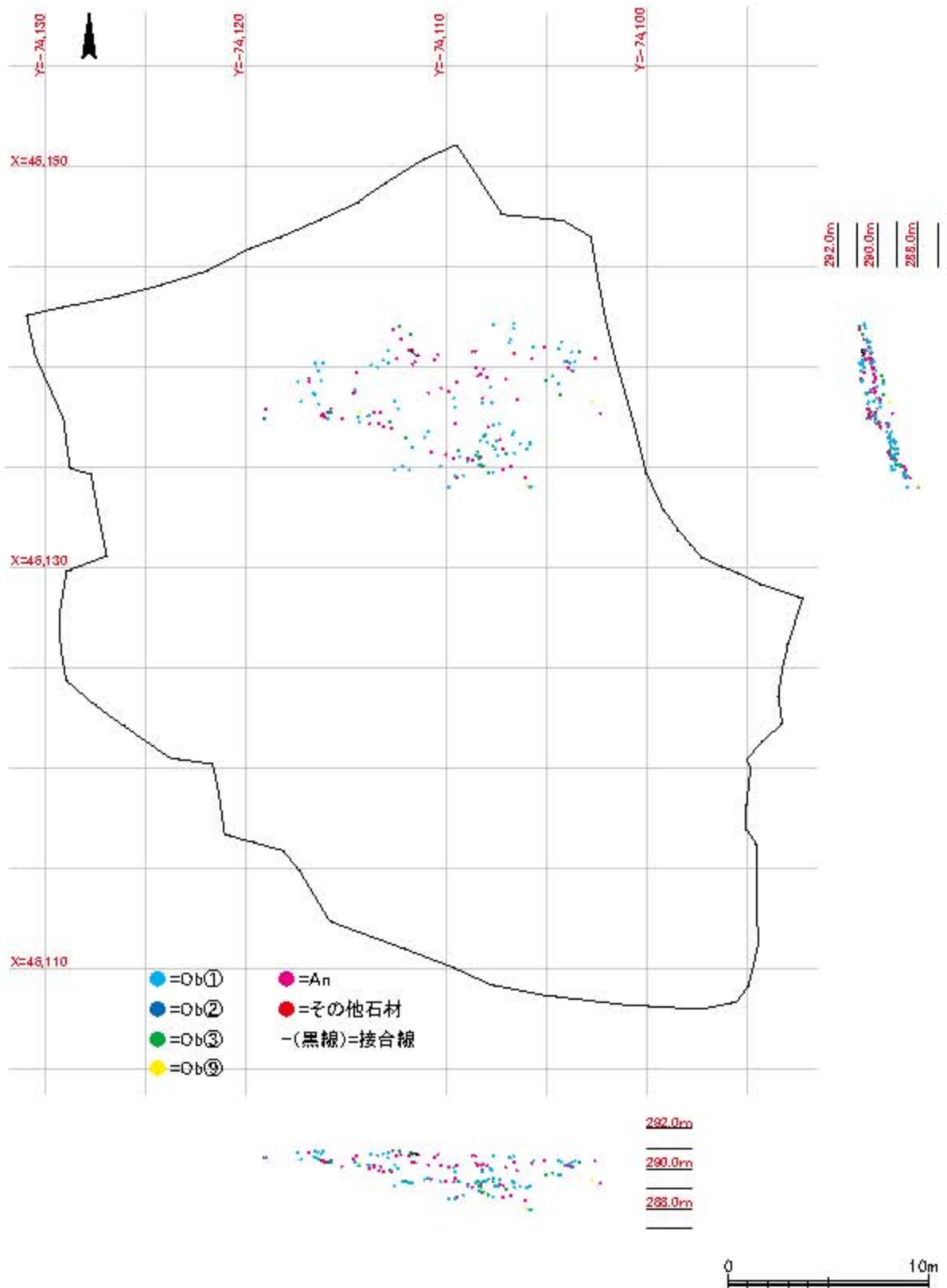


図25 1区 3層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

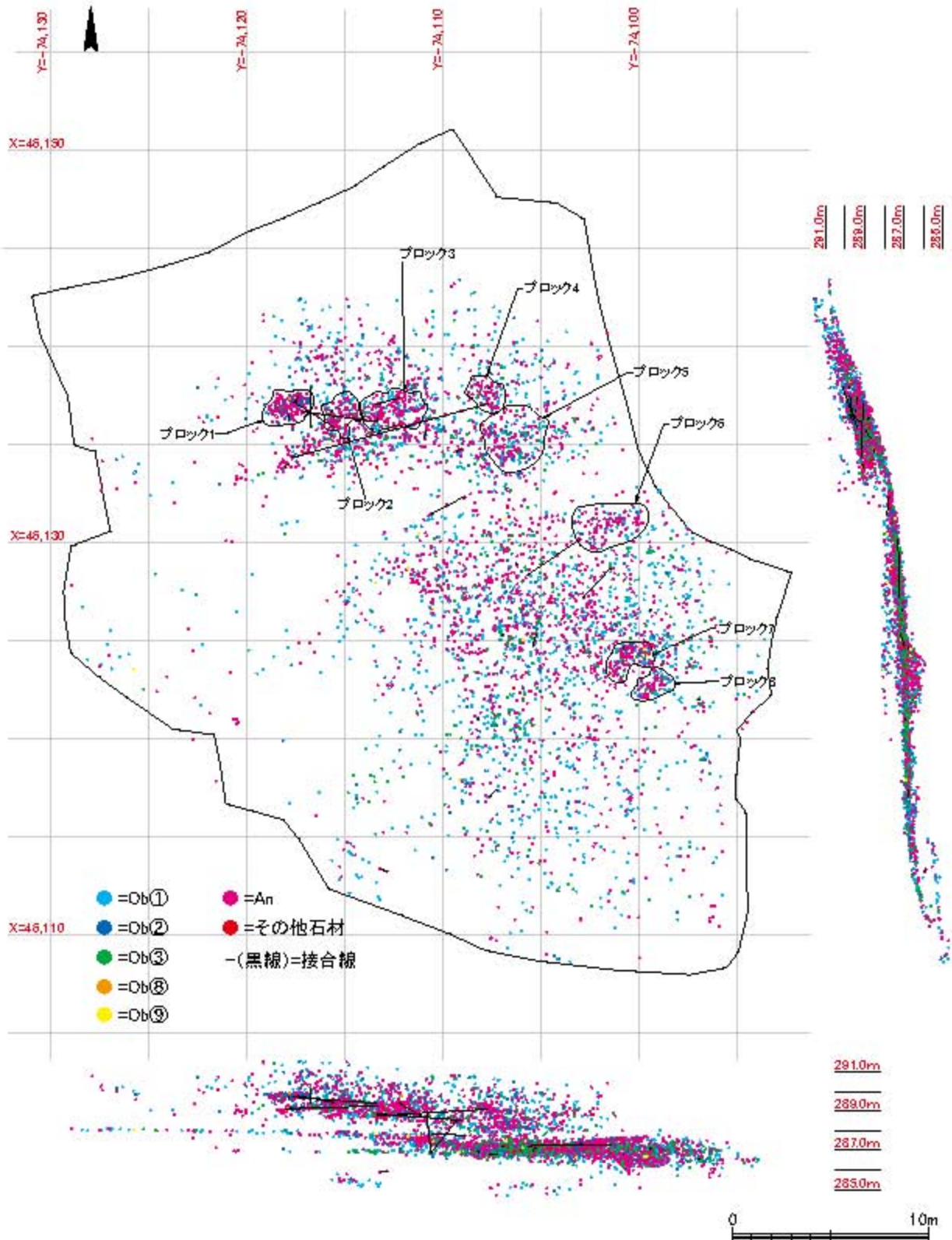


図26 1区 4層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

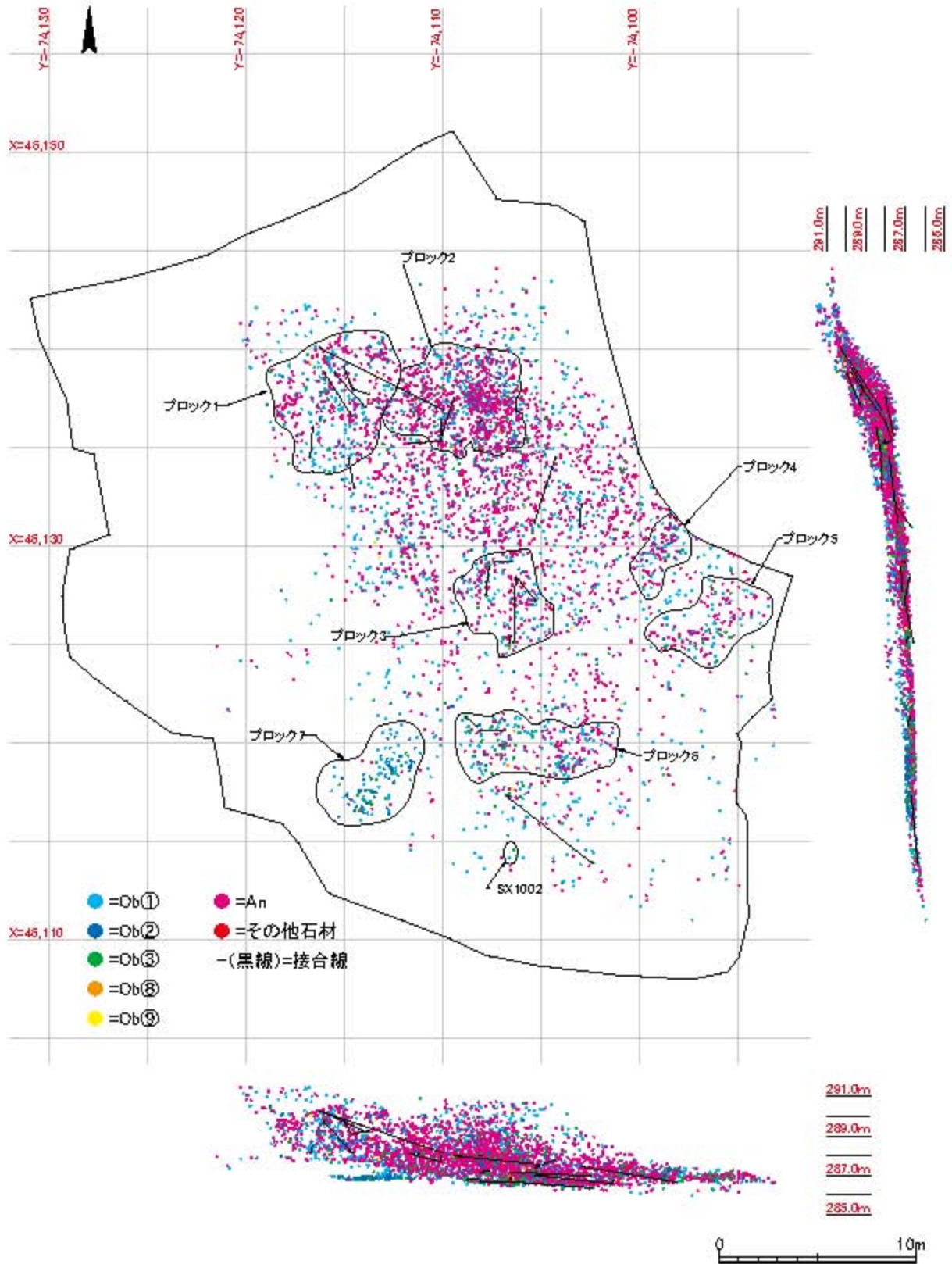


図27 1区 Sa層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

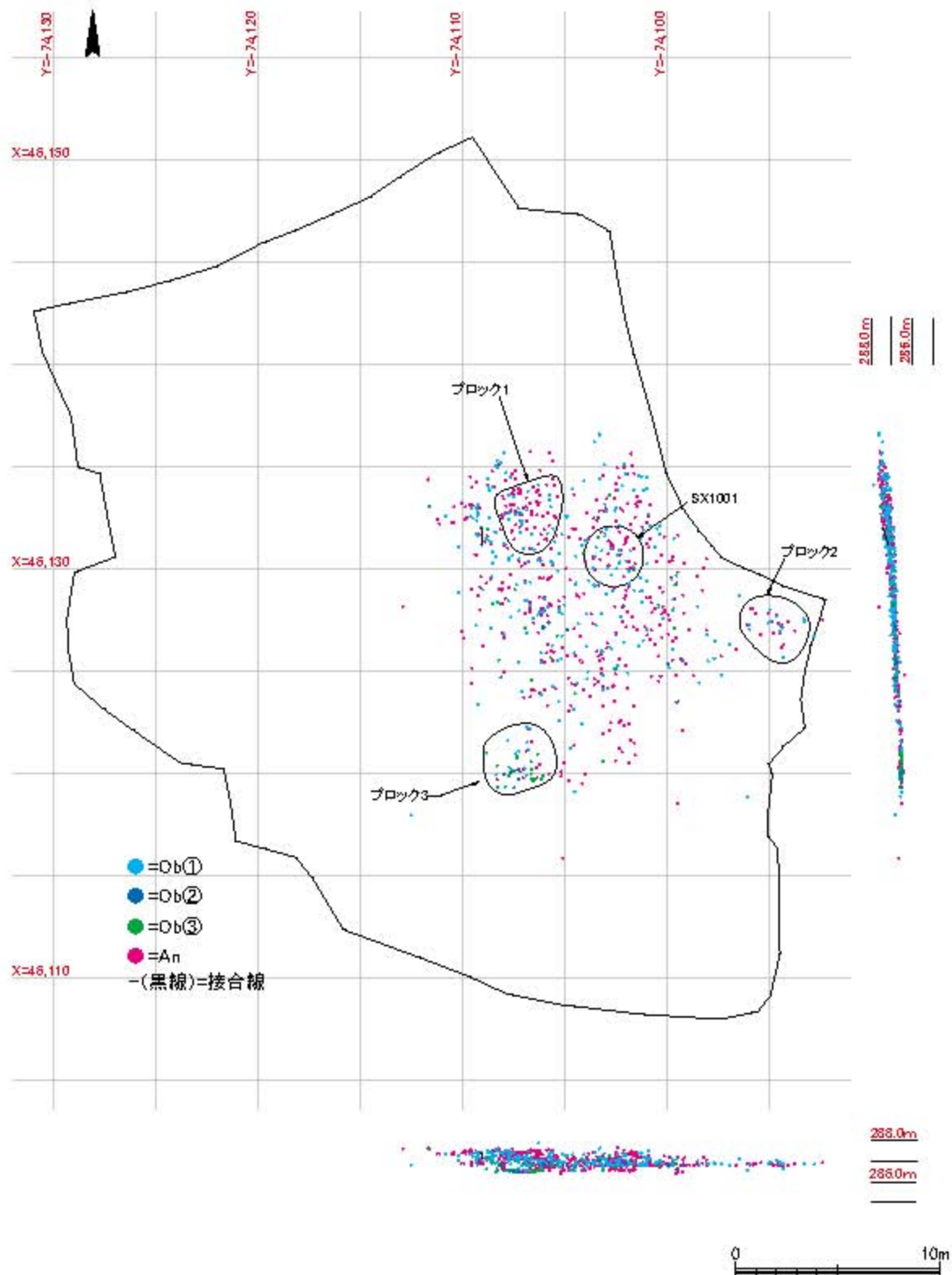


図28 1区 5b層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

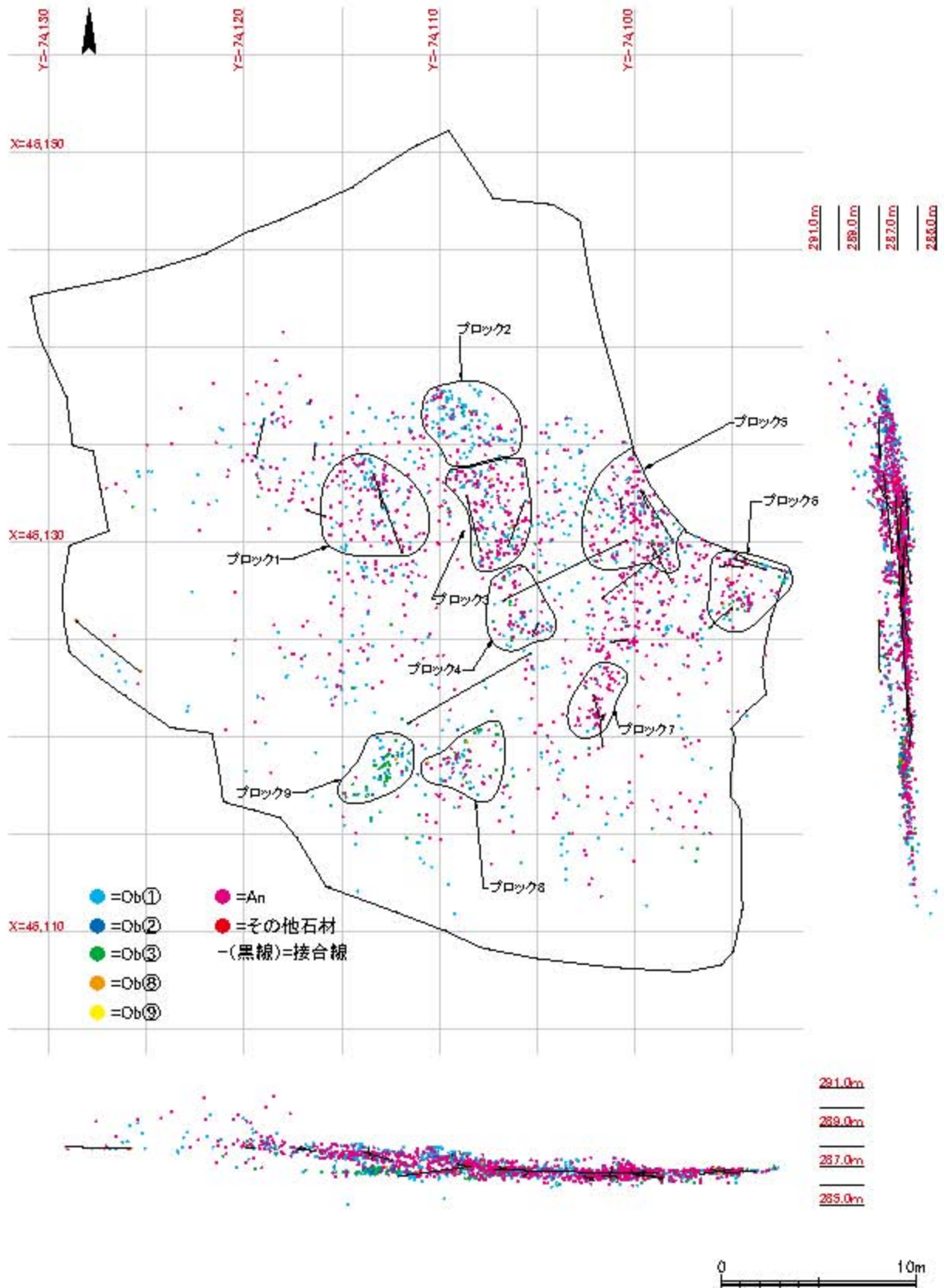


図29 1区 6層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

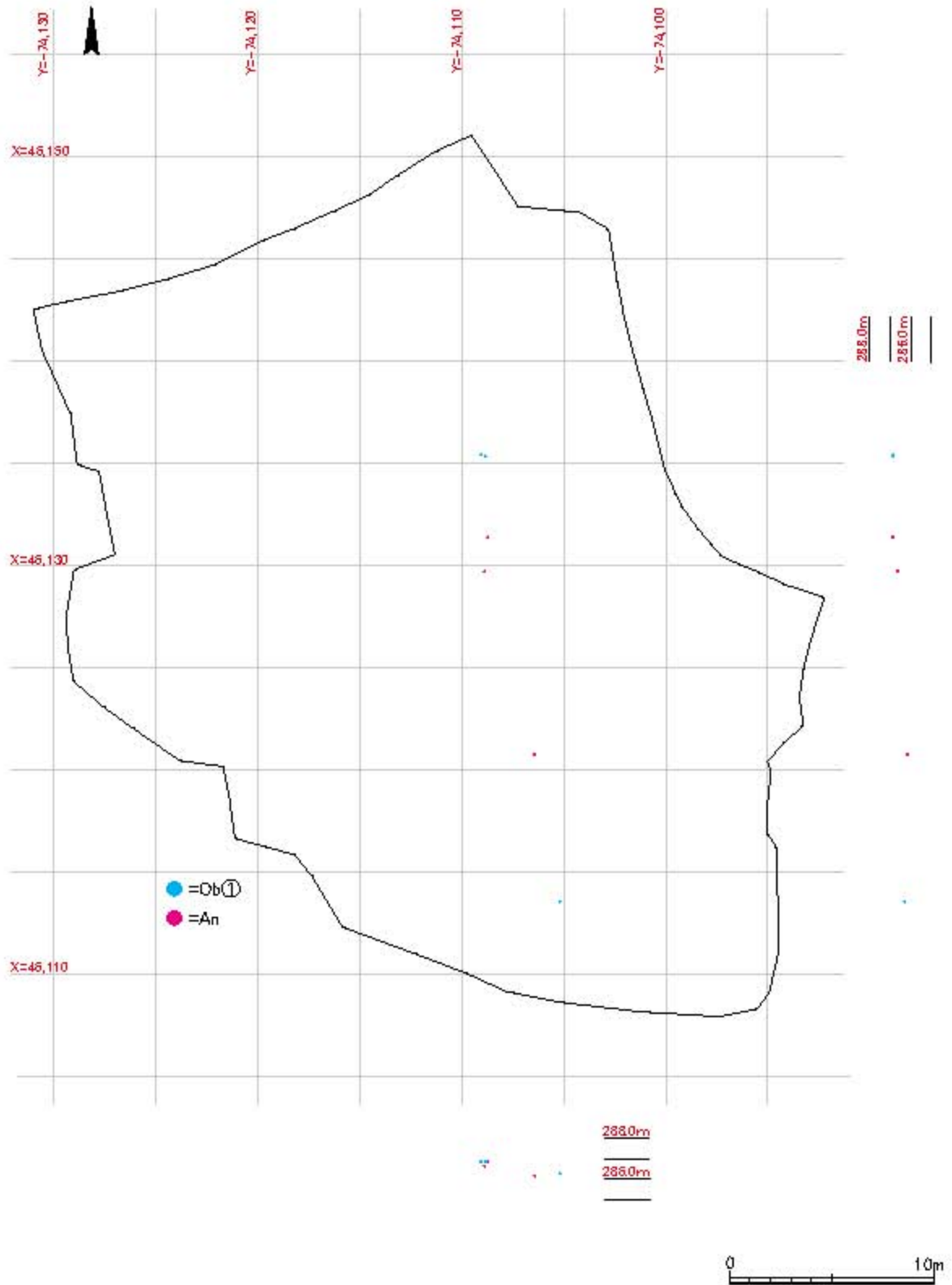


図30 1区 7層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

地蔵平遺跡（本文編）

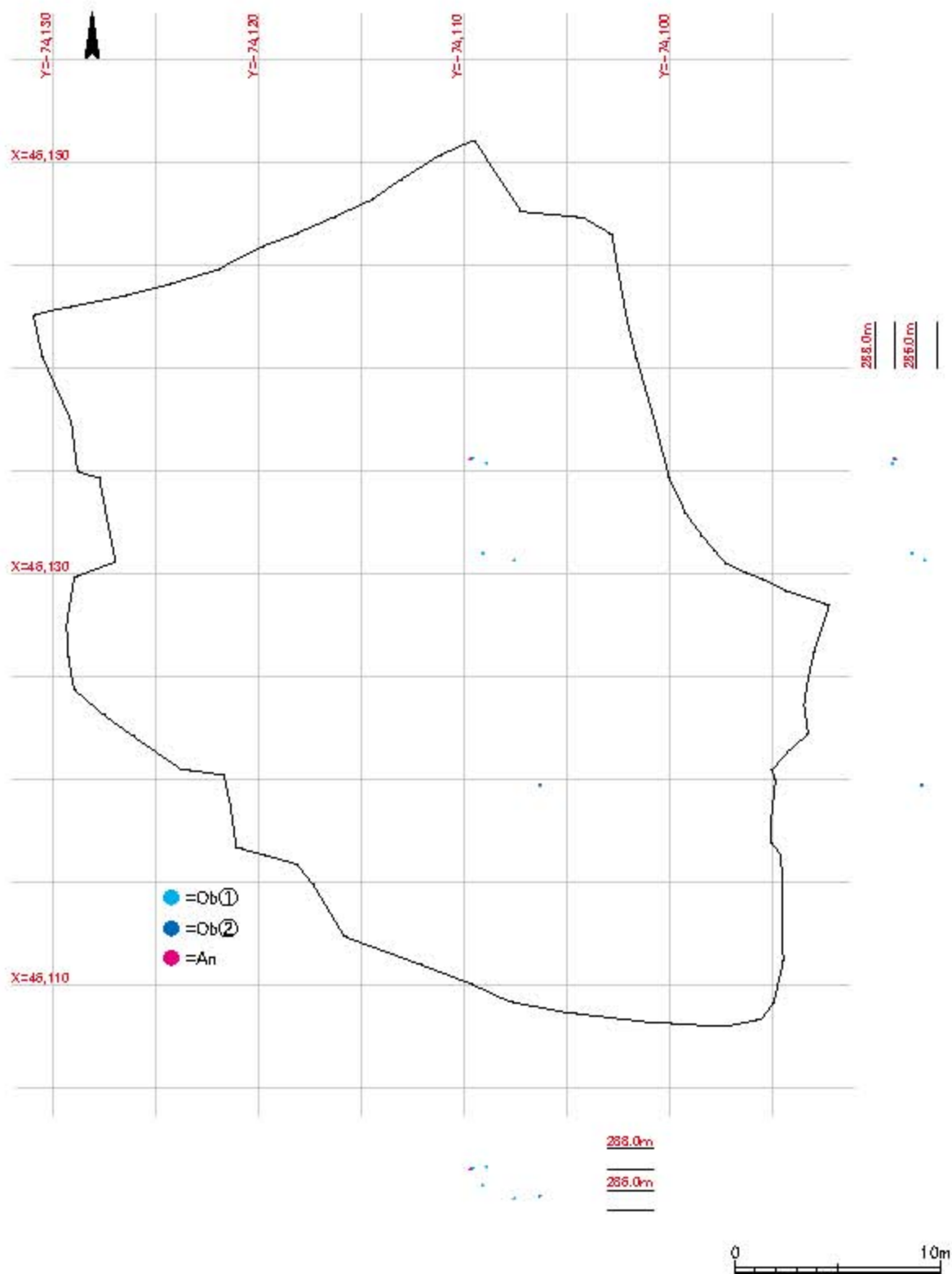


図31 1区 8a層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

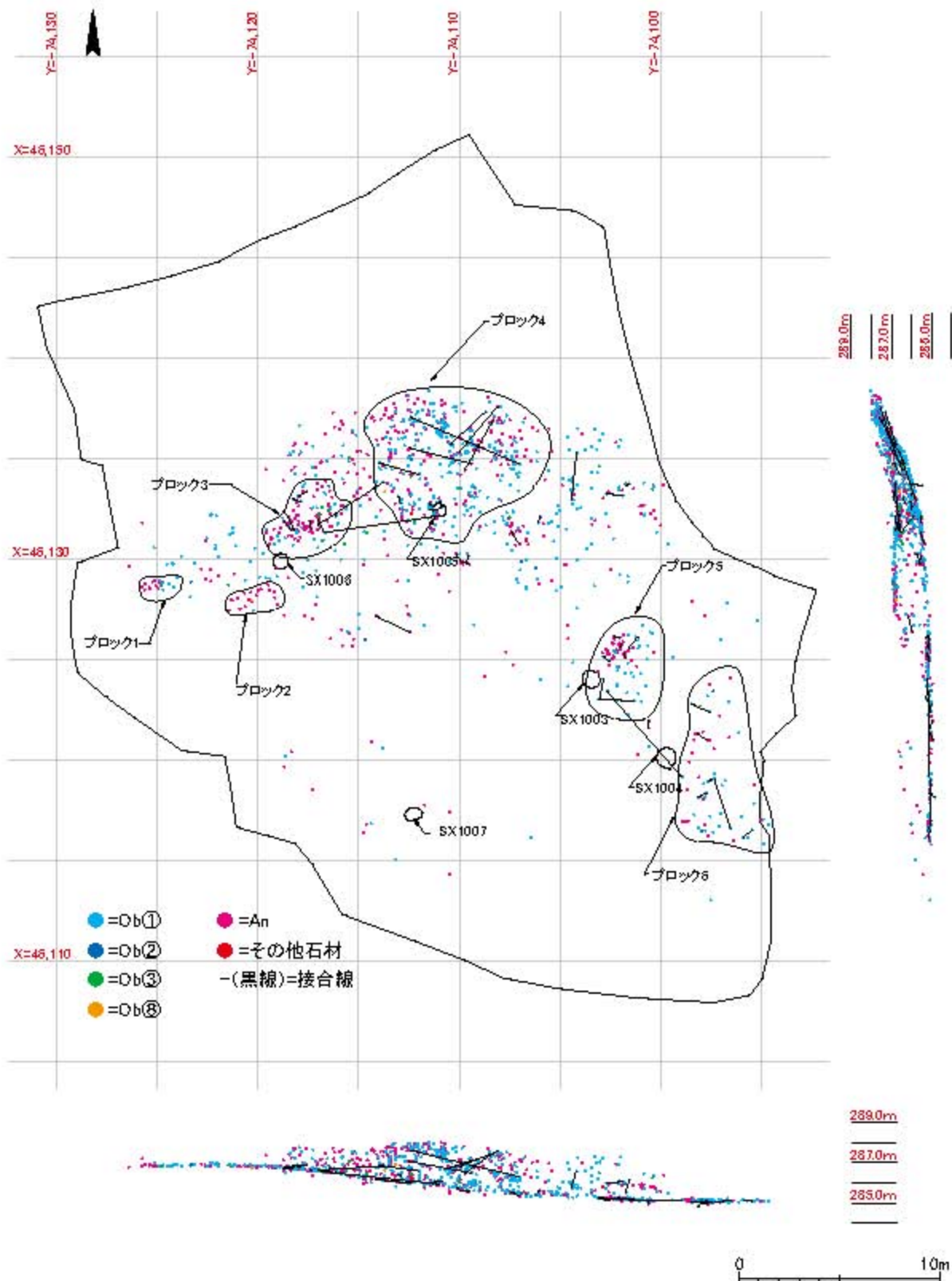


図32 1区 9a層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

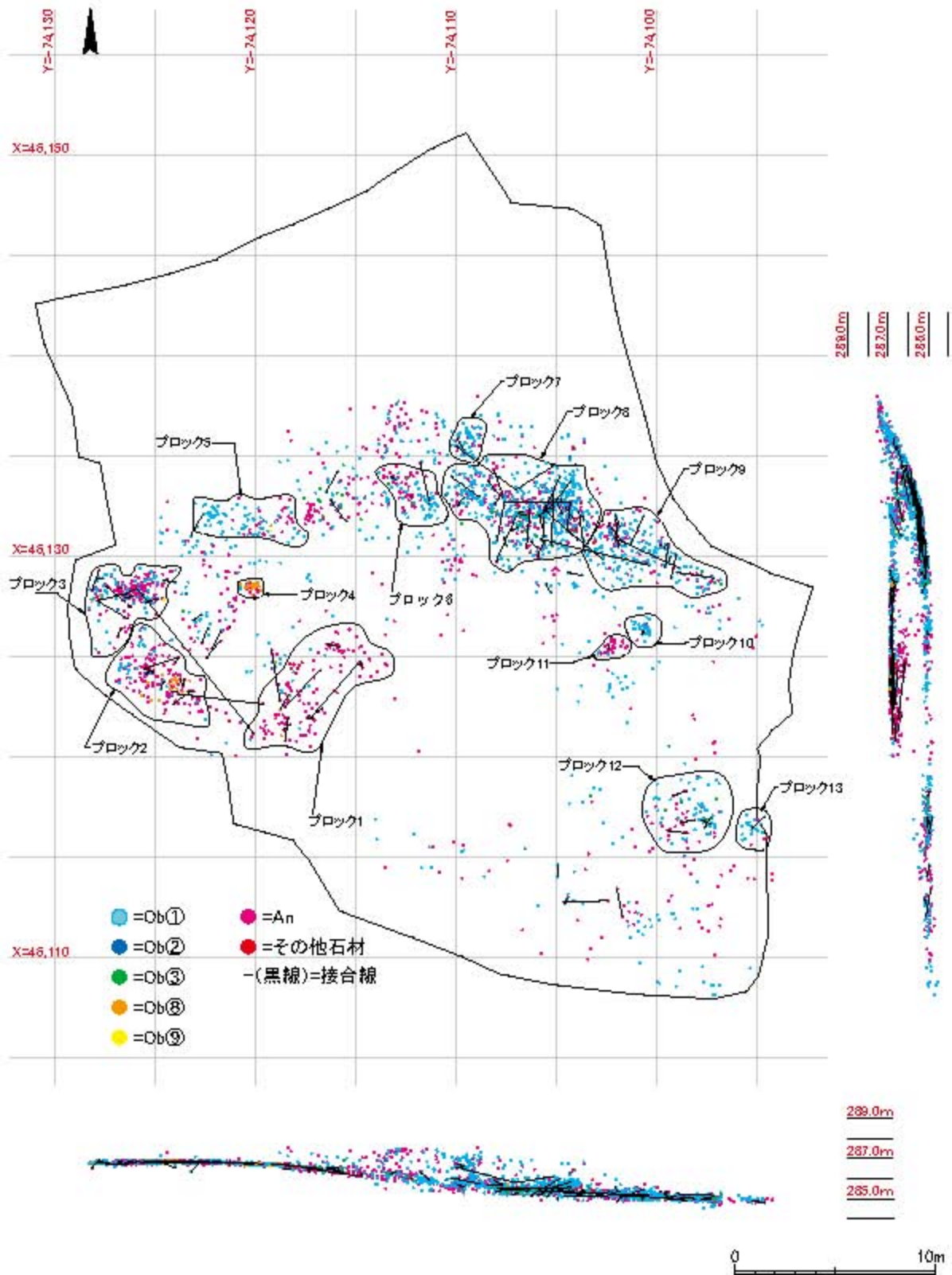


図33 1区 9b層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

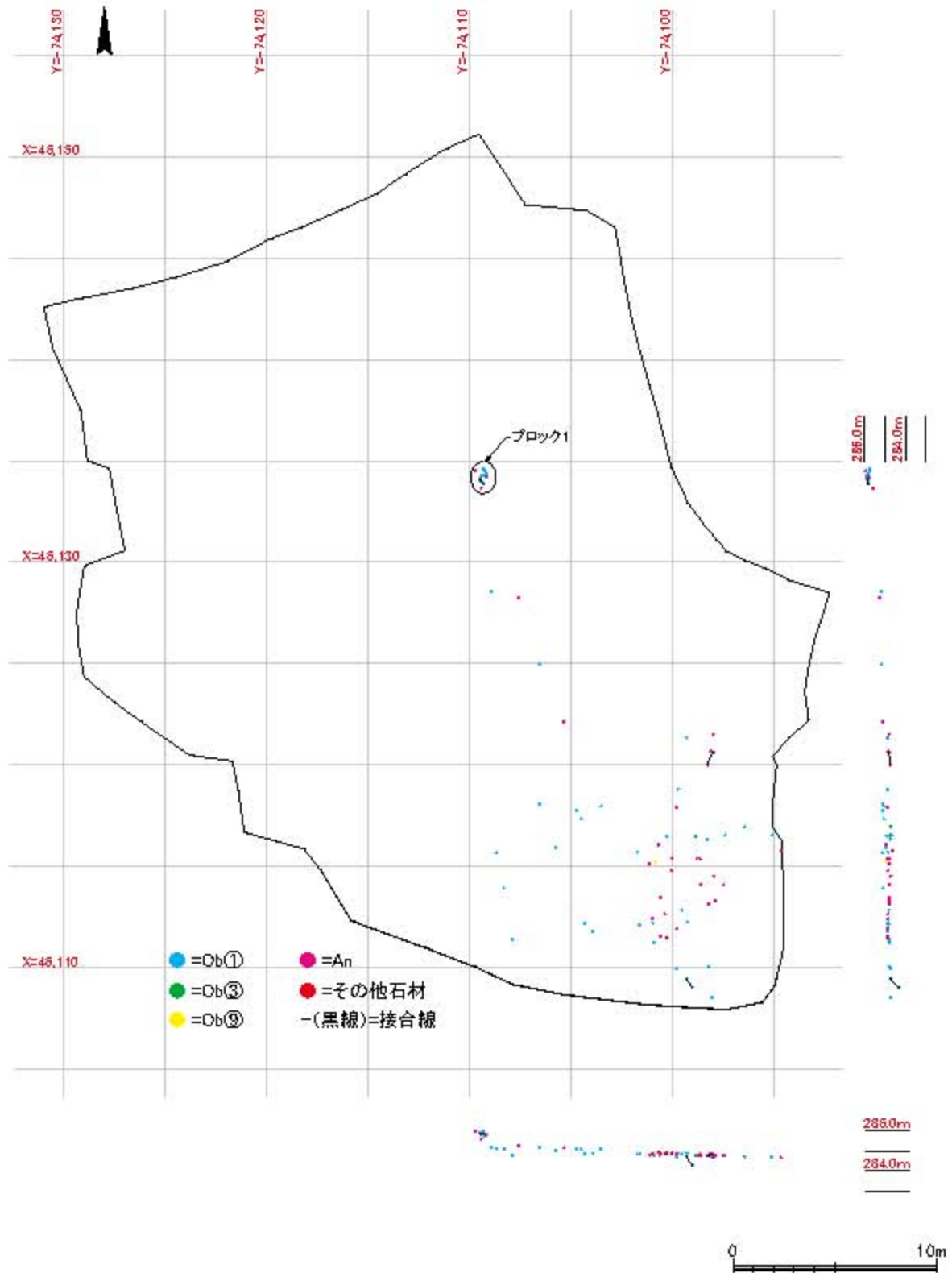


図34 1区 9c層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

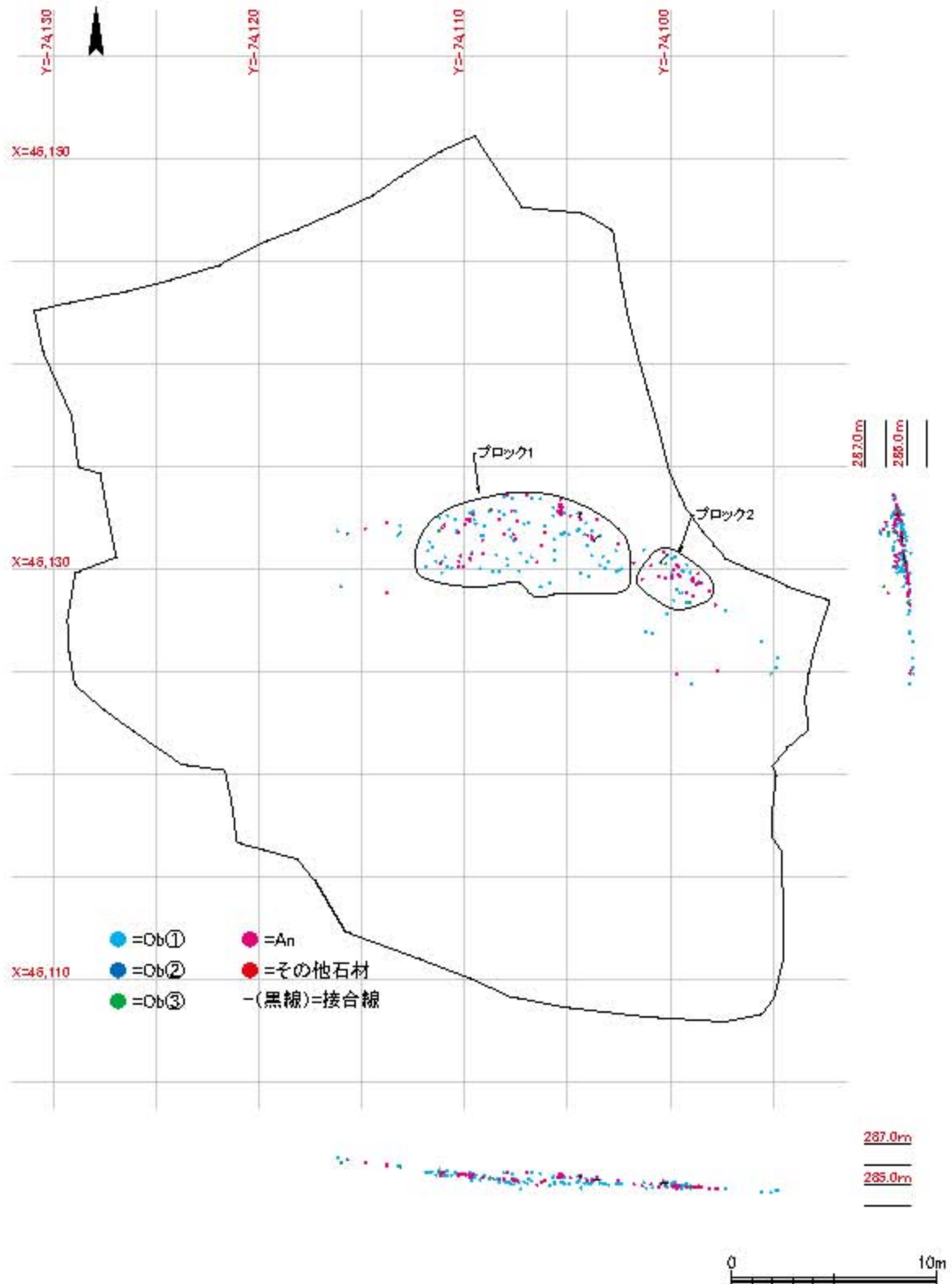


図35 1区 9d層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

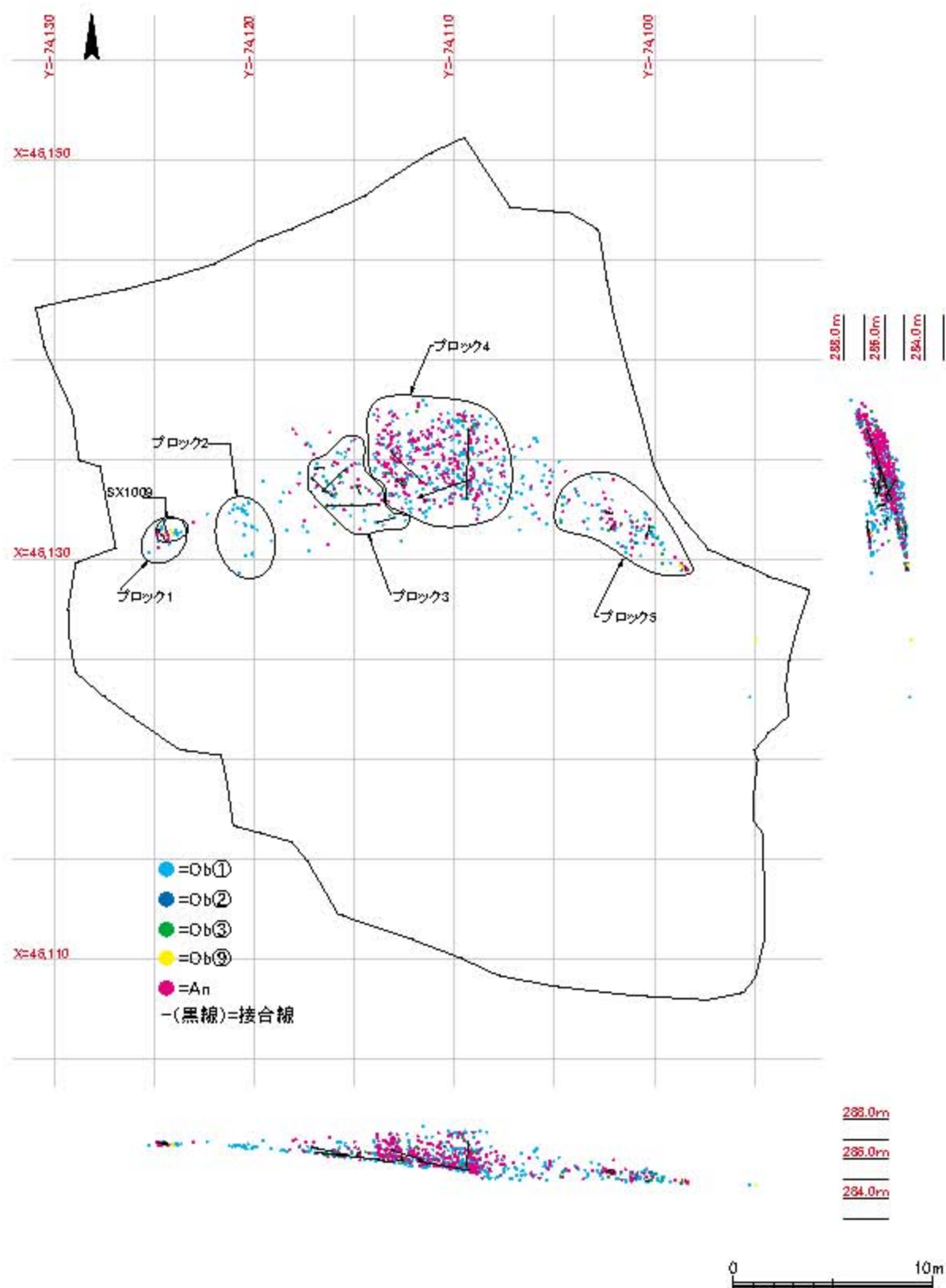


図36 1区 9e層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

地蔵平遺跡（本文編）

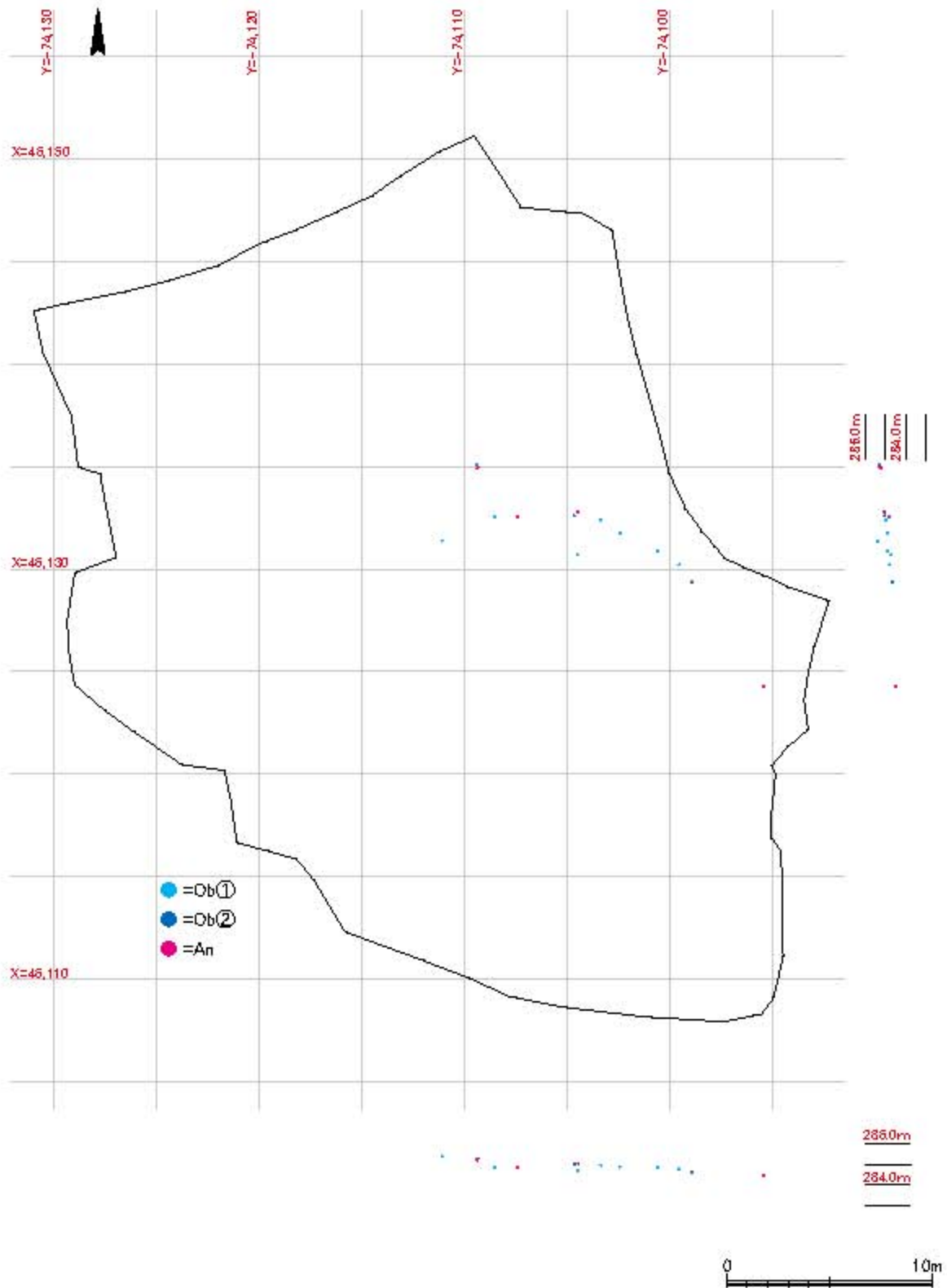


図37 1区 10a層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

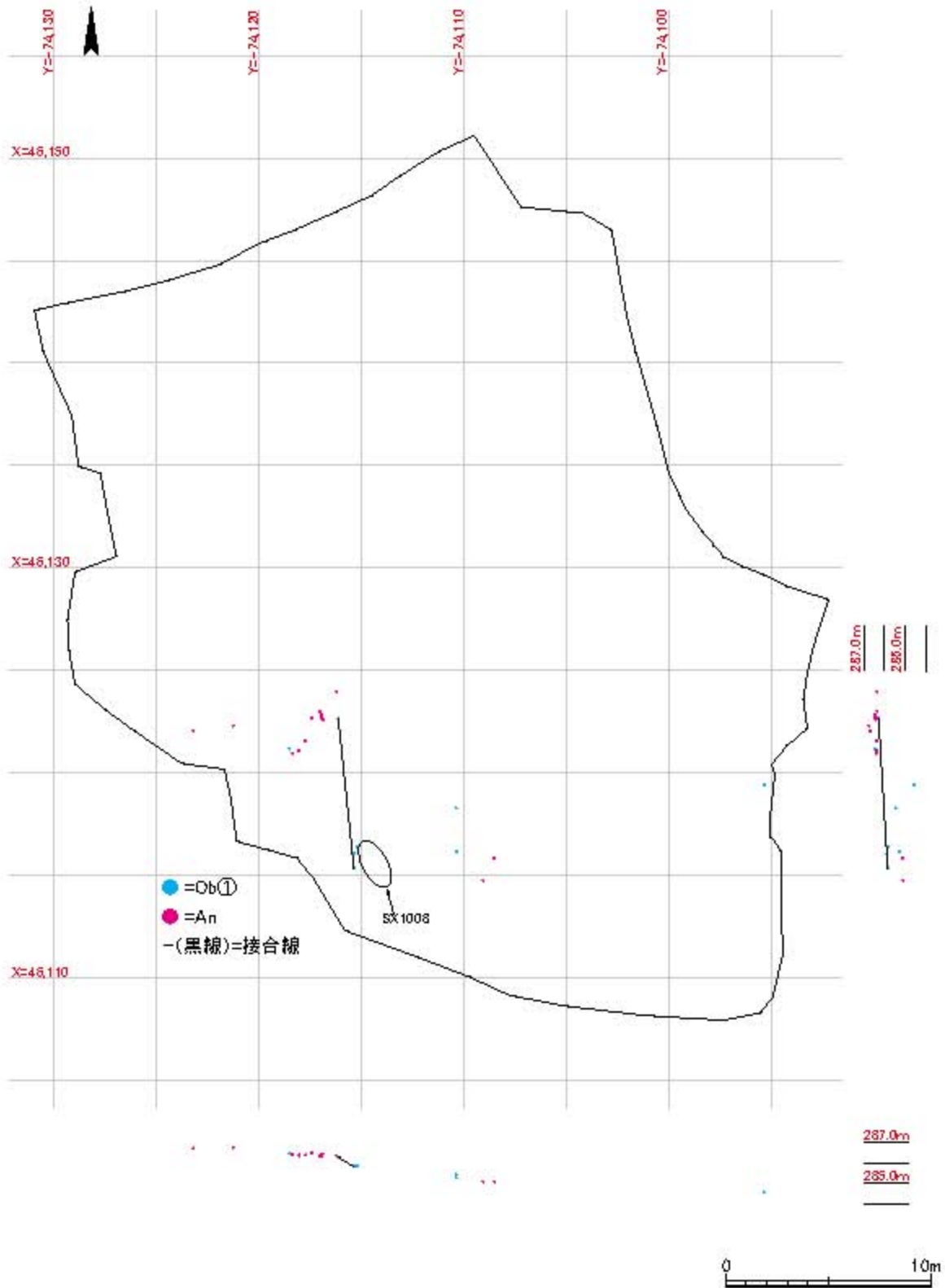


図38 1区 10b層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

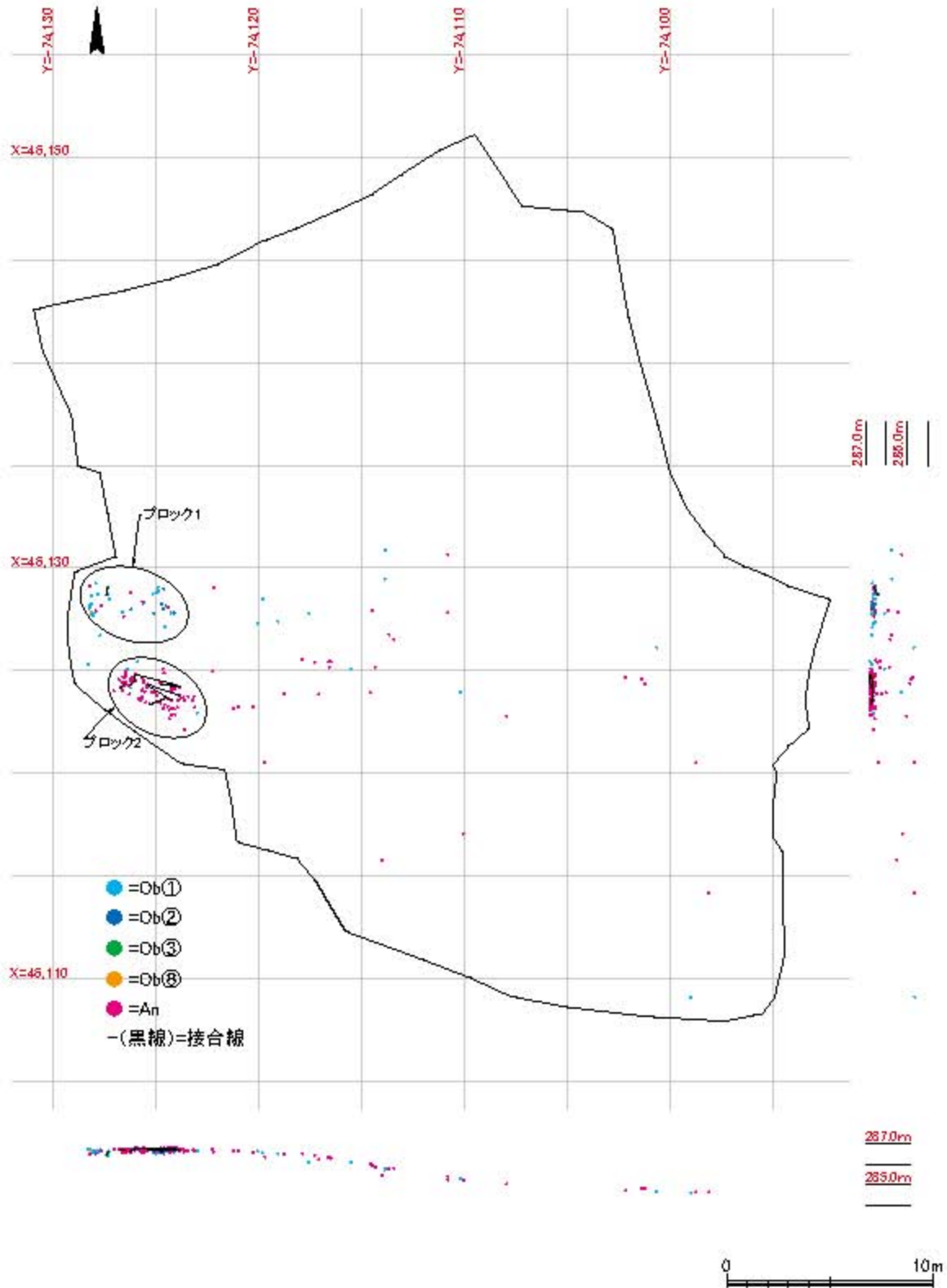


図39 1区 10c層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

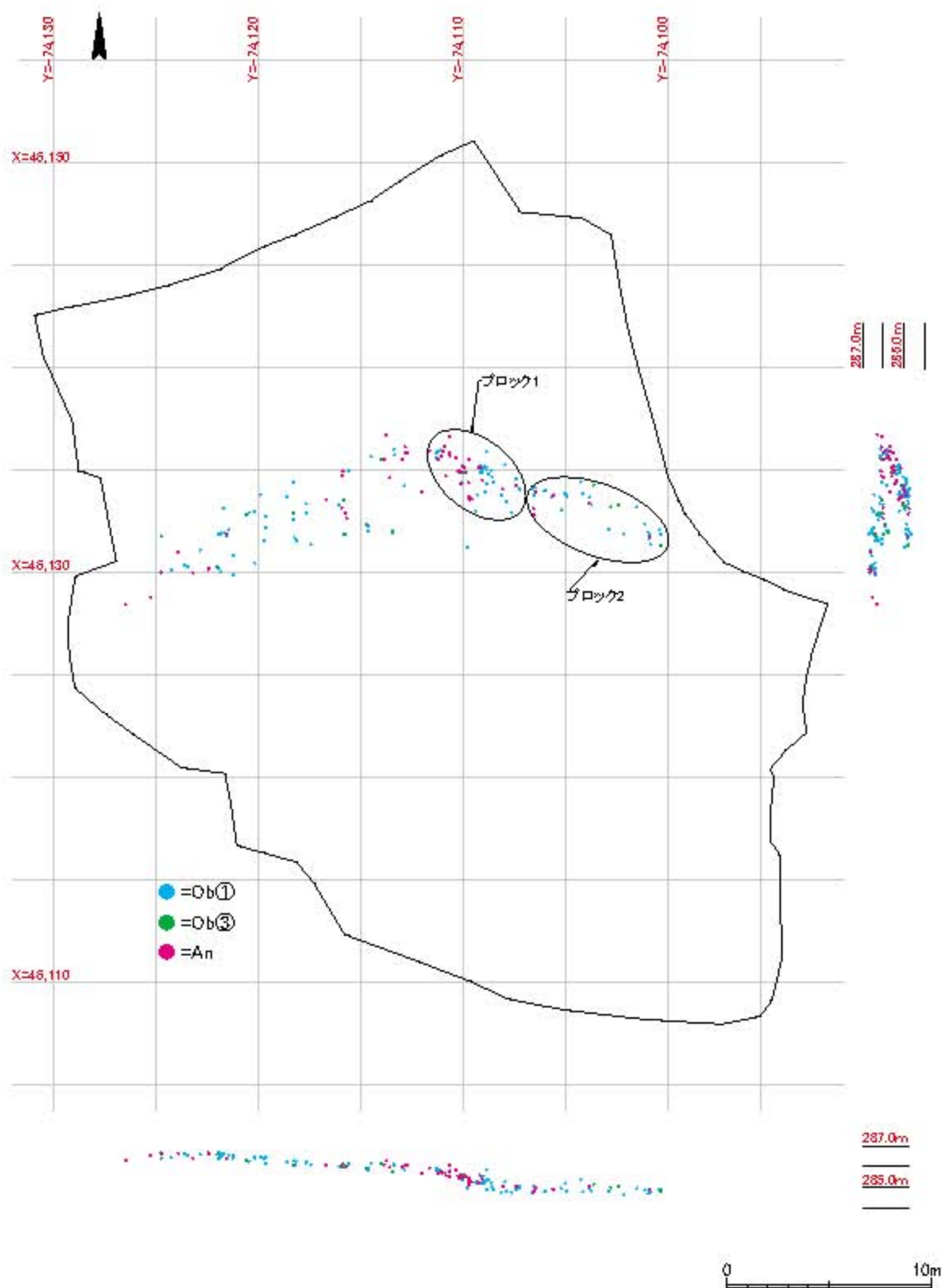


図40 1区 10d層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

地蔵平遺跡（本文編）

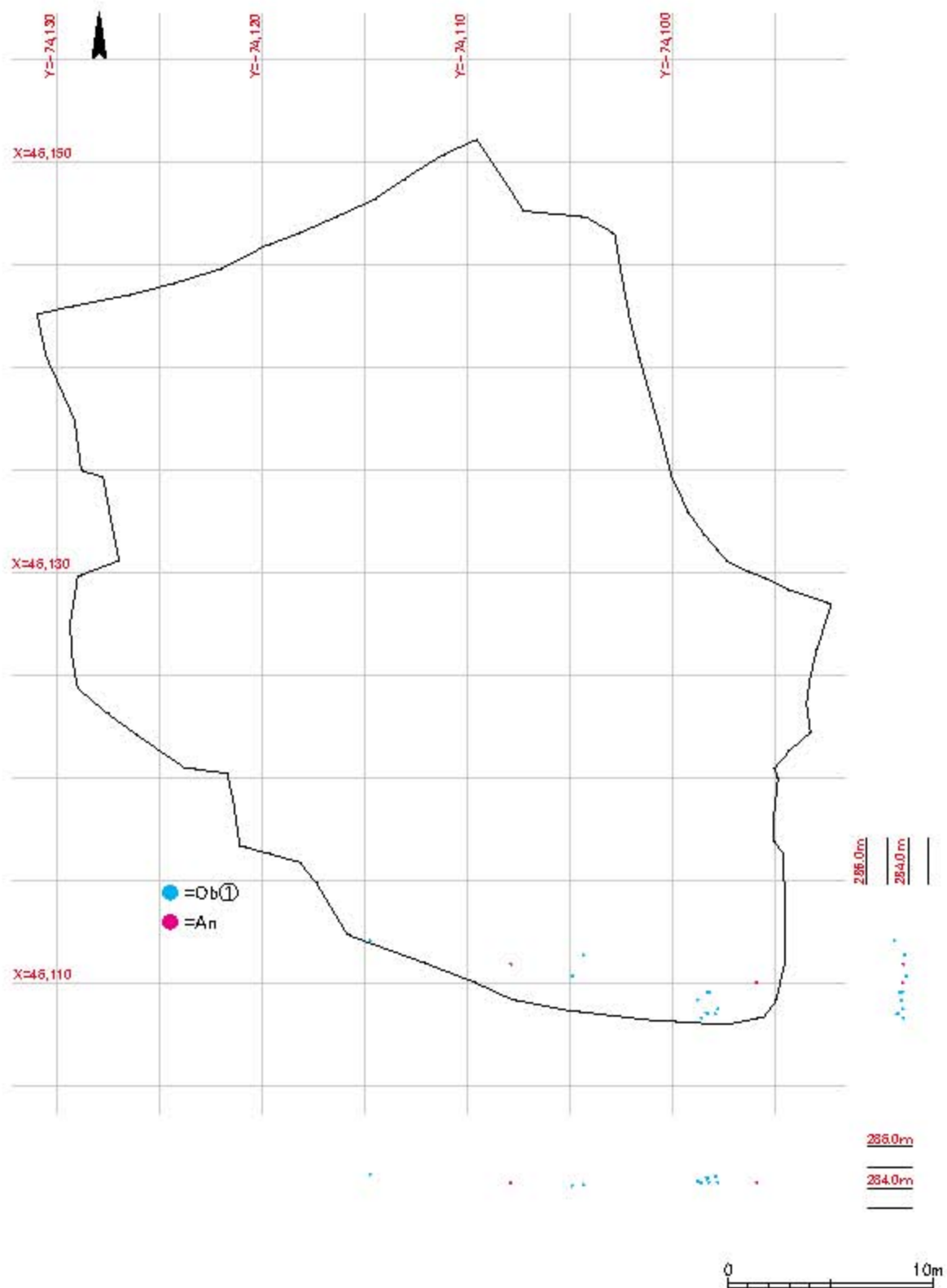


図41 1区 11層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

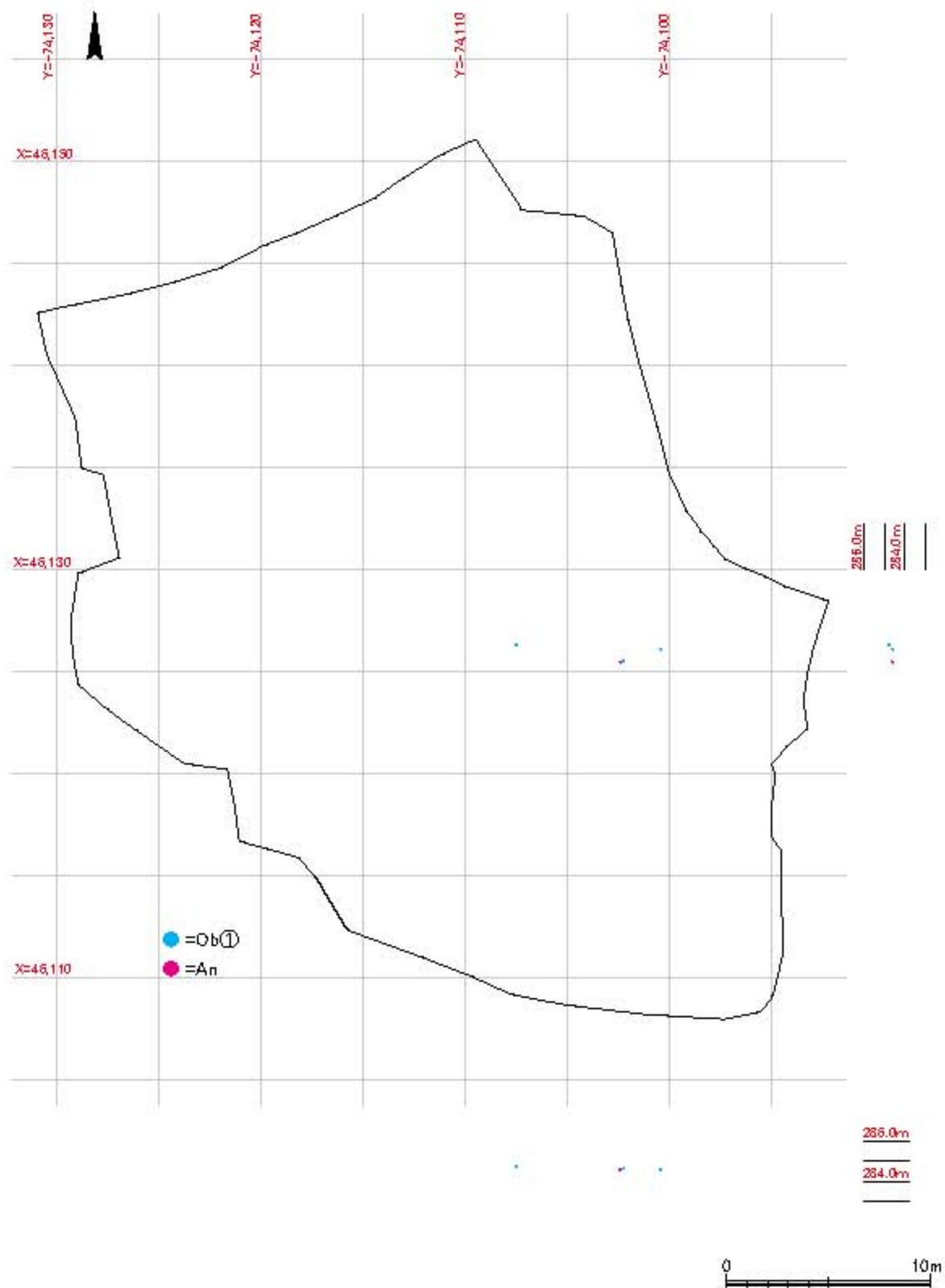


図42 1区 13a層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

地蔵平遺跡（本文編）

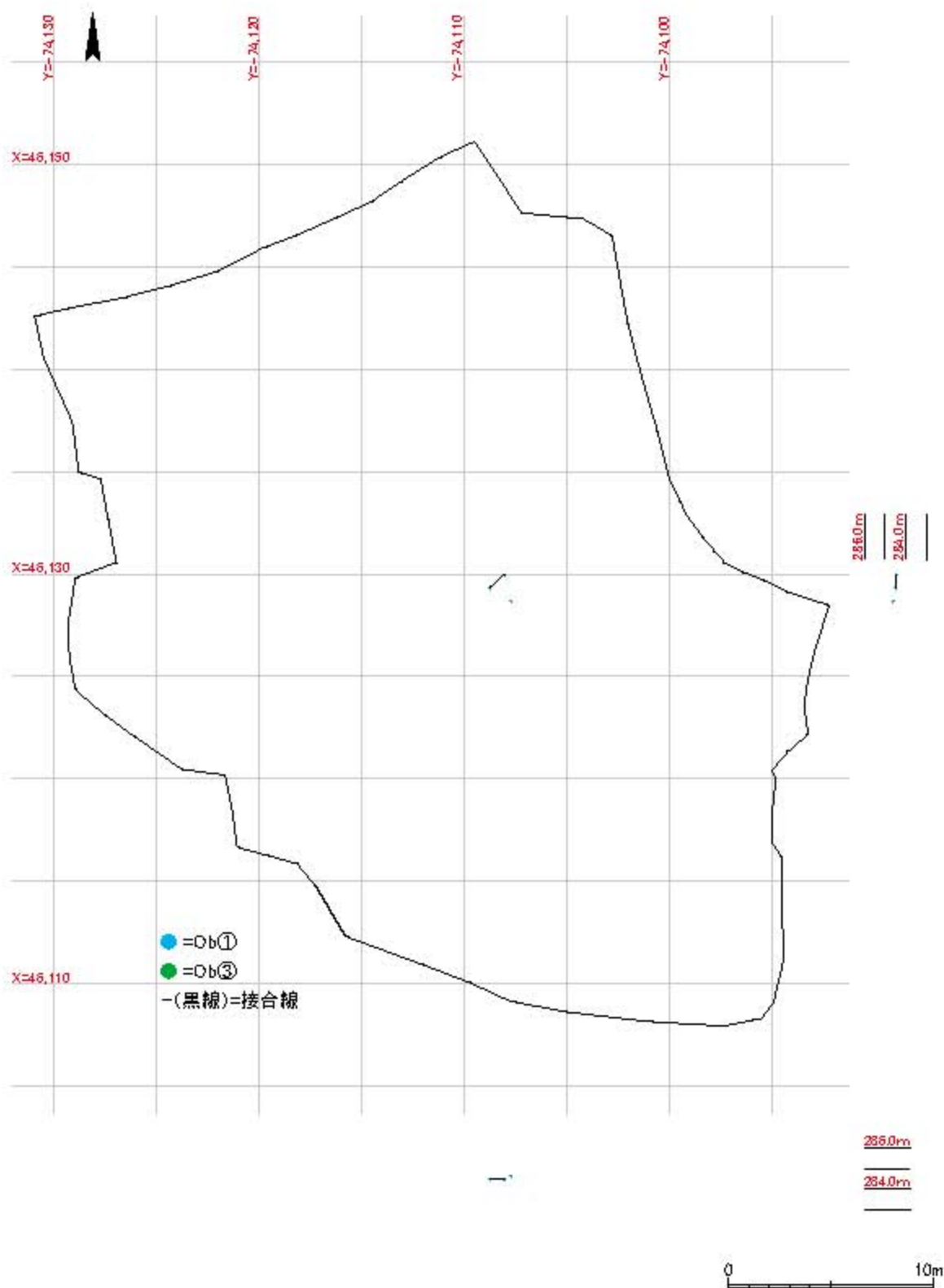


図43 1区 13b層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

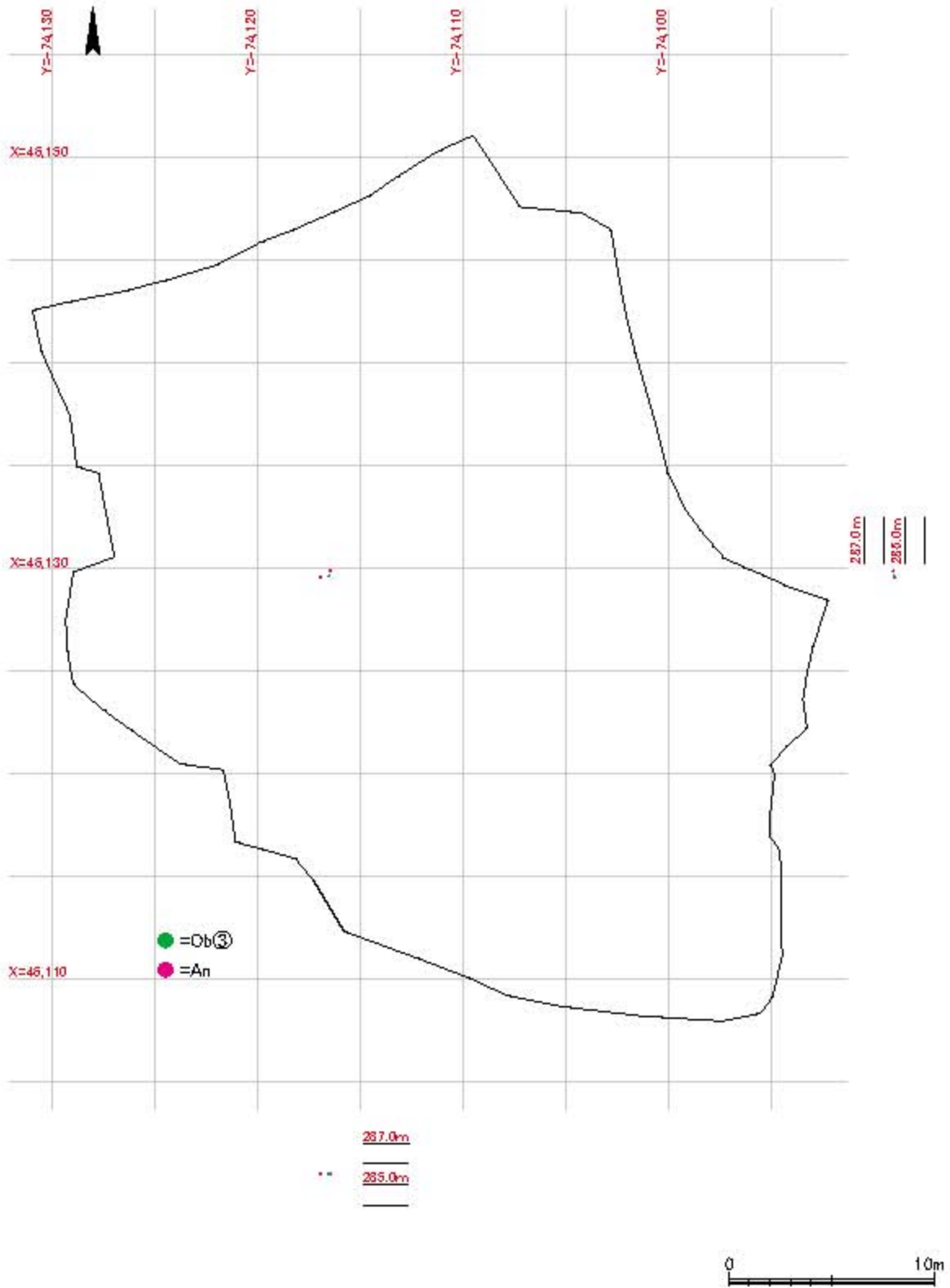


図44 1区 13c層 石材・産地別の石器の分布 (1/300)

地蔵平遺跡（本文編）

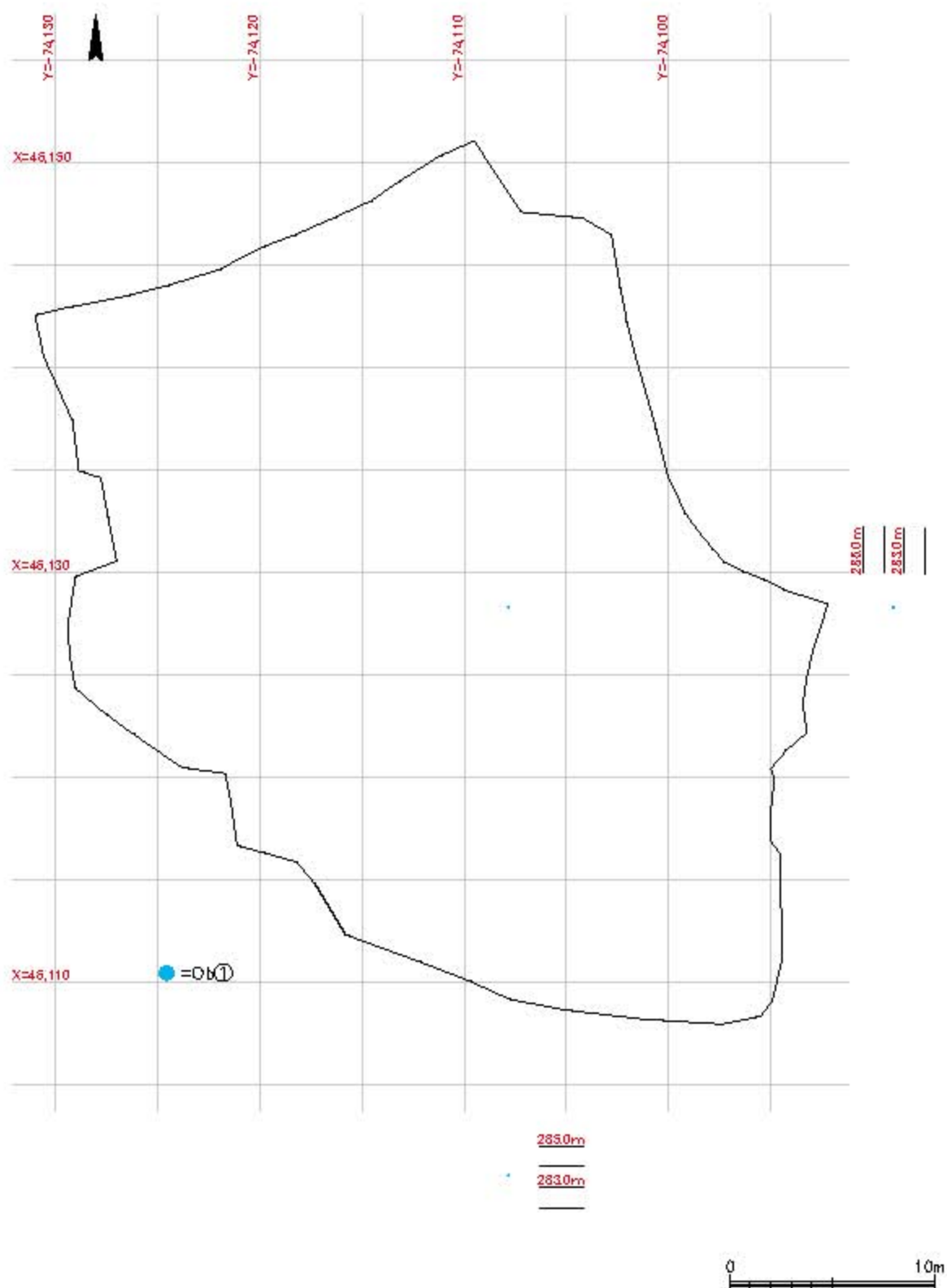


図 45 1区 14層 石材・産地別の分布 (1/300)

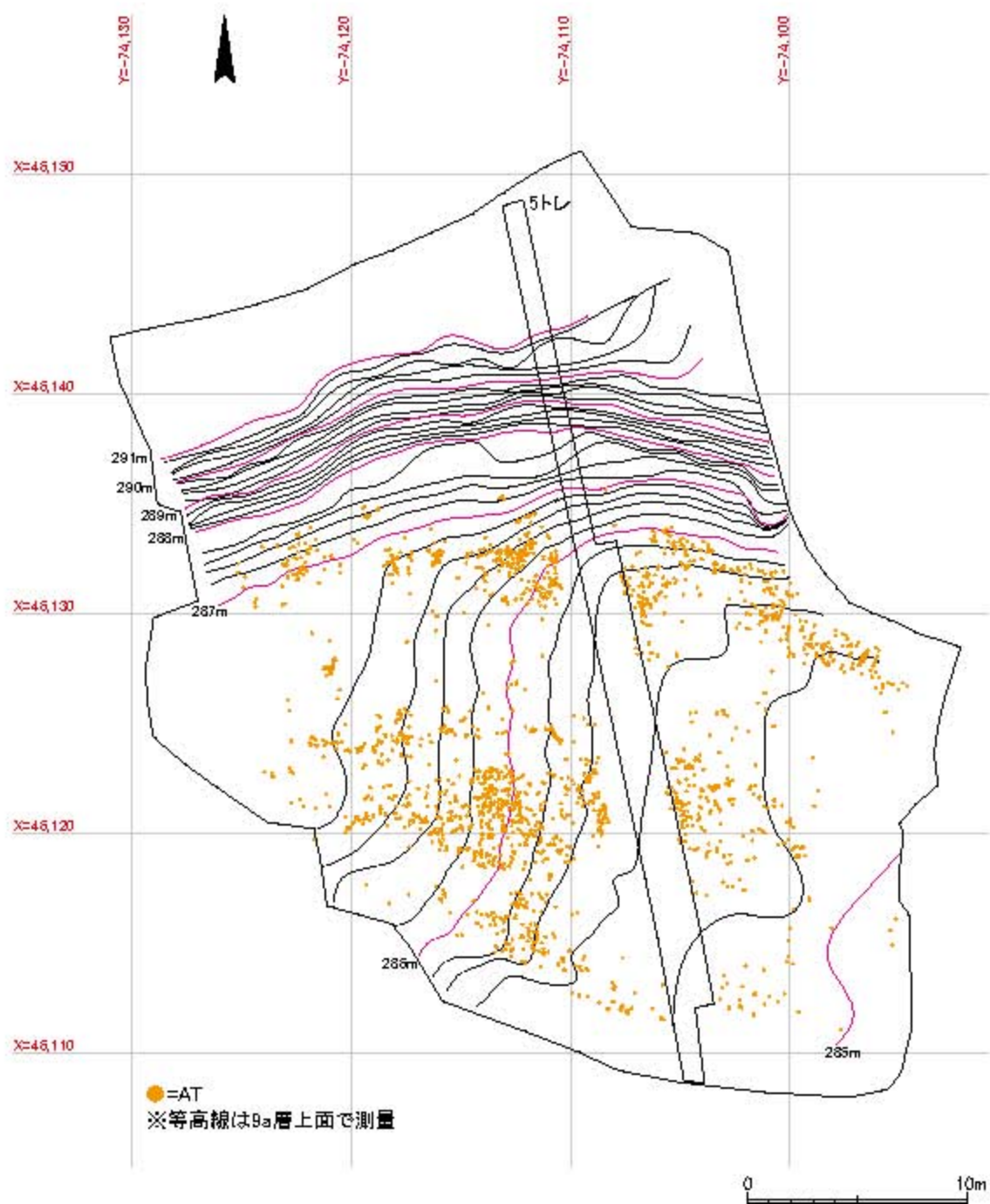


図46 1区 ATおよび9層上面地形測量 (1/300)

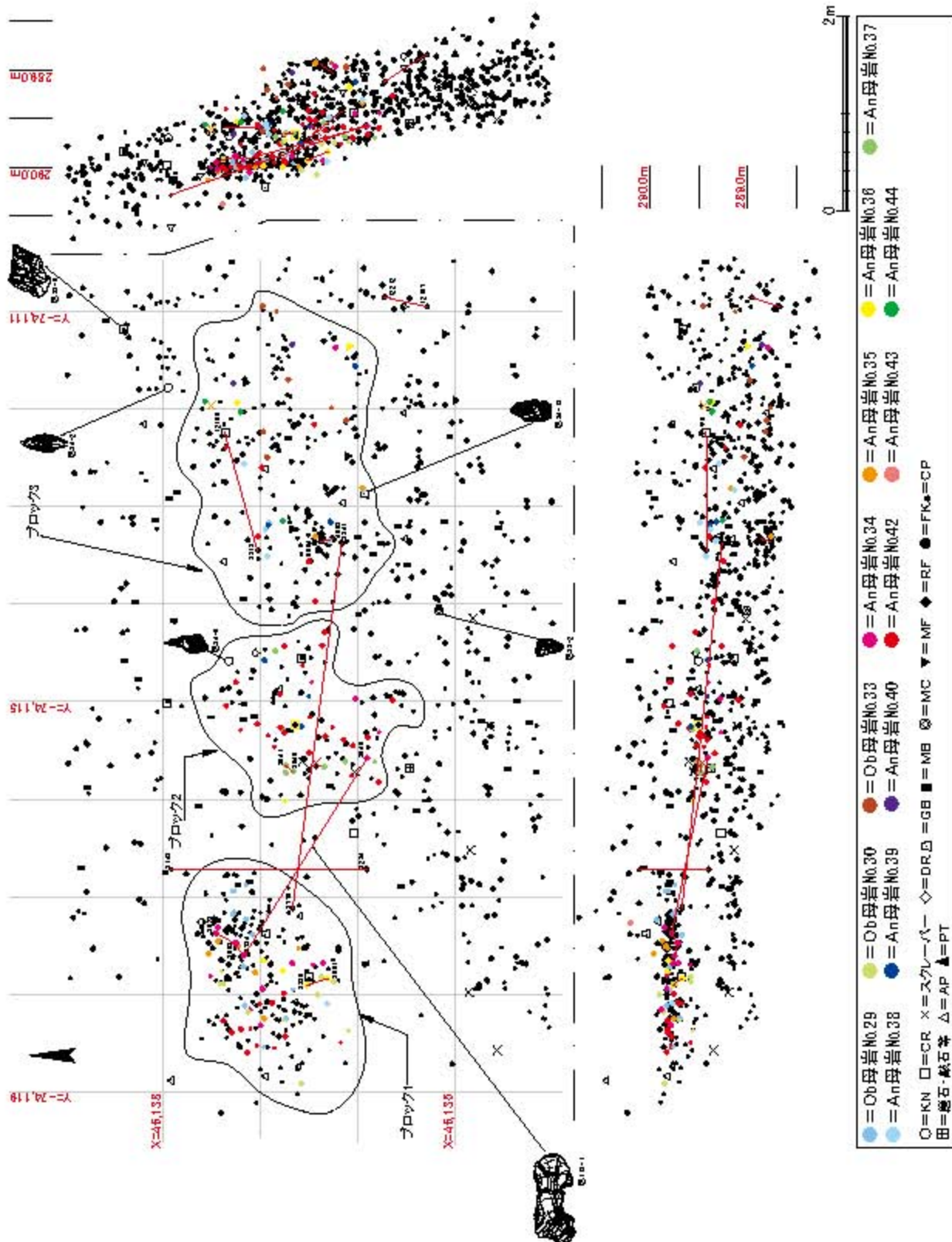


図47 1区 4層ブロック1・2・3 器種・母岩別の石器の分布 (1/60)

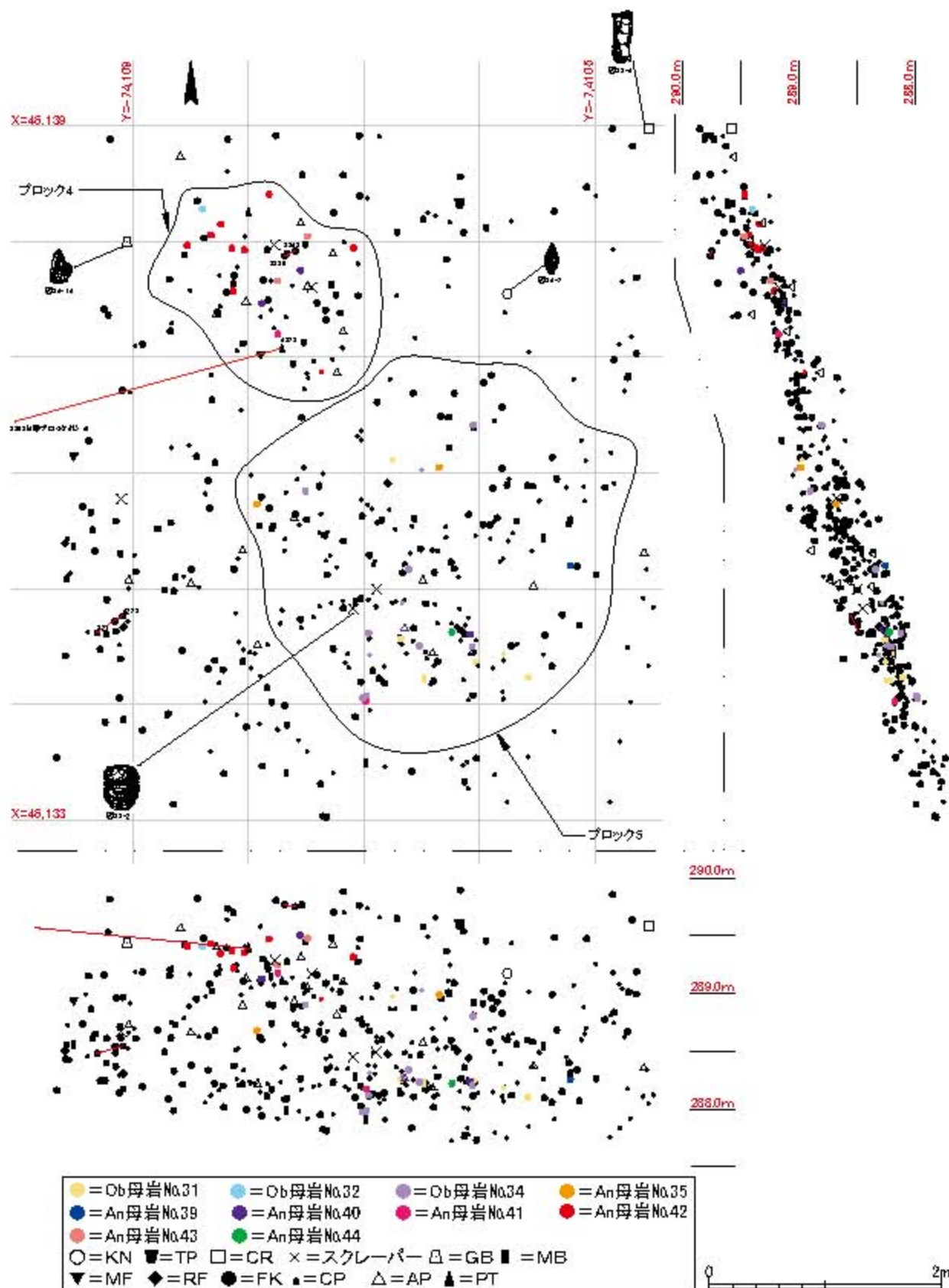


図48 1区 4層ブロック4・5 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

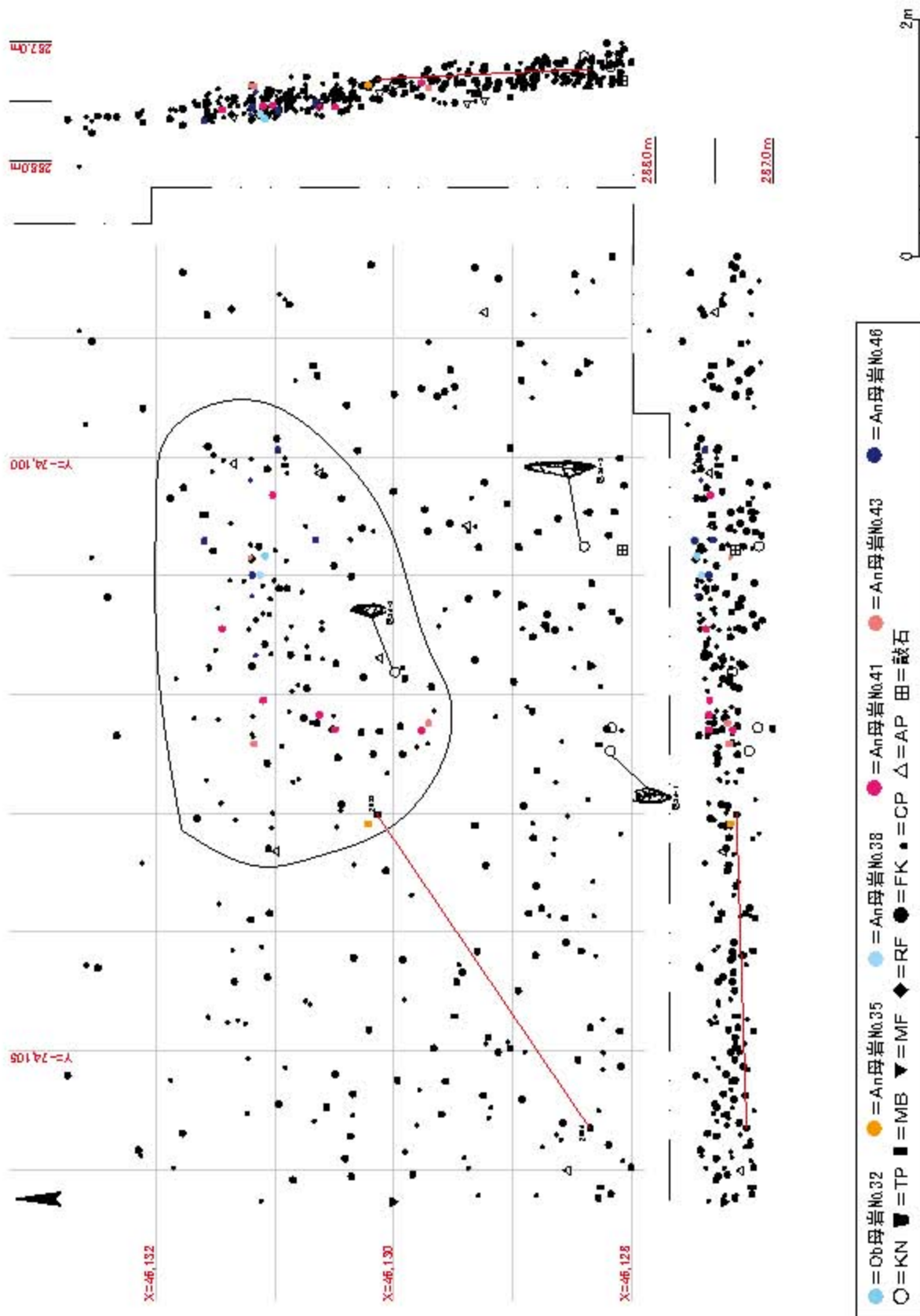


図49 1区 4層ブロック6 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

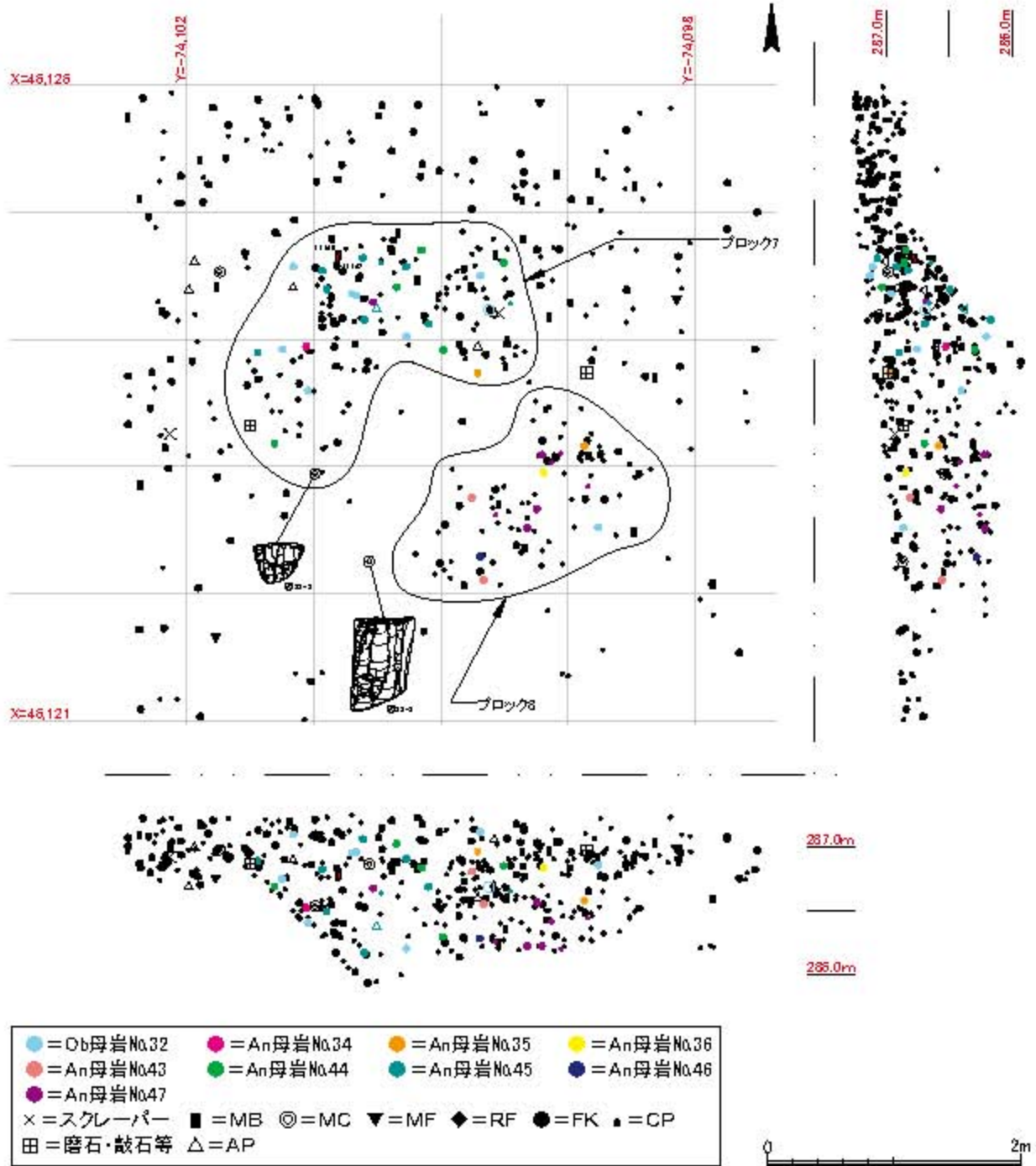


図50 1区 4層ブロック7・8 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

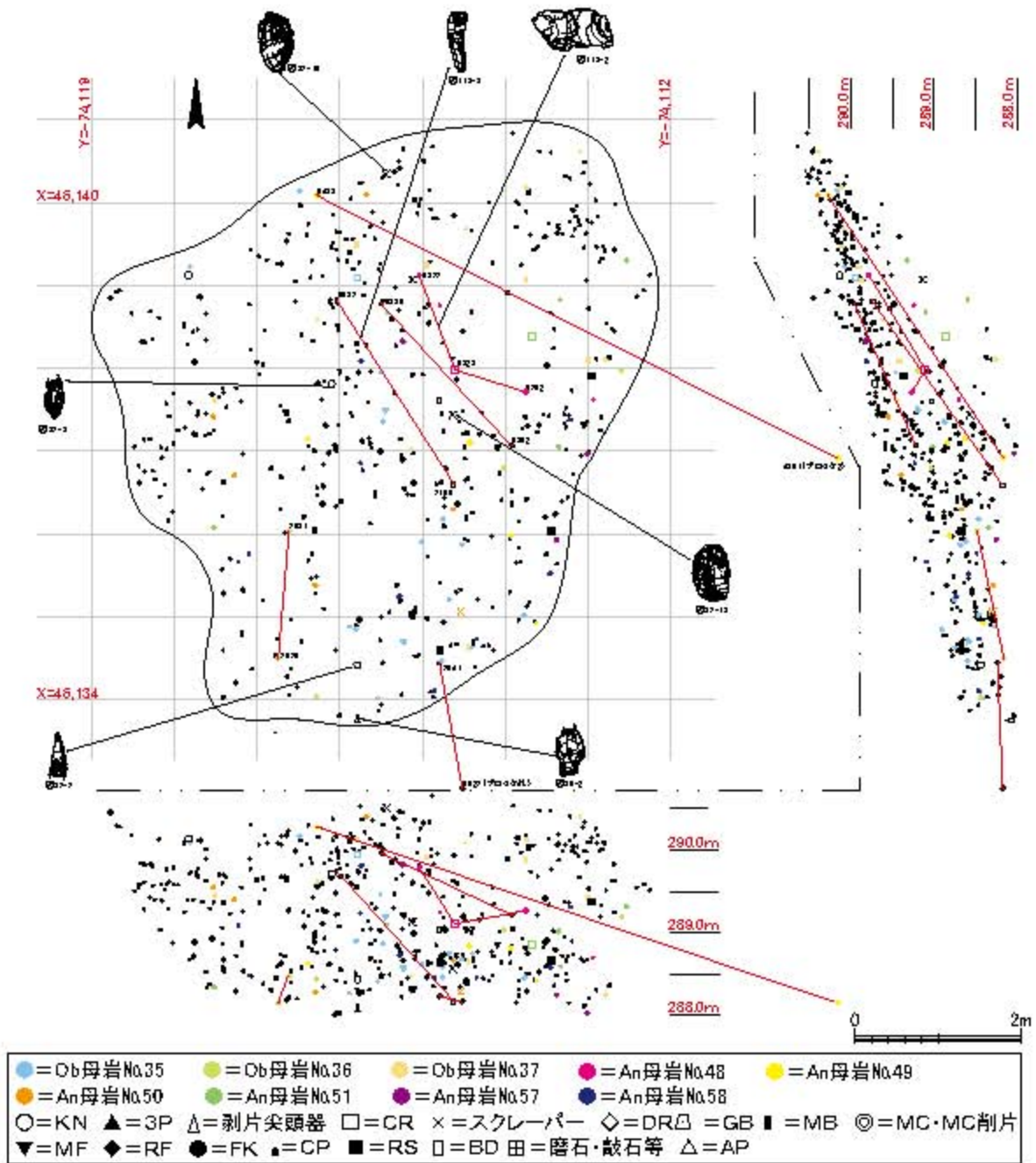


図51 1区 5a層ブロック1 器種・母岩別の石器の分布 (1/80)

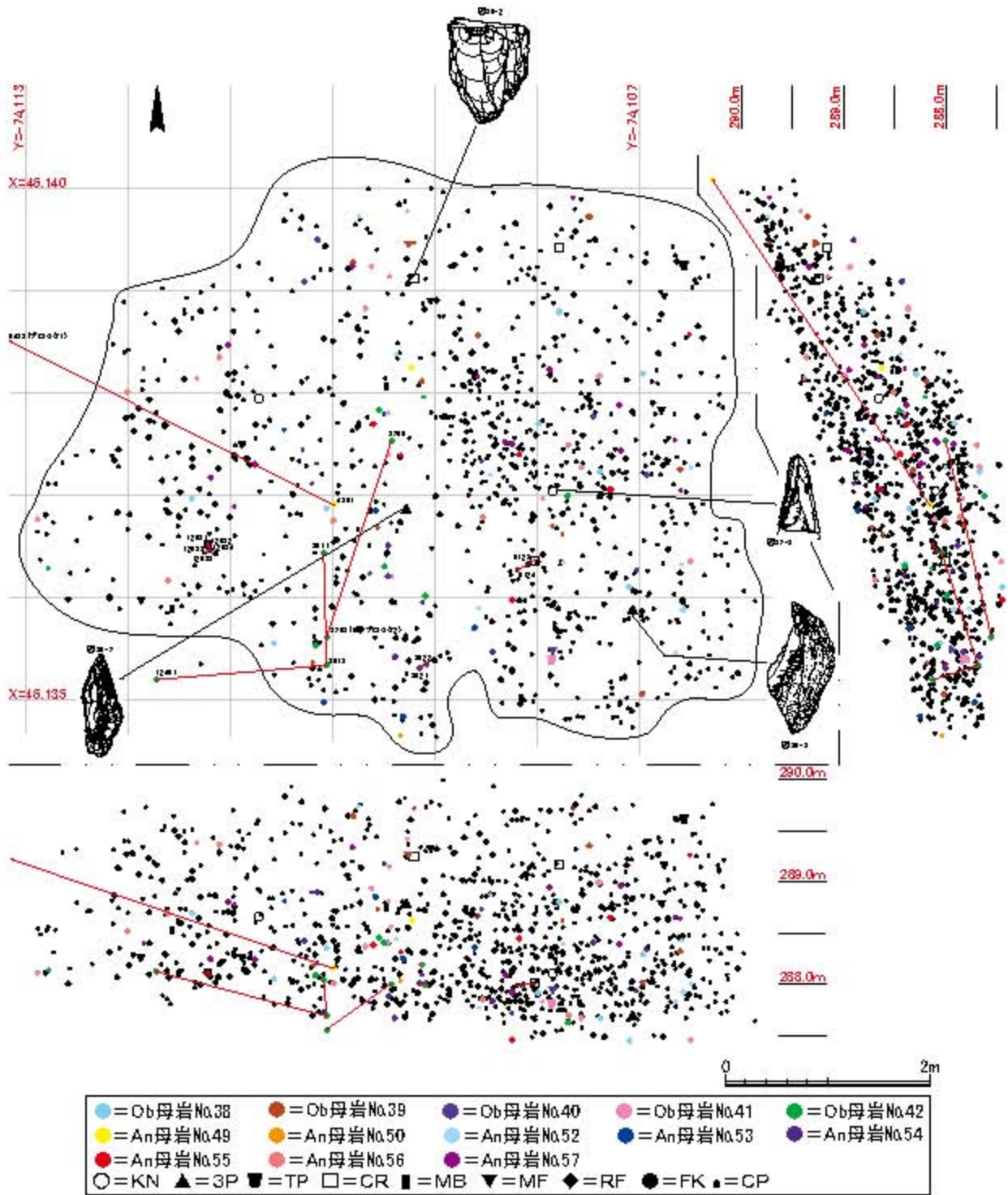


図52 1区 5a層ブロック2 器種・母岩別の石器の分布 (1/60)

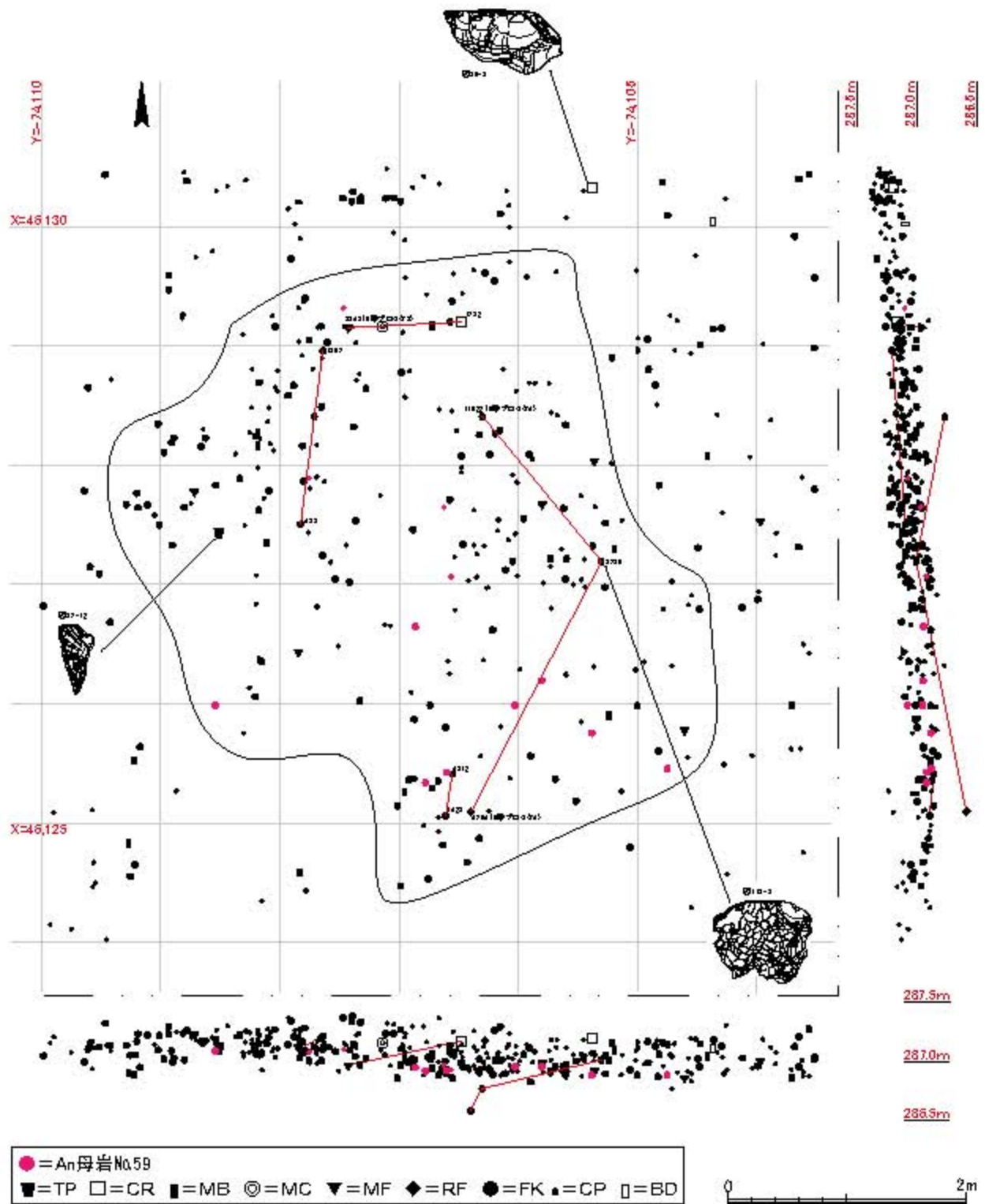


図53 1区 5a層ブロック3 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

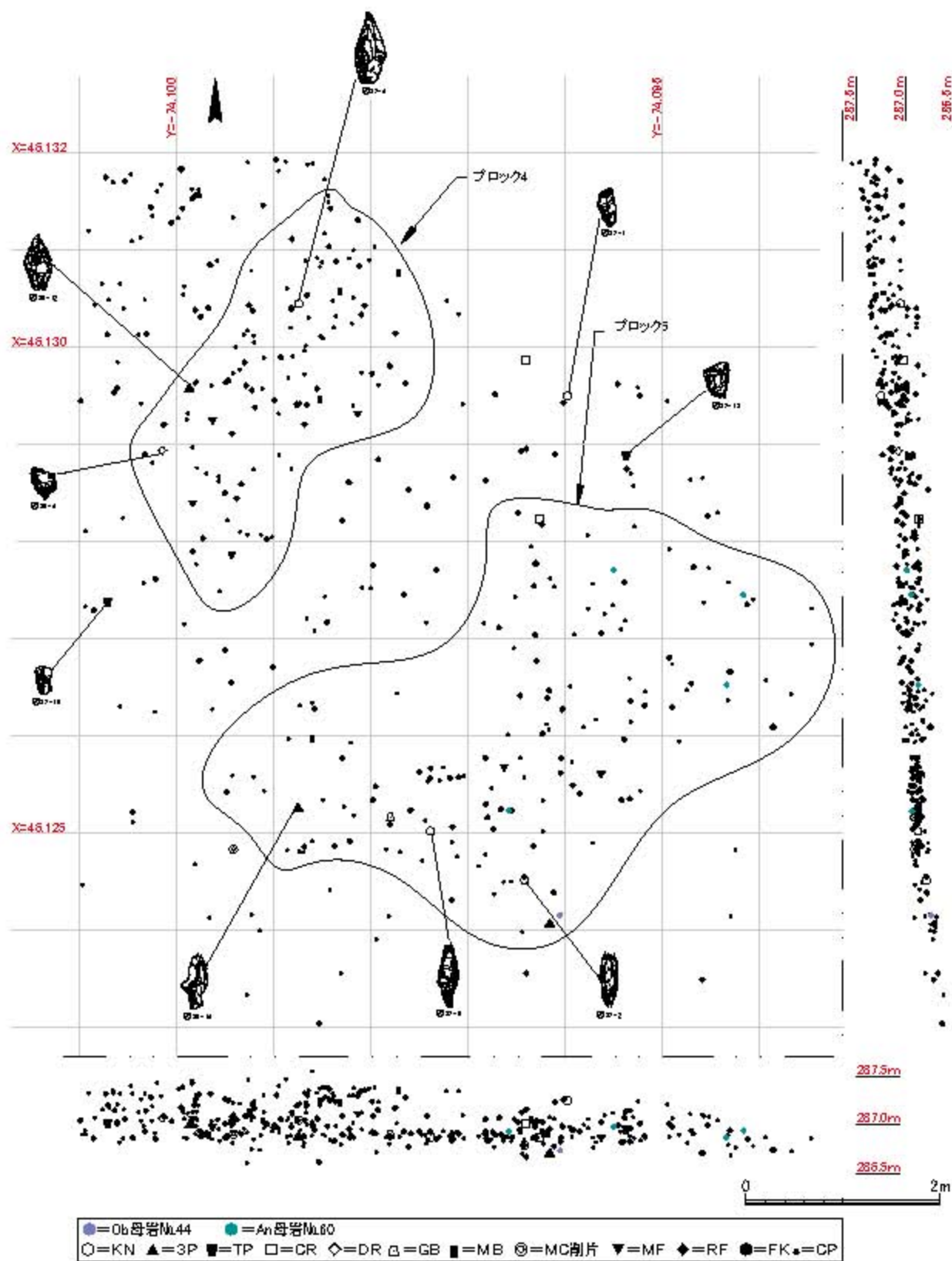


図54 1区 5a層ブロック4・5 器種・母岩別の石器の分布 (1/60)

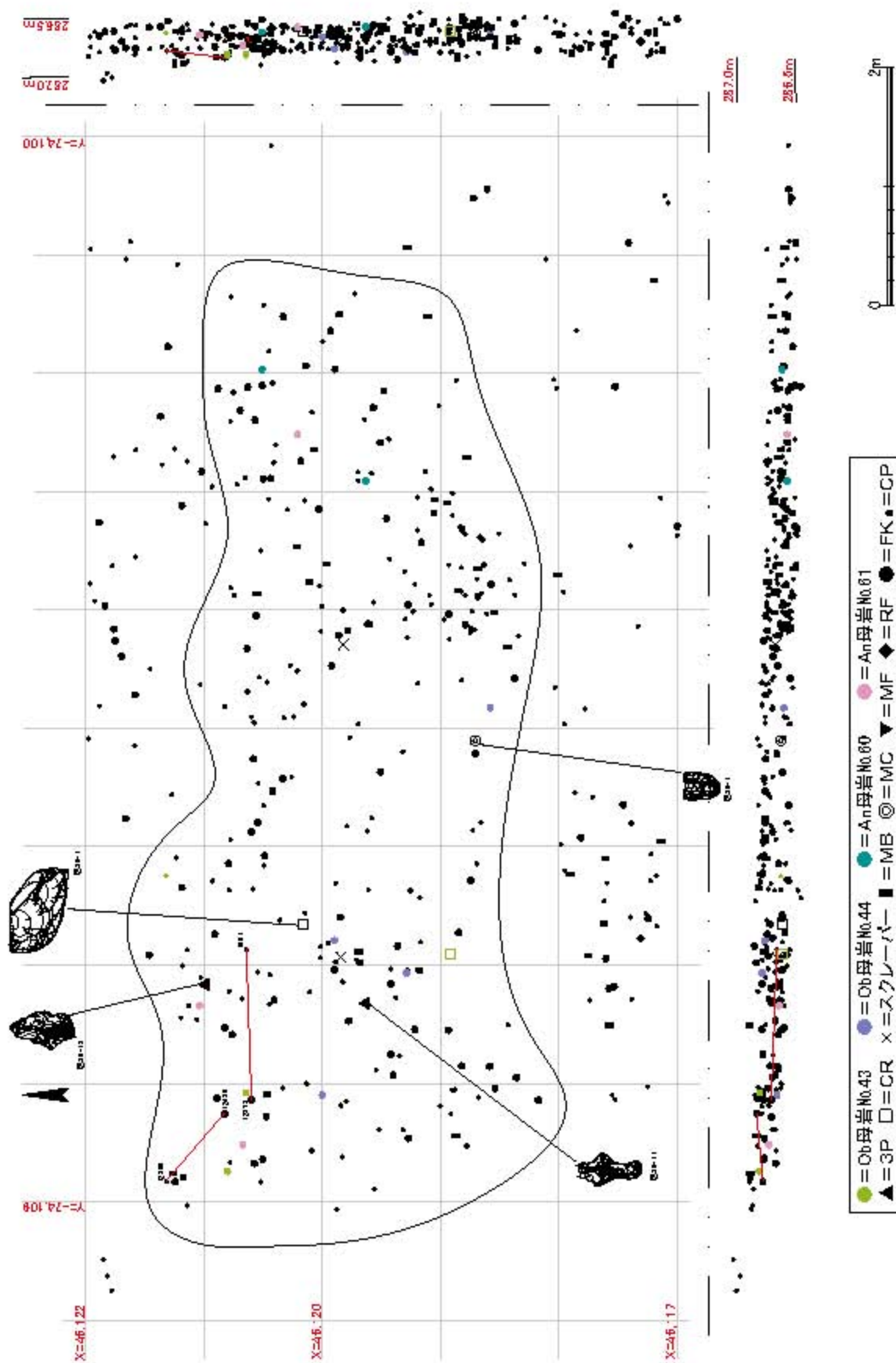


図55 1区 5a層ブロック6 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

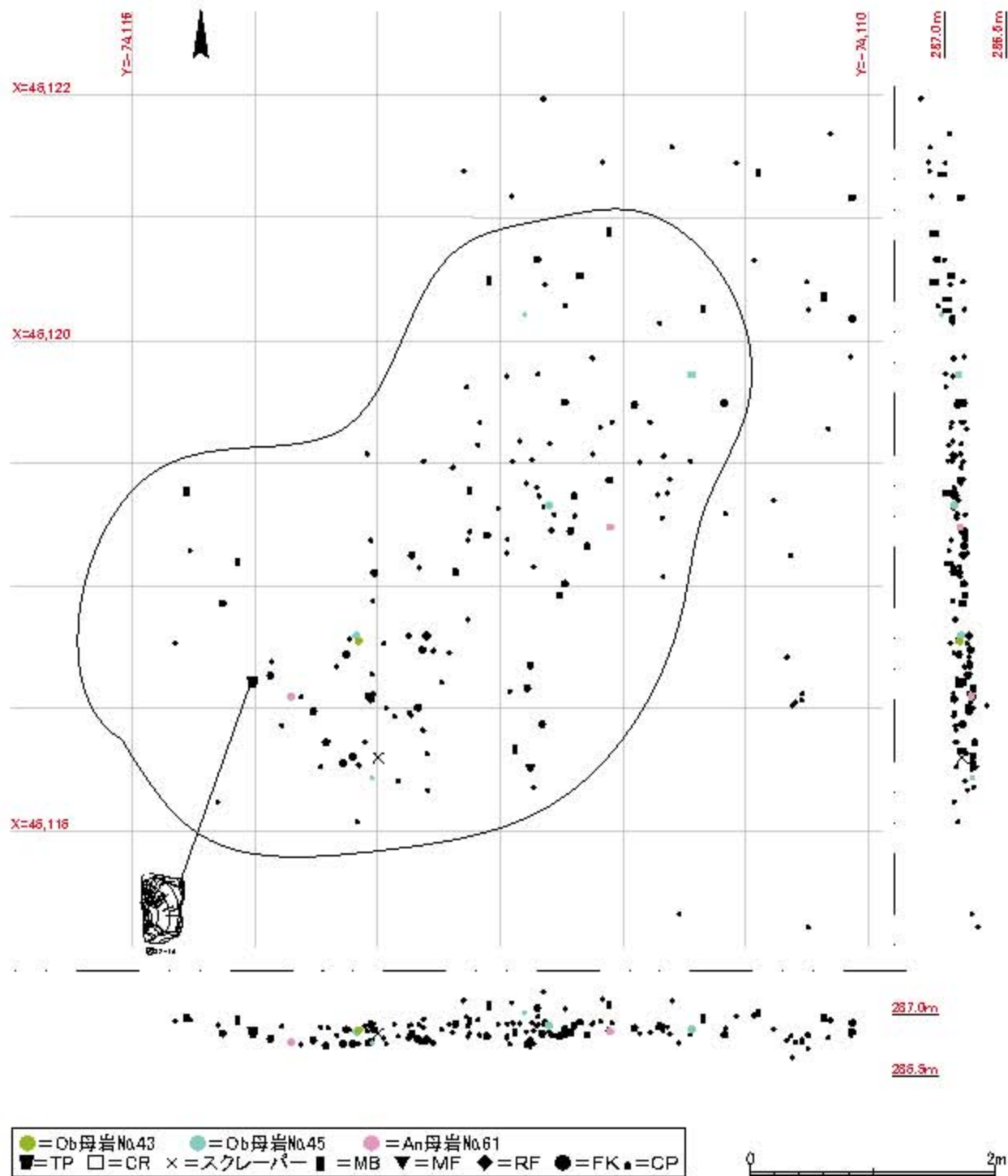


図56 1区 5a層ブロック7 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

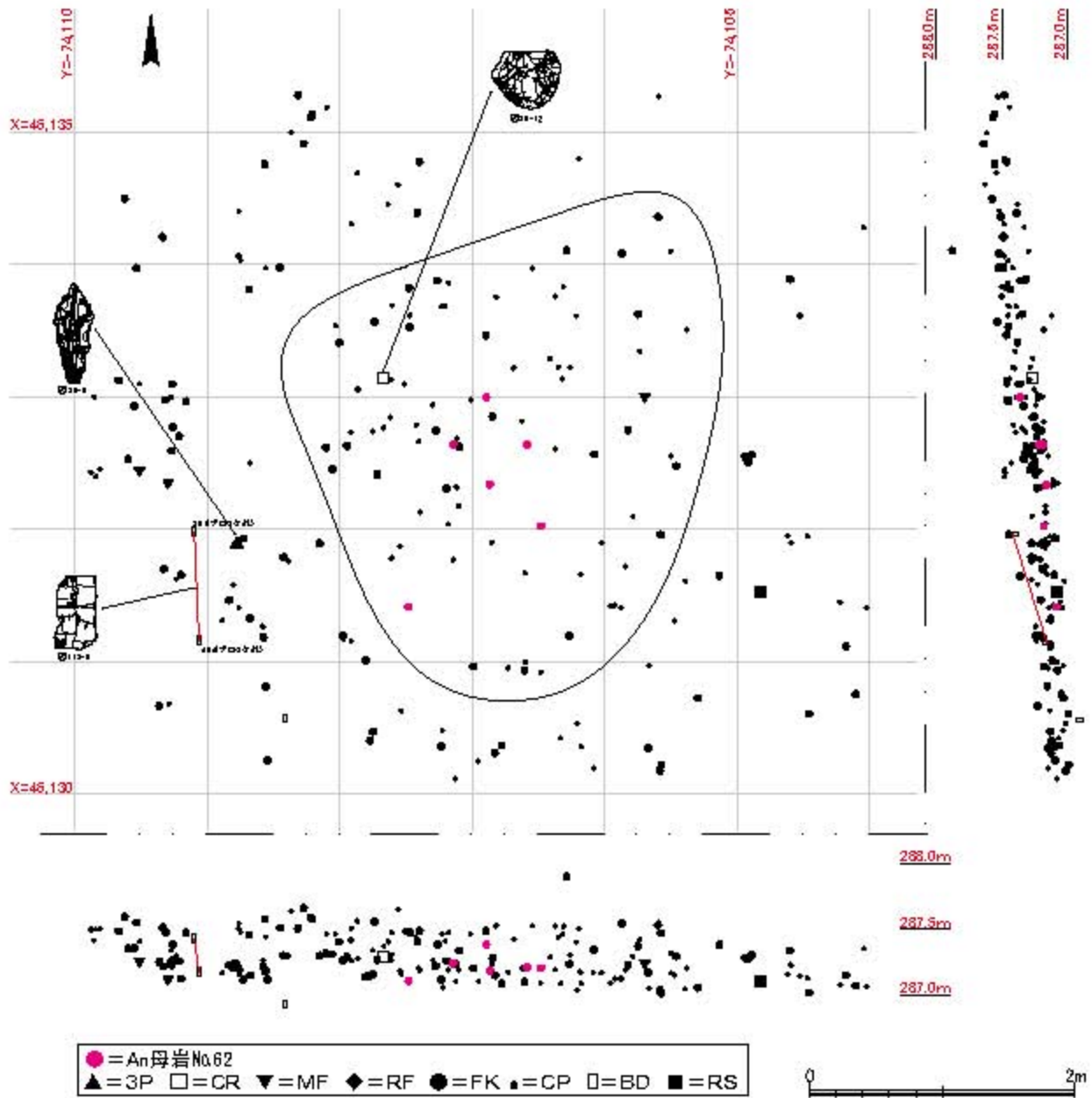


図57 1区 5b層ブロック1 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

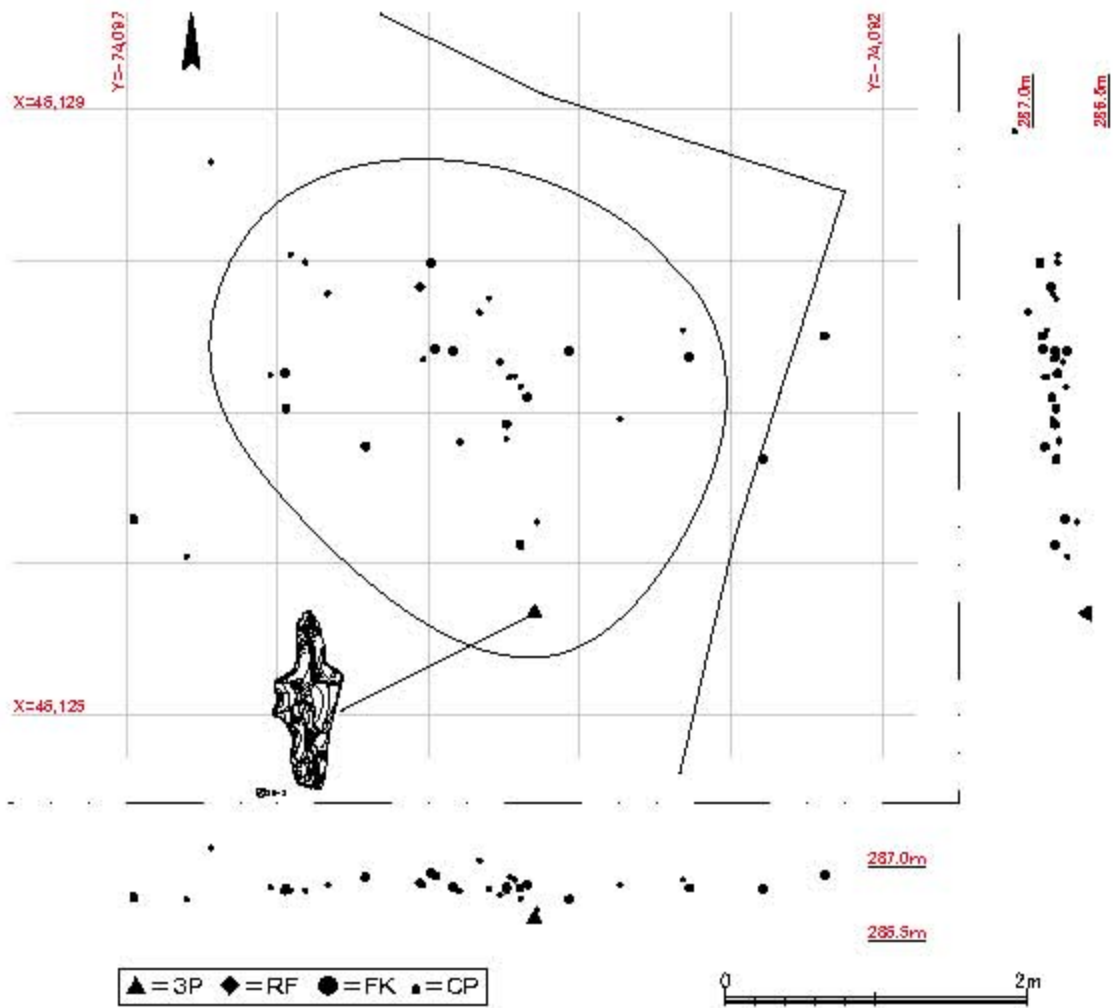


図58 1区 5b層ブロック2 器種別の石器の分布 (1/50)

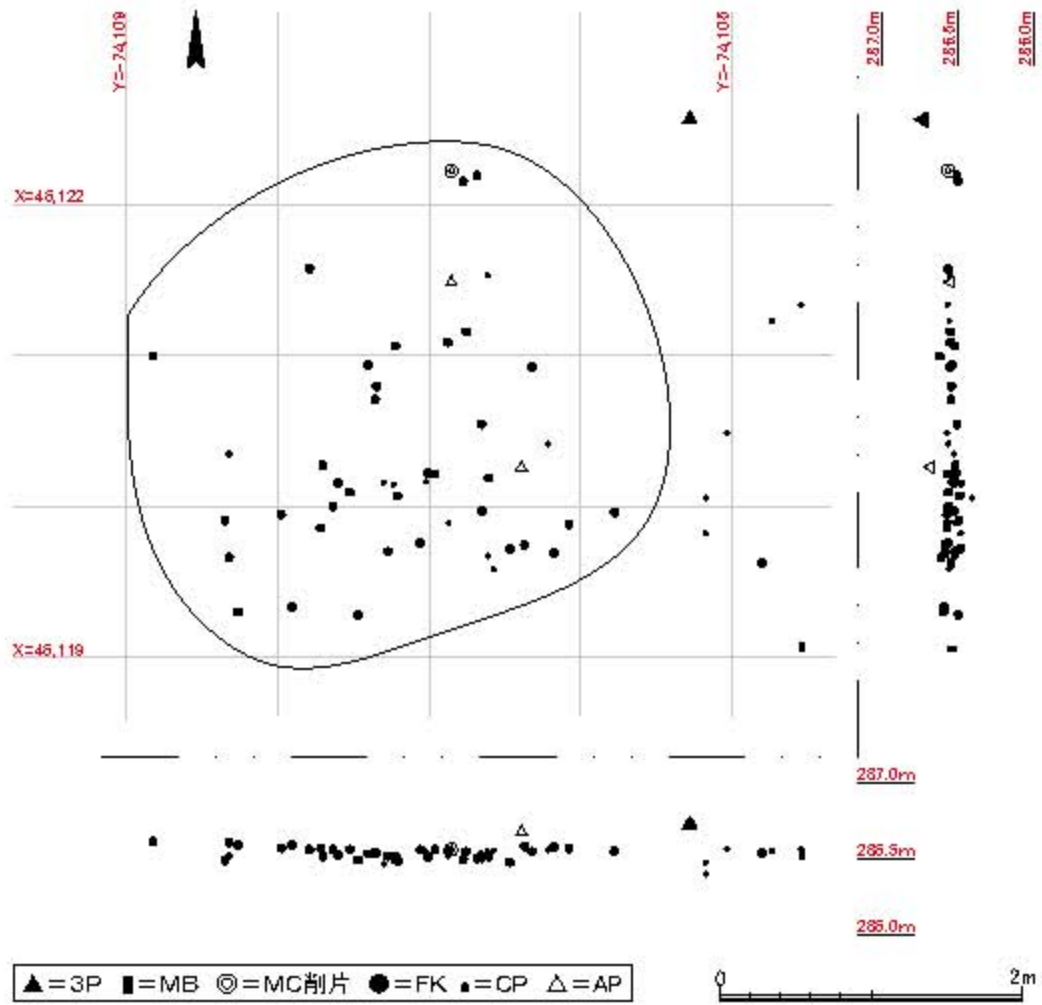


図59 1区 5b層ブロック3 器種別の石器の分布 (1/50)

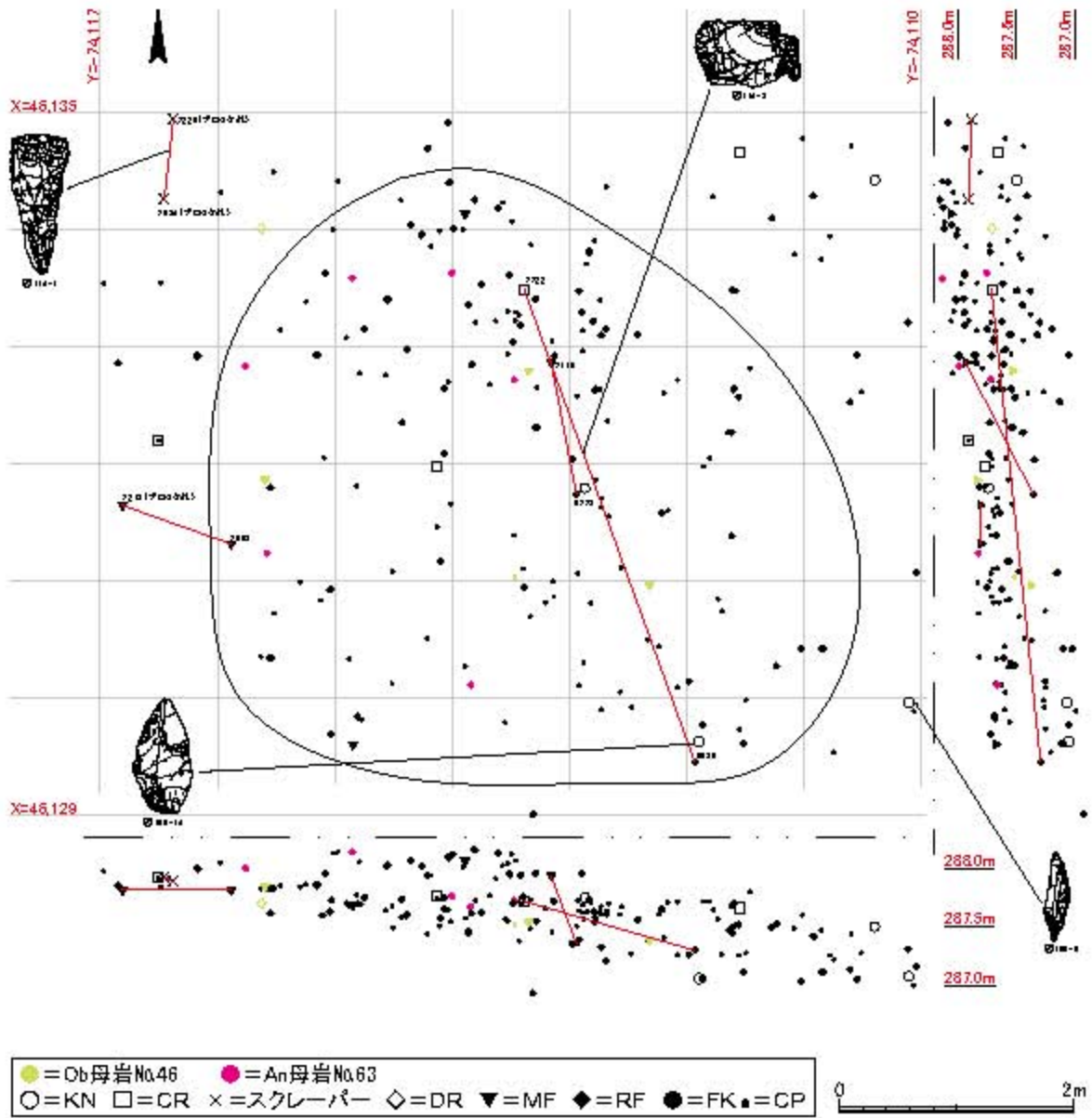


図60 1区 6層ブロック1 器種・母岩別の石器の分布 (1/60)

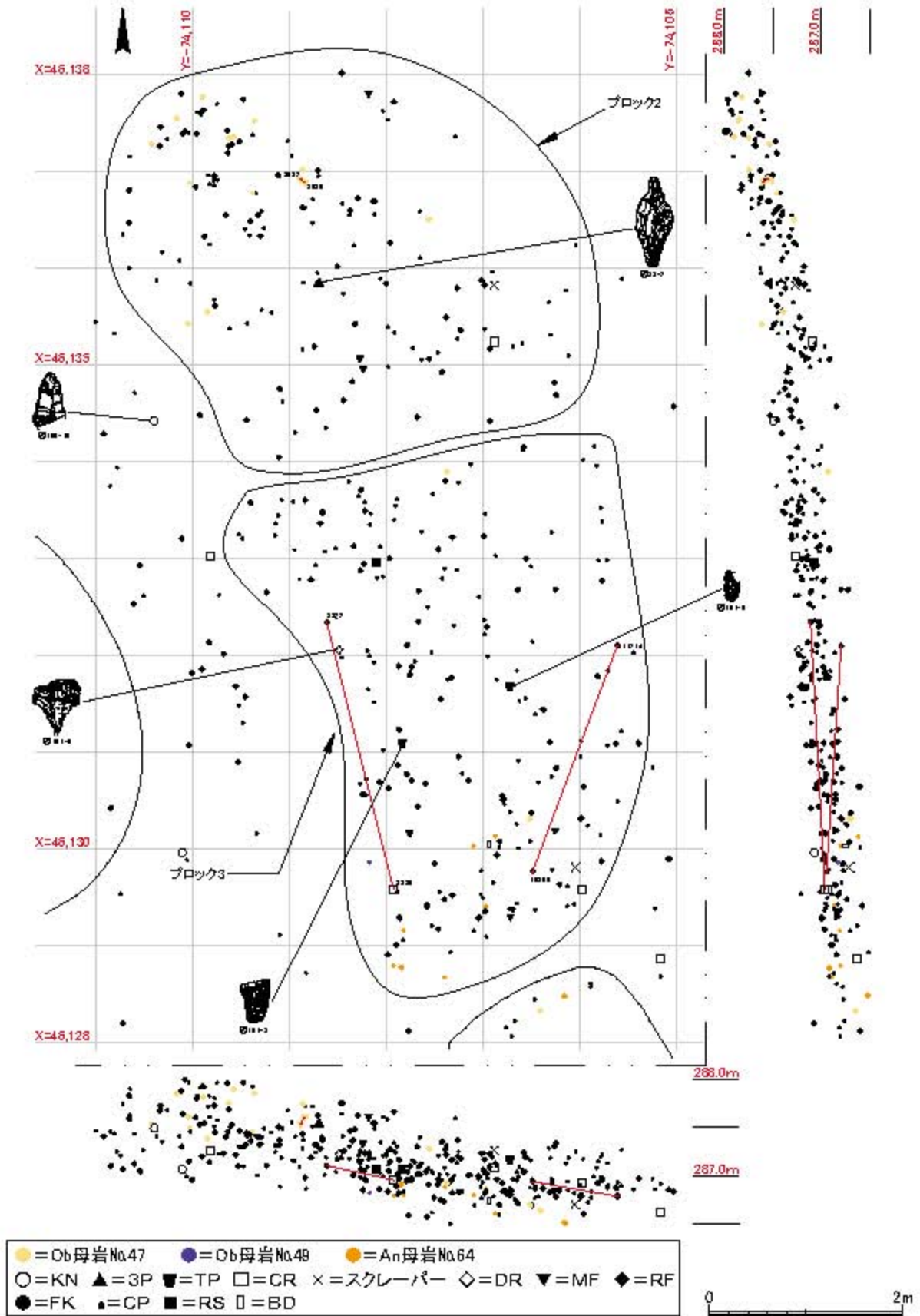


図61 1区 6層ブロック2・3 器種・母岩別の石器の分布 (1/60)

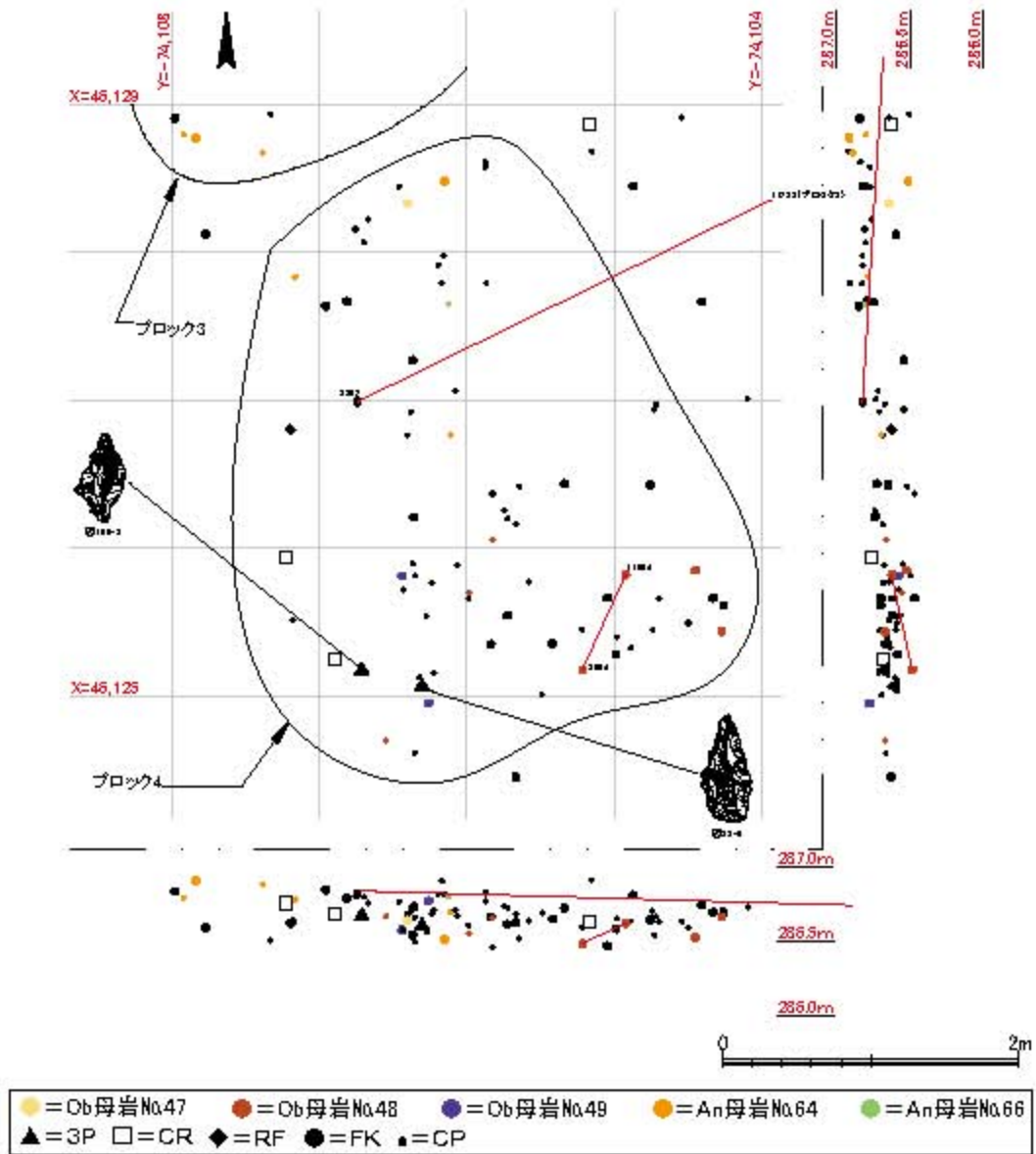


図62 1区 6層ブロック4 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

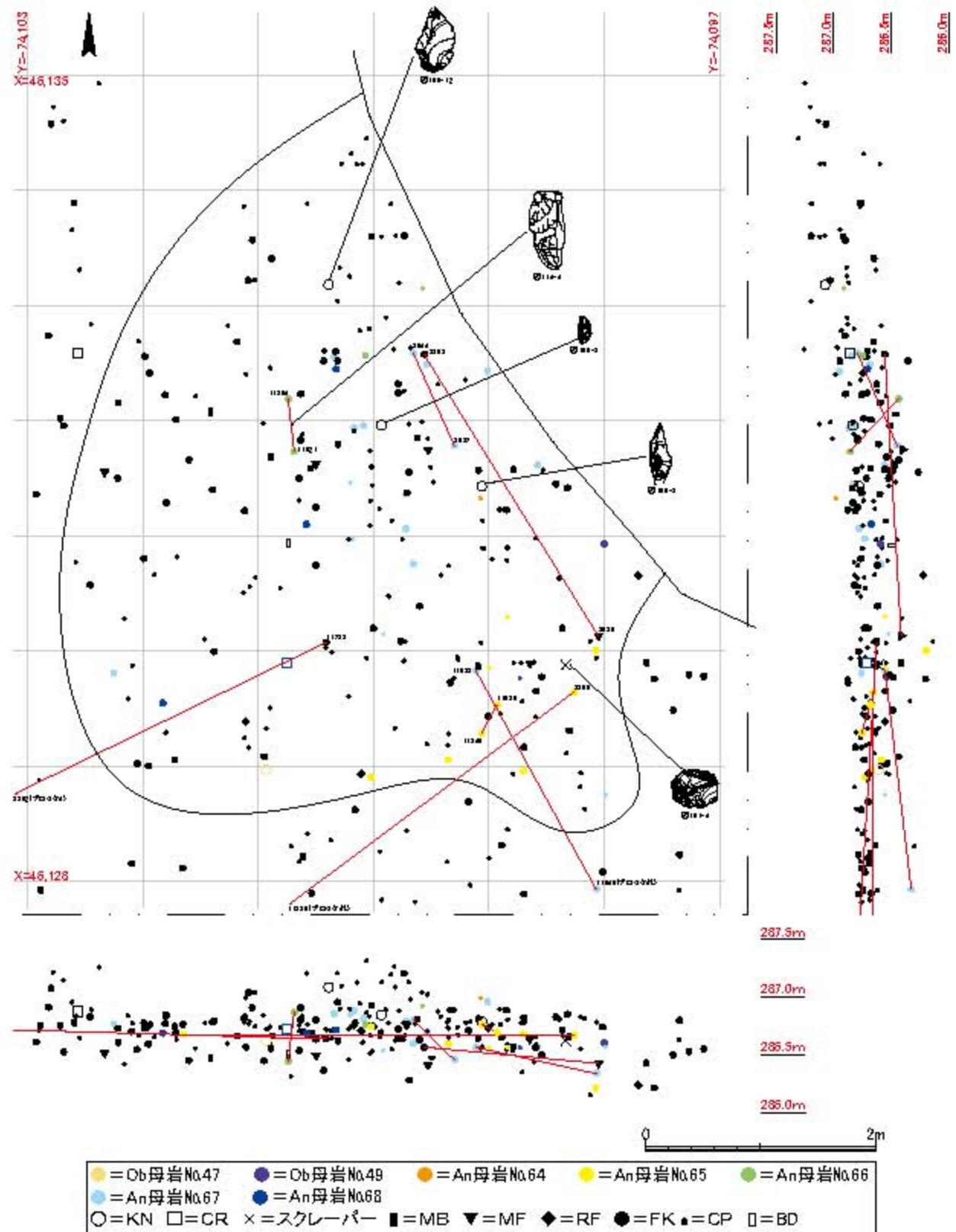


図63 1区 6層ブロック5 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

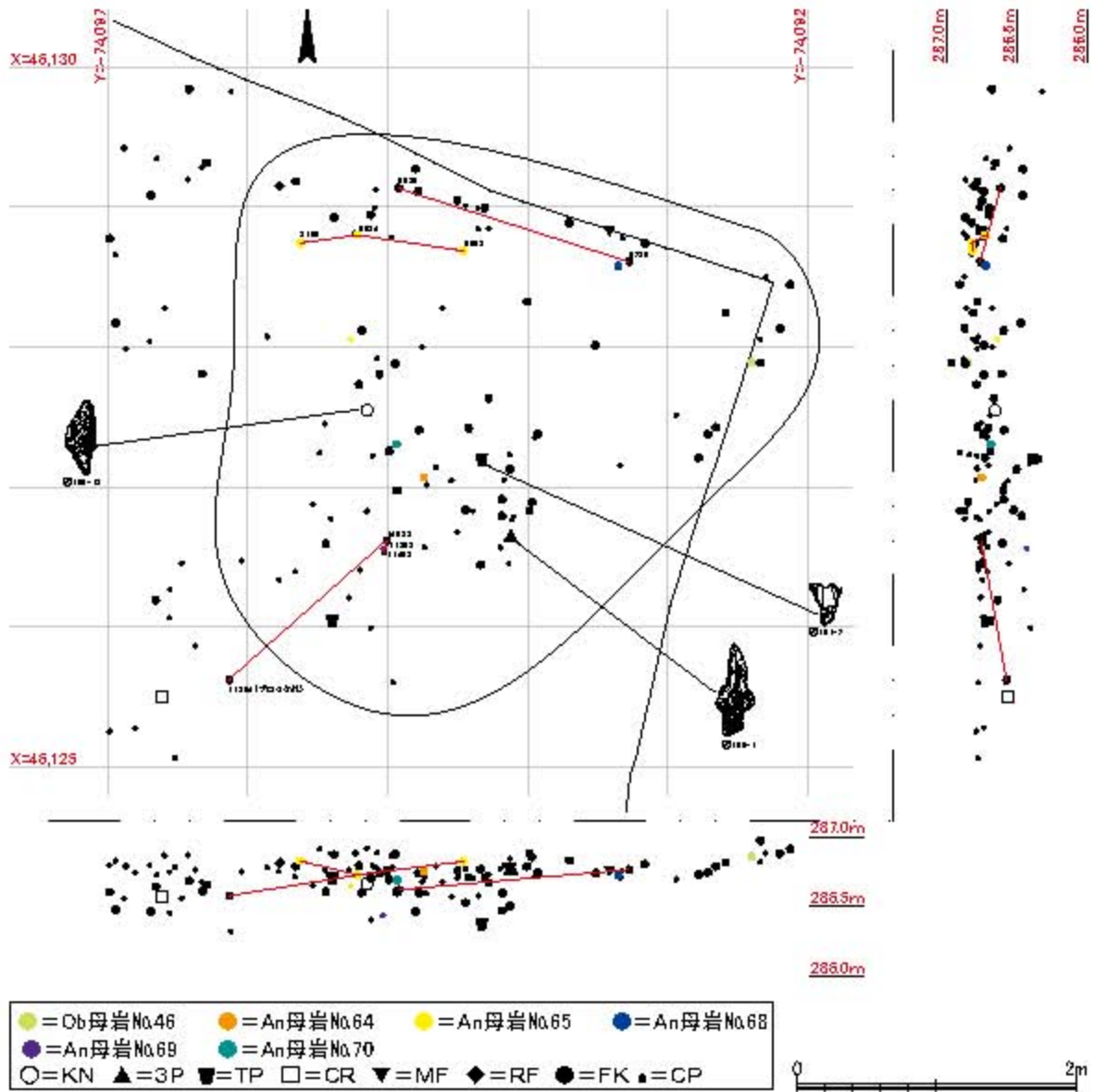


図64 1区 6層ブロック6 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

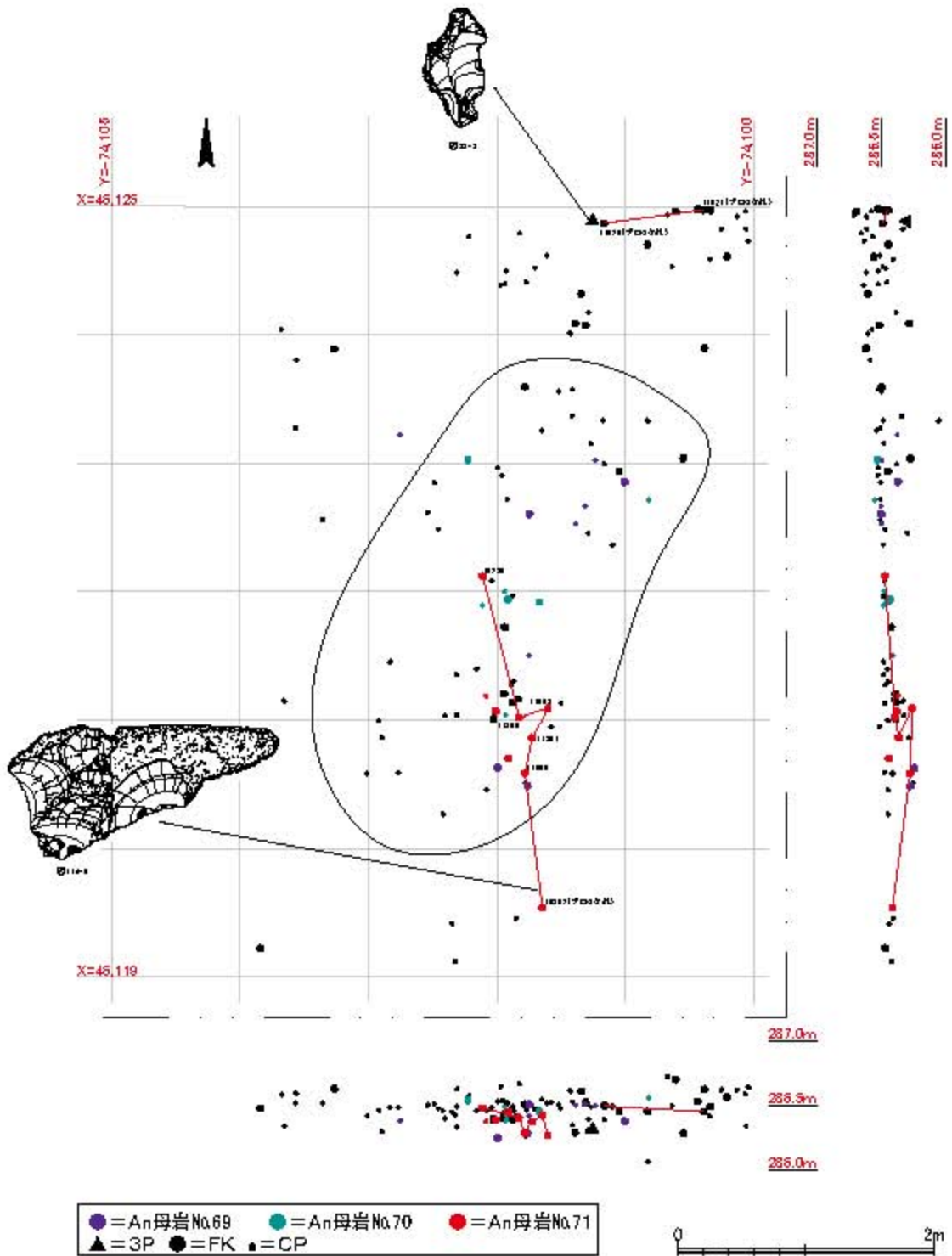


図65 1区 6層ブロック7 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

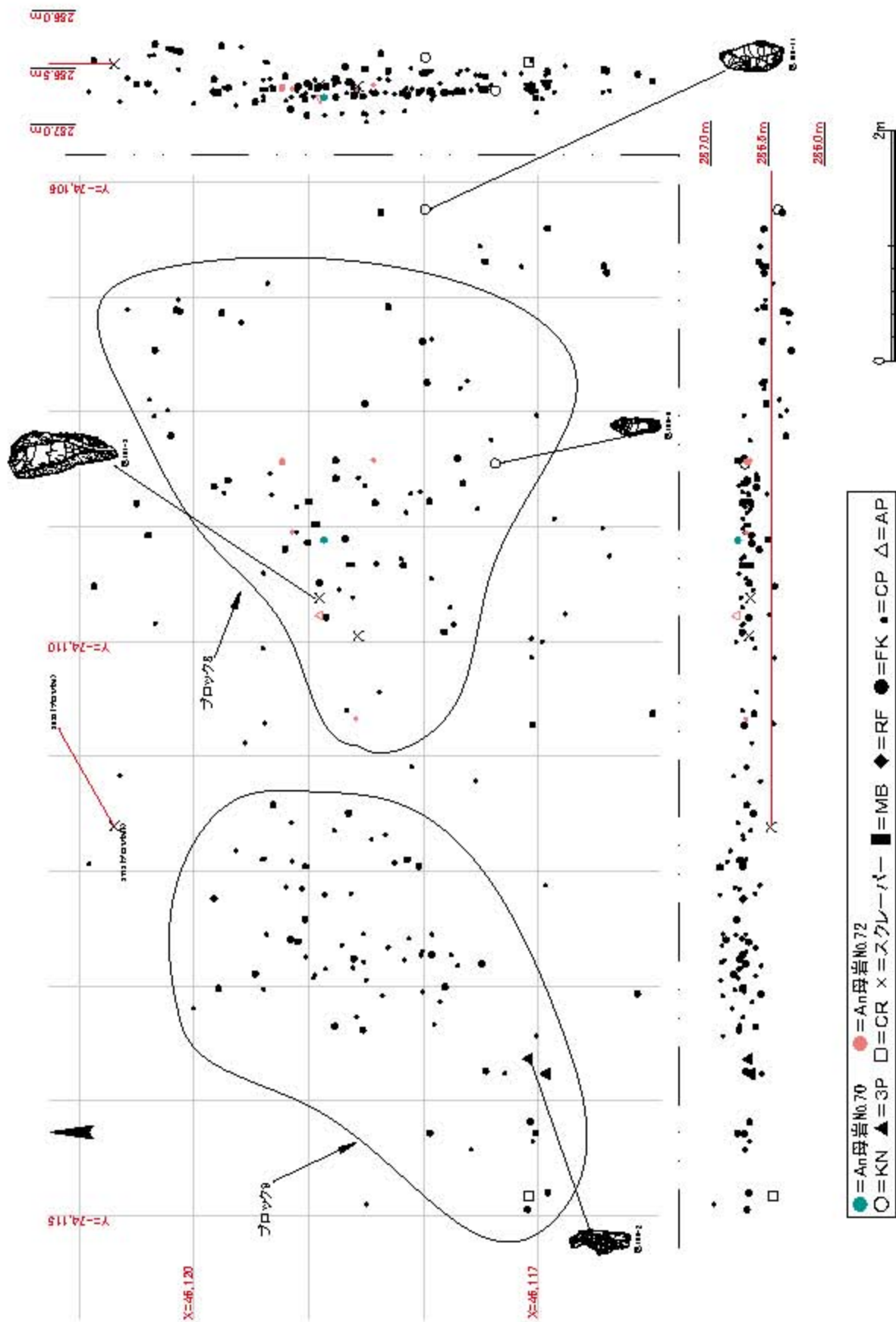


図66 1区 6層ブロック8・9 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

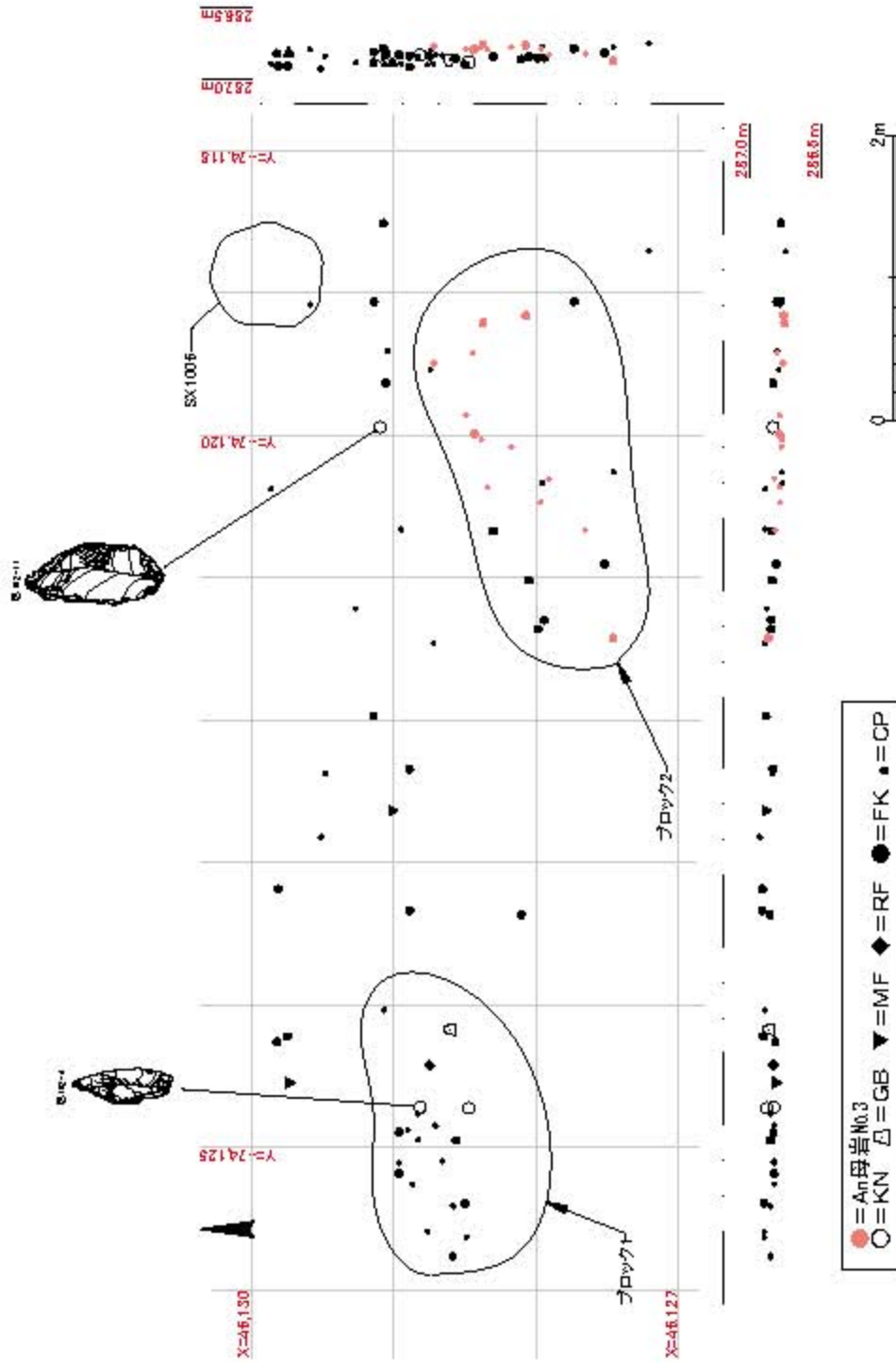


図67 1区 9a層ブロック1・2 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

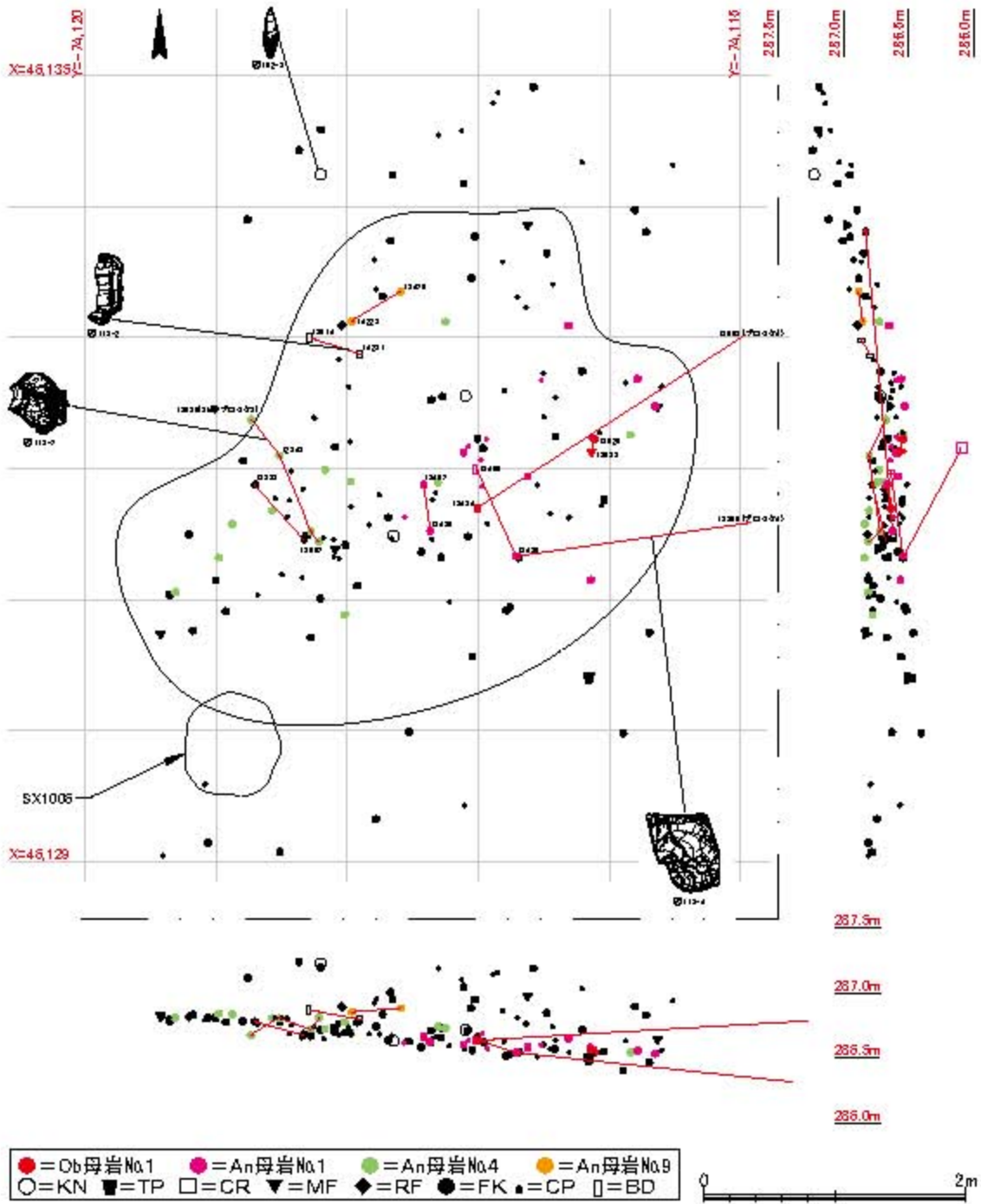


図68 1区 9a層ブロック3 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

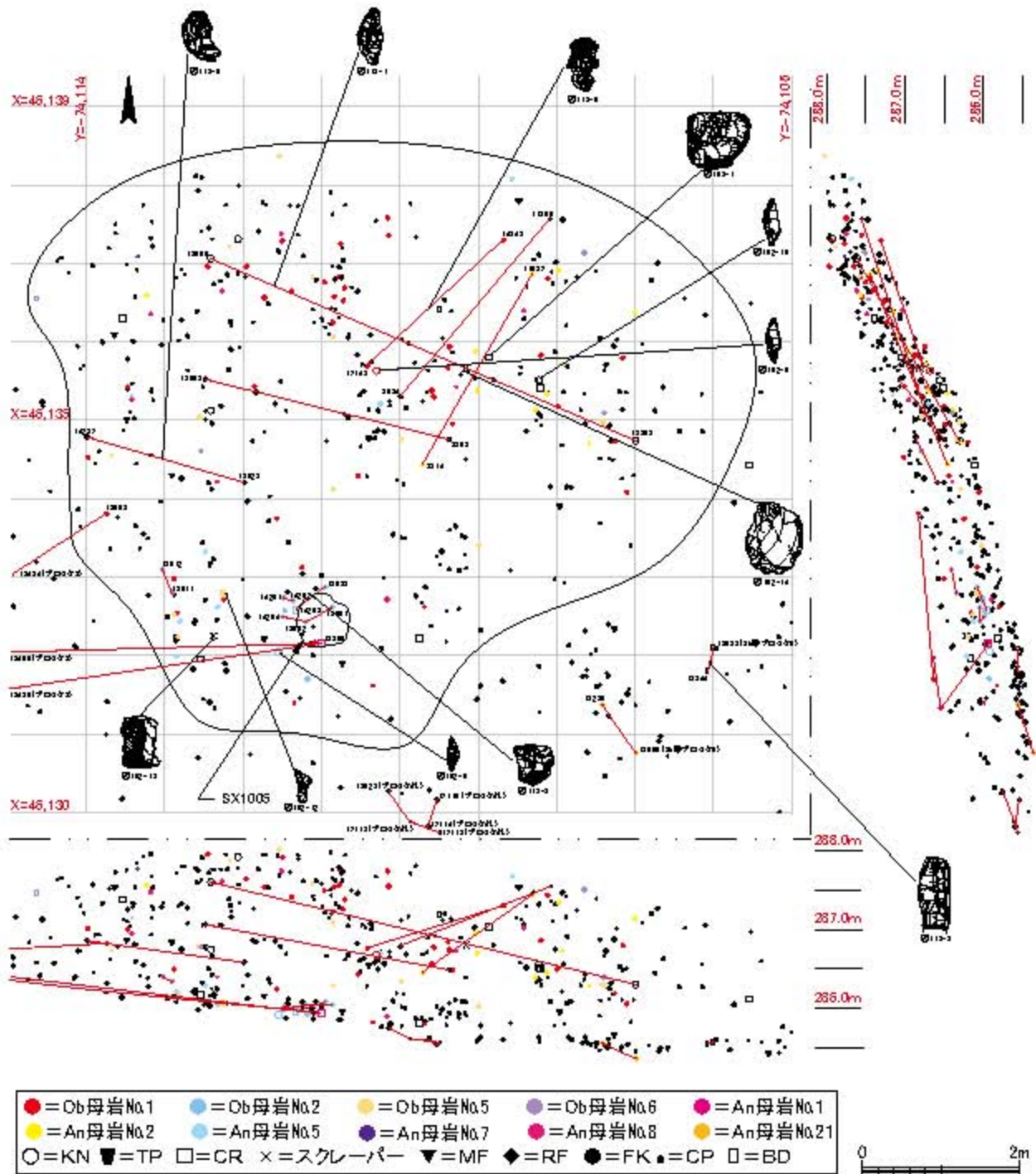


図69 1区 9a層ブロック4 器種・母岩別の石器の分布 (1/80)

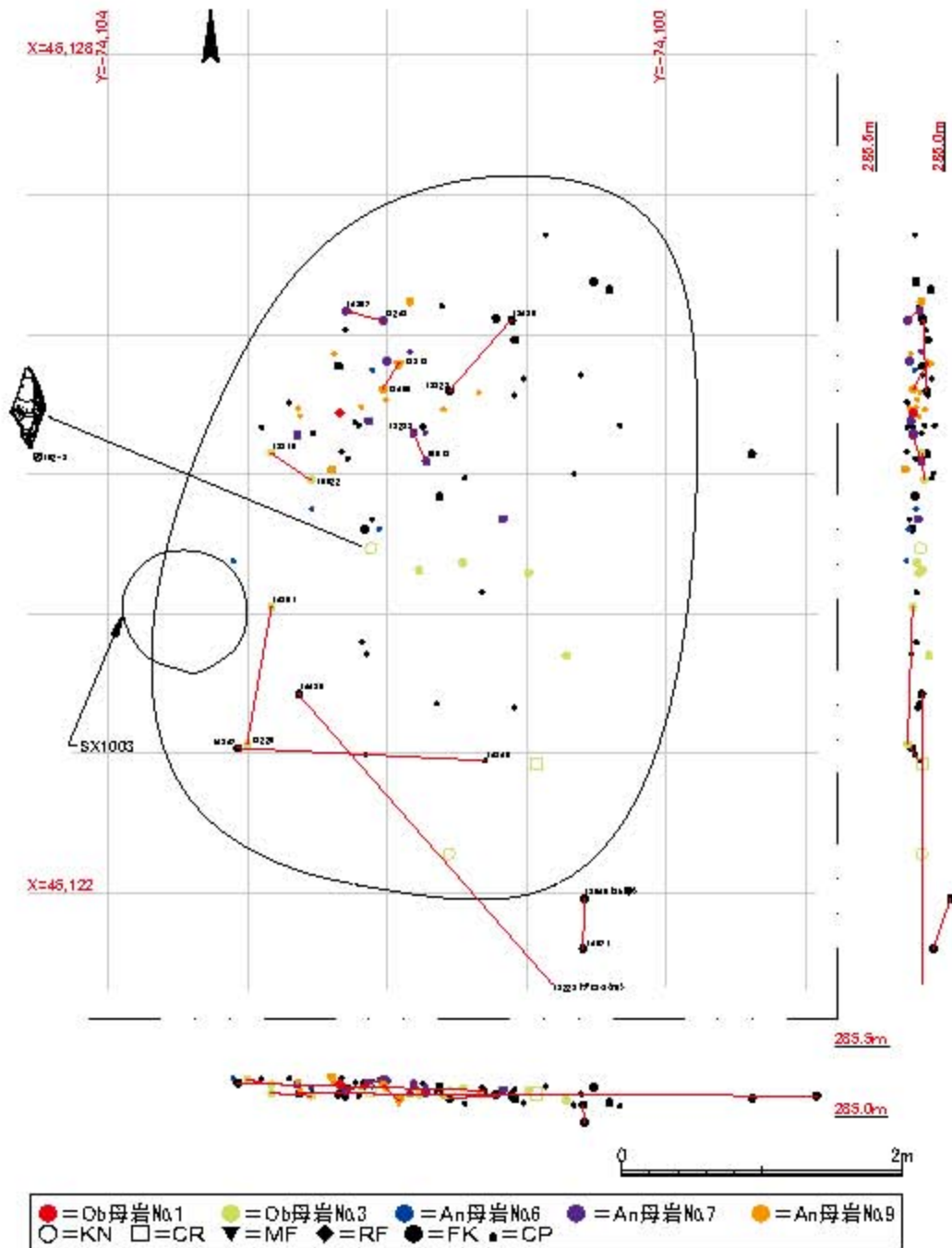


図70 1区 9a層ブロック5 器種・母岩別の石器の分布 (1/5)

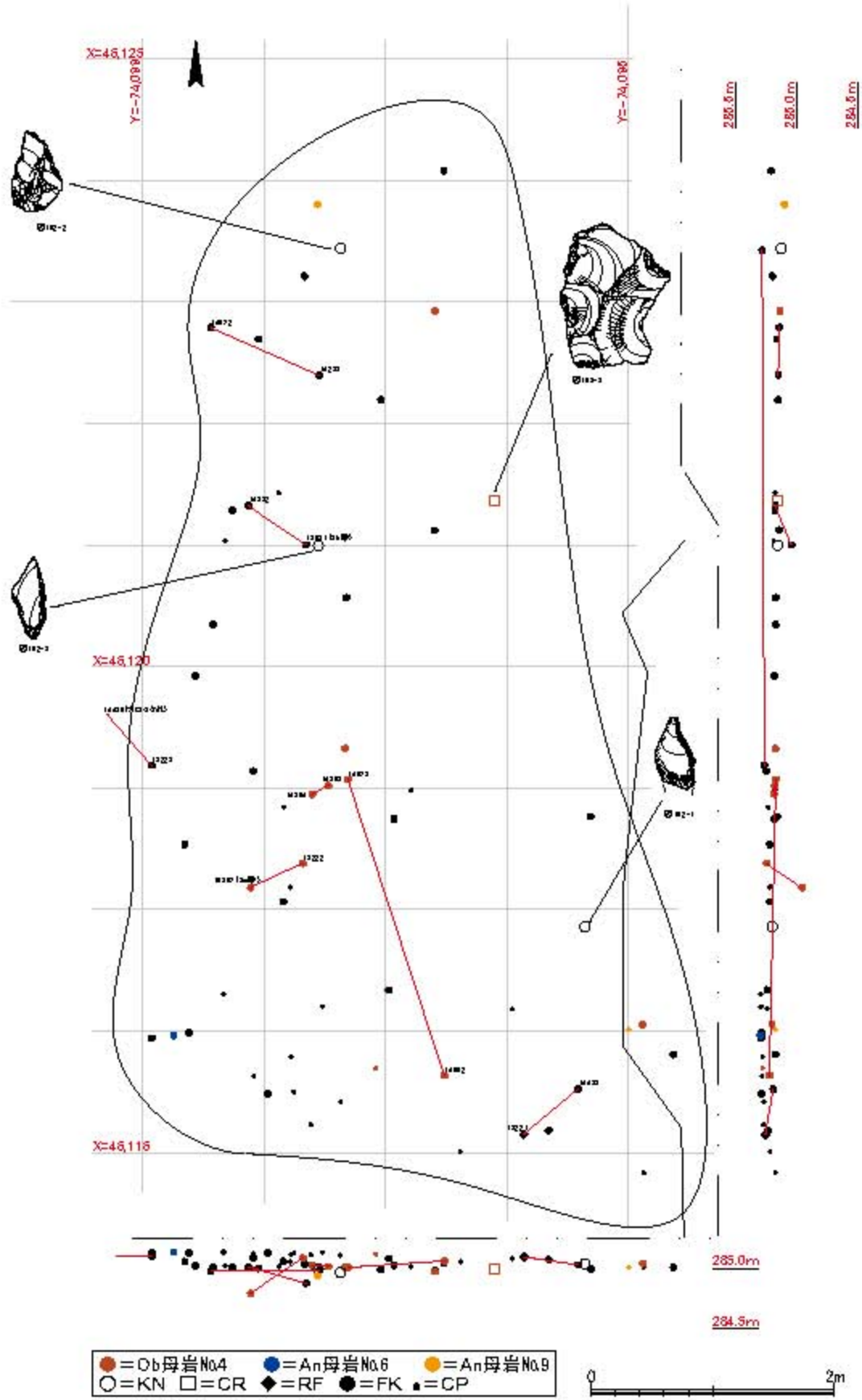


図71 1区 9a層ブロック6 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

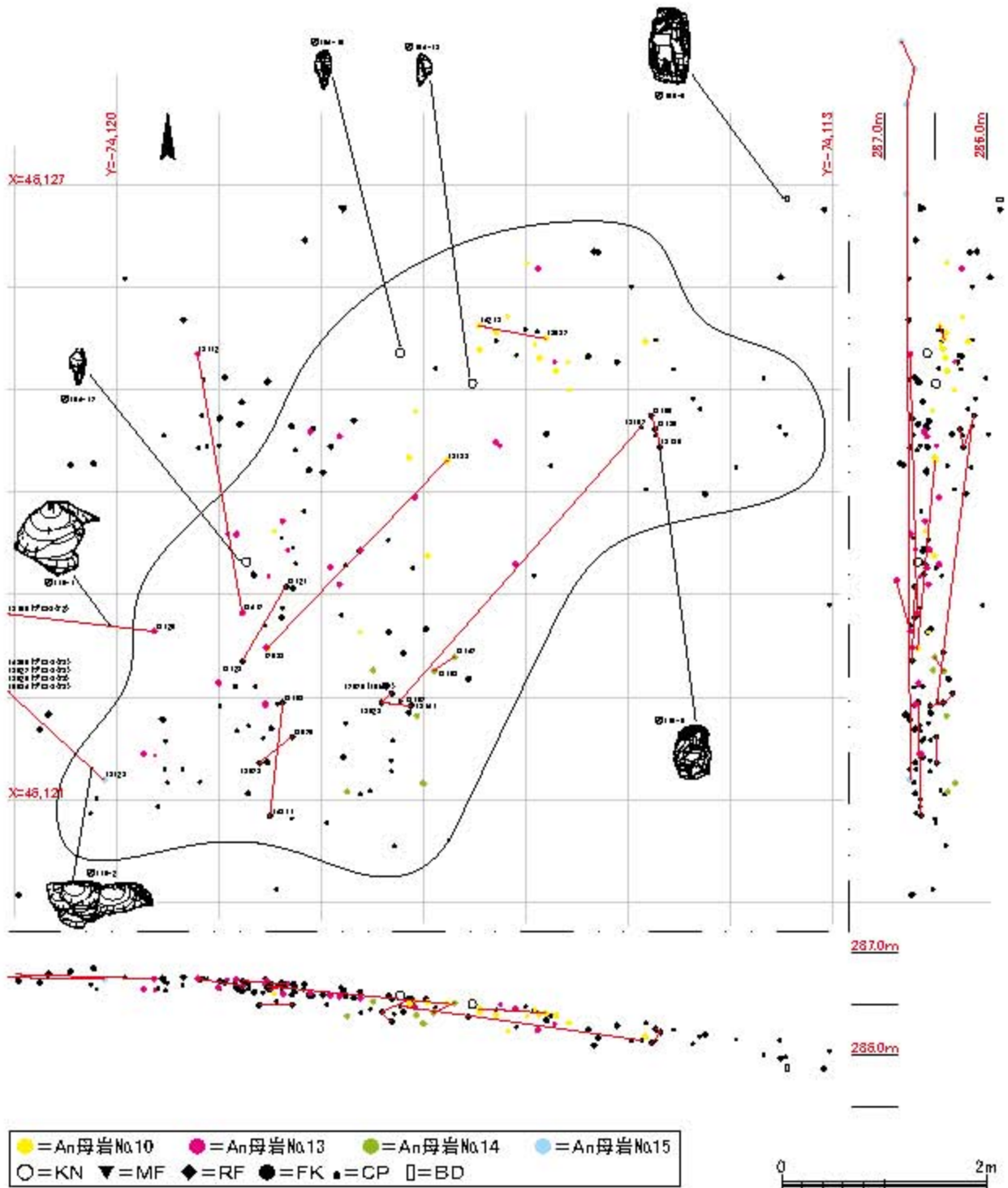


図72 1区 9b層ブロック1 器種・母岩別の石器の分布 (1/60)

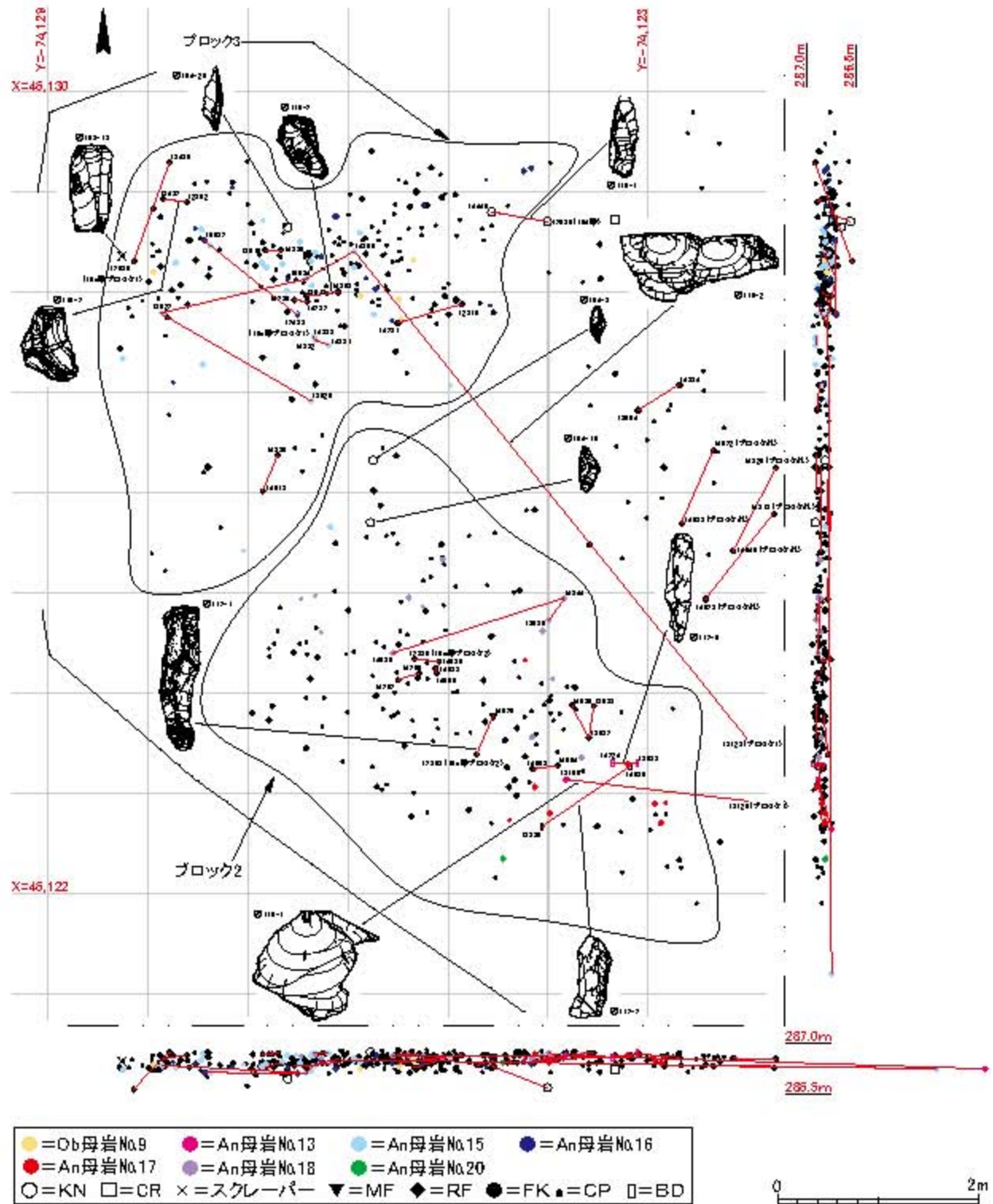


図73 1区 9b層ブロック2・3 器種・母岩別の石器の分布 (1/60)

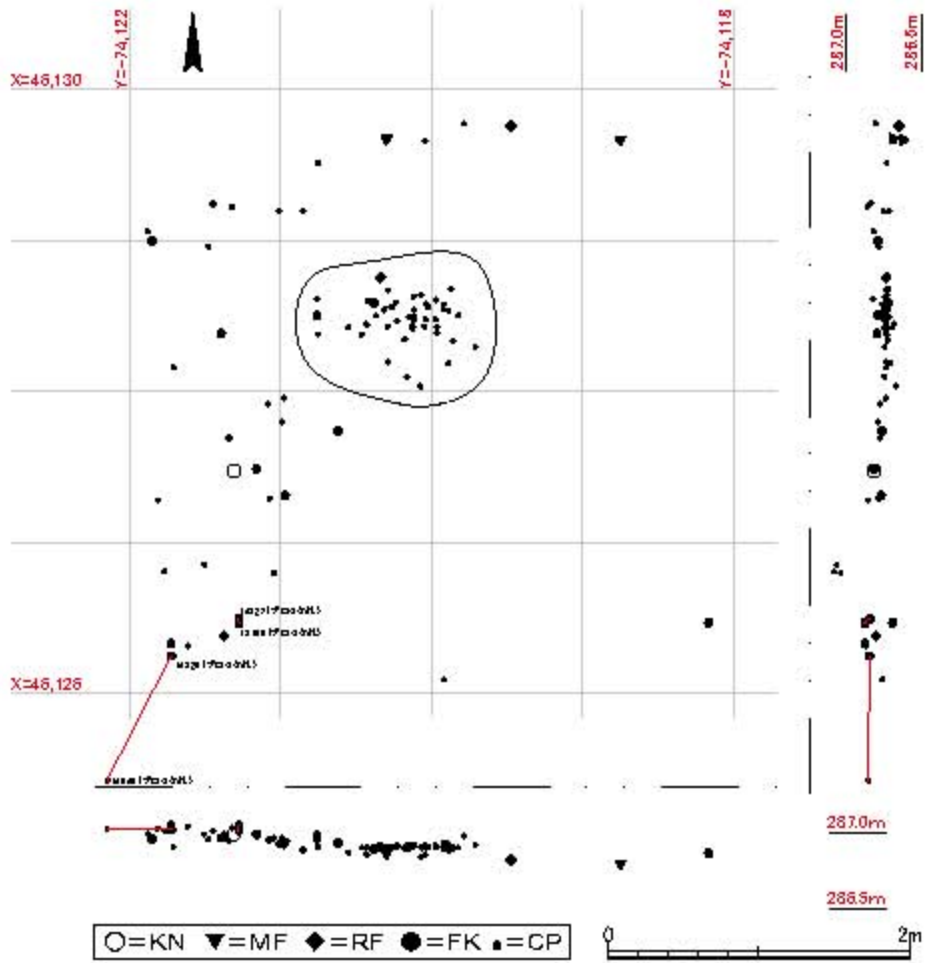


図74 1区 9b層ブロック4 器種別の石器の分布 (1/50)

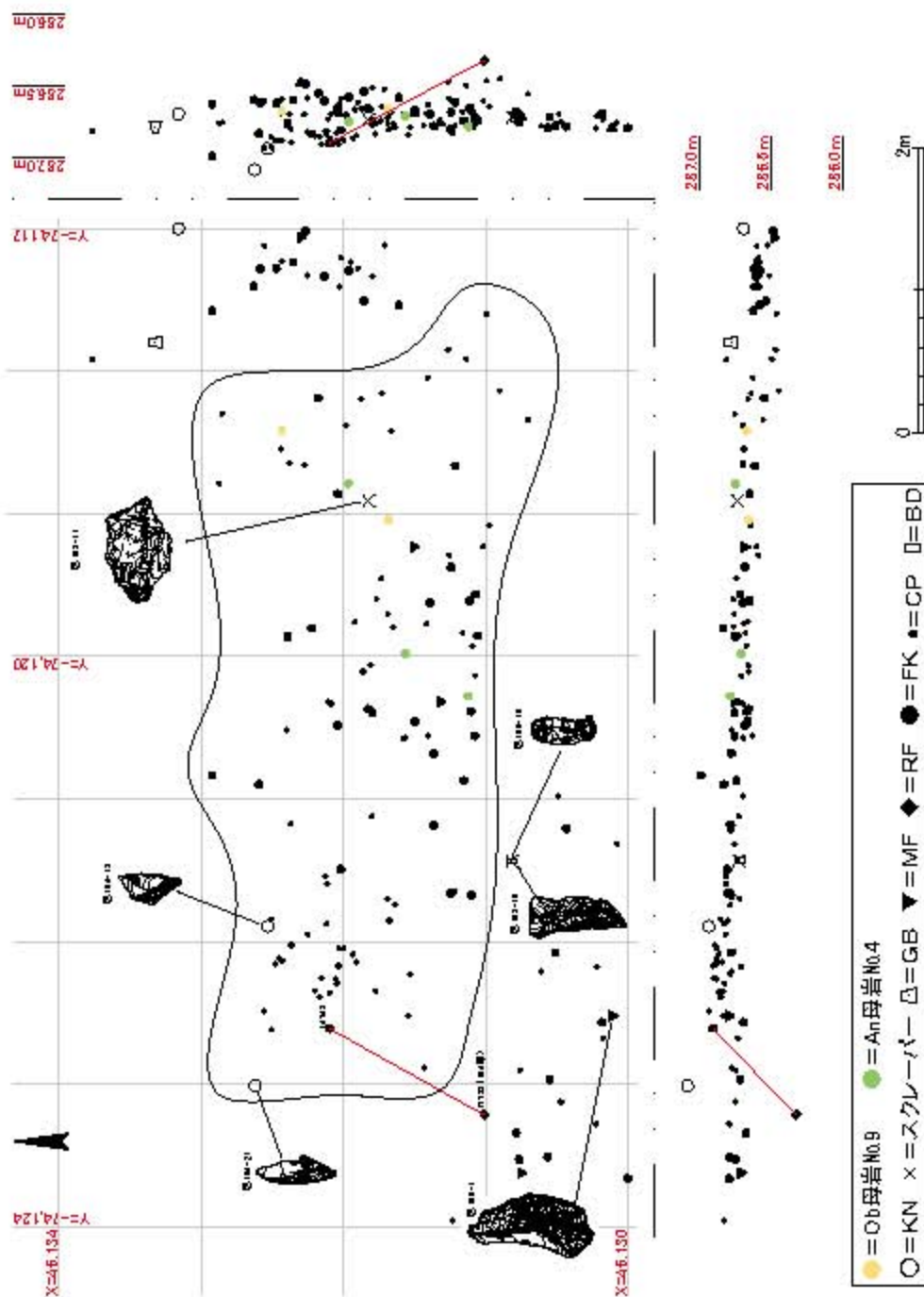


図75 1区 9b層ブロック5 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

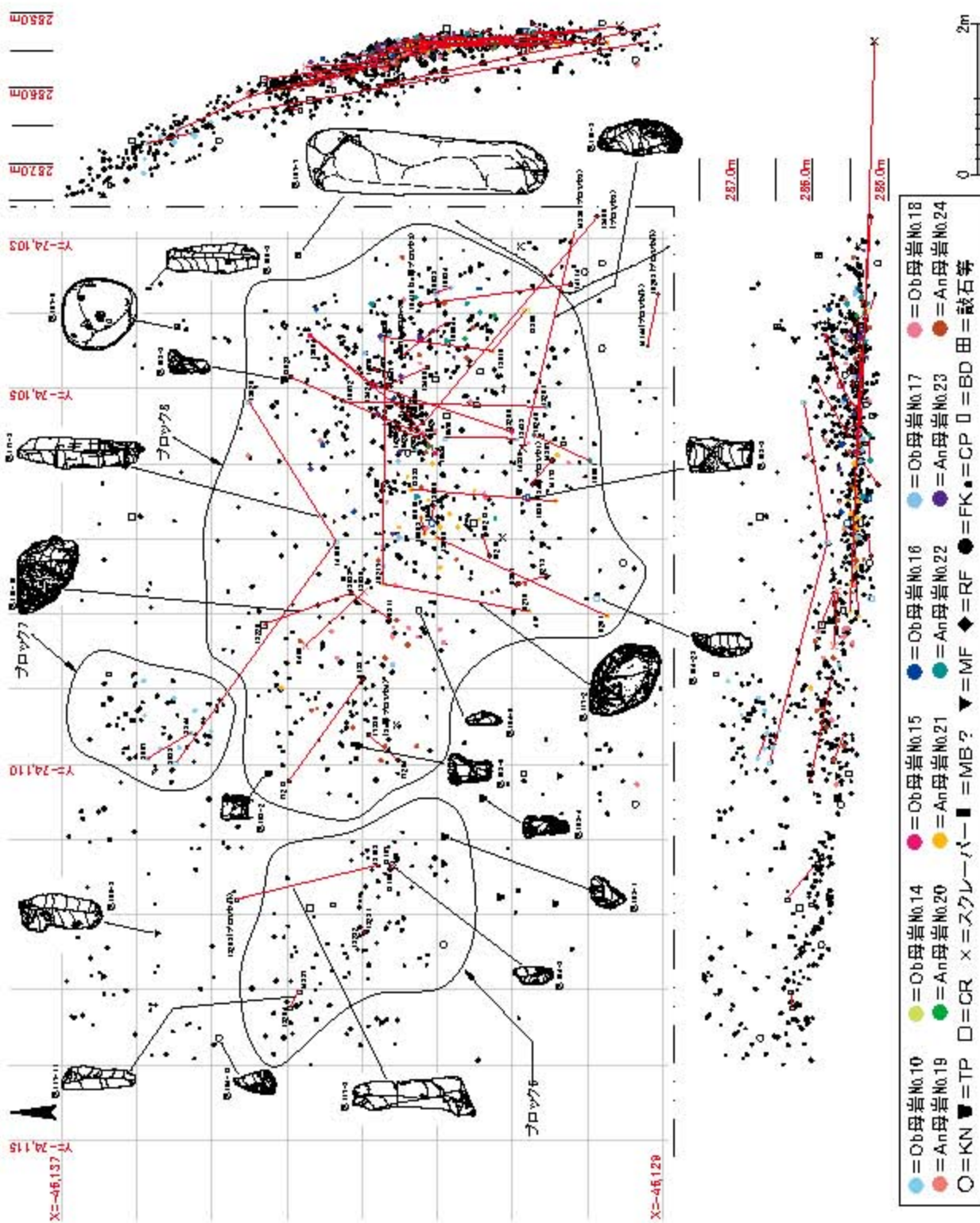


図76 1区 9b属ブロック6・7・8 器種・母岩別の石器の分布 (1/80)

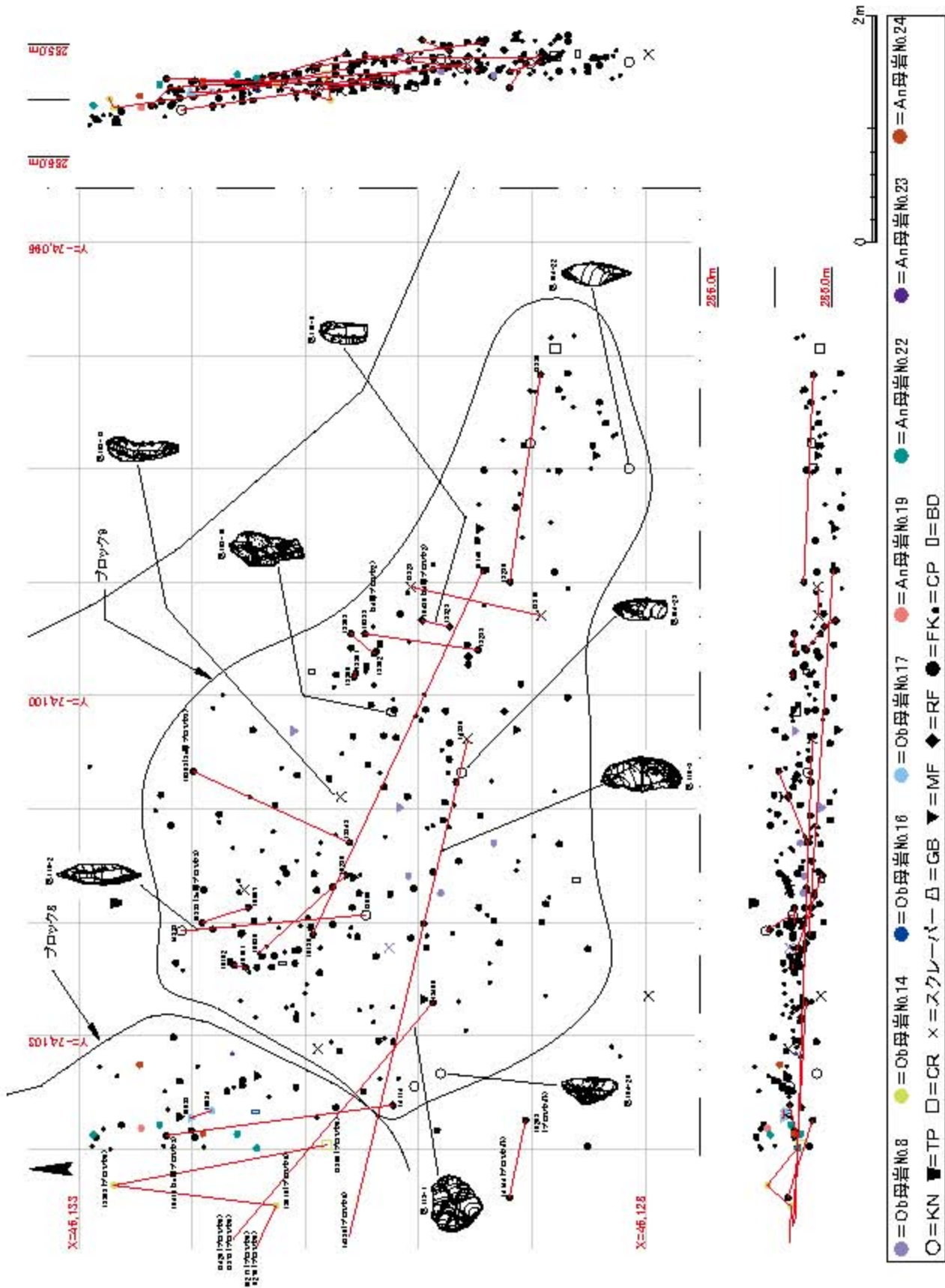


図77 1区 9b層ブロック9 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

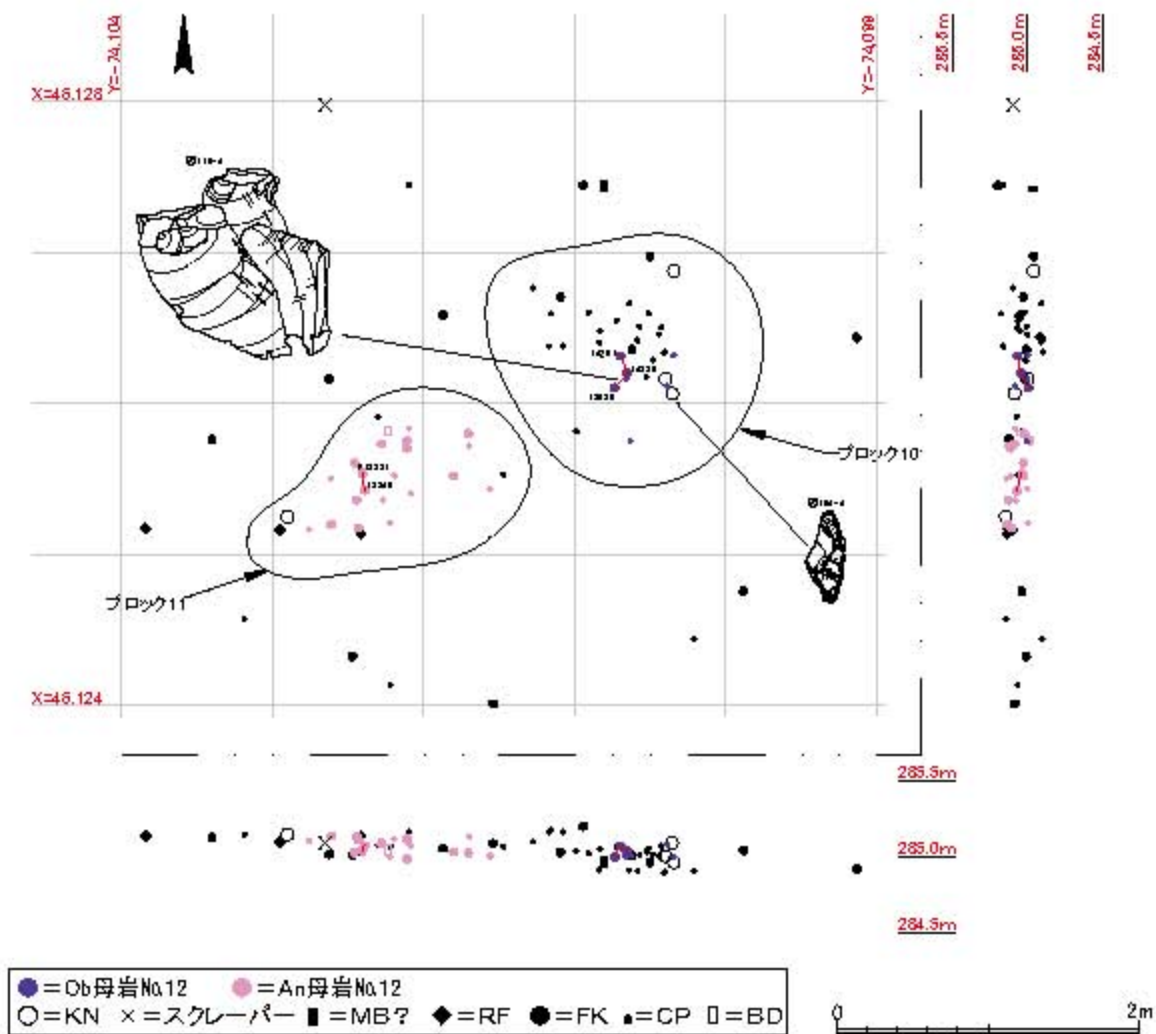


図78 1区 9b層ブロック10・11 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

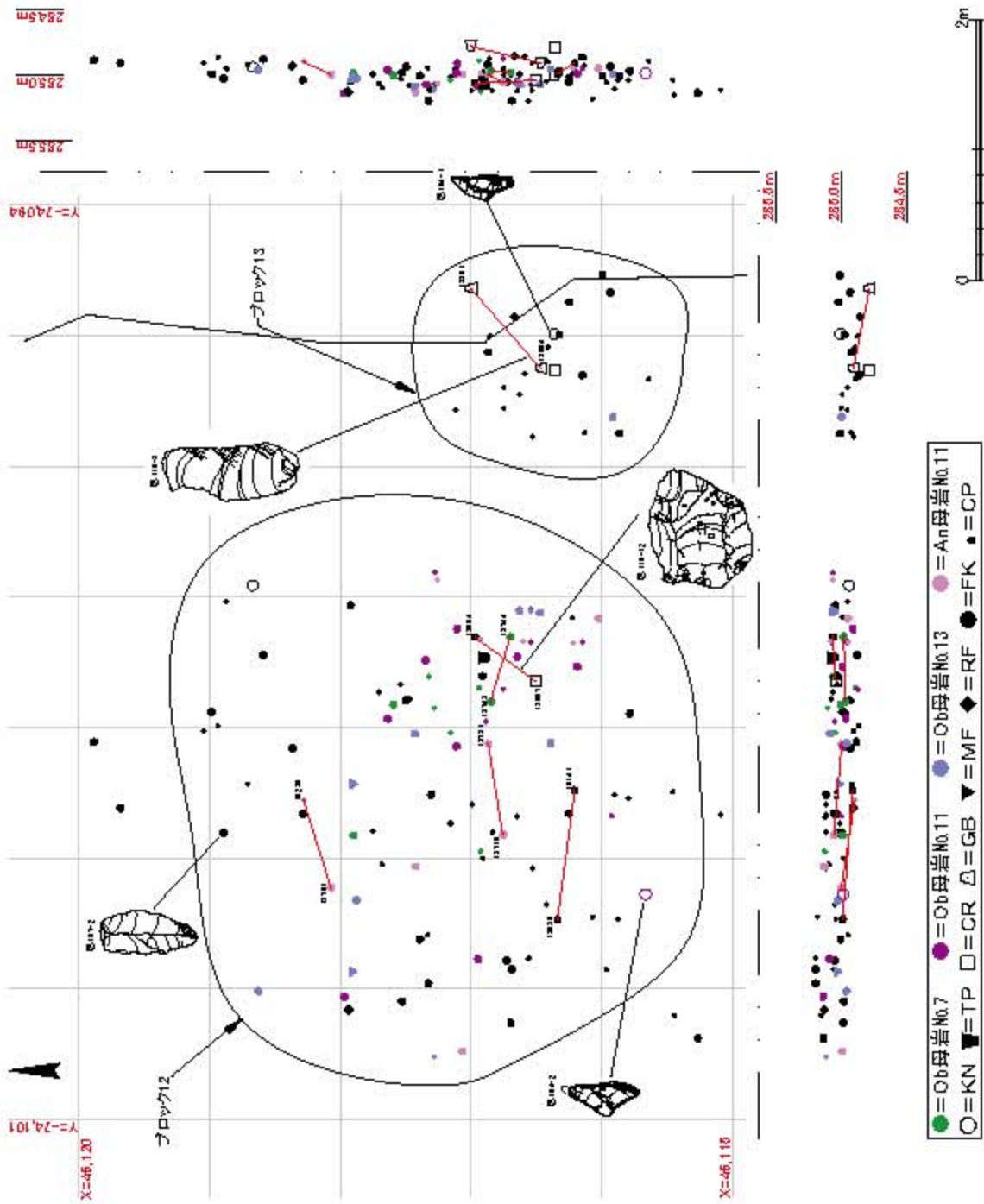


図79 1区 9b層ブロック12・13 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

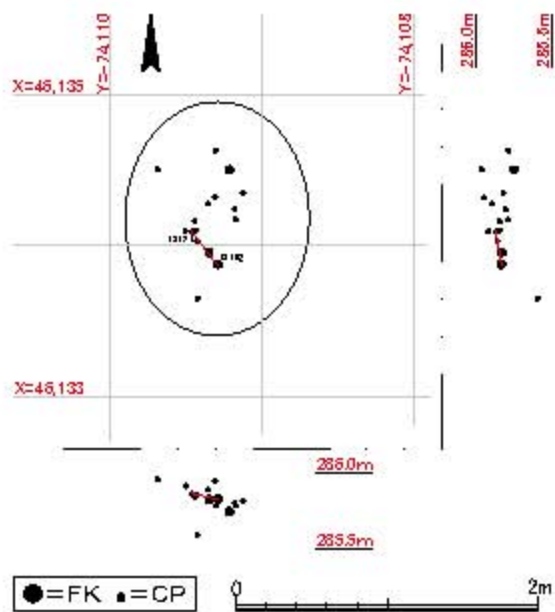


図80 1区 9c層ブロック1 器種別の石器の分布 (1/50)

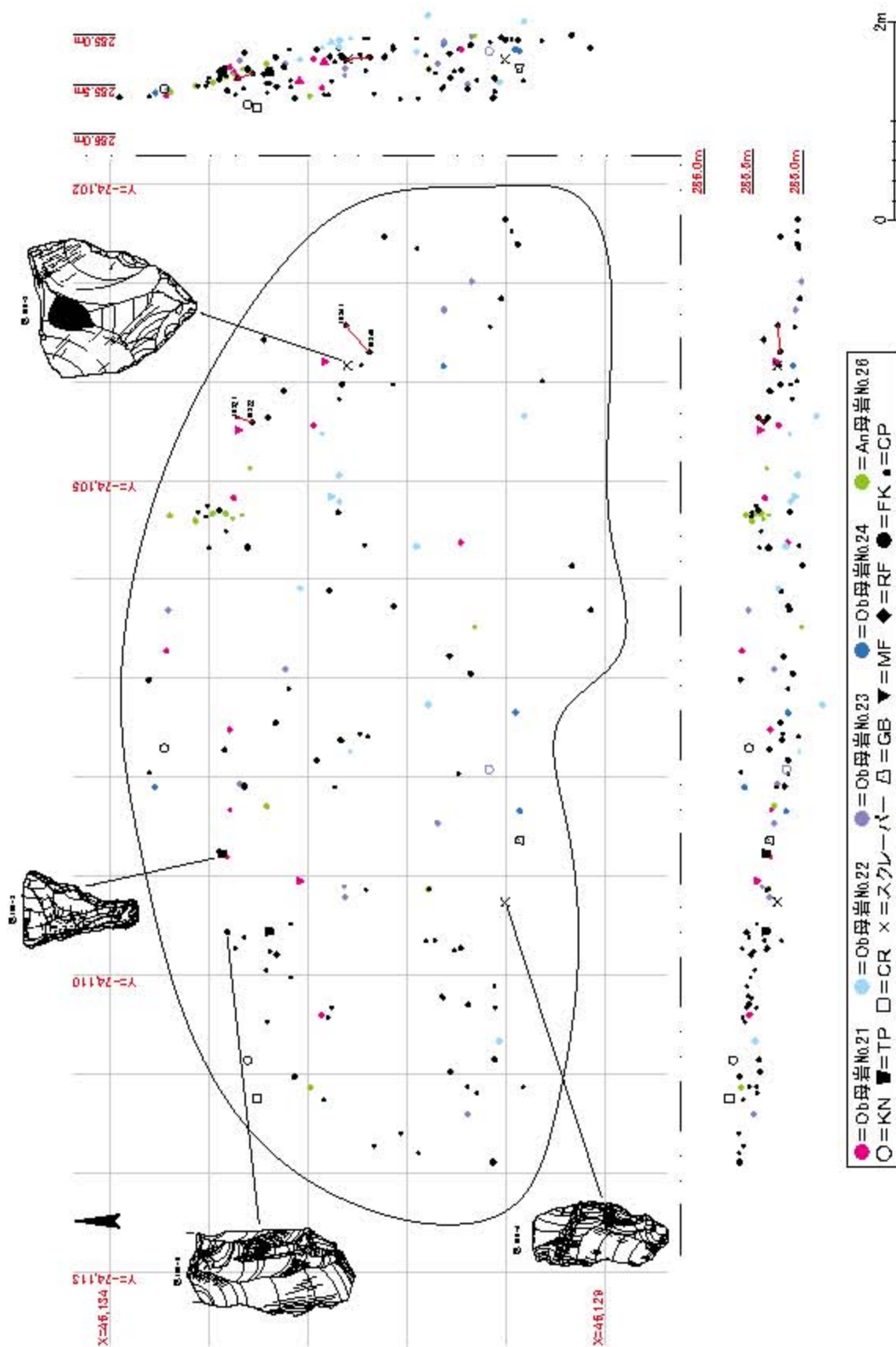


図81 1区 9d層ブロック1 器種・母岩別の石器の分布 (1/60)

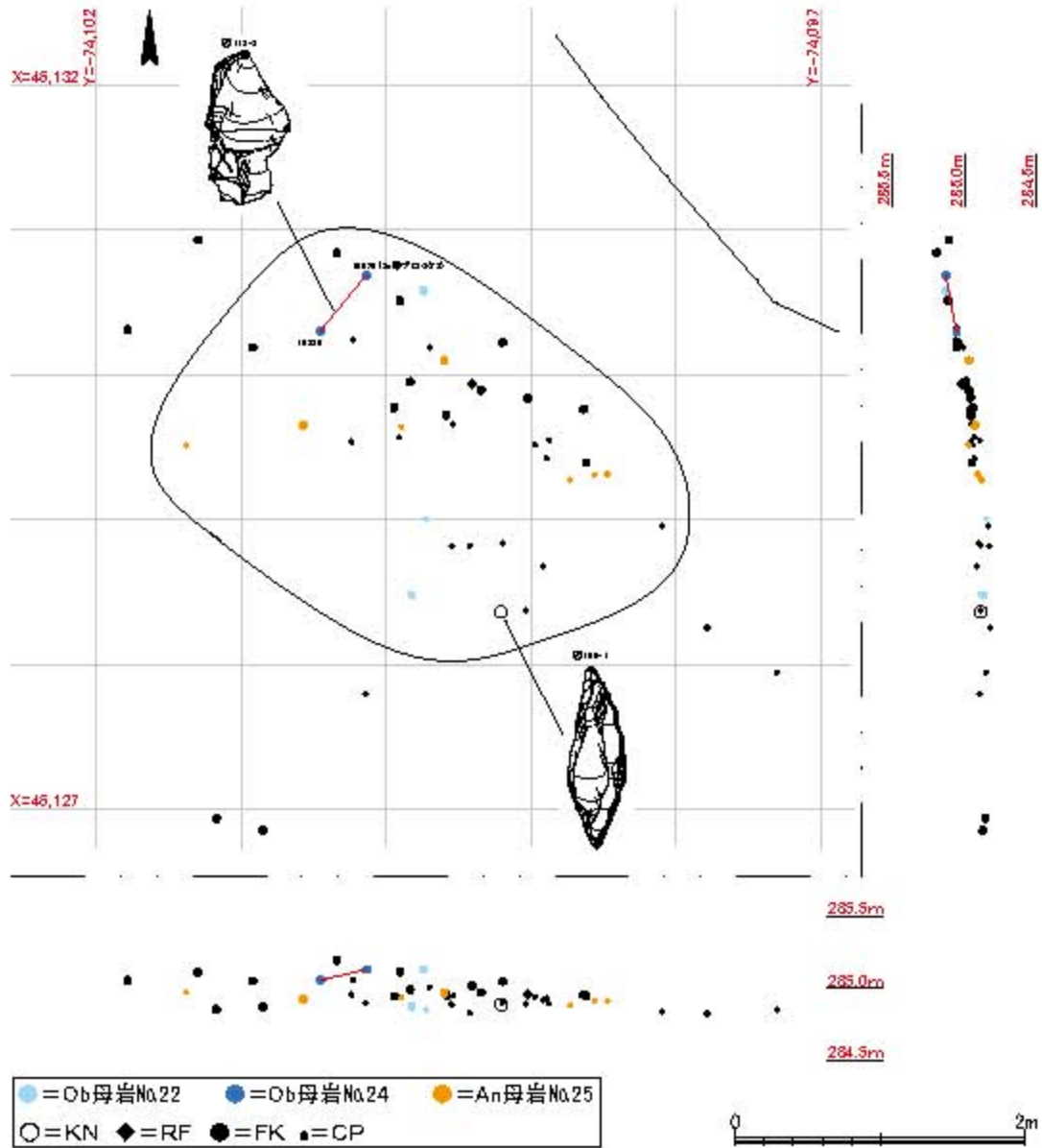


図82 1区 9d層ブロック2 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

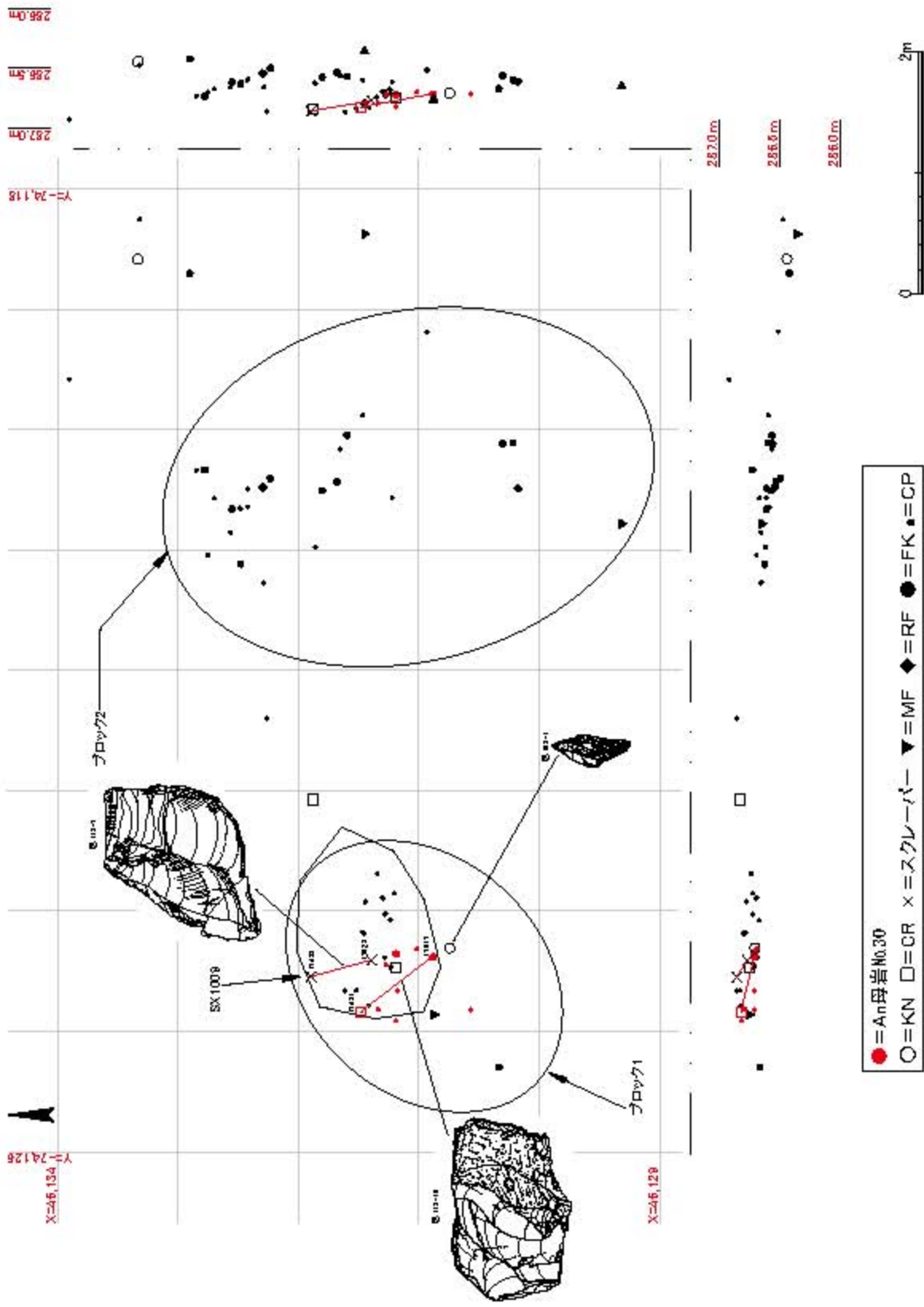


図83 1区 9a層ブロック1・2 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

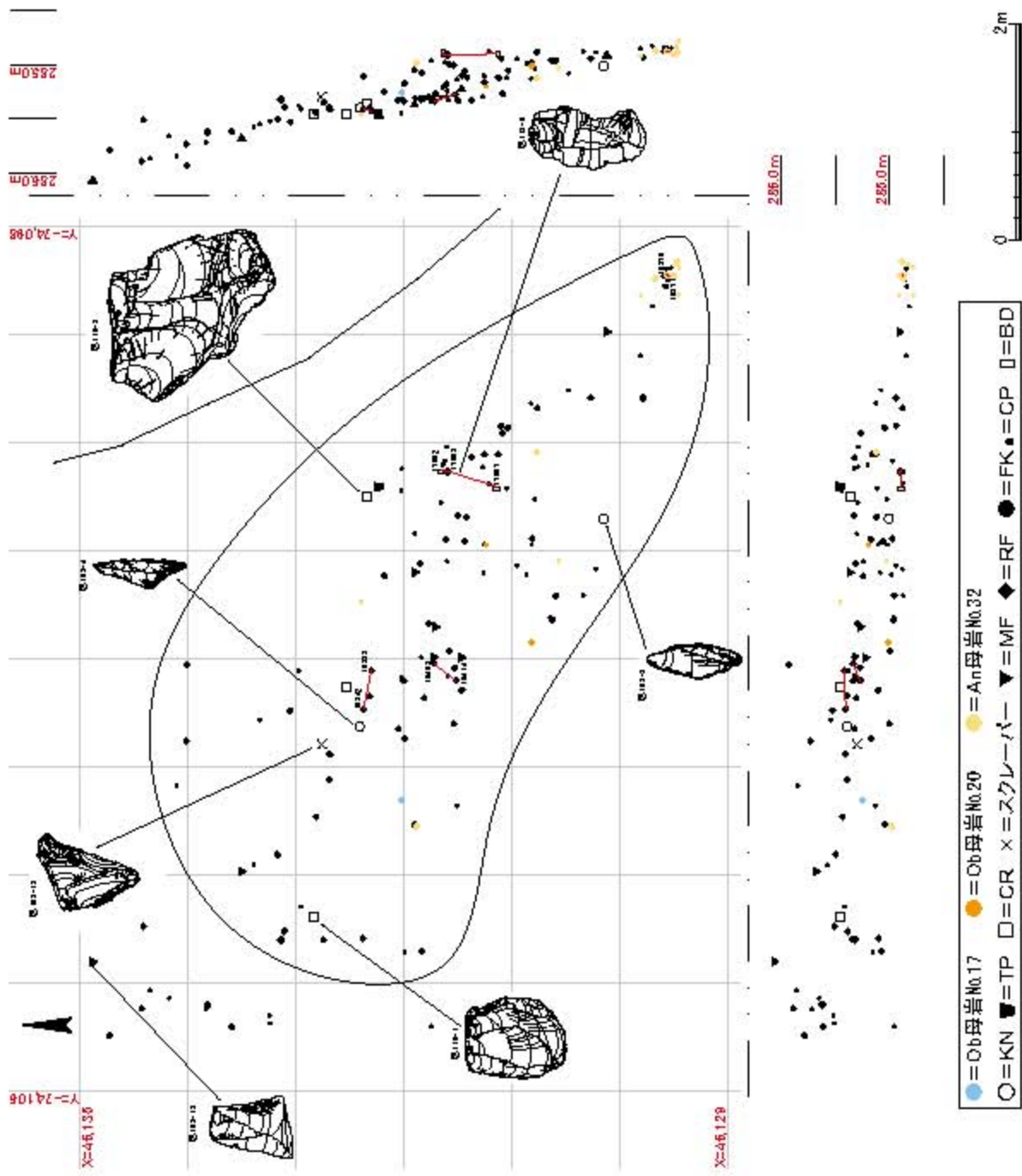
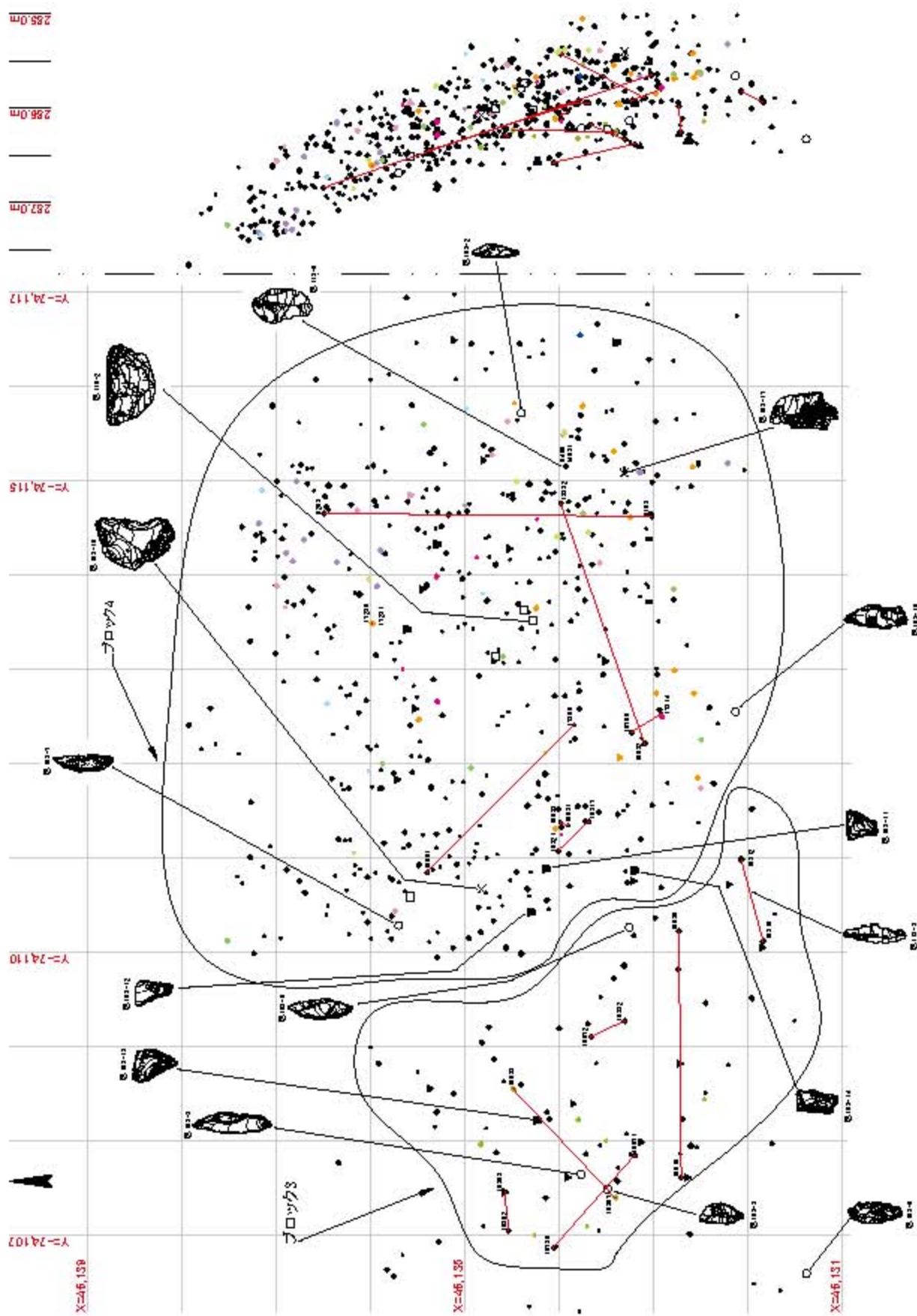


図85 1区 9a層ブロック5 器種・母岩別の石器の分布 (1/60)



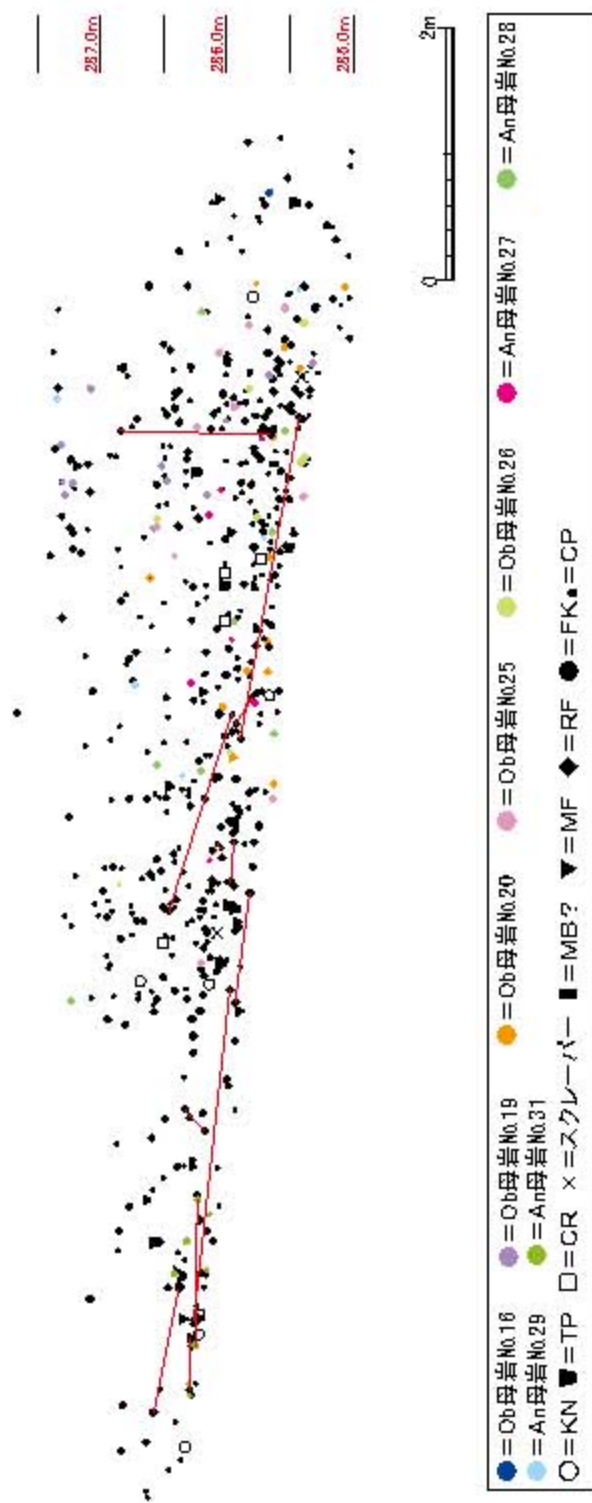


図84 1区 9e層ブロック3・4 器種・母岩別の石器の分布 (1/60)

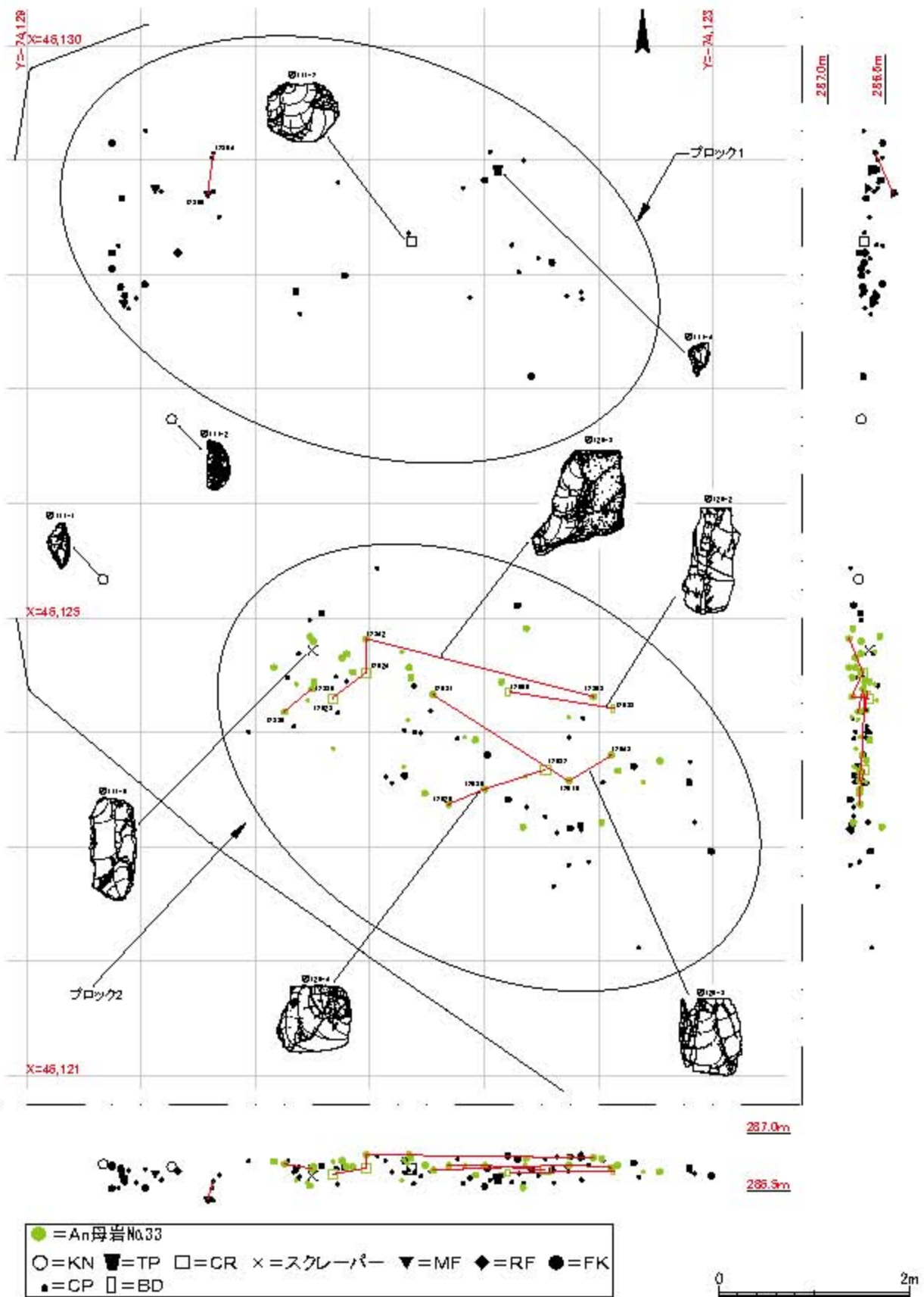


図86 1区 10c層ブロック1・2 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

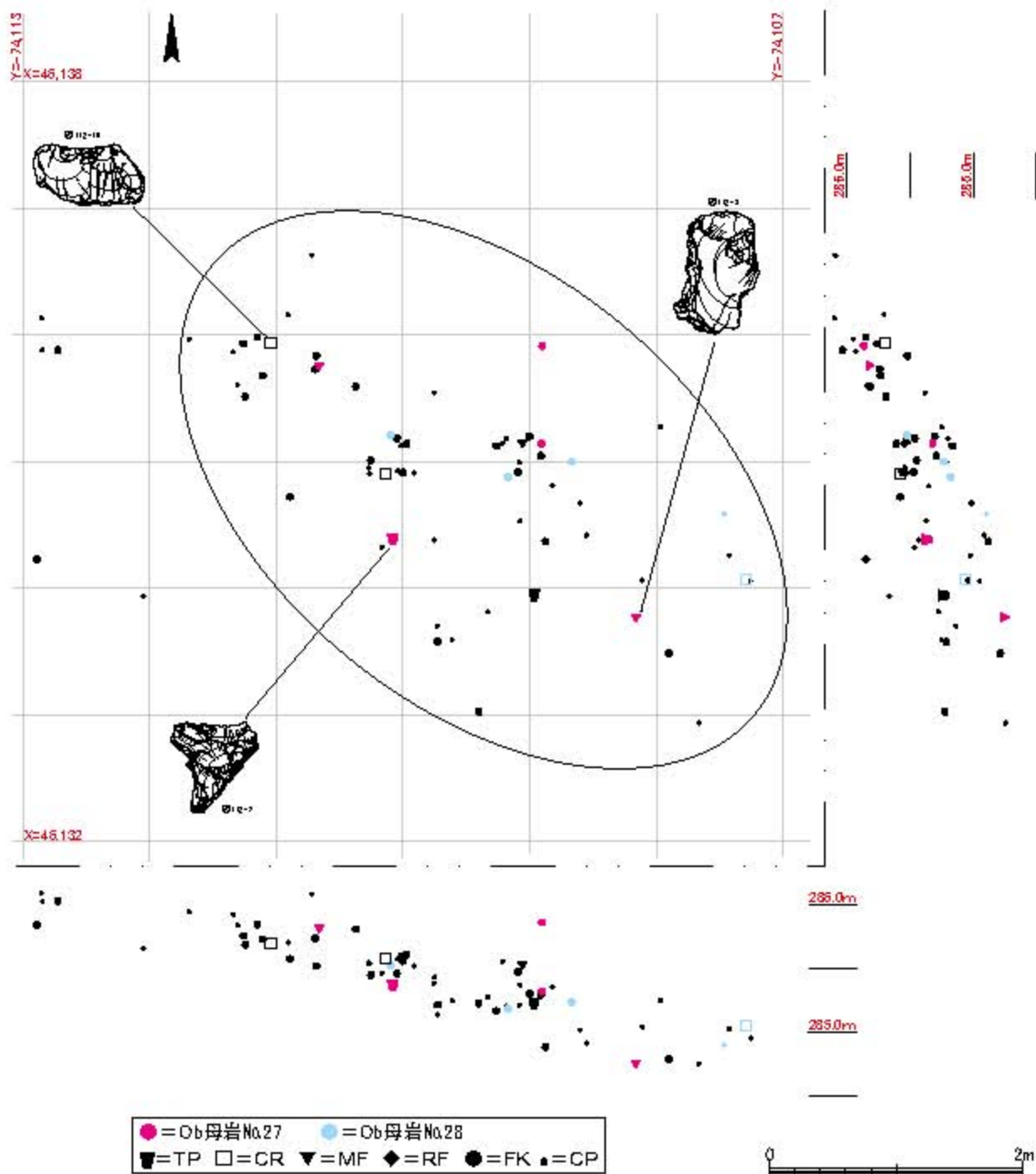


図87 1区 10d層ブロック1 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

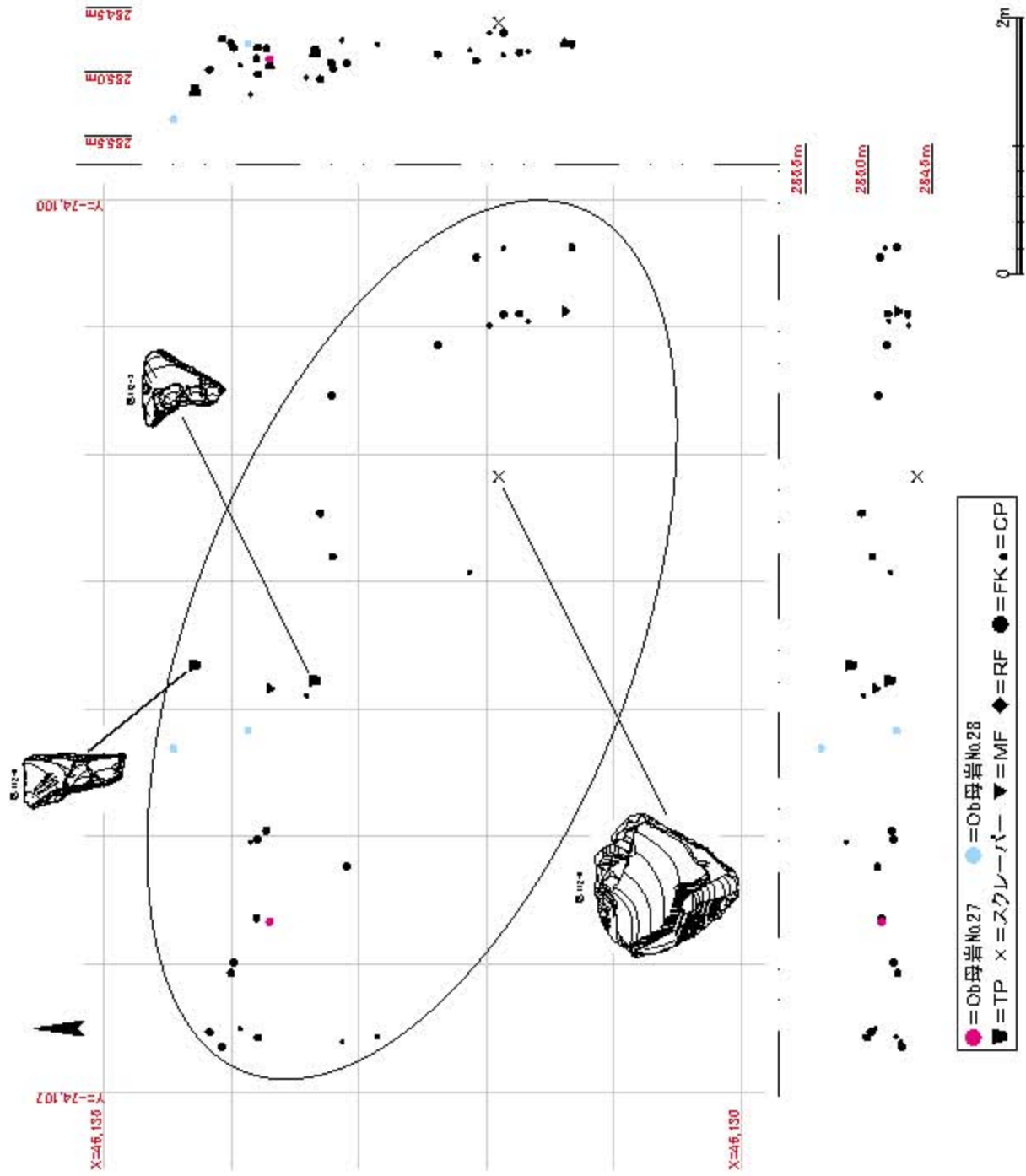
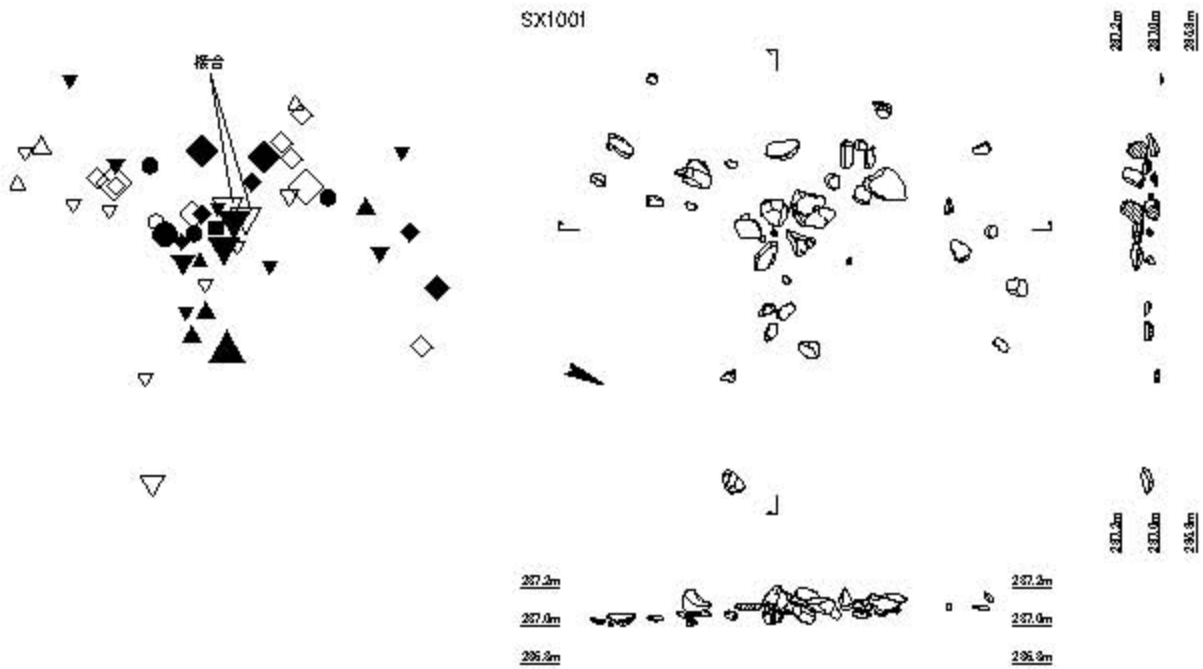


図88 1区 10d層ブロック2 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)



- △□◇▽ 巨大礫:1,000g以上
- △□◇▽ 大 礫:500以上~1,000g未満
- △□◇▽ 中 礫:100以上~500g未満
- △□◇▽ 小 礫:10以上~100g未満
- △□◇▽ 細 礫:10g未満
- 完形で(一部に)赤化が認められるもの
- △ 断面(の一部)のみ赤化したもの
- 断面以外に赤化が認められるもの
- ◇ 完形で赤化が認められないもの
- ▽ 断面も含め赤化が認められないもの
- ▲■◆▼ 黒色付着物があるもの



図89 1区 旧石器時代の遺構1 (1/40)

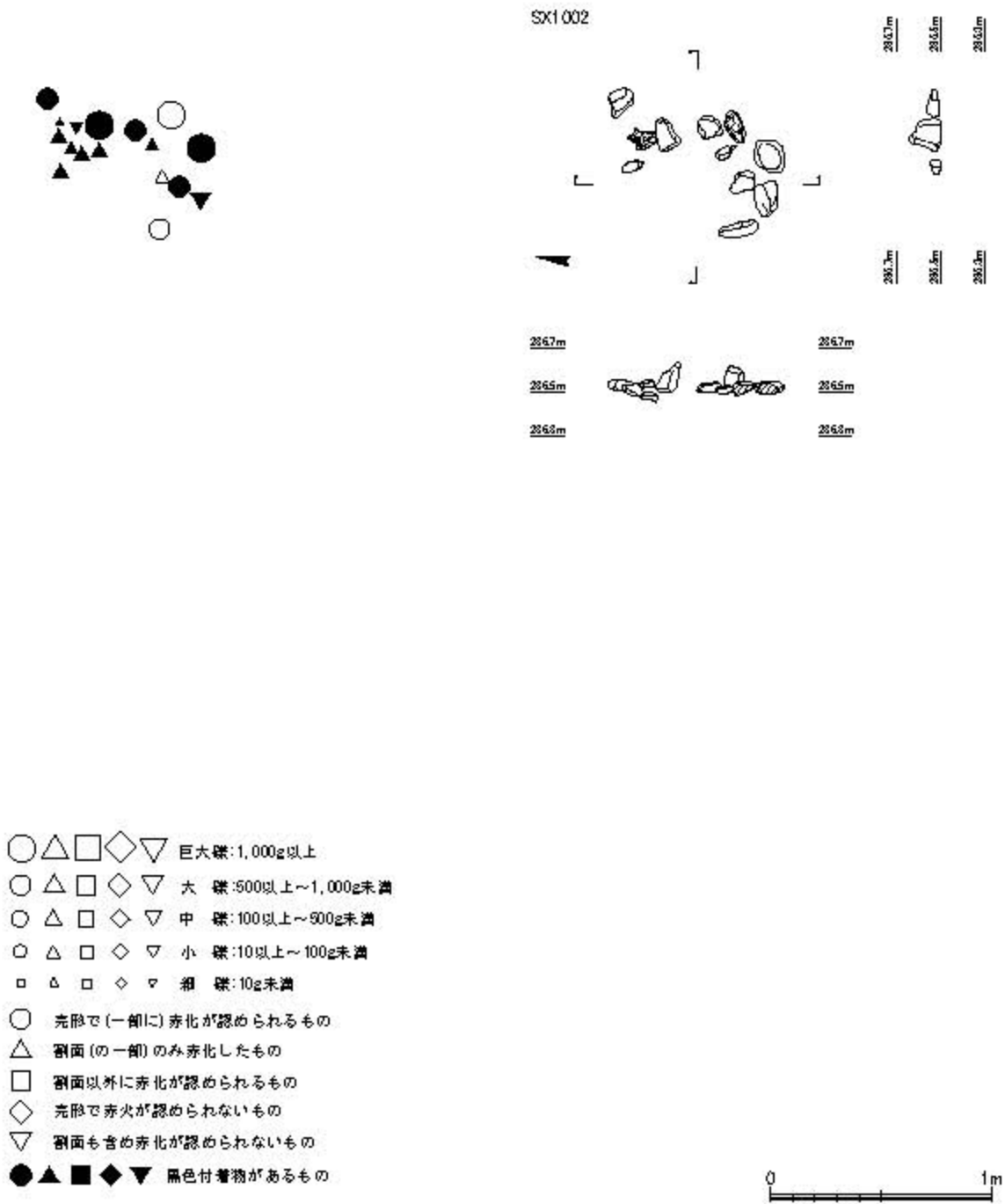
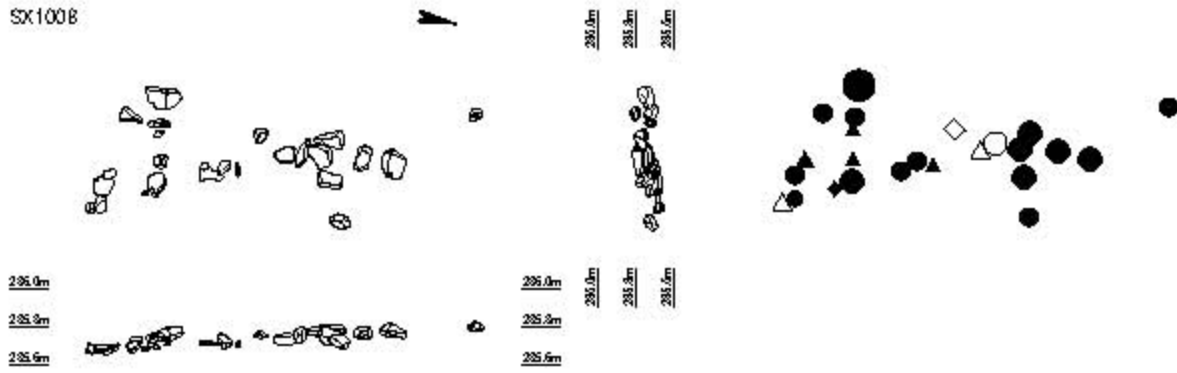
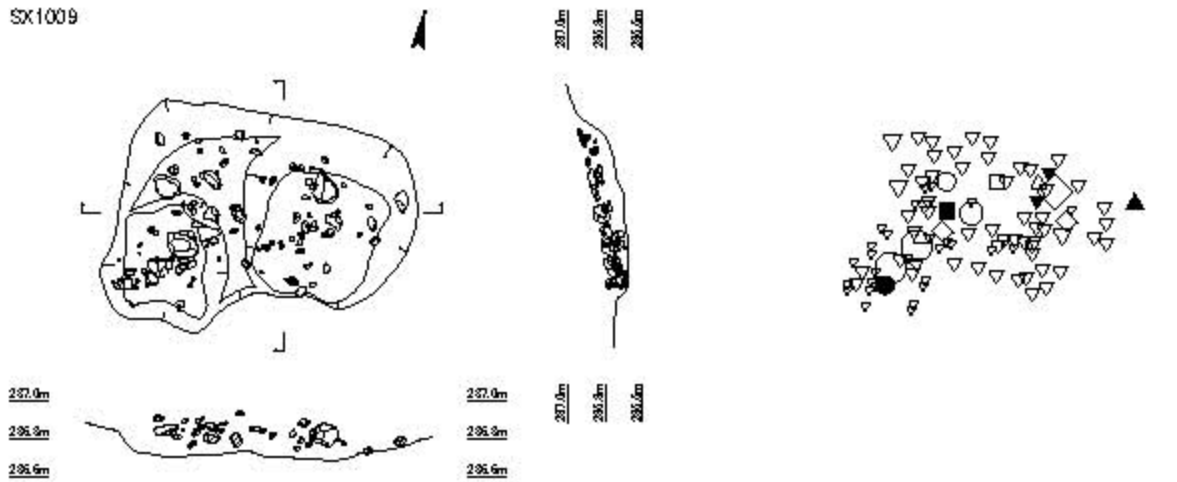


図90 1区 旧石器時代の遺構2 (1/30)

SX1008



SX1009



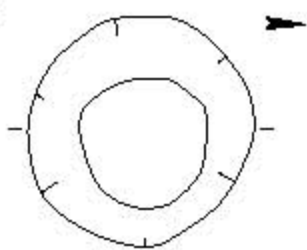
- △□◇▽ 巨大礫:1,000g以上
- △□◇▽ 大 礫:500以上~1,000g未満
- △□◇▽ 中 礫:100以上~500g未満
- △□◇▽ 小 礫:10以上~100g未満
- △ □ ◇ ▽ 細 礫:10g未満
- 完形で(一部に)赤化が認められるもの
- △ 断面(の一部)のみ赤化したもの
- 断面以外に赤化が認められるもの
- ◇ 完形で赤化が認められないもの
- ▽ 断面も含め赤化が認められないもの
- ▲■◆▼ 黒色付着物があるもの



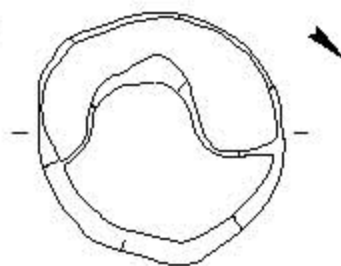
図91 1区 旧石器時代の遺構3 (1/40)

地蔵平遺跡（本文編）

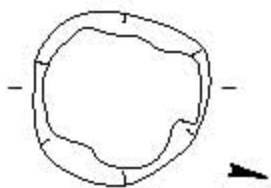
SX1003



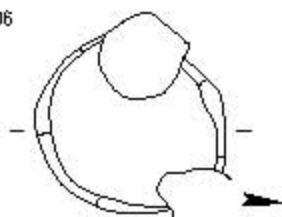
SX1004



SX1005



SX1006



SX1007

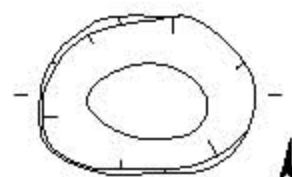


図92 1区 旧石器時代の遺構4 (1/30)



图93 1区出土石器 4层1 (1/2)



图94 1区出土石器 4層2 (1/2)

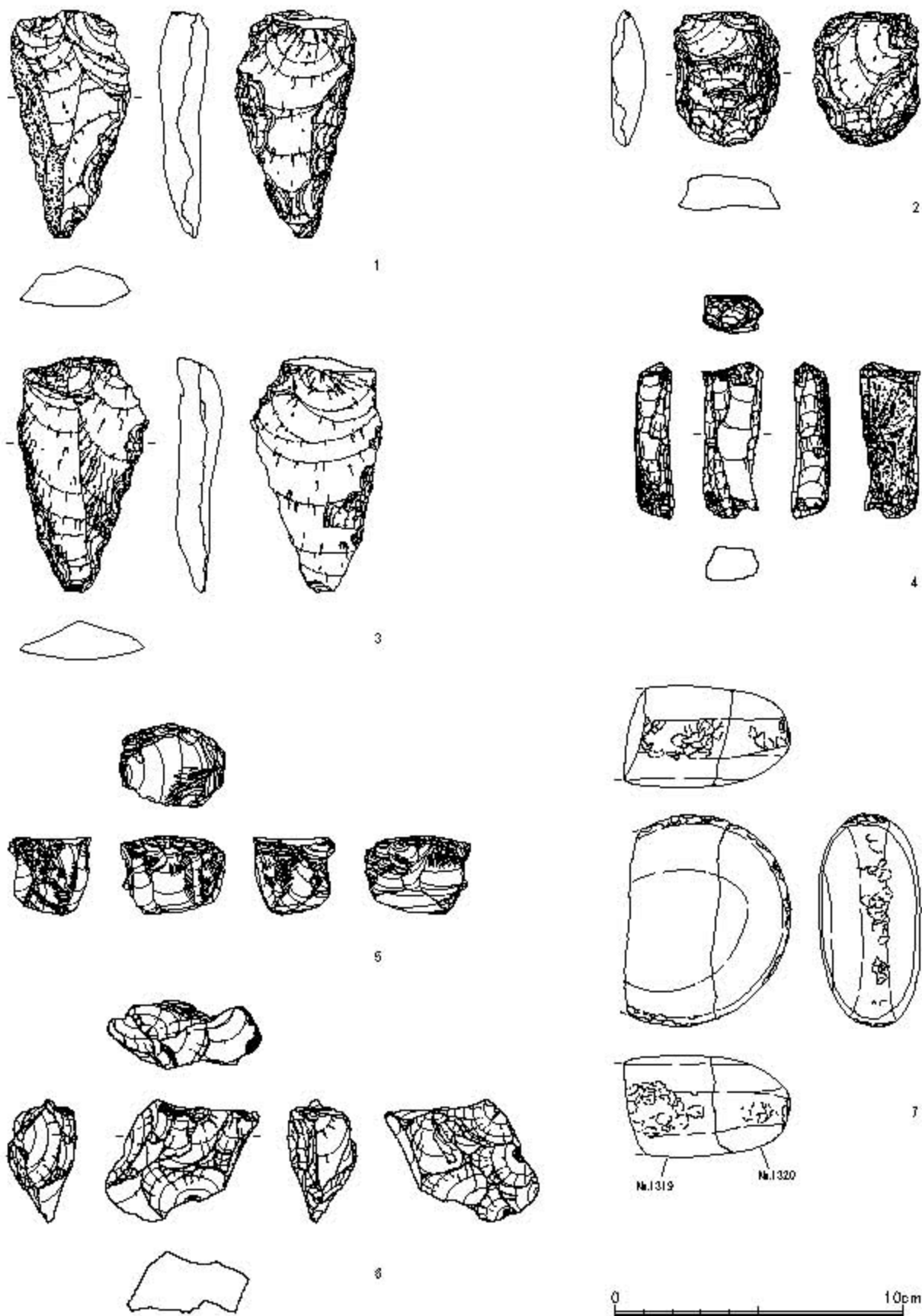


图95 1区出土石器 4层3 (1/2)

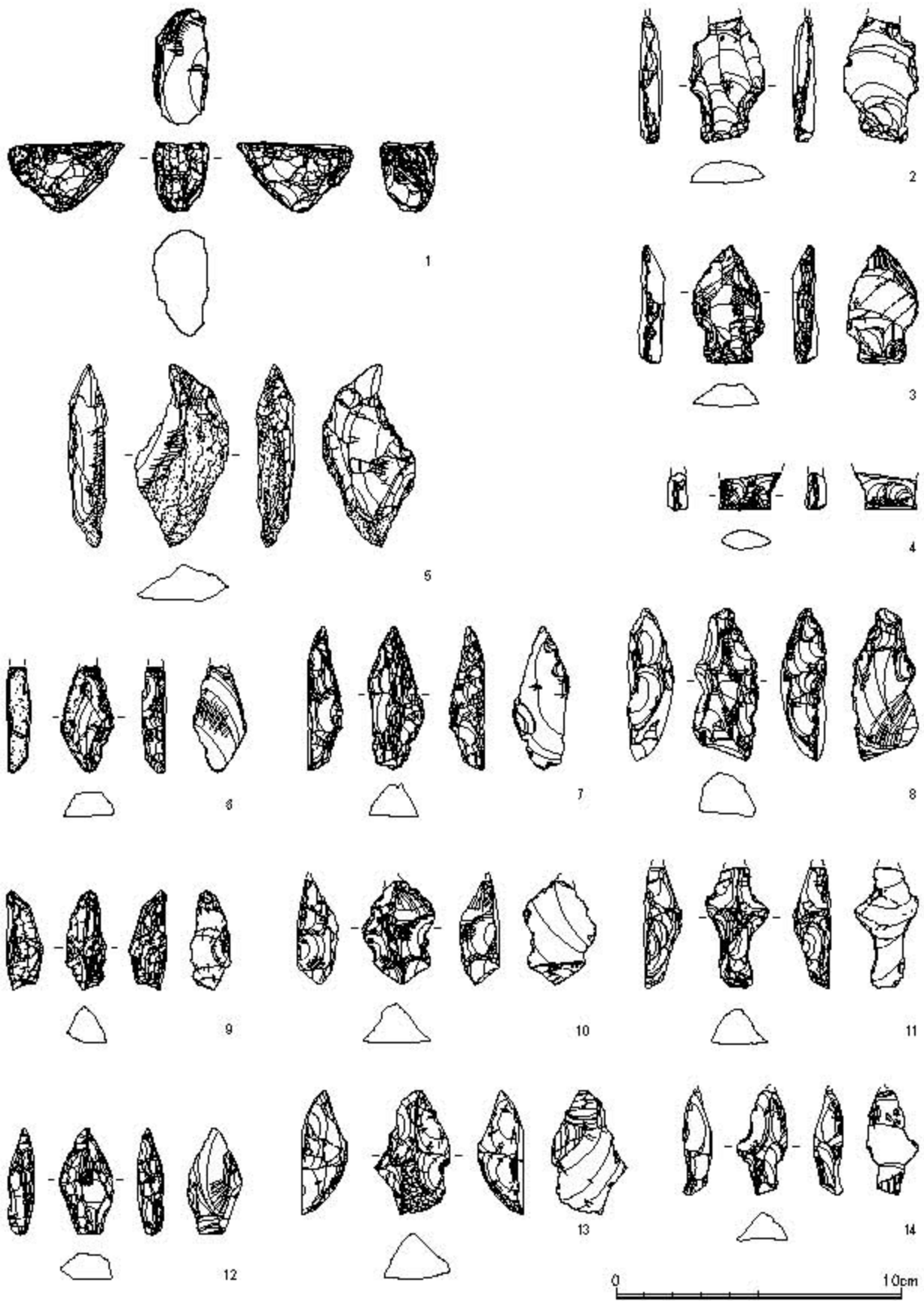


図96 1区出土石器 5a層1 (1/2)

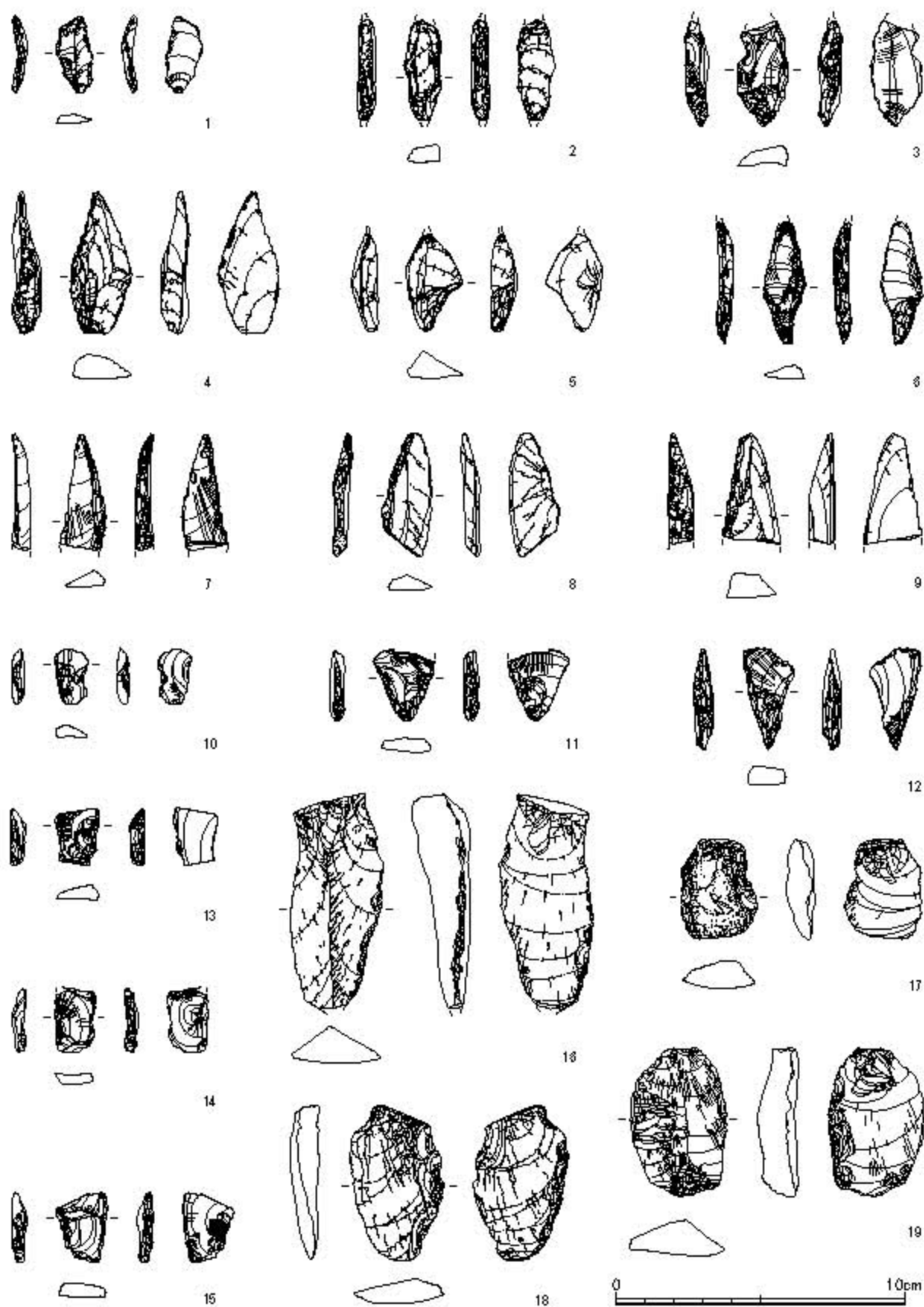


图97 1区出土石器 5a层2 (1/2)

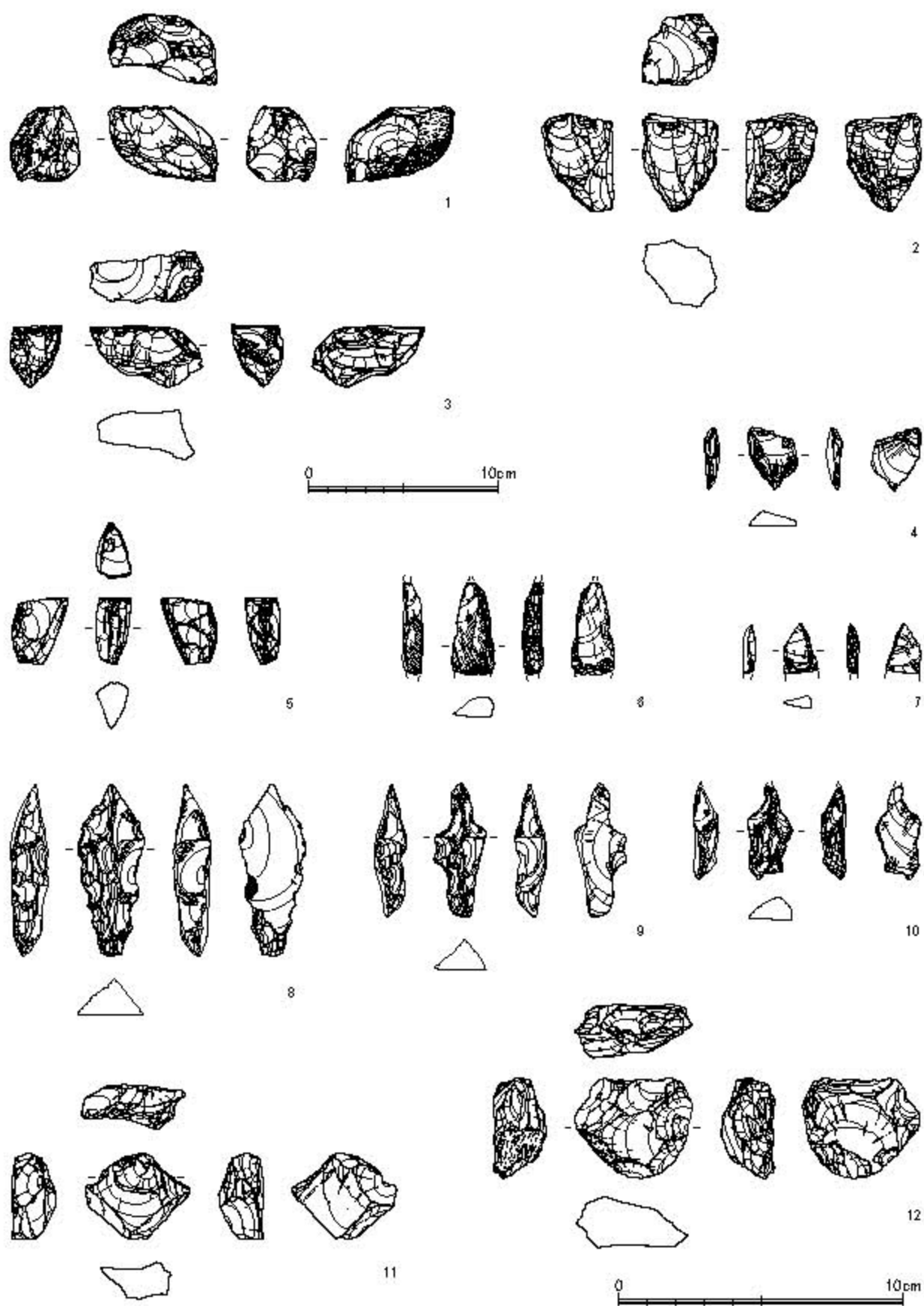


图98 1区出土石器 5a層3・5b層 (1/3・1/2)

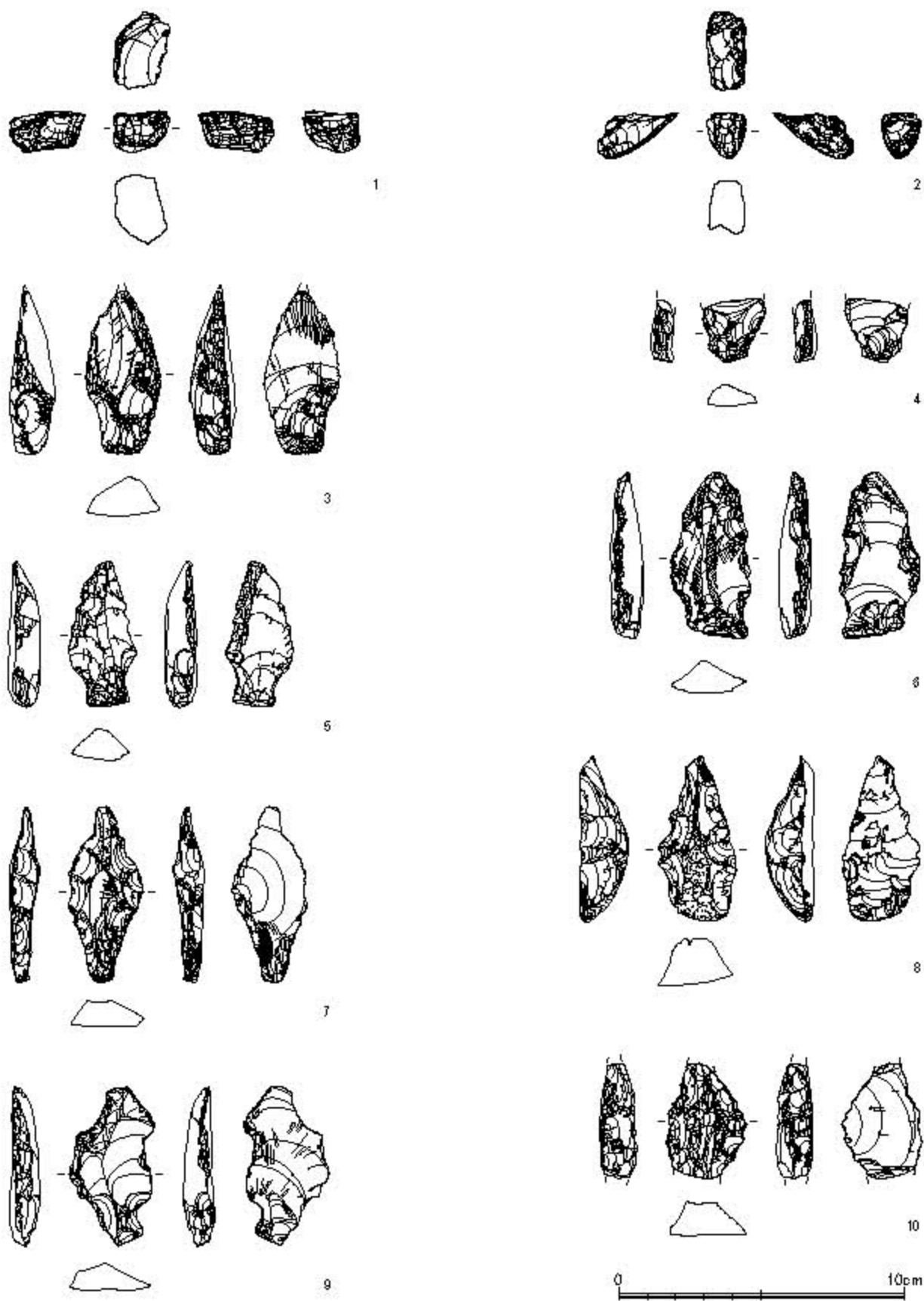


图99 1区出土石器 6层1 (1/2)

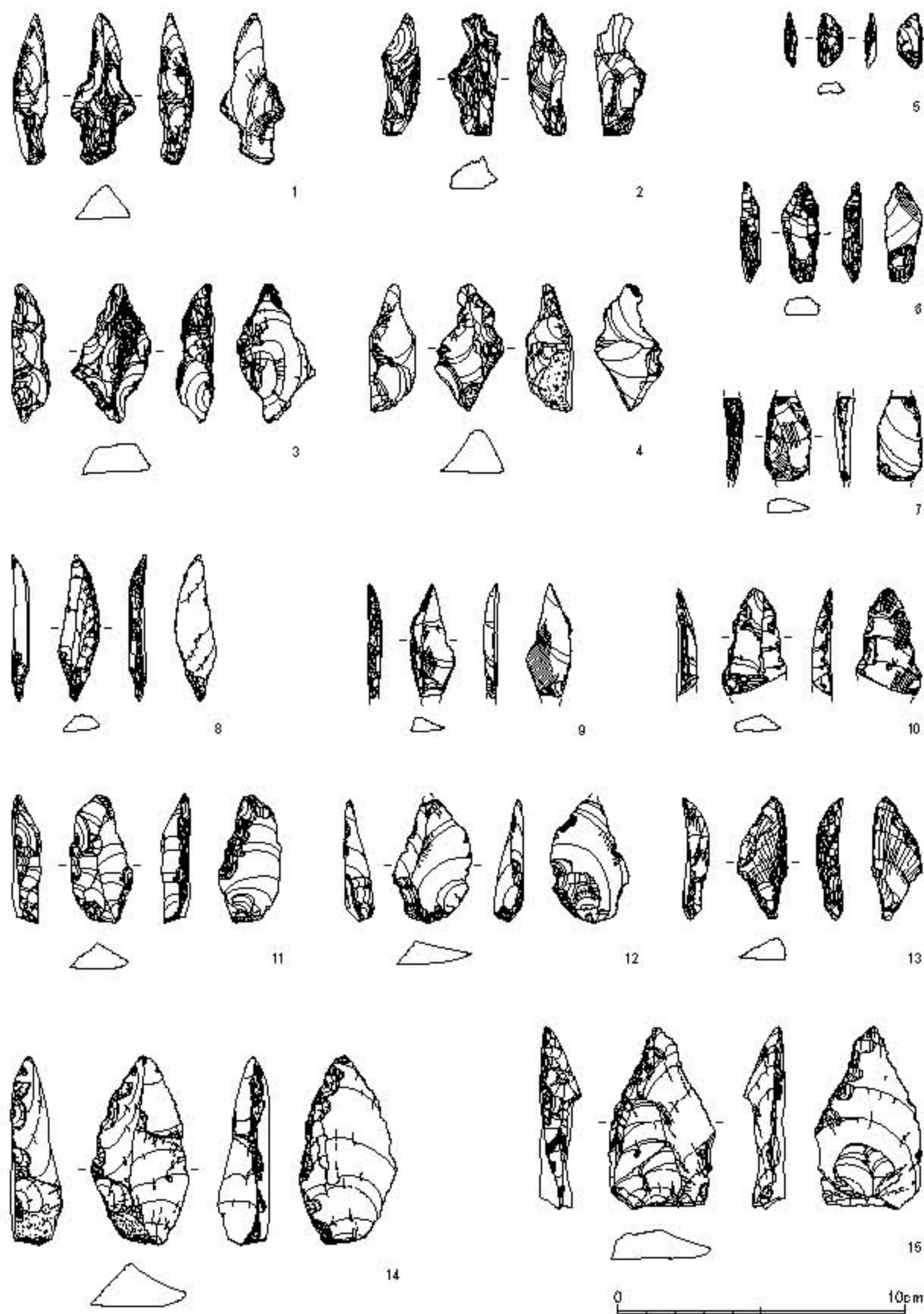


图 100 1区出土石器 6層 2 (1/2)



图 101 1区出土石器 6层3 (1/2)



図102 1区出土石器 9a層1 (1/2)

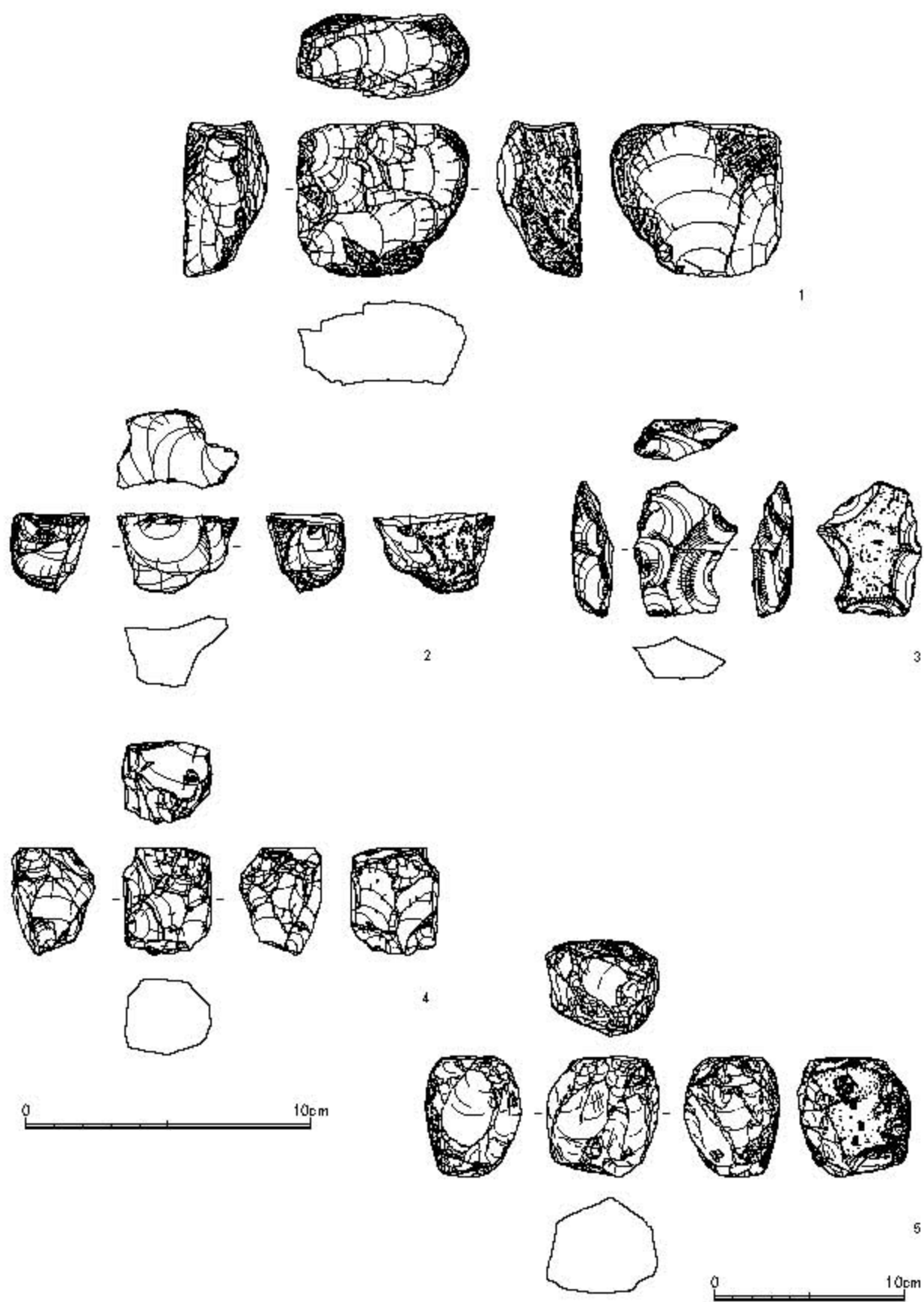


图 103 1区出土石器 9a层 2 (1/2·1/3)



図104 1区出土石器 9b層1 (1/2)

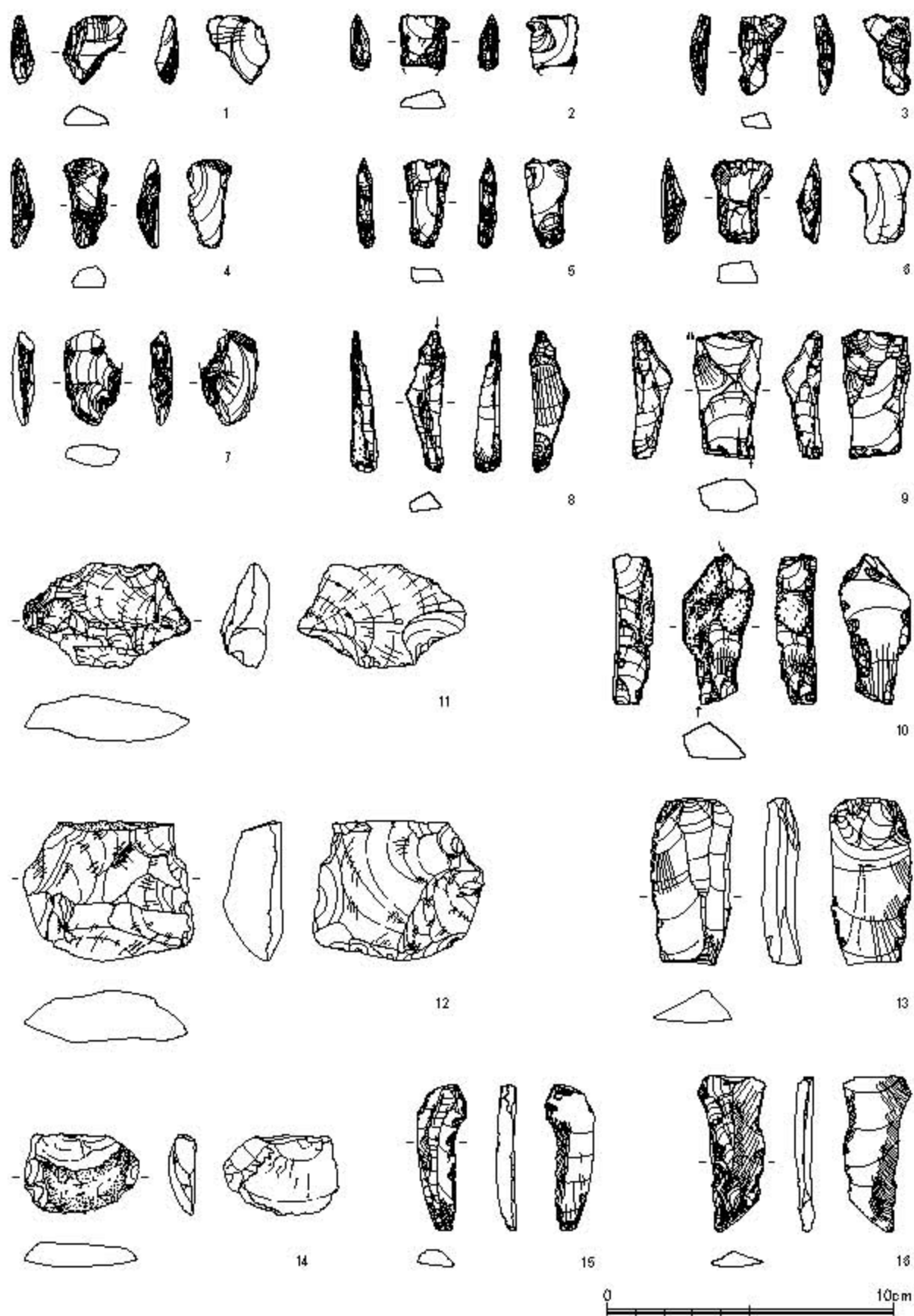


图105 1区出土石器 9b层2 (1/2)



図106 1区出土石器 9b層3 (1/2)

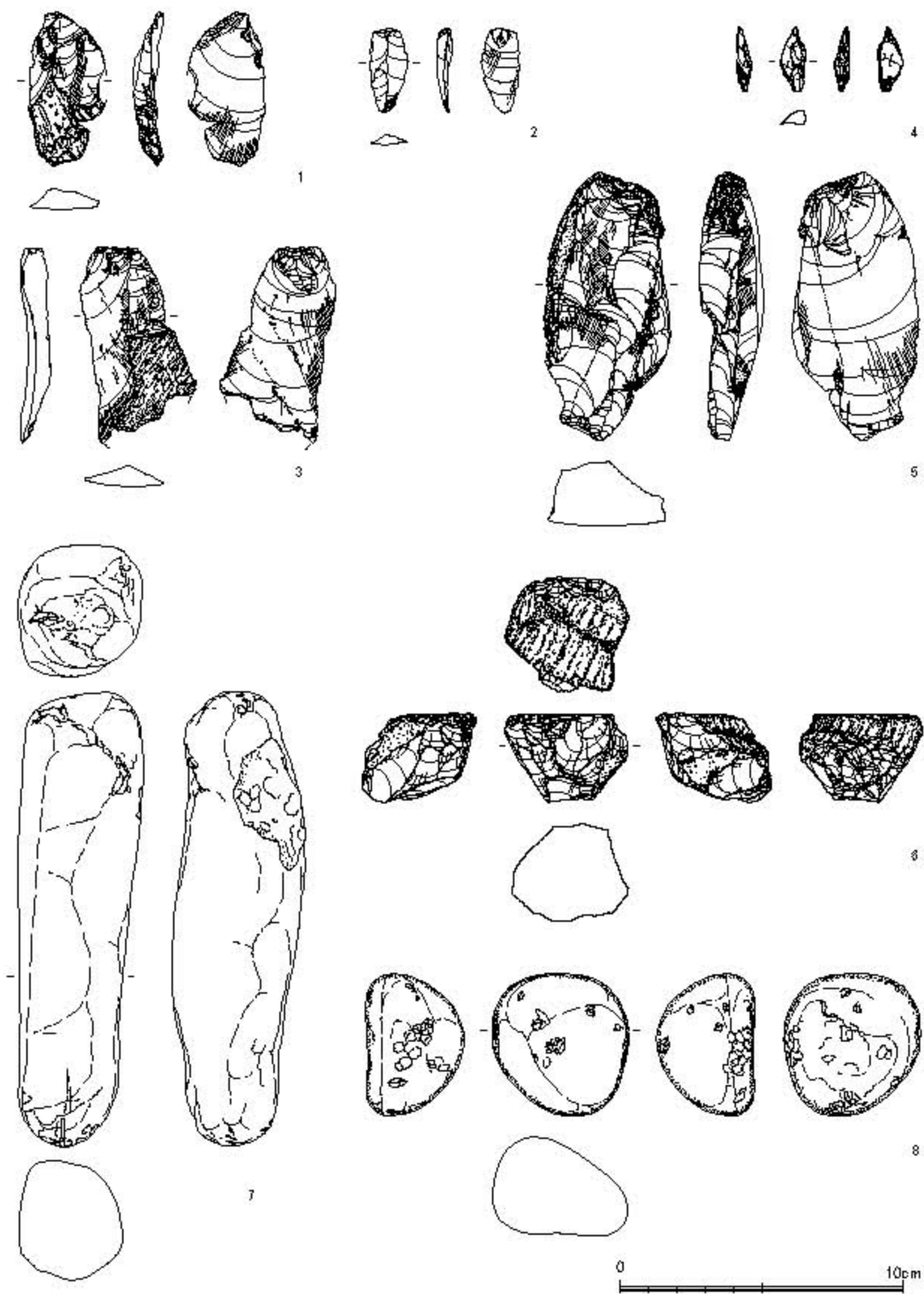


图 107 1区出土石器 9b层4·9c层 (1/2)

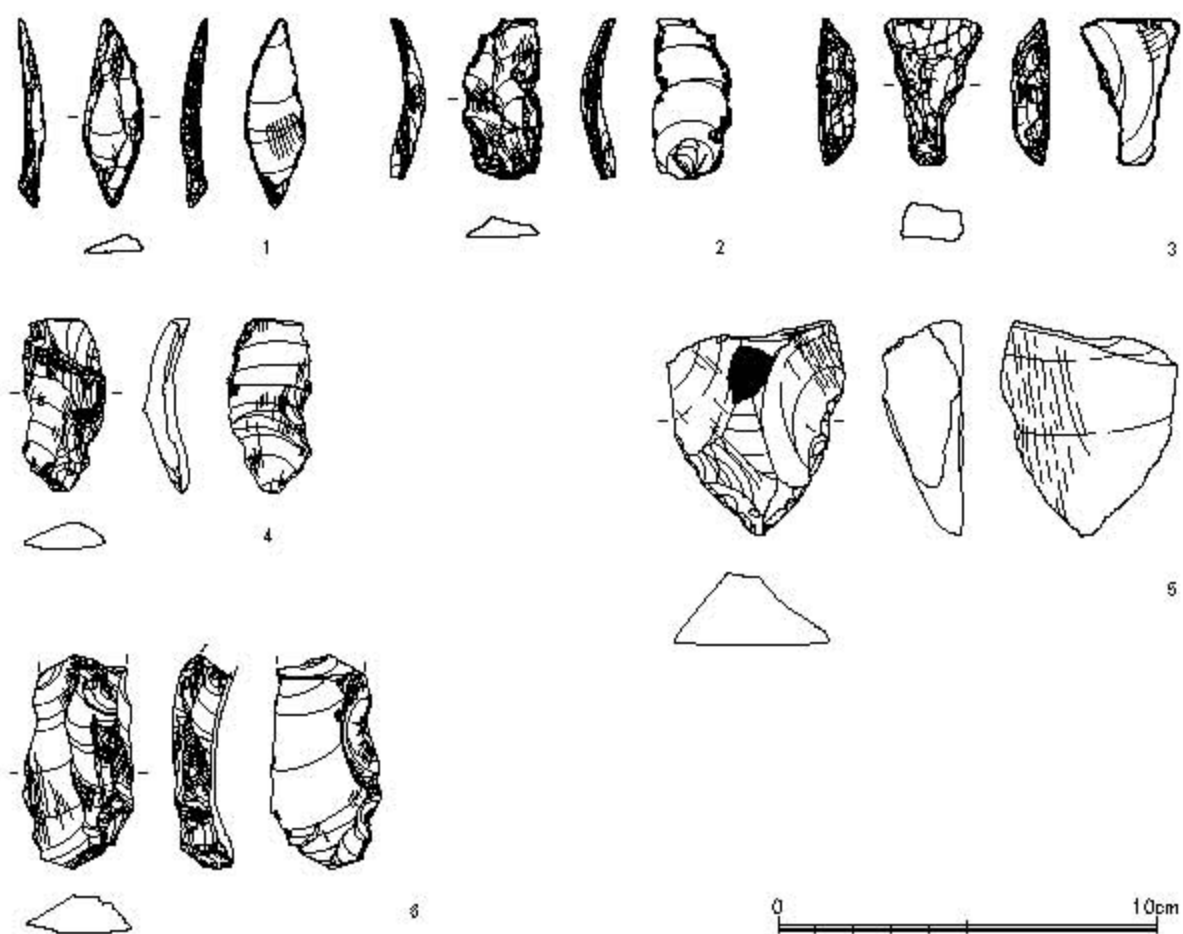


图 108 1区出土石器 9d層 (1/2)

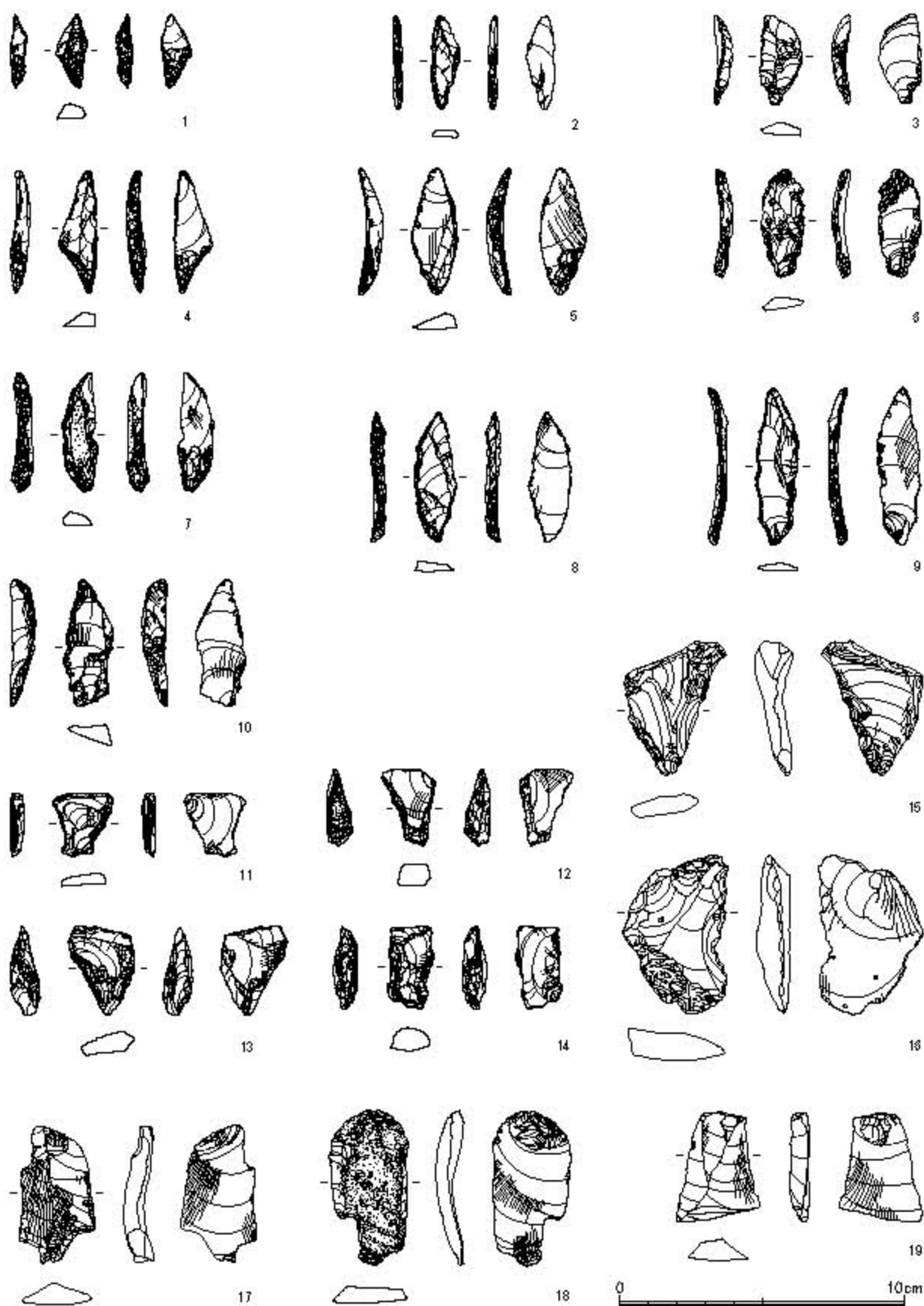


图109 1区出土石器 9e层1 (1/2)

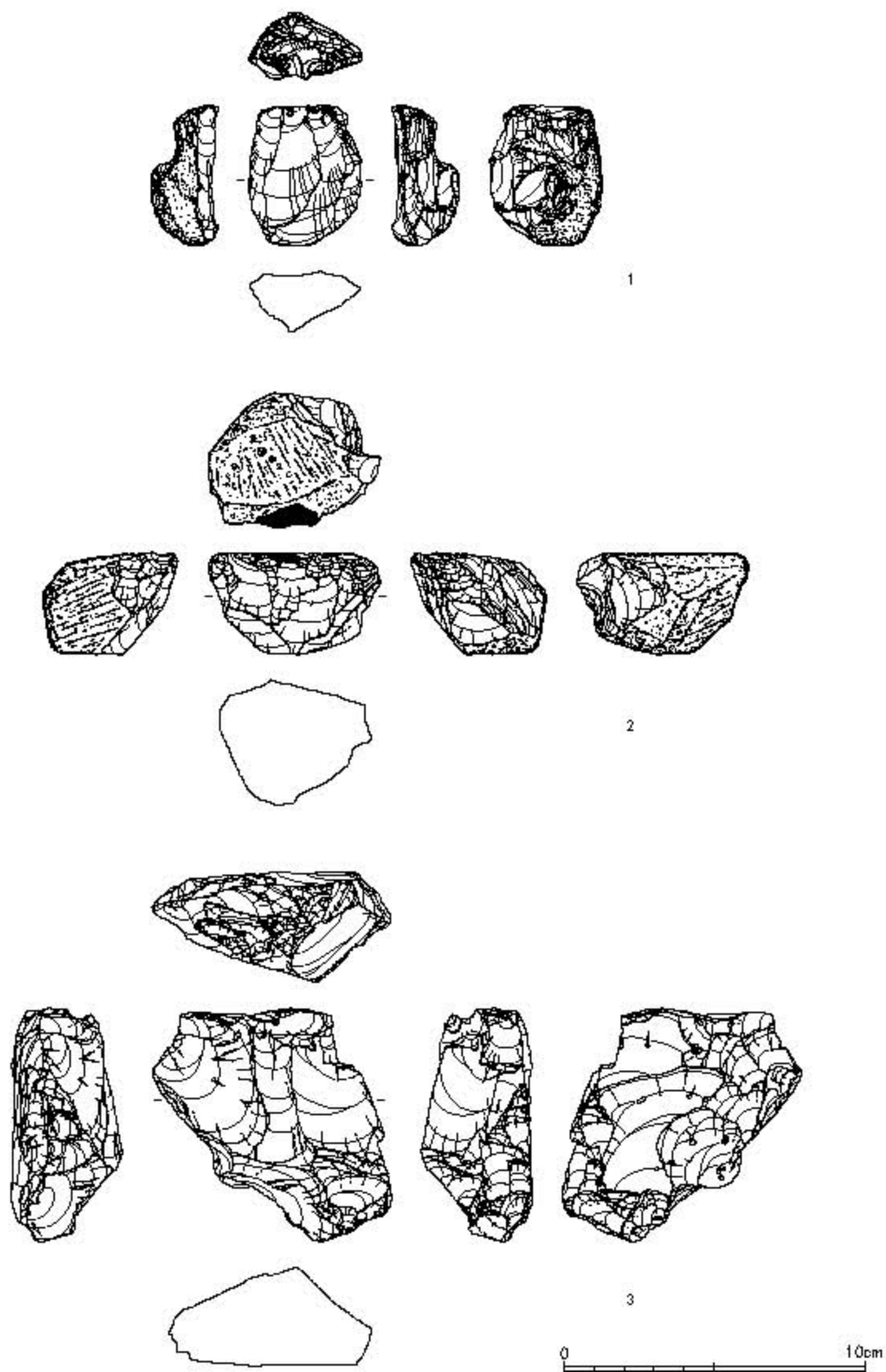


図110 1区出土石器 9e層2 (1/2)



图 111 1区出土石器 10c层 (1/2)



图 112 1区出土石器 10d層 (1/2)

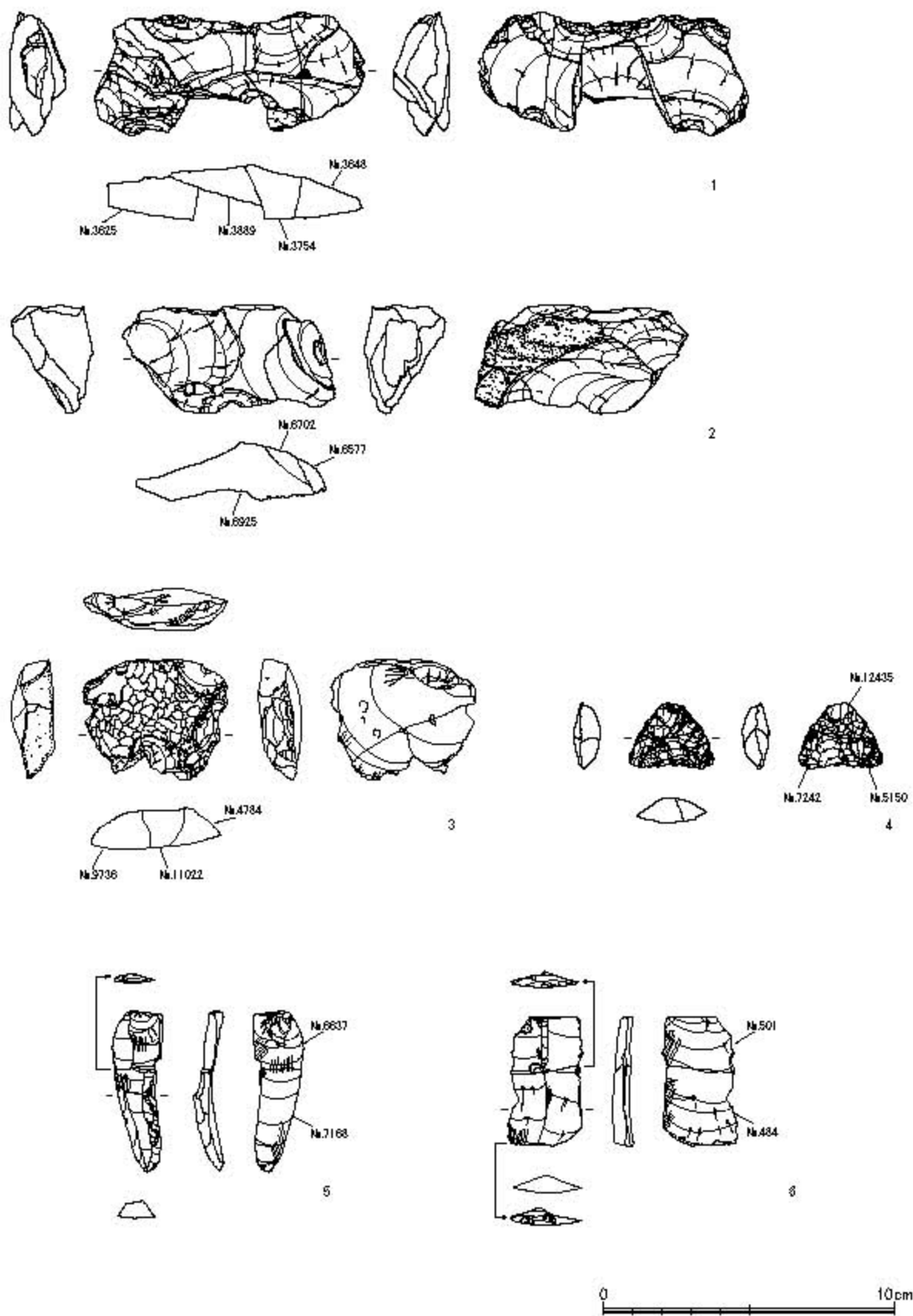


图 113 1区出土石器 接合資料 4層・5a層・5b層 (1/2)

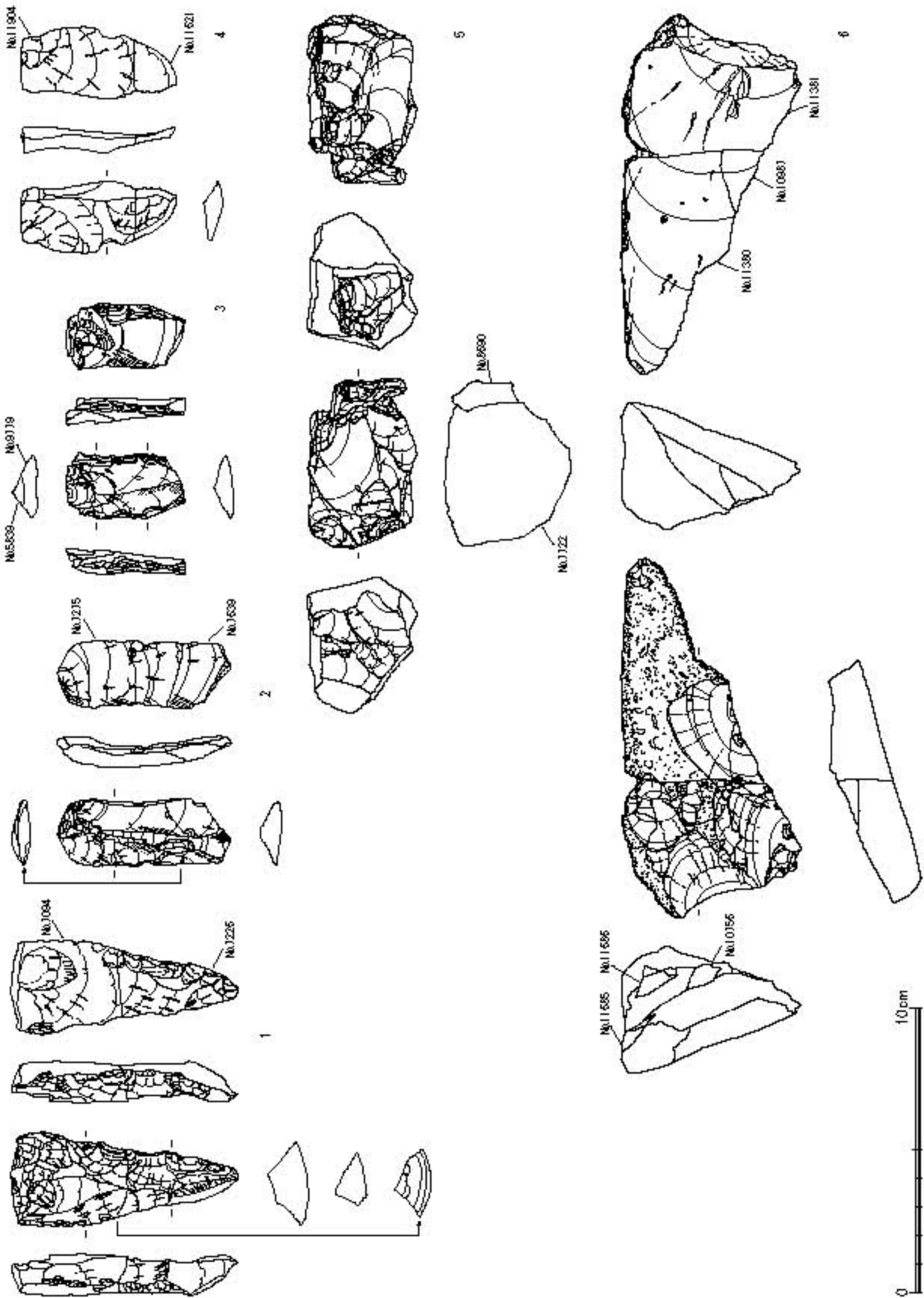


図 114 1 区出土石器 接合資料 6 属 (1/2)

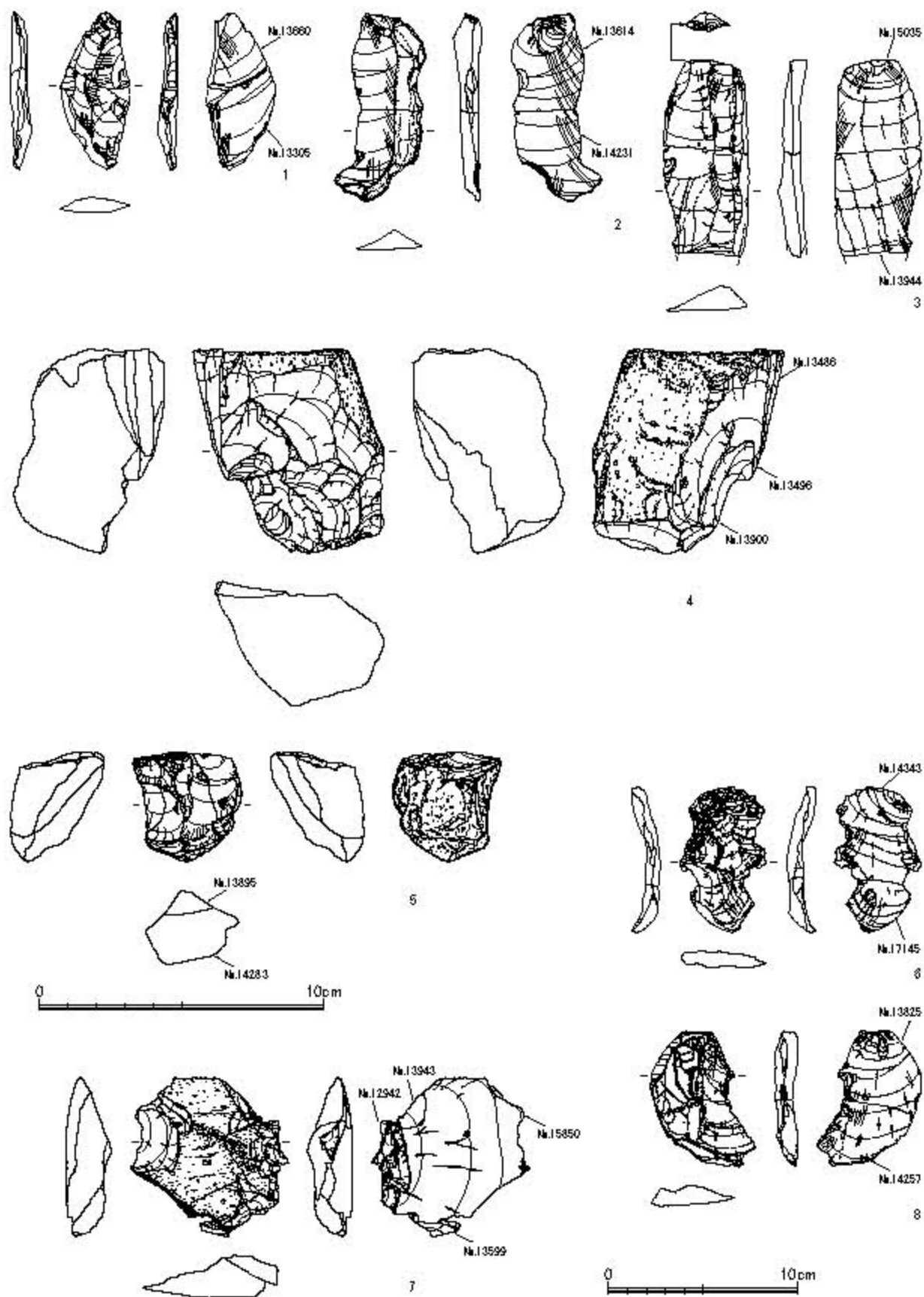


图115 1区出土石器 接合資料 98層 (1/2・1/3)

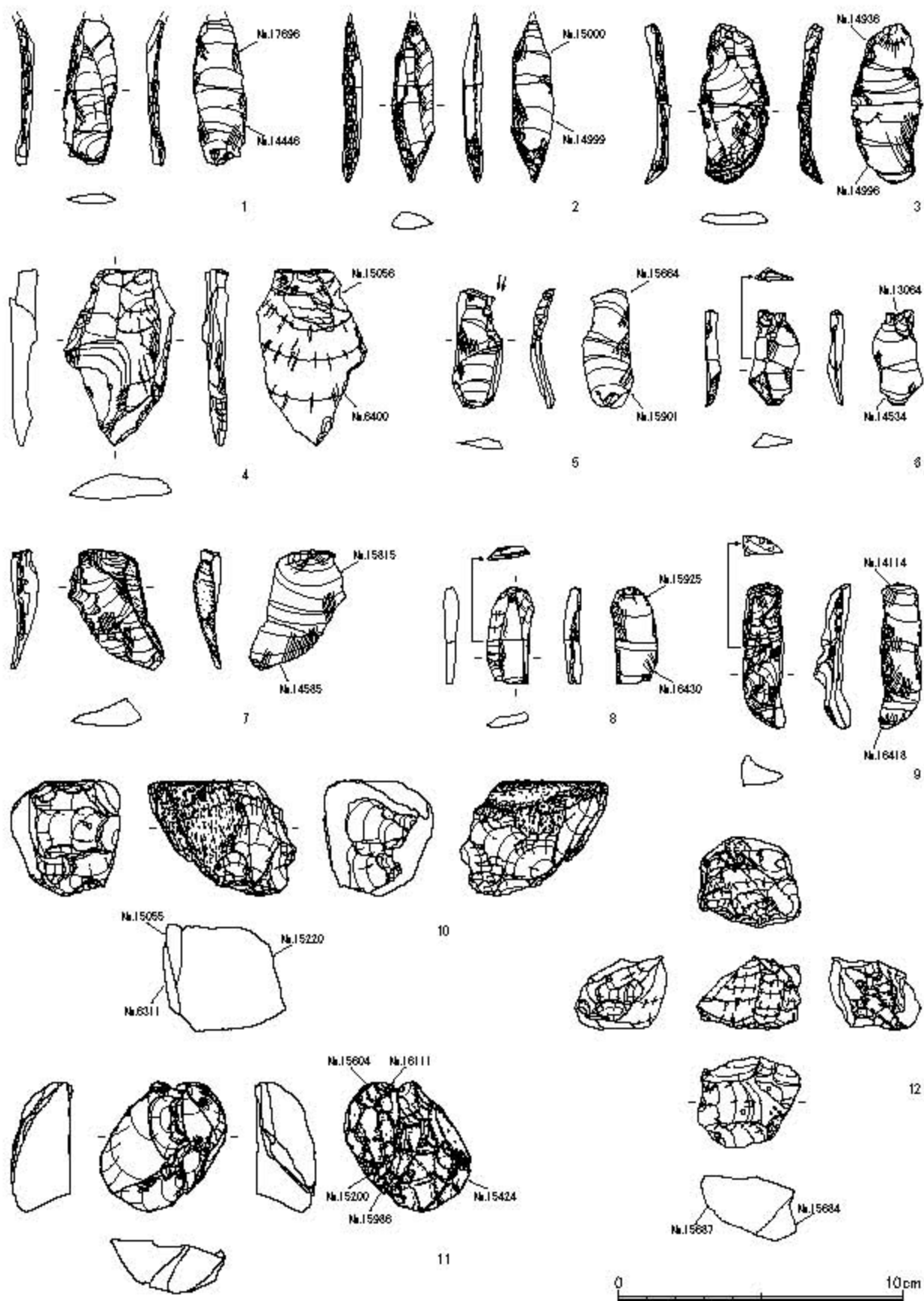


図116 1区出土石器 接合資料 9b層1 (1/2)

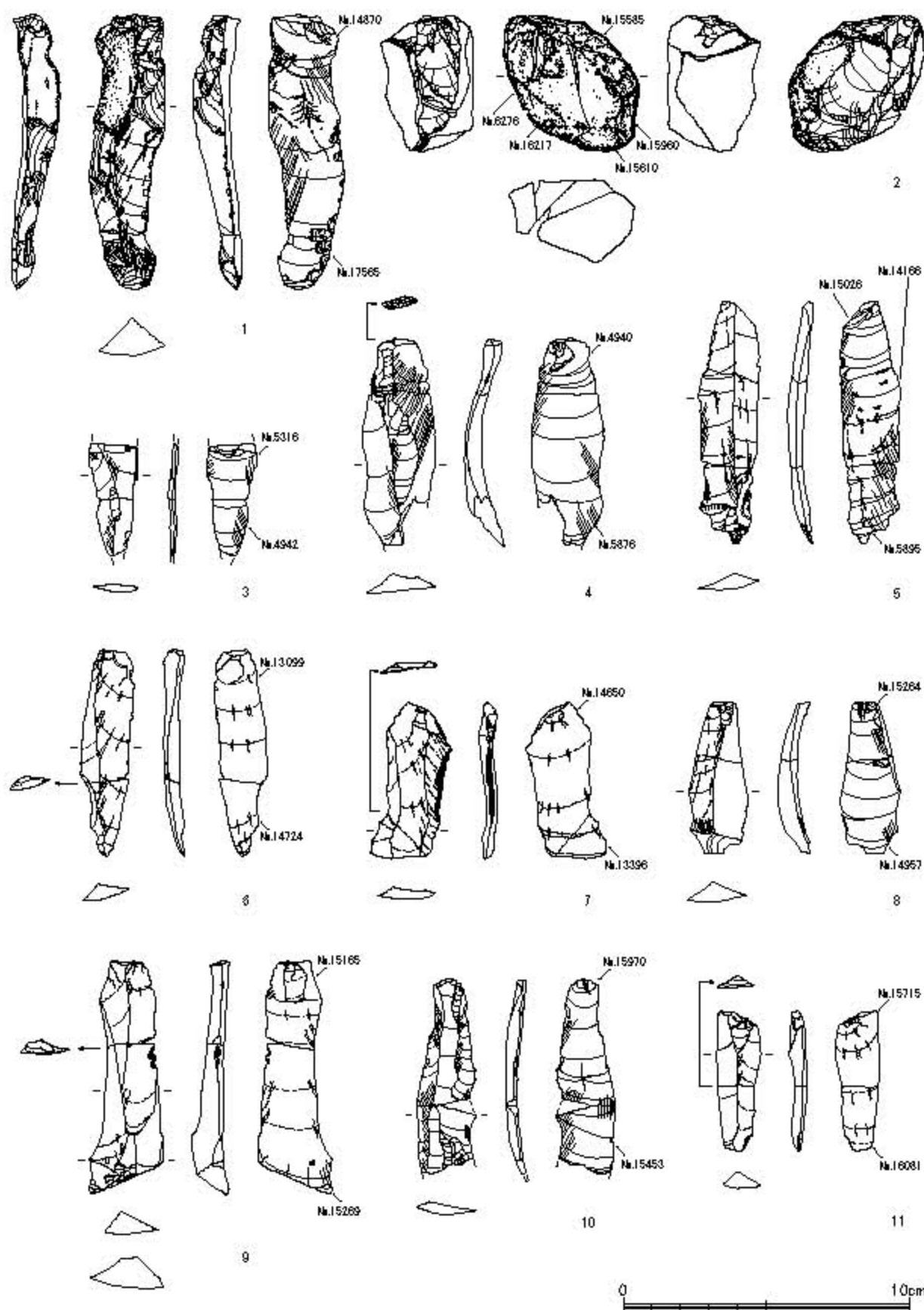


图117 1区出土石器 接合資料 9b層 2 (1/2)

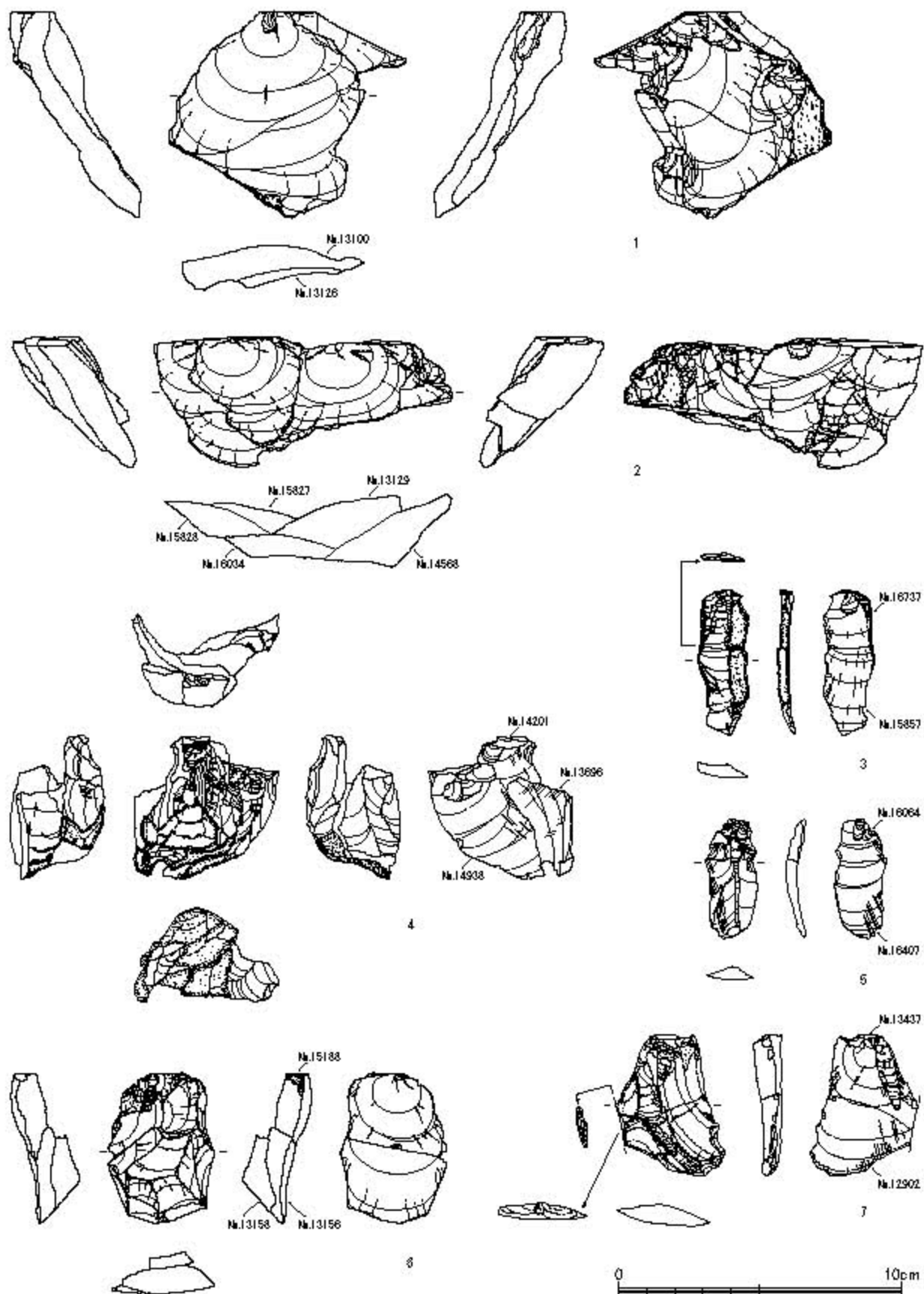


図118 1区出土石器 接合資料 9b層3 (1/2)



图 119 1区出土石器 接合資料 9b層 4・9c層・9d層・9e層 (1/2)

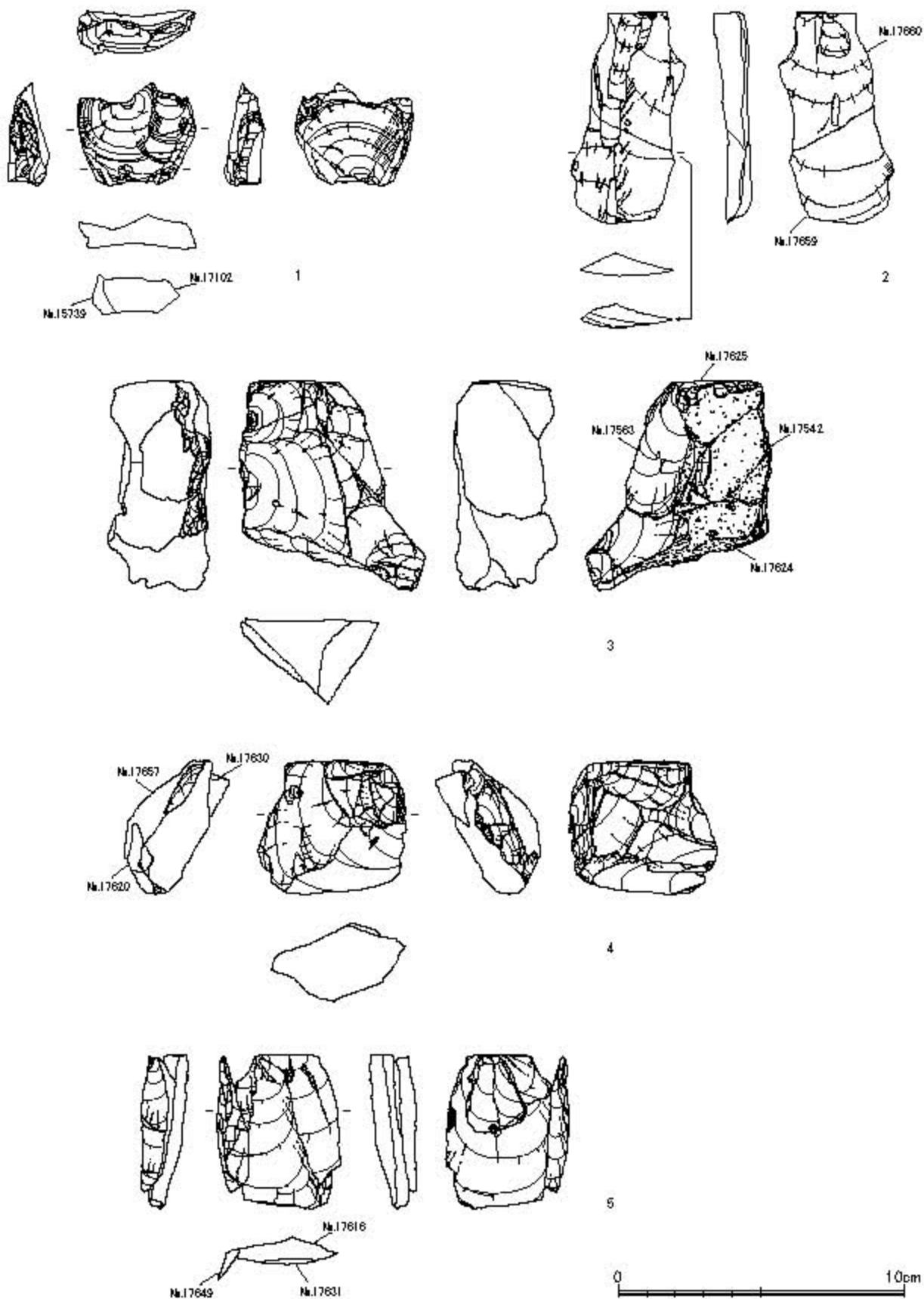


图 120 1区出土石器 接合資料 10b層・10c層 (1/2)

表 7 1 区 各ブロックの選物の内容

題 目	ブロック内の選物				採点状況 ※ 3			ブロック内の士器 士器の品目および実 用回を採録した編目 (編目番号) ※ 4
	選点数	冊数・巻数 ※ 1	総重量	選種	冊数	採考	備考	
1	223点	Cb ① (19点) Cb ② (4点) Cb ③ (1点) Cb ④ (1点) An (178点)	32524g	MB ① (点)、CB ① (点)、EF ① (点)、 CP ① (点)、FK ⑥ (点)、 CP ① (点)、AP ⑤ (点)	3 冊 (3点)	4 冊 32、 4 冊 33 (含む)	MB ① (点) 322、324、327、CB ① (点) 314、EF ① (点) 368、 AP ① (点) 328、329、368、EK ① (点) 365、375、376)	
2	119点	Cb ① (2点) Cb ② (1点) Cb ③ (1点) Cb ④ (6点) An (78点)	32198g	MB ⑥ (点)、KN ① (点)、スク ② (点)、 DR ① (点)、CR ② (点)、EK ⑤ (点)、 CP ④ (点)、AP ① (点)、PT ① (点)	2 冊 (5点)	4 冊 31 (含む)	KN ① (点) 302、MB ① (点) 347、352、355、スク ① (点) 343、349、378、 DR ① (点) 303、CR ① (点) 354、EK ① (点) 349、354、AP ① (点) 404、 PT ① (点) 356)	4点
3	226点	Cb ① (74点) Cb ② (2点) Cb ③ (4点) An (146点) その他選材 ① (点)	48716g	MB ⑥ (点)、スク ② (点)、CB ① (点)、 EF ② (点)、MF ④ (点)、CP ① (点)、 EK ⑥ (点)、CP ① (点)、 AP ④ (点)	3 冊 (5点)	4 冊 31 (含む)	MB ① (点) 354、411、スク ① (点) 1240、CB ① (点) 309、EF ① (点) 354、 MF ① (点) 387、418、1209、1222、CR ① (点) 1218、 EK ① (点) 366、371、398、391、AP ① (点) 354、366、383、407)	2点 邦楽文士器 QNo.1193D
4	73点	Cb ① (21点) Cb ② (2点) Cb ③ (1点) An (47点)	18768g	スク ② (点)、MF ① (点)、EK ④ (点)、 CP ② (点)、AP ① (点)、PT ② (点)	2 冊 (4点)	4 冊 31 (含む)	スク ① (点) 412、456、MF ① (点) 437、EK ① (点) 394、395、 AP ① (点) 403、404、451、450、741、PT ① (点) 415、437)	
5	207点	Cb ① (64点) Cb ② (14点) Cb ③ (9点) An (100点)	28317g	MB ⑤ (点)、スク ② (点)、EF ② (点)、 EK ② (点)、CP ① (点)、AP ⑥ (点)			スク ① (点) 460、462、EF ① (点) 451、457、458、 AP ① (点) 463、448、453)	
6	128点	Cb ① (25点) Cb ② (9点) Cb ③ (1点) An (92点) その他選材 ① (点)	24204g	MB ② (点)、KN ① (点)、EF ① (点)、 EK ⑤ (点)、CP ⑥ (点)、AP ④ (点)	1 冊 (2点)	4 冊 31 (含む)	MB ① (点) 271、KN ① (点) 268、EF ① (点) 599、AP ① (点) 192、194)	1点
7	161点	Cb ① (59点) Cb ② (4点) Cb ③ (6点) Cb ④ (2点) An (89点) その他選材 ① (点)	106681g	MB ③ (点)、MC ① (点)、KN ① (点)、 スク ① (点)、EF ① (点)、AP ④ (点)、 EK ⑤ (点)、CP ⑥ (点)、EF ① (点)	1 冊 (2点)		MB ① (点) 1068、1072、1072、1083、MC ① (点) 1111、 KN ① (点) 1064、スク ① (点) 1064、EF ① (点) 1122、EF ① (点) 4185、 AP ① (点) 2148、3079、1072、1139)	
8	91点	Cb ① (40点) Cb ② (1点) An (49点)	11069g	MB ② (点)、EK ② (点)、CP ⑥ (点)			MB ① (点) 1084)	1点

表7 1区 各ブロックの遺物の内容

■	ブロック内の遺物			採査状況 ※3			共同もしくは調査を継続した遺物 (備考欄等)	ブロック内の土器 土器の品名および発 見回数 (備考欄) ※4
	品名・産地 ※1	数量	説明	母考 ※2	遺物	備考		
1	Ob① (182点) Ob② (22点) Ob③ (1点) Ob④ (1点) Ob⑤ (1点) Ob⑥ (2点) An (274点)	88225g	MB (15点)、剣尖 (1点)、YN (4点)、 TP (2点)、スク (4点)、MF (4点)、MF (0点)、 CR (2点)、PD (0点)、PS (2点)、 PK (115点)、CP (0点)	Ob母考No.35～37、 An母考No.48～51、 57、58	6遺 (13点) 6遺 (13点)	5a 遺 32、 5a 遺 3外 含む	MB Ob.5472、5482、5535、5590、剣尖 Ob.7074、YN Ob.6533、6526、 5542、7006)、TP Ob.6520)、スク Ob.6496、7044、7307、7477)、 PF Ob.6523、6947、7034)、MF Ob.6879、6899、6932)、 CR Ob.6925、12753)、PD Ob.6637、6970、7168)、 PS Ob.6699、6908)、PK Ob.6495、6577、6702、6963、6987、12750)	-
	Ob① (98点) Ob② (15点) Ob③ (19点) Ob④ (0点) Ob⑤ (0点) An (629点) その他部材 (0点)	1577.07g	MB (4点)、3P (2点)、YN (2点)、TP (2点)、 PF (4点)、MF (6点)、CR (3点)、 PK (251点)、CP (74点)	Ob母考No.38～42、 An母考No.49、50、 52～57	6遺 (16点)	5a 遺 31、 5a 遺 3外、 6遺 32 (含む)	MB Ob.4976)、3P Ob.4713、8400)、YN Ob.4726、8030)、 TP Ob.7502、8270)、PF Ob.7677、8014、12824、12877)、 MF Ob.7910、7963、7966、7991、12546、12831)、CR Ob.7965)、 PK Ob.4901、5011、5515、5524、5765、8108、8130)	-
	Ob① (66点) Ob② (6点) Ob③ (7点) Ob④ (1点) An (132点) その他部材 (0点)	67.172g	MB (6点)、MC 削片 (1点)、TP (1点)、 PF (0点)、MF (6点)、CR (1点)、 PK (93点)、CP (134点)	An母考No.59	4遺 (9点)	6遺 32、 6遺 34 (含む)	MB Ob.9864、12379)、MC 削片 Ob.4755)、TP Ob.4377、 PF Ob.9630)、MF Ob.425、9849、9875、10250、12130)、 PK Ob.1423、4312、9736、10259、12134)	-
4	Ob① (40点) Ob② (9点) Ob③ (5点) Ob④ (5点) An (68点) その他部材 (0点)	12397g	MB (0点)、3P (1点)、YN (1点)、DR (0点)、 MF (4点)、PK (98点)、CP (65点)	-	-	-	3P Ob.9925)、YN Ob.9069)、DR Ob.9655)、 MF Ob.9083、9574、9657、9927)、PK Ob.9091)	-
	Ob① (48点) Ob② (1点) Ob③ (15点) Ob④ (1点) Ob⑤ (1点) An (82点) その他部材 (0点)	21822g	MB (1点)、3P (2点)、YN (2点)、CP (0点)、 PF (2点)、MF (2点)、CR (1点)、PK (99点)、 CP (77点)	Ob母考No.44、 An母考No.60	-	-	3P Ob.10481、10531)、YN Ob.10200、10626)、CP Ob.10201、 PF Ob.9448、9962)、MF Ob.9668、10177)、CR Ob.9951)、 PK Ob.9679、10616、11608)	-
6	Ob① (106点) Ob② (7点) Ob③ (95点) Ob④ (2点) An (114点) その他部材 (0点)	980.15g	MB (18点)、MC (0点)、3P (2点)、 スク (2点)、MF (1点)、CR (2点)、 PK (88点)、CP (151点)	Ob母考No.43、44、 An母考No.60、61	2遺 (4点)	-	MB Ob.1047、5162、10000、10001)、MC Ob.4774)、 3P Ob.1067、12885)、スク Ob.1090、9807)、MF Ob.10267)、 CR Ob.1054、12678)、PK Ob.6522、12510)	-
	Ob① (46点) Ob② (47点) Ob③ (24点) An (8点) その他部材 (0点)	16196g	MB (7点)、TP (0点)、スク (1点)、PF (0点)、 MF (1点)、PK (96点)、CP (78点)	Ob母考No.43、45、 An母考No.61	-	-	TP Ob.8868)、スク Ob.8738)、PF Ob.8960)	-
1	Ob① (25点) An (61点)	15304g	PF (0点)、MF (0点)、CR (1点)、PK (30点)、 CP (53点)	An母考No.62	-	-	PF Ob.8660)、MF Ob.11232)、CR Ob.11294)	-
	Ob① (2点) An (17点)	11949g	3P (1点)、PF (1点)、PK (11点)、CP (16点)	-	-	-	3P Ob.10684)、PK Ob.11733)	-
3	Ob① (11点) Ob② (6点) Ob③ (18点) An (12点)	8009g	MC 削片 (0点)、AP (2点)、PK (35点)、 CP (9点)	-	-	-	MC 削片 Ob.987)、PK Ob.1063、4336、12708)、AP Ob.1099)	-

表 7 1 区 各ブロックの遺物の内容

■	ブロック内の遺物				採査状況 ※ 3			表層回もしくは表層を保持した遺物 (欄外番号)	ブロック内の土器 土器の品目表および発 掘回を保持した遺物 (欄外番号) ※ 4
	表点数	石片・産地 ※ 1	採遺量	説明	母巻 ※ 2	遺数	備考		
1	152点	Ck① (53点) Ck② (1点) An (93点)	67119g	XN (2点), DR (1点), XF (2点), MF (7点), CR (2点), FK (57点), CP (81点)	Ck母巻No.45, An母巻No.63	3遺 (6点)	6 遺 P 外(含む)	XN 06.774L, 915L), DR 06.8706), XF 06.7219), MF 06.7085, 7119, 7218, 7765, 8522, 8695), CP 06.764E, 7722), FK 06.7114, 8690, 9150)	-
2	144点	Ck① (97点) Ck② (1点) Ck③ (2点) An (44点)	30849g	3P (1点), スク (1点), XF (1点), MF (5点), CR (1点), FK (54点), CP (71点)	Ck母巻No.42, 47	2遺 (4点)	5a 遺 P2 含む	3P 06.5805), スク 06.11699), XF 06.6375), MF 06.5856, 5857, 11303, 11412, 11413), CR 06.11694), FK 06.5769, 5793, 5867)	-
3	207点	Ck① (64点) Ck② (2点) Ck③ (5点) Ck④ (2点) An (133点) その他(石片 1点)	50979g	TP (2点), スク (1点), DR (1点), XF (2点), MF (4点), CR (2点), ED (1点), FS (1点), FK (75点), CP (118点)	Ck母巻No.47, 49, An母巻No.64	3遺 (6点)	5a 遺 P3 含む	TP 06.4808, 6388), スク 06.11220), DR 06.5300), XF 06.5345, 11176), MF 06.5335, 6364, 11092), CR 06.10356), ED 06.11185), FS 06.5289), FK 06.5287, 5332)	-
4	74点	Ck① (22点) Ck② (2点) Ck③ (10点) An (40点)	30552g	3P (2点), XF (2点), FK (24点), CR (2点), CP (44点)	Ck母巻No.47 ~ 49, An母巻No.64, 66	3遺 (7点)	5a 遺 P3, 6 遺 P5, 6 遺 P 外(含む)	3P 06.4783, 5309), XF 06.4784, 5301), CR 06.5304, 5308), FK 06.5302, 11022)	-
5	212点	Ck① (59点) Ck② (1点) Ck③ (13点) An (139点)	58537g	MB (1点), XN (4点), スク (1点), XF (6点), MF (5点), CR (1点), ED (1点), FK (82点), CP (111点)	Ck母巻No.47, 49, An母巻No.64 ~ 68	7遺 (14点)	6 遺 P4, 6 遺 P 外(含む)	XN 06.8907, 8921, 9321, 11802), スク 06.9307), XF 06.9391, 9476, 11535, 11655, 11656, 11673), MF 06.9030, 9316, 9385, 9387, 11862, 11863), CR 06.11697), ED 06.11864), FK 06.9305, 9393, 11540, 11621, 11799, 11849, 11861, 11865, 11904)	-
6	101点	Ck① (24点) Ck② (13点) Ck③ (1点) Ck④ (1点) An (62点)	21171g	3P (1点), XN (1点), TP (2点), XF (1点), MF (1点), FK (47点), CP (48点)	Ck母巻No.46, An母巻No.64, 65, 68 ~ 70	4遺 (9点)	6 遺 P 外(含む)	3P 06.9300), XN 06.11719), TP 06.11473, 11842), XF 06.8851), MF 06.8801), FK 06.8796, 8805, 8894, 8896, 9155, 9185, 9304)	-
7	89点	Ck① (5点) Ck② (1点) An (83点)	31603g	FK (20点), CP (9点)	An母巻No.69 ~ 71	1遺 (6点)	6 遺 P 外(含む)	FK 06.10756, 10766, 11360, 11381, 11685, 11686)	-
8	70点	Ck① (23点) Ck② (1点) Ck③ (15点) Ck④ (2点) An (28点)	15779g	MB (3点), XN (1点), スク (2点), AP (1点), FK (25点), CP (97点)	An母巻No.70, 72	-	-	MB 06.9120, 9121), XN 06.9016), スク 06.9134, 9250), AP 06.9006)	-
9	72点	Ck① (25点) Ck② (9点) Ck③ (3点) Ck④ (1点) An (4点)	9381g	MB (1点), 3P (2点), CR (1点), XF (1点), FK (21点), CP (46点)	-	-	-	3P 06.9255, 9256), CR 06.9528)	-

表7 1区 各ブロックの遺物の内容

区	ブロック内の遺物				母巻 ※2	採査状況 ※3		共同回もしくは調査を待たした遺物 (欄外番号)	ブロック内の遺物 土部のみならず 掘削を待たした遺物 (欄外番号) ※4
	表土数	石・瓦・土	表土層	遺物		遺物	備考		
9a 區	1	21点 Ob①(6点) Ob②(1点) An①(4点)	1989g	XN(2点), CP(1点), YF(1点), EK(4点), CP(13点)	-	-	-	XN 06.12920, 13572, CP 06.13574, YF 06.13573	-
	2	22点 Ob①(1点) Ob②(1点) An②(0点)	4378g	EK(10点), CP(12点)	An母巻No.3	-	-	-	-
	3	127点 Ob①(1点) Ob②(6点) An②(6点)	4899g	XN(2点), YF(2点), MF(6点), ED(2点), EK(60点), CP(65点)	Ob母巻No.1, An母巻No.1, 4, 9	8遺(19点)	-	XN 06.13482, 14131, YF 06.13591, 13513, MF 06.12955, 12957, 13589, 13603, ED 06.13486, 13514, 14231, EK 06.12942, 12943, 12946, 13478, 13494, 13495, 13599, 14123, 14229	-
	4	414点 Ob①(26点) Ob②(1点) Ob③(3点) Ob④(2点) An①(71点) その他(研片 0点)	1482.99g	XN(7点), TP(1点), スク(2点), YF(11点), MF(2点), CR(7点), ED(2点), EK(193点), CP(182点)	Ob母巻No.1, 2, 5, 6, An母巻No.1, 2, 5, 7, 8	8遺(26点)	-	XN 06.12976, 13305, 13560, 13840, 14249, 14286, 17150, TP 06.14272, スク 06.6190, 13850, YF 06.526, 5938, 6296, 13015, 13733, 13792, 13891, 14252, 14279, 17136, 17160, MF 06.12964, 13014, 13732, 13750, 13805, 13845, 14255, 14930, 17132, CR 06.5973, 13808, 13839, 13900, 14235, 14233, 17119, ED 06.5925, 13738, EK 06.5914, 11897, 13009, 13662, 13794, 13801, 13802, 13825, 13848, 13896, 14257, 14281, 14282, 14284, 14342, 17145, CP 06.5902	-
	5	74点 Ob①(7点) An②(7点)	17073g	XN(2点), YF(1点), MF(1点), CR(0点), EK(30点), CP(29点)	Ob母巻No.1, 3, An母巻No.6, 7, 9	8遺(16点)	-	XN 06.14358, 14459, YF 06.13471, CR 06.14349, EK 06.13237, 13239, 13240, 13251, 14450, 16819, 16822	-
9b 區	1	146点 Ob①(1点) Ob②(3点) An①(27点) その他(研片 6点)	27059g	XN(3点), YF(3点), CR(0点), EK(23点), CP(17点)	Ob母巻No.4, An母巻No.6, 9	7遺(14点)	-	XN 06.14292, 14574, 14575, YF 06.13251, 14458, CR 06.14353, EK 06.13222, 13225, 14295, 14352, 14367, 14572, 14675	-
	2	171点 Ob①(1点) Ob②(8点) An①(21点) その他(研片 0点)	1060.19g	XN(3点), EK(71点), CP(72点)	An母巻No.10, 13~15	12遺(29点)	-	XN 06.13150, 13152, 13411, EK 06.13037, 13121, 13125, 13126, 13127, 13129, 13147, 13153, 13156, 13158, 13417, 14213, 14699, 14875, 14911, 15105, 15109, 15188, 15227, 17099	-
	3	232点 Ob①(78点) Ob②(1点) Ob③(2点) Ob④(1点) An①(60点)	62065g	XN(2点), MF(1点), ED(4点), EK(61点), CP(103点)	An母巻No.13, 15, 17, 18, 20	10遺(22点)	-	XN 06.12919, 14903, MF 06.14870, ED 06.13099, 13396, 14650, 14724, EK 06.13095, 13097, 13098, 13100, 14544, 14621, 14630, 14636, 14740, 14858, 15837	-
	4	48点 Ob①(7点) Ob②(7点) An②(8点)	1552g	YF(0点), EK(2点), CP(4点)	-	-	-	XN 06.14496, 16031, スク 06.15820, YF 06.13443, 14389, 14397, 14585, 14600, MF 06.15815, EK 06.12902, 13437, 14391, 14392, 14393, 14398, 14568, 14598, 14617, 14619, 14804, 15815, 15816, 15827, 15828, 16027, 16029, 16034, 16036, 16037	-
	5	105点 Ob①(1点) Ob②(1点) An②(6点)	48112g	XN(2点), スク(1点), YF(2点), MF(2点), EK(29点), CP(69点)	-	2遺(6点)	-	XN 06.14493, 14494, スク 06.13777, YF 06.15850, MF 06.14465, 14473, EK 06.14419, 14468, 14474, 14481, 14743	-

表 7 1 区 各ブロックの選物の内容

区	ブロック内の選物			母考 ※ 2	採合状況 ※ 3		共同もしくは専断を保持した選物 (候補番号)	ブロック内の選物 士族の点別および未 開回を保持した選物 (候補番号) ※ 4
	選物数	選物・産地 ※ 1	総重量		選物	備考		
6	96点	Ob① (48点) Ob② (3点) An (44点)	367.92g	XN (3点), TP (1点), PF (2点), MF (1点), CX (1点), ED (4点), FX (25点), CP (7点)	-	4選 (8点)	XN Ob.15165, 15167, 15302, TP Ob.15286, PF Ob.15288, 15296, 15866, MF Ob.15289, CX Ob.14962, ED Ob.14957, 15166, 15264, 15275, FX Ob.15175, 15262, 16309, ED Ob.6895, 6007, FX Ob.5887, 5895, 5911, 5949	-
	66点	Ob① (50点) An (16点)	138.64g	MF (2点), ED (2点), FX (25点), CP (37点)	-	2選 (5点)		
8	704点	Ob① (483点) Ob② (2点) Ob③ (21点) Ob④ (1点) An (216点) その他選材 (5点)	2663.21g	XN (8点), TP (4点), スク (5点), OB (1点), PF (2点), MF (18点), CX (5点), ED (8点), FX (15点), CP (27点)	Ob母考No.10, 14~18, An母考No.19~24	28選 (54点)	XN Ob.6347, 13379, 14170, 14990, 15093, 15496, 15969, 16113, TP Ob.15024, 16214, 17245, 17290, スク Ob.5985, 6400, 14996, 15066, 15449, CP Ob.16280, PF Ob.6260, 6300, 13968, 13975, 14161, 15487, 15472, 15680, 15987, 16014, 16099, 16249, MF Ob.5979, 6178, 14178, 15984, 16066, 16069, 16095, 16096, 16119, 16120, 16123, 16183, 16192, 16199, 16212, 16222, 16236, CX Ob.15220, 15454, 15960, 15964, 16003, 16202, ED Ob.14166, 15026, 15036, 15453, 15652, 15970, 16060, 16064, FX Ob.6159, 6276, 6281, 6311, 6348, 14179, 14987, 15020, 15023, 15055, 15068, 15200, 15351, 15384, 15396, 15428, 15429, 15466, 15853, 15877, 15885, 15897, 15604, 15605, 16610, 15967, 15975, 15986, 15995, 15998, 16001, 16006, 16070, 16071, 16094, 16098, 16108, 16109, 16111, 16171, 16180, 16190, 16193, 16195, 16200, 16203, 16215, 16216, 16217, 16227, 16240, 16294, 17204, 17215, 17247)	
	246点	Ob① (189点) Ob② (3点) Ob③ (6点) An (76点) その他選材 (1点)	925.71g	XN (7点), スク (7点), OB (1点), PF (4点), MF (8点), CX (1点), ED (2点), FX (11点), CP (101点)	Ob母考No.8	15選 (31点)	XN Ob.14148, 14155, 14999, 15000, 15230, 15620, 16276, スク Ob.14115, 14930, 14935, 15010, 15960, CP Ob.15194, PF Ob.14114, 15925, 15929, MF Ob.14188, 15485, 15804, 16624, 16143, 16148, 16290, CX Ob.15531, ED Ob.15089, 16060, FX Ob.14101, 15087, 15197, 15236, 15378, 15486, 15500, 15601, 15530, 16043, 16086, 16087, 16091, 16144, 16146, 16166)	
10	30点	Ob① (28点) An (2点)	63.98g	XN (3点), FX (6点), CP (21点)	Ob母考No.12	1選 (3点)	XN Ob.13993, 16097, 16539, FX Ob.13696, 14201, 14938)	
	27点	Ob① (3点) An (24点)	76.50g	XN (1点), PF (2点), ED (1点), FX (11点), CP (12点)	An母考No.12	1選 (2点)	XN Ob.13453, PF Ob.13452, 13550, ED Ob.13398, FX Ob.13531, 13548)	
12	96点	Ob① (51点) Ob② (6点) An (39点)	298.45g	XN (2点), TP (1点), PF (2点), MF (2点), CX (1点), FX (43点), CP (49点)	Ob母考No.7, 11, 13, An母考No.11	5選 (10点)	XN Ob.15666, 15759, FX Ob.15625, 16301, MF Ob.15691, 15703, CX Ob.15687, FX Ob.15614, 15684, 15754)	
	23点	Ob① (19点) An (4点)	36.30g	XN (1点), OB (2点), PF (1点), CX (1点), FX (8点), CP (10点)	Ob母考No.13	1選 (2点)	XN Ob.15666, CP Ob.15664, 15901, FX Ob.15764, CX Ob.15900)	
9c	16点	Ob① (12点) An (4点)	1401g	FX (3点), CP (13点)	-	1選 (2点)		
	136点	Ob① (83点) Ob② (1点) An (51点) その他選材 (1点)	4451g	XN (3点), TP (2点), スク (2点), OB (1点), PF (6点), MF (4点), CX (1点), FX (82点), CP (55点)	Ob母考No.21~24, An母考No.26	3選 (6点)	XN Ob.13382, 16353, 16660, TP Ob.13342, 17257, スク Ob.16338, 17269, FX Ob.16328, 16342, 16482, 16606, 16642, 17270, MF Ob.6174, 16320, 16337, 16492, CX Ob.16651, FX Ob.16313, 16324, 16330, 16381, 16646, 17253)	
9d	40点	Ob① (17点) Ob② (2点) An (21点)	367.83g	XN (1点), PF (3点), FX (16点), CP (20点)	Ob母考No.22, 24, An母考No.25	3選 (6点)	XN Ob.16425, FX Ob.16399, 16400, 16430, FX Ob.16390, 16392)	

表7 1区 各ブロックの遺物の内容

区	ブロック内の遺物				採査状況 ※3			ブロック内の土器 土器の品目名および発 掘回を記載した欄(欄外番号) ※4
	採査数	石・瓦・土	遺物	母体 ※2	遺物 数	備考	共同もしくは調査を継続した遺物 (欄外番号)	
9a区	1	28点 Ob①(14点) Ob②(9点) An①(5点)	19094g YN(1点), スク②点, MF(1点), CP②点, EK③点, CP④点	An母体No.30	2遺(4点)	-	YN 06.17452, スク 06.17025, 17453, MF 06.17020, EK 06.17059, 17451, EK 06.17017	
	2	25点 Ob①(25点)	4272g YF②点, MF(1点), EK③点, CP④点	-	-	-	YF 06.16997, 17005, MF 06.16995	
	3	76点 Ob①(4点) Ob②(4点) Ob③(1点) An①(25点) An②(5点)	33109g YN③点, TP④点, YF⑦点, MF⑧点, ED①点, EK②点, CP③点, CP④点	An母体No.31	7遺(14点)	9b欄外 含む	YN 06.16610, 16960, 16962, TP 06.16725, YF 06.16529, 16615, 16741, 16908, 16910, 16912, 17429, MF 06.16612, 16613, 16616, 16657, 16870, 16894, 16903, 16909, 16964, ED 06.16737, EK 06.16671, 16735, 16818, 16850, 16902, 16959	
9c区	4	505点 Ob①(29点) Ob②(9点) Ob③(9点) An①(57点)	159256g MF②点, YN③点, TP⑤点, スク②点, YF③点, EK④点, MF⑤点, CR④点, EK⑤点, CP⑥点	Ob母体No.15, 19, 20, 25, 26, An母体No.27~29	9遺(18点)	9b欄B 含む	YN 06.16565, 16752, 17309, TP 6.182, 16559, 16848, 16922, 16928, 17420, スク 06.16925, 17733 YF 06.6340, 13345, 16704, 16798, 16799, 16817, 16858, 16899, 16919, 16933, 16948, 17287, 17323, 17372, 17429, 17437, MF 06.5956, 13333, 16602, 16914, 17344, 17357, 17420, 17427, 17431, CR 06.16761, 17281, 17368, 17375, EK 06.6341, 6405, 13352, 14031, 16592, 16718, 16750, 16785, 17315, 17335, 17363, 17466	
	5	126点 Ob①(62点) Ob②(7点) Ob③(9点) Ob④(9点) Ob⑤(1点) An①(0点) An②(0点)	60316g YN②点, TP④点, スク①点, YF④点, MF⑦点, CR③点, ED③点, EK④点, CP⑤点	Ob母体No.17, 20, 24, An母体No.32	10遺(21点)	9a欄B外, 9b欄B, 9b欄B3, 9d欄B2 含む	YN 06.16540, 16545, TP 06.16592, スク 06.16418, 16709, 16795, 17063, MF 06.16410, 16411, 16587, 16591, 16597, 16790, CR 06.16408, 16543, 16593, ED 06.16407, 17062, 17067, EK 06.16416, 16456, 16593, 16578	
10c区	1	42点 Ob①(22点) Ob②(7点) Ob③(2点) Ob④(1点) An①(0点)	19512g TP①点, YF①点, MF③点, CR①点, EK④点, CP②点	An母体No.15	3遺(5点)	9b欄B3 含む	TP 06.17611, YF 06.17493, MF 06.17502, 17635, CR 06.17493, EK (17495)	
	2	88点 Ob①(7点) Ob②(1点) An①(9点) An②(8点) その他石・瓦①点	60403g スク①点, CR③点, ED②点, EK④点, CP④点	An母体No.33	7遺(18点)	9b欄B2 含む	スク 06.17670, CR 06.17524, 17625, 17657, ED 06.17659, 17660, EK 06.17538, 17542, 17550, 17558, 17563, 17565, 17569, 17616, 17620, 17630, 17631, 17649	
10d区	1	62点 Ob①(3点) Ob②(1点) An①(28点)	21538g TP②点, MF③点, CR③点, EK⑤点, CP②点	Ob母体No.27, 28	-	-	TP 06.13355, 17519, MF 06.13355, 17094, 17482, CR 06.17048, 17486, 17529	
	2	34点 Ob①(3点) Ob②(3点) An①(6点)	10839g TP②点, スク①点, YF①点, MF②点, EK③点, CP④点	Ob母体No.27, 28	-	-	TP 06.17038, 17080, スク 06.17098, YF 06.17047, MF 06.17058, 17081	

※1 Ob①: 縄土瓦, Ob②: 横割川瓦, Ob③: 割瓦, Ob④: 小四角瓦, Ob⑤: ガラス破瓦止, Ob⑥: ①-⑥以外, An: 瓦山

※2 母体についてはブロック外, 他ブロック, 他区にまたいで発掘されたものも含む

※3 採査はブロック前区外ではなく, 他ブロック, ブロック外での採査も含む

※4 採査数, 採査箇所は土器の点数, 重量は採査されてない

表8 1医 各ブロックの器械組成

種	種	MB	MC	補装	3P	KN	TP	スク	CB	DX	RF	MF	CR	PD	結合等	KS	PK	CP	AP	PT	総点	
4	1	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	19	18	-	-	46点	
		156	-	-	-	-	-	2.2	-	-	-	-	-	-	-	-	42.2	40.0	-	-	292.2点	
		120	-	-	-	-	-	2.38	-	-	-	-	-	-	-	-	22.88	2.76	-	-	29.22点	
		41	-	-	-	-	-	8.1	-	-	-	-	-	-	-	-	78.3	9.5	-	-	178点	
		-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	47	12.4	5	-	-	178点
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6	-	-	0.6	-	-	26.4	69.5	2.8	-	-	296.02点
		-	-	-	-	-	-	-	-	12.50	-	-	-	7.389	-	-	181.79	21.55	6.29	-	-	296.02点
		-	-	-	-	-	-	-	-	42	-	-	-	25.0	-	-	61.4	7.3	2.1	-	-	229点
		7	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	66	14.2	5	-	-	229点
		32	-	-	-	-	-	-	0.4	-	0.4	-	-	0.4	-	-	29.6	63.7	2.3	-	-	296.02点
120	-	-	-	-	-	-	2.38	-	12.50	-	-	7.389	-	-	204.57	24.31	6.29	-	-	325.24点		
0.4	-	-	-	-	-	-	0.7	-	3.8	-	-	22.7	-	-	62.9	7.5	2.0	-	-	325.24点		
6	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	19	14	-	-	-	41点		
146	-	-	-	-	2.4	-	-	-	-	-	-	2.4	-	-	46.4	34.2	-	-	-	41点		
0.87	-	-	-	-	4.48	-	-	-	-	-	-	10.92	-	-	22.87	1.48	-	-	-	40.62点		
2.1	-	-	-	-	11.0	-	-	-	1	-	-	26.9	-	-	56.3	3.7	-	-	-	40.62点		
-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	-	38	3.3	1	-	-	178点		
-	-	-	-	-	-	38	-	3.8	1.3	-	-	1.3	-	-	48.7	42.3	1.3	1.3	-	281.36点		
84.95	-	-	-	-	-	-	-	5.47	-	-	-	60.18	-	-	117.98	10.11	0.82	2.45	-	281.36点		
-	-	-	-	-	-	30.0	-	30.0	1.9	-	-	21.4	-	-	41.9	3.6	0.3	0.9	-	281.36点		
6	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	2	-	57	47	1	1	-	119点		
5.1	-	-	-	-	0.9	-	-	2.5	0.8	-	-	1.7	-	-	47.9	39.5	0.8	0.8	-	119点		
0.87	-	-	-	-	4.48	-	-	5.47	-	-	-	71.1	-	-	140.85	11.59	0.82	2.45	-	321.98点		
0.3	-	-	-	-	1.4	-	-	26.2	1.7	-	-	22.1	-	-	49.7	3.6	0.2	0.8	-	321.98点		
6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-	-	-	31	39	-	-	-	80点		
7.5	-	-	-	-	-	-	-	1.3	0.8	-	-	-	-	-	36.7	48.7	-	-	-	80点		
0.79	-	-	-	-	-	-	-	30.4	-	-	-	44.4	-	-	87.97	8.64	-	-	-	113.68点		
0.7	-	-	-	-	-	-	-	8.0	-	2.4	3.9	-	-	-	77.4	7.6	-	-	-	113.68点		
-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	1	2	1	-	52	81	4	-	-	143点		
14	-	-	-	-	-	-	-	0.7	-	0.7	1.4	0.7	-	-	36.4	56.6	2.8	-	-	143点		
-	-	-	-	-	-	-	-	57.95	-	7.57	13.99	36.36	-	-	224.98	22.13	4.38	-	-	367.36点		
-	-	-	-	-	-	15.8	-	15.8	-	2.1	3.8	9.9	-	-	61.2	6.0	1.2	-	-	367.36点		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	3点		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	6.22点		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.22	-	-	-	-	6.22点		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	6.22点		
6	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	2	4	1	-	86	120	4	-	-	226点		
2.7	-	-	-	-	-	-	-	0.9	0.4	0.9	1.8	0.4	-	-	38.1	53.0	1.8	-	-	226点		
0.79	-	-	-	-	-	-	-	57.95	30.4	10.27	18.43	36.36	-	-	319.17	30.77	4.38	-	-	487.15点		
0.2	-	-	-	-	-	-	-	11.9	1.8	2.1	3.8	7.5	-	-	66.5	6.3	0.9	-	-	487.15点		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	8	5	-	-	26点		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	30.8	19.2	-	-	26点		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.84	170	2.51	-	-	26.06点		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86.0	4.8	7.2	-	-	26.06点		
-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	27	13	2	2	-	47点		
-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-	2.1	-	-	-	57.4	27.6	4.3	4.3	-	47点		
-	-	-	-	-	-	-	-	16.50	-	-	4.34	-	-	-	102.48	2.48	0.60	26.23	-	152.63点		
-	-	-	-	-	-	-	-	10.8	-	-	2.9	-	-	-	67.1	1.6	0.4	17.2	-	152.63点		
-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	40	21	7	2	-	73点		
-	-	-	-	-	-	-	-	2.7	-	-	1.4	-	-	-	54.8	28.8	9.6	2.7	-	73点		
-	-	-	-	-	-	-	-	16.50	-	-	4.34	-	-	-	132.32	4.18	3.11	26.23	-	187.68点		
-	-	-	-	-	-	-	-	8.8	-	-	2.3	-	-	-	71.0	2.2	1.7	1.40	-	187.68点		

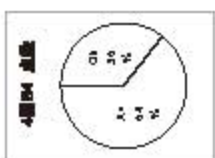
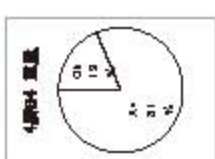
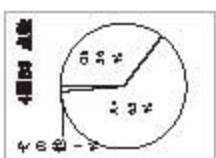
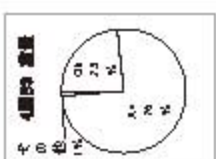
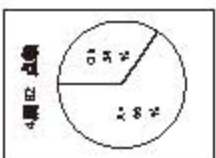
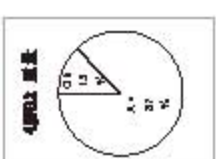
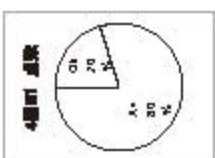
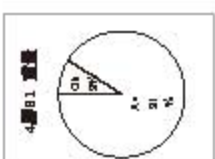


表8 1区 各ブロックの器種組成

層	B	MB	MC	形状	3P	KN	TP	スリ	OB	DR	RF	MF	CR	PD	餅石等	KS	PK	CP	AP	PT	点	
4	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	43	54	2	-	107	
		Ob	4.7	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	40.2	50.4	1.9	-	86.05
			0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	17.94	-	-	-	-	-	57.92	9.13	0.31	-	86.05
			0.9	-	-	-	-	-	-	-	-	20.8	-	-	-	-	-	67.3	10.6	0.4	-	100
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39	56	3	-	100
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	56.0	3.0	-	100
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	145.64	10.91	5.60	-	197.12
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.4	5.5	2.9	-	100
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	82	11.0	5	-	207
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	39.6	53.1	2.4	-	100
	合計	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	17.94	-	-	-	-	206.56	20.04	5.91	-	283.17		
		0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	6.3	-	-	-	-	-	72.9	7.1	2.1	-	100	
		0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	17	23	1	-	45	
		2	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	37.8	51.2	2.2	-	100	
		4.4	-	-	-	-	-	-	-	-	16.72	-	-	-	-	-	33.59	3.86	0.68	-	57.35	
	Ob	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	2.91	-	-	-	-	-	58.6	6.7	1.2	-	100	
		0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	45	3	-	82	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41.5	54.9	3.6	-	100	
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	172.34	8.74	1.05	-	182.13	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	94.6	4.8	0.6	-	100	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	-	100	
	研材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.66	-	-	-	2.66	
		2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	52	68	4	-	128	
		1.6	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8	-	-	-	-	-	40.6	53.1	3.1	-	100	
	合計	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	16.72	-	-	-	-	-	208.48	12.6	1.73	-	242.04	
		0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	6.9	-	-	-	-	-	86.1	5.2	0.7	-	100	
		9	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	25	30	3	-	71	
		12.7	1.4	-	-	-	-	-	-	-	1.4	-	-	-	-	-	35.2	42.3	4.2	-	100	
	Ob	0.72	1.45	-	-	-	-	-	-	-	2.57	-	-	-	-	-	40.34	4.71	1.50	-	53.76	
		1.3	2.7	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-	-	-	-	75.0	8.8	2.8	-	100	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	58	1	-	89	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.7	65.2	1.1	-	100	
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	106.51	7.77	1.17	-	114.45	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	92.2	6.8	1.0	-	100	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
	研材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	898.60	-	-	-	898.60	
		9	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	56	88	4	-	161	
		5.6	0.6	-	-	-	-	-	-	-	0.6	-	-	-	-	-	34.2	54.7	2.5	-	100	
	合計	0.72	1.45	-	-	-	-	-	-	-	2.57	-	-	-	-	-	146.85	12.48	2.67	-	106.681	
		0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	-	0.2	-	-	-	-	-	13.7	1.2	0.3	-	100	

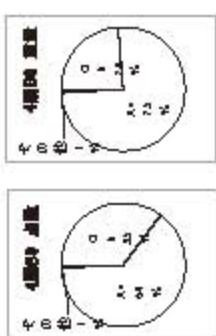
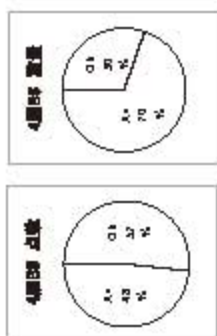


表8 1区 各ブロックの器種組成

区	ブロック	MP	MC	神楽	3P	KN	TP	スウ	OB	DR	MF	CR	PD	解石等	KS	PK	CP	AP	PT	点	%			
4	8	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	31	-	-	43	-			
		4.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	232	72.1	-	-	21.5	8		
		0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79.3	25.9	-	-	-	48	点	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	32	-	-	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-	%	
	合計	2.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28.6	69.2	-	-	-	-	91	点
		0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.21	30.3	-	-	-	-	110.69	点
		0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90.5	9.3	-	-	-	-	228	点
		15	-	1	-	4	2	2	2	-	2	3	-	3	-	1	62	133	-	-	-	-	228	点
		6.8	-	0.4	-	1.8	0.9	0.9	0.9	-	0.9	1.3	-	1.3	-	0.4	27.2	58.3	-	-	-	-	228	点
5a	1	2.46	-	8.77	-	10.44	1.66	35.16	-	2.20	8.23	-	6.70	-	16.99	157.63	3126	-	-	-	-	28150	点	
		0.9	-	3.1	-	3.7	0.6	12.5	-	0.8	2.9	-	2.4	-	6.0	56.0	11.1	-	-	-	-	274	点	
		-	-	-	-	-	-	2	-	2	2	-	2	-	1	53	214	-	-	-	-	274	点	
		-	-	-	-	-	-	0.7	-	0.7	-	0.7	-	-	-	0.4	19.4	78.1	-	-	-	-	601.75	点
		-	-	-	-	-	-	57.73	-	47.83	-	99.19	-	-	-	30.82	288.06	78.12	-	-	-	-	601.75	点
	合計	15	-	1	-	4	2	4	9.6	-	7.9	-	16.5	-	5.1	47.9	13.0	-	-	-	-	-	502	点
		3.0	-	0.2	-	0.8	0.4	0.8	-	0.8	0.6	0.4	0.6	-	0.4	23.0	69.0	-	-	-	-	-	502	点
		2.46	-	8.77	-	10.44	1.66	92.89	-	50.03	8.23	99.19	6.70	-	47.81	445.59	109.38	-	-	-	-	-	883.25	点
		0.3	-	1.0	-	1.2	0.2	10.5	-	5.7	0.9	11.2	0.7	-	5.4	50.5	12.4	-	-	-	-	-	396	点
		4	-	-	-	1	1	2	-	3	8	2	-	-	-	139	235	-	-	-	-	-	396	点
5b	2	1.0	-	-	0.3	0.3	0.5	-	-	0.8	2.0	0.5	-	-	-	36.1	59.5	-	-	-	-	502.63	点	
		0.84	-	-	8.93	2.33	1.67	-	-	44.90	27.40	40.95	-	-	-	3146.7	609.4	-	-	-	-	502.63	点	
		0.2	-	-	1.8	0.5	0.3	-	-	8.9	5.5	8.1	-	-	-	82.6	12.1	-	-	-	-	629	点	
		-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	112	51.4	-	-	-	-	-	629	点
		-	-	-	-	0.2	-	-	-	0.2	0.2	0.2	-	-	-	17.8	81.6	-	-	-	-	-	1053.18	点
	合計	0.4	-	-	0.2	0.2	0.2	-	-	21.42	-	41.76	-	-	-	754.22	229.84	-	-	-	-	-	1577.07	点
		0.84	-	-	30.19	8.27	1.67	-	-	66.32	27.40	82.71	-	-	-	1068.89	290.78	-	-	-	-	-	1577.07	点
		0.1	-	-	2.0	0.5	0.1	-	-	42	17	5.2	-	-	-	67.8	18.4	-	-	-	-	-	1	点
		-	-	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.26	点
		-	-	-	2126	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.26	点

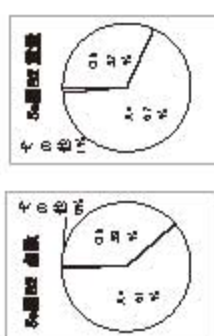
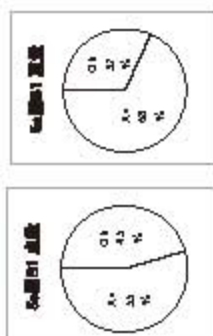
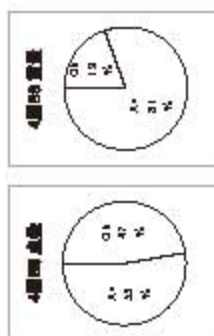


表8 1区 各ブロックの器種組成

器種	MB	MC	相変	3P	KN	TP	スク	CB	DK	RF	MF	CR	PD	線石等	KS	CP	AP	PT	点
5a	Ob	8	1	-	-	1	-	-	-	1	5	1	-	-	-	47	45	-	109
		7.4	0.9	-	-	0.9	-	-	-	0.9	46	0.9	-	-	-	43	41.2	-	%
		0.76	4.83	-	-	3.14	-	-	-	0.51	1323	12.30	-	-	-	126.75	18.56	-	18008
		0.4	2.7	-	-	1.7	-	-	-	0.3	7.4	5.8	-	-	-	70.4	10.3	-	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	43	89	-	132
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22.6	67.4	-	%
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	432.91	55.56	-	483.47
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88.6	11.4	-	%
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	3
	研材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	%
合計	8	1	-	-	1	-	-	-	-	1	5	1	-	-	93	134	-	244	
	2.3	0.4	-	-	0.4	-	-	-	-	0.4	21	0.4	-	-	38.1	54.9	-	%	
	0.76	4.83	-	-	3.14	-	-	-	-	0.51	1323	12.30	-	-	562.83	7.412	-	67172	
	0.1	0.7	-	-	0.5	-	-	-	-	0.1	20	1.8	-	-	83.8	11.0	-	%	
	3	-	-	-	1	-	-	-	-	4	-	-	-	-	26	19	-	54	
	5.6	-	-	-	1.9	-	-	-	-	7.4	-	-	-	-	48.1	35.1	-	%	
Ob	0.41	-	-	-	5.97	-	-	-	-	8.04	-	-	-	-	32.83	6.31	-	56.13	
	0.7	-	-	-	10.8	-	-	-	-	14.6	-	-	-	-	59.6	11.5	-	%	
	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	45	-	58	
An	-	-	-	-	1.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	190	79.3	-	%	
	-	-	-	-	7.77	-	-	-	-	-	-	-	-	-	446.9	140.7	-	66.53	
その他	-	-	-	-	11.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	67.2	21.1	-	%	
研材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	%	
	3	-	-	-	1	-	-	-	-	4	-	-	-	-	100	-	-	231	
	2.7	-	-	-	0.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38	66	-	%	
	0.41	-	-	-	5.97	-	-	-	-	3.5	-	-	-	-	33.6	57.5	-	%	
	0.3	-	-	-	4.8	-	-	-	-	8.04	-	-	-	-	79.83	20.38	-	123.97	
	1	-	-	-	2	-	-	-	-	6.5	-	-	-	-	54.4	15.4	-	%	
	1.5	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	1	-	-	27	29	-	65	
Ob	0.03	-	-	-	3.1	-	-	-	-	1.5	3.1	1.5	-	-	41.6	44.7	-	%	
	0.1	-	-	-	8.17	-	-	-	-	4.73	11.25	6.22	-	-	39.10	6.76	-	34.65	
An	-	-	-	-	9.7	-	-	-	-	5.6	13.3	7.3	-	-	46.2	7.9	-	%	
	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	32	48	-	82	
	-	-	-	-	12	-	-	-	-	12	-	-	-	-	390	58.6	-	%	
合計	-	-	-	-	35.4	-	-	-	-	14.41	-	-	-	-	1040.6	11.46	-	133.57	
	1	-	-	-	2	-	-	-	-	2	2	1	-	-	77.9	8.6	-	%	
	0.7	-	-	-	1.4	-	-	-	-	1.4	1.4	0.7	-	-	59	7.7	-	14.9	
0.03	-	-	-	-	8.17	-	-	-	-	13.14	11.25	6.22	-	-	149.16	18.22	-	218.22	
0.1	-	-	-	-	3.7	-	-	-	-	8.8	5.1	2.8	-	-	65.6	8.3	-	%	

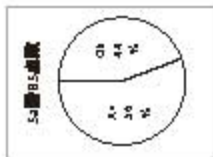
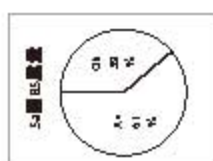
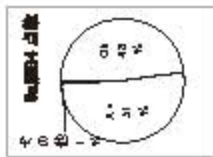
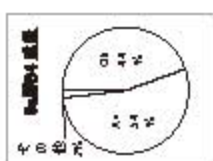
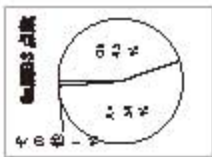
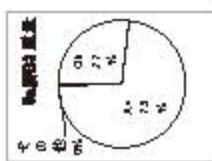


表8 1 医 各ブロックの器械組成

区	種	MD	MC	補欠	3P	XN	TP	スク	CB	DR	XF	MF	CR	ED	鏡石等	ES	EK	CP	AP	PT	点	
5a	Ob	18	1	-	2	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	47	79	-	-	150	
		12.0	0.7	-	1.3	-	-	0.7	-	-	-	0.7	0.7	-	-	-	31.3	52.5	-	-	%	
	An	1.37	17.85	-	18.89	-	-	6.73	-	-	-	1.28	23.94	-	-	-	131.47	41.25	-	-	245.79	
		0.6	7.3	-	7.7	-	-	2.7	-	-	-	0.5	11.0	-	-	-	53.5	16.7	-	-	%	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	72	-	-	114
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35.1	63.1	-	-	%
	合計	1.37	17.85	-	18.89	-	-	30.67	-	-	-	1.28	100.74	-	-	-	735.05	74.30	-	-	980.15	
		0.2	1.8	-	1.9	-	-	3.1	-	-	-	0.1	10.3	-	-	-	75.0	7.6	-	-	%	
	5b	Ob	7	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	31	75	-	-	117
			5.9	-	-	-	-	-	0.9	-	-	0.9	0.9	-	-	-	-	25.4	64.1	-	-	%
An		0.21	-	-	-	-	-	1.45	3.04	-	3.91	2.41	-	-	-	-	37.05	14.45	-	-	52.63	
		0.5	-	-	-	-	-	2.3	4.9	-	6.2	3.8	-	-	-	-	59.2	23.1	-	-	%	
合計		5.6	-	-	-	-	-	0.8	0.8	-	0.8	0.8	-	-	-	-	62.5	37.5	-	-	8	
		0.21	-	-	-	-	-	1.45	3.04	-	3.91	2.41	-	-	-	-	98.64	0.69	-	-	99.33	
5c		Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	78	-	-	125
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99.3	0.7	-	-	%
		An	7	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	3	3	-	-	8
			5.6	-	-	-	-	-	0.8	0.8	-	0.8	0.8	-	-	-	-	23.8	62.4	-	-	%
	合計	0.21	-	-	-	-	-	1.45	3.04	-	3.91	2.41	-	-	-	-	135.70	15.14	-	-	161.95	
		0.2	-	-	-	-	-	0.9	1.9	-	2.4	1.5	-	-	-	-	83.8	9.3	-	-	%	
	5d	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	13	-	-	25
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44.0	52.0	-	-	%
		An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.60	41.3	-	-	25.14
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	65.0	16.4	-	-	%
合計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	40	-	-	61
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31.2	65.6	-	-	%
5e		Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80.44	9.74	-	-	127.9
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62.9	7.6	-	-	%
		An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	53	-	-	86
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34.8	61.6	-	-	%
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	97.04	13.87	-	-	153.04	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63.4	9.0	-	-	%	
	5f	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	4	-	-	12
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58.4	33.3	-	-	%
		An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34.81	1.20	-	-	41.15
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	84.6	2.9	-	-	%
合計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	12	-	-	17	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23.5	70.6	-	-	%	
5g		Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	55.55	3.95	-	-	78.33
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	70.9	4.3	-	-	%
		An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	16	-	-	29
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36.0	55.2	-	-	%
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90.36	4.56	-	-	119.49	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.6	3.8	-	-	%	

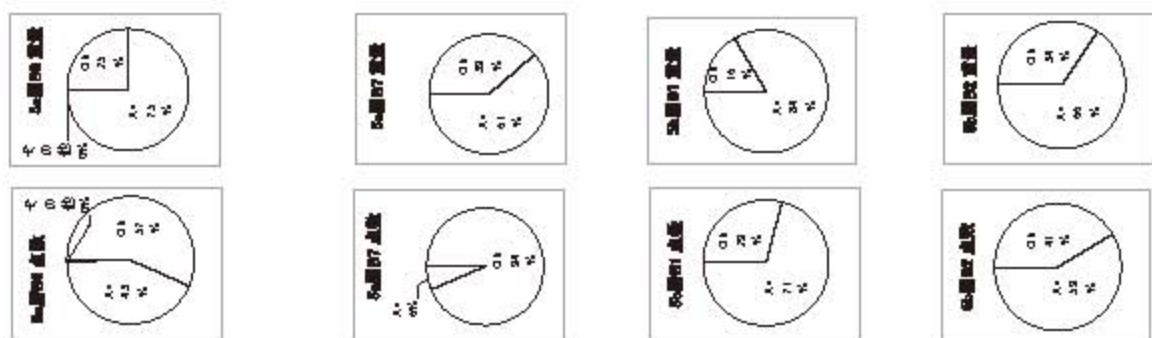


表8 1区 各ブロックの器種組成

器種	MP	MC	MF	DF	CF	EF	GF	HF	IF	MF	CF	DF	PF	RF	UF	VF	WF	XF	YF	ZF	AF	BF	CF	DF	EF	PF	TF
5b	Ob	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	-	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 1	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	-	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 2	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	-	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 3	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	-	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

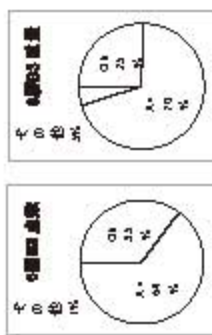
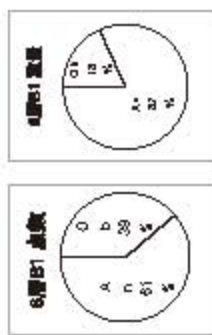
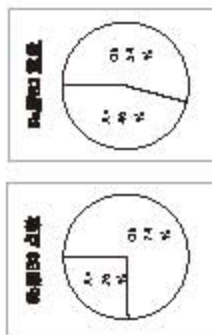


表8 1 医 各ブロックの器械組成

番	種	MB	MC	ML	3P	KN	TP	スケ	CB	DX	RF	MF	CR	PD	検査等	ES	PK	CP	AP	PT	34	点	
6	4	Ob	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	13	16	-	-	-	34	点
			-	-	59	-	-	-	-	-	59	-	29	-	-	-	362	47.1	-	-	-	%	%
			-	-	2977	-	-	-	-	-	2417	-	2763	-	-	-	5091	8.13	-	-	-	14061	点
			-	-	212	-	-	-	-	-	172	-	197	-	-	-	362	5.7	-	-	-	%	%
6	4	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11	28	-	-	-	40	点
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	275	70.0	-	-	-	%	%
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4954	-	-	-	10033	1504	-	-	-	16491	点
			-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	30	-	-	-	609	91	-	-	-	%	%
6	5	合計	-	-	27	-	-	-	-	27	-	2	27	-	-	-	24	44	-	-	-	74	点
			-	-	2977	-	-	-	-	2417	-	7717	-	-	-	-	15124	2317	-	-	-	30552	点
			-	-	97	-	-	-	-	79	-	253	-	-	-	-	495	7.6	-	-	-	%	%
			1	-	4	-	-	1	-	-	5	5	-	-	-	-	33	24	-	-	-	73	点
6	5	Ob	1.4	-	-	-	1.4	-	-	68	68	-	-	-	-	-	452	32.9	-	-	-	20279	点
			0.19	-	-	12.66	-	754	-	-	3076	2086	-	-	-	-	11489	1599	-	-	-	%	%
			0.1	-	-	6.2	-	37	-	-	152	10.3	-	-	-	-	56.7	7.8	-	-	-	%	%
			-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	1	49	87	-	-	-	139	点
6	5	An	-	-	-	-	-	-	-	0.7	-	0.7	0.7	0.7	-	-	35.3	62.6	-	-	-	38318	点
			-	-	-	-	-	-	-	1903	-	3073	800	-	-	-	28322	4220	-	-	-	%	%
			-	-	-	-	-	-	-	50	-	80	2.1	-	-	-	739	11.0	-	-	-	%	%
			1	-	4	-	4	-	1	1	6	5	1	1	1	1	82	111	-	-	-	212	点
6	5	合計	0.5	-	-	-	0.5	-	-	28	24	0.5	0.5	-	-	-	36.6	62.3	-	-	-	58597	点
			0.19	-	-	12.66	-	754	-	-	4979	2086	3073	800	-	-	39611	5619	-	-	-	%	%
			0.0	-	-	2.1	-	13	-	-	8.5	3.6	5.2	1.4	-	-	680	9.9	-	-	-	%	%
			-	-	1	1	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	24	10	-	-	-	39	点
6	6	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6	-	-	-	-	61.5	25.6	-	-	-	11881	点
			-	-	-	-	-	-	-	-	478	-	-	-	-	-	9336	5.53	-	-	-	%	%
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	78.6	4.6	-	-	-	%	%
			-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	23	38	-	-	-	62	点
6	6	An	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	37.1	61.3	-	-	-	9290	点
			-	-	-	-	-	-	-	3.06	-	-	-	-	-	-	65.1	24.33	-	-	-	%	%
			-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	70.5	26.2	-	-	-	%	%
			-	-	1	1	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	47	48	-	-	-	101	点
6	6	合計	-	-	10	10	20	-	-	10	10	-	-	-	-	-	45.5	47.5	-	-	-	21171	点
			-	-	773	458	2.83	-	-	3.06	478	-	-	-	-	-	158.87	2986	-	-	-	%	%
			-	-	37	2.2	13	-	-	1.4	2.3	-	-	-	-	-	75.0	14.1	-	-	-	%	%
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	-	-	-	8	点
6	7	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1806	0.68	-	-	-	18.74	点
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	500	50.0	-	-	-	%	%
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96.4	3.6	-	-	-	%	%
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	40	-	-	-	59	点
6	7	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32.2	67.3	-	-	-	30321	点
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	293.51	9.70	-	-	-	%	%
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96.8	3.2	-	-	-	%	%
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	44	-	-	-	67	点
6	7	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34.3	66.7	-	-	-	32195	点
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	311.57	10.38	-	-	-	%	%
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96.8	-	-	-	-	%	%
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10	-	-	-	10	点

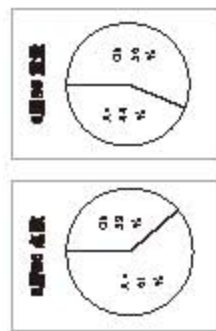
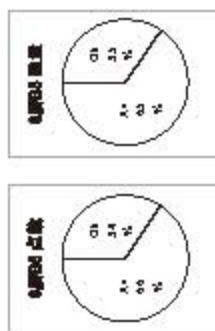
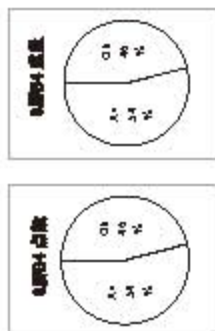


表8 1区 各ブロックの器種組成

区	ブロック	MB	MC	相変	3P	KN	TP	スク	CB	DK	RF	MF	CR	PD	線石等	KS	PK	CP	AP	PT	42点	
		3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	21	-	-	%	
6	8	Ob	7.1	-	-	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.5	50.0	-	-	%	
			0.47	-	-	3.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.87	82.4	-	-	63.00
			0.7	-	-	5.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80.8	13.1	-	-	%
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	16	1	-	28
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32.1	57.2	3.6	-	%
	An	-	-	-	-	-	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37.13	10.71	10.4	-	94.79	
		-	-	-	-	-	45.91	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39.2	11.3	1.1	-	%	
		-	-	-	-	-	48.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	37	1	-	70	
	合計	3	4.3	-	-	1.4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37.1	52.9	1.4	-	%	
		0.47	-	-	3.42	-	45.91	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88.00	18.95	10.4	-	157.79	
		0.3	-	-	2.2	-	29.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	56.8	12.0	0.6	-	%	
		1	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	20	44	-	-	68	
		1.5	-	-	2.9	-	-	-	-	-	1.5	-	-	-	-	-	29.4	64.7	-	-	%	
	Ob	0.01	-	-	10.91	-	-	-	-	-	3.46	-	-	-	-	-	340.2	132.1	-	-	61.60	
		0.1	-	-	17.7	-	-	-	-	-	5.6	-	-	-	-	-	56.2	21.4	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	-	-	4	
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	25.0	50.0	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29.62	-	-	-	2.10	0.49	-	-	32.21	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	92.0	-	-	-	6.5	1.5	-	-	%	
		1	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	21	46	-	-	72	
		1.4	-	-	2.8	-	-	-	-	-	1.4	-	1.4	-	-	-	29.1	63.9	-	-	%	
	合計	0.01	-	-	10.91	-	-	-	-	-	3.46	-	29.62	-	-	-	36.12	13.70	-	-	93.81	
		0.0	-	-	11.6	-	-	-	-	-	-	-	31.6	-	-	-	38.5	14.6	-	-	%	
		-	-	-	-	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	2	-	-	7	
		-	-	-	-	-	-	-	14.3	-	14.3	-	-	-	-	-	14.3	23.55	-	-	%	
	Ob	-	-	-	-	-	-	-	2.96	-	2.96	-	-	-	-	-	0.99	0.17	-	-	10.23	
		-	-	-	-	-	-	-	28.8	-	27.8	-	-	-	-	-	9.6	1.7	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	11	-	-	14	
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.4	78.6	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.20	2.41	-	-	9.61	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74.9	25.1	-	-	%	
		-	-	-	-	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	4	13	-	-	21	
	合計	-	-	-	-	9.5	-	4.8	-	4.8	-	-	-	-	-	-	19.0	61.9	-	-	%	
		-	-	-	-	3.90	-	2.96	-	2.96	-	-	-	-	-	-	8.19	2.58	-	-	19.89	
		-	-	-	-	16.6	-	14.9	-	14.4	-	-	-	-	-	-	41.2	12.9	-	-	%	
	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22.3	-	-	22.3	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10	-	-	20	
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38.39	3.16	-	-	41.55	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	92.4	7.6	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	12	-	-	22	
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45.5	54.5	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38.39	5.39	-	-	43.78	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	67.7	12.3	-	-	%	

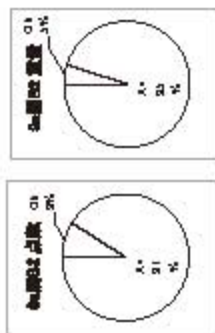
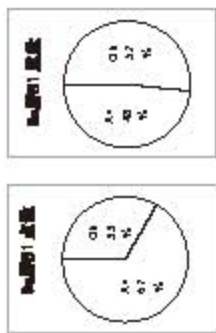
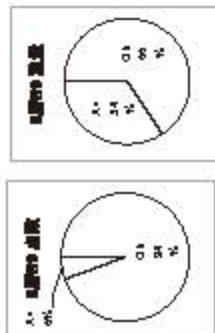
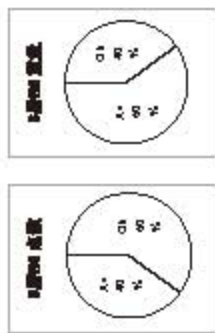


表8 1 区 各ブロックの器械組成

種別	MB	MC	利点	3P	KN	TP	スク	OB	DR	MF	CR	PD	解石等	KS	PK	CP	AP	PT	42点
9a	Ob	-	-	-	1	-	-	-	-	1	3	2	-	-	19	16	-	-	42点
		-	-	-	2.4	-	-	-	-	2.4	7.1	4.8	-	-	45.2	38.1	-	-	%
		-	-	-	4.17	-	-	-	-	4.95	22.45	11.76	-	-	80.47	5.68	-	-	12909点
		-	-	-	3.2	-	-	-	-	3.5	17.4	9.1	-	-	62.4	4.4	-	-	%
9a	An	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	1	-	-	41	39	-	-	85点
		-	-	-	1.2	-	-	-	-	1.2	2.4	1.2	-	-	48.2	45.8	-	-	%
		-	-	-	2.93	-	-	-	-	3.108	18.03	2.26	-	-	277.19	29.32	-	-	36081点
		-	-	-	0.8	-	-	-	-	8.6	5.0	0.6	-	-	76.9	8.1	-	-	%
合計		-	-	-	2	-	-	-	-	2	5	3	-	-	60	58	-	-	127点
		-	-	-	1.6	-	-	-	-	1.6	3.9	2.4	-	-	47.2	43.3	-	-	%
		-	-	-	7.10	-	-	-	-	35.64	40.48	14.02	-	-	357.66	35.00	-	-	48390点
		-	-	-	1.4	-	-	-	-	7.3	8.3	2.9	-	-	73.0	7.1	-	-	%
9a	Ob	-	-	-	6	1	-	-	-	9	6	4	2	-	116	98	-	-	242点
		-	-	-	2.5	0.4	-	-	-	3.7	2.5	1.7	0.8	-	47.9	40.5	-	-	%
		-	-	-	14.76	1.86	-	-	-	39.38	24.98	58.17	5.34	-	366.02	32.97	-	-	54248点
		-	-	-	2.7	0.3	-	-	-	7.3	4.6	10.7	1.0	-	67.3	6.1	-	-	%
9a	An	-	-	-	1	-	-	-	-	2	3	3	-	-	77	84	-	-	171点
		-	-	-	0.6	-	-	-	-	1.2	1.8	1.8	-	-	45.0	49.0	-	-	%
		-	-	-	4.30	-	-	-	-	7.23	33.74	378.63	-	-	398.37	51.07	-	-	92845点
		-	-	-	0.5	-	-	-	-	0.8	3.6	40.8	-	-	42.9	5.5	-	-	%
9a	その他	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1点
		-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	%
		-	-	-	22.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22.06点
		-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	%
合計		-	-	-	7	1	2	-	-	11	9	7	2	-	193	182	-	-	414点
		-	-	-	1.7	0.2	0.5	-	-	2.7	2.2	1.7	0.5	-	46.6	43.9	-	-	%
		-	-	-	19.06	1.86	77.27	-	-	46.61	58.72	436.70	5.34	-	763.39	84.04	-	-	148299点
		-	-	-	1.3	0.1	5.2	-	-	3.1	3.9	29.3	0.4	-	51.1	5.6	-	-	%
9a	Ob	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	1	-	-	18	15	-	-	37点
		-	-	-	5.4	-	-	-	-	2.7	2.7	-	-	-	46.7	40.5	-	-	%
		-	-	-	1.01	-	-	-	-	6.04	18.08	-	-	-	59.17	41.3	-	-	8843点
		-	-	-	1.1	-	-	-	-	6.8	20.5	-	-	-	66.9	4.7	-	-	%
9a	An	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	12	24	-	-	37点
		-	-	-	-	-	-	-	-	2.7	-	-	-	-	32.4	64.9	-	-	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	2.02	-	-	-	-	66.27	14.01	-	-	8230点
		-	-	-	2	-	-	-	-	2.5	1	-	-	-	80.5	17.0	-	-	%
合計		-	-	-	2.7	-	-	-	-	1.4	1.4	1.4	-	-	30	39	-	-	74点
		-	-	-	1.01	-	-	-	-	6.04	2.02	18.08	-	-	40.5	52.6	-	-	%
		-	-	-	0.6	-	-	-	-	3.5	12	10.6	-	-	125.44	18.14	-	-	17073点
		-	-	-	2	-	-	-	-	3	-	1	-	-	17	11	-	-	34点
9a	Ob	-	-	-	5.9	-	-	-	-	8.8	2.9	-	-	-	80.0	32.4	-	-	%
		-	-	-	2.61	-	-	-	-	15.21	19.79	-	-	-	50.68	3.16	-	-	9145点
		-	-	-	2.9	-	-	-	-	16.6	21.6	-	-	-	56.4	3.5	-	-	%
		-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	6	-	-	23点
9a	An	-	-	-	4.3	-	-	-	-	-	-	-	-	69.6	26.1	-	-	-	%
		-	-	-	1.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	173.22	4.72	-	-	17914点
		-	-	-	0.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96.7	2.6	-	-	%
		-	-	-	3	-	-	-	-	3	-	1	-	-	33	17	-	-	57点
合計		-	-	-	5.3	-	-	-	-	5.3	1.8	-	-	-	57.8	29.8	-	-	%
		-	-	-	38.1	-	-	-	-	15.21	19.79	-	-	-	223.90	7.88	-	-	27059点
		-	-	-	1.4	-	-	-	-	5.6	7.3	-	-	-	82.8	2.9	-	-	%

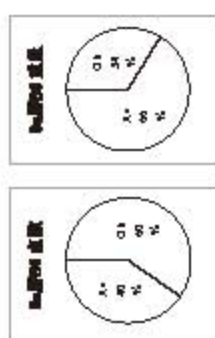
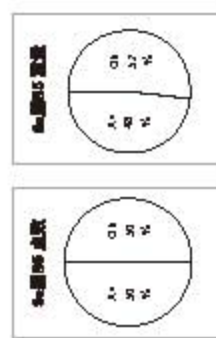
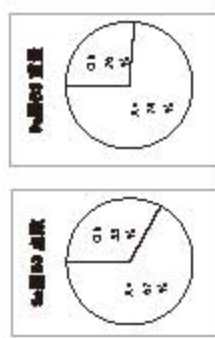


表8 1区 各ブロックの器種組成

層	B	MB	MC	神土	3P	KN	TP	スウ	OB	DR	XF	MF	CR	PD	餅石等	KS	PK	CP	AP	PT	点	
9b 1	Ob	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	3	-	-	14	
		-	-	-	21.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	57.2	21.4	-	-	%
		-	-	-	6.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.92	0.87	-	-	40.9
		-	-	-	15.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	82.9	2.1	-	-	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58	69	-	-	127
9b 1	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46.7	54.3	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	678.64	35.81	-	-	714.45	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96.0	5.0	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	5	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	%	
9b 1	その他 研材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2048.4	-	-	-	2048.4	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	%	
		-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71	72	-	-	146
		-	-	-	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46.6	49.3	-	-	%
		-	-	-	6.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1017.40	36.68	-	-	1060.19
9b 2	Ob	-	-	-	0.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96.0	3.4	-	-	%	
		-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	15	31	-	-	49	
		-	-	-	4.1	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-	-	30.6	63.3	-	-	%	
		-	-	-	1.46	-	-	-	-	-	-	-	21.96	-	-	-	95.56	10.91	-	-	129.87	
		-	-	-	1.1	-	-	-	-	-	-	-	16.9	-	-	-	73.6	8.4	-	-	%	
9b 2	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45	72	-	-	121	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37.7	59.0	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	417.48	44.63	-	-	475.99	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	87.9	9.2	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
9b 2	その他 研材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.79	-	-	-	14.79	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	%	
		-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	61	10.3	-	-	172	
		-	-	-	1.2	-	-	-	-	-	-	-	0.6	-	2.3	-	36.0	59.9	-	-	%	
9b 3	Ob	-	-	-	1.46	-	-	-	-	-	-	21.96	-	13.88	-	527.83	55.54	-	-	-	620.65	
		-	-	-	0.2	-	-	-	-	-	-	-	3.5	-	2.2	-	86.2	8.9	-	-	%	
		-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	40	36	-	-	82	
		-	-	-	2.4	-	-	-	-	-	-	-	3.7	1.2	-	-	46.8	42.7	-	-	%	
		-	-	-	5.09	-	-	-	-	-	-	-	4.21	6.62	-	-	136.02	13.37	-	-	184.33	
9b 3	An	-	-	-	2.8	-	-	-	-	-	-	2.3	3.6	-	-	73.2	7.2	-	-	%		
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47	10.1	-	-	160	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.9	67.8	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	433.83	43.95	-	-	535.27	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80.8	8.3	-	-	%	
9b 3	合計	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	5	1	-	-	-	87	136	-	-	232	
		-	-	-	0.9	-	-	-	-	-	-	2.2	0.4	-	-	-	37.2	58.9	-	-	%	
		-	-	-	5.09	-	-	-	-	-	-	61.70	6.62	-	-	-	568.85	57.32	-	-	719.60	
		-	-	-	0.7	-	-	-	-	-	-	8.7	0.9	-	-	-	78.9	8.0	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

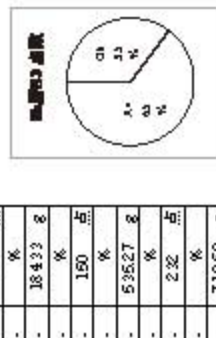
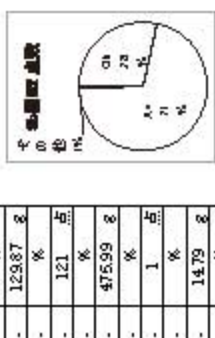
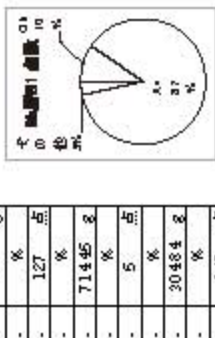
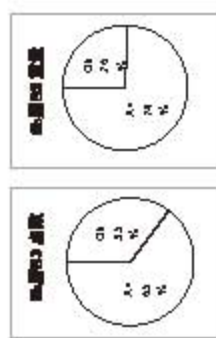
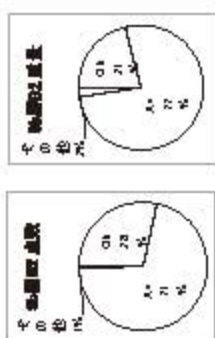
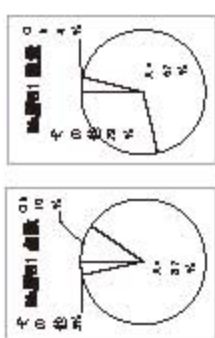


表8 1区 各ブロックの器械組成

区	ブロック	MB	MC	補法	3P	KN	TP	スケ	CB	DB	RF	MF	CR	PD	検査等	KS	CP	AP	PT	20点	
9b	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	17	-	-	
		Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50	-	-	-	-	-	100	86.0	-	-
		An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.40	-	-	-	-	-	182	588	-	-
		合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.6	-	-	-	-	-	16.4	53.0	-	-
9b	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7	38	-	-	-	-	30.8	53.9	-	-
		合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	146.12	2323	-	-	-	-	79.67	7.48	-	-
9b	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.6	8.1	-	-	-	-	27.8	2.6	-	-
		An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.9	19	-	-	-	-	27.6	66.7	-	-
		合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	146.12	6432	-	-	-	-	214.73	21.17	-	-
9b	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.39	-	-	-	-	-	208.98	19.9	-	-
		An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.4	-	-	-	-	-	82.4	7.9	-	-
		合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.8	0.4	49	5.8	-	-	70.3	9.1	-	-
9b	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	106.26	13.51	-	-
		An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86.4	10.9	-	-
		合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	10	-	-
9b	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.36	4.25	-	-
		An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72.8	27.2	-	-
		合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	37	-	-
9b	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37.9	56.1	-	-
		An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	117.62	17.76	-	-
		合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	84.9	12.8	-	-

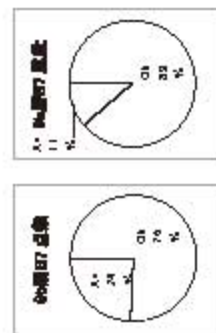
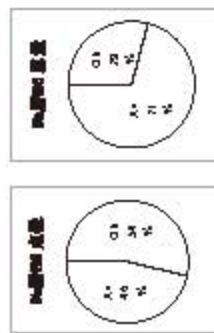
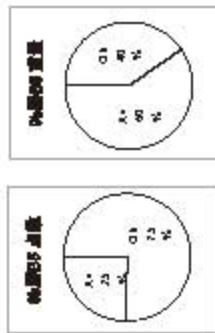
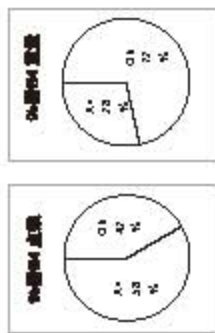


表8 1区 各ブロックの器種組成

区	ブロック	MP	MC	MF	MX	MY	MA	MB	MC	MD	ME	MF	MG	MH	MI	MJ	MK	ML	MM	PN	CP	AP	PT	点	%
9b	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	204	227	-	-	482	40
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	485	453	-	-	128453	90
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	6	0.5
	合計	14.30	10.74	56.71	12.86	-	79.28	210.53	229.30	32.25	-	1845.62	171.62	-	-	-	-	-	-	893	65	-	-	266321	90
9b	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42.8	41.6	-	-	84.4	40
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	292.55	21.92	-	-	419.00	90
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	70.1	5.2	-	-	70.1	0.5
	合計	8.7	3.7	-	-	-	1.2	5.6	-	0.4	-	40	31	-	-	-	-	-	-	82.7	40.8	-	-	123.4	90
9b	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58.6	3.3	-	-	61.9	10
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	1000	90
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.40	-	-	-	21.4	0.2
	合計	7	1	-	-	-	4	8	1	3	-	113	101	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	2014	90
9b	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.4	67.9	-	-	89.3	40
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53.16	8.43	-	-	61.49	90
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83.8	13.3	-	-	97.2	0.5
	合計	2.9	1.7	-	-	-	5.3	7.3	3.1	-	-	6	19	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	2019	90
9b	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	21	-	-	27	10
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.58	-	-	-	0.58	0.5
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	1000	90
	合計	10.0	1.81	-	-	-	5.316	9.01	-	-	-	200	70.0	-	-	-	-	-	-	53.16	9.01	-	-	63.98	90

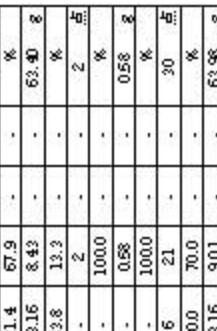
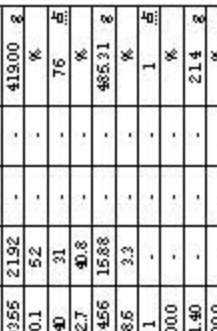
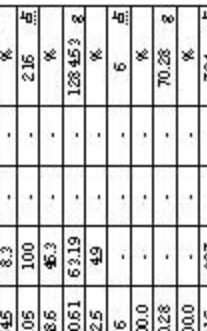
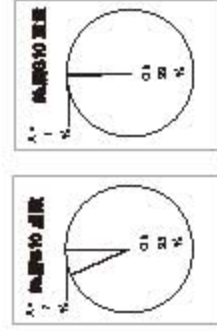
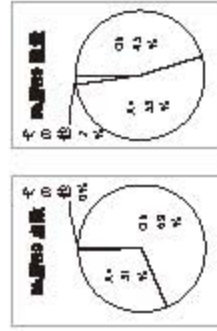
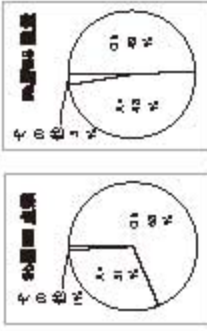


表8 1区 各ブロックの器械組成

区	ブロック	MB	MC	補欠	3P	KN	TP	スリ	CB	DX	XF	MF	CR	PD	積石等	KS	PK	CP	AP	PT	3点	
9b 11	Ob	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	%
		-	-	-	-	333	-	-	-	-	-	667	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	169	-	-	-	-	-	451	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	620 点
	-	-	-	-	273	-	-	-	-	-	727	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	%
An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	11	12	-	-	-	24 点
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42	-	-	458	500	-	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	888	-	-	5803	339	-	-	-	-	7030 点
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	125	-	-	825	48	-	-	-	-	%
合計	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	11	12	-	-	-	27 点
	-	-	-	-	-	37	-	-	-	74	-	-	37	-	-	407	445	-	-	-	-	%
	-	-	-	-	169	-	-	-	-	451	-	-	888	-	-	5803	339	-	-	-	-	765 点
	-	-	-	-	22	-	-	-	-	59	-	-	116	-	-	759	44	-	-	-	-	%
Ob	-	-	-	-	-	2	1	-	-	3	2	1	1	-	-	26	22	-	-	-	-	57 点
	-	-	-	-	-	35	18	-	-	53	35	18	-	-	-	456	385	-	-	-	-	%
	-	-	-	-	151	126	-	-	-	1095	1200	2403	-	-	-	6240	835	-	-	-	-	12050 点
	-	-	-	-	13	10	-	-	-	91	100	199	-	-	-	518	69	-	-	-	-	%
An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	21	-	-	-	38 点
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	447	563	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15777	2018	-	-	-	17795 点
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	887	113	-	-	-	-	%
合計	-	-	-	-	-	2	1	-	-	3	2	1	1	-	-	43	43	-	-	-	-	95 点
	-	-	-	-	-	21	106	-	-	32	21	105	-	-	-	4525	4525	-	-	-	-	%
	-	-	-	-	151	126	-	-	-	1095	1200	2403	-	-	-	22017	2853	-	-	-	-	29845 点
	-	-	-	-	05	04	-	-	-	37	40	81	-	-	-	738	95	-	-	-	-	%
Ob	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	6	8	-	-	-	19 点
	-	-	-	-	-	53	-	-	105	-	53	-	-	-	-	-	315	421	-	-	-	%
	-	-	-	-	045	-	-	-	342	-	065	-	-	-	-	-	545	223	-	-	-	2631 点
	-	-	-	-	17	-	-	-	123	-	24	-	507	-	-	-	241	83	-	-	-	%
An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	4 点
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	500	500	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	870	079	-	-	-	949 点
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	917	83	-	-	-	%
合計	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	8	10	-	-	-	23 点
	-	-	-	-	-	43	-	-	87	-	43	-	43	-	-	-	348	435	-	-	-	%
	-	-	-	-	045	-	-	-	342	-	065	-	1360	-	-	-	1516	302	-	-	-	3630 点
	-	-	-	-	12	-	-	-	94	-	18	-	375	-	-	-	418	83	-	-	-	%
Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	9	-	-	-	12 点
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	250	750	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	622	567	-	-	-	1189 点
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	523	477	-	-	-	%
An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4 点
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	212	-	-	-	212 点
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	%
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	13	-	-	-	16 点
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1875	8125	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	622	779	-	-	-	1401 点
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	444	555	-	-	-	%

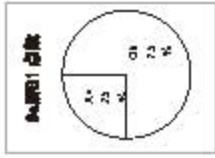
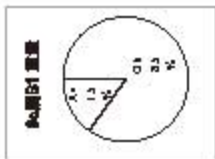
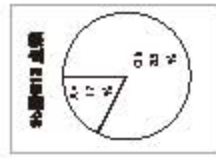
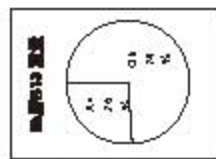
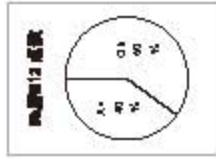
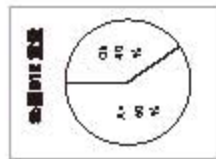
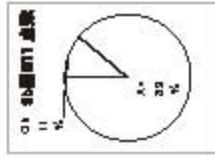
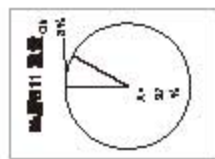


表8 1区 各ブロックの器種組成

区	ブロック	MB	MC	神仏	3P	KN	TP	スガ	CR	PD	碓石号	KS	PK	CP	AP	PT	84点
9d	1	Ob	-	-	-	3.6	2.4	7.27	26.34	-	-	-	440	345	-	-	21194
		An	-	-	-	4.4	45	8.4	8.1	-	-	-	47.1	5.3	-	-	51
		その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47.0	51.0	-	-	27065
		合計	-	-	-	9.25	9.49	13.48	17.79	17.23	-	-	319.29	28.52	-	-	49451
		その他	-	-	-	1.9	1.9	10.7	5.3	3.5	-	-	6.46	5.8	-	-	1
9d	2	Ob	-	-	-	5.3	-	15.8	-	-	-	-	47.4	31.5	-	-	40.44
		An	-	-	-	3.49	-	12.40	-	-	-	-	19.68	4.87	-	-	21
		その他	-	-	-	8.5	-	30.7	-	-	-	-	46.7	12.0	-	-	19
		合計	-	-	-	17.28	-	48.9	-	-	-	-	76.8	40.3	-	-	317.39
		その他	-	-	-	1.0	-	3.5	-	-	-	-	9.2	2.7	-	-	40
9e	1	Ob	-	-	-	1.13	-	3.79	-	-	-	-	6.85	0.72	-	-	25.17
		An	-	-	-	4.5	-	15.1	-	-	-	-	27.2	2.8	-	-	11
		その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	-	-	165.77
		合計	-	-	-	5.63	-	18.9	-	-	-	-	34.2	3.5	-	-	28
		その他	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	3	19	-	-	0
9e	2	Ob	-	-	-	3.6	-	7.1	-	-	-	-	10.7	6.9	-	-	190.94
		An	-	-	-	1.13	-	3.79	156.84	-	-	-	12.06	4.44	-	-	25
		その他	-	-	-	0.6	-	6.7	82.1	-	-	-	6.3	2.3	-	-	42.72
		合計	-	-	-	5.33	-	17.6	245.74	-	-	-	39.1	13.6	-	-	233.8
		その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.47	9.3	-	-	0

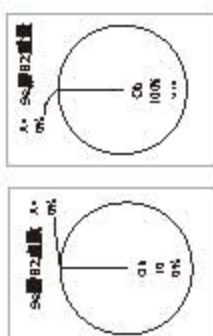
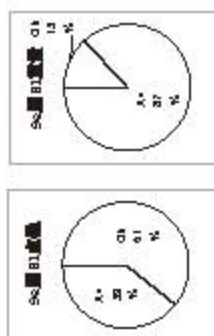
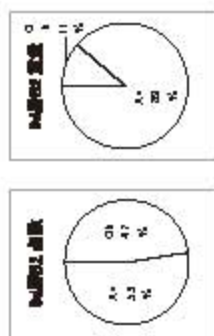
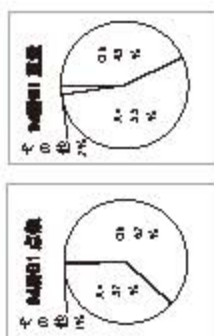


表8 1 医 各ブロックの器械組成

番	種	MB	MC	補法	3P	KN	TP	スカ	CB	DX	RF	MF	CR	PD	検査等	KS	CP	AP	PT	51	点
9e	3	Ob	-	-	-	5.9	20	-	-	-	13.7	176	-	2.0	-	-	33.3	25.5	-	-	-
		An	-	-	-	7.64	463	-	-	-	83.49	6058	-	2.28	-	-	43.76	6.13	-	-	20851
	合計	-	-	-	3.7	22	-	-	-	-	40.0	291	-	1.1	-	-	21.0	2.9	-	-	-
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	11	-	-	25
9e	4	Ob	0.8	-	-	0.8	2.4	0.4	-	-	5.7	40	1.2	-	-	-	9.2	6.8	-	-	-
		An	0.24	-	-	7.23	17.76	8.85	-	-	83.15	3758	29.78	-	-	-	353.49	37.00	-	-	-
	合計	0.0	-	-	1.3	3.1	1.5	-	-	1.45	6.5	5.2	-	-	-	6.15	6.4	-	-	-	575.08
	合計	-	-	-	1	1	1	-	-	4	1	1	-	-	-	9.4	15.6	-	-	-	257
9e	5	Ob	-	-	-	0.4	-	0.4	-	-	1.5	0.4	0.4	-	-	-	36.5	60.4	-	-	-
		An	-	-	-	10.1	22.66	-	-	-	45.07	16.46	92.68	-	-	-	7.677	9.222	-	-	-
	合計	-	-	-	0.1	-	2.2	-	-	4.4	1.6	9.1	-	-	-	73.4	9.2	-	-	-	1017.87
	合計	-	-	-	3	6	2	-	-	1.8	11	4	-	-	-	2.11	2.48	-	-	-	505
9e	6	Ob	0.4	-	-	0.6	1.2	0.4	-	-	3.6	2.2	0.8	-	-	-	41.7	49.1	-	-	-
		An	0.24	-	-	8.24	17.76	31.51	-	-	128.22	540.4	122.45	-	-	-	1100.26	130.22	-	-	-
	合計	0.0	-	-	0.5	1.1	2.0	-	-	8.0	3.4	7.7	-	-	-	69.1	8.2	-	-	-	1892.95
	合計	-	-	-	2	1	1	-	-	3	5	2	3	-	-	3.2	2.7	-	-	-	76
9e	7	Ob	-	-	-	2.6	1.3	1.3	-	-	4.0	6.6	2.6	4.0	-	-	4.1	35.5	-	-	-
		An	-	-	-	5.76	3.79	12.02	-	-	6.24	14.43	50.65	10.70	-	-	106.59	12.04	-	-	-
	合計	-	-	-	2.6	1.7	5.4	-	-	2.8	6.5	22.8	4.8	-	-	46.0	5.4	-	-	-	222.22
	合計	-	-	-	1	2	1	-	-	1	2	1	-	-	-	2.2	2.4	-	-	-	50
9e	8	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	4.0	2.0	-	-	-	44.0	48.0	-	-	-
		An	-	-	-	-	-	-	-	-	17.15	60.09	201.84	-	-	-	90.65	112.1	-	-	-
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5	15.8	53.0	-	-	-	23.8	2.9	-	-	-	380.94
	合計	-	-	-	2	1	1	-	-	4	7	3	3	-	-	5.4	5.1	-	-	-	126
9e	9	Ob	-	-	-	1.6	0.8	0.8	-	-	3.2	5.5	2.4	2.4	-	-	4.8	40.5	-	-	-
		An	-	-	-	5.76	3.79	12.02	-	-	23.39	7.452	252.49	10.70	-	-	197.24	2.725	-	-	-
	合計	-	-	-	1.0	0.6	2.0	-	-	3.9	12.4	41.9	1.7	-	-	32.7	3.8	-	-	-	603.16
	合計	-	-	-	1	1	-	-	-	3	1	-	-	-	-	9	1.8	-	-	-	32
10c	1	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.4	3.1	-	-	-	26.1	56.3	-	-	-
		An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.92	3.420	-	-	-	34.57	8.89	-	-	-
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.0	40.5	-	-	40.9	10.5	-	-	-	84.55
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	5	4	-	-	-	10
10c	2	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-	-	-	50.0	40.0	-	-	-
		An	-	-	-	-	-	-	-	-	32.07	-	-	-	-	-	17.23	1.28	-	-	-
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	6.34	-	-	-	-	-	34.1	2.5	-	-	-	50.58
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	1	-	-	-	1.4	2.2	-	-	-	42
10c	3	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	7.1	2.4	-	-	-	33.3	52.4	-	-	-
		An	-	-	-	-	-	-	-	-	32.07	5.92	3.420	-	-	-	51.80	10.17	-	-	-
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	23.8	4.4	25.3	-	-	-	36.3	7.5	-	-	-	135.13
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.5

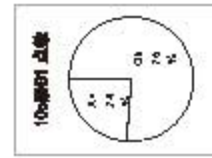
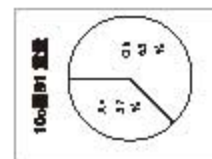
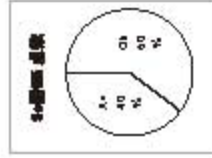
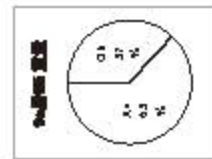
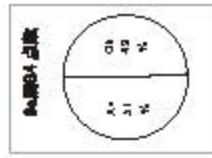
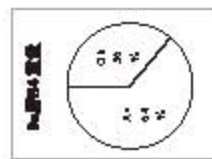
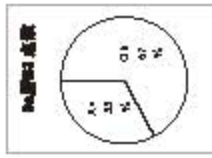
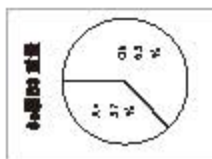
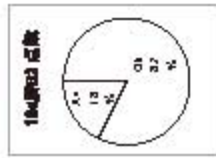
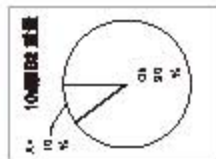
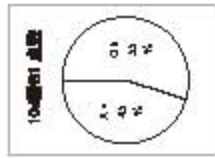
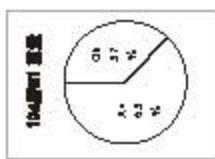
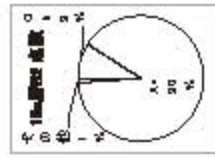
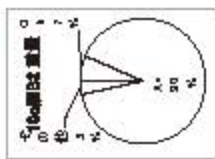


表8 1区 各ブロックの器種組成

層	B	MB	MC	利尖	3P	XN	TP	スク	OB	DR	RF	MF	CR	PD	餅石等	KS	PK	CP	AP	PT	点	%		
10c 2	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	3	-	-	-	8	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62.5	37.5	-	-	-	39.0	%
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90.0	1.0	-	-	-	39.0	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	41	-	-	-	79	%
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41.8	51.9	-	-	-	54.356	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39.39	21.08	-	-	-	54.356	%
	研材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62.4	3.9	-	-	-	1	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.07	%
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.07	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38	44	-	-	-	88	%
10d 1	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42	50.0	-	-	-	60.403	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	378.40	21.47	-	-	-	60.403	%	
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62.5	3.5	-	-	-	34	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	13	-	-	-	34	%
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44.1	38.2	-	-	-	79.59	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28.77	6.02	-	-	-	79.59	%
	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36.1	7.5	-	-	-	28	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	16	-	-	-	28	%
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36.7	57.2	-	-	-	136.39	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	941.4	13.01	-	-	-	136.39	%
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	69.0	9.5	-	-	-	62	%	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	29	-	-	-	62	%	
10d 2	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.3	45.8	-	-	-	215.98	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	122.91	19.03	-	-	-	215.98	%	
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	86.9	8.8	-	-	-	28	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	5	-	-	-	28	%
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60.7	17.9	-	-	-	97.91	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62.82	2.77	-	-	-	97.91	%
	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	64.2	2.8	-	-	-	6	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	6	%
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-	11.08	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.30	4.78	-	-	-	11.08	%
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.9	49.1	-	-	-	34	%	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	9	-	-	-	34	%	
Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.9	26.5	-	-	-	108.99	%	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	69.12	7.55	-	-	-	108.99	%	
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63.4	6.9	-	-	-	108.99	%	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.8	5.0	-	-	-	108.99	%	



第5章 地蔵平遺跡 2A区・2B区・各トレンチの遺構と遺物

1 地蔵平遺跡 2A区・2B区・各トレンチの概要

第3章に記したとおり、地蔵平遺跡 2A区は、遺跡域の東端に位置する。2A区は、7Aトレンチ・7Bトレンチを東に拡張する形で調査区が設定された。2A区の南側から西側にかけて、6～9トレンチが7箇所設定されているが、この部分については、遺構・遺物の検出状況等を勘案した結果、拡張せずトレンチ調査にとどめた箇所である。2B区は、2A区の南東側の低い狭小な段丘平坦面に位置する。

遺構が検出されたのは、2A区だけで、2B区および各トレンチからは遺構は検出されていない。2A区においては、旧石器時代の石器ブロック9基が設定されるとともに、礫群5基・土坑1基が検出された。また、縄文時代の石器ブロック3基が設定されるとともに、集石遺構1基が検出された。これらのうち、石器ブロックについては、前章で述べたとおり、調査中に認識したものではなく、整理作業段階に机上で設定したものである。

遺物については、2A区からは、総点数 3,219 点の土器・石器が出土した。このうち、1層～3層（表土～縄文時代の遺物包含層）からは、FK・CPが 335 点の他、縄文時代の土器（押型文土器他）14 点・石器（製品）5 点、旧石器時代の石器（製品）76 点が出土した。また、4層以下の層（旧石器時代の遺物包含層）からは、FK・CPが 2,395 点の他、旧石器時代の石器（製品）394 点が出土した。

2B区からは、FK・CPが 41 点の他、縄文時代の石器（製品）1 点、旧石器時代の石器（製品）15 点が出土した。また、その他のトレンチからは、FK・CPが計 278 点の他、縄文時代の土器 16 点・石器（製品）4 点、旧石器時代の石器（製品）25 点が出土した。

2 旧石器時代の遺構と遺物

2A区からは、旧石器時代の石器ブロック9基が設定されるとともに、礫群5基・土坑1基が検出された。石器ブロックは、5層の4基が最も多く、4層で3基、15層および16層で1基ずつが設定された。

礫群は、4層から2基、5層から3基が検出された。このうち、SX2001は5層ブロック1と、SX2002およびSX2003は4層ブロック2に関係する。

土坑は、調査区中央付近から5層を掘り下げている最中に出土した。深さ約0.3m、径0.5m前後の楕円形の土坑だが、性格・用途は不明である。

旧石器時代の遺物包含層からは、上記したように、FK・CPが 2,395 点の他、旧石器時代の石器（製品）394 点が出土した。FKおよびCPについては、そのほとんどが旧石器時代の所産であると思われる。石器ブロック内から計 1,782 点（FK・CP1,532 点、製品 250 点）、ブロック外から計 1,007 点（FK・CP144 点、製品 863 点）の石器が出土した。

1) 石器ブロック（図 160～167）

2A区において、4層以下で9基のブロックを設定した。各ブロックにおける石器の点数、石材、器種、接合関係等の情報は各一覧表（表9・10・18）にまとめ、ここでは概要のみを記す。

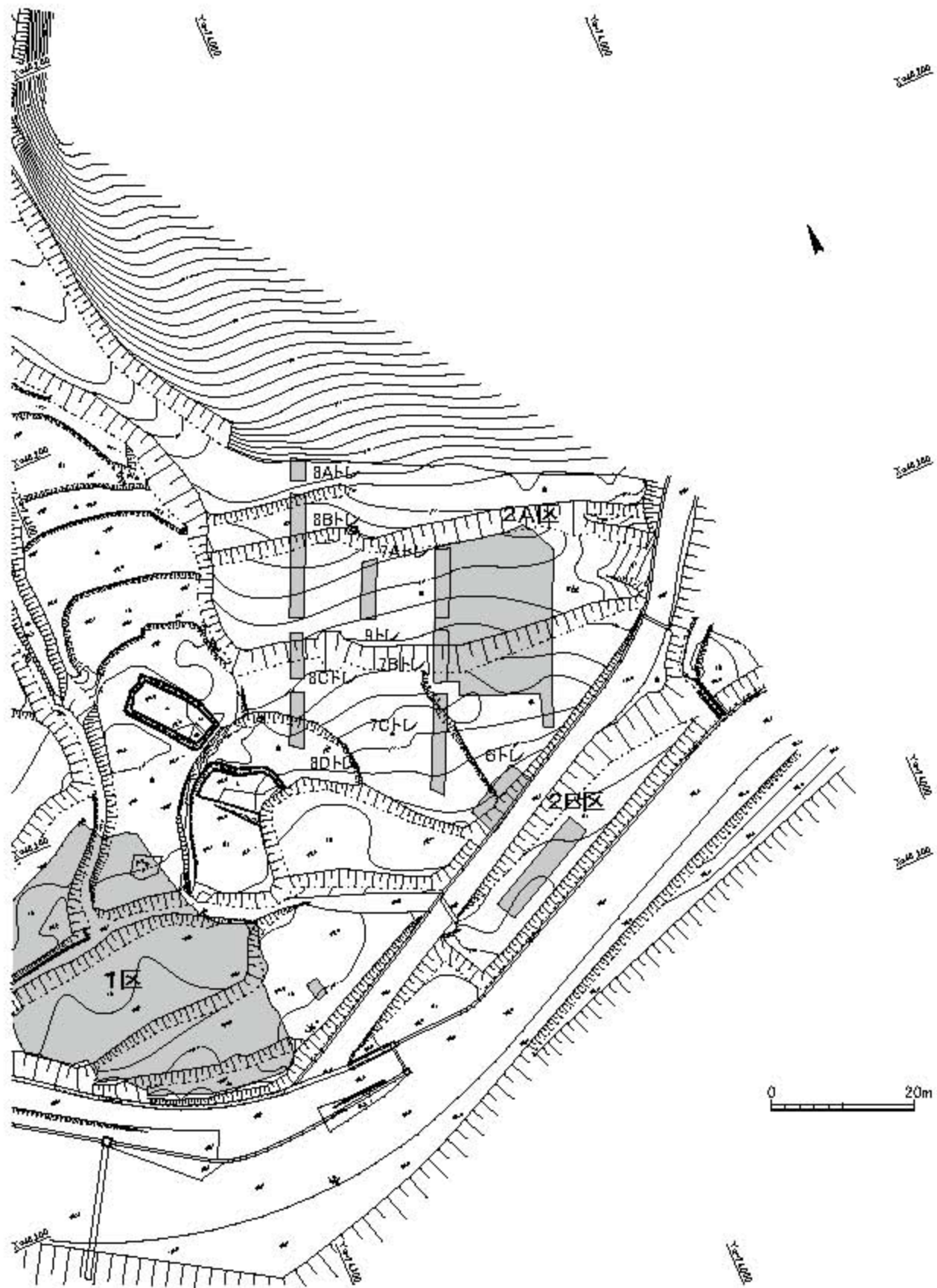
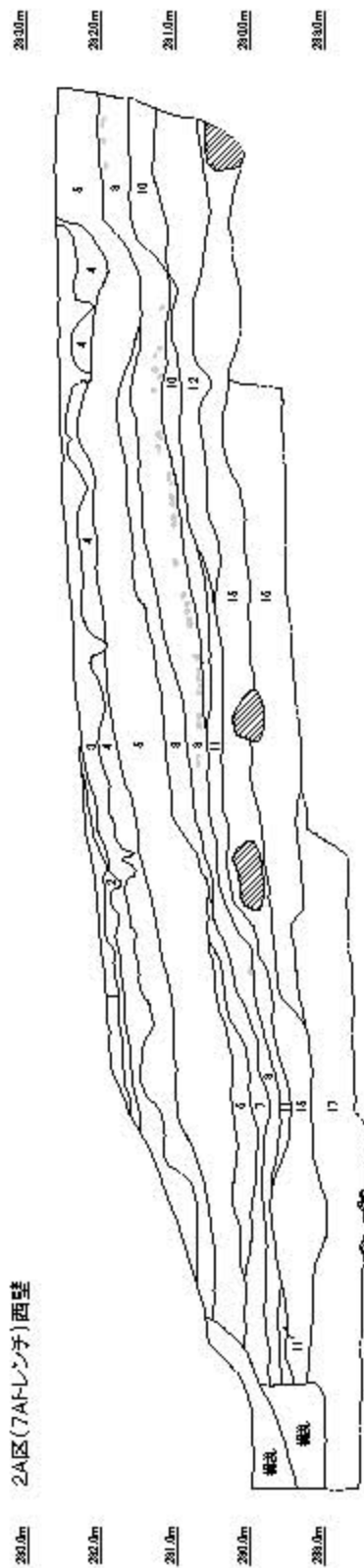
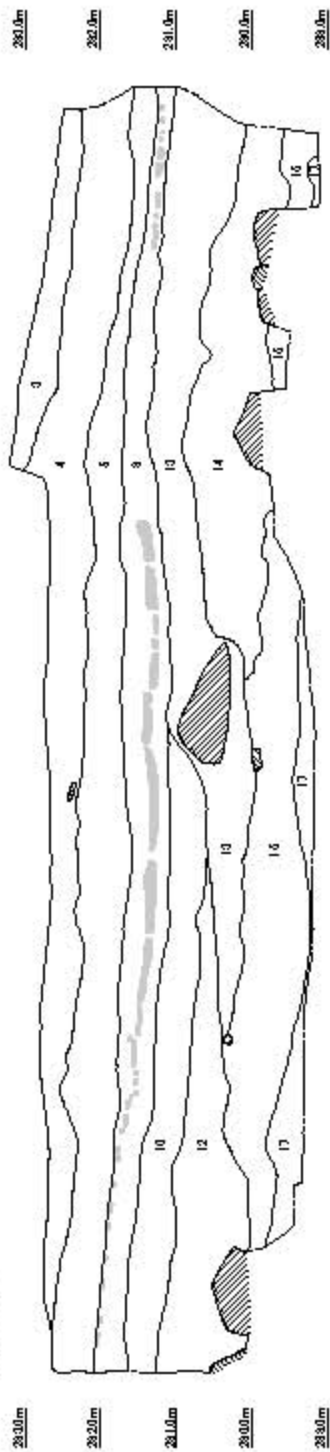


図 121 2A区、2B区の調査範囲および各トレンチ配置 (1/800)

2A区(7Aトレンチ)西壁



2A区北壁



- 1 黒褐色砂質土 (QTR 2/3) 礫土
- 2 黒褐色砂質土 (QTR 6/6) 礫土を含む
- 3 黒褐色砂質土 (QTR 5/3) 礫土を含む
- 4 黒褐色砂質土 (QTR 6/3) 旧石礫を含む
- 5 明褐色砂質土 (QTR 7/6) 5mm程度の白砂粒多く含む、4層との境で旧石礫層出土
- 6 褐色砂質土 (QTR 6/6) 褐色の砂質土塊が下部に散在、旧石礫を含む
- 7 黒褐色砂質土 (QTR 7/3) 3mm程度の白砂粒を含む
- 8 褐色砂質土 (QTR 6/6) 風化礫粒による
- 9 明褐色砂質土 (QTR 7/4) 明褐色土 (QTR 6/6)、明褐色砂質土 (QTR 6/3) 含む、AT含む
- 10 明褐色砂質土 (QTR 6/3)
- 11 におい褐色砂質土 (QTR 7/4) 褐色砂質土 (QTR 6/3) 含む
- 12 におい黄褐色砂質土 (QTR 6/4)
- 13 明褐色砂質土 (QTR 6/1) 3mm程度の白砂粒多く含む
- 14 明褐色砂質土 (QTR 7/1) 2mm程度の砂粒と径1mm以下の礫砂粒の互層
- 15 明褐色砂質土 (QTR 6/4) - におい、黄褐色砂質土 (QTR 6/4) 礫粒より、遺物出土
- 16 明褐色砂質土 (QTR 6/3) 5mm程度の白砂粒が散在、遺物出土
- 17 黒褐色砂質土 (QTR 6/3) 5mm程度の砂層と互層

図 122 2A区 土層 (1/150)



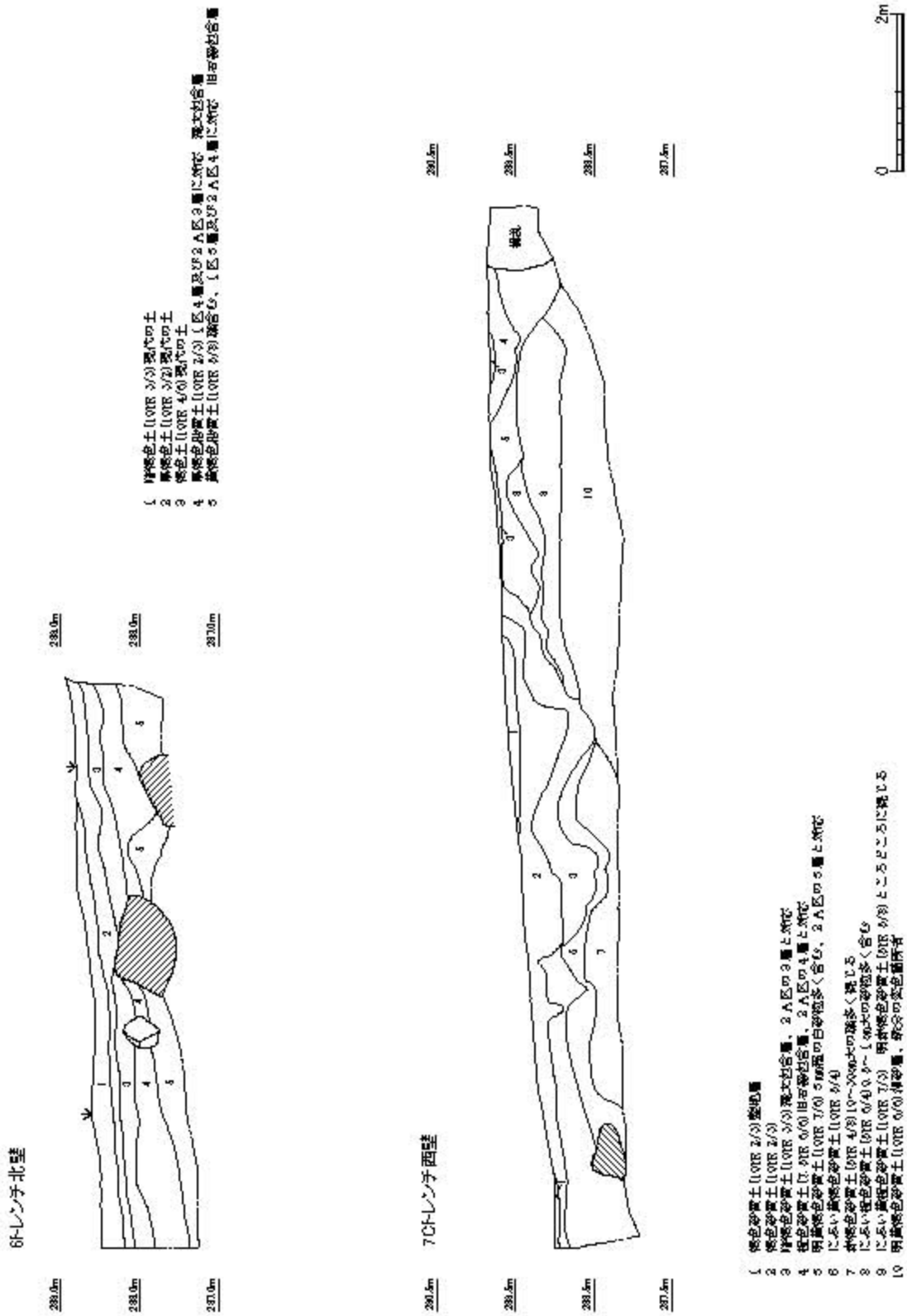
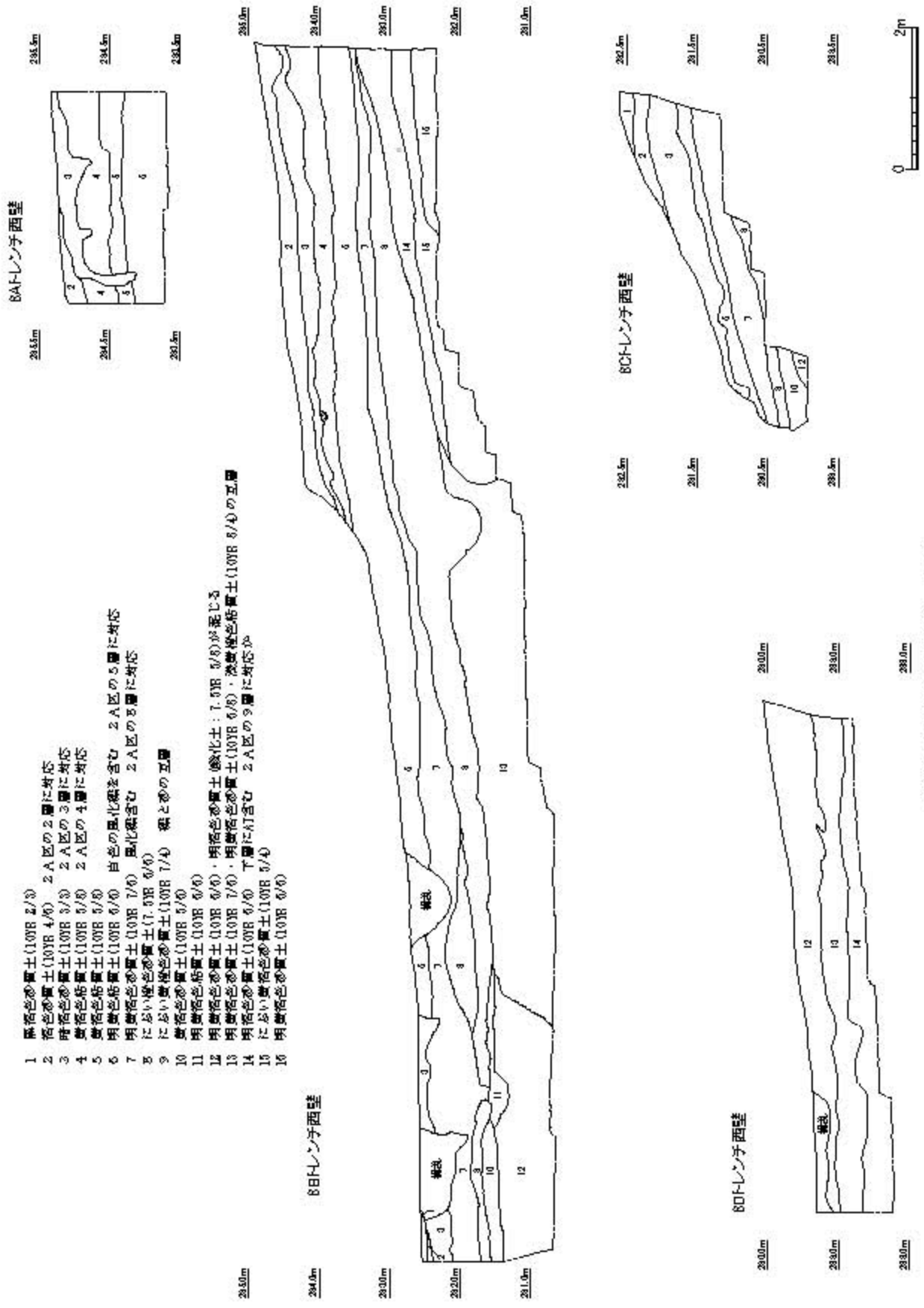


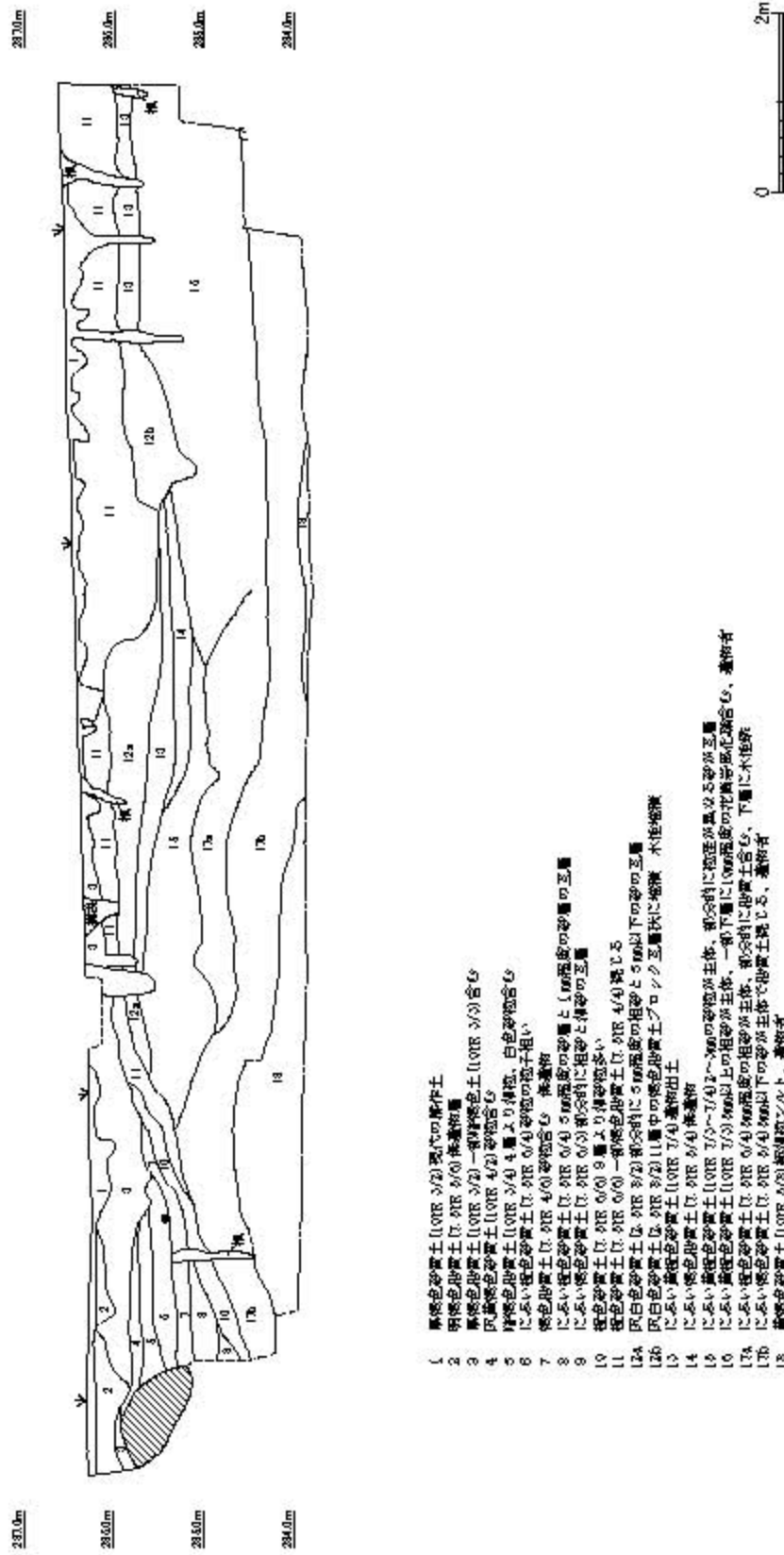
図123 各トレンチ 土層1 (1/80)



- 1 黒褐色砂質土(10YR 2/3)
- 2 褐色砂質土(10YR 4/6) 2 A 区の 2 層に对应
- 3 暗褐色砂質土(10YR 5/3) 2 A 区の 3 層に对应
- 4 黄褐色粘質土(10YR 5/6) 2 A 区の 4 層に对应
- 5 黄褐色粘質土(10YR 5/6)
- 6 明黄褐色粘質土(10YR 6/6) 白色の風化帯を含む 2 A 区の 5 層に对应
- 7 明黄褐色砂質土(10YR 7/6) 風化帯を含む 2 A 区の 8 層に对应
- 8 におい黄色砂質土(10YR 8/6)
- 9 におい黄褐色砂質土(10YR 7/4) 礫と砂の互層
- 10 黄褐色砂質土(10YR 6/6)
- 11 明黄褐色粘質土(10YR 6/6)
- 12 明黄褐色砂質土(10YR 6/6)・明黄褐色砂質土(10YR 5/6)が混じる
- 13 明黄褐色砂質土(10YR 7/6)・明黄褐色砂質土(10YR 6/6)・淡黄褐色粘質土(10YR 8/4)の互層
- 14 明黄褐色砂質土(10YR 6/6) 下層に灯を含む 2 A 区の 9 層に对应か
- 15 におい黄褐色砂質土(10YR 5/4)
- 16 明黄褐色砂質土(10YR 6/6)

図 124 各トレンチ 土層 2 (1/80)

2B区西壁



- 1 黄褐色砂質土 (OIR 3/2) 洞穴の層状土
- 2 明褐色砂質土 (IR 3/0) 雑草層
- 3 黄褐色砂質土 (OIR 3/2) 一般黄褐色土 (OIR 3/3) 含む
- 4 灰黄褐色砂質土 (OIR 4/2) 砂質含む
- 5 暗褐色砂質土 (OIR 3/4) 4層入り埴輪、白砂質砂質含む
- 6 におい黄褐色砂質土 (IR 0/4) 砂質の硝子相い
- 7 褐色砂質土 (IR 4/0) 砂質含む、雑草層
- 8 におい黄褐色砂質土 (IR 0/4) 500程度の砂層と (100程度の砂層) の互層
- 9 におい黄褐色砂質土 (IR 0/0) 9層入り埴輪が多い
- 10 黄褐色砂質土 (IR 0/0) 一般黄褐色砂質土 (IR 4/4) 混じる
- 11 黄褐色砂質土 (IR 0/0) 一般黄褐色砂質土 (IR 4/4) 混じる
- 12A 灰白砂質土 (IR 3/2) 部分的に500程度の相砂と500以下の砂の互層
- 12B 灰白砂質土 (IR 3/2) (1) 層中の黄褐色砂質土ブロック互層状に地層、水産物層
- 13 におい黄褐色砂質土 (OIR 7/4) 雑草出土
- 14 におい黄褐色砂質土 (IR 3/4) 雑草層
- 15 におい黄褐色砂質土 (OIR 7/0 ~ 7/1) ~ 300の砂層が主体、部分的に硝子が混ざる砂質互層
- 16 におい黄褐色砂質土 (OIR 7/3) 300以上の相砂が主体、一部下層に(100程度の花崗岩風化層) 含む、雑草層
- 17A におい黄褐色砂質土 (IR 0/4) 300程度の相砂が主体、部分的に砂質土含む、下層に水産物
- 17B におい黄褐色砂質土 (IR 3/4) 300以下の砂が主体で砂質土混じる、雑草層
- 18 黄褐色砂質土 (OIR 3/0) 埴輪層ノット、雑草層

図 125 2B区 土層 (1/80)

4層ブロック1 (図160)

調査区の北東端に位置するブロックで、やや広い範囲に石器が散在する。359点の石器からなるブロックで、このうち75% (269点) が安山岩製である。ブロック内だけで2組、他ブロック・他層との間に6組、計8組の接合資料があり、このうち5組が剥離面接合である (うち2組にCR含む)。また、ブロック内だけで認定された母岩はないが、他ブロックにまたいで認定された18母岩の石器が含まれる。この18母岩のうち、17母岩は、ブロック2との間で認定されたものであり (他ブロックの石器を含む)、ブロック2との関係が濃密であることを表しているといえよう。図178-7・13は安山岩製の剥片尖頭器。図180-9は黒曜石製の横長剥片素材の二側縁加工ナイフ形石器。図180-10は安山岩製の国府型ナイフ形石器。図183-4は黒曜石製の石核。図179-5は黒曜石製の横長剥片素材の角錐状石器。図180-4・12、図181-1は今峠型ナイフ形石器。図180-8は黒曜石製の厚手のナイフ形石器。図182-4・6は黒曜石製のスクレーパー。図182-3・12は安山岩製のスクレーパー。

4層ブロック2 (図161)

調査区の北端に位置する。このブロックの中央にはSX2003礫群が、さらに、その脇には、狭い範囲に石器が集中するSX2002礫群がそれぞれ位置しており、ブロックとこれら礫群とは不可分の関係にあると考えられる。613点の石器からなるブロックで、このうち70% (431点) が安山岩製である。ブロック内および他層・他ブロックとの間に計19組の接合資料があり、このうち16組が剥離面接合である (うち4組にCR含む)。ブロック内だけで認定された母岩はないが、他層・他ブロック・ブロック外にまたいで認定された25母岩の石器が含まれる。この25母岩のうち、17母岩はブロック1との間で認定されたものであり (他ブロックの石器を含む)、ブロック1との関係が濃密であることがうかがえる。図180-7は安山岩製の今峠型ナイフ形石器。図183-1・2は黒曜石製の石核。図178-6・8・12、図179-1・3は安山岩製の剥片尖頭器。図178-5・9・10は黒曜石製の剥片尖頭器。図179-7・9・10は安山岩製の角錐状石器。図180-3・6は安山岩製のナイフ形石器。図181-4・7は黒曜石製の台形石器。図182-2・11は黒曜石製のスクレーパー。図182-9・13・14は安山岩製のスクレーパー。図182-5はアプライト製のスクレーパー。図181-10は花崗岩製の敲石。図181-9は安山岩製の剥片で、剥片尖頭器素材か。図181-8は黒曜石製の彫器。

4層ブロック3 (図162)

調査区の南東端近くに位置する。5層4ブロックとの間に2組の接合資料がある (いずれもAnFK + FK)。ブロック内で認定された母岩はないが、ブロック2にまたいで認定された1母岩 (Ob母岩No.10) および5層ブロック4とまたいで認定された1母岩 (An母岩No.9・17) の石器が含まれる。図180-16は、安山岩製の今峠型ナイフ形石器。図182-8は黒曜石製のスクレーパー。

5層ブロック1 (図163)

調査区の北東端に位置するブロックで、SX2001礫群を囲むように石器が分布する。186点の石器からなるブロックで、このうち75% (140点) が安山岩製である。ブロック内では、特にSX2001礫群の北東側に石器が集中する。ブロック内で3組の接合資料がある他、他ブロック・ブロック外・他層との間に計10組の接合資料がある。これら計13組のうち、10組は剥離面接合である (うち4組にCR含む)。ブロック内だけで認定された母岩はないが、他層・他ブロックにまたいで認定された12母岩の石器が含まれる。図185-7は安山岩製の今峠型ナイフ形石器。図184-11は安山岩製で、角錐状石器としたが、剥片尖頭器としたほうがよいのかもしれない。図185-9はアプライト製の石核。図184-7は安山岩製の台形石器。図184-9は黒曜石製の台形石器。図186-3は安山岩製のスクレーパー。

5層ブロック2（図163）

調査区北端、ブロック1の西隣に位置する。135点の石器からなるブロックで、このうち88%（119点）が安山岩製である。ブロック内、ブロック外、他ブロックとの間に計6組の接合資料があり、うち5組は剥離面接合である（1組にCR含む）。ブロック内で1母岩（An母岩No.15）が認定された他、他層・他ブロックにまたいで認定された8母岩の石器が含まれる。図185-1・2・6は、安山岩製の今峠型ナイフ形石器。図184-1は黒曜石製の剥片尖頭器。図186-7は安山岩製の彫器。図179-1は安山岩製の二次加工剥片としたが剥片尖頭器か。

5層ブロック3（図164）

調査区北西端に位置する。石器の密集度は、さほど高くない。ブロック内で接合資料が1組あるが、折れ面接合である（An.FK + FK）。ブロック内で認定された母岩はないが、4層ブロック3と5層ブロック4にまたいで認定された1母岩（An母岩No.17）の石器が含まれる。図185-5は安山岩製の今峠型ナイフ形石器。図184-4・6は安山岩製の剥片尖頭器。図186-1・4は安山岩製のスクレーパー。図186-5は流紋岩製のスクレーパー。

5層ブロック4（図165）

調査区南西端に位置する。62点の石器からなるブロックで、このうち84%（52点）が安山岩製である。石器の密集度は、さほど高くない。ブロック内で4組の接合資料がある他、4層ブロック3との間に2組の接合資料がある。ブロック内での接合資料4組のうち、剥離面接合は1組である（An.FK + スク）。ブロック内で1母岩（An母岩No.16）が認定された他、他ブロック・他層にまたいで認定された4母岩の石器が含まれる。図185-8は安山岩製のナイフ形石器。図186-6は安山岩製のスクレーパー。

15層ブロック1（図166）

調査区南西端に位置する。16層ブロック1と平面的に重なる。184点の石器からなるブロックで、このうち81%（149点）が黒曜石製である。石器は、ブロックの西側に偏って分布する。ブロック内で3組および16層ブロック1との間に3組、計6組の接合資料があり、このうち2組が剥離面接合である（うち1組はCR含む）。16層ブロック1にまたいで認定された2母岩（Ob母岩No.13・14）がある。図188-8・9は、黒曜石製の彫器。図188-1～3は黒曜石製のナイフ形石器。図188-4は黒曜石製の台形石器。図188-6は安山岩製のスクレーパー。図188-5・7は黒曜石製のスクレーパー。

16層ブロック1（図167）

調査区南西端に位置する。15層ブロック1と平面的に重なる。170点の石器からなるブロックで、このうち88%（149点）が黒曜石製である。石器は、ブロックの北西側にやや偏って分布する。ブロック内で3組および15層ブロック1との間に3組、計6組の接合資料があり、このうち2組が剥離面接合である。ブロック内で2母岩（Ob母岩No.15・16）が認定された他、15層ブロック1にまたいで認定された1母岩（Ob母岩No.13・14）の石器が含まれる。図189-1・3は、黒曜石製の二側縁加工ナイフ形石器。図189-8は黒曜石製の彫器。図189-5は黒曜石製の台形石器。図189-10・12は黒曜石製のスクレーパー。図189-12は黒曜石製の二次加工剥片。

2) 礫群（図172～174）

地蔵平遺跡2A区から、5基の礫群が検出された。5基のうち4基は礫が比較的狭い範囲に集中するが、SX2003だけは礫が広い範囲に分散する。

SX2001 (図172)

調査区の北東隅に近く、5層石器ブロック1の範囲内に位置する礫群で、5層を掘り下げている最中に出土した。31点の礫で構成され、おおよそ2.0×1.5mの範囲に礫が集まる。礫のうち、角礫は23点、円礫は5点で（不明4点）、角礫の比率が高い。また礫のうち29点（93.5%）が花崗岩である。礫の平均重量は965.4g。破損礫は14点（45.1%）である。破損礫については接合できたものはない。また、礫のうち25点については赤化しており、このうち割れ面が赤化した礫は11点である。なお、礫のうち、25点（80.6%）に煤等の黒色付着物が認められる。礫の赤化および黒色付着物を考えると、火の影響を受けたものと考えられるが、礫が著しく集まる箇所はなく、全体的にばらばらと点在していることから、この場での火の使用を想定してよいのかどうかは不明である。

SX2002 (図172)

調査区の北端近く、4層石器ブロック2の範囲内に位置する礫群で、4層を掘り下げている最中に出土した。22点の礫で構成され、おおよそ1.4×1.0mの範囲に礫が集まる。礫のうち、角礫は20点、円礫は2点で角礫の比率が高い。礫のうち、11点（50%）が花崗岩である。礫の平均重量は150.1gで、比較的軽い礫が多い。破損礫は17点（77.2%）で、破損礫のうち4点（2組）について接合できた。接合された2組は、いずれも近接して位置している。また、礫のうち15点については赤化しており、このうち割れ面が赤化した礫は12点である。なお、礫のうち16点（72.7%）に煤等の黒色付着物が認められる。礫の赤化および黒色付着物については、火の影響を受けたものと考えられる。なお、石器ブロックの項に記したが、この礫群は、SX2002礫群とともに、4層石器ブロック2の形成に関係するものと考えられる。

SX2003 (図173)

調査区の北端近く、4層石器ブロック2の範囲内に位置する小型の礫群で、4層を掘り下げている最中に出土した。87点の礫で構成され、おおよそ5.5×4.5mの範囲に集まる。礫のうち、角礫は71点、円礫は11点で（不明5点）、大半を角礫が占める。礫のうち64点（73.6%）が花崗岩である。礫の平均重量は460.7gである。破損礫は62点（71.3%）で、破損礫のうち12点（6組）について接合できた。接合できた礫は、1組を除き5組は近接して出土している。また、礫のうち、79点については赤化しており、このうち55点については割れ面が赤化している。なお、礫のうち71点（81.6%）に煤等の黒色付着物が認められる。礫群は全体的にばらばらと散在しているように見えるが、中心付近の4.0×2.0m前後の範囲に若干ではあるが集中している。赤化した礫や黒色付着物の認められる礫の比率が高いことから、火を使用したものと考えられる。なお、石器ブロックの項に記したが、この礫群は、SX2003礫群とともに、4層石器ブロック2の形成に関係するものと考えられる。

SX2004 (図174)

調査区中央、やや西寄りに位置する礫群で、5層を掘り下げている最中に出土した。8点の礫で構成される小型の礫群で、約2.0×0.5mの範囲に散在する。礫のうち7点が角礫、また礫のうち7点が花崗岩である。礫の平均重量は978.3gで、比較的重たい礫で占められている。破損礫は2点（25%）で、接合できたものはない。礫のうち、7点が赤化しており、このうち割れ面が赤化しているのは2点である。また、礫のうち、煤等の黒色付着物が認められるものは7点（87.5%）である。赤化した礫、黒色付着物の認められる礫の比率が高く、火の使用を想定しておくべきであろう。

SX2005（図174）

調査区中央、やや南西寄りに位置する礫群で、5層を掘り下げている最中に出土した。12点の礫で構成される礫群で0.7×0.6mの狭い範囲に集中して分布する。12点すべてが花崗岩で、11点が角礫である（残りの1点は不明）。礫の平均重量は111.7gで比較的軽い礫で占められている。破損礫は8点（66.7%）で、接合できたものはない。礫のうち11点が赤化しており、このうち7点は割れ面が赤化している。また、礫のうち、煤等の黒色付着物が認められるものは11点（91.7%）である。赤化した礫、黒色付着物の認められる礫の比率が高く、火の使用を想定しておくべきであろう。

3) 土坑

SK2008（図175）

調査区中央、やや南東寄りから出土した土坑で、5層を掘り下げている最中に出土した。0.55×0.45mの楕円形で、深さは約0.3mである。底部は平坦、壁は垂直に立ち上がる。土坑の埋土は、黒褐色土および褐灰色の砂質土で、遺物・炭化物等は出土しなかった。土坑埋土の黒褐色土は、一見、3層の縄文時代の包含層のようにもみえるが、3層のような粘質土ではない。また、3層あたりから検出されていたわけではなく、5層（黄褐色土）の掘削中に突然現れたことから、旧石器時代の土坑と考えるべき。底部の中央には窪み等はない。落とし穴状遺構の可能性もあるが、性格・用途は不明である。

3 縄文時代の時代の遺構と遺物

縄文時代の遺構としては、2A区の3層において3基の石器ブロックが設定されるとともに、同じく2A区の3層から集石遺構1基が検出された。遺構以外からは、石器9点、土器28点が出土した（接合作業後の点数）。

1) 石器ブロック（図157～159）

石器ブロックは、3層において3基が設定された。前章で述べたとおり、3層は縄文時代の遺物包含層であるが、遺物の出土状況（出土数・分布等）が、旧石器時代の遺物包含層である4層の様相と類似することから、旧石器時代の遺物包含層と同様の方法により、石器ブロックを設定した。これらブロックには、旧石器時代～縄文時代の遺物が混在するのだが、旧石器時代の遺物については、下層である5層から移動したものととも考えられる。ちなみに、3層の時期については、おおよそ縄文時代草創期～早期のものだと考えられる。

3層ブロック1（図157）

調査区の南西端に位置するブロックで、ブロックの中にSX2006集石遺構を包含する。4層のブロック3の直上に位置する。74点の石器からなるブロックで、このうち51%（38点）が安山岩製である。4層ブロック1との間に1組の接合資料がある（AnFK + FK）。他ブロック・他層にまたいで認定された3母岩の石器が含まれる。図177-1は、安山岩製で剥片尖頭器の先端の破片か。図177-5は黒曜石製のナイフ形石器で一側縁に挟りを入れる。

3層ブロック2（図158）

調査区の中央から北側にかけて広範囲に広がるブロックである。153点の石器からなるブロックで、このうち51%（79点）が安山岩製である。他ブロックおよび他層との間に2組の接合資料がある（いずれもAnFKのみで構成）。他層・他ブロックにまたいで認定された5母岩の石器が含まれる。図177-2は安山岩製の剥片尖頭器。図177-3は黒曜石製の剥片尖頭器。2・3ともやや歪で、茎部の成形がやや甘い。図177-8は安山岩製のスクレー

パー。

3層ブロック3 (図159)

調査区西端に位置するブロックである。55点の石器からなるブロックで、このうち56% (31点) が黒曜石製である。他ブロックおよび他層との間に2組の接合資料がある(いずれも AnFKのみで構成)。また、他層・他ブロックにまたいで認定された3母岩の石器が含まれる。図177-6は黒曜石製の台形石器。

2) 集石遺構

SX2006 (図176)

調査区の南東端近くに位置しており、3層から出土した。約2.0×1.6の不定形の窪みの中に礫が集まる。136点の礫からなり、そのうち99点が花崗岩である。礫の平均重量は、440.5gである。礫のうち113点(97.8%)が赤化しており、このうち78点については割れ面が赤化している。また、礫のうち113点(97.8%)については、煤等の黒色付着物が認められた。赤化した礫もしくは黒色付着物が認められる礫の比率が高いことから、火の使用を想定するべきであろうが、灰化物等は確認されていない。

3) その他の遺物

前述したとおり、石器9点、土器28点が出土したが、遺構に伴うものはない。石器は、尖頭器と石匙で、石鏃は出土していない。縄文土器は、トレンチから出土した5点については1層および3層から、2A区から出土した23点については、すべて2層および3層から出土した。これらのほとんどは微細な破片で型式等の詳細は不明である。かろうじてではあるが、文様等が判るものとして、8Aトレンチ出土の資料を図示しておく(図216-9)。

図216-9は、轟B式と考えられ、全体の器形は不明だが、屈曲形である。刻目隆帯文が貼り付けられ、器面調整は、外面が条痕、内面が工具状のものによるナデが施される。

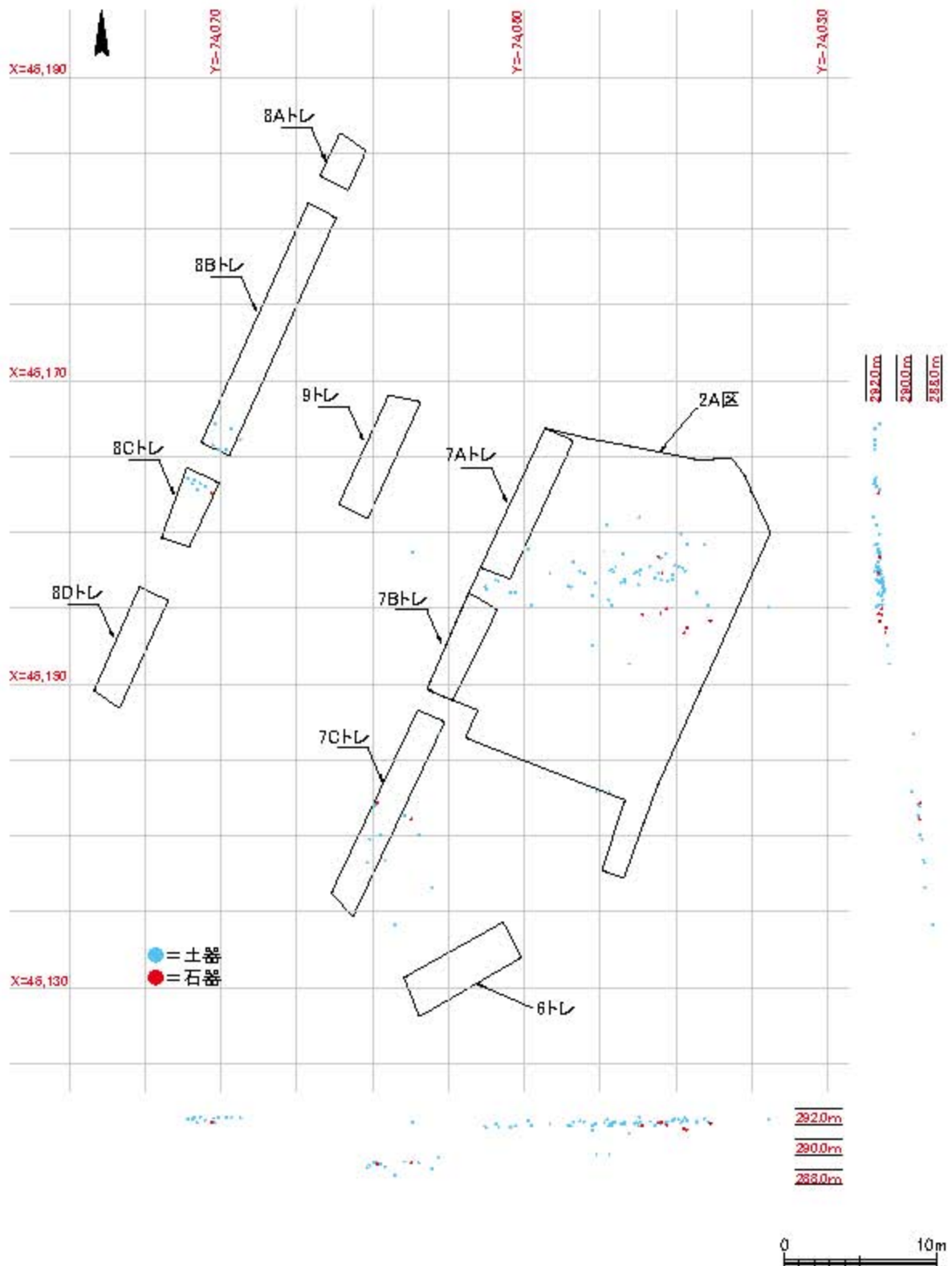


図 126 2A 区・各トレンチ 2層（2層に対応する層） 土器・石器別の分布（1/400）

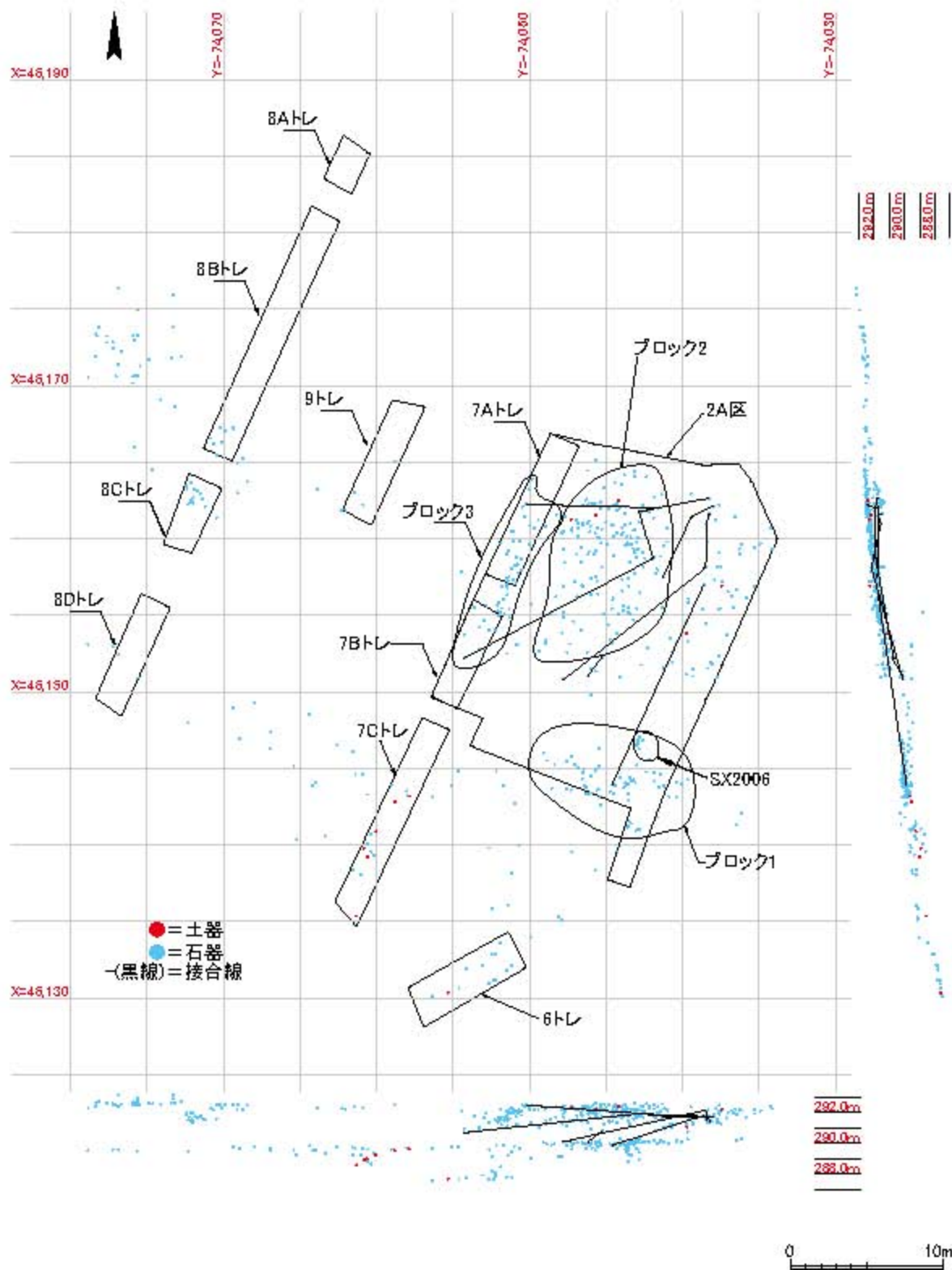


図 127 2A 区・各トレンチ 3 層 (3 層に対応する層) 土器・石器別の分布 (1/400)

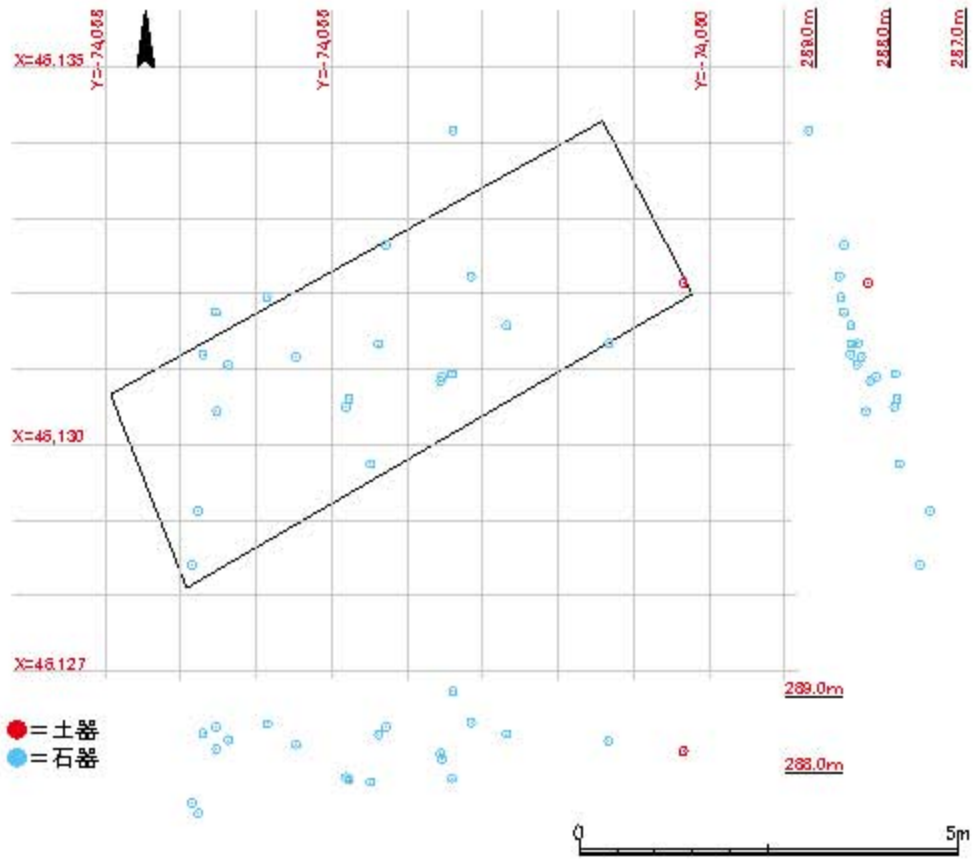


図 128 6トレ1層（1層に対応する層） 土器・石器別の分布（1/100）

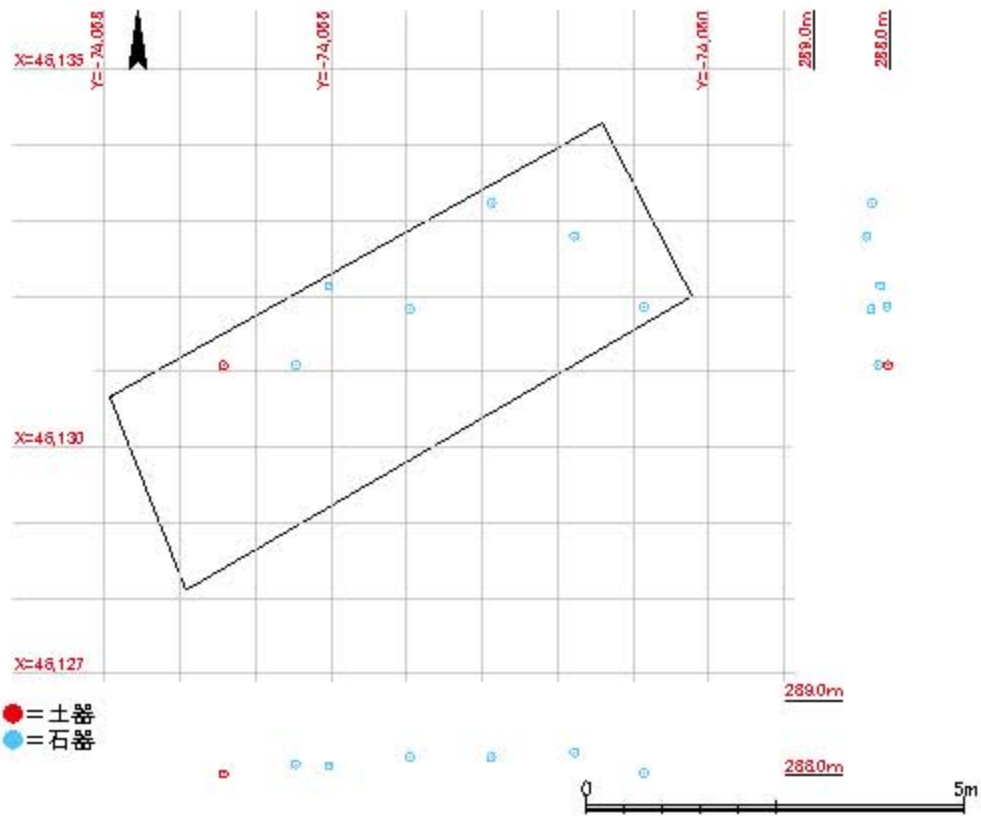


図 129 6トレ3層 土器・石器別の分布（1/100）

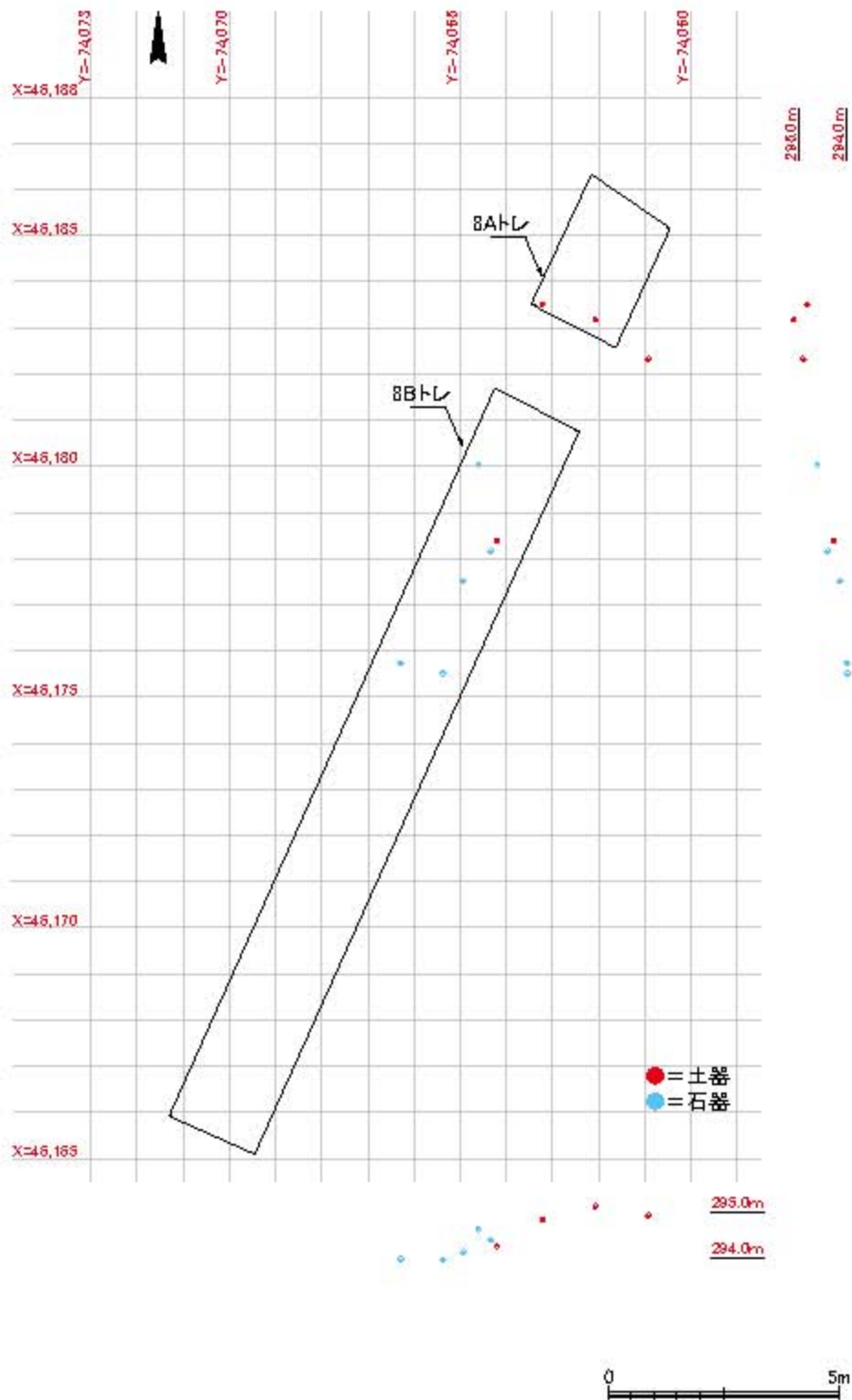


図130 8Aトレ・8Bトレ1層 土器・石器別の分布 (1/150)

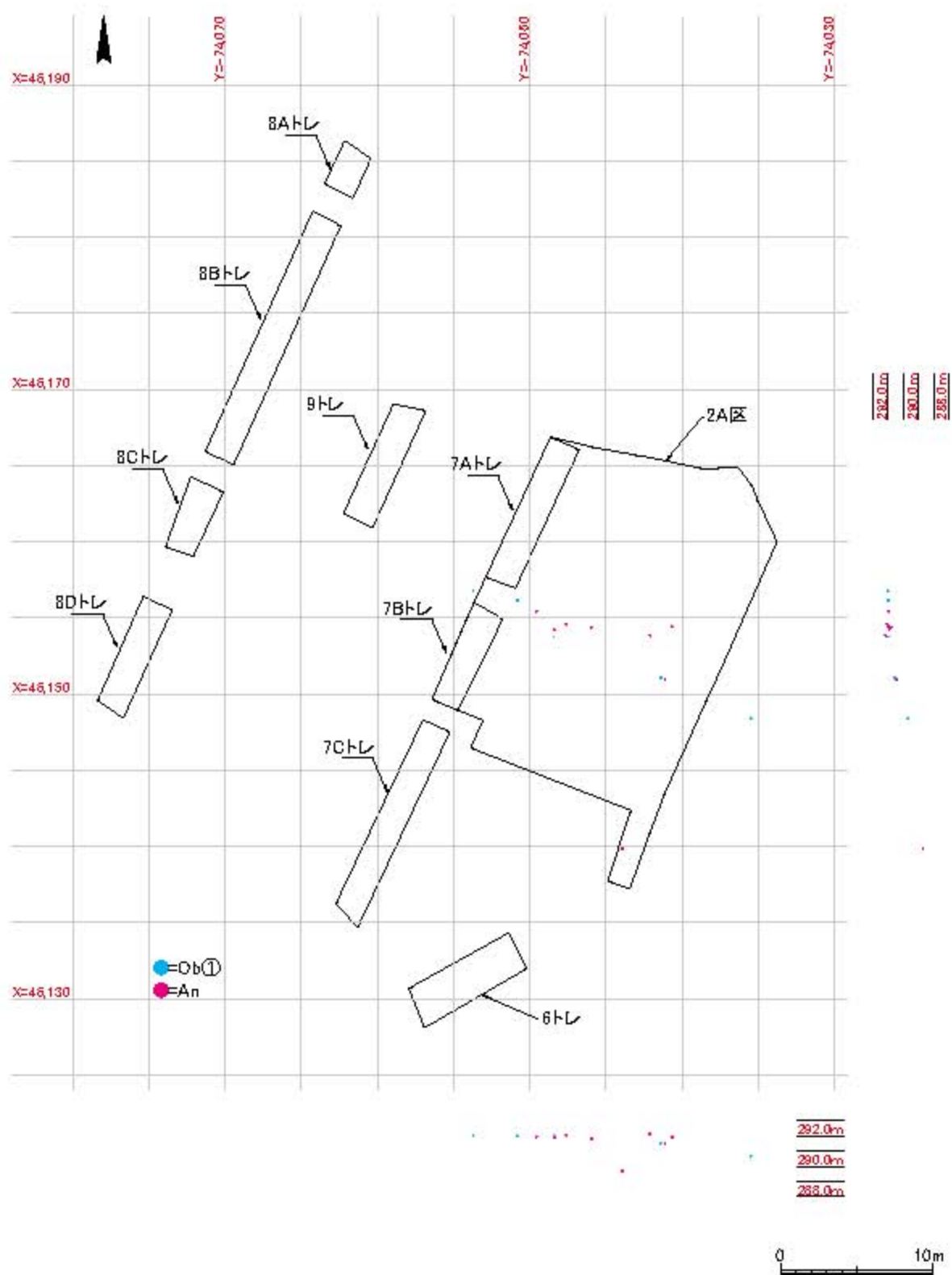


図 131 2A 区 1 層（1 層に対応する層） 石材・産地別の石器の分布（1/400）

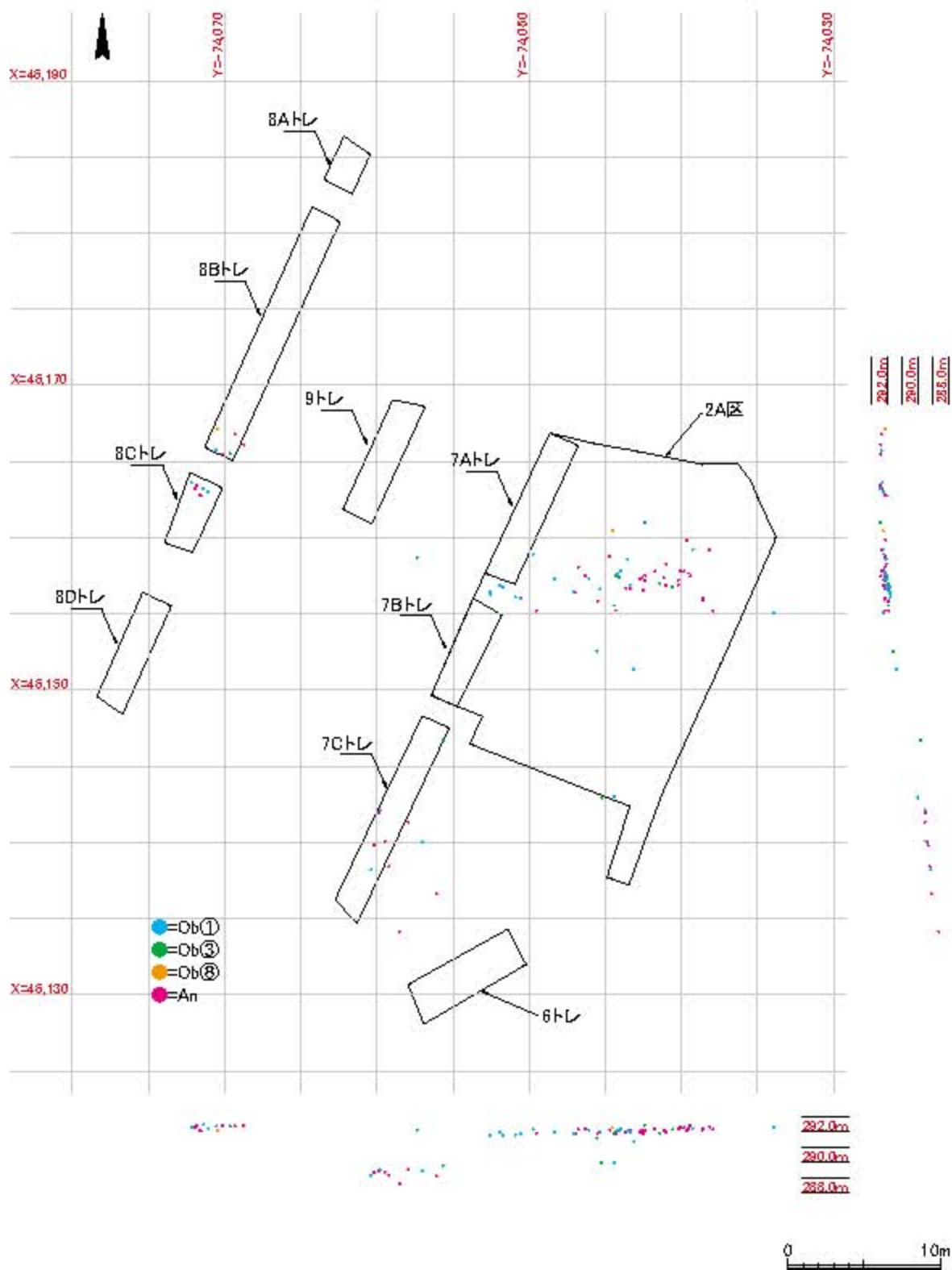


図 132 2A区・各トレンチ2層（2層に対応する層）石材・産地別の石器の分布（1/400）

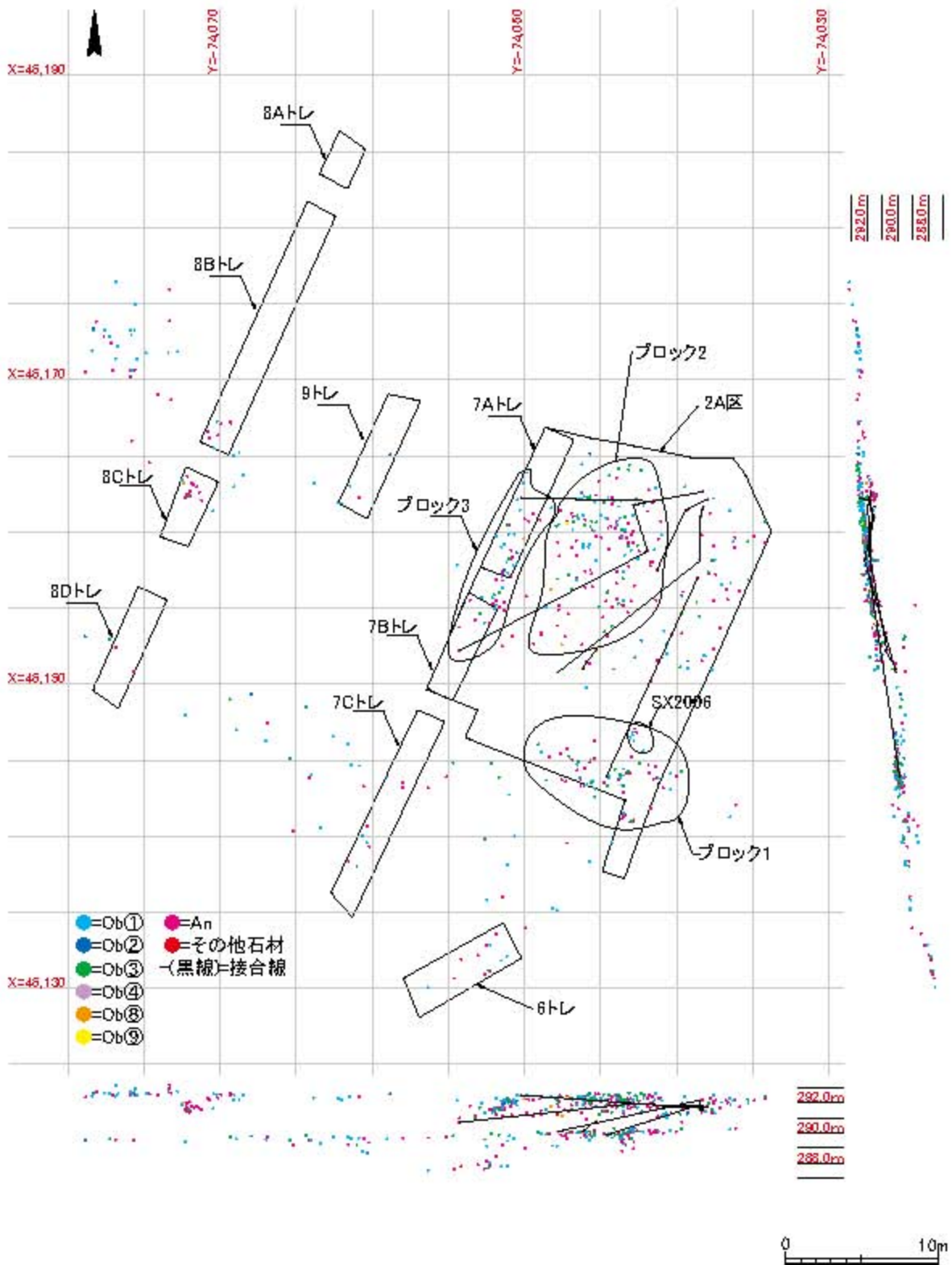


図 133 2A 区・各トレンチ 3 層（3 層に対応する層） 石材・産地別の石器の分布（1/400）

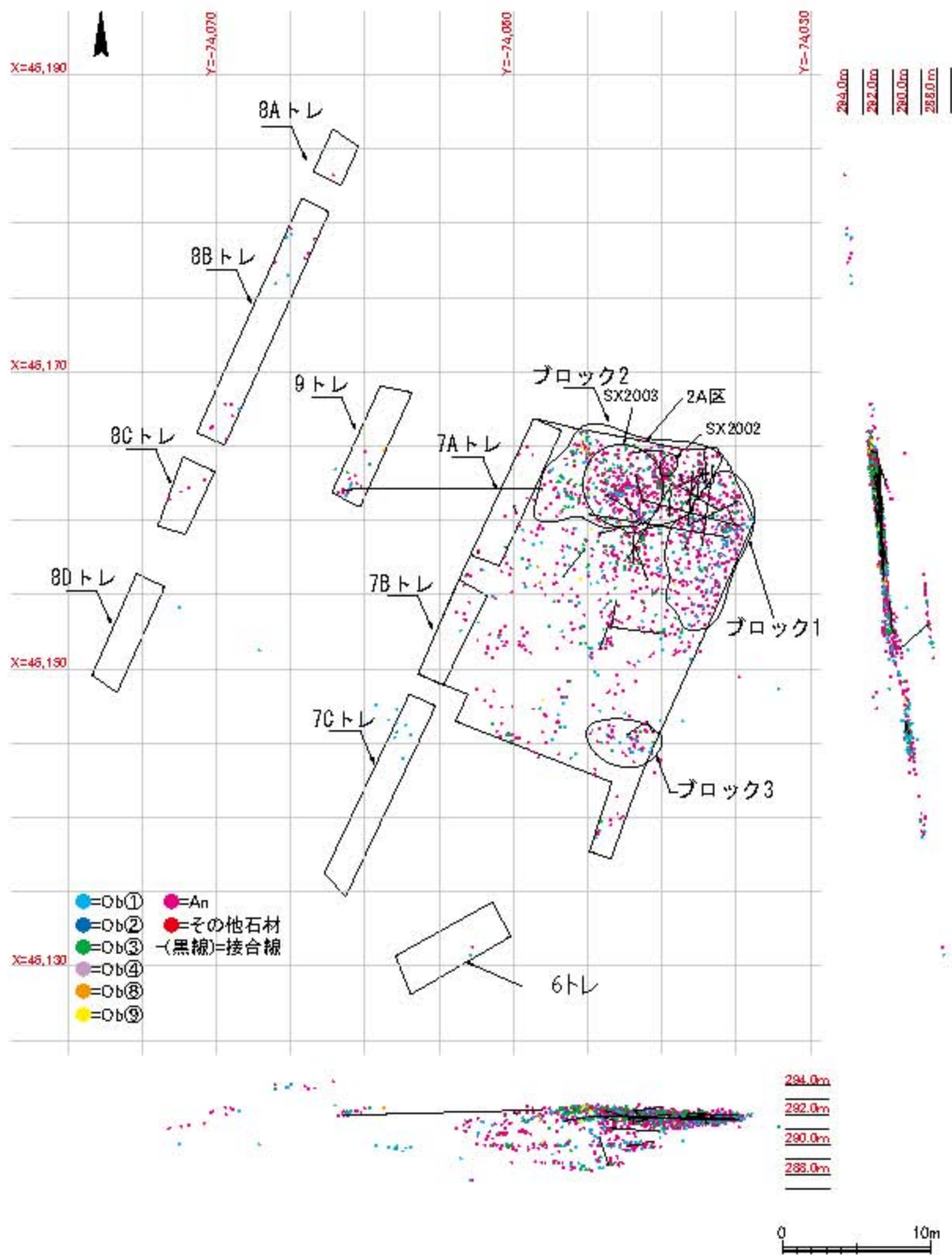


図 134 2A 区・各トレンチ4層（4層に対応する層） 石材・産地別の石器の分布（1/400）

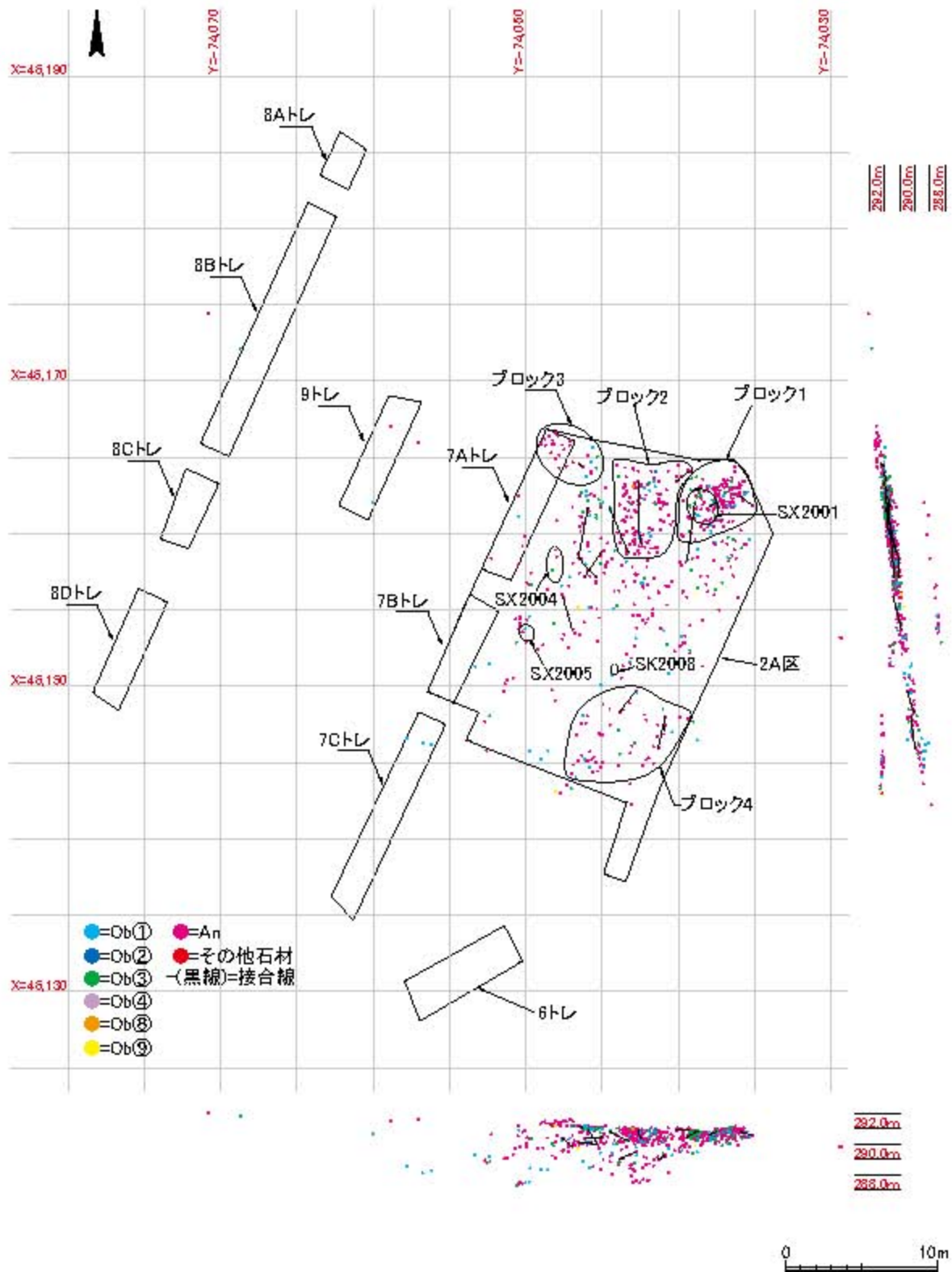


図 135 2A区・各トレンチ5層（5層に対応する層）石材・産地別の石器の分布（1/400）

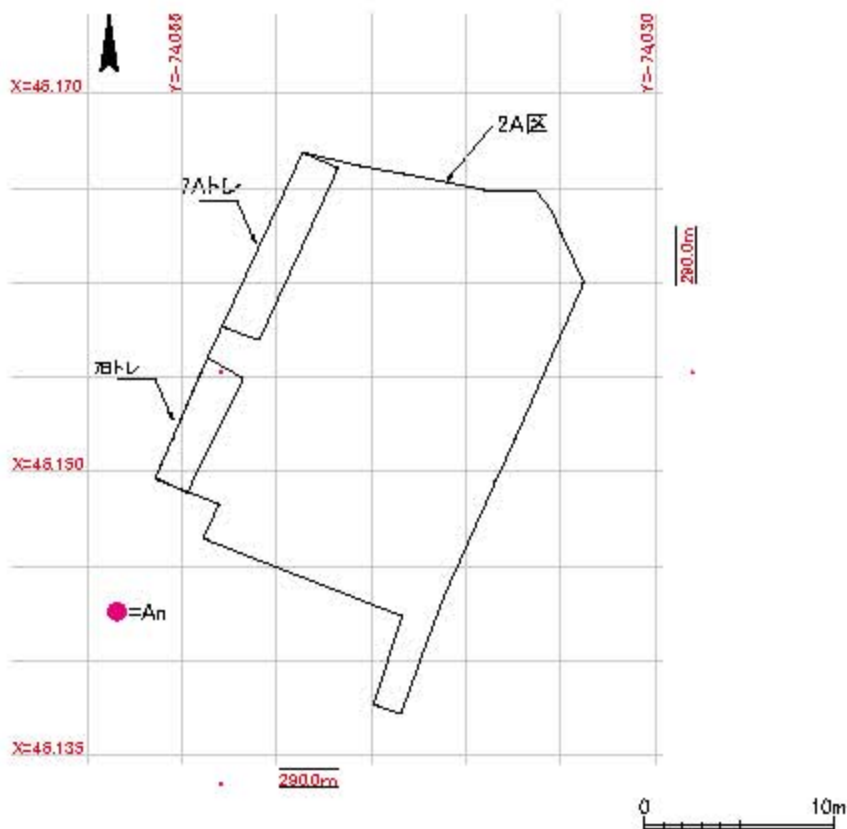


図 136 2A 区6層 石材・産地別の石器の分布 (1/400)

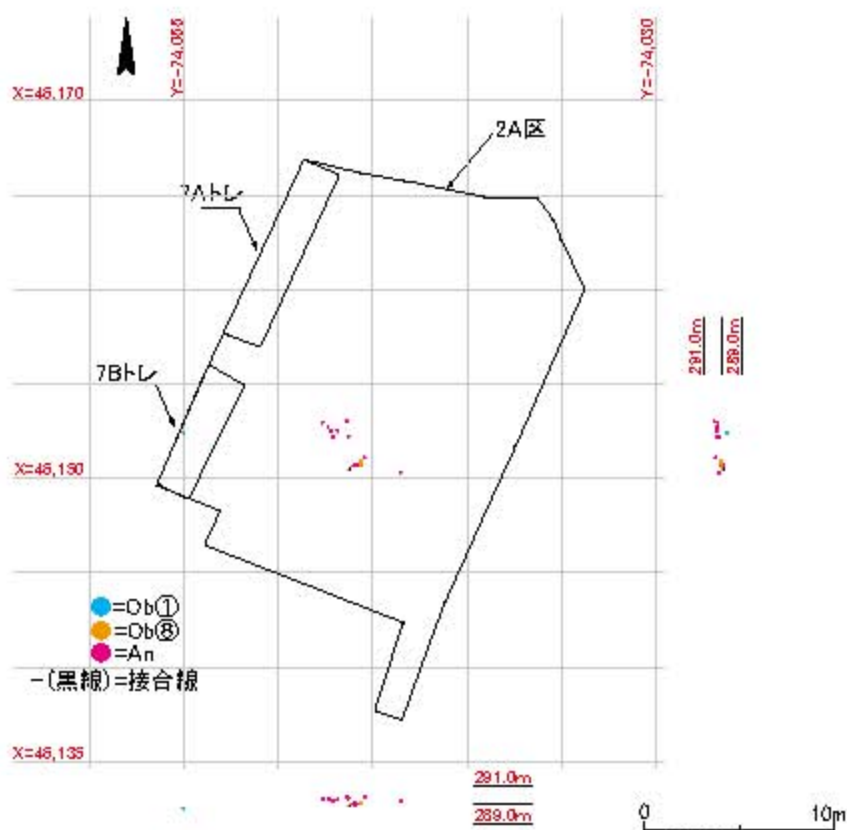


図 137 2A 区7層 石材・産地別の石器の分布 (1/400)

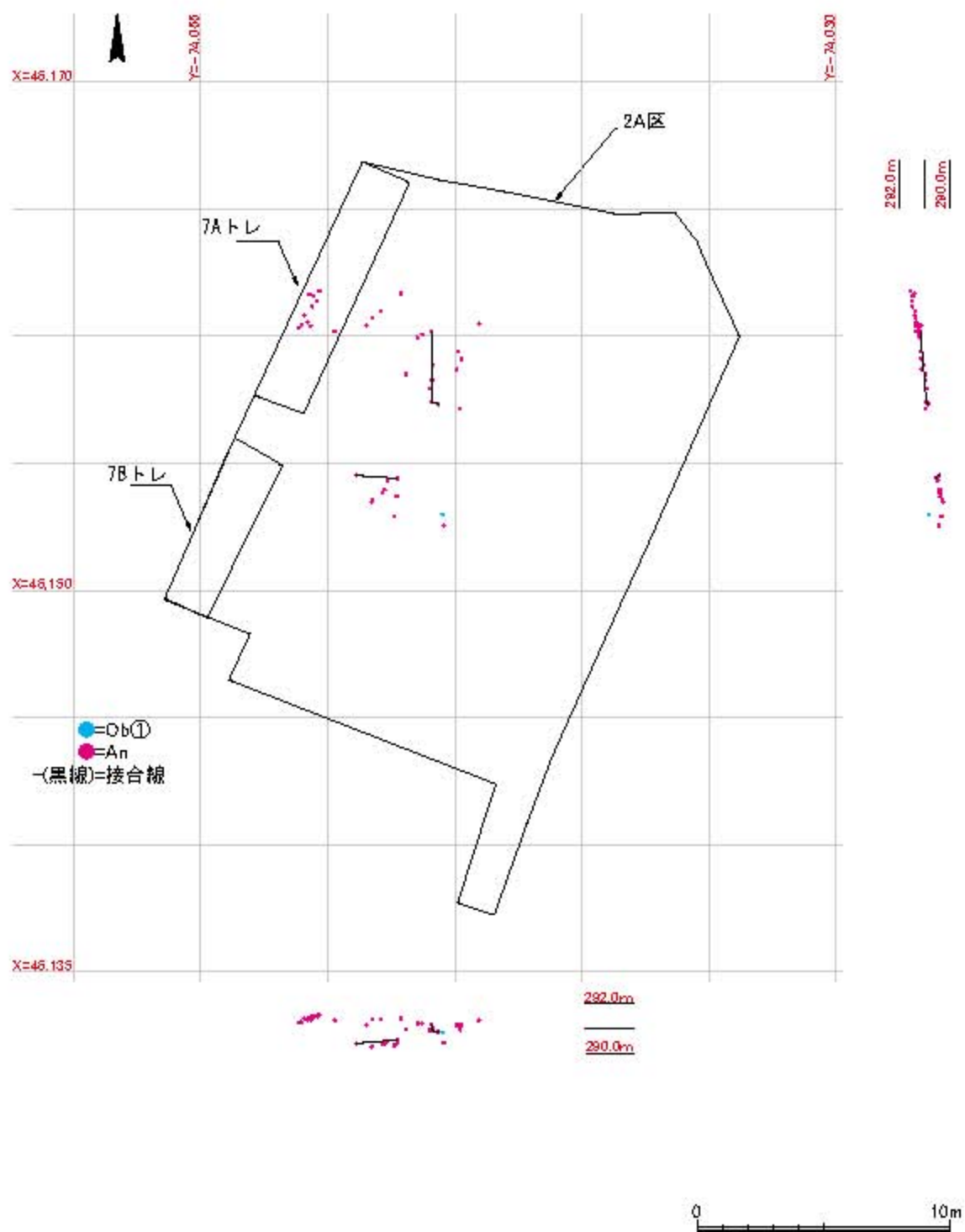


図 138 2A 区 8 層 石材・産地別の石器の分布 (1/250)

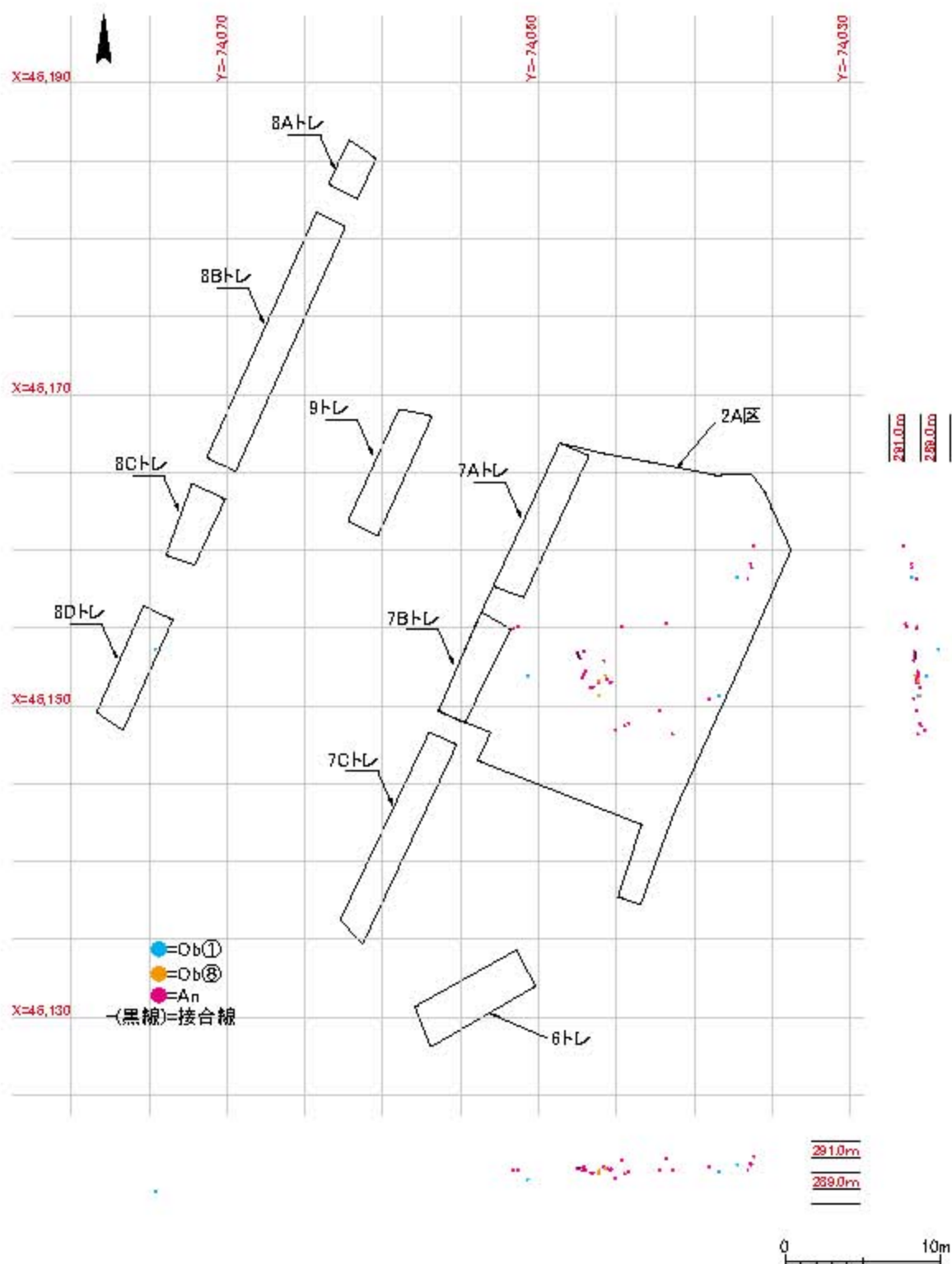


図 139 2A 区・各トレンチ9層（9層に対応する層） 石材・産地別の石器の分布（1/400）

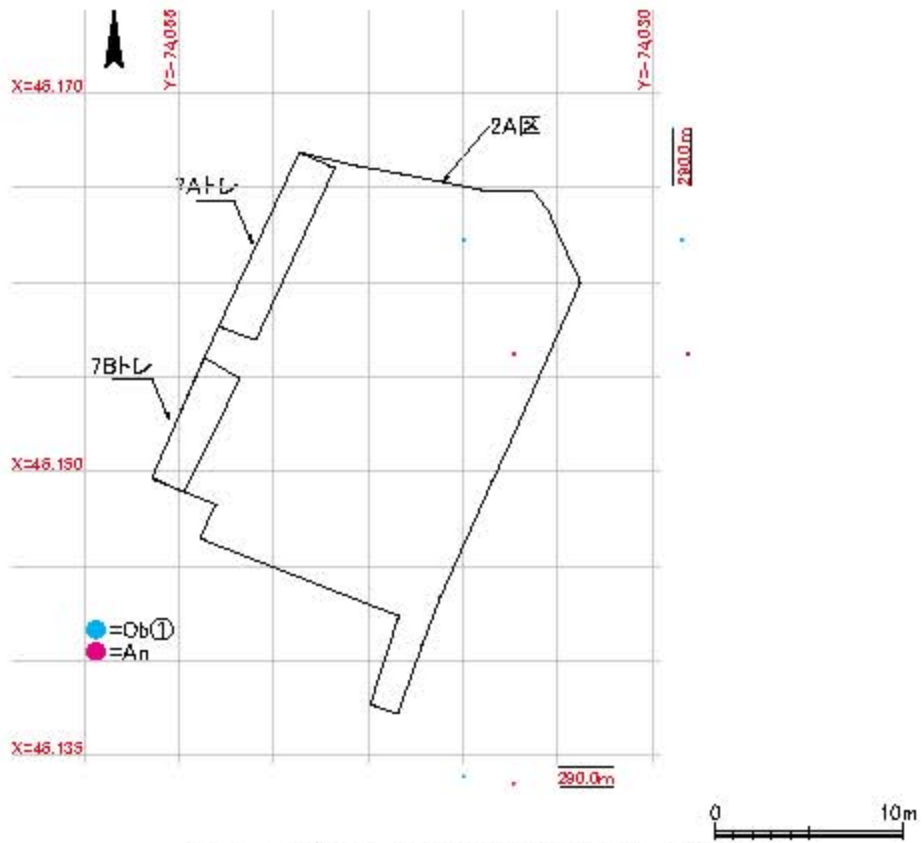


図 140 24 区 10 層 石材・産地別の石器の分布 (1/400)

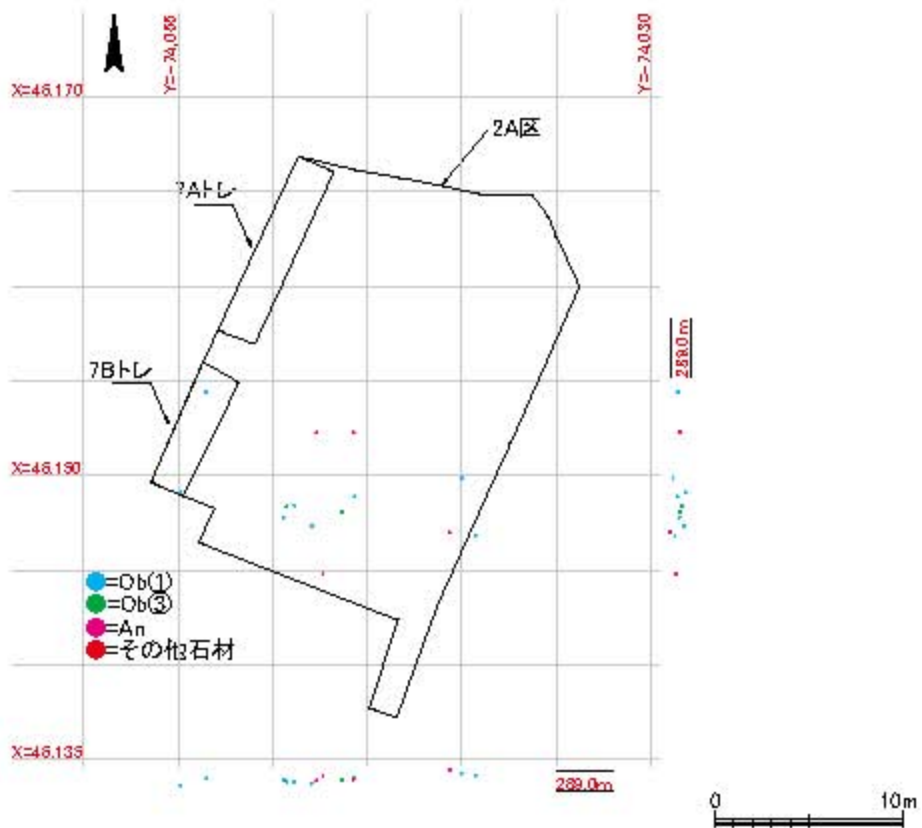


図 141 24 区 11 層 石材・産地別の石器の分布 (1/400)

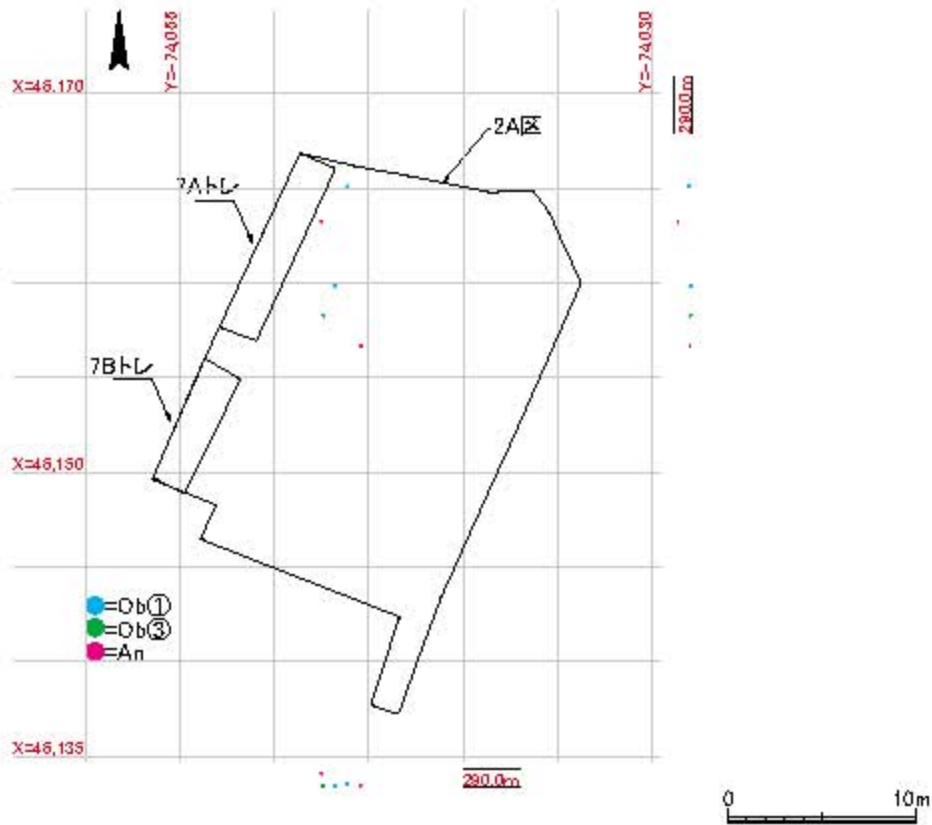


図 142 2A 区 12 層 石材・産地別の石器の分布 (1/400)

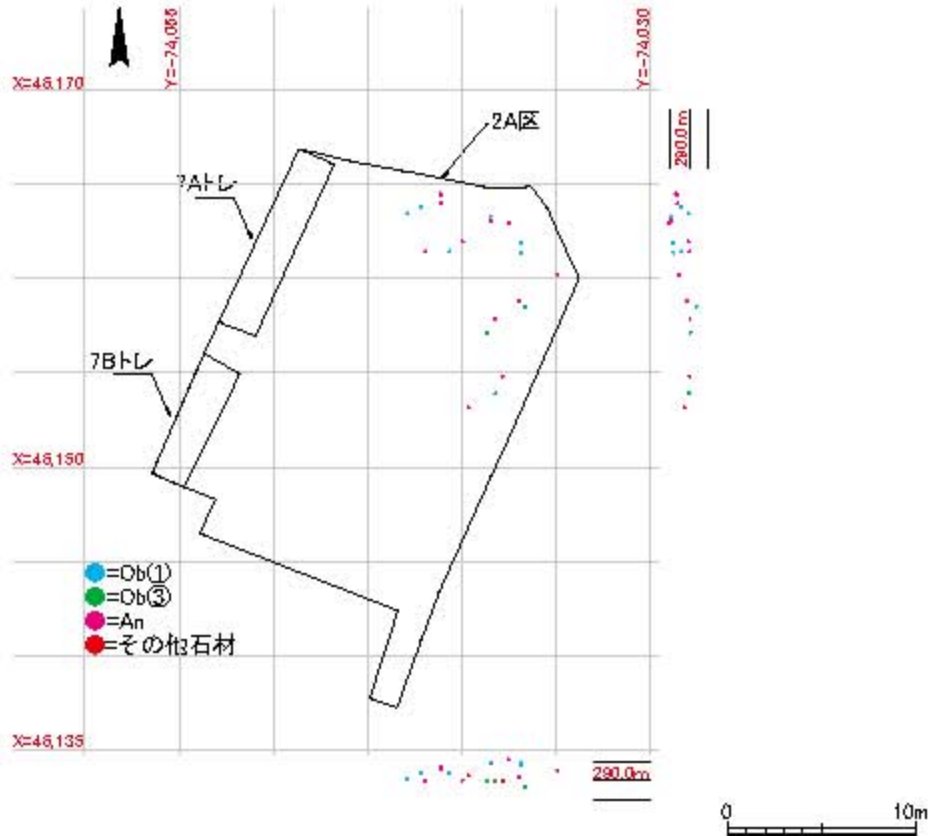


図 143 2A 区 13 層 石材・産地別の石器の分布 (1/400)

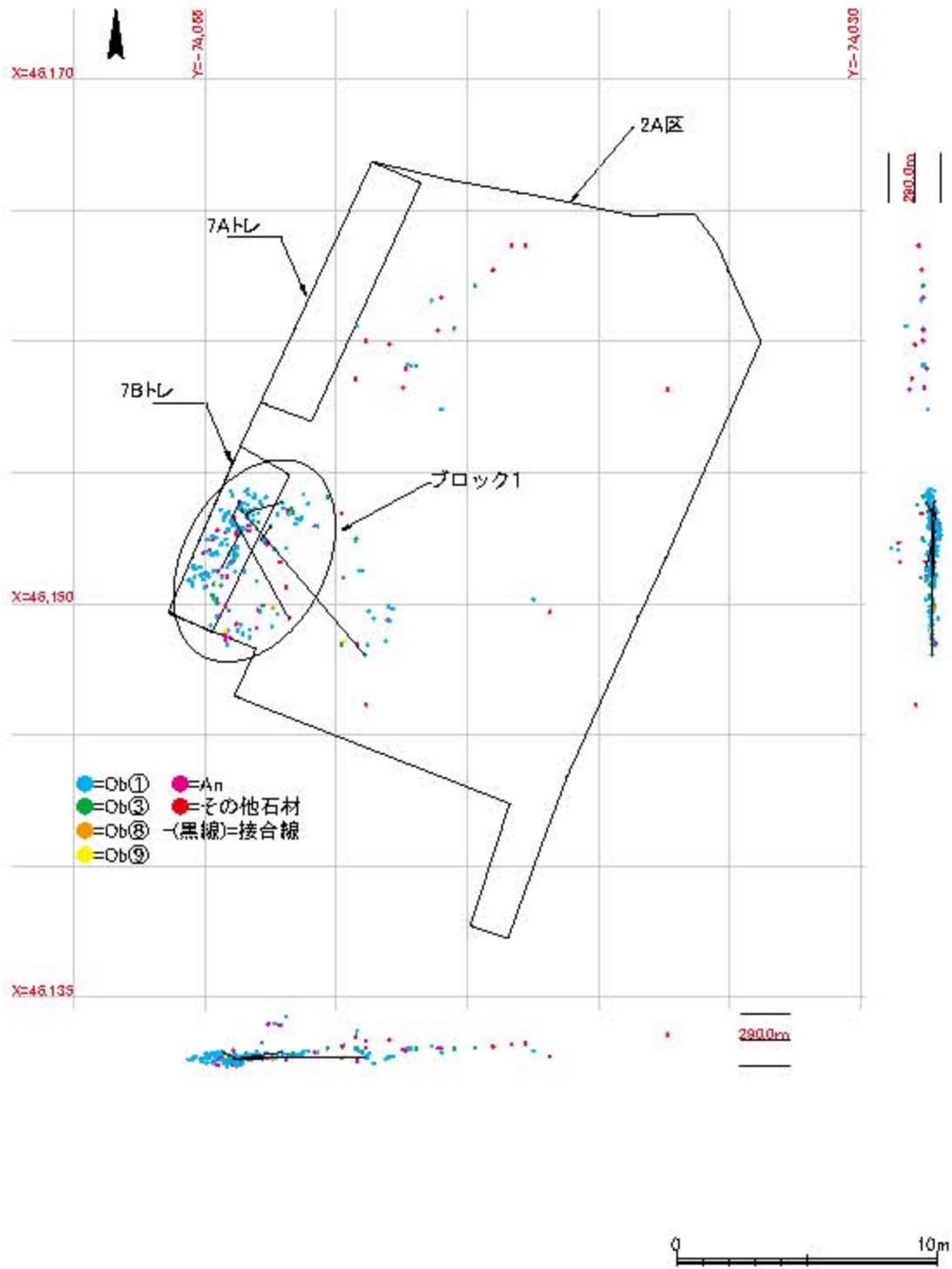


図 144 24 区 15 層 石材・産地別の石器の分布 (1/250)

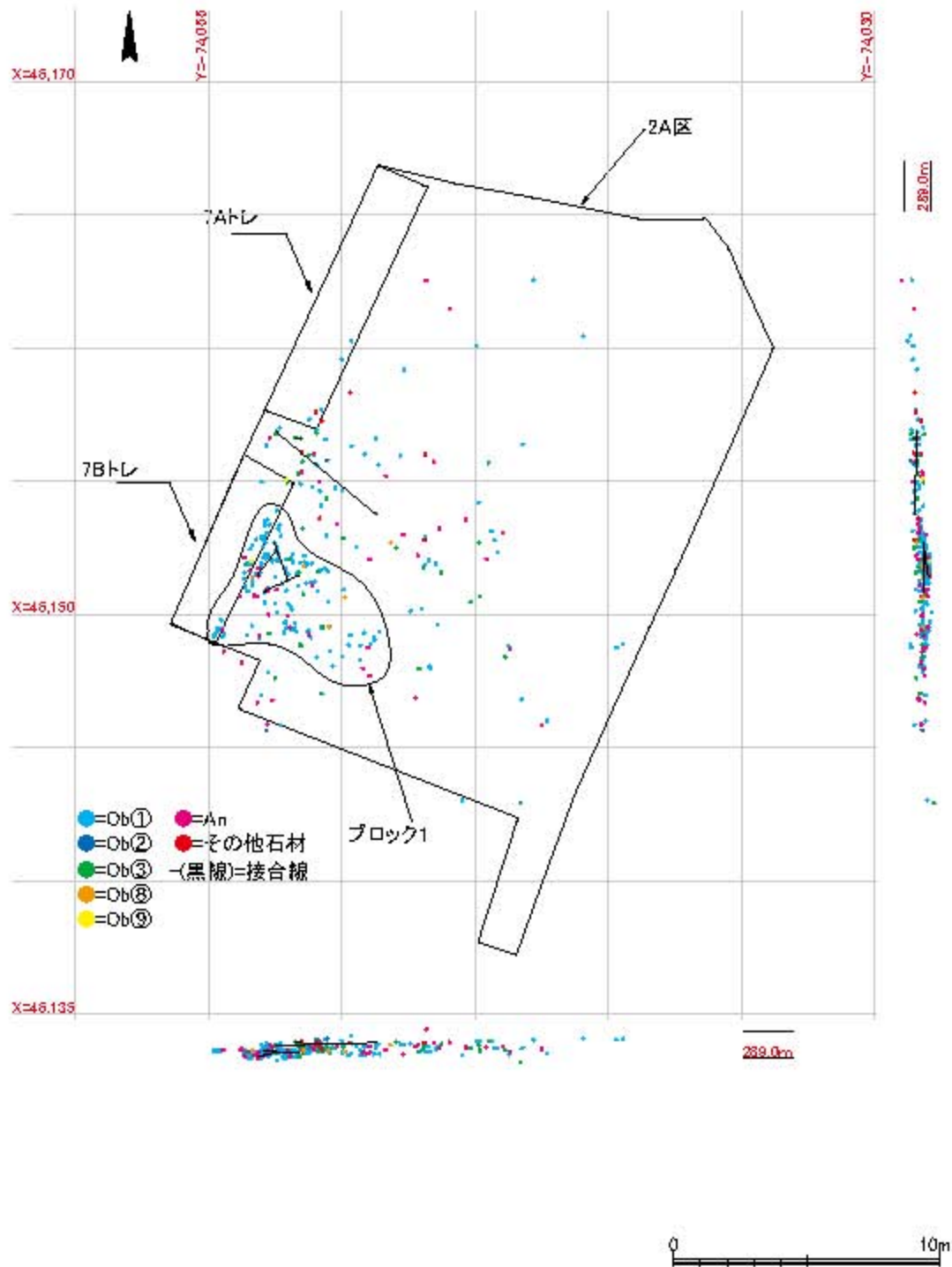


図 145 24 区 16 層 石材・産地別の石器の分布 (1/250)

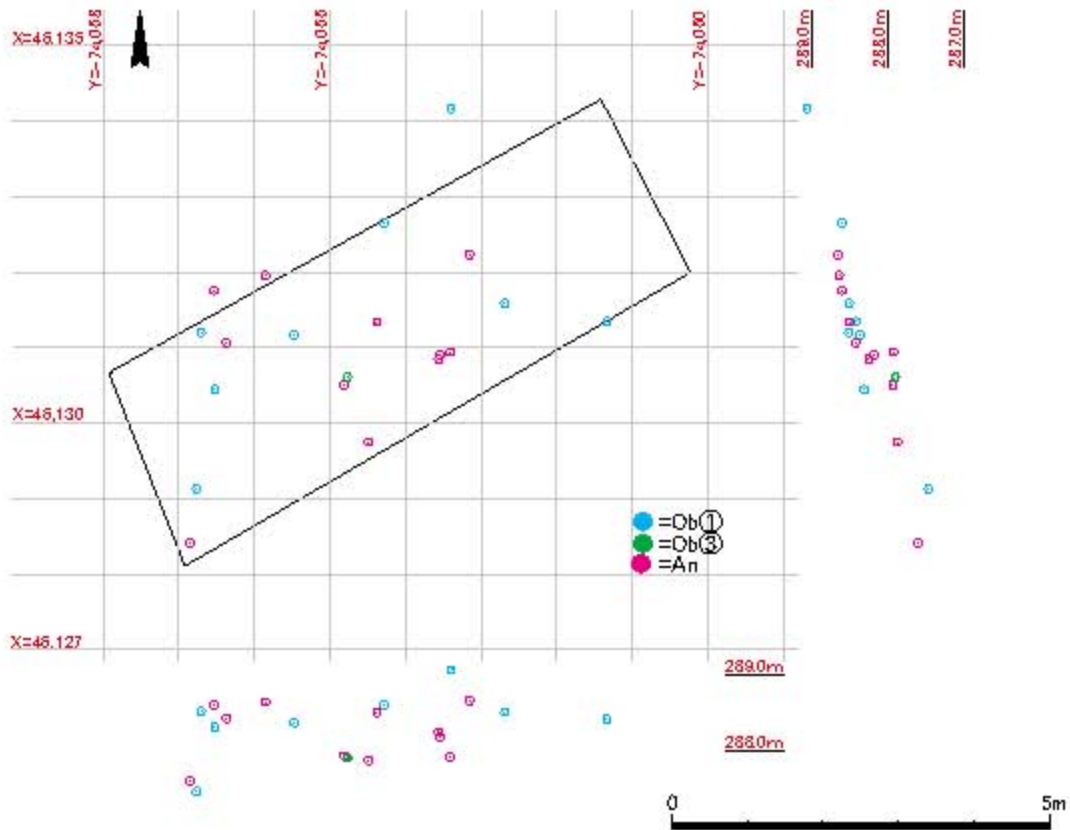


図 146 6トレ1層（1層に対応する層） 石材・産地別の石器の分布（1/100）

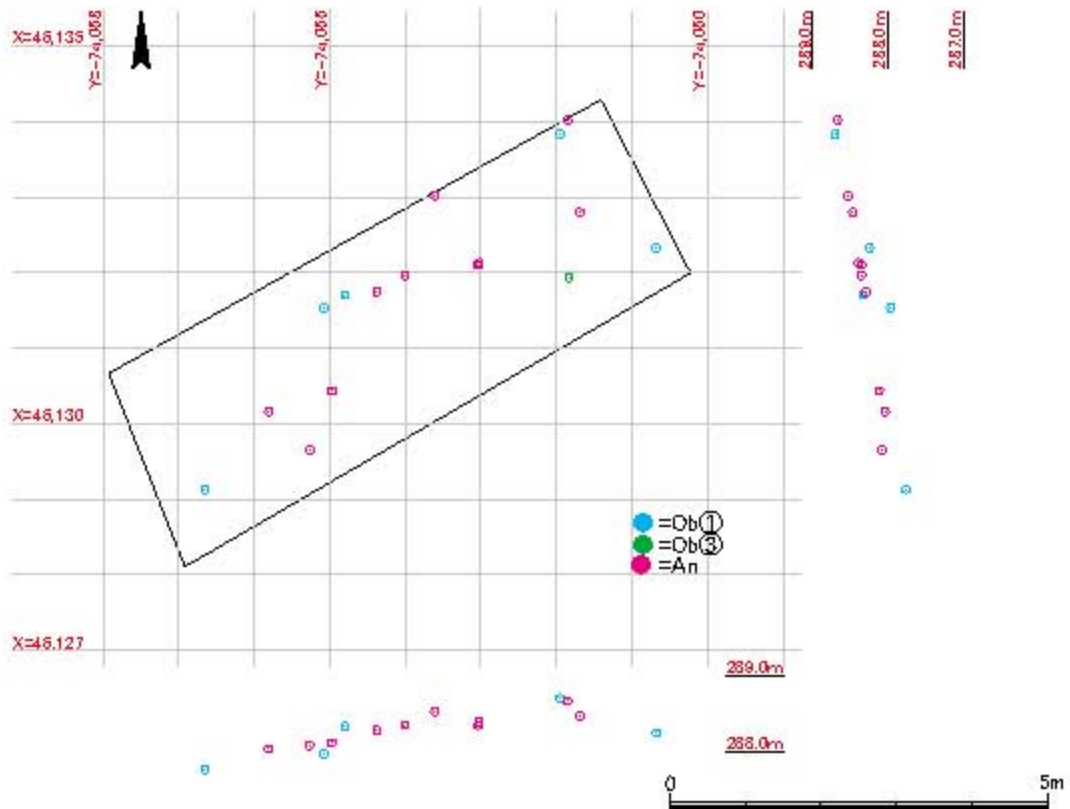


図 147 6トレ2層 石材・産地別の石器の分布（1/100）

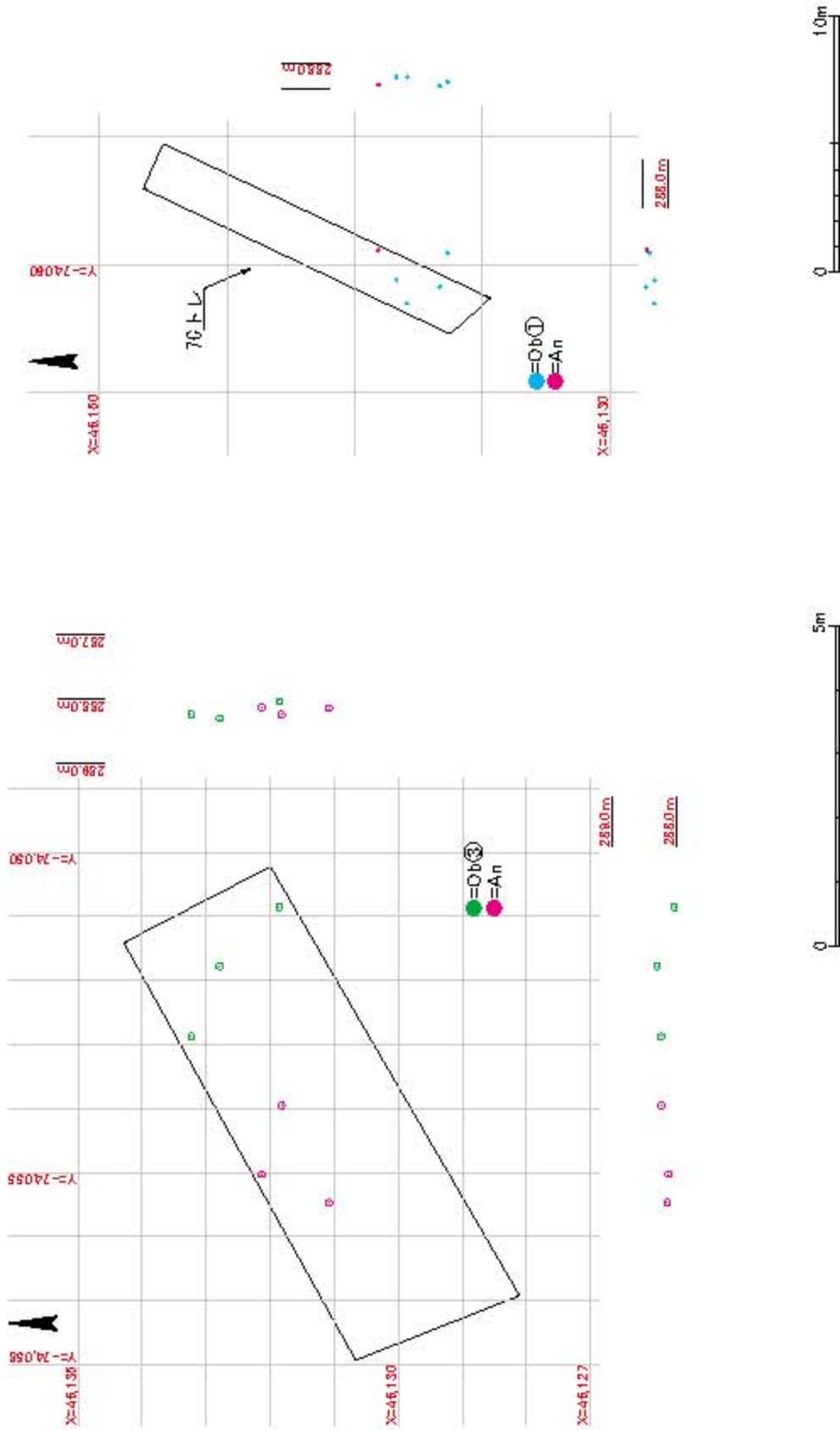


図 148 6トレ3層 石材・産地別の石器の分布 (1/100)

図 149 7Cトレ6層 (6層に対応する層) 石材・産地別の石器の分布 (1/250)

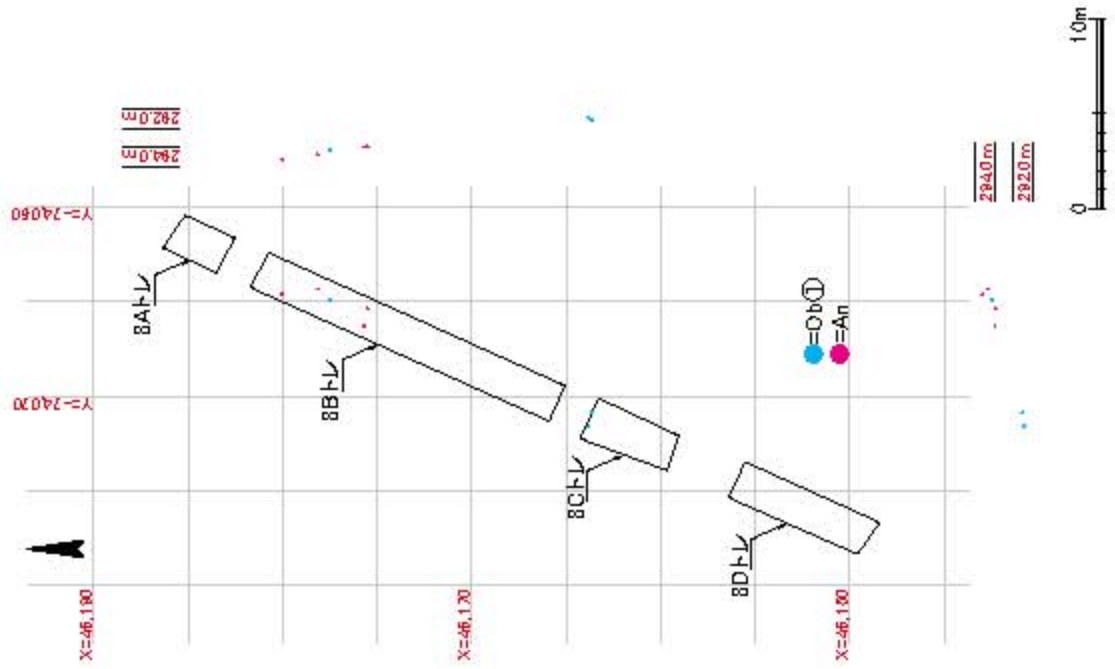


図151 8Bトレ・8Cトレ1層 石材・産地別の石器の分布 (1/250)

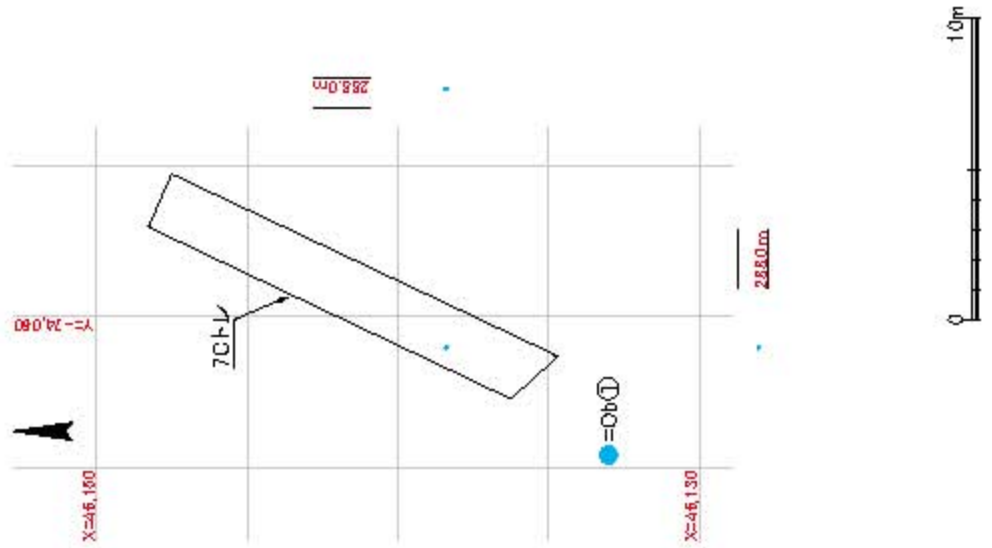


図150 7Cトレ7層 石材・産地別の石器の分布 (1/250)

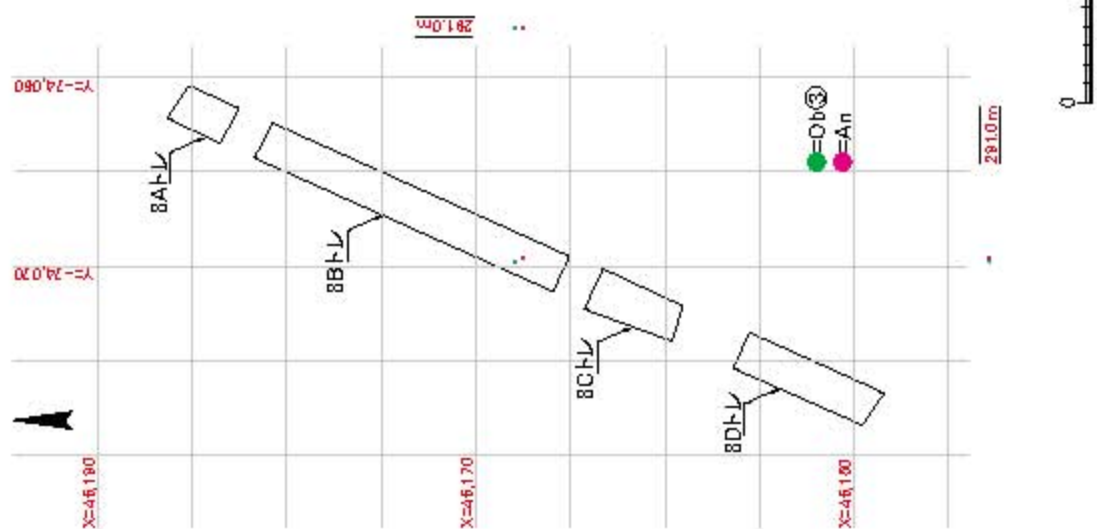


図 153 8B トレ 10層 石材・産地別の石器の分布 (1/250)

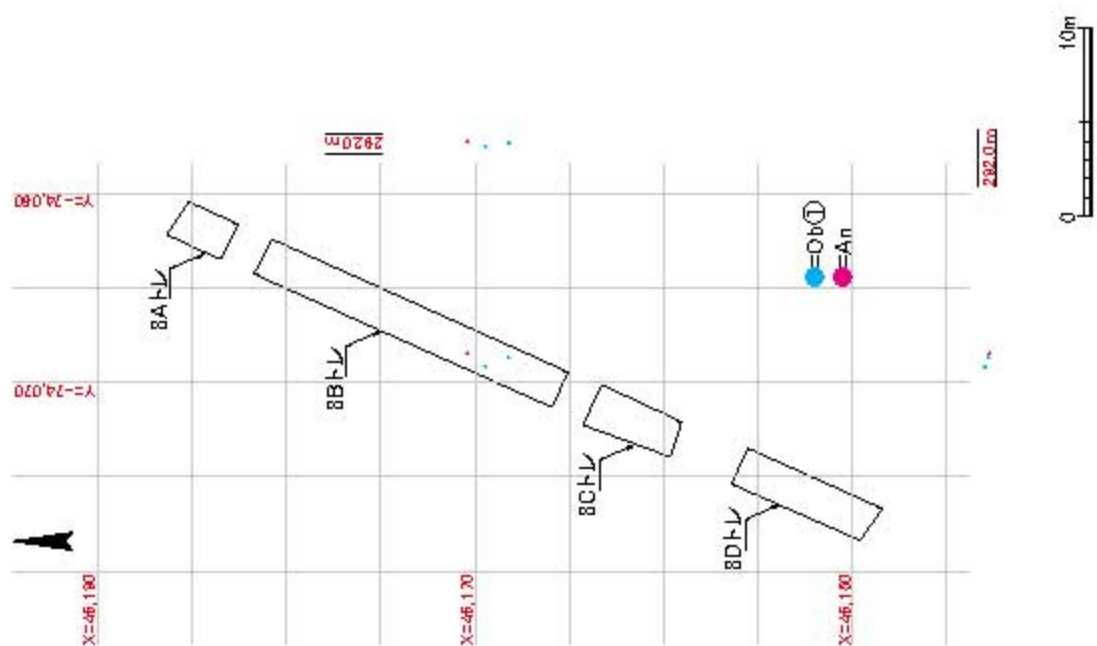


図 152 8B トレ 5層 石材・産地別の石器の分布 (1/250)

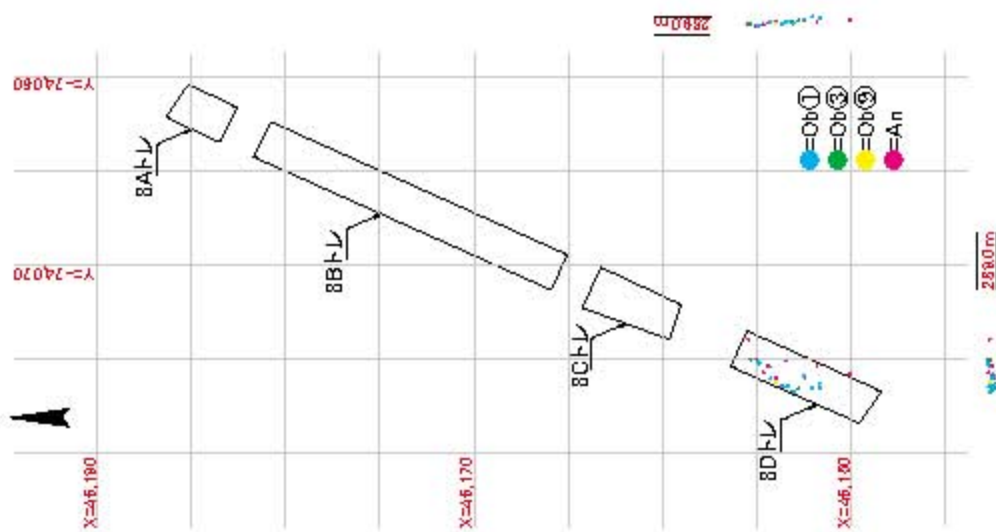


図 155 8D トレ 13 層 石材・産地別の石器の分布 (1/400)

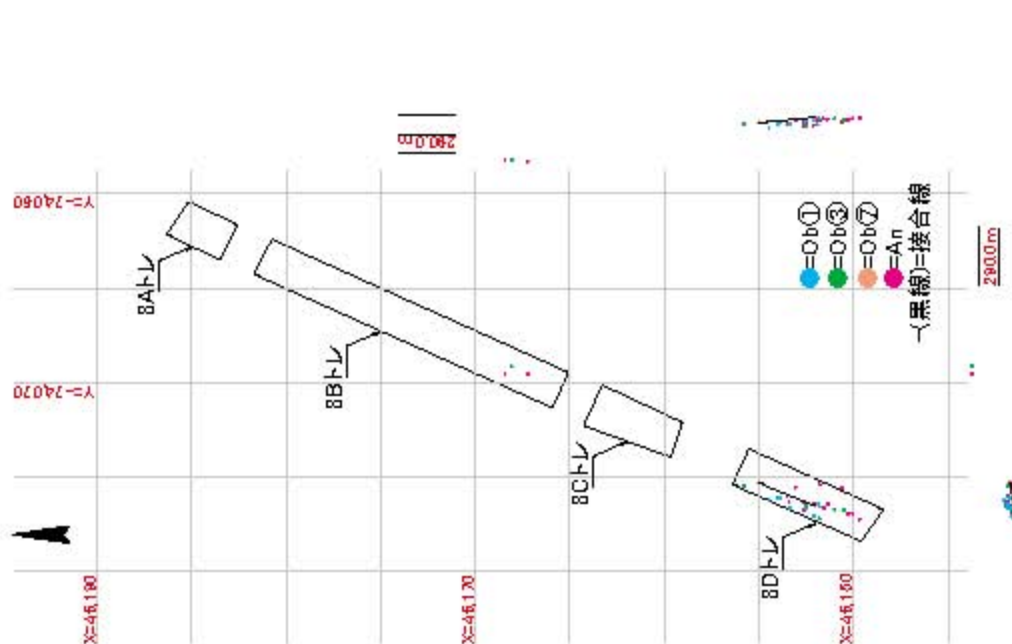


図 154 8B トレ・8D トレ 12 層 石材・産地別の石器の分布 (1/400)

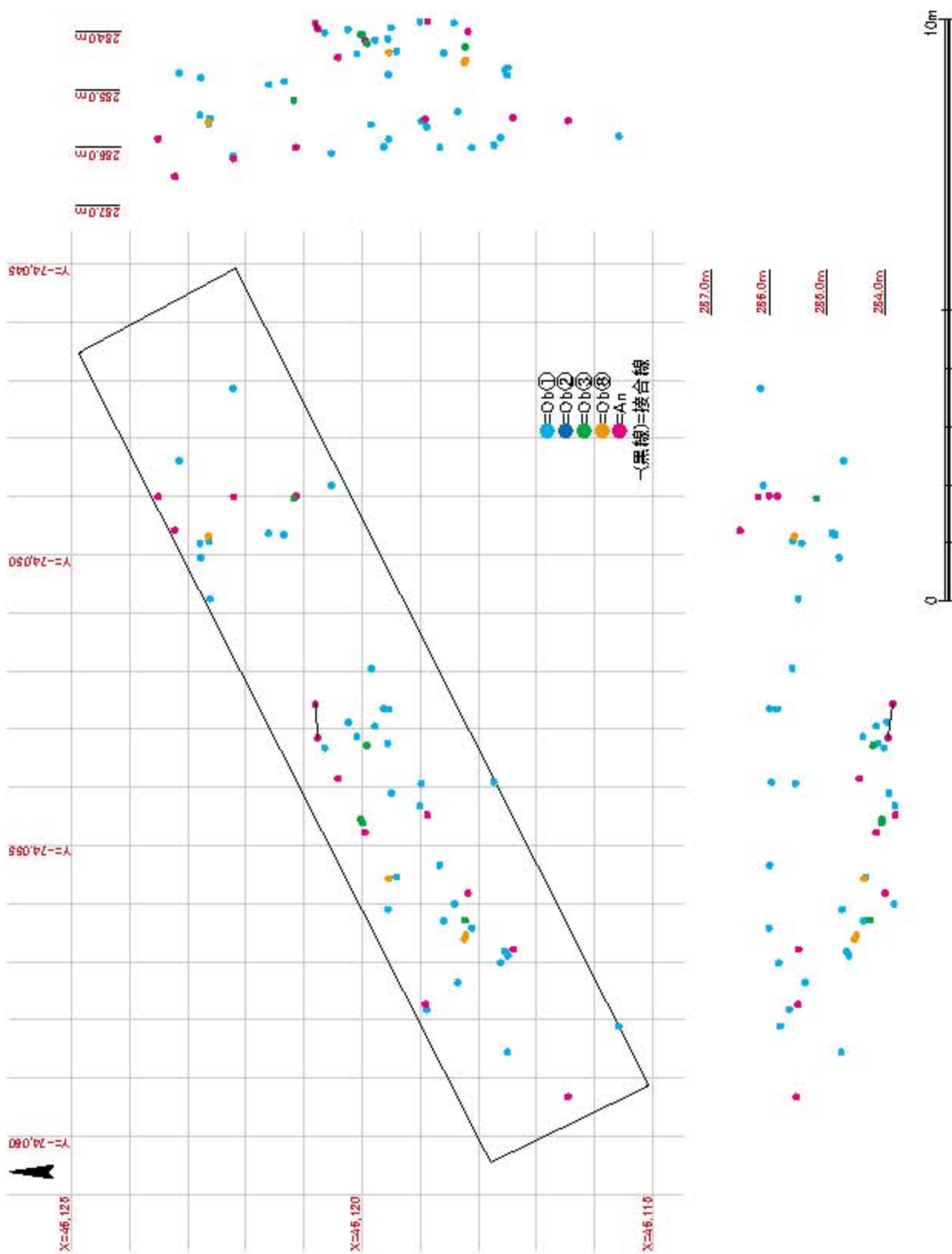


図 156 28 区 1～18 層 石材・産地別の石器の分布 (1/100)

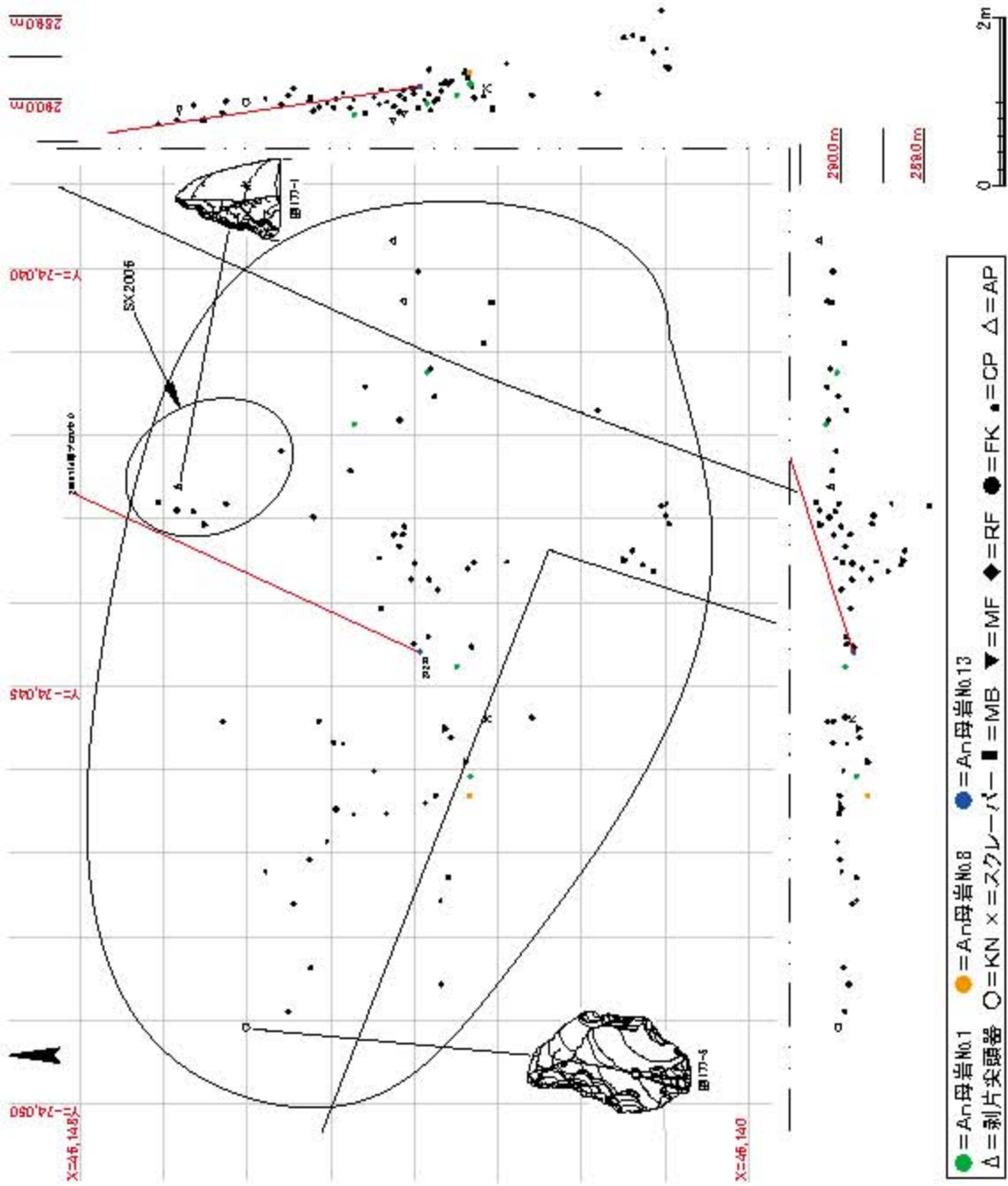


図 157 2A 区 3 層ブロック 1 器種・母岩別の石器の分布 (1/80)

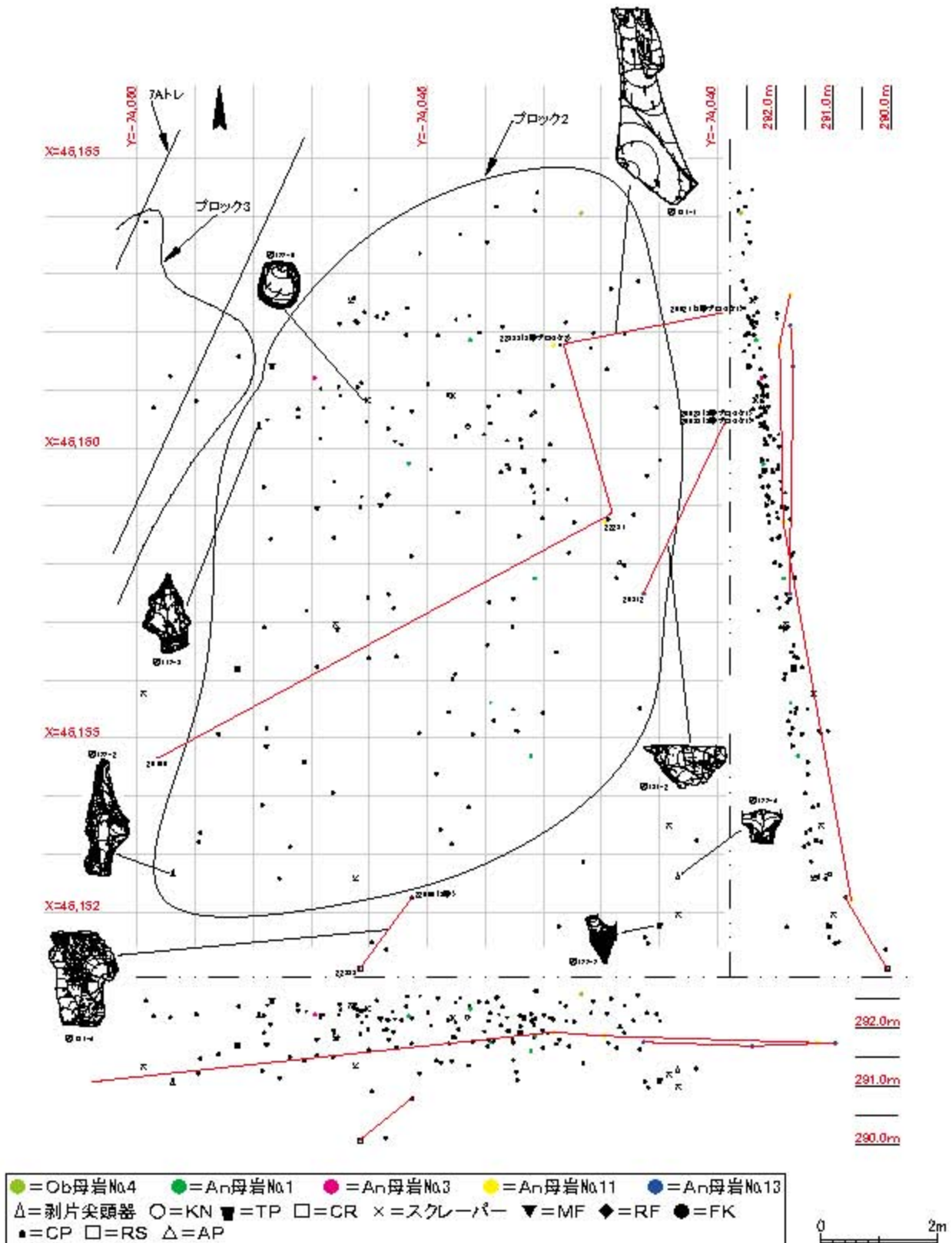


図 158 2A 区 3層ブロック 2 器種・母岩別の石器の分布 (1/100)

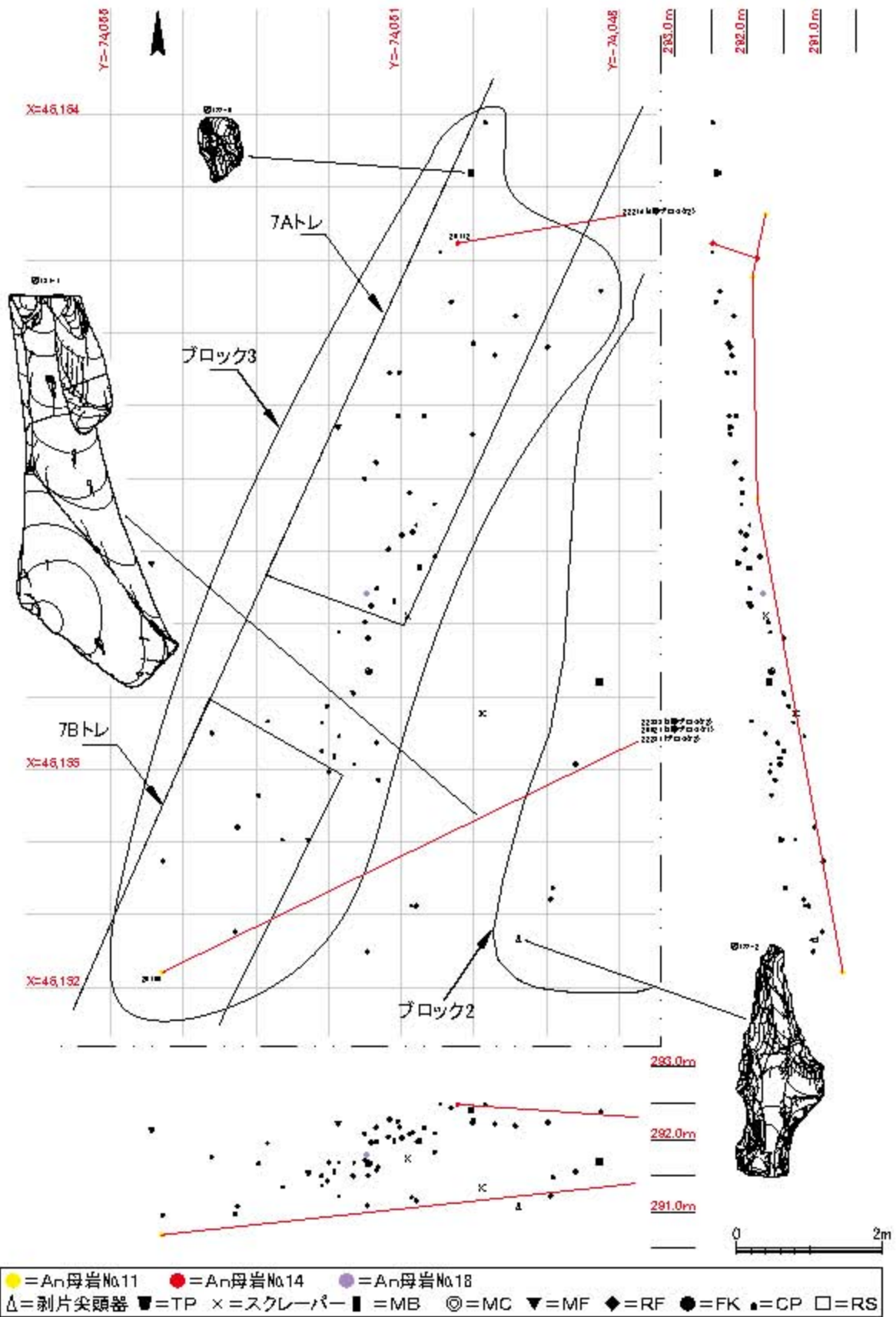


図159 2A区 3層ブロック3 器種・母岩別の石器の分布 (1/80)

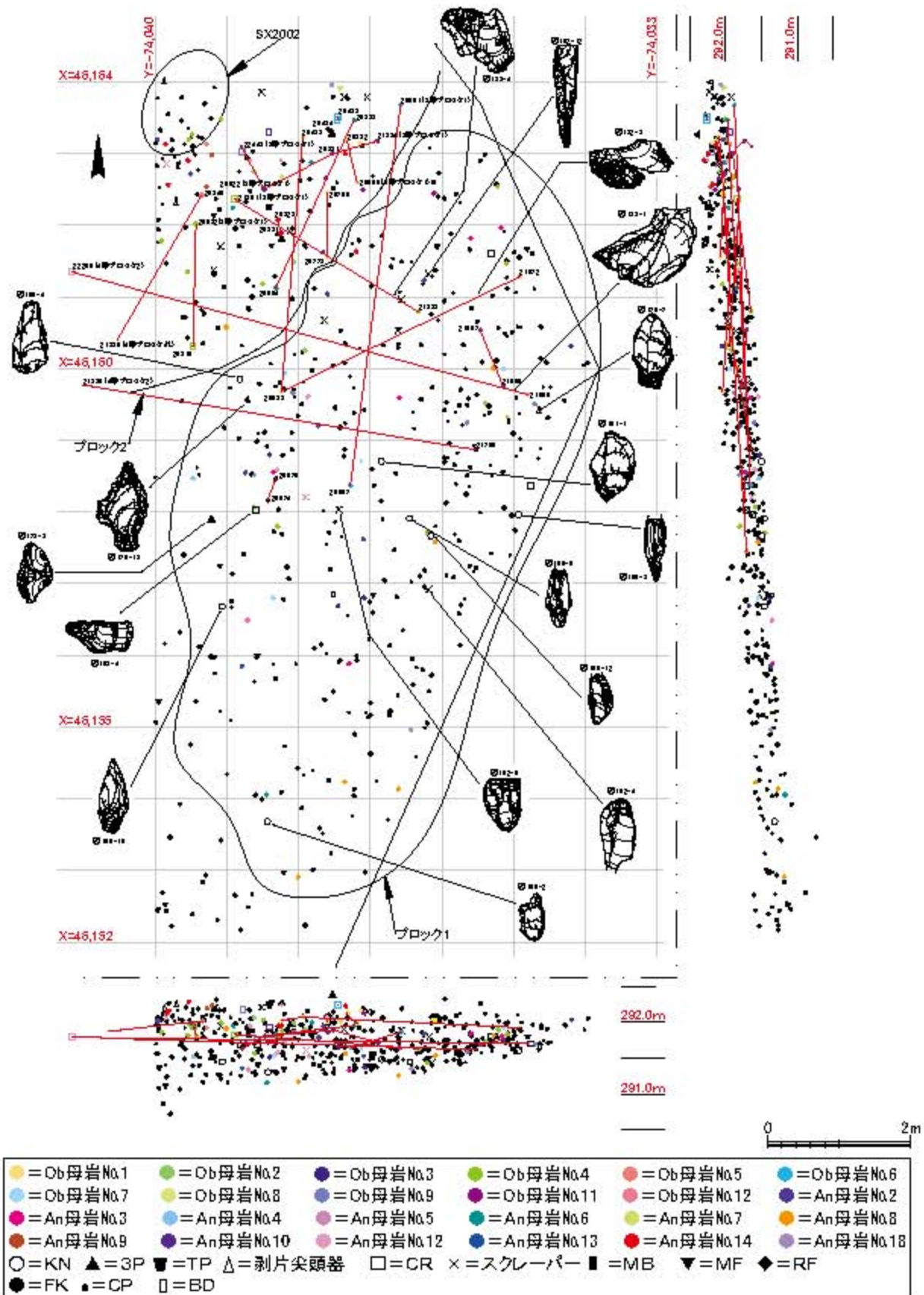


図160 2A区 4層ブロック1 器種・母岩別の石器の分布 (1/80)

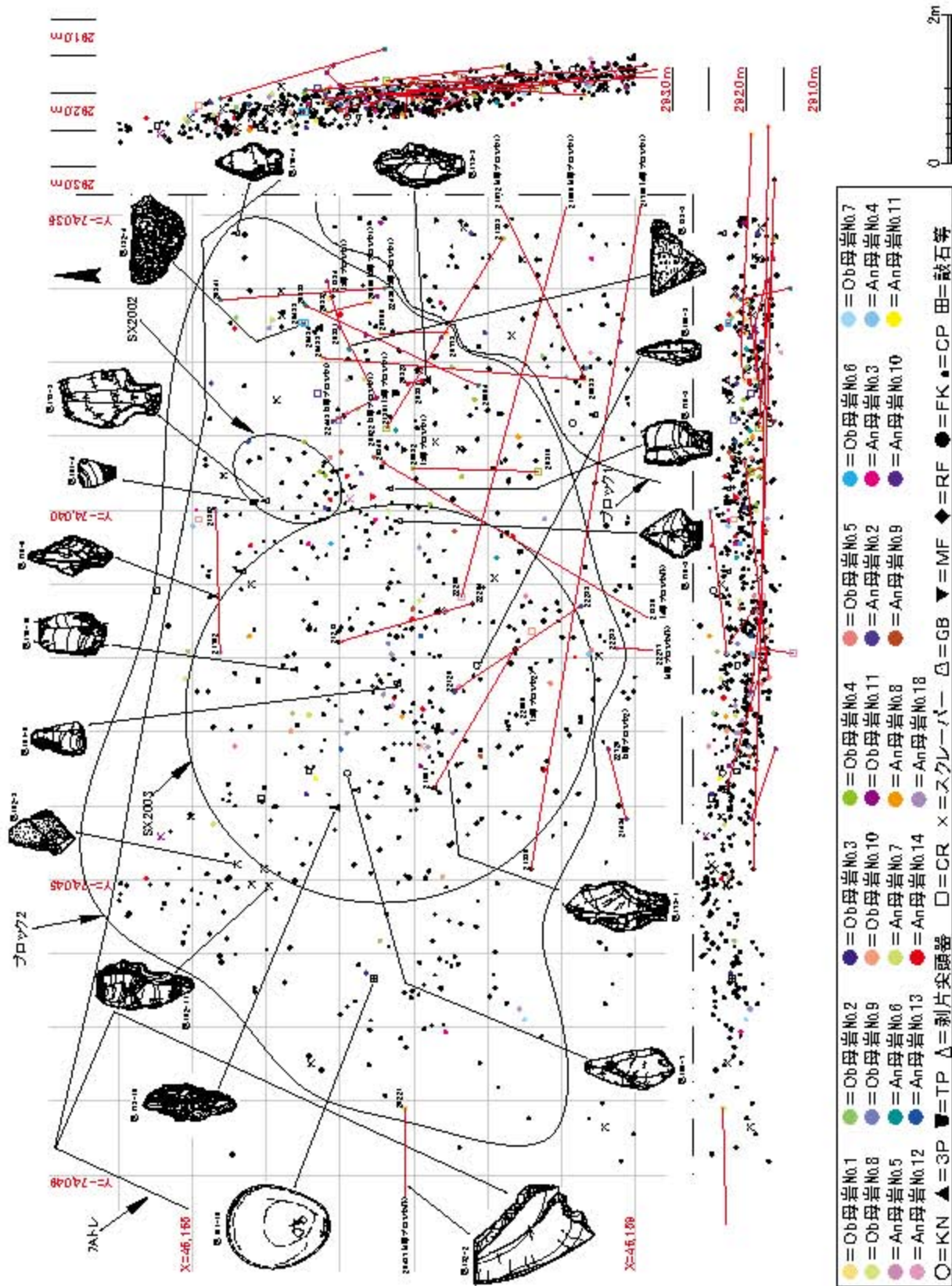


図 161 2A区 4層ブロック2 器種・母岩別の石器の分布 (1/80)

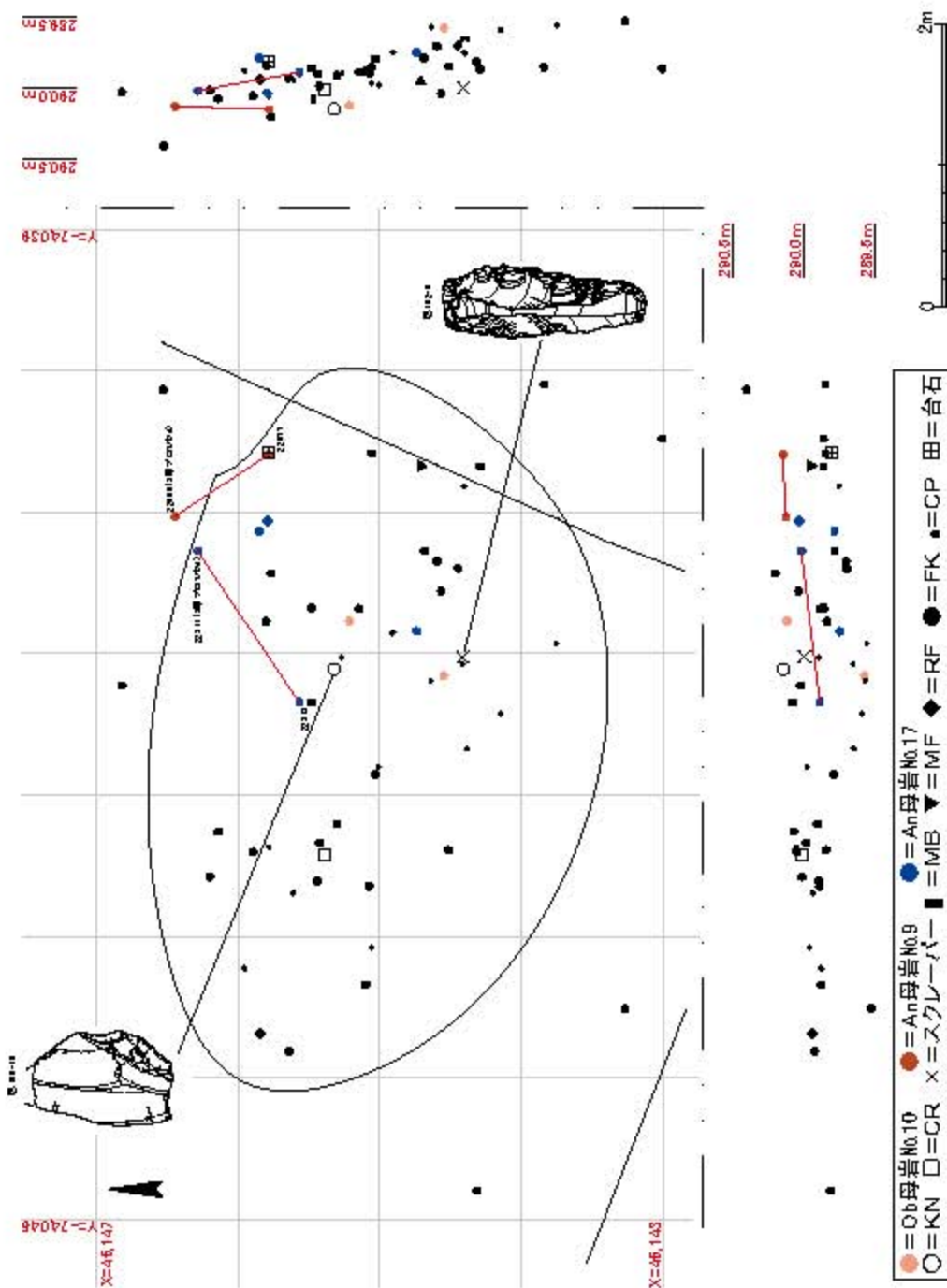


図 162 2A 区 4層ブロック3 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

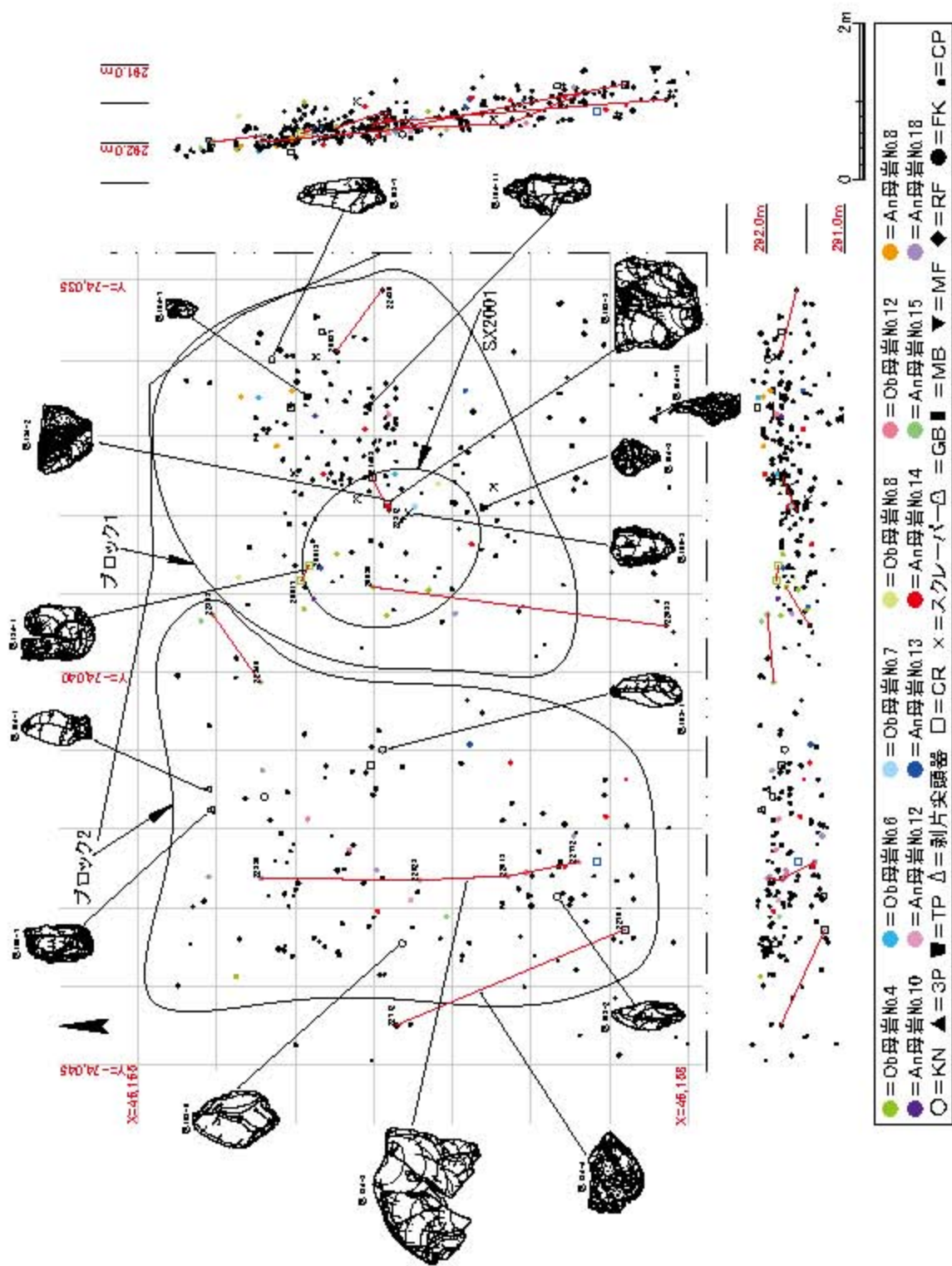


図 163 2A区 5層ブロック1・2 器種・母岩別の石器の分布 (1/80)

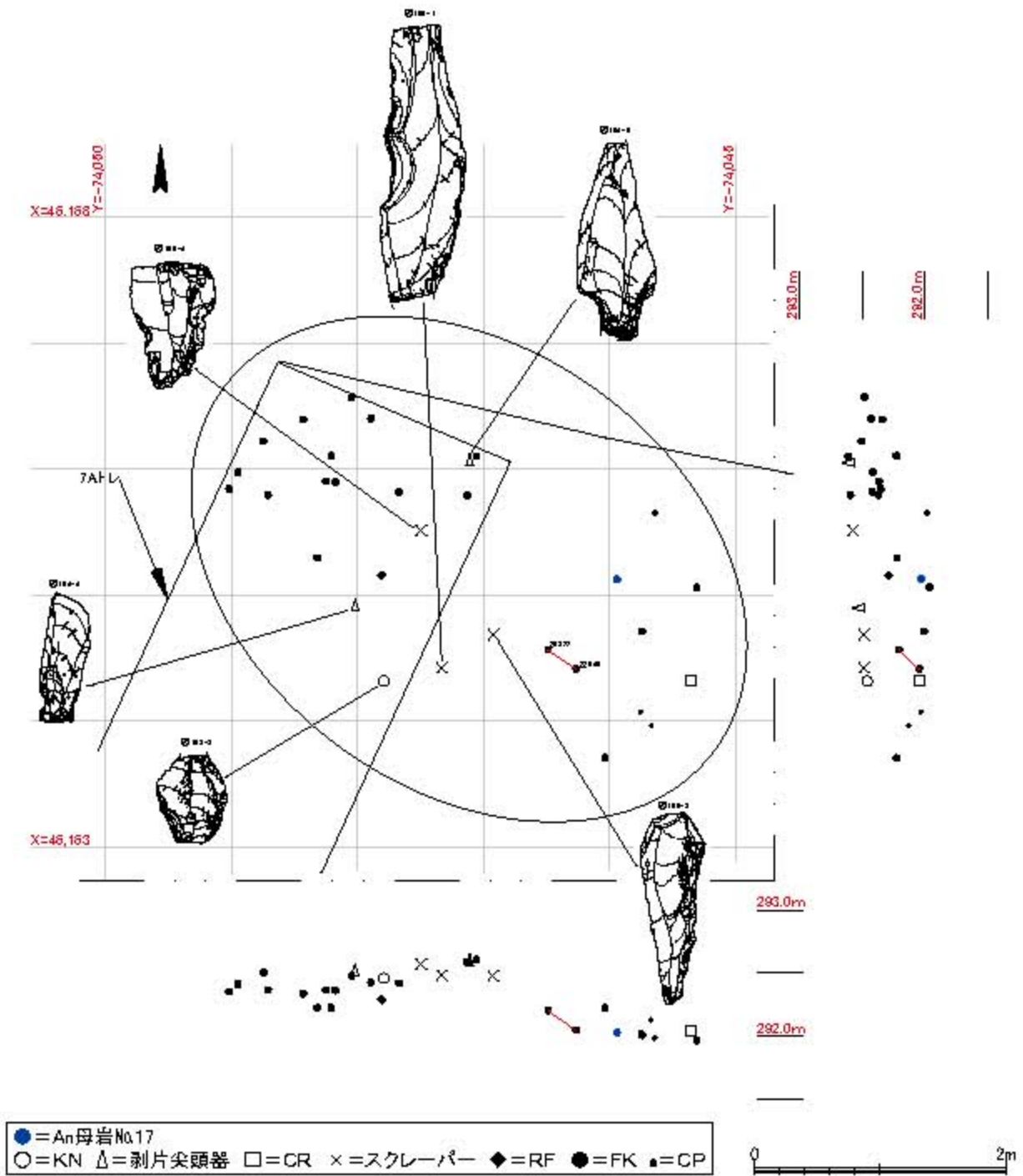


図164 2A区 5層ブロック3 器種・母岩別の石器の分布 (1/50)

地蔵平遺跡（本文編）

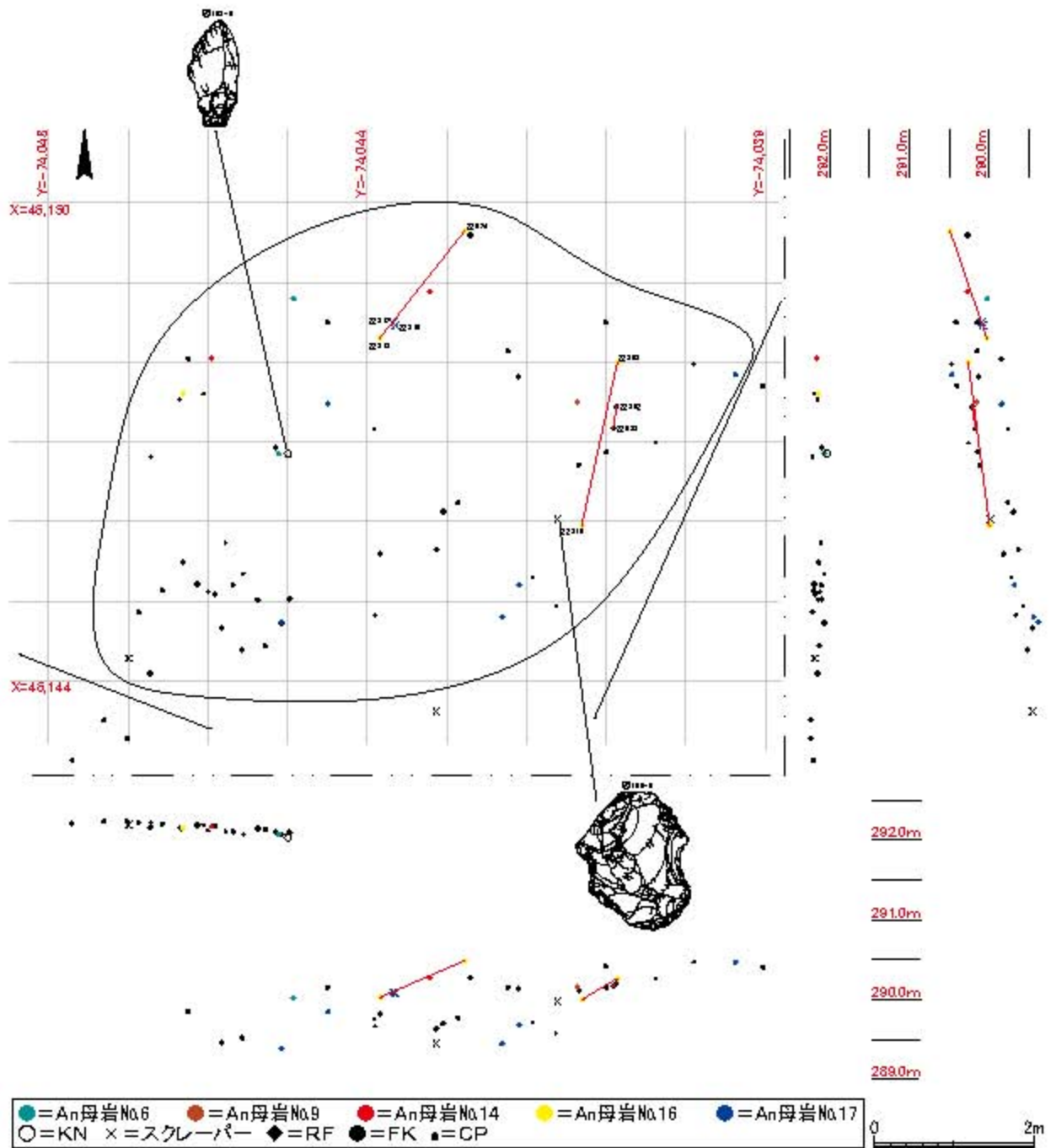


図 165 2A区 5層ブロック4 器種・母岩別の石器の分布 (1/80)

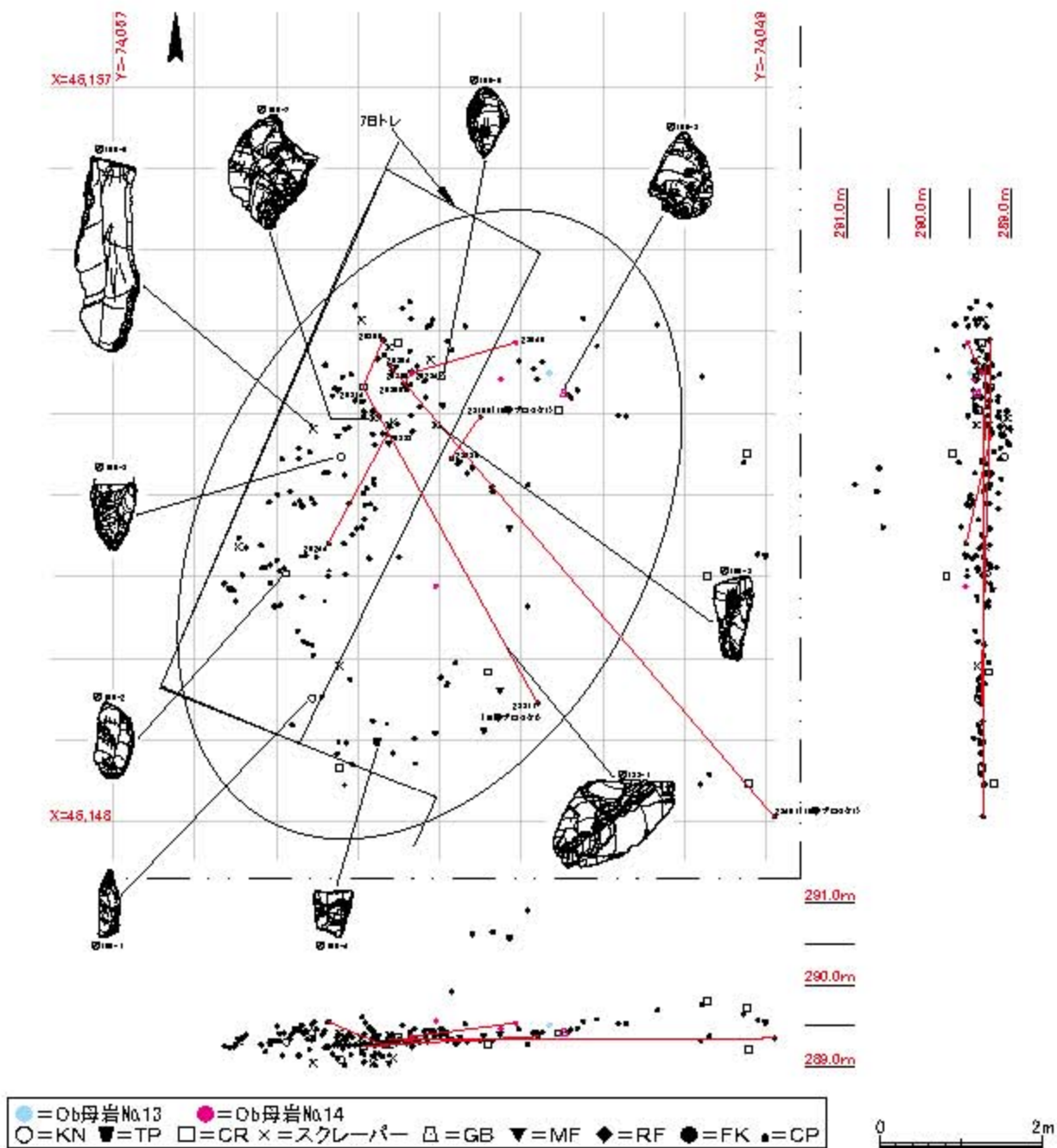


図 166 2A 区 15 層ブロック 1 器種・母岩別の石器の分布 (1/80)

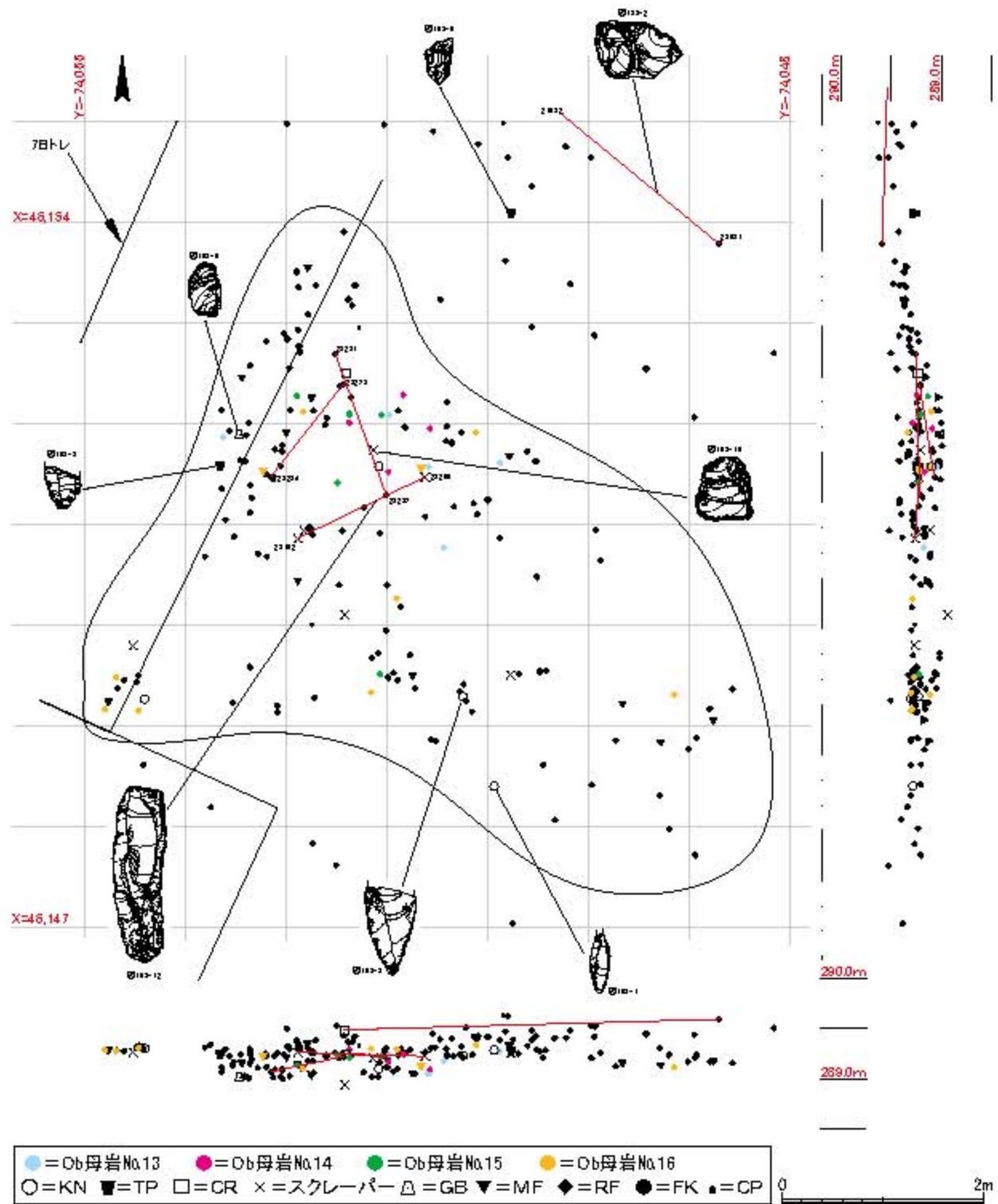


図167 2A区 16層ブロック1 器種・母岩別の石器の分布 (1/80)

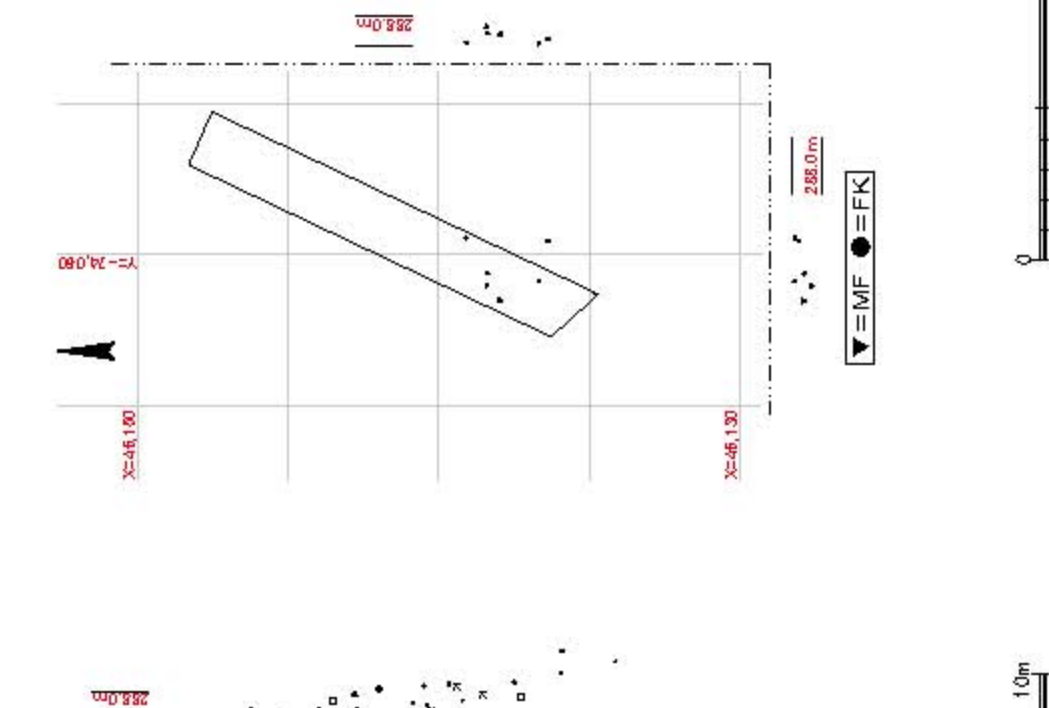


図 168 6 トレ 1～3層 器種別の石器の分布 (1/100)

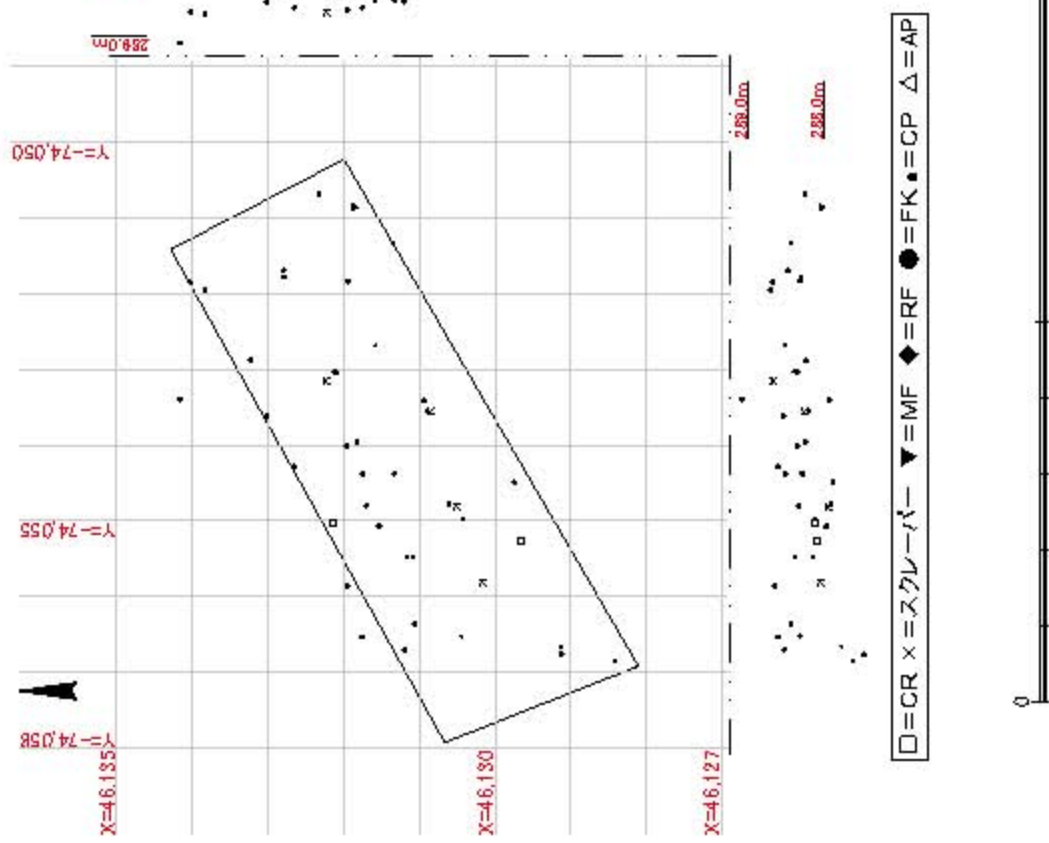


図 169 7C トレ 6層 (6層に対応する層)・7層 器種別の石器の分布 (1/250)

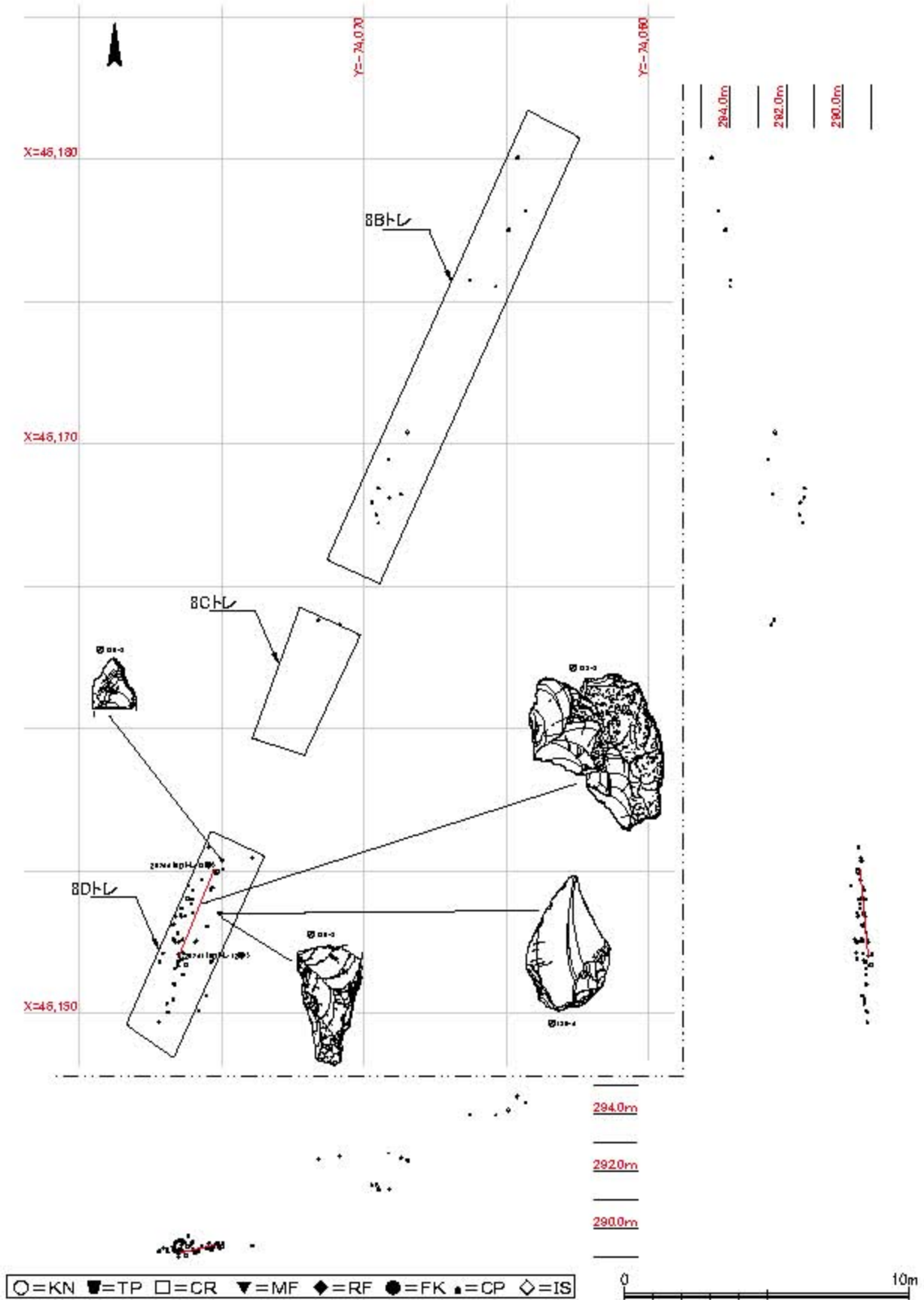


図170 8B・8C・8Dトレ 1・5・10・12・13層 器種別の石器の分布 (1/200)

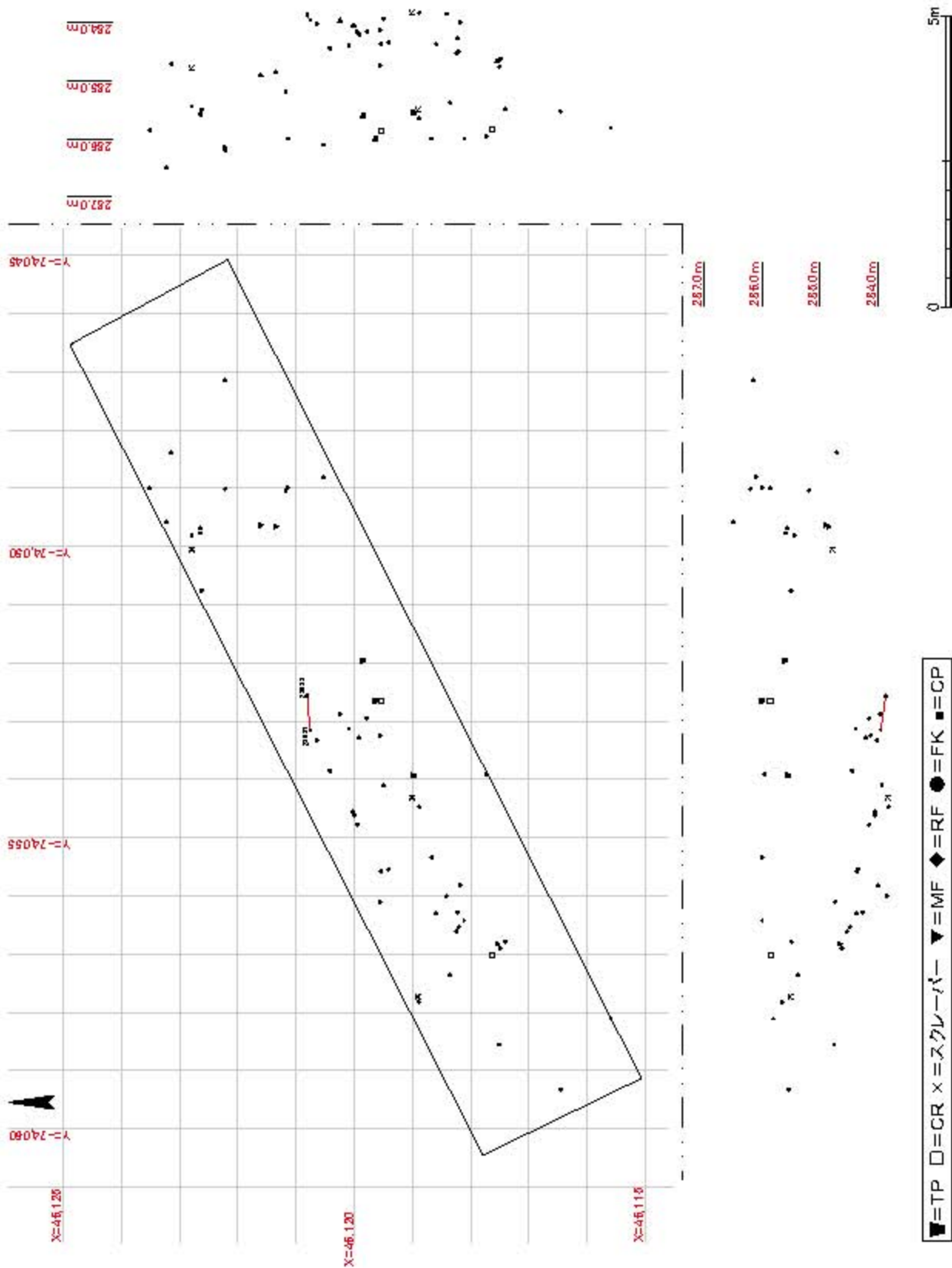


図 171 28区 1～18層 器種別の石器の分布 (1/100)

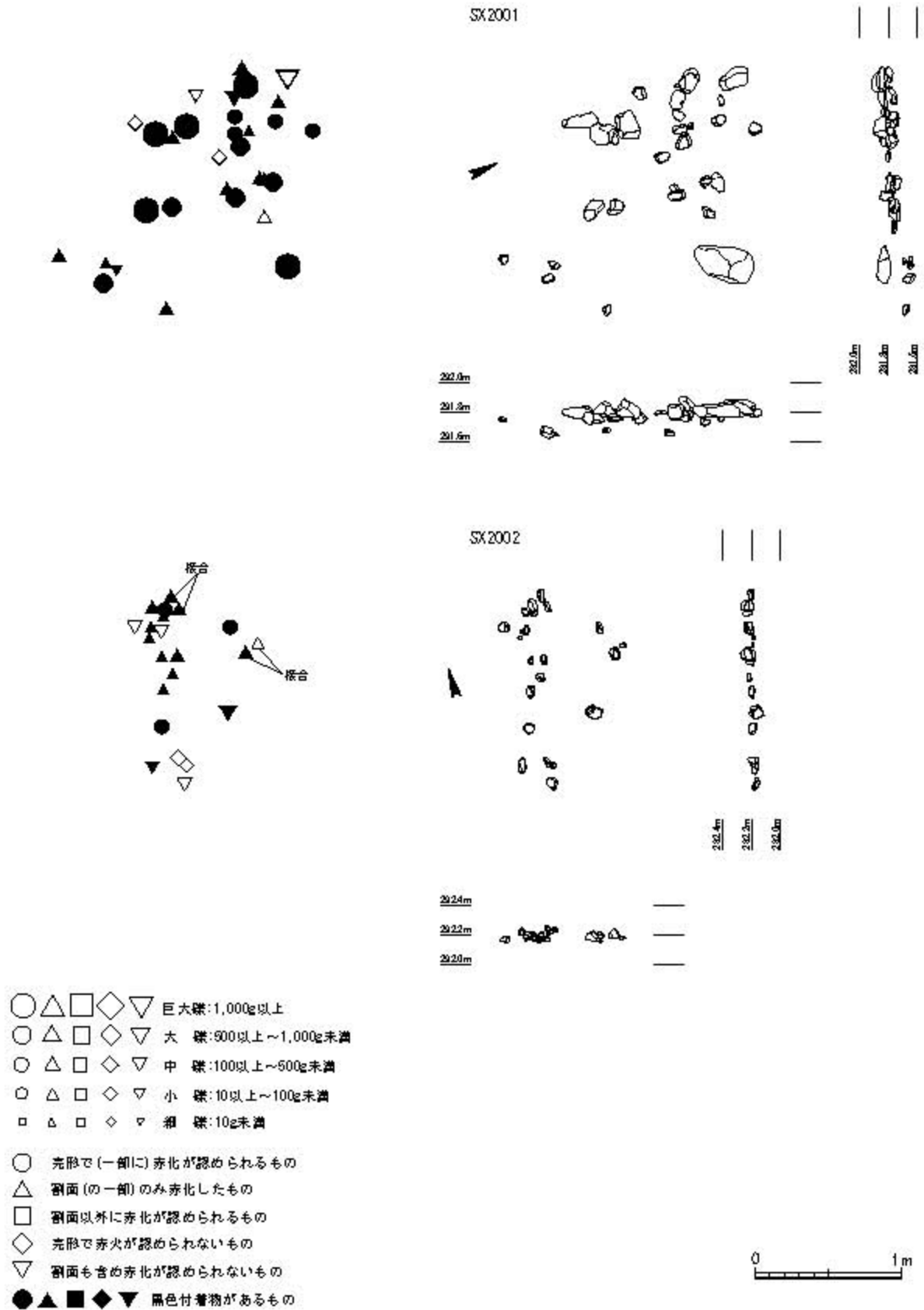
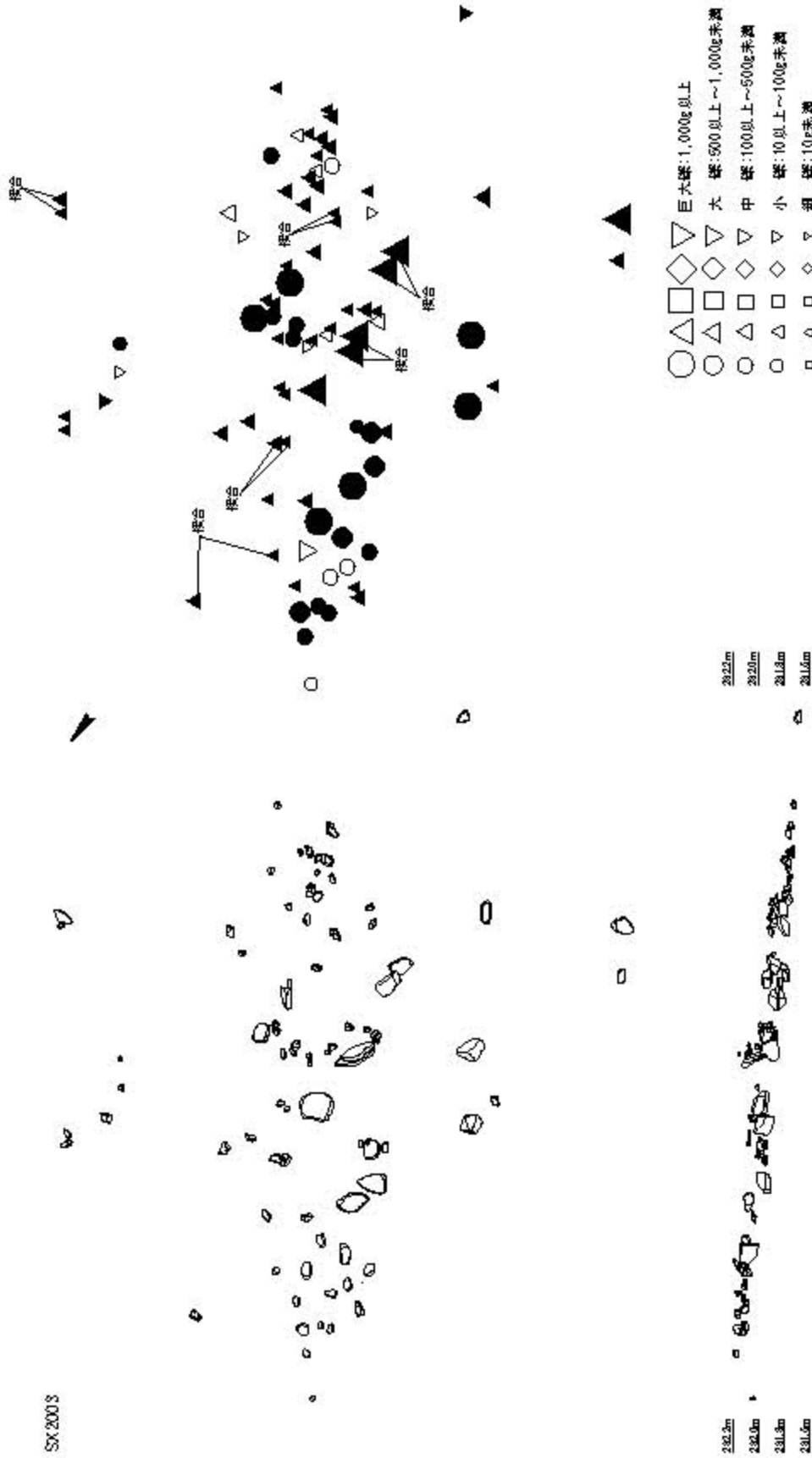


図 172 24 区 旧石器時代の遺構 1 (1/40)



- △ □ ◇ ◊ 巨大礫: 1,000g以上
- △ □ ◇ ◊ 大 礫: 500g以上~1,000g未満
- △ □ ◇ ◊ 中 礫: 100g以上~500g未満
- △ □ ◇ ◊ 小 礫: 10g以上~100g未満
- △ □ ◇ ◊ 粗 礫: 10g未満
- 无形で(二期)に赤化が認められるもの
- △ 断面(二期)のみ赤化したもの
- 断面以外に赤化が認められるもの
- ◇ 无形で赤化が認められないもの
- ▽ 断面も含め赤化が認められないもの
- ▲ ■ ◆ ▼ 黒色付着層があるもの

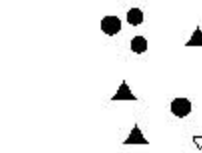
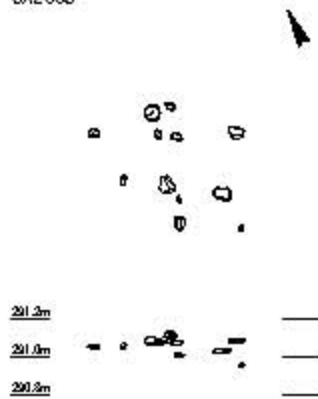


図 173 2A 区 旧石器時代の遺構 2 (1/50)

SX2004



SX2005

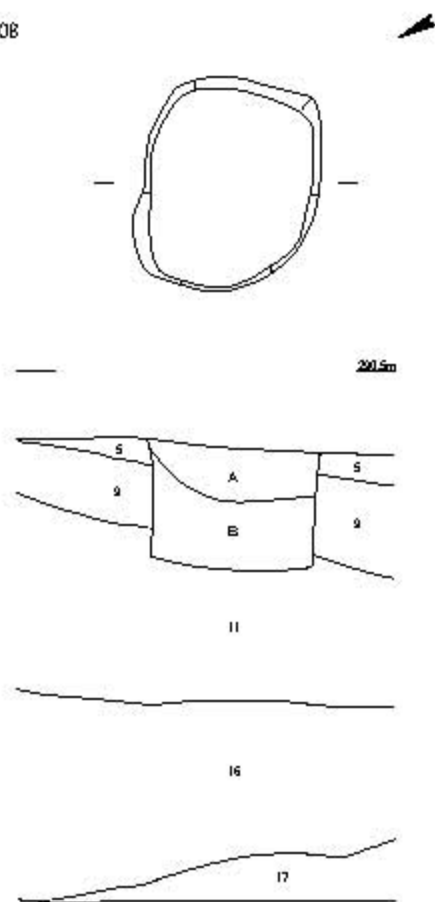


- △ □ ◇ ▽ 巨大碟: 1,000g以上
- △ □ ◇ ▽ 大 碟: 500以上~1,000g未満
- △ □ ◇ ▽ 中 碟: 100以上~500g未満
- △ □ ◇ ▽ 小 碟: 10以上~100g未満
- △ □ ◇ ▽ 細 碟: 10g未満
- 完形で(一部に)赤化が認められるもの
- △ 断面(の一部)のみ赤化したもの
- 断面以外に赤化が認められるもの
- ◇ 完形で赤化が認められないもの
- ▽ 断面も含め赤化が認められないもの
- ▲ ■ ◆ ▼ 黒色付着物があるもの



図 174 2A 区 旧石器時代の遺構 3 (1/40)

SK2008



- A. 黒褐色砂質土(10YR 3/1)~暗褐色土(10YR 3/3) [3層に近い印痕を受けず]
 B. 褐色砂質土(10YR 4/1) 1~2mm程の白色砂粒多く含む
 5. 2A区5層
 9. 2A区9層 (ただし、内側ではA層は認められない)
 11. 2A区11層
 16. 2A区16層
 17. 2A区17層

0 1m

図 175 2A区 旧石器時代の遺構 4 (1/20)

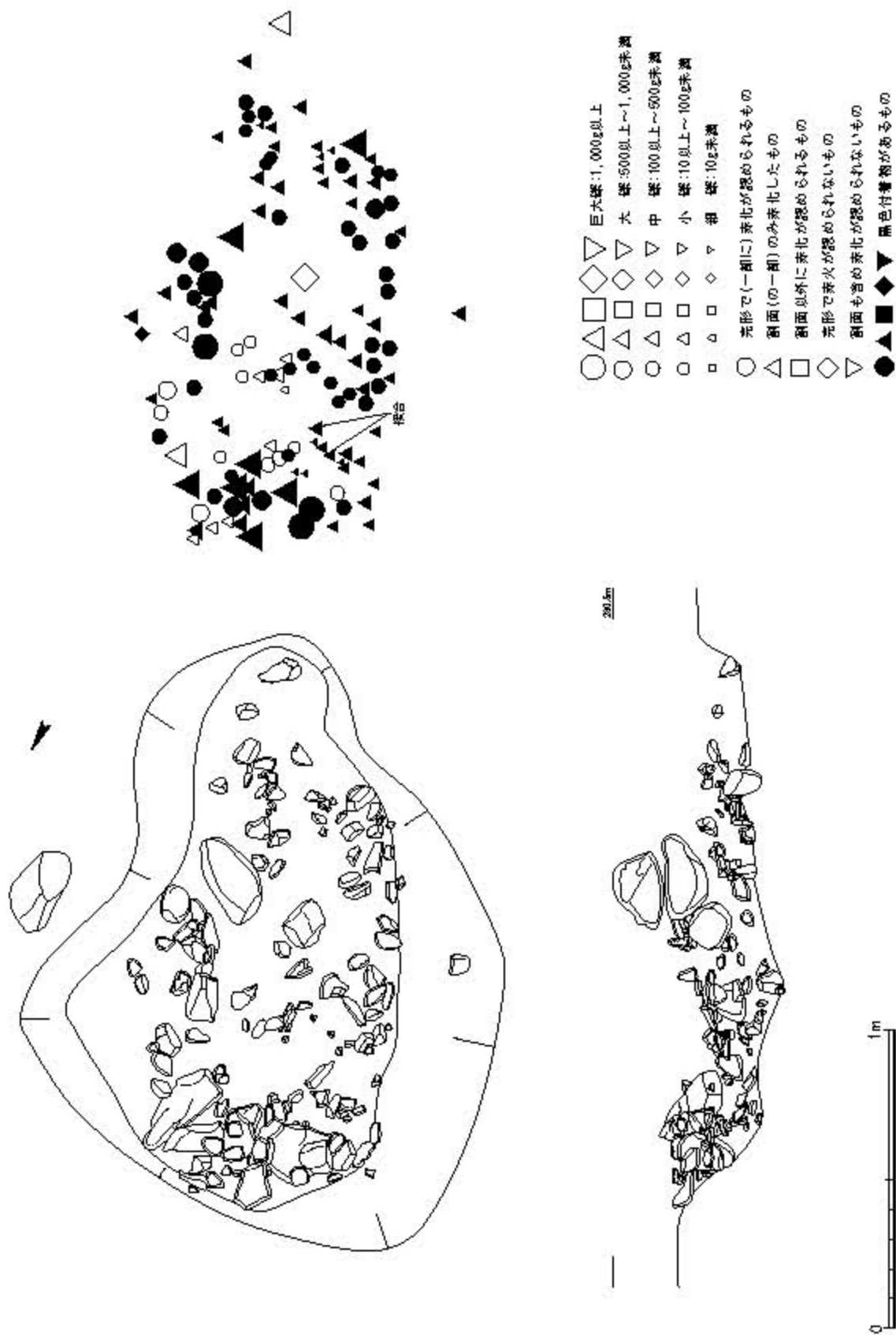


図 176 2A 区 縄文時代の遺構 1 (1/20)

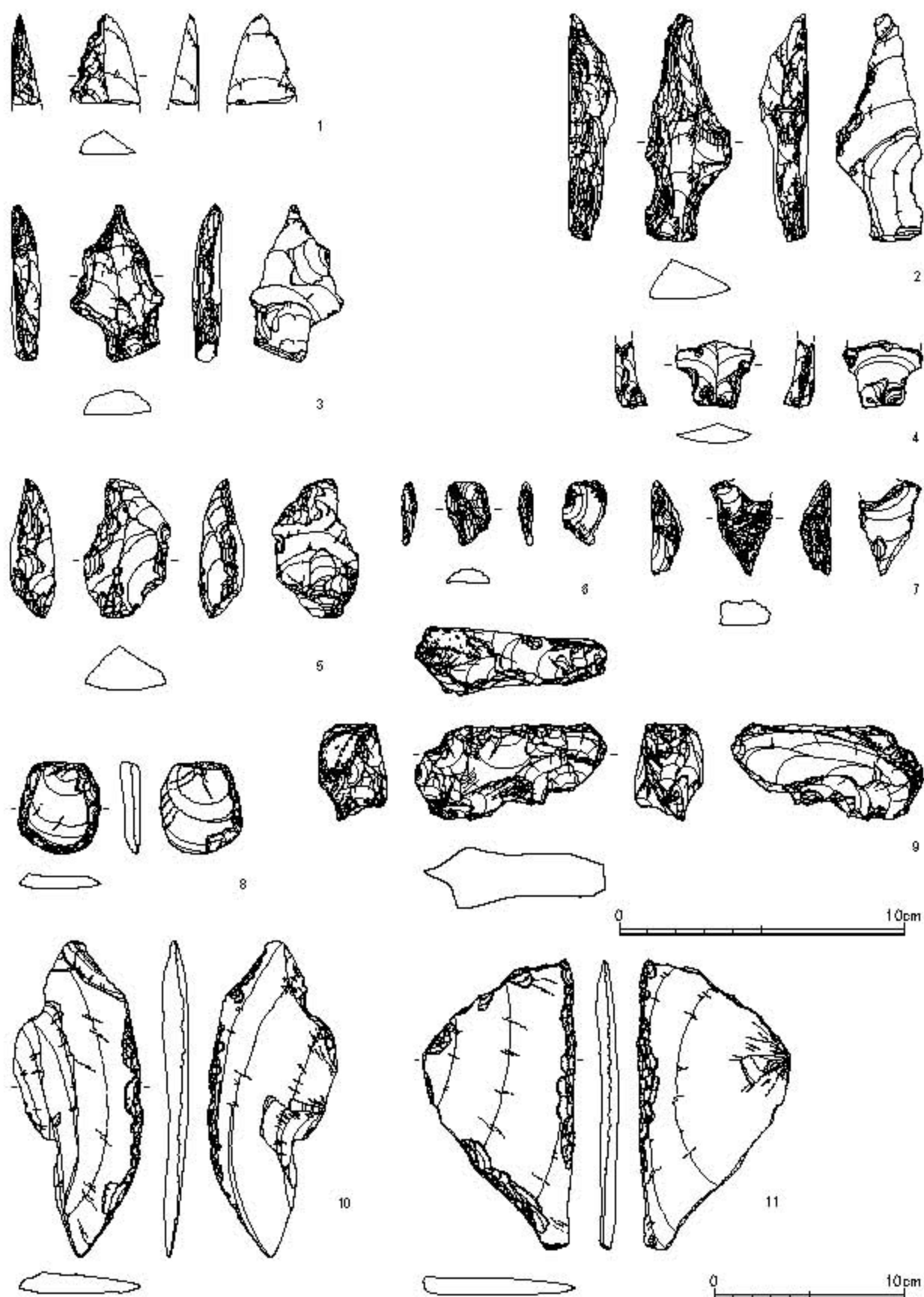


图 177 2A 区出土石器 3 层 (1/2·1/3)

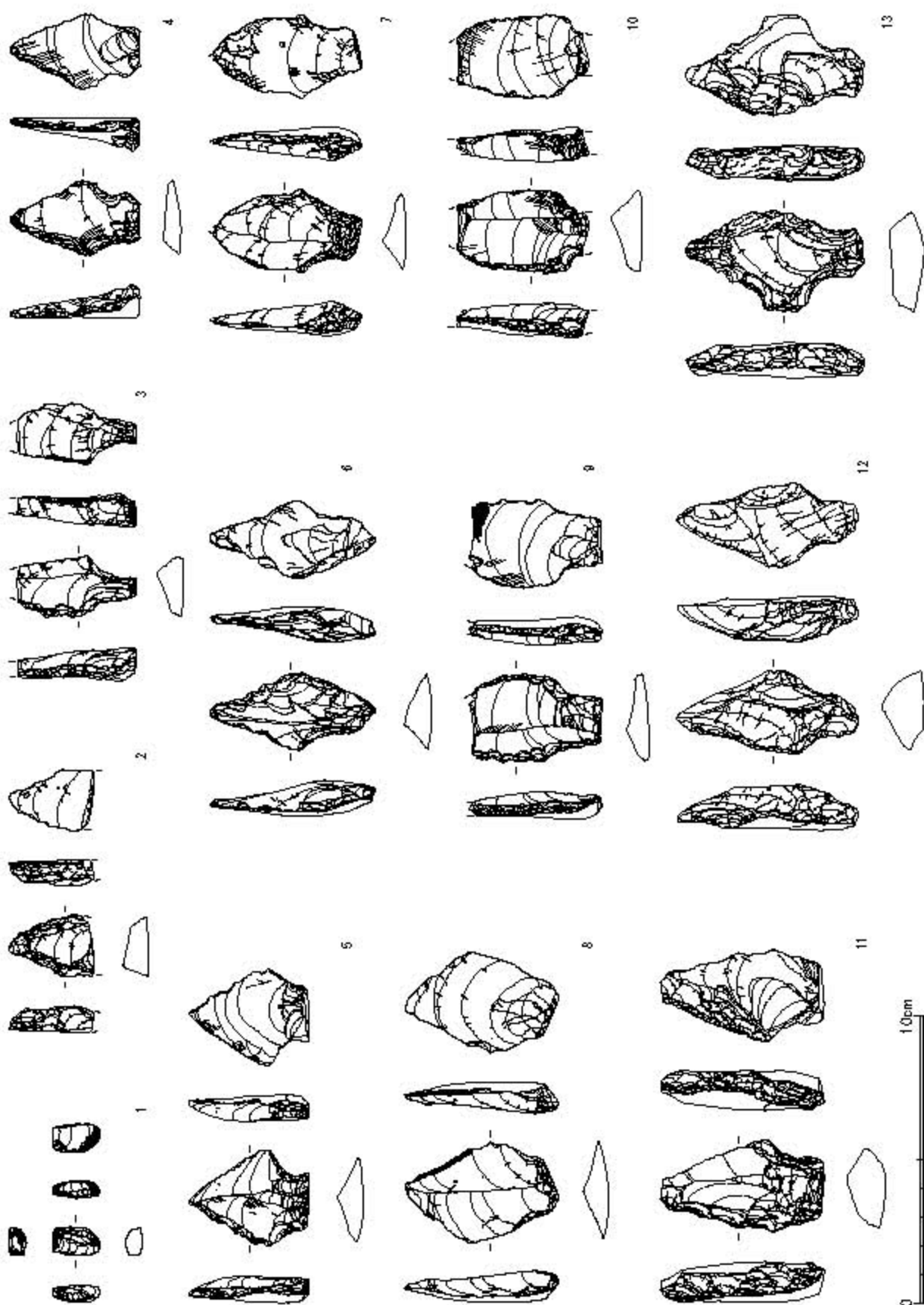


图 178 2A 区出土石器 4層 1 (1/2)

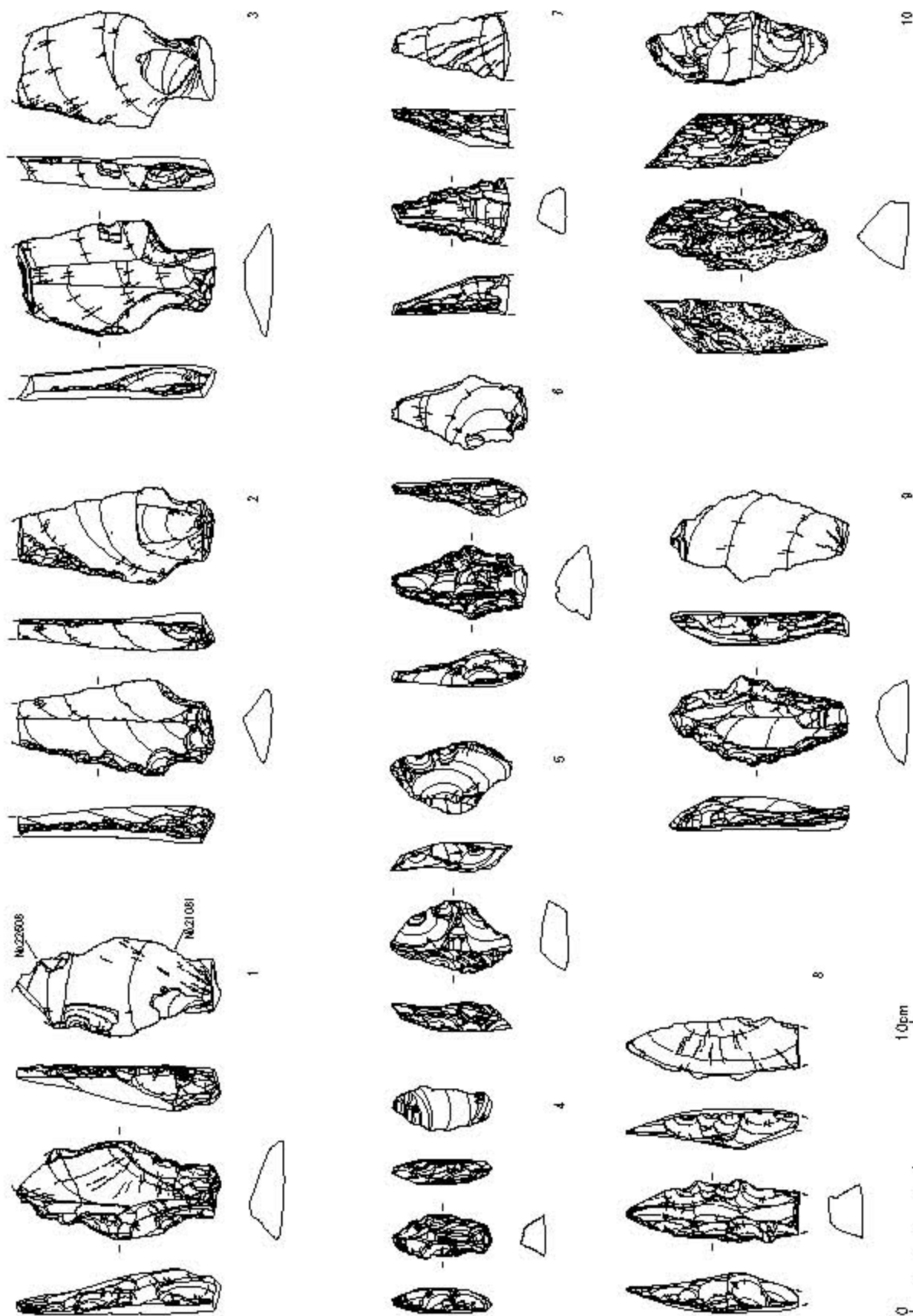


图 179 2A 区出土石器 4 层 2 (1/2)

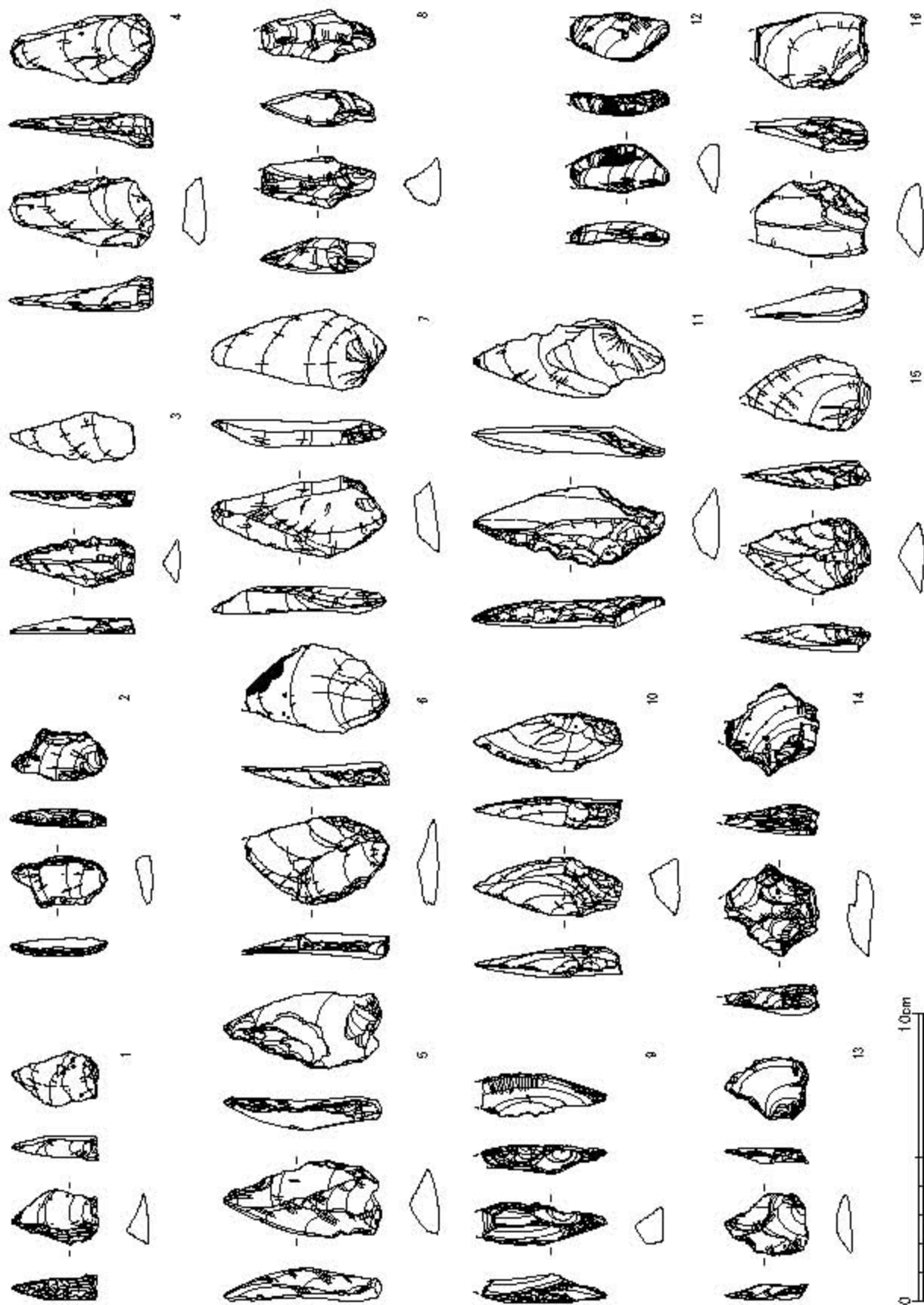


图 180 2A 区出土石器 4層 3 (1/2)

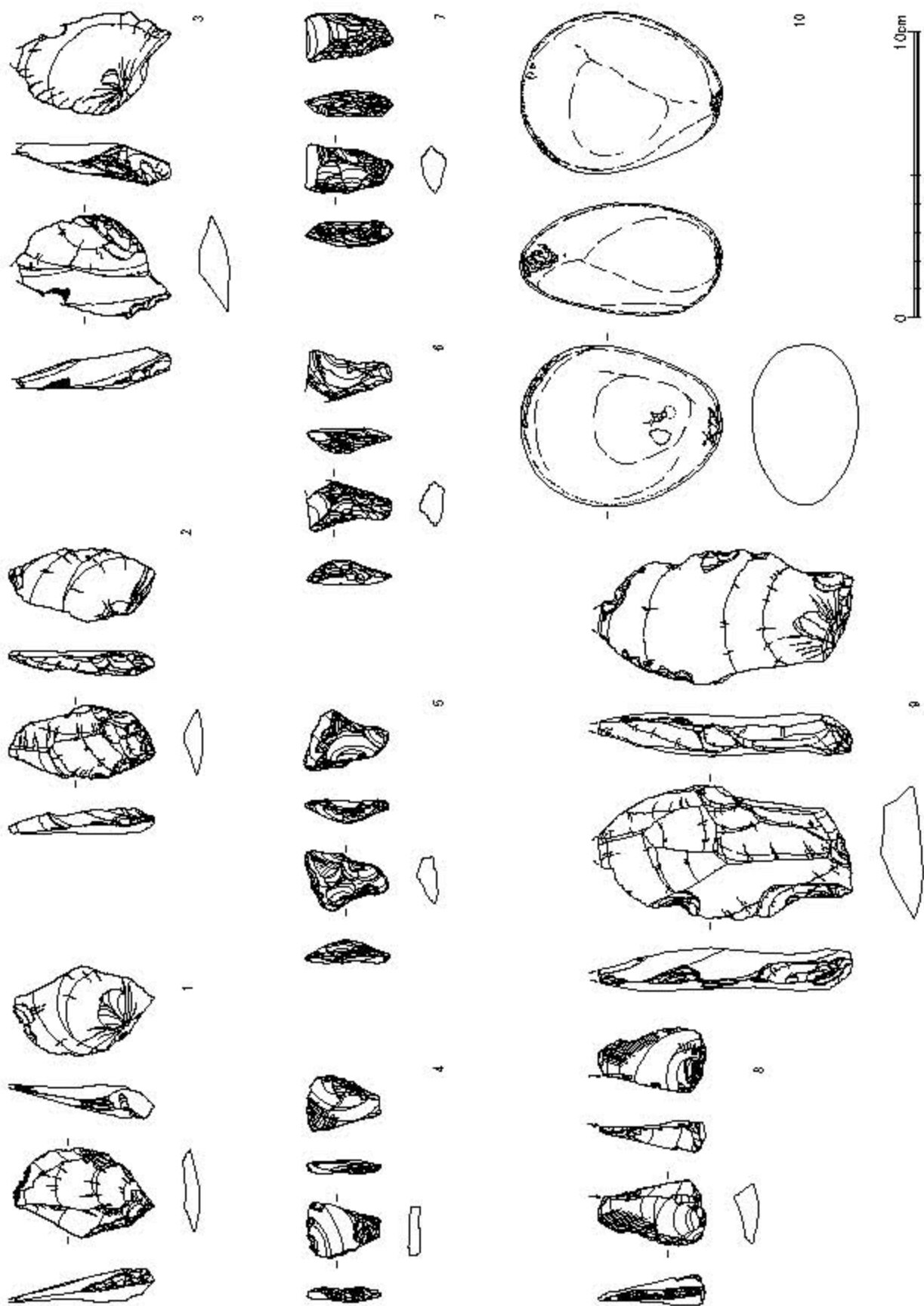


图 181 2A 区出土石器 4 层 4 (1/2)

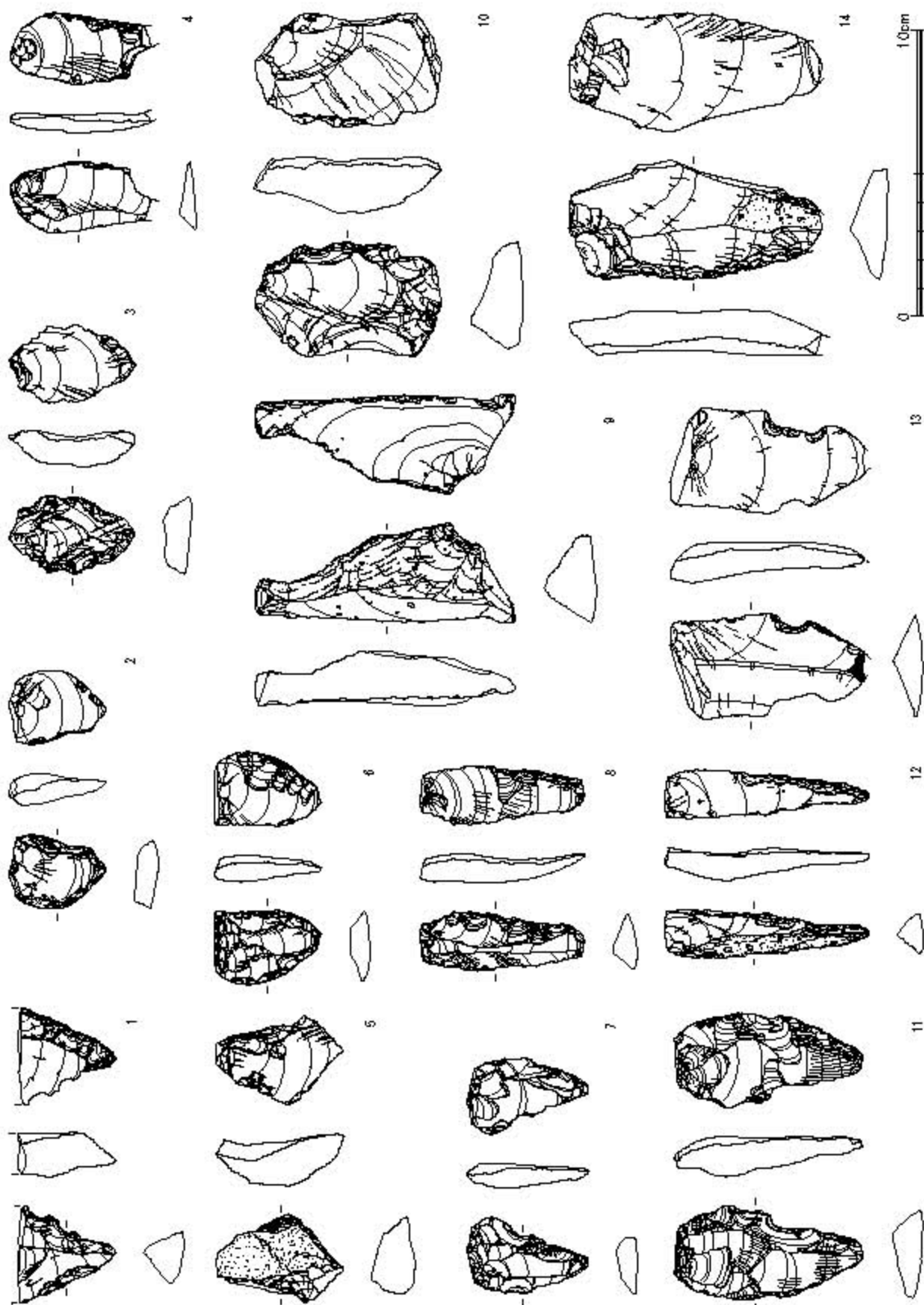


图 182 2A 区出土石器 4層 5 (1/2)

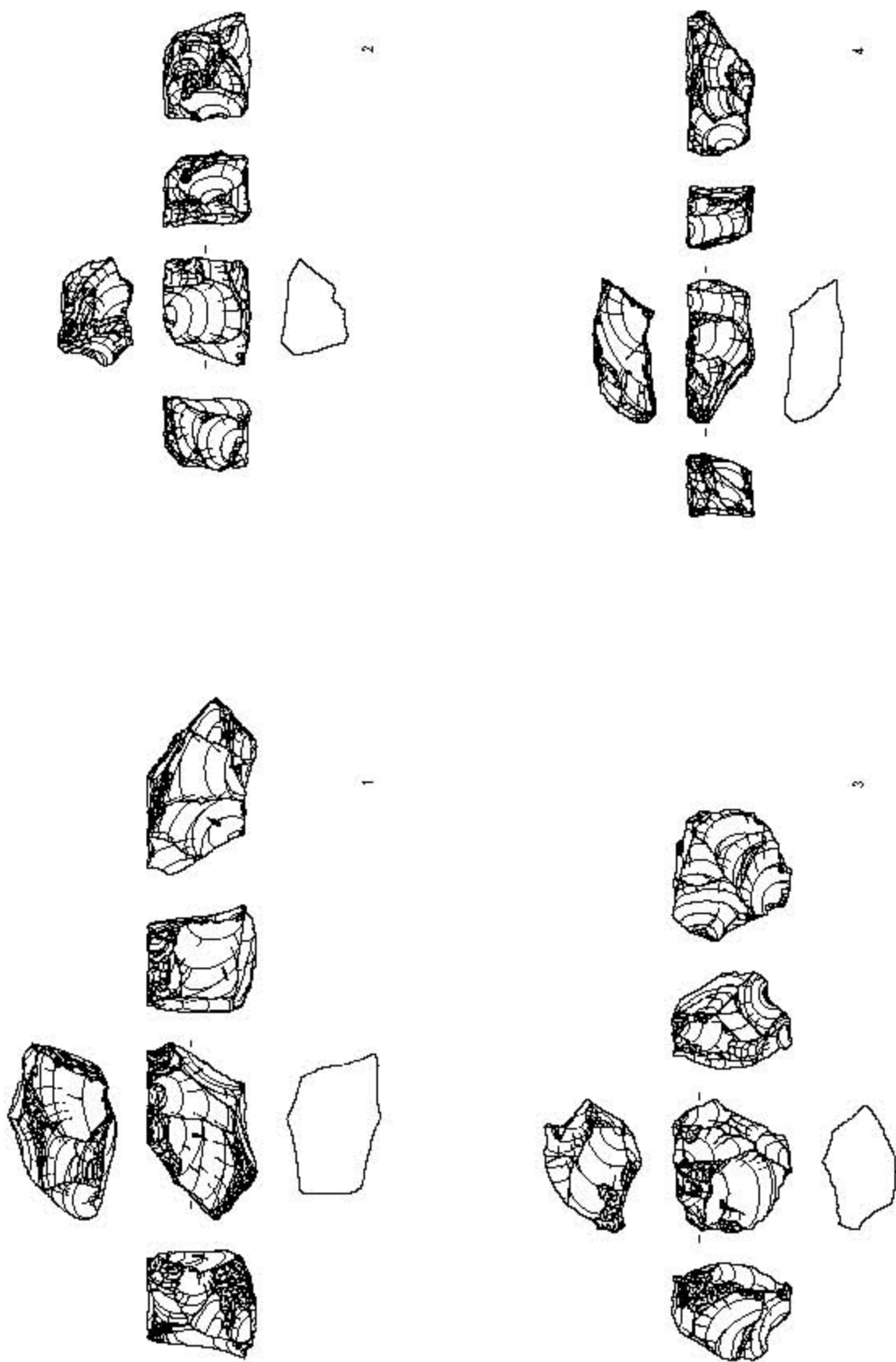


图 183 2A 区出土石器 4 属 6 (1/2)



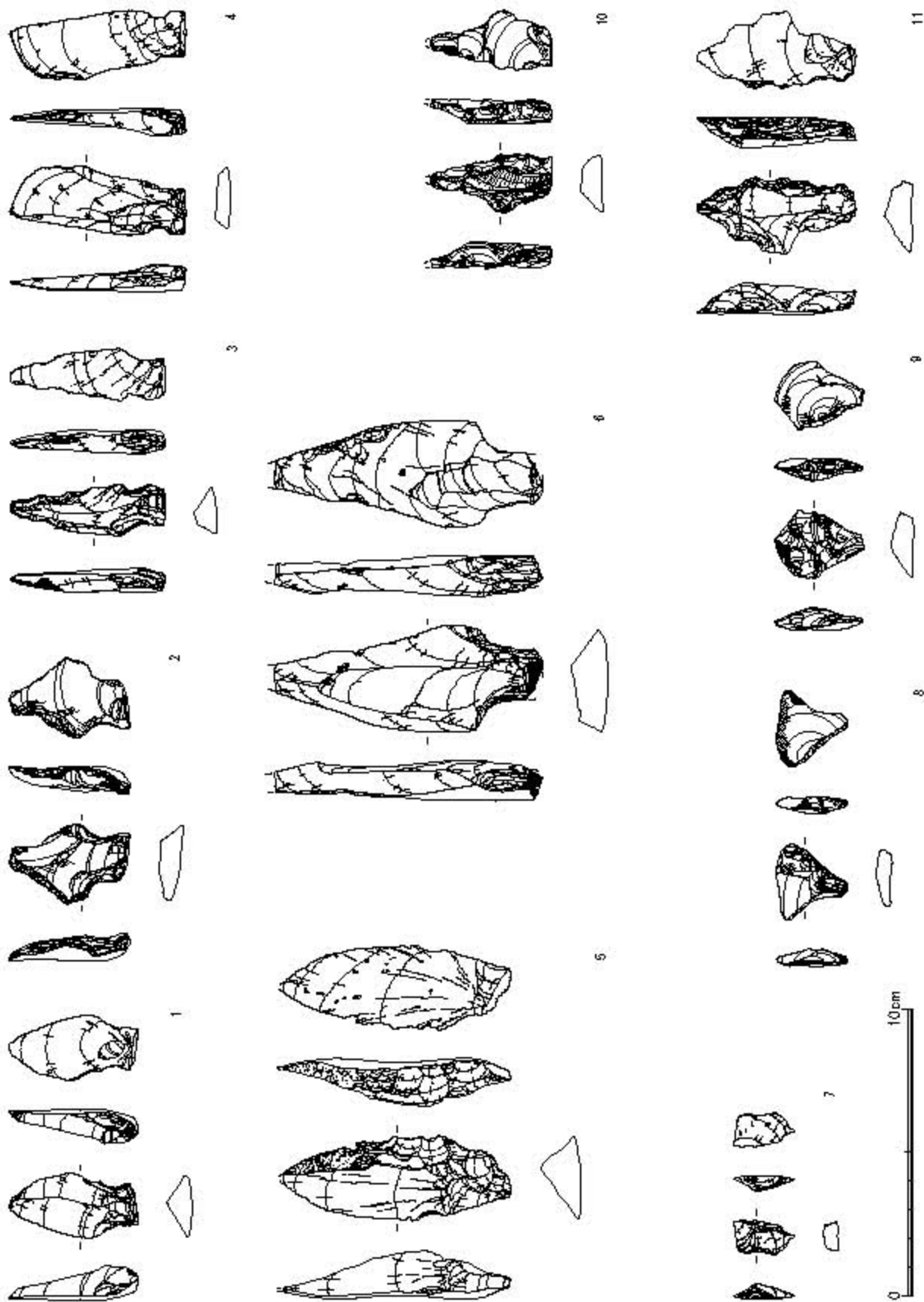


图 184 2A 区出土石器 5 層 1 (1/2)

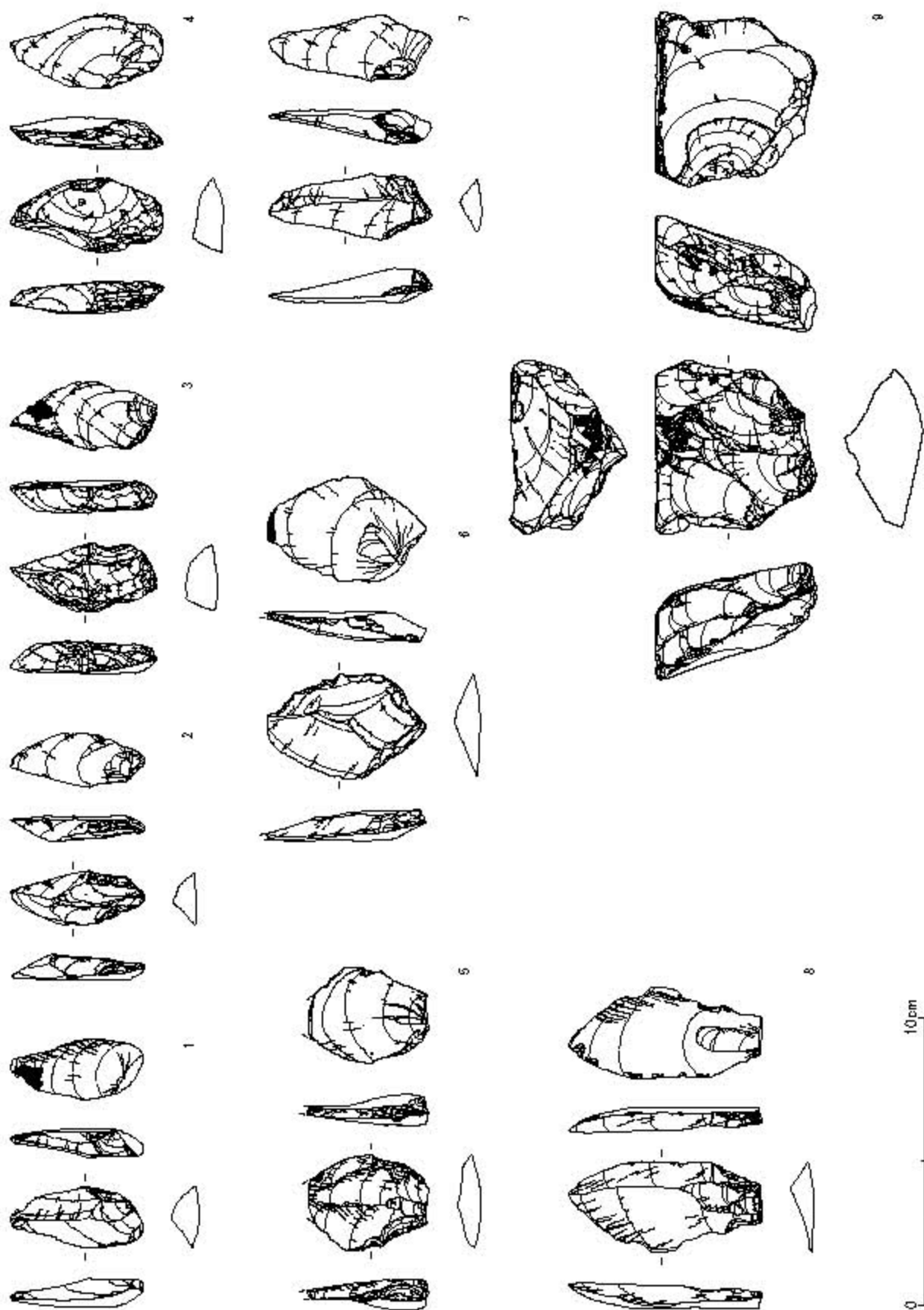


图 185 2A 区出土石器 5 层 2 (1/2)

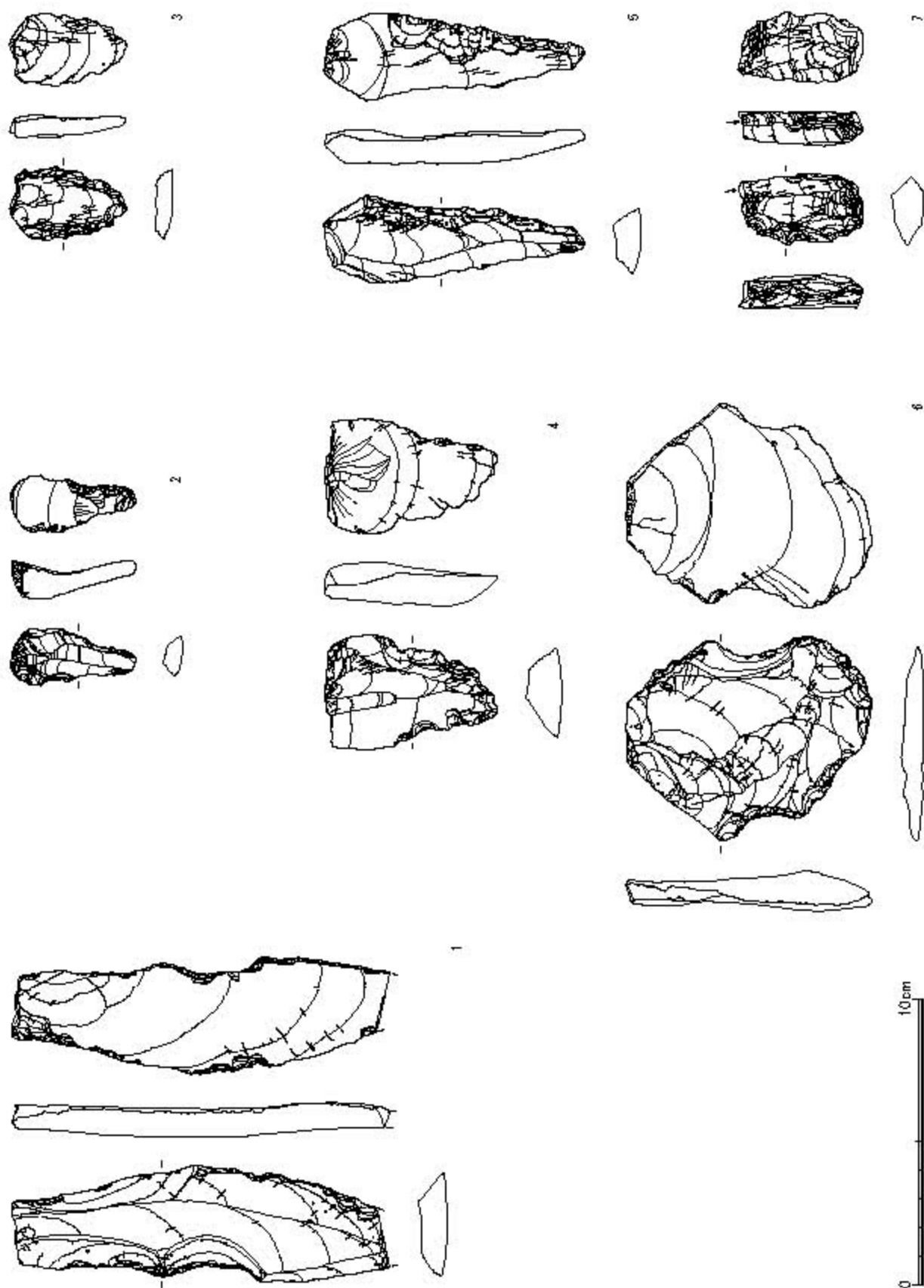


图 186 2A 区出土石器 5 層 3 (1/2)

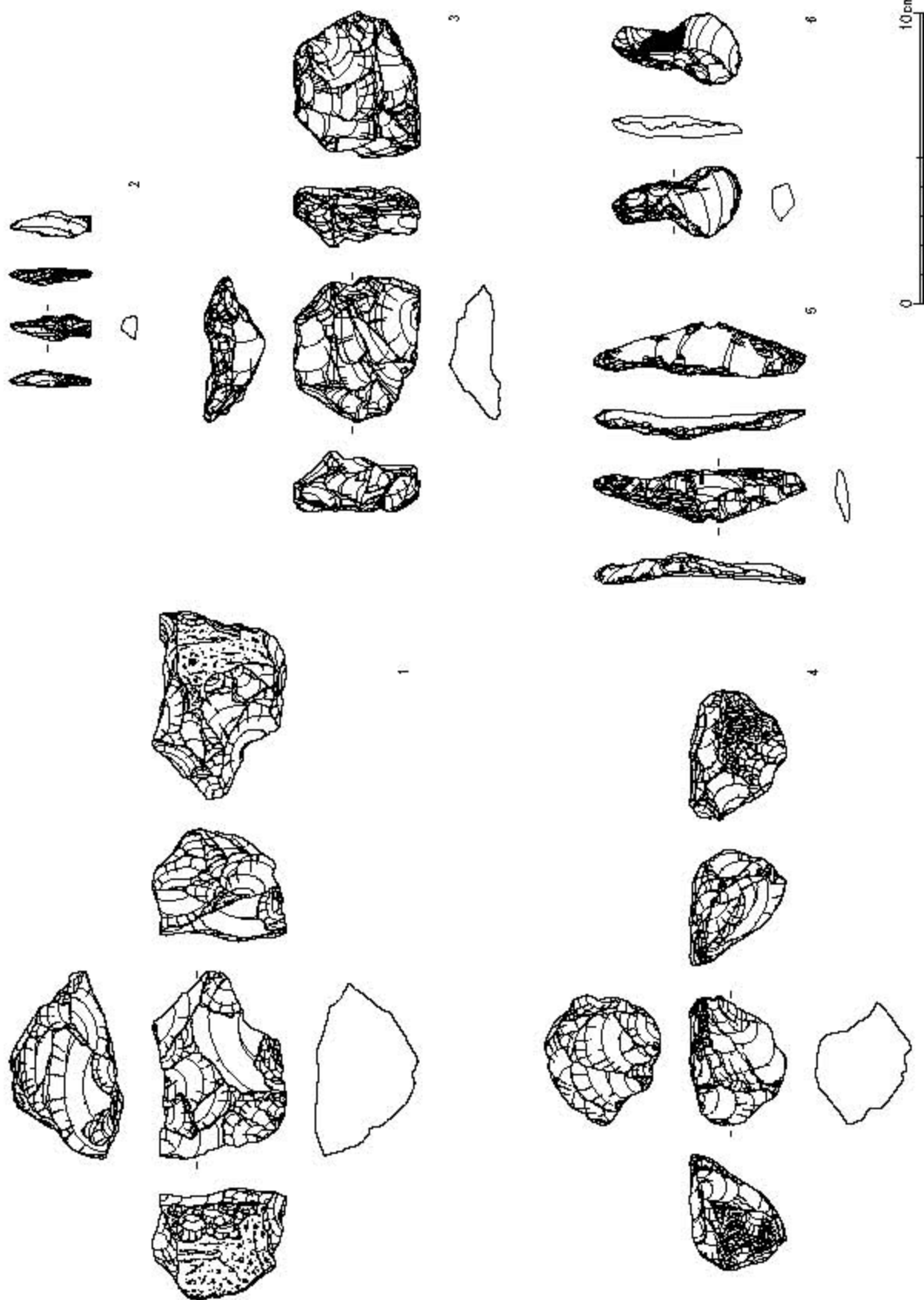


图 187 2A 区出土石器 9 层·12 层·13 层 (1/2)



图 188 24 区出土石器 15 層 (1/2)



图 189 2A 区出土石器 16 层 1 (1/2)

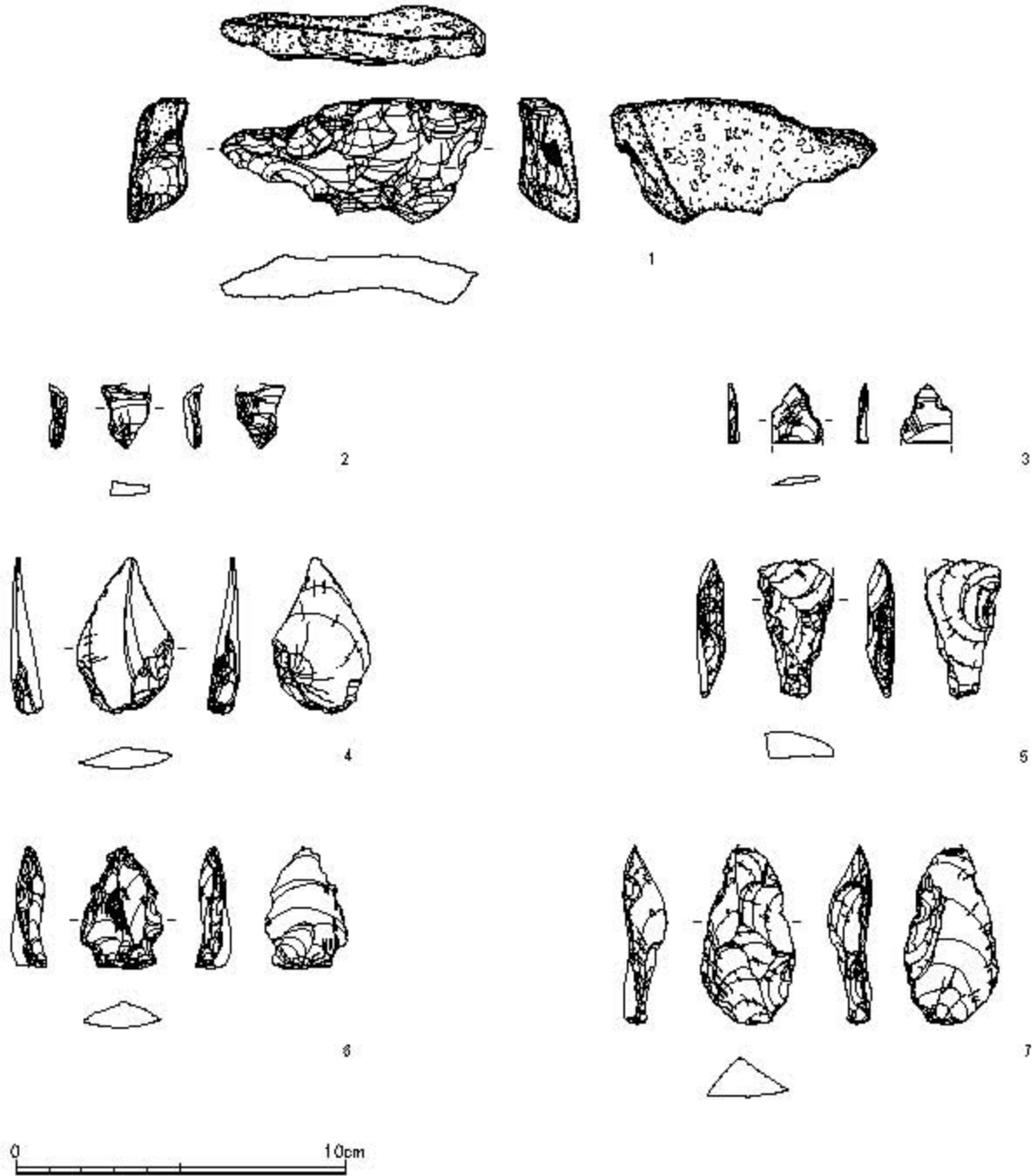


図190 2A区出土石器 16層2(1)、8Bトレ出土石器 4層(2)、8Dトレ出土石器 13層(3~5)、9トレ出土石器 4層(6)、9トレ出土石器 5層(7) (1/2)

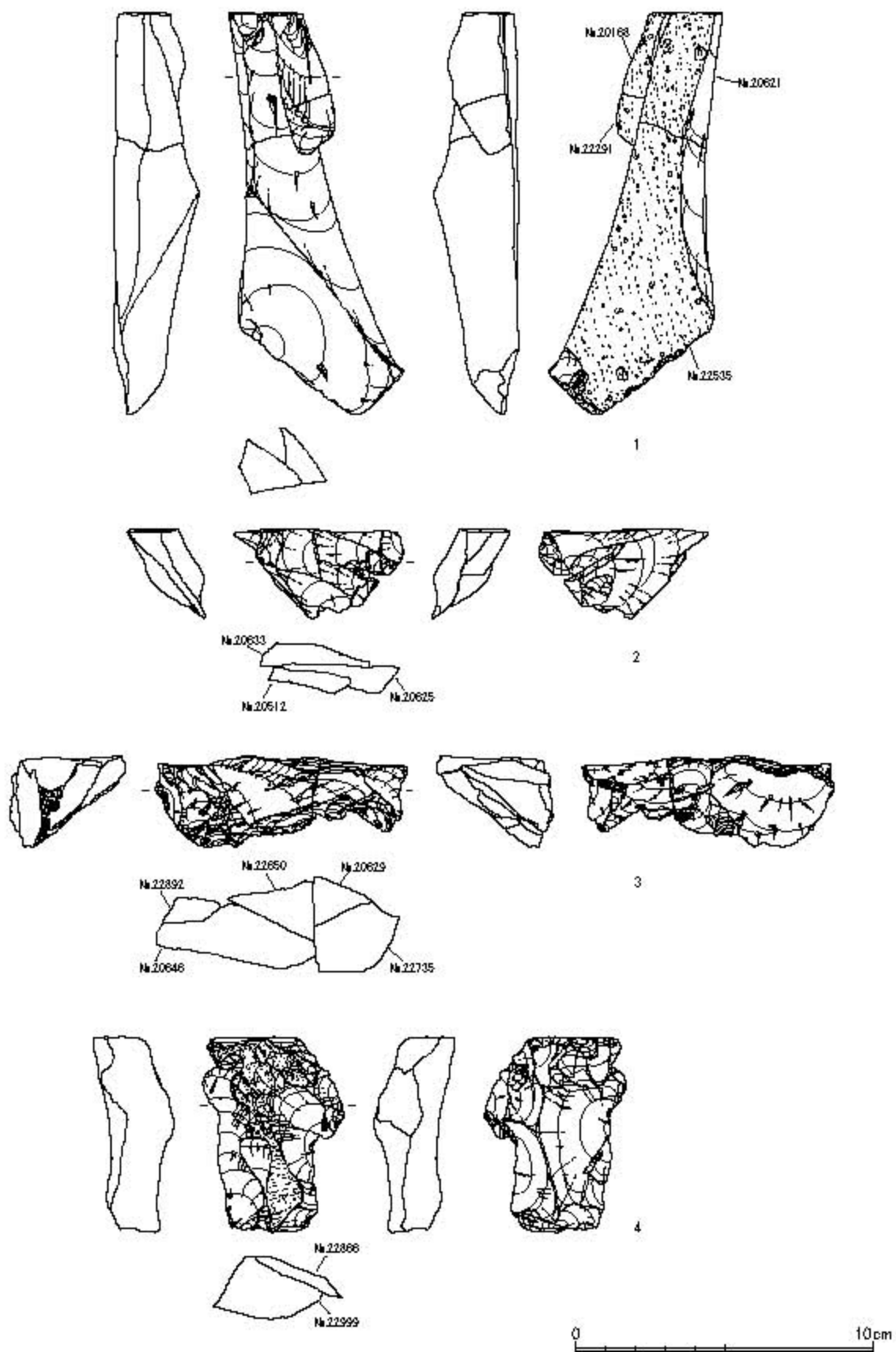


图 191 2A 区 出土石器 接合資料 3 層 (1/2)

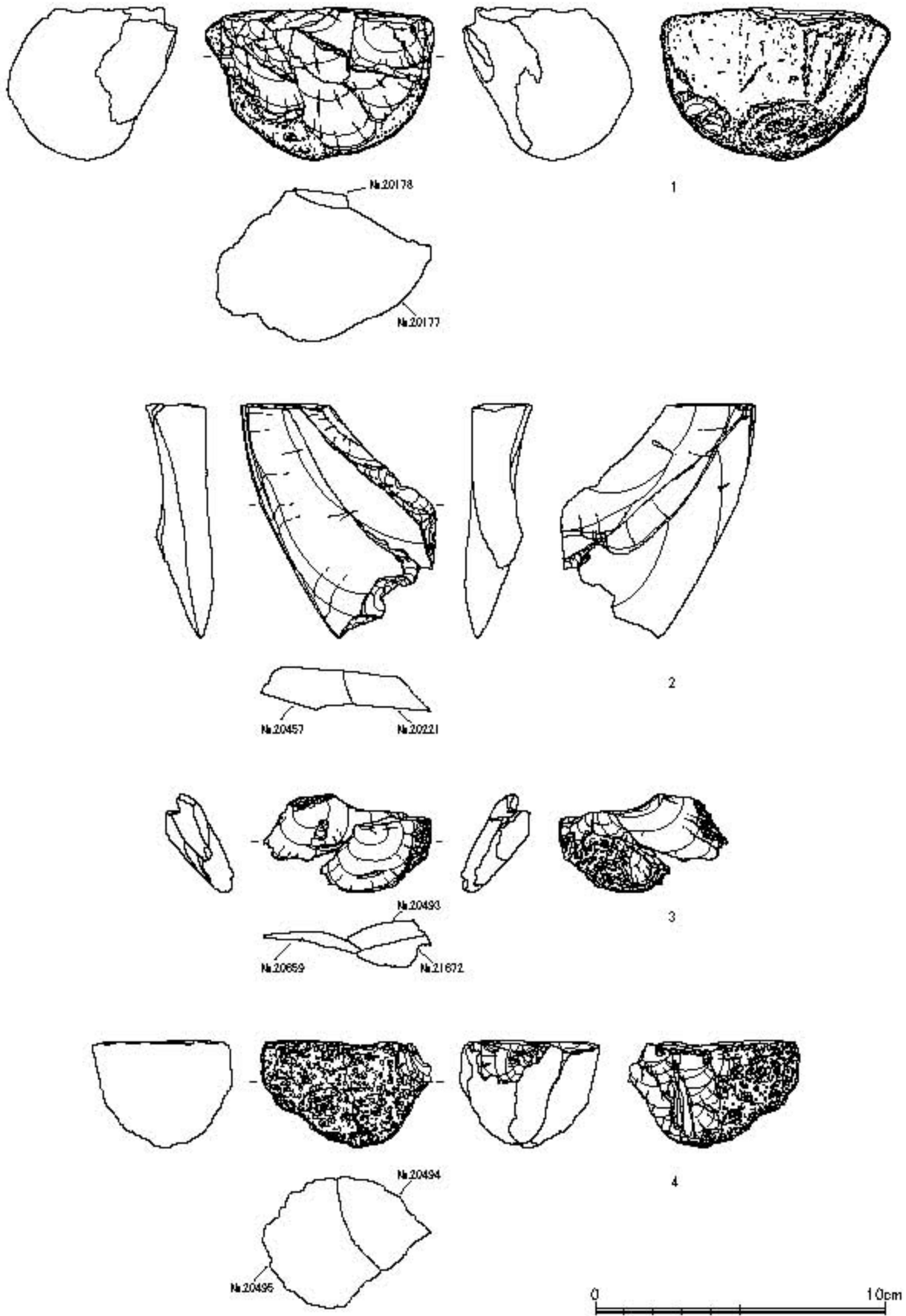


図192 2A区 出土石器 接合資料 4層1 (1/2)

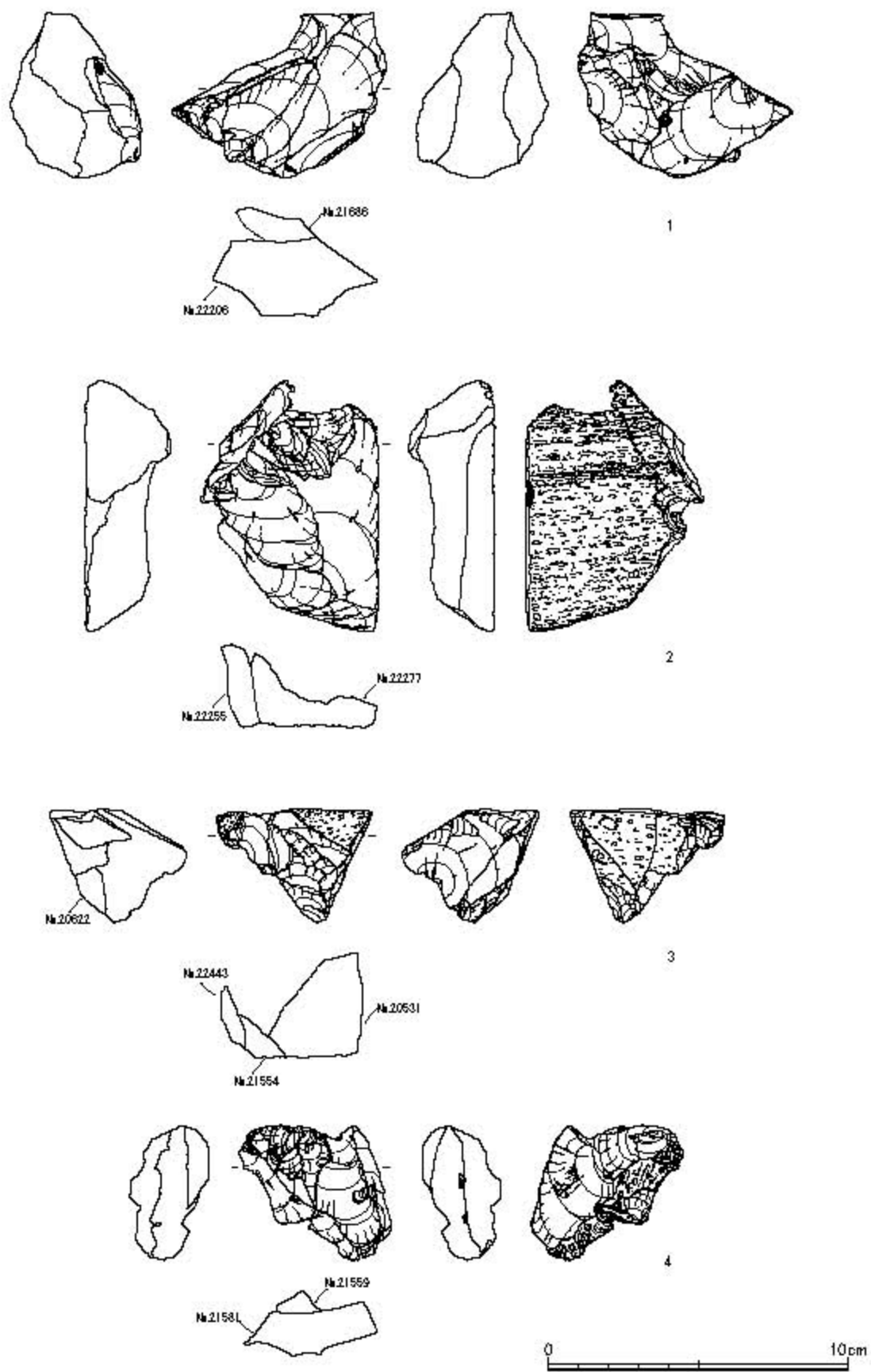


圖193 2A区 出土石器 接合資料 4層2 (1/2)

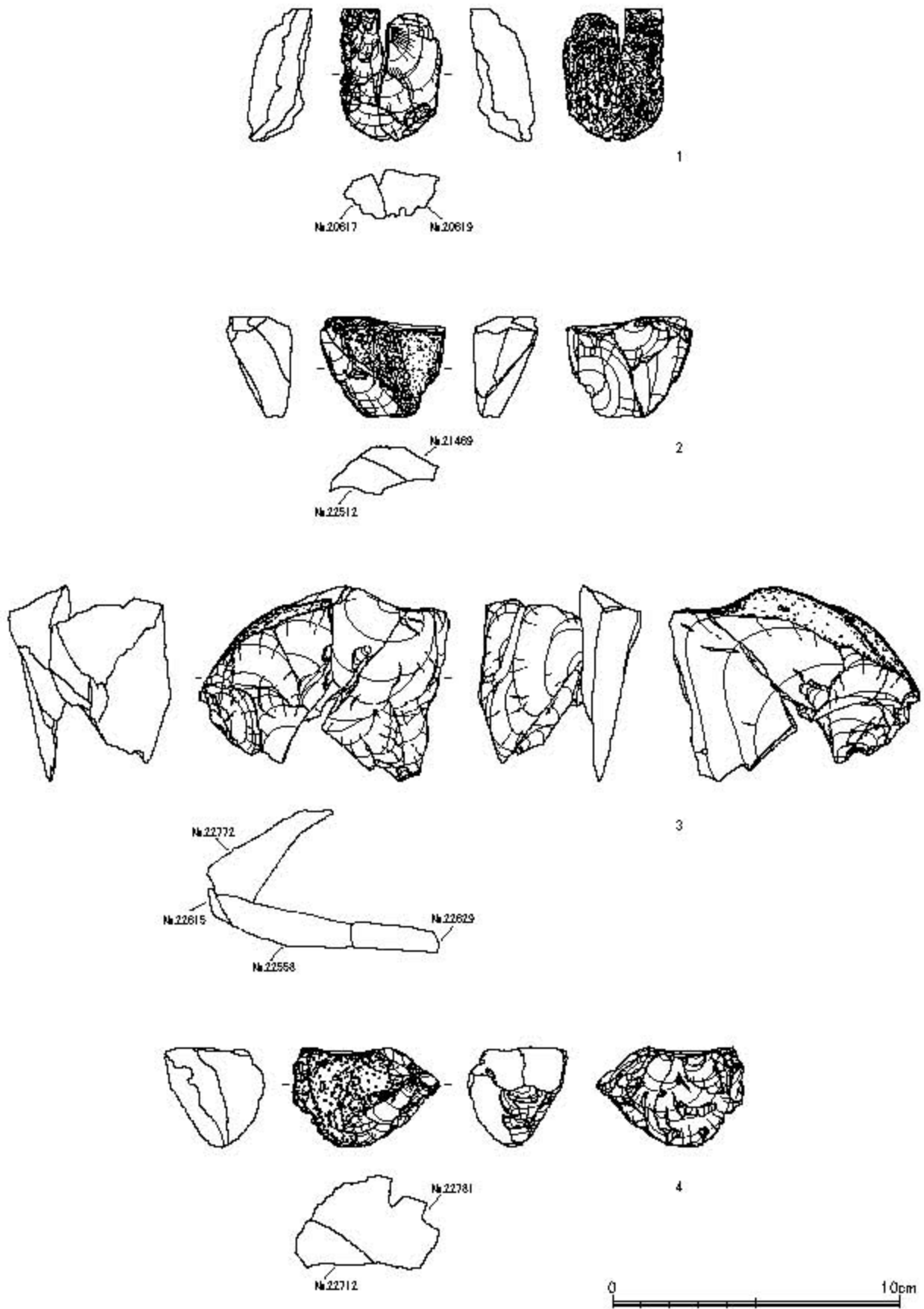


图 194 2A区 出土石器 接合資料 5層 (1/2)

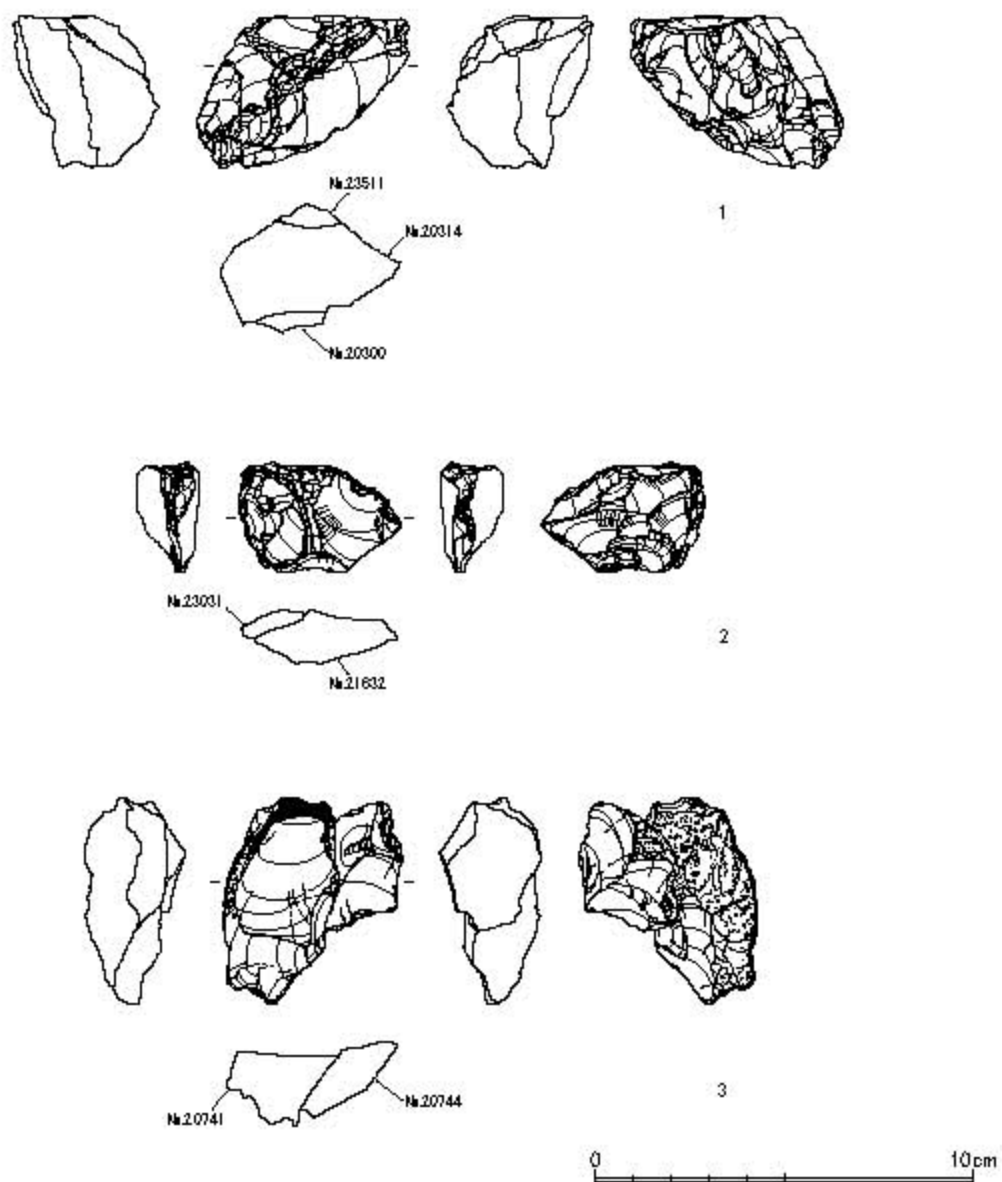


図 195 2A 区 出土石器 接合資料 15 層・16 層・8D トレ 12 層 (1/2)

表9 2A区 各ブロックの遺物の内容

区	ブロック内の遺物				採集状況 ※3			ブロック内の土器 土器の点数および 実測回数記載した 遺物 (遺物番号) ※4
	基点数・布地 ※1	張面積	遺物	母土 ※2	遺物	備考	実測回もしくは実測を記載した遺物 (遺物番号)	
3区	1	74 Ob①(21点) Ob②(15点) An(38点)	306.52g	Mb(1点)、Mk(1点)、Xn(1点)、 スク(1点)、Pf(2点)、Mf(4点)、 Ap(1点)、Rk(61点)、Cp(11点)	An母土№1、8、13	1遺(2点)	4区P1(2点)	Mb(№.21399)、Mk(№.22509)、Xn(№.23029)、スク(№.23253)、 23125)、Pf(№.23059)、Ap(№.21400、Rk(№.23255)
	2	154 Ob①(37点) Ob②(22点) Ob③(22点) Ob④(22点) An(80点) その他布地(1点)	1310.49g	Mk(2点)、Xn(1点)、Tp(2点)、 スク(6点)、Pf(7点)、Mf(5点)、Ap(1点)、 Rk(1点)、Rn(99点)、Cp(31点)	Ob母土№4 An母土№1、3、11、13	2遺(7点)	3区P3、 5区P1、 5区P2(2点)	Mk(№.20216、21003)、Xn(№.21027)、Tp(№.20041、21024)、 スク(№.20956、20983、21254、21395)、Pf(№.21022、21247、21512)、 Mf(№.20441、21141)、Ap(№.21318)、Rk(№.21511)、 Rn(№.20043、20512、20972、21023、21514、21515、22291)
	3	55 Ob①(22点) Ob②(22点) Ob③(5点) Ob④(1点) An(24点)	270.09g	Mb(2点)、Mk(1点)、Tp(1点)、 スク(1点)、Pf(5点)、Mf(2点)、 Rk(2点)、Cp(10点)	An母土№11、14、18	2遺(6点)	3区P2、 4区P2、 5区P1、 5区P2(2点)	Mb(№.20092、20094、21410)、Tp(№.20114)、スク(№.20174)、 Pf(№.20096、20173)、Rk(№.20112、20141、20168)
4区	1	354 Ob①(51点) Ob②(25点) Ob③(3点) Ob④(1点) An(54点)	13012g	Mb(1点)、Pf(1点)、Mk(2点)、Xn(7点)、 スク(7点)、Pf(7点)、Mf(5点)、Cp(5点)、 Pd(1点)、Rk(22点)、Cp(107点)	Ob母土№1~4、6、7、 9、11、12、 An母土№2~4、6、7、9、 11、12	8遺(17点)	3区P1、 4区P2、 5区P1(2点)	Mb(№.21568)、Pf(№.22100)、Mk(№.20676、21785)、 Xn(№.20707、21814、21914、21932、21938、22066、22088)、 スク(№.20658、20659、20759、20773、20920、21825)、 Pf(№.20870、21718)、Mf(№.21738、22151)、Cp(№.20881、21647)、 Pd(№.22150)、Rk(№.20659、20657、20679、20687、20757、20770、 20771、20872、21265、21559、21650、21652、21656、21662、21667、 21672、21686、21688、21711、21786、22083、22345)
	2	613 Ob①(54点) Ob②(22点) Ob③(99点) Ob④(1点) Ob⑤(1点) Ob⑥(5点) An(431点) その他布地(2点)	3361.42g	Pf(2点)、Mk(2点)、Xn(3点)、Tp(2点)、 スク(20点)、Cp(1点)、Pf(25点)、 Mf(4点)、Cp(10点)、Rk(336点)、 Cp(199点)、Mk(1点)	Ob母土№1~11 An母土№2~14、18	19遺(41点)	3区P3、 4区P1、 4区P2外、 5区P1、 5区P2(2点)	3P(№.20475、20492、21205)、Mk(№.20706、21079、21081、21210、 21227、21228、21690、21755、21800)、Xn(№.21073、21239、21981)、 Tp(№.20484、21750)、スク(№.20224、20473、20497、20606、20636、 20654、20655、21051、21052、21118、21123、21598、21796、21976、 22206、22313)、Cp(№.22126)、Pf(№.20221、20519、20537、20601、 20792、20939、21039、21180、21207、21779、22004、22136)、 Mf(№.20474、20479、20538、21750)、Cp(№.20491、20494、20496、 20518、20544、21059、22047、22206、22318)、 Rk(№.20373、20374、20481、20493、20503、20525、20530、20531、 20532、20547、20548、20551、20779、20786、20923、21050、21084、 21122、21190、21215、21240、21582、21607、21762、21990、22039、 22128、22204、22206、22214、22239、22259)、Mk(№.21162)
	3	48 Ob①(12点) Ob②(4点) An(31点) その他布地(1点)	2868.20g 8	Mb(1点)、Xn(1点)、スク(1点)、Pf(2点)、 Mf(1点)、Cp(1点)、Rk(26点)、Cp(13点)、 布石(1点)	Ob母土№10、 An母土№9、17	2遺(4点)	5区P4(2点)	Mb(№.21575)、Xn(№.21578)、スク(№.21576)、 Pf(№.22497、22878)、Mf(№.22879)、Cp(№.21572)、 Rk(№.21577、22589、22877、22882)、布石(№.22887)

表9 2A区 各ブロックの遺物の内容

層	ブロック内の遺物				母土※2	探査状況 ※3		未前もしくは予定を前記した遺物 (遺物番号)	ブロック内の土器 土器の点数および 未前もしくは予定を 前記した遺物 (遺物番号) ※4
	採点数	母土・母地 ※1	炭遺物	遺物		遺物	備考		
1	186	Ob①(17点) Ob②(24点) Ob③(4点) An①(40点) その他母材(1点)	982.40g	Ob(1点), Ob①(1点), MN(1点), TP(2点), スク(5点), PF(3点), MF(2点), CR(7点), BK(108点), CP(56点)	Ob母土№4, 6~12, An母土№6, 8, 10, 11, 13, 14, 18	13遺(34点)	3 遺 B2, 3 遺 B3, 4 遺 B2, 4 遺 B外, 5 遺 B1, 5 遺 B 外(遺物)	MP №.22514), 3P №.20907), MN(№.20845), TP №.20885, 22651), スク №.20615, 20836, 21475, 21489, 22734), PF №.20842, 21485), MP(№.20928), CR №.20617, 20619, 20850, 20894, 21469, 21588, 21581) BK №.20621, 20622, 20625, 20629, 20630, 20632, 20633, 20866, 20881, 20897, 21450, 21458, 21470, 21554, 22436, 22440, 22443, 22512, 22650, 22735)	-
5層	2	Ob①(9点) Ob②(1点) Ob③(5点) Ob④(14点) An①(119点)	833.65g	Ob(1点), MN(4点), Ob(1点), PF(5点), MF(1点), CR(1点), BK(86点), CP(33点)	Ob母土№4, 12, An母土№2, 11~15, 18	6遺(16点)	3 遺 B2, 3 遺 B3, 3 遺 B外, 4 遺 B1, 4 遺 B2, 5 遺 B1, 5 遺 B 外(遺物)	MF №.22548), MN №.22571, 22573, 22533, 22780), CR №.22549), PF (22608, 22707), MF №.22723), CR №.22820, 22781), BK №.22614, 22615, 22628, 22629, 22630, 22667, 22726, 22772, 22815)	-
3	31	Ob①(3点) Ob②(2点) An①(24点) その他母材(2点)	496.07g	Ob(2点), MN(1点), スク(1点), PF(1点), CR(1点), BK(20点), CP(2点)	An母土№17	1遺(2点)	MF №.20121, 20137, MN №.20120), スク №.20135, 20225, 20226), CR №.22549), BK №.20123, 20134)	-	
4	62	Ob①(5点) Ob②(4点) An①(52点)	563.64g	MN(1点), スク(1点), PF(2点), BK(44点), CP(12点)	An母土№6, 9, 14, 16, 17	5遺(12点)	MN №.21900), スク №.21890, 22909), PF №.21884), BK №.21899, 22874, 22888, 22895, 22902, 22903, 22910, 22919)	-	
15層	1	Ob①(133点) Ob②(14点) Ob③(1点) Ob④(1点) An①(85点)	982.14g	MN(3点), TP(1点), スク(10点), Ob(2点), PF(5点), MF(13点), CR(12点), CP(5点), BK(134点), CP(9点)	Ob母土№13, 14	5遺(13点)	MN №.20295, 20390, 23088), TP №.23078), スク №.20279, 20281, 20289, 20294, 20340, 20349, 20398, 20399, 23048, 23082), CR №.20413, 23110), PF №.20342, 20352, 20404, 20405, 23054), MF №.20305, 20308, 20311, 20328, 20391, 20394, 20405, 23021, 23057), CR №.20296, 20314, 23022, 23109)	-	
16層	1	Ob①(133点) Ob②(11点) Ob③(4点) Ob④(1点) An①(21点)	708.59g	MN(4点), TP(1点), スク(6点), Ob(1点), PF(13点), MF(13点), CR(1点), BK(127点), CP(4点)	Ob母土№13~16	6遺(13点)	BK №.20244, 20285, 20293, 20294, 20300, 20304, 20312, 20313, 20315, 20337, 20339, 20353, 20412, 23046, 23088, 23120)	-	

※1 Ob①: 成層底, Ob②: 母土層底, Ob③: 小間底, Ob④: ガラス破砕片層, Ob⑤: ①-④以外, An: 灰山層

※2 母土についてはブロック外, 他ブロック, 他層にまたいで想定されたものも含む

※3 採査はブロック内(区)ではなく, 他ブロック, ブロック外での採査も含む。 B = 探査ブロック

※4 採点数, 炭遺物等は土器の点数, 土器は採査されていない

表 10 2A 区 各ブロックの器種組成

区	ブロック	ME	MC	形法	SP	KN	TP	スウ	CB	DR	RF	MF	CK	ED	紋石等	RS	DK	CP	AP	点	%			
3	1	An	1	-	-	-	1	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	23	3	2	26	点		
			2.8	-	-	-	2.8	-	2.8	-	-	2.8	11.1	-	-	-	-	-	63.8	8.3	5.6	88	%	
			0.25	-	-	-	8.41	-	8.41	-	-	2.95	11.8	-	-	-	-	-	49.87	10.9	0.67	89.88	%	
			0.3	-	-	-	9.4	-	9.4	-	-	2.6	12.4	-	-	-	-	-	56.5	12	0.7	88	%	
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	28	8	-	38	点	
			-	-	2.6	-	-	-	-	-	-	2.6	-	-	-	-	-	-	73.7	21.1	-	-	%	
			-	-	5.87	-	-	-	-	-	-	31.04	-	-	-	-	-	-	179.82	22.1	-	-	218.64	点
			-	-	2.7	-	-	-	-	-	-	14.2	-	-	-	-	-	-	82.1	10	-	-	96.3	点
			1	-	1.95	-	1.95	-	1.95	-	1.95	-	2.7	5.4	-	-	-	-	68.9	14.9	2.7	-	74	点
			0.25	-	5.87	-	16.06	-	8.41	-	8.41	-	33.39	11.8	-	-	-	-	229.39	33.0	0.67	-	308.52	点
3	2	An	0.1	-	1.9	-	2.7	-	2.7	-	10.8	3.6	-	-	-	-	-	74.4	1.1	0.2	-	73	点	
			-	-	1	-	1	-	1	-	1	5	2	-	-	-	-	1	44	1.9	-	-	46.3	点
			-	-	1.4	-	1.4	-	1.4	-	1.4	6.8	2.7	-	-	-	-	1.4	60.3	26.0	-	-	86.3	点
			-	-	14.60	-	11.42	-	11.42	-	11.42	16.63	9.34	-	-	-	-	499.40	187.41	2.28	-	-	740.99	点
			-	-	2.0	-	1.6	-	1.6	-	1.6	2.2	1.3	-	-	-	-	67.4	25.3	0.3	-	-	72.7	点
			-	-	1	-	1	-	1	-	1	2	3	-	-	-	-	-	5.3	12	1	-	17.3	点
			-	-	1.9	-	1.9	-	2.5	-	2.5	2.5	3.8	-	-	-	-	-	67.1	15.1	1.3	-	73.4	点
			-	-	27.92	-	20.79	-	8.42	-	8.42	29.77	24.39	-	-	-	-	-	340.37	49.1	1.16	-	513.88	点
			-	-	5.4	-	4.0	-	1.6	-	1.6	5.7	4.7	-	-	-	-	-	66.6	1.0	0.2	-	67.8	点
			3	1	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	点
3	3	An	3	1	-	-	1	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	18	6	-	-	31	点	
			9.7	3.2	-	-	3.2	-	3.2	-	3.2	3.2	-	-	-	-	-	58.1	19.4	-	-	77.5	点	
			0.63	0.18	-	-	1.26	-	1.26	-	1.26	10.57	4.49	-	-	-	-	-	51.01	0.41	-	-	51.42	点
			0.8	0.3	-	-	1.8	-	1.8	-	1.8	15.4	6.6	-	-	-	-	-	74.5	0.6	-	-	75.1	点
			-	-	-	-	-	-	1	-	1	4	1	-	-	-	-	-	14	4	-	-	18	点
			-	-	-	-	-	-	4.2	-	4.2	16.7	4.2	-	-	-	-	-	58.3	16.6	-	-	74.9	点
			-	-	-	-	-	-	11.96	-	11.96	50.26	5.03	-	-	-	-	-	133.70	0.69	-	-	134.39	点
			3	1	-	-	1	-	1	-	1	24.9	2.5	-	-	-	-	-	66.3	0.4	-	-	66.7	点
			5.5	1.8	-	-	1.8	-	1.8	-	1.8	9.1	3.6	-	-	-	-	-	58.2	18.2	-	-	76.4	点
			0.63	0.18	-	-	1.26	-	1.26	-	1.26	60.83	9.82	-	-	-	-	-	184.71	1.10	-	-	185.81	点
4	1	An	0.2	0.1	-	-	0.5	-	0.5	-	2.25	3.5	-	-	-	-	-	68.4	0.4	-	-	68.8	点	
			1	-	-	-	1	-	1	-	1	3	1	-	-	-	-	49	24	-	-	73	点	
			1.1	-	-	-	1.1	-	1.1	-	1.1	4.5	3.3	-	-	-	-	54.4	26.7	-	-	81.1	点	
			0.04	-	-	-	8.27	-	16.21	-	16.21	16.69	16.89	20.82	1.93	-	-	-	182.54	8.06	-	-	190.6	点
			0.1	-	-	-	3.2	-	3.2	-	3.2	6.1	8.0	0.7	-	-	-	-	59.0	3.1	-	-	62.1	点
			-	-	2	-	2	-	2	-	2	3	3	-	-	-	-	-	16.8	8.3	-	-	25.1	点
			-	-	0.7	-	1.1	-	1.1	-	1.1	1.1	1.1	0.7	-	-	-	-	62.5	30.9	-	-	93.4	点
			-	-	37.14	-	33.33	-	76.50	-	76.50	18.11	25.71	25.13	-	-	-	-	789.88	24.80	-	-	814.68	点
			-	-	3.6	-	3.2	-	3.2	-	3.2	1.7	2.6	3.4	-	-	-	-	75.8	2.3	-	-	78.1	点
			1	-	2	-	1	-	1	-	1	7	6	3	-	-	-	-	21.7	10.7	-	-	32.4	点
0.3	-	0.5	0.3	1.9	-	1.9	-	1.9	1.9	1.7	0.9	0.3	-	-	-	60.5	29.8	-	-	90.3	点			
0.04	-	37.14	8.27	53.52	-	93.71	-	93.71	33.80	41.60	55.95	1.93	-	-	-	942.42	32.86	-	-	975.28	点			
0.1	-	2.9	0.6	4.1	-	7.2	-	7.2	2.6	3.2	4.3	0.1	-	-	-	72.4	2.5	-	-	74.9	点			

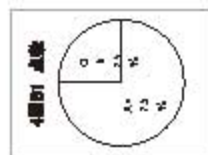
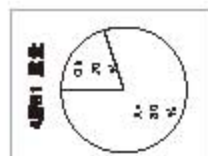
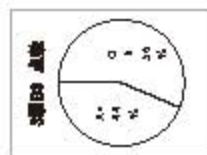
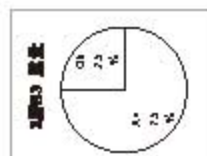
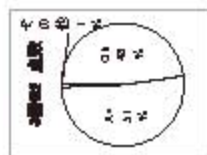
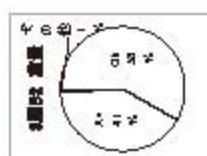
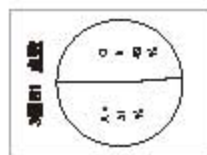
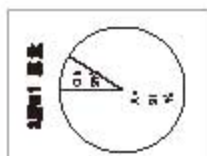


表 10 2A 区 各ブロックの器種組成

区	ブロック	MB	MC	MD	ME	MF	MG	MH	MI	MJ	MK	ML	MM	MP	MQ	MR	MS	MT	MU	MV	MW	MX	MY	MZ	合計					
4	2	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	3	Ob	625	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
			034	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	1	Ob	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
			034	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
5	2	Ob	01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
5	3	Ob	05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
			003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
			01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
			1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
			22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
			003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

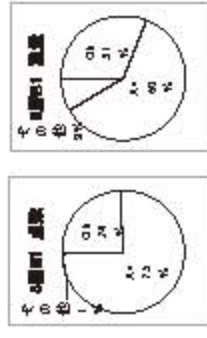
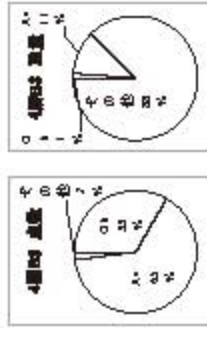
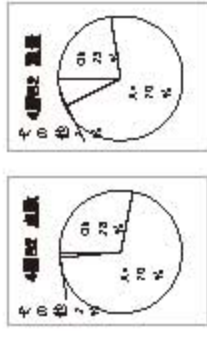


表 10 2A 区 各ブロックの器種組成

区	ブロック	MB	MC	形法	枚	KN	TP	スウ	OB	DR	RF	MF	CK	ED	紋字等	RS	DK	CP	AP	16	点		
5	2	Ob	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	8	4	-	-	点	
			-	-	625	-	625	-	-	-	-	625	-	625	-	-	-	-	50.0	25.0	-	-	%
			-	-	752	-	563	-	-	-	-	442	-	3882	-	-	-	-	71.80	0.45	-	-	128.74
			-	-	59	-	44	-	-	-	-	34	-	302	-	-	-	-	55.8	0.3	-	-	%
			-	-	-	-	3	-	-	-	1	5	1	2	-	-	-	-	78	29	-	-	119
5	4	An	-	-	-	-	-	-	0.8	-	4.2	0.8	17	-	-	-	-	65.6	24.4	-	-	点	
			-	-	3251	-	2115	-	2115	-	6488	-	-	-	-	-	-	-	589.68	7.38	-	-	70491
			-	-	-	-	48	-	-	-	21	3.0	0.5	92	-	-	-	-	79.4	1.0	-	-	%
			-	-	1	-	4	-	-	-	1	6	1	3	-	-	-	-	86	33	-	-	195
			-	-	0.7	-	30	-	-	-	0.7	4.5	0.7	2.2	-	-	-	-	63.7	24.5	-	-	%
5	3	合計	-	-	752	-	3914	-	1486	-	2557	345	10370	-	-	-	-	631.48	7.83	-	-	83365	
			-	-	0.9	-	47	-	-	-	1.8	3.1	0.4	12.4	-	-	-	75.8	0.9	-	-	%	
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	1	-	-	5
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	200	-	-	-	60.0	20.0	-	-	%
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1689	-	-	-	3.45	0.11	-	-	20.45
5	3	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.9	0.5	-	-	点	
			-	-	2	-	1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	16	2	-	-	24
			-	-	83	-	42	-	83	-	-	4.2	-	-	-	-	-	-	66.7	8.3	-	-	%
			-	-	5475	-	1254	-	9066	-	-	232	-	-	-	-	-	-	230.97	0.58	-	-	39182
			-	-	140	-	32	-	231	-	-	0.5	-	-	-	-	-	-	59.0	0.1	-	-	%
5	3	An	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	点	
			-	-	-	-	-	-	500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	%
			-	-	-	-	-	-	2791	-	-	-	-	-	-	-	-	-	55.89	-	-	-	8380
			-	-	-	-	-	-	333	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	-	-	-	%
			-	-	2	-	1	-	3	-	-	1	-	1	-	-	-	-	20	3	-	-	31
5	3	合計	-	-	65	-	32	-	97	-	3.2	-	32	-	-	-	-	64.5	9.7	-	-	%	
			-	-	5475	-	1254	-	11857	-	-	232	-	1689	-	-	-	230.31	0.69	-	-	496.07	
			-	-	110	-	25	-	239	-	-	0.5	-	34	-	-	-	58.5	0.2	-	-	%	
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	6	2	-	-	10
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	200	-	-	-	-	-	-	60.0	20.0	-	-	%
5	4	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	1426	-	-	-	-	-	-	25.40	1.06	-	-	点	
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62.4	2.6	-	-	%	
			-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	38	10	-	-	52	
			-	-	-	-	19	-	58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73.1	19.2	-	-	%
			-	-	1494	-	10217	-	10217	-	-	-	-	-	-	-	-	-	401.06	4.75	-	-	52292
5	4	合計	-	-	-	-	195	-	195	-	-	-	-	-	-	-	-	76.7	0.9	-	-	点	
			-	-	-	-	1	-	3	-	-	2	-	-	-	-	-	44	12	-	-	62	
			-	-	16	-	48	-	48	-	-	3.2	-	-	-	-	-	71.0	19.4	-	-	%	
			-	-	1494	-	10217	-	10217	-	-	1426	-	-	-	-	-	-	426.45	5.81	-	-	56364
			-	-	-	-	2.7	-	18.1	-	-	2.5	-	-	-	-	-	-	75.7	1.0	-	-	%

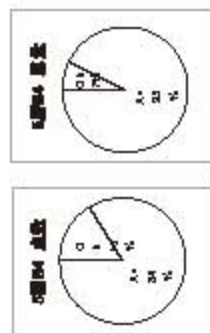
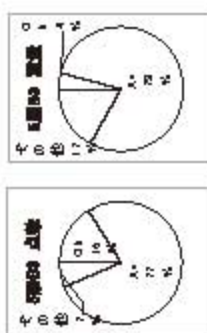
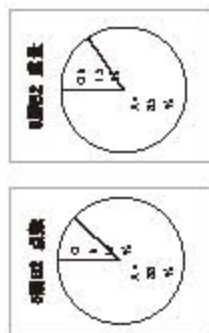
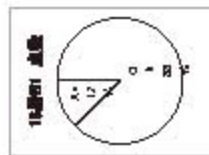
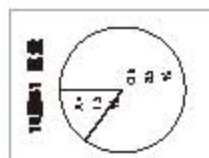
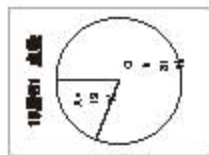
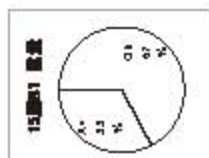


表 10 2A 区 各ブロックの器種組成

■	P	MB	MC	機台	SP	XN	TP	スク	CB	DR	RF	MF	CR	ED	貯石塔	KS	EX	CP	AP	点	%			
15	1	Ob	-	-	-	3	1	8	2	-	3	9	3	-	-	-	-	112	8	-	149	点		
			-	-	-	2.0	0.7	5.4	1.3	-	2.0	5.0	2.0	-	-	-	-	-	75.2	5.4	-	-	%	
			-	-	-	7.46	1.65	9.495	18.38	-	9.32	42.87	5.489	-	-	-	-	-	408.03	2.62	-	-	639.77	点
			-	-	-	1.2	0.2	1.48	2.9	-	1.4	6.7	8.6	-	-	-	-	-	63.8	0.4	-	-	-	%
			-	-	-	-	-	-	2	-	2	3	2	-	-	-	-	-	25	1	-	-	35	点
15	1	An	-	-	-	-	5.7	-	-	-	5.7	8.6	5.7	-	-	-	-	71.4	2.9	-	-	点		
			-	-	-	40.69	-	-	36.61	57.00	9.497	-	-	-	-	-	-	82.61	0.49	-	-	312.37	点	
			-	-	-	13.0	-	-	11.7	18.2	30.4	-	-	-	-	-	-	-	26.5	0.2	-	-	-	%
			-	-	-	3	1	10	2	-	5	12	5	-	-	-	-	-	137	9	-	-	18.4	点
			-	-	-	1.6	0.6	5.4	1.1	-	2.7	6.5	2.7	-	-	-	-	-	74.5	4.9	-	-	-	%
15	合計	-	-	-	7.46	1.65	135.24	18.38	-	45.93	99.87	149.86	-	-	-	-	-	490.64	3.11	-	-	952.14	点	
		-	-	-	0.8	0.2	1.42	1.9	-	4.8	10.5	15.8	-	-	-	-	-	51.5	0.3	-	-	-	%	
		-	-	-	4	1	5	1	-	13	13	1	-	-	-	-	-	108	3	-	-	149	点	
		-	-	-	2.7	0.7	3.4	0.7	-	8.7	8.7	0.7	-	-	-	-	-	72.4	2.0	-	-	-	%	
		-	-	-	10.13	1.15	49.34	3.49	-	92.79	57.38	15.69	-	-	-	-	-	372.70	0.32	-	-	602.99	点	
15	1	Ob	-	-	-	1.6	0.2	8.2	0.6	-	15.4	9.5	2.6	-	-	-	-	61.8	0.1	-	-	点		
			-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	1	-	-	21	点	
			-	-	-	-	-	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90.4	4.8	-	-	-	%	
			-	-	-	-	-	26.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	78.83	0.77	-	-	105.60	点	
			-	-	-	-	-	2.45	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74.7	0.7	-	-	-	%
15	1	An	-	-	-	4	1	6	1	-	13	13	1	-	-	-	-	127	4	-	-	点		
			-	-	-	2.4	0.6	3.5	0.6	-	7.6	7.6	0.6	-	-	-	-	74.7	2.4	-	-	-	%	
			-	-	-	10.13	1.15	75.34	3.49	-	92.79	57.38	15.69	-	-	-	-	-	451.53	1.09	-	-	708.59	点
			-	-	-	1.4	0.2	10.6	0.5	-	13.1	8.1	2.2	-	-	-	-	-	63.7	0.2	-	-	-	%
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	%



第6章 地蔵平遺跡3区の遺構と遺物

1 地蔵平遺跡3区の概要

地蔵平遺跡3区は、遺跡域西側の調査区対象地区内の最高所の平坦面に位置する。3区においては、20本のトレンチを設定し調査した後に、これらトレンチを拡張する形で各区画を調査した。第3章でも述べたが、旧石器時代の遺物包含層である4層（4上層）については、AT前後～細石刃期の石器が混在しており、遺物の移動が激しいものと考えられる。遺構としては、旧石器時代の礫群が1基、縄文時代の土坑6基が検出された。

なお、3区については、上述したように、4層における遺物の移動が激しいことを勘案して、石器ブロックの認定作業は行っていない。

3区から出土した遺物の総点数は、26,098点である。このうち、1層～3層（表土～縄文時代の遺物包含層）からは、FK・CPが11,479点の他、縄文土器223点・石器（製品）148点、旧石器時代の石器（製品）1,407点が出土した。また、4層（旧石器時代の遺物包含層）からは、FK・CPが11,797点の他、縄文土器1点・石器（製品）22点、旧石器時代の石器（製品）1,021点が出土した。

2 旧石器時代の遺構と遺物

1) 礫群（図210）

4層を掘り下げている最中に、調査区の東部から1基の礫群が検出された。

SX3002（図210）

SX3002は、調査区の東部、23区画と26区画にまたいで出土した礫群で、4層を掘り下げている最中に出土した。おおよそ4.0×3.0mの広い範囲に礫が散在する。24点の礫から構成され、このうち18点（75.0%）が花崗岩である。礫のうち、角礫は20点、円礫は4点で角礫の比率が高い。礫の平均重量は788.8g。破損礫は18点（75.0%）である。破損礫のうち、2点（1組）が接合できた。

2) 3区出土の遺物について（図212～215）

3区においては、すでに述べたように、旧石器時代の遺物を包含する4層（4上層）は、遺物からみると、AT前後から細石刃期までの時期幅をもっており、しかも混在して出土する。そのため、1区および2区で行ったような石器ブロックの設定作業は行っていない（石器接合作業のみ行った）。また、母岩認定作業も行っていない。

3区出土の旧石器時代の遺物として、2層～4層の石器の一部を掲載したが（図212～215）、総じて細石核が多いことが特筆される。特に2層および3層に顕著である。また、3層および4層からは角錐状石器の出土が目立つ。他に、3層から国府型ナイフ形石器が出土している。

図212は2層出土の石器。黒曜石製の細石核で、3・6は石ヶ元型、5は野岳・休場型。

図213・214は3層出土の石器。図213-1～8は黒曜石製の細石核で、1～4・7は野岳・休場型、5・6は石ヶ元型、8は福井型。図214-1～4は安山岩製の剥片尖頭器。図214-5～11は黒曜石製の角錐状石器。図214-12～14は安山岩製の国府型ナイフ形石器。

図215は4層出土の石器。1・2は黒曜石製の細石核で1は福井型、2は野岳・休場型。3は安山岩製の剥片尖頭器。4～12は黒曜石製の角錐状石器。13は黒曜石製の石刃。

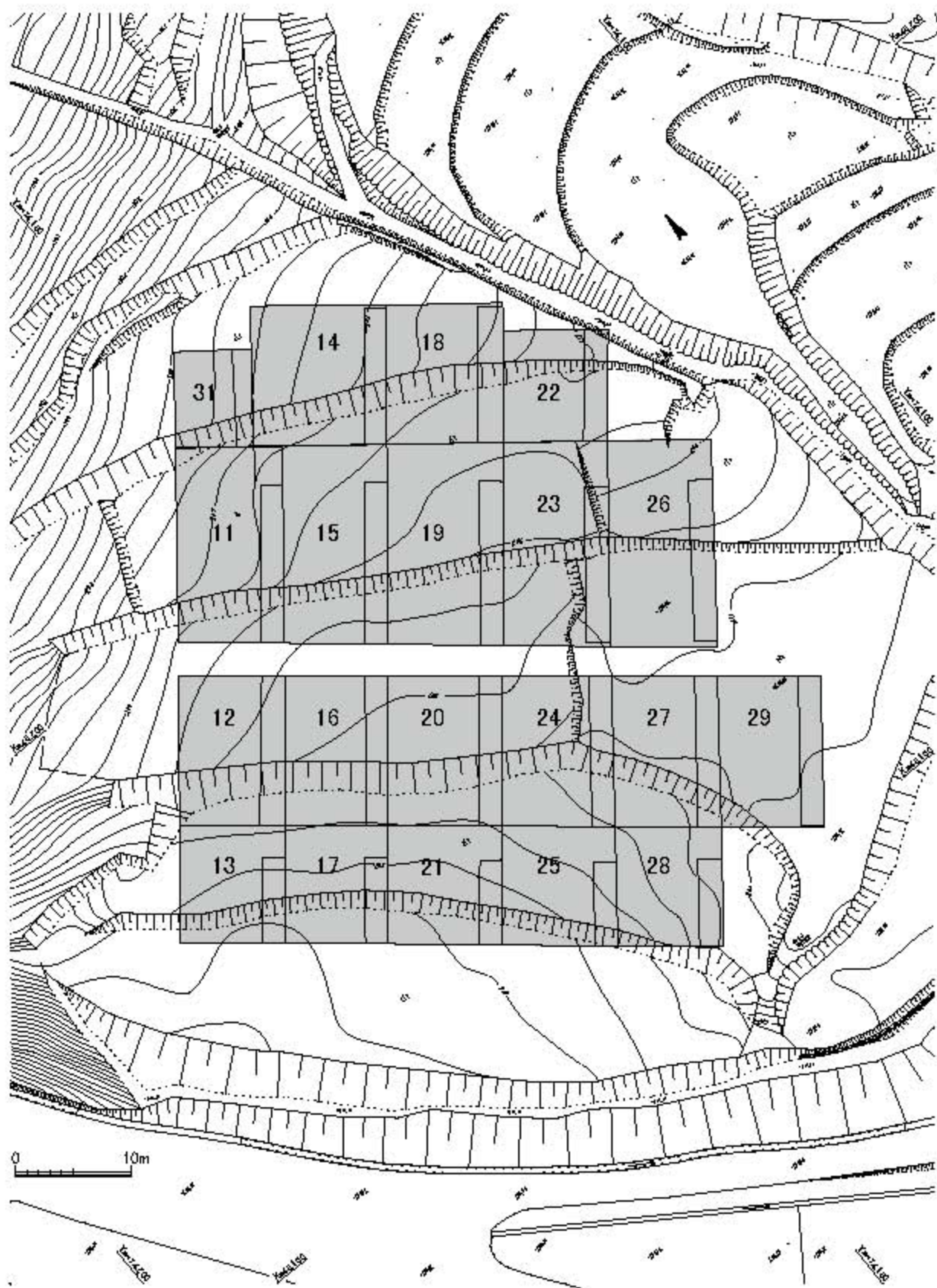


図 196 3区 調査範囲・区画位置 (1/500)

地藏平遺跡（本文編）

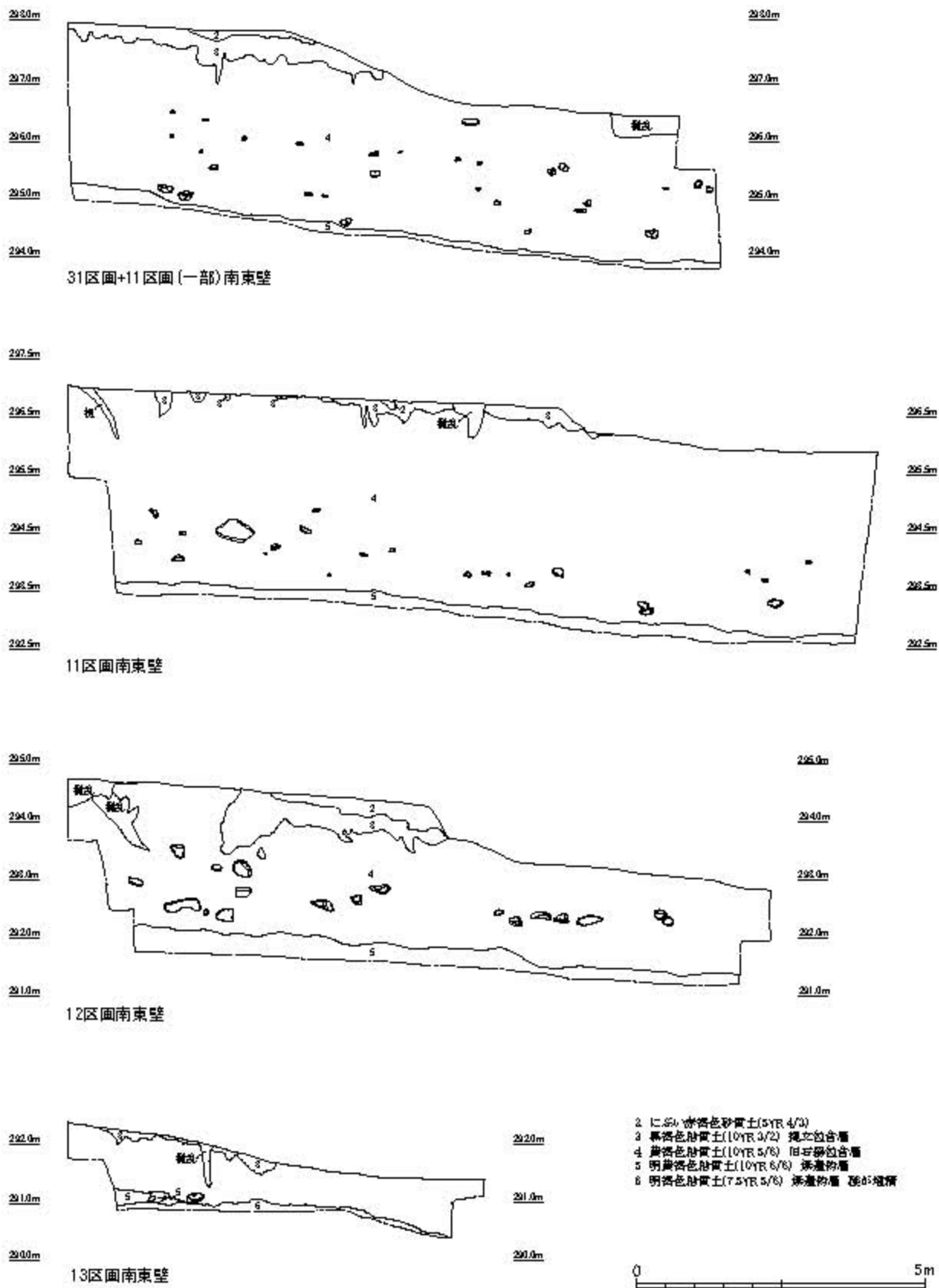


図 197 3区 各区画土層 1 (1/100)

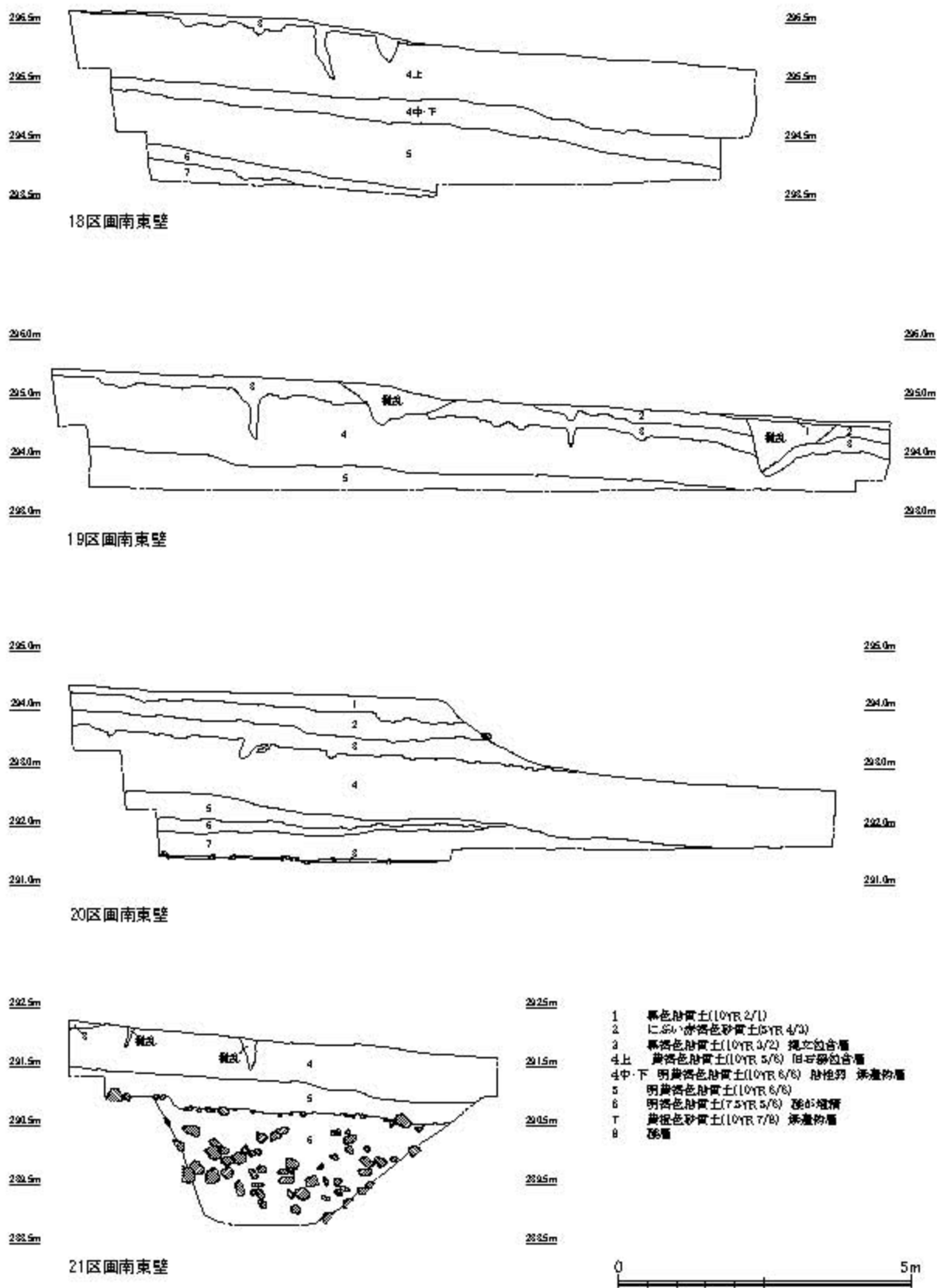


圖 198 3区 各区圖土層 2 (1/100)

地藏平遺跡（本文編）

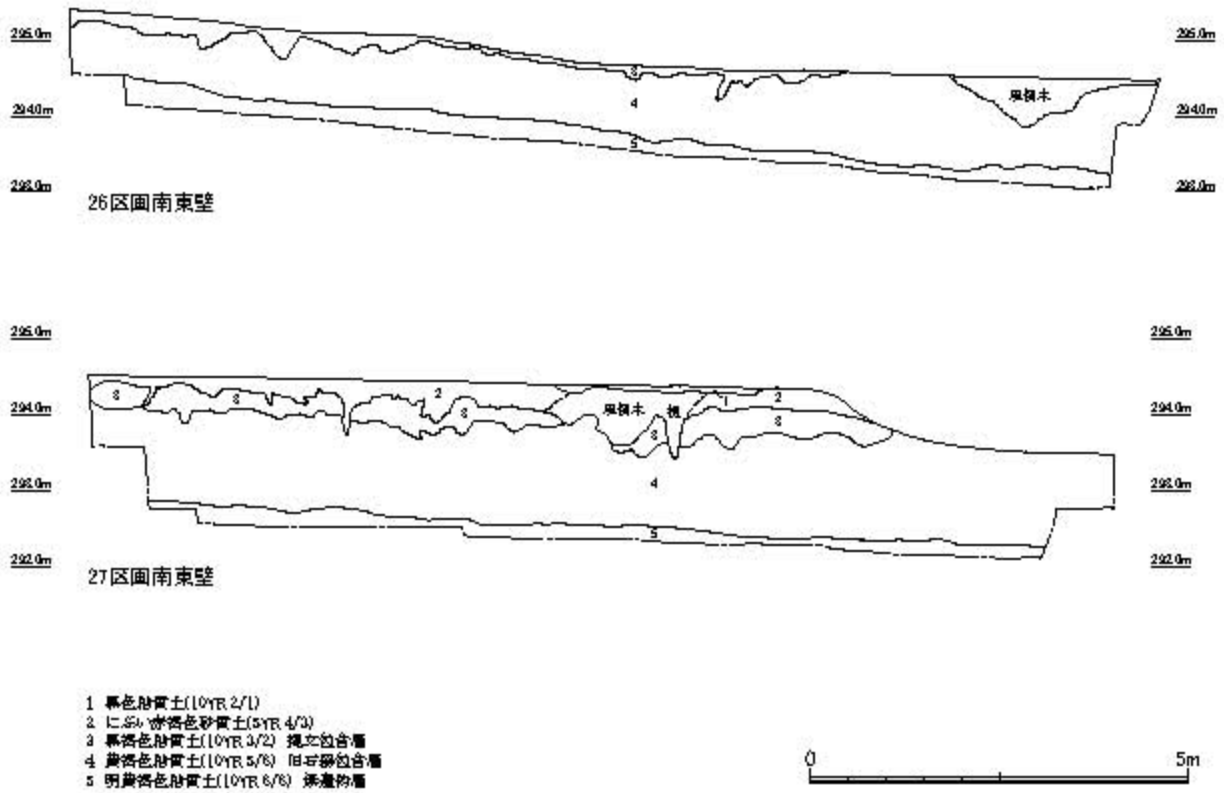


図199 3区 各区画土層3 (1/100)

2 縄文器時代の遺構と遺物

1) 土坑 (図 211)

調査区の南東部 (27・29 区画) から 5 基、北東部 (22 区画) から 1 基が出土した。このうち、SK3001・SK3003 を除いた他の土坑は、形態が似通っており、さらに、29 区画にみられるように、狭い範囲に集中する様子を見ると、同じ機能を備えた土坑であると考えられる。土坑底部に底面ピットを穿つものがあることから、いわゆる落とし穴状遺構と考えられる。

SK3001 (図 211)

SK3001 は、調査区の南東部 (29 区画) に位置する径約 1.0m の円形の土坑である。深さは約 0.8m である。4 層検出面において検出された。土坑内部には、炭化物を含む暗褐色および黄褐色粘質土が堆積する。平面図に表れている底面の窪みは樹根等の攪乱で、底面ピットが穿たれているわけではない。遺物としては、細石刃 1 点 (1 層)・剥片 10 点 (1 層: 9 点、2 層: 1 点)・チップ 1 点 (2 層) 等の石器 12 点が出土した。この土坑は、SK3002 と共に、他の土坑とは平面形・断面形・深さともに異なっており、性格が異なるものであると考えられる。

SK3003 (図 211)

SK3003 は、調査区の南東部 (27 区画) に位置する 1.2 × 1.0m ほどの不整形の土坑である。深さは、約 0.3m である。4 層検出面から検出された。土坑の底面は凹凸があり、一様ではない。内部には、黒色～黒褐色土および黄褐色土が堆積する。遺物としては、細石刃 1 点 (1 層)・剥片 8 点 (1 層: 4 点、2 層: 4 点)・チップ 6 点 (1 層: 2 点、2 層: 4 点) 等の石器と土器 1 点 (2 層) が出土した。土器は小破片で、型式等の判別は不明である。この土坑は、SK3001 と共に、他の土坑とは平面形・断面形・深さともに異なっており、性格が異なるものであると考えられる。

SK3004 (図 211)

SK3004 は、調査区の南東部 (29 区画) に位置する径 1.1 ~ 1.0m ほどの円形の土坑である。底面までの深さは、約 0.8m である。土坑の上部はロウト状に拡がり、下部は垂直に切り立つ。底面は平坦で、中央には深さ 0.2m ほどの底面ピットがある。遺物としては、石鏃 1 点 (1 層)・剥片 6 点 (1 層: 4 点、2 層: 2 点) の石器と土器 1 点 (1 層) が出土した。土器については、小破片で型式等の判別は困難である。中層に黄褐色土が堆積し、上層および下層には黒褐色土が堆積する。いわゆる落とし穴状遺構であると考えられる。

SK3005 (図 211)

SK3005 は、調査区の南東部 (29 区画) に位置する約 1.0 × 0.8m の楕円形の土坑である。深さは約 1.1m である。上部はわずかに拡がり、下部は垂直に切り立つ。底面は平坦である。遺物としては、細石刃 4 点 (1 層: 3 点、2 層: 1 点)・剥片 28 点 (1 層: 12 点、2 層: 11 点、3 層: 2 点、4 層: 2 点、5 層: 1 点)・チップ 16 点 (1 層: 12 点、3 層: 1 点、4 層: 1 点、5 層: 2 点) 等の石器と土器 1 点 (1 層) が出土した。土器については、小破片で型式等の判別は困難である。埋土の上層にのみ黒褐色土が堆積し、下層には黄褐色土が堆積する。いわゆる落とし穴状遺構であると考えられる。

SK3006（図 211）

SK3006は、調査区の南東部（29区画）に位置する約0.9×0.7mの楕円形の土坑である。深さは、約1.2mである。土坑の壁はほぼ垂直に切り立ち、底部は平坦である。いわゆる落とし穴状遺構であると考えられる。遺物としては、細石刃3点（1層）・剥片35点（1層：17点、2層：1点、3層：6点、5層：11点）・チップ11点（1層：4点、5層：7点）等の石器と土器2点（2層）が出土した。

このうち図 216-10は、外面に貝殻腹縁による刺突文が施される土器で、器面調整はナデである。刺突文は縦位に施文され、2段分が確認できる。嘉瀬川ダム建設区域内の小ヶ倉遺跡でも同様の土器が出土しており、円筒形刺突文土器と報告されている。このような土器は、近年押型文土器に先行する早期前業に位置づけられ、西北九州を中心に分布していたことが指摘されている（水ノ江1998）。もう1点は小破片で型式等の詳細は不明である。

SK3007（図 211）

SK3007は、調査区の北東部（22区画）に位置する約1.1×0.9mの楕円形の土坑である。底面までの深さは、約1.0m、南側の一部だけ二段掘りである。底部には、深さ0.1mほどの底面ピットと考えられる小穴が穿たれている。遺物としては、石鏃1点（1層）・細石刃12点（1層：5点、2層：5点、3層：1点、4層：1点）・剥片90点（1層：34点、2層：34点、3層：11点、4層：11点）・チップ125点（1層：70点、2層：27点、3層：21点、4層：7点）等の石器と土器1点（1層）が出土した。土器は小破片であるため、型式等の判別は困難である。上層のみ黒褐色土が堆積し、下層は黄褐色が堆積する。いわゆる落とし穴状遺構であると考えられる。

2) 遺物包含層出土の遺物（図 216）

3区からは、遺物包含層から縄文時代の石器163点、土器212点（接合作業後の点数）が出土した。石器については、163点出土したが、これは、縄文時代のもものと判るものに限った点数である。石器には、石鏃・尖頭器等があり、1層～4層すべての層から出土したが、大部分は2層および3層から出土したものである（2層：62点、3層：60点）。石器全点における黒曜石製のものと安山岩製のものと比率はほぼ同数で、また、石材により、何処かの場所に偏在したり、何れかの層に片寄るような傾向は見いだせない。ただし、石器自体は、24～27区画あたりを中心にして多く出土している（23区画：22点、24区画：28点、26区画：18点、27区画：20点、29区画：19点）。

上記した石器以外に、砥石と思われるものが4点出土した。20は、16トレンチから出土した大型の有溝砥石である。いわゆる有溝砥石は、多くのものが單砥ではなく、手持ち砥と考えられる小型のものだが、ここでは有溝砥石として報告しておく。砂岩製で、荒砥の類としてよいだろう。撓乱から出土しており、本来の所属層位は不明であるが、26区画および27区画の3層から、同様の遺物が出土していることから、この砥石も3層に所属していた可能性がある。厚さ1.75cmの板状で表裏に1条ずつの溝がある。一方の面の溝は、同じ幅で砥石面を完通しており、もう一方の面の溝は、先細りし先滅する。また、溝以外の面にも、擦痕が残る。骨角器類を研磨したのであろうか。18は、26区画3層から出土した。砂岩製の砥石と考えられる。16トレンチから出土した大型の有溝砥石と類似するが、厚さが異なる。両面のほぼ同位置に断面が半円形の溝がある。溝以外の面にも、不定方向に擦痕が残る。19は、26区画3層から出土した。砂岩製の砥石と考えられる。18と厚さ・質等が似るが、直接接合しない。両面のほぼ同位置に断面が半円形の溝がある。溝以外の面にも、不定方向に擦痕が残る。17は、27区画3層から出土した。砂岩製で、砥面である溝が3条認められる。3条の溝は、段階的に形成されたものか、同時存在したものかは不明である。同時に3条の砥面（溝）があったとすれば、かなり小型の砥石であったということになるだろう。

土器は212点出土したが（接合後の点数）、大部分は2層および3層からの出土である（2層：123点、3層：92

点)。土器についても、石器と同様、24～27区画あたりを中心に多く出土する傾向がうかがえる（23区画:28点、24区画:47点、26区画:11点、27区画:44点）。

これらの土器は大部分が微細な小破片で、型式等の詳細は不明であるが、文様等が判る6点については図を示した。11・12・14は壘ノ神B式系の土器と考えられ、いずれも器面調整はナデである。11は外面に斜格子状の沈線文、12は貝殻による刺突文と条痕文、14は条痕文が施されている。13は下菅生B式並行期の押型文土器と考えられ、外面には縦位に楕円押型文が施され、内面には原体条痕がみられる。15は、外面に縦位の格子目文が施される押型文土器で、器面調整はナデである。

以上の縄文時代の遺物について、出土位置をみると、すでに述べたとおり、石器、土器ともに24～27区画あたりを中心に出土する傾向がある。前項で述べた土坑については、27区画、29区画あたりに集中しており、両者は不可分の関係にあることがうかがえる。

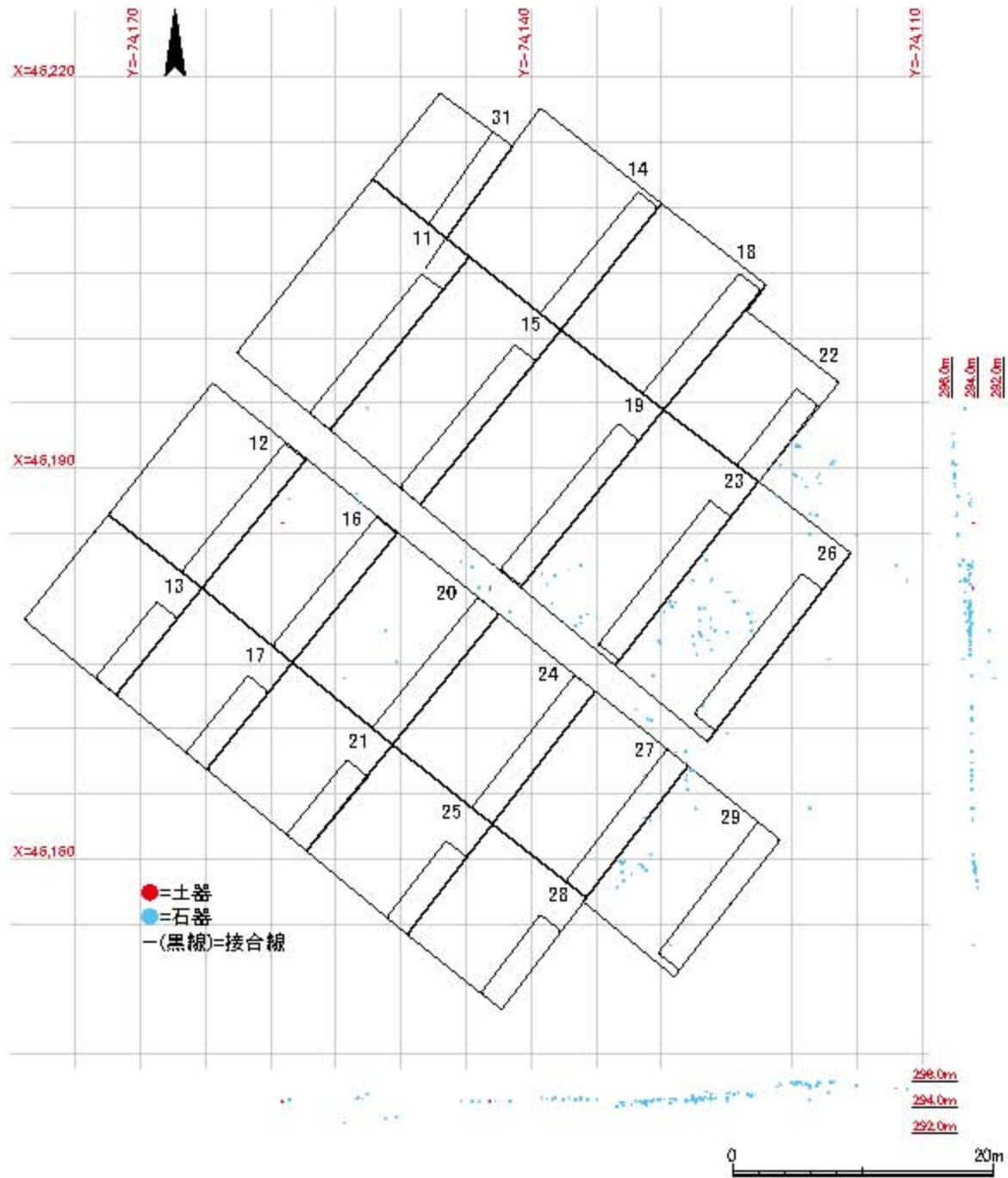


図 200 3区 1層 土器・石器別の分布 (1/500)

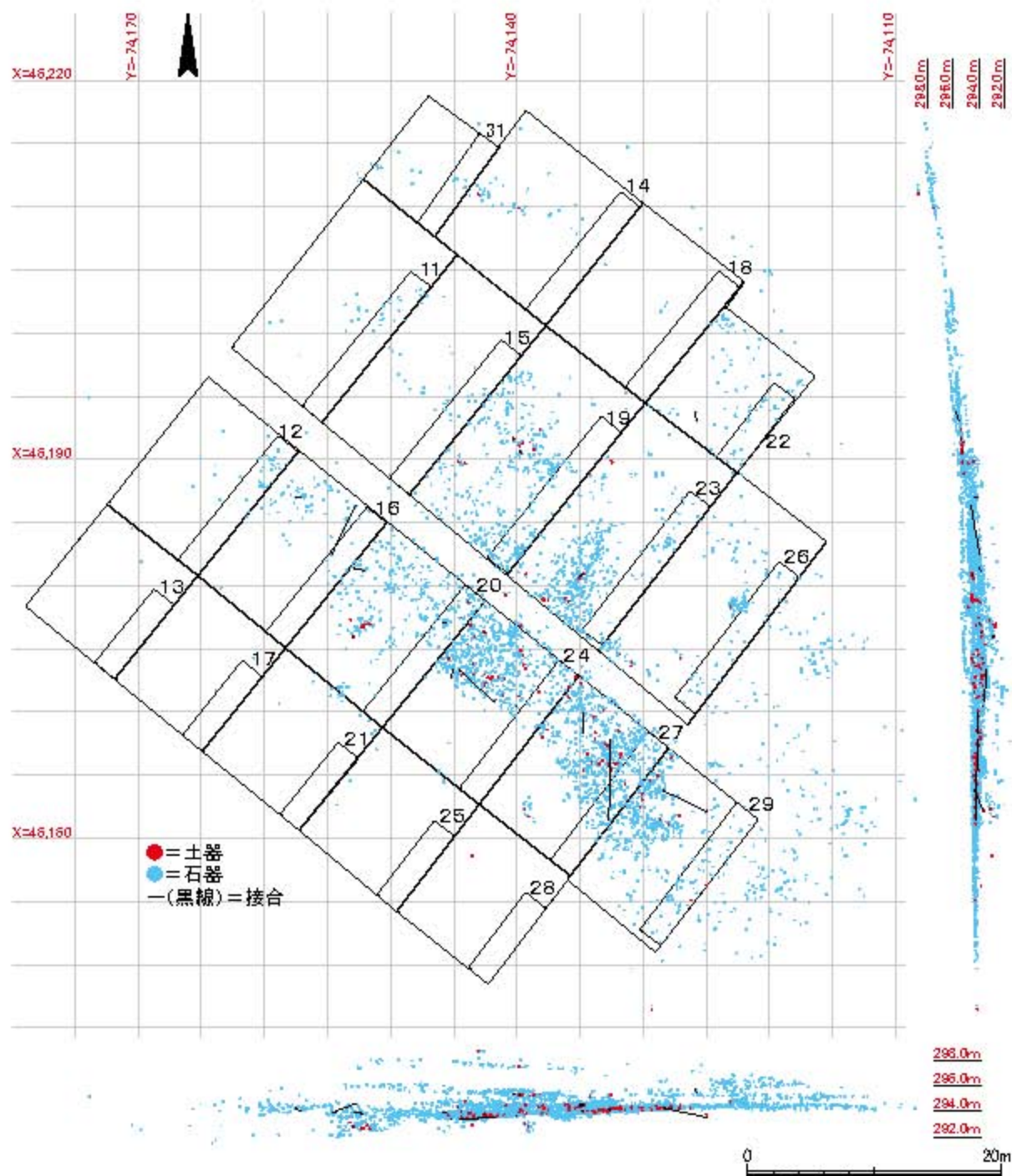


図 201 3区 2層 土器・石器別の分布 (1/500)

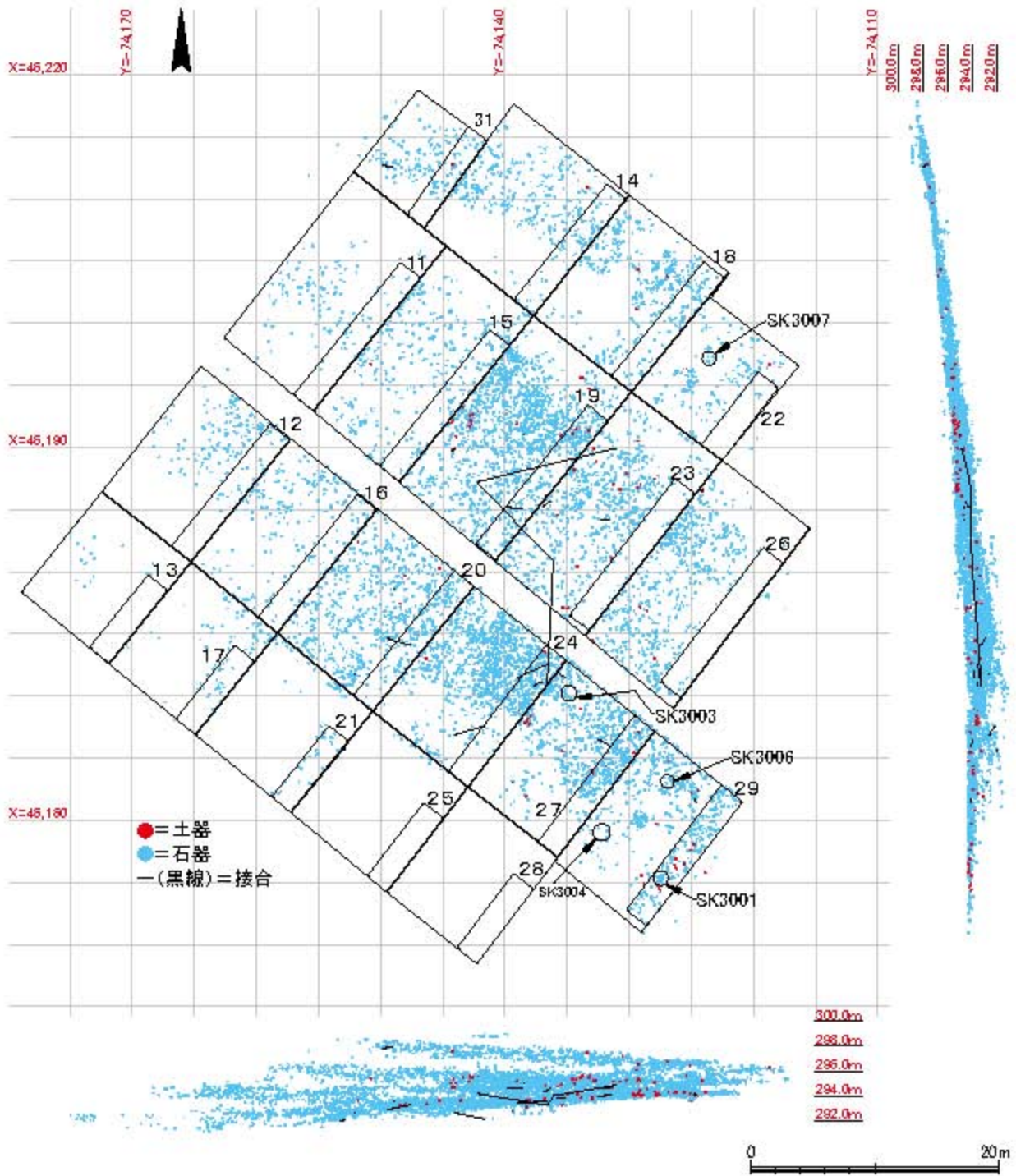


図 202 3区 3層 土器・石器別の分布 (1/500)

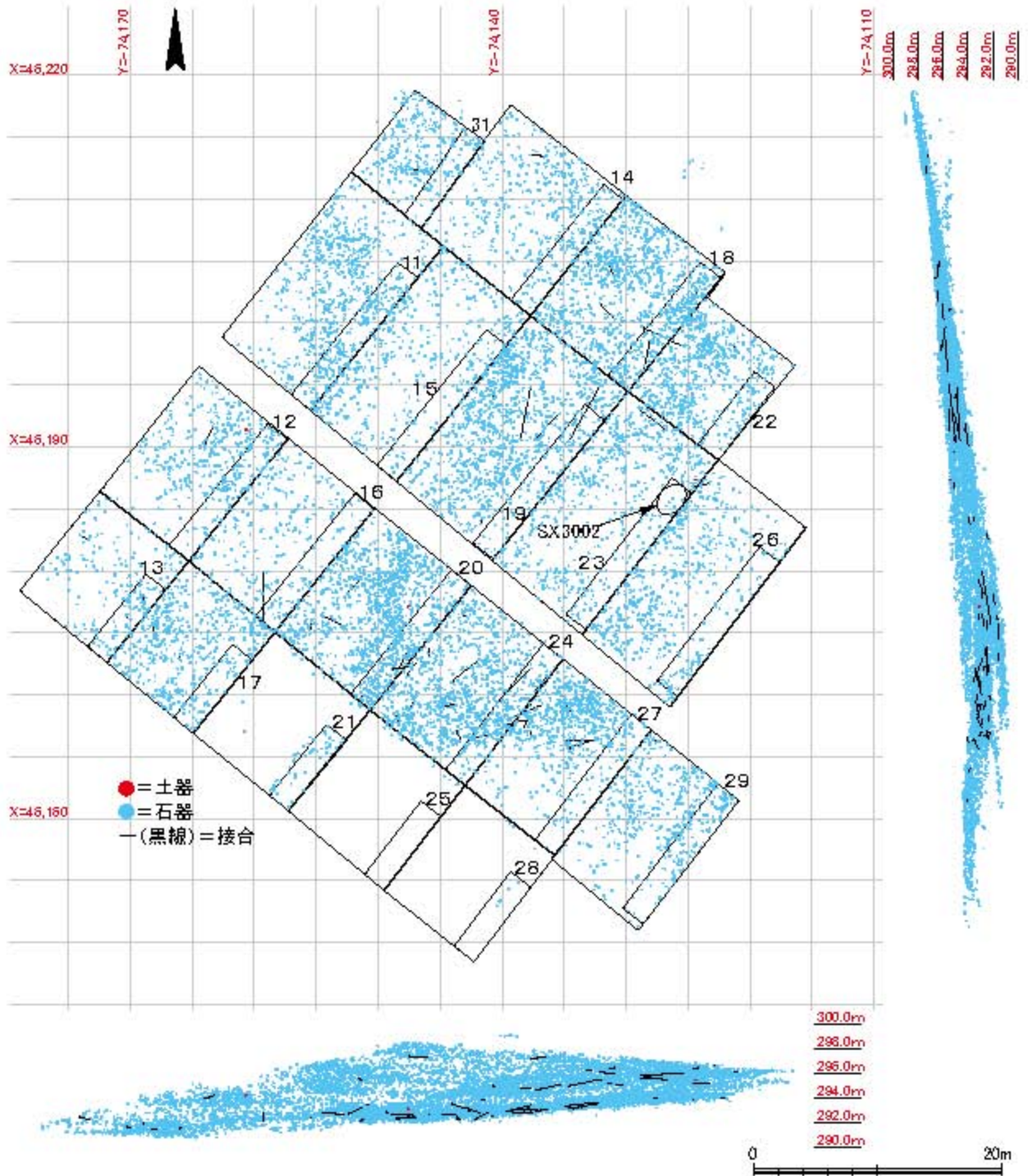


図 203 3区 4層 土器・石器別の分布 (1/500)

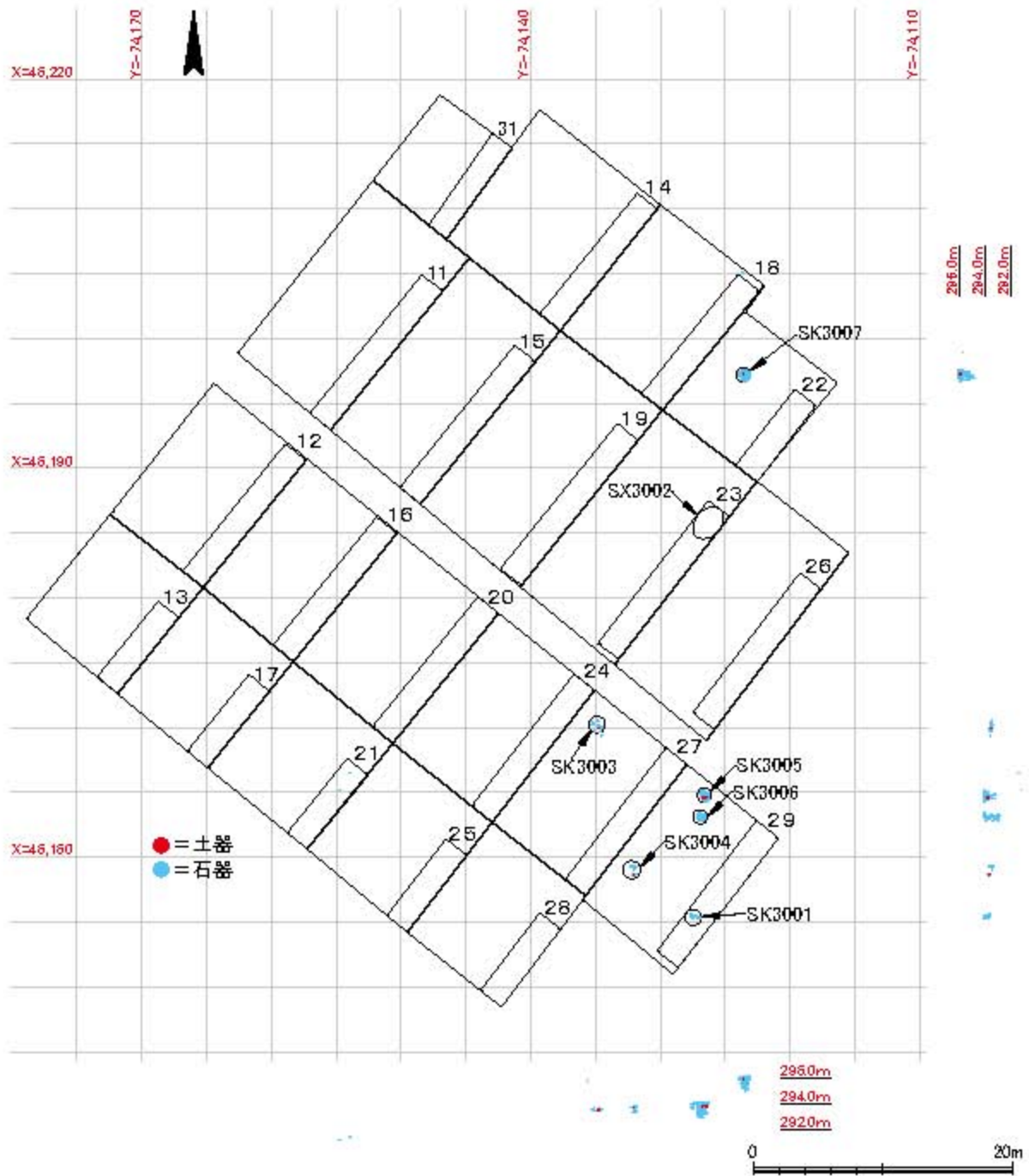


図 204 3区 5層・6層・遺構 土器・石器別の分布 (1/500)

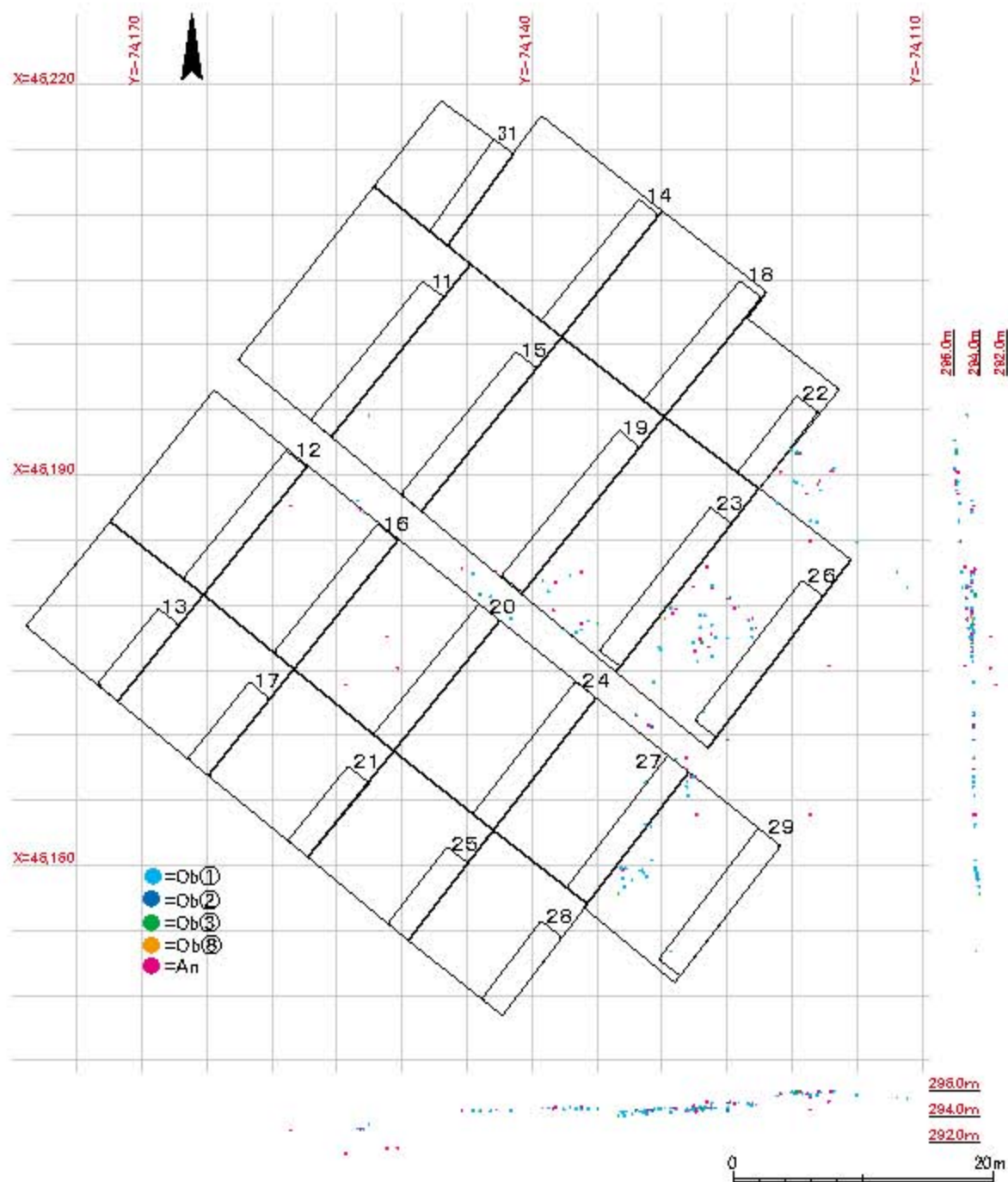


図 205 3区 1層 石材・産地別の石器の分布 (1/500)

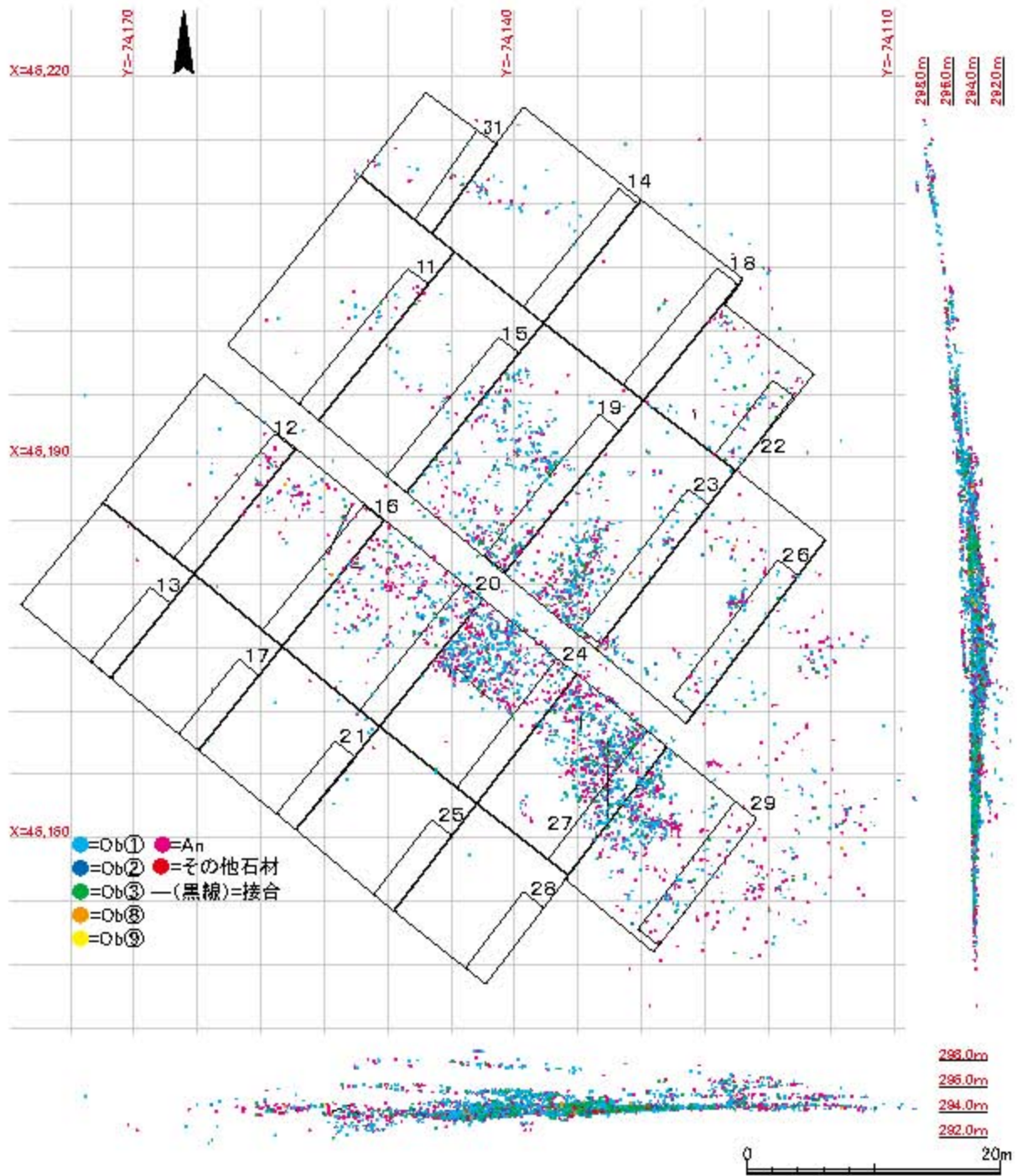


図 206 3区 2層 石材・産地別の石器の分布 (1/500)

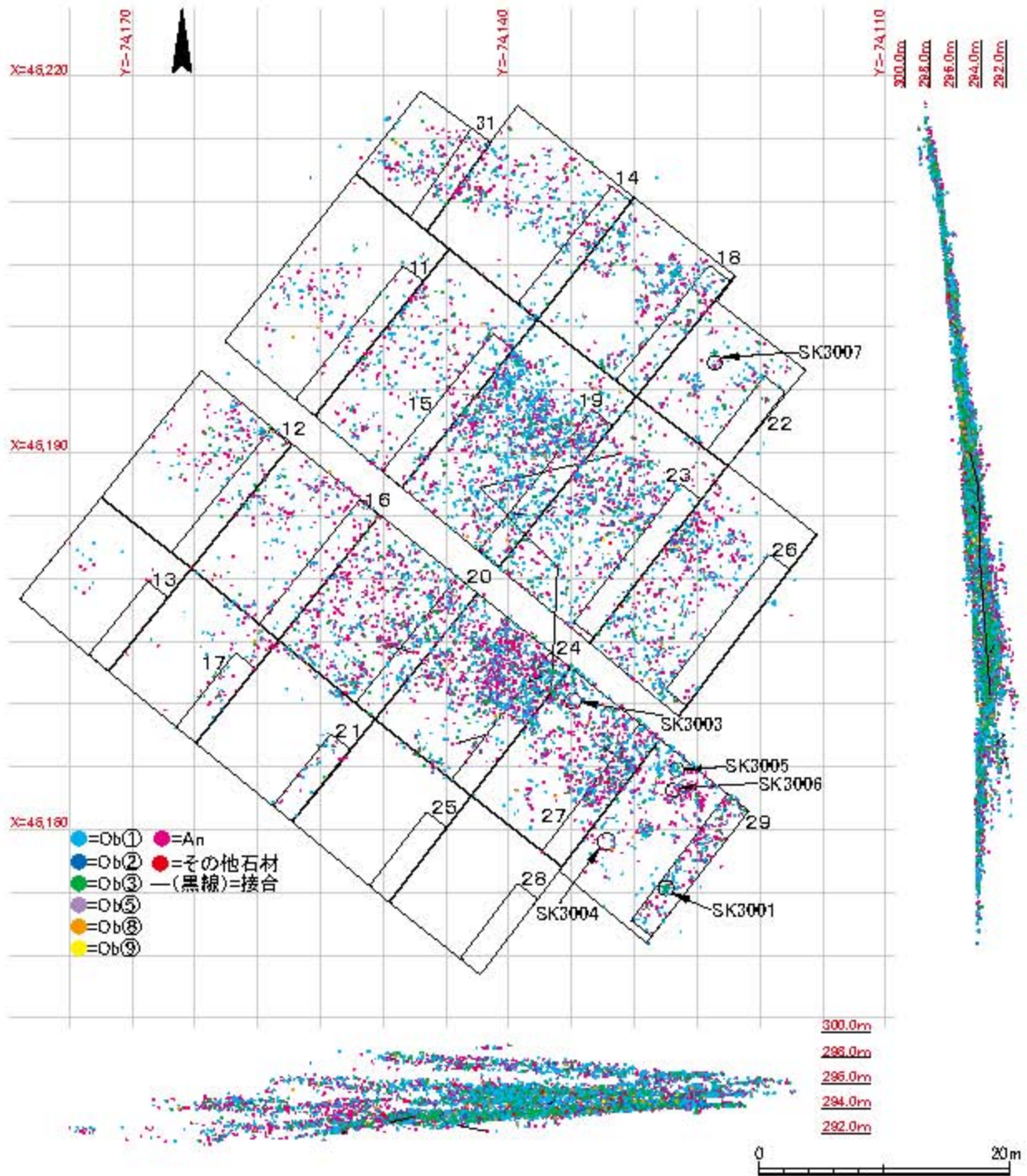


図 207 3区 3層 石材・産地別の石器の分布 (1/500)

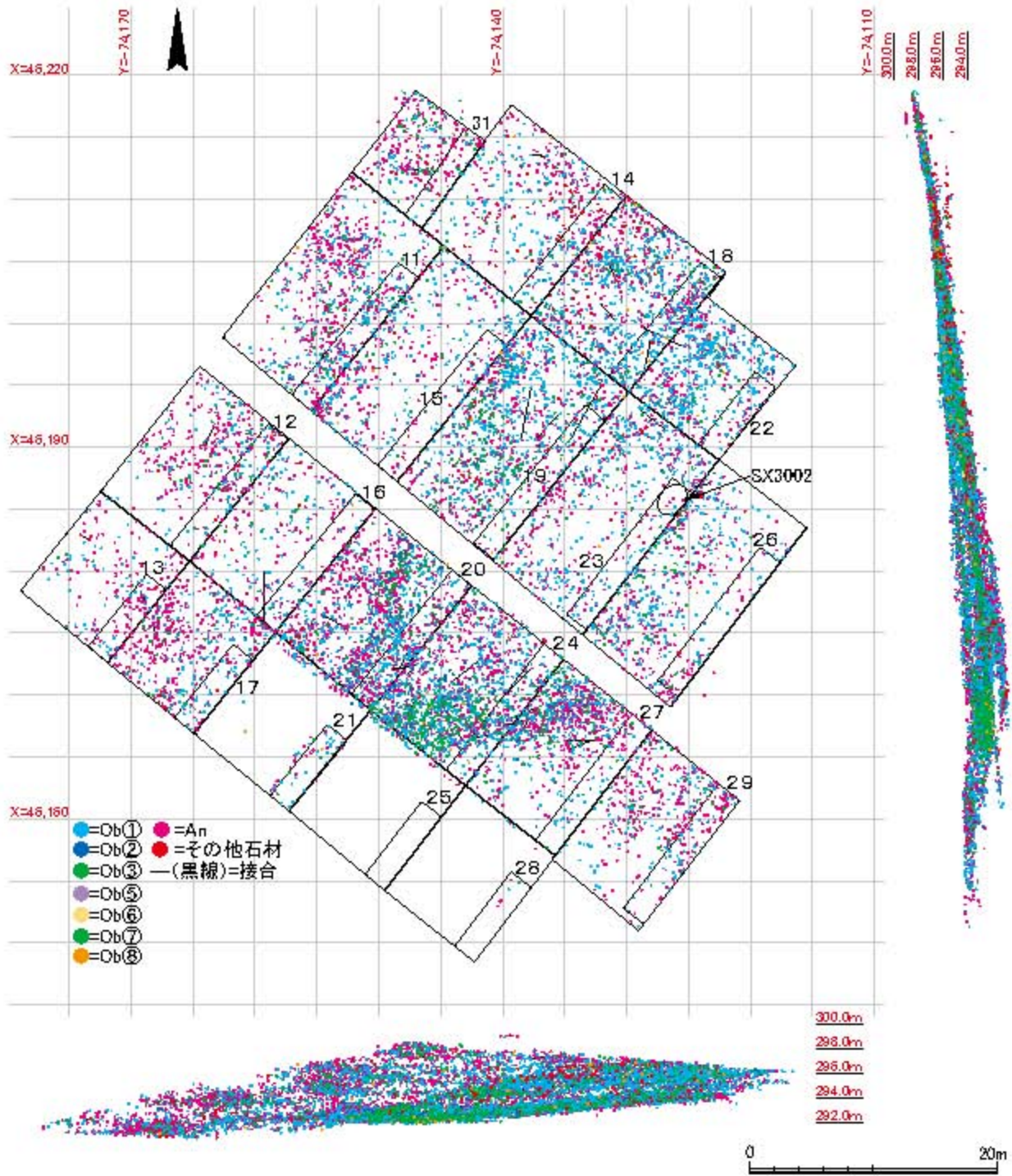


図 208 3区 4層 石材・産地別の石器の分布 (1/500)

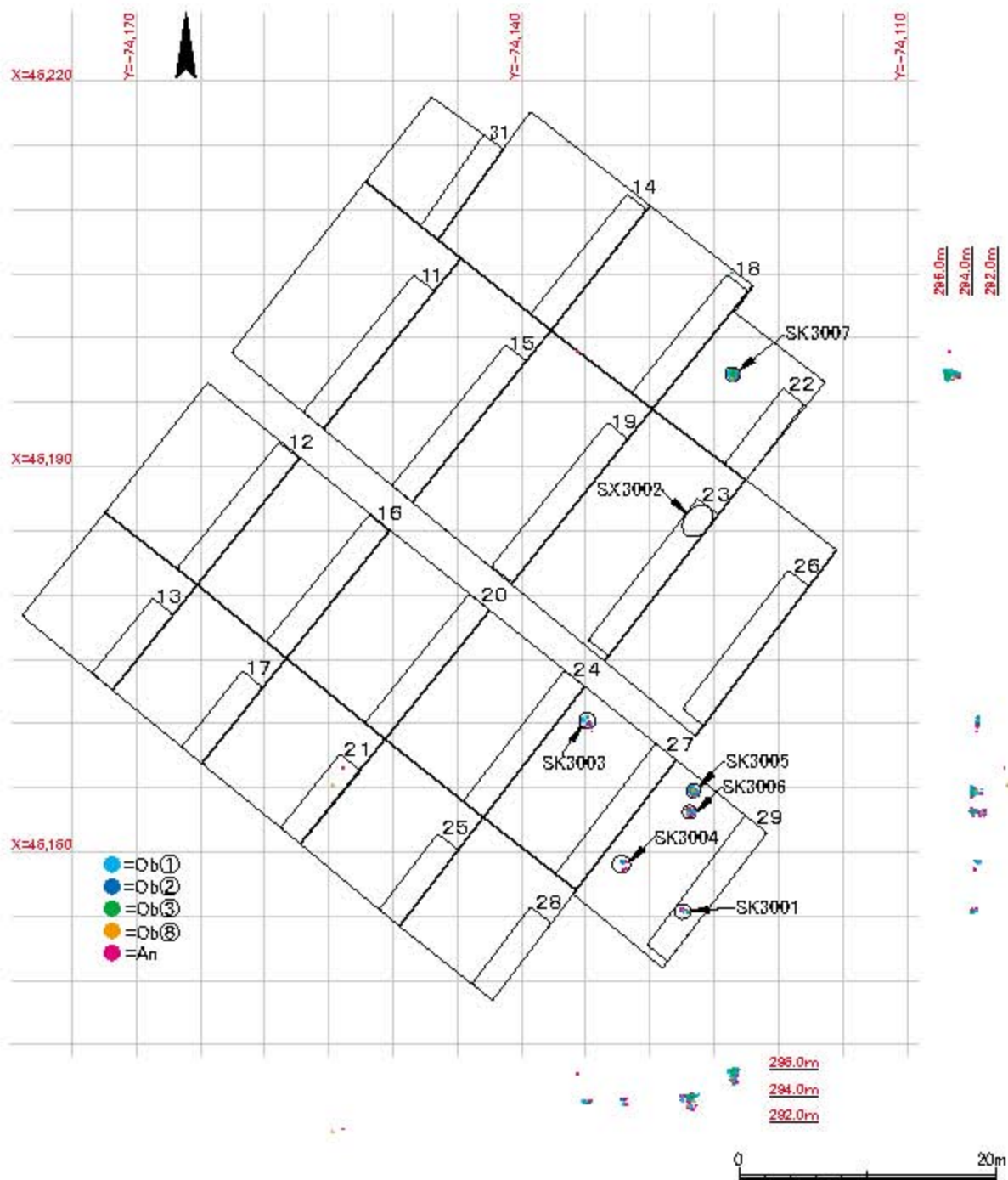


図 209 3区 5層・6層・遺構 石材・産地別の石器の分布 (1/500)

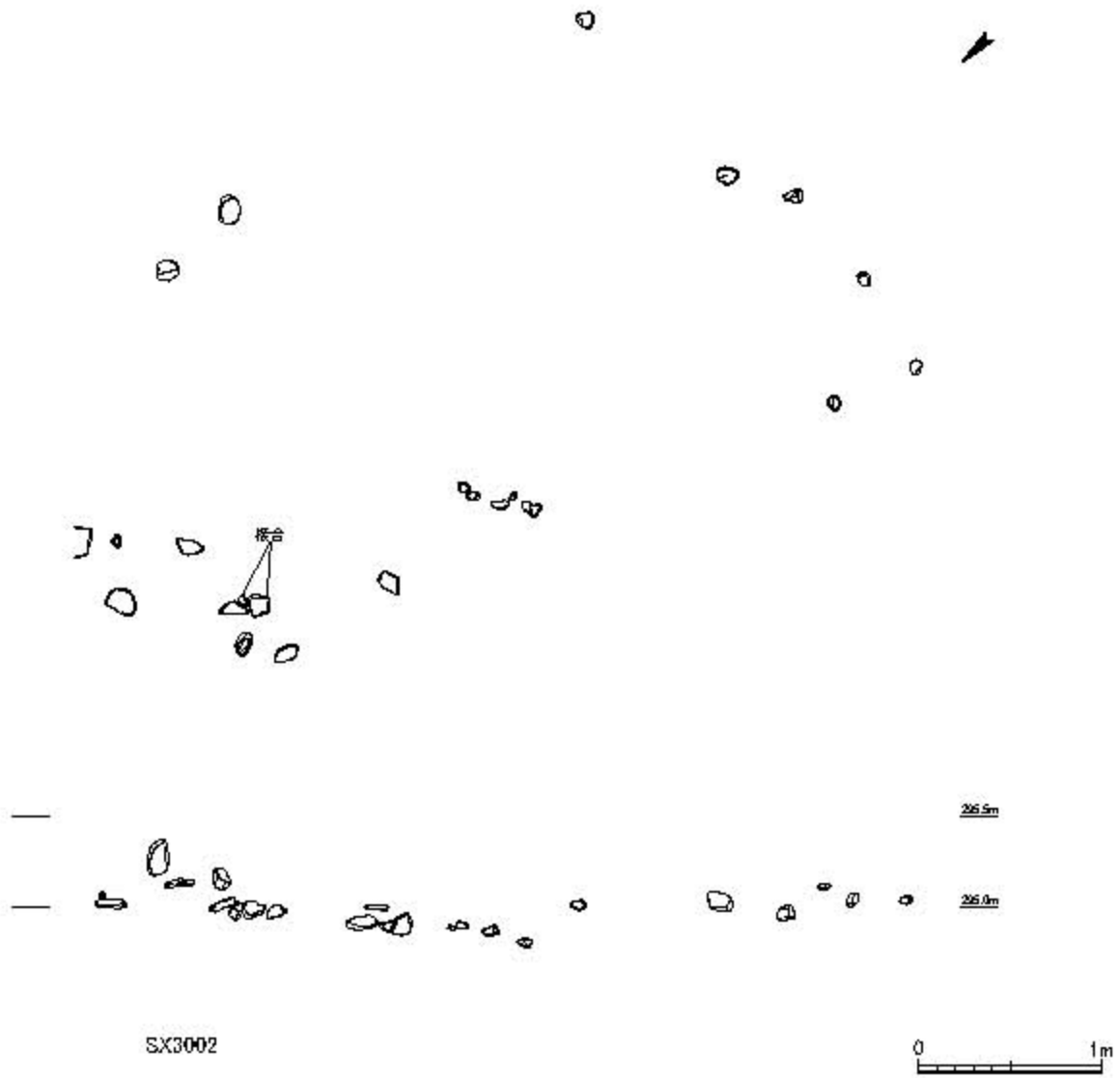


図 210 3区 旧石器時代の遺構 (1/40)

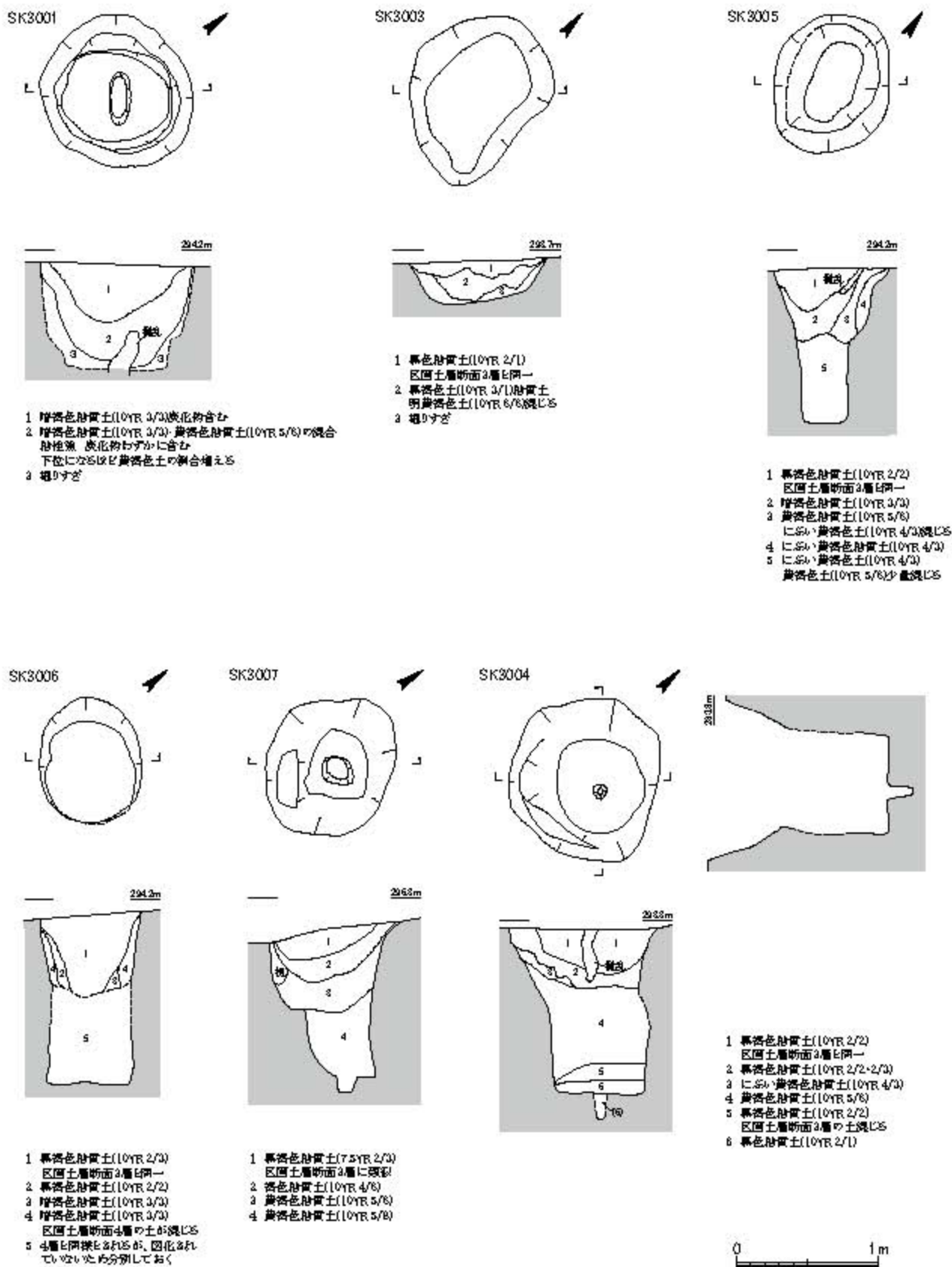


図 211 3区 縄文時代の遺構 (1/40)

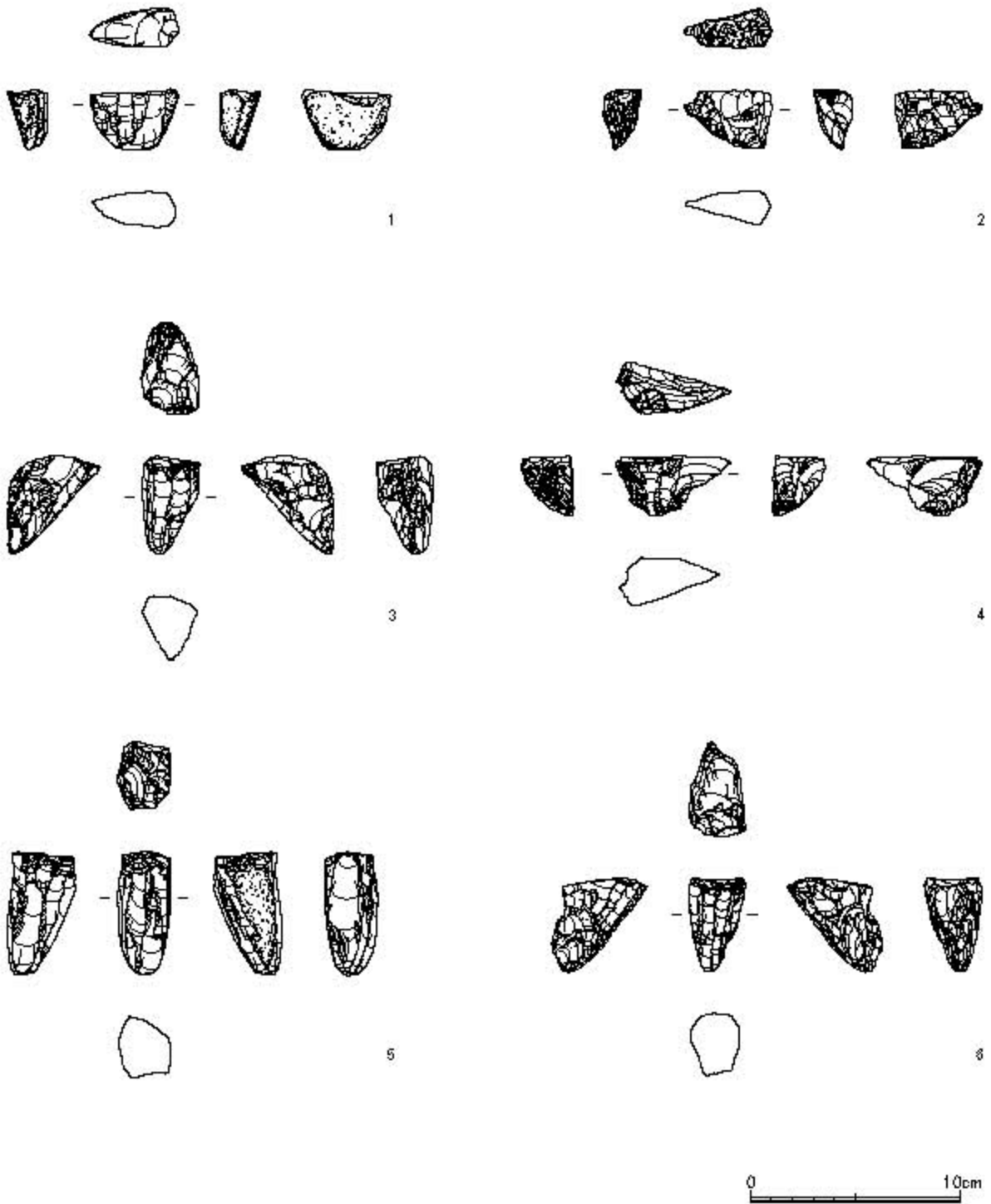


図 212 3区出土石器 2層 (1/3)



图 213 3区出土石器 3层1 (1/3)

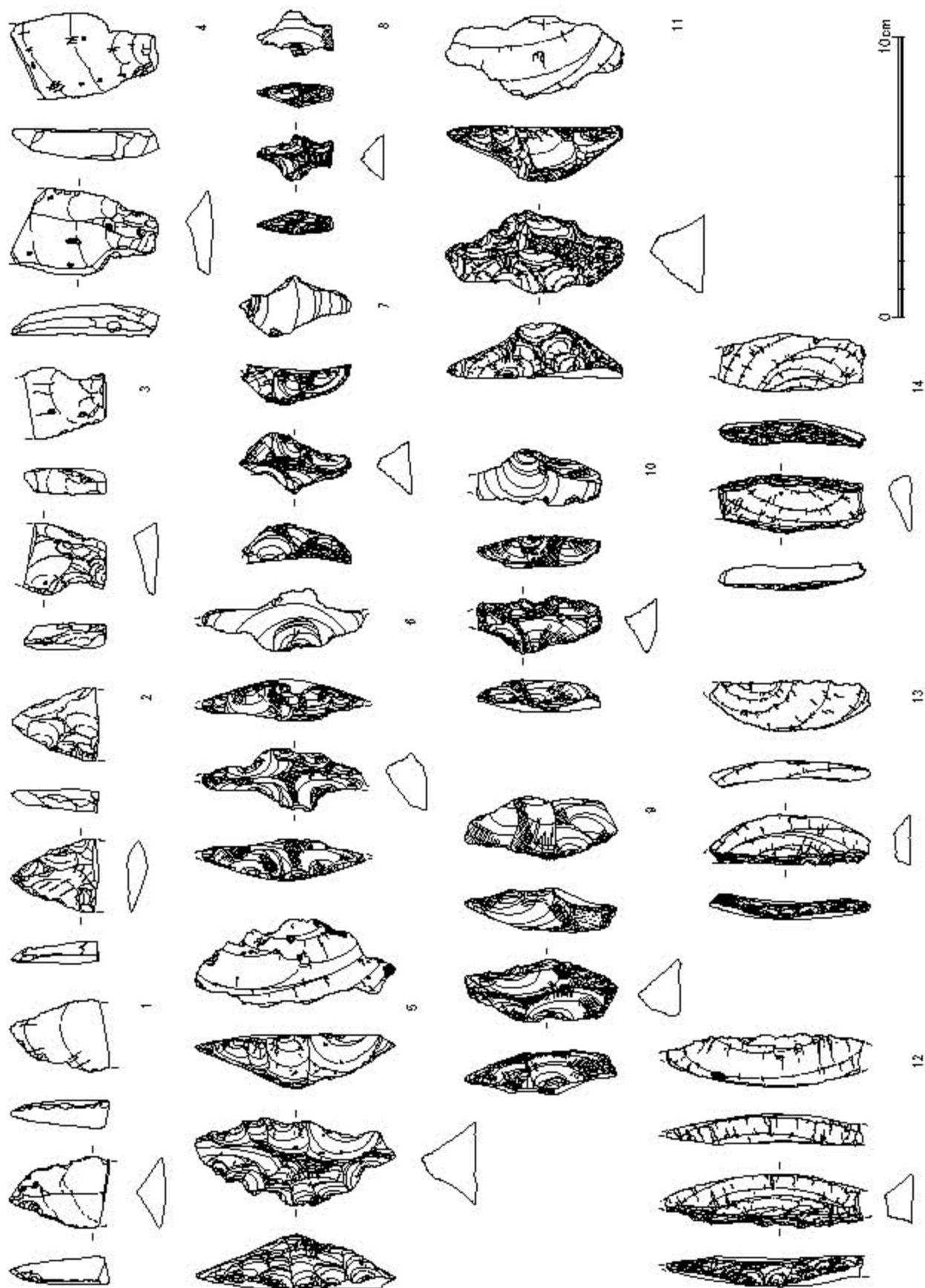


图 214 3区出土石器 3層2 (1/2)

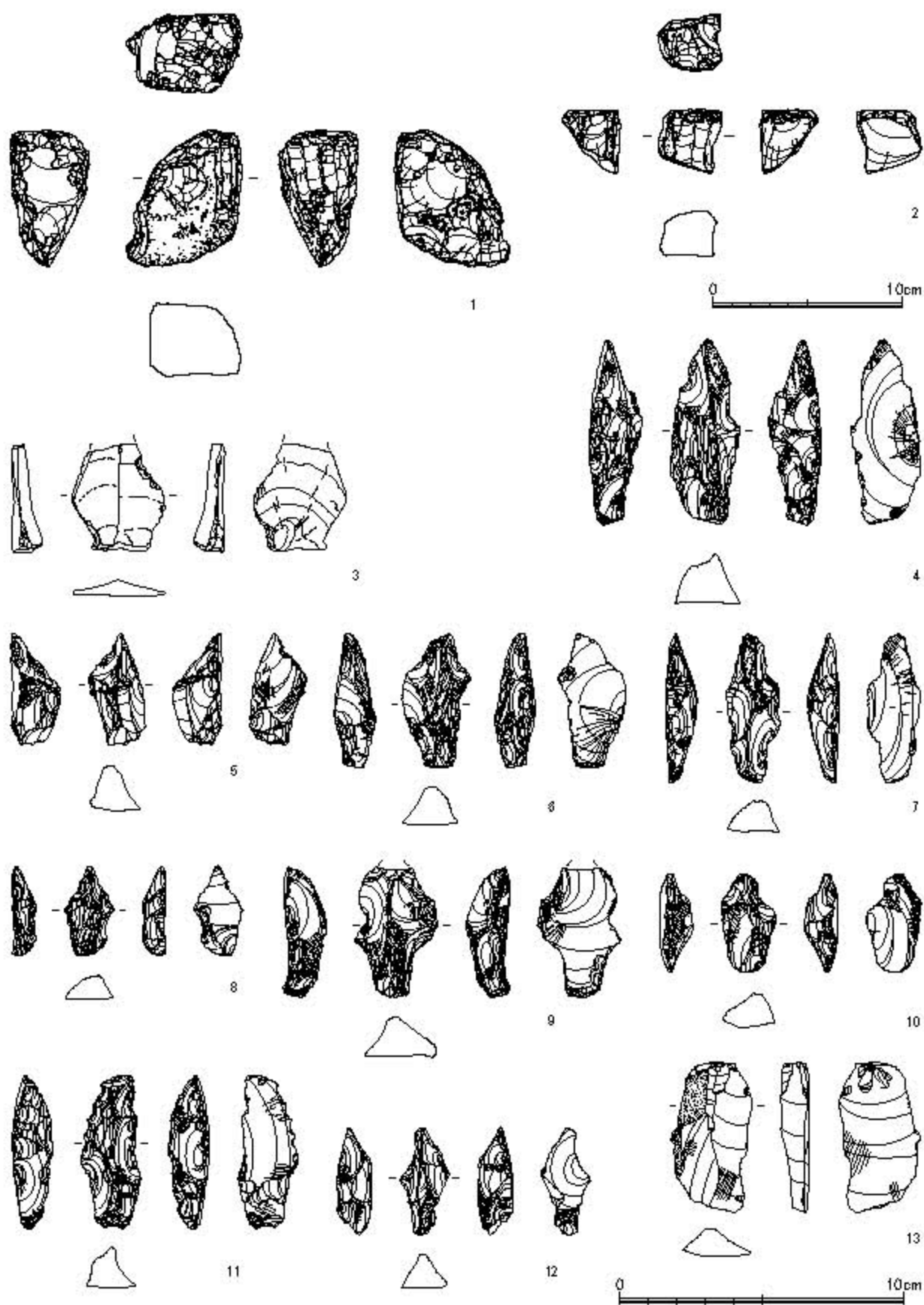


图 215 3区出土石器 4层 (1/3·1/2)

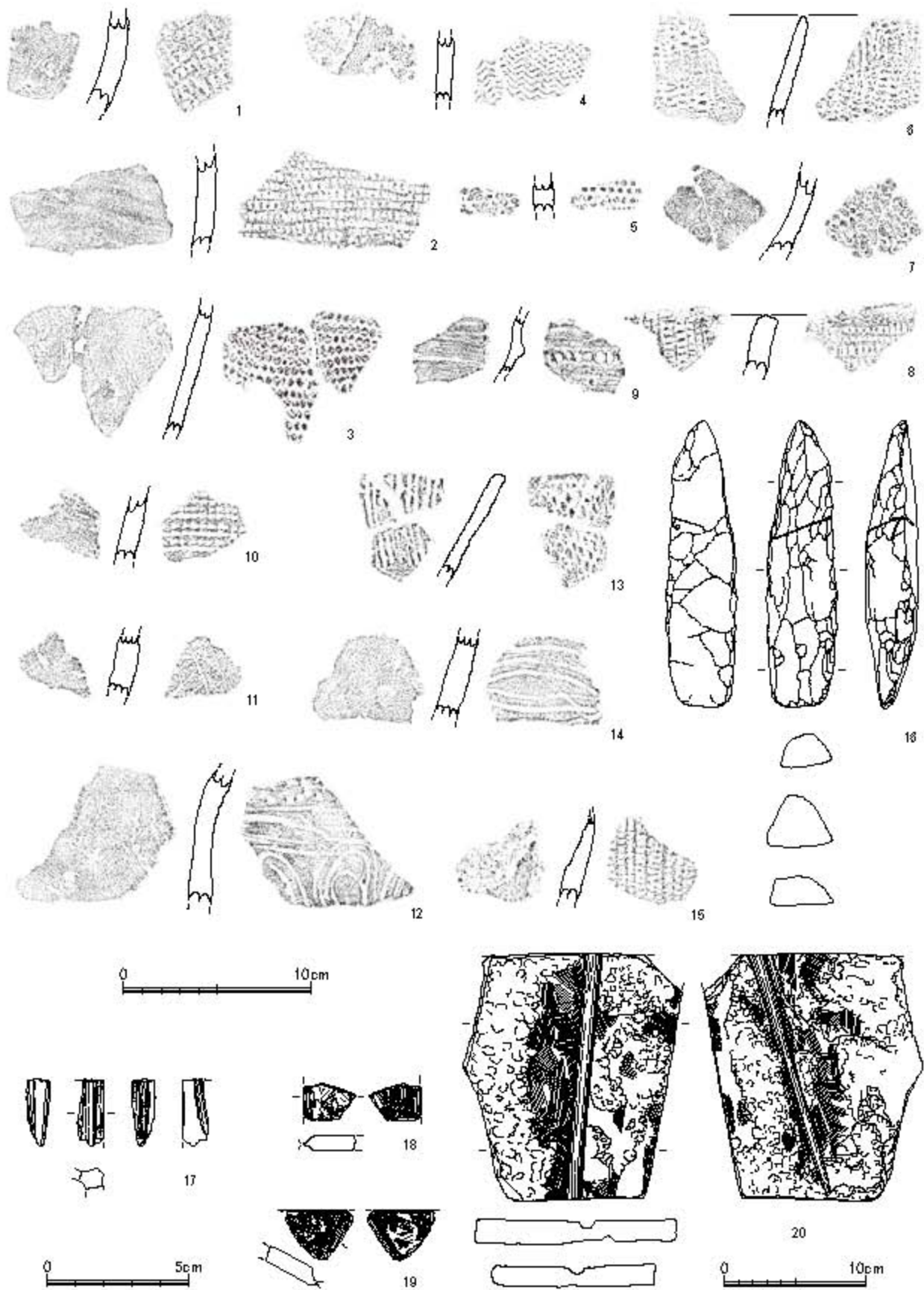


図 216 1～3区 縄文時代の土器・石器 (1/2・1/3・1/4)

第7章 まとめ

1 旧石器時代各層の石器ブロックについて

石器ブロックは、1区および2A区で計70箇所を設定した。ブロックの設定は、第3章5「遺構の認定と観察」に記したとおり、調査現場で認定したものではなく、整理作業の段階において机上で設定したものである。ブロックを設定するに際し、二次的な堆積で移動しただけの石器を見極め分離することは難しく、設定については、これらが多分に含まれていることを承知の上、機械的に分別した。特に1区は、北側の段丘裾部に集中する石器の中には、二次的に堆積したものも多く含まれていると思われる。なお、3区では石器ブロックを設定していないが、その理由も第3章5で述べたとおりである。以下、1区・2A区の石器ブロックについて概観するが、各ブロックの詳細については、第4章・第5章のそれぞれの調査区の「遺構と遺物」の項を参照されたい。

まず、1区についてみるが、多数のブロックの中から、特に重要なものを抽出する際、仮に、石器ブロック内もしくはブロックを中心とした石器の接合関係について、剥離面で接合できたものや石核を含む接合資料があるもの、さらに、折れ面での接合とはいえ、そもそも接合資料が多数であること等を重視するとすれば、4層・5a層・6層・9a層・9b層・9e層・10c層あたりが抽出されることになる。ブロックの概要と上下層との関係を確認しておく。

4層は、黒色土で縄文時代の遺物包含層である。5a層と石器ブロックの位置関係に若干重複する箇所もあるが、5a層は黄褐色粘質土であり、両層は明確に分別される。両層をまたいだ接合資料はない。ブロックの分布域は、北側の段丘裾が中心である。

5a層については、縄文時代の遺物包含層である4層とは分別されるが、下位の6層との関係についてみると、遺物の垂直分布域が連続していること（5a層と6層の間の5b層は、薄く部分的な堆積である）、層をまたいだ接合資料があること、さらに、5a層・5b層・6層ともに黄褐色粘質土で、砂粒の多さだけが分別の要素であること等を勘案すると、5a層～6層は、ひとつのまとまりとして捉えることも可能である。特に5a層のブロック7と6層のブロック9は位置が平面的に重複しており、しかも両ブロックとも黒曜石製の石器が占める割合が著しく高いという共通点がある。しかし、他の石器ブロックの位置に差異があること、そもそも、それぞれの層で接合資料が多数出土していることから、5a層と6層は分別して捉えておきたい。なお、5b層ブロック3は、5a層ブロック6と同一のブロック、北側の段丘裾に形成されるブロック1および2については、二次的な堆積だとも考えられる。

6層と9a層の間には、遺物が極めて少ない7層・8a層・8b層が分厚く堆積しており、両者の間には断絶があると考えられる。6層についてみると、ブロック9は、上記したように、他のブロックとは異なり、黒曜石製の石器が多く出土している。また、他のブロックについても地形の傾斜とは無関係な方向で石器が接合されることから、二次的な堆積と考えられる北側の段丘裾に分布するブロック1～3を除き、6層の石器群、ブロックの形成については二次的な堆積によるものではないと考えておきたい。

9a層についてみると、礫群が分布すること、地形の傾斜とは無関係な方向で石器が接合されること等から、石器の分布は、二次的な自然堆積の結果ではないと考えられる。ただし、段丘裾に形成されるブロック4については、二次的な堆積であるとも考えられる。

9a層と9b層については、9b層の上部にATの一次堆積層が確認されており、両者の間には断絶があると考えておきたい。両層における石器ブロックの平面的な位置関係も、若干ではあるが異なっている。なお、両層の間には、石器の接合関係が認められるのだが、これは遺物の移動により生じたものだと理解している。

9b層については、段丘裾に形成されたブロック6～9あたりには二次的に堆積した石器が多く含まれていると考えられるが、9b層全体を通じて、地形の傾斜とは無関係な方向で、しかも平面的（高低差がなく）に石器が接

合されており、人間の活動により各ブロックが形成されたと考えておきたい。また、段丘裾のブロック 8・9 では黒曜石製の石器が占める割合が高く、西側のブロック 1～3 では安山岩製の石器の割合が高いという差異がみとれる。

9b 層より下位についてみると、9b 層のブロック 2 およびブロック 3 は、10c 層のブロック 2、ブロック 1 と位置的に重複しており、接合関係も認められること、9b 層と 10d 層の間については、9d 層・9e 層・10a 層～10c 層が介在するが、これらの層については、10d 層を含め、調査区北側のみに分布する部分的な層、集中してみられる石器については段丘裾の二次堆積であると考えられること、もしくは、遺物の少ない薄い層であることから、9b 層から 10d 層までは、ひとつのまとまりだと捉えておきたい。ただし、9b 層のブロック 6～9 については、段丘裾に二次的に堆積した石器群だと考えられる。

このようにみてみると、1 区の旧石器時代の各層については、おおよそ 5a 層・6 層・9a 層・9b～10c 層の 4 相にまとめることができる。認定された母岩も、これらの層では認定された母岩の数も多い（表 3・4）。また、上述したように、二次的な堆積で形成されたと考えられるブロックを除くと、石器ブロックについては、5a 層では 5 基（ブロック 3～7）、6 層では 6 基（ブロック 4～9）、9a 層では 5 基（ブロック 1～3・5・6）、9b 層では 9 基（ブロック 1～5・10～13）が抽出され、これらについては、遺跡の性格を探る上で特に重要なものだと考えられる。

次に、2A 区についてみると、剥離面接合や石核資料の数量を考慮すると、4 層・5 層・15 層・16 層の各石器ブロックに注目される。だが、4 層と 5 層の各ブロックについては、面的に同じ場所に位置しており、両層をまたいだ接合資料も多い。また、両層から礫群が検出されていることを加味すると、両層はひとつのまとまりだと捉えてよいかもしれない。5 層と 15 層の間には、遺物が極端に少ない 7 層・8 層および AT の一次堆積層である 9 層が介在する。なお、15 層ブロック 1 と 16 層ブロック 1 については、平面的にはほぼ同じ場所に位置しており、接合資料も認められることから、両者をあわせて一つのブロックと考えてよいかもしれない。このようにみてみると、2A 区では、4・5 層と 15・16 層の 2 相に大きく分別できるだろう。

2 旧石器時代各層の石器群について

1) 1 区について

1 区における旧石器時代の遺物包含層は 5a 層以下の層であるが、参考のため、縄文時代の遺物包含層である 3 層および 4 層を含め、各層の遺物について概観する。

3 層からは、計 165 点（黒曜石製 99 点・安山岩製 65 点・その他 1 点）の石器および押型文土器が出土している。石器の層全体における石材別の点数の比率をみると、黒曜石製のものが 60% を占める。石器の大半は剥片およびチップであるが、製品としては、細石刃、角錐状石器、石鏃、楔形石器、石斧他が出土しており、詳細については一覧表を参照していただきたい。なお、このうち、石斧とは「神子柴型」とされる局部磨製石斧である。

4 層からは、計 4,737 点（黒曜石製 2,383 点・安山岩製 2,328 点・その他 26 点）の石器が出土しており、1 区各層の中で最も多くの石器が出土している。また、押型文土器が出土している。出土した石器の中には、剥片・チップ類が多数含まれており、両者は 4,217 点に及ぶ。また、4 層から出土した石器は、総重量において、他層と比較し突出しているが、これは、出土した石器に礫石器が含まれており、結果的に重くなっているからである。層全体における石材別の点数の比率をみると、黒曜石製のものが 50% を占めている。

石器の内容をみると、細石刃（黒曜石製）が 220 点出土しており最も多い。細石核については、楕円型・石ヶ元型・船野型のものがみられる。その他、角錐状石器、二側縁加工のナイフ形石器、台形石器他が出土しており（図 93～95 に一部図化）、詳細は一覧表を参照していただきたい。

5a層から出土した石器は計4,559点（黒曜石製2,032点・安山岩製2,512点・その他15点）で、旧石器時代の遺物包含層の中で最も多い。しかし、この点数には剥片およびチップが相当数含まれており（両者あわせて4,301点）、石器の総重量としては、さほど突出しているわけではない。換言すれば、5a層は、剥片・チップ類が最も多く含まれる層だということもできよう。

5a層からは、97点の細石刃が出土しており（すべて黒曜石製）、4層を除く各層の中で最も多い。また、5点の細石核（黒曜石製）も出土しており、型式が判るものでは船野型のものが認められる。ナイフ形石器には、細身の柳葉形で先端部と基部を斜めに整形し基部裏面に平坦調整を施す二側縁加工ナイフ（図97-6）に加え、国府型ナイフ（図97-8・97-9）、「ノ字状剥片」を素材とする今峠型ナイフ（図97-4）等がみられる。台形石器には、バチ形で基部調整を施すもの（図97-11・12）、逆台形のもの（図97-15）、方形に近いもの（図97-13・14）等がある。角錐状石器の点数が多いこともこの層の特徴で、小型で黒曜石製のもの10点の他、やや大型でアプライト製のもの1点（図96-5）も出土している。角錐状石器には、図96-11のように縦長剥片を素材とするもの、図96-12のように横長剥片を素材とするものがあり、ノッチ状の剥離により基部を作り出すものと基部の成形が甘いものがある。また、黒曜石製の剥片尖頭器が3点出土しているが（図96-2～4）、いずれも、長さが短く基部の成形がやや不明瞭なものである。この他、スクレーパー、彫器、ドリル、石核等が出土している（図96～98に一部図化）。層全体の石器石材別の点数の比率をみると、安山岩製のものが55%とやや多いが、剥片・チップ類を除く主要器種についてみると黒曜石製のものが多い。

5b層からは、計748点（黒曜石製318点・安山岩製430点）の石器が出土している。層全体の石材別の点数の比率をみると、安山岩製のものが57%とやや多いが、剥片・チップ類を除く主要器種についてみると、安山岩製の台形石器1点がみられるだけで、他はすべて黒曜石製である。

5b層からは、数は少ないが、黒曜石製の細石刃（3点）・細石核（2点）が出土している。細石核のうち、型式の判るものとしては、石ヶ元型のものが認められる。この他、黒曜石製の二側縁加工ナイフ形石器2点、角錐状石器4点、台形石器1点、スクレーパー1点等が出土している（図98に一部図化）。角錐状石器については、いずれも黒曜石製で、形状等の特徴は5a層の一群と同様である。なお、剥片尖頭器は出土していない。

6層からは、計1,877点（黒曜石製821点・安山岩製1,055点・その他1点）の石器が出土している。石材別の点数の比率をみると、安山岩製のものが56%とやや多いが、剥片・チップ類を除く主要器種についてみると、黒曜石製のものが多い。

6層からは、黒曜石製の細石刃（14点）・細石核（2点）が出土している。細石核のうち型式の判るものとしては、船野型のものが認められる。ナイフ形石器については13点出土しており、細身の柳葉形で先端部と基部を斜めに整形し基部に平坦調整を施す二側縁加工ナイフ（図100-8・9）の他、今峠型ナイフが少数ながら出土している（図100-12）。小型の切出形ナイフはみあたらない。台形石器は4点出土しており、バチ形のもの（図101-7）、逆台形のもの（図101-5・6）等がある。この他、剥片尖頭器4点、角錐状石器9点、スクレーパー12点、石核25点等が出土している（図99～101に一部図化）。このうち、角錐状石器については、すべて黒曜石製の小型のもので、形状等は5a層、5b層のものと大きな差異は認めたいが、礫面を残すものがある。また、剥片尖頭器（黒曜石製3点・安山岩製1点）は、いずれも長さが短く、基部の成形がやや不明瞭なものである。

7層および8a層については、剥片、チップ、二次加工剥片が少数出土しているだけである。また、8b層は無遺物層である。

9a層からは、計1,048点（黒曜石製545点・安山岩製500点・その他3点）の石器が出土している。石材別の点数の比率をみると、黒曜石製のものが52%と若干多いだけだが、剥片・チップ類を除く主要器種についてみると黒曜石製のものがかなり多い。

主要器種についてみると、ナイフ形石器が多く出土していることが特徴で、計21点（黒曜石製18点・安山岩

製3点)が出土している。細身の柳葉形で先端部と基部を斜めに整形し基部裏面に平坦調整を施すもの(図102-9・10)、切出形で基部片側に抉りを入れるように仕上げた裏面基部に平坦調整を施すもの(図102-7)、小型の切出形のもの(図102-3・5・6)等の二側縁加工ナイフがある。また、やや歪な一側縁加工ナイフもある(図100-11)。台形石器は2点出土しており(いずれも黒曜石製)、このうち図102-12については、形状は切出形に近いが台形石器に含めた。その他、彫器(黒曜石製1点)、石核(黒曜石製10点・安山岩製4点)等が出土している(図102～103に一部図化)。今峠型ナイフ形石器は出土していない。また、剥片尖頭器、角錐状石器も出土していない。

9b層は、層の上部にATの一次堆積が認められる層である。計2,602点(黒曜石製1,419点・安山岩製1,167点・その他16点)が出土している。石材別の点数の比率をみると、黒曜石製のものが54%と、やや多いだけだが、剥片・チップ類を除く主要器種についてみると、黒曜石製のものが圧倒的に多い。特にナイフ形石器は、すべて黒曜石製で49点が出土している。

ナイフ形石器は、細身の柳葉形で基部に平坦調整を施すもの(図104-22)、切出形で基部片側に抉りを入れるように仕上げるもの(図104-15～17)、小型の切出形のもの(図104-1～8・10～12)等の二側縁加工ナイフの他、打点を残したまま基部周辺の両側縁と先端部の一側縁に二次加工を施す歪なもの(図104-24)があり、内容的には9a層と似た様相を示す。また、台形石器は11点出土しており(いずれも黒曜石製)、バチ形のもの(図105-3～5)、方形に近いもの(図105-6)等がある。その他、彫器5点(いずれも黒曜石製)・スクレーパー18点(黒曜石製13点・安山岩製5点)が出土している。また、石核14点(黒曜石製11点・安山岩製3点)が出土している(図105～107に一部図化)。なお、黒曜石製の細石刃4点が出土しているが、これらは上位層からの移動その他の原因で出土したものと考えている。

9c層は、石器の出土数がやや少なく、計74点(黒曜石製45点・安山岩製28点・その他1点)が出土したにとどまる。製品の数も少なく、剥片・チップ類を除くと、小型の切出形ナイフ形石器(図107-4)、石核等が数点出土したにすぎない(図107に一部図化)。

9d層からは、計199点(黒曜石製119点・安山岩製79点・その他1点)の石器が出土している。石材別の点数の比率をみると、黒曜石製のものが60%を占めるに過ぎないが、剥片・チップ類を除く主要器種についてみると、安山岩製のスクレーパー1点以外は、すべて黒曜石製でナイフ形石器(5点)・台形石器(3点)・スクレーパー(2点)・彫器(1点)・石核(2点)等が出土している(図108に一部図化)。このうちナイフ形石器については、細身の柳葉形で基部に平坦調整を施す二側縁加工ナイフである(図108-1)。また、台形石器については、やや大型のバチ形のものがある(図108-3)。なお、図108-2は抉入石器で、平戸市堤西幸田遺跡I文化層出土のものと形状が似かよっている(一覧表等のデータ上はナイフ形石器になっている)。

9e層からは、計826点(黒曜石製462点・安山岩製364点)の石器が出土している。石材別の点数の比率をみると、黒曜石製のものが56%とやや多いだけだが、剥片・チップ類を除く主要器種についてみると、黒曜石製のものが圧倒的に多い。ナイフ形石器は11点中10点、台形石器は8点すべて、スクレーパーは5点中4点が黒曜石製である(図109～110に一部図化)。ナイフ形石器には、細身の柳葉形のもの(図109-8・9)、同じく細身で基部裏面に平坦調整を施すもの(図109-5・7)、小型の切出形のもの(図109-1・2)の二側縁加工ナイフの他、歪で基部両側縁と先端部の一側縁に二次加工を施すもの(図109-6)等がみられる。また、台形石器には、基部を尖らせバチ形に開くもの(図109-13)、逆台形のもの(図109-11・12)、方形に近いもの(図109-14)等がある。なお、黒曜石製の細石刃2点が出土しているが、これらは上位層からの移動その他の原因で出土したものと考えている。

10a層・10b層から出土した石器は極めて少ない(10a層:15点、10b層:22点)。また、10b層出土の黒曜石製の石核1点を除けば、他はすべて剥片・チップ類に限られる。

10c層からは、計170点(黒曜石製52点・安山岩製117点・その他1点)の石器が出土している。AT下位の

各層について、安山岩製のものと黒曜石製のものと石器の総点数を比較すると、黒曜石製のものが数的に勝る傾向があるのに対し、この層では、安山岩製のものが69%を占める。ただし、主要器種の数量に限ってみると、他の層と同様、黒曜石製の比率が高い。黒曜石製のナイフ形石器3点・台形石器3点・スクレーパー1点、安山岩製のスクレーパー1点が出土している(図111に一部図化)。図111-1は切出形の二側縁加工ナイフ形石器である。また、台形石器には、基部を尖らせバチ形に開くもの(図111-4・5)がある。その他、石核6点(黒曜石製2点・安山岩製4点)が出土している。

10d層からは、計177点(黒曜石製121点・安山岩製56点)の石器が出土している。石材別の点数の比率をみると、黒曜石製のものが68%を占めており、他層に比べやや多い。剥片・チップ類を除く主要器種に限ってみると、安山岩製のものはない。ナイフ形石器3点・台形石器6点・スクレーパー2点が出土している(図112に一部図化)。図112-1は、細身で基部裏面に平坦調整を施す二側縁加工ナイフ形石器で、図112-2も先端部が欠損しているが、同タイプのものであろう。また、台形石器には、一側縁に挟りを入れるバチ形のもの(図112-5・7)、逆台形のもの(図112-4・6)等がある。その他、石核3点(黒曜石製1点・安山岩製2点)が出土している。

11層以下の層については、石器が数点~十数点出土するだけである(12層は無遺物層)。これらの層では、剥片・チップ類がほとんどを占めており、ナイフ形石器等の主要器種は出土していない。

以上、1区の各層について概観した。石器の器種・型式等で垂直分布を厳密に検討していないので、調査を行った際に設定した「層」を頼りに検討するわけだが、1区の旧石器時代の石器の様相についてまとめてみる。

まず、二側縁加工ナイフ形石器については、細身の柳葉形で基部に平坦調整を施すもの、同じく細身の柳葉形で基部に平坦調整を施すが先端部と基部を斜めに整形するもの、切出形で基部片側に挟りを入れるように仕上げるもの、小型の切出形のもの等があることがあげられる。このうち、細身の柳葉形のものについてみると、先端部と基部を斜めに整形するものは9a層より上位、つまりAT上位に見られ、これに対し、ATより下位のものについては、全体的に左右対称形である。ただし、図102-8・図104-14・図104-21等は、両者の中間形のようにも見受けられ、過渡的なものかもしれない。また、切出形で基部片側に挟りを入れるように仕上げるもの(図104-15・17)については、AT下位で認められ、素材の用い方が若干異なるものの、AT上位にまで認められる(図102-7)。小型の切出形のものについては、AT下位からAT直上まで認められるが、特にAT前後に集中することが特筆される。なお、小型の切出形ナイフは、6層からは出土していない。

ナイフ形石器の石材についてみると、AT上位では、黒曜石製のものがやや多いものの、安山岩製のものも一定数認められる一方、AT下位では、安山岩製のものはわずかで、ほとんど黒曜石製のもので占められている。また、台形石器については、AT上位、下位ともに、ほぼ黒曜石製で占められる。

「ノ字状剥片」素材の今峠型ナイフ形石器、剥片尖頭器、角錐状石器は、ともに6層から認められる。剥片尖頭器については、先が短く基部の成形がやや不明瞭なものばかりであるが、5a層のものは6層のものに比べ、さらに先が短い感を受ける。角錐状石器については、5a層~6層から認められ(4層からも出土)、西北九州型の小型のもので占められるが、舌部が明瞭に形成されるものと不明瞭なものが混在する。剥片尖頭器・角錐状石器は、ごく少数を除き、大部分は黒曜石製である。ちなみに、1区にいては、剥片尖頭器に比べ角錐状石器の点数が圧倒的に多いが、これは、2A区とは逆の現象である。

なお、細石核・細石刃は、4層~6層で出土している。型式の判別できるものに限ると、4層からは、福井型・石ヶ元型・船野型、5a層からは船野型、5b層からは石ヶ元型、6層からは船野型・石ヶ元型の細石核がそれぞれ出土している。出土層位を考慮せず、平面的な分布だけを見ると、石ヶ元型・船野型については、調査区南東部に偏って分布するようにも見受けられる。しかし、3層および4層からは押型文土器が出土しており、これらの層は、細石核が出土する本来の出土層準とは考えにくい。また、5a層~6層についても、出土するナイフ形石器等の様相をみると、これも本来の出土層準ではないだろう。さらに、4層~6層あたりについては、各層とも薄く、植物

の根による撓乱も認められることから、これら 5a 層～6 層から出する細石核については、すべて上層からの移動だと考えられる。要約すると、1 区から出土する細石核・細石刃は、すべて本来的な所属層ではなく、二次的な作用で移動・堆積した層から出土したものであることになる。

また、1 区からは、いわゆる「神子柴型」とされる局部磨製石斧が出土しているが、この石斧については、船野型細石核に併行するとされる一方、福井型と関連するという意見もある。しかし、いずれにしても、石斧が出土したのは 3 層であり、いずれの細石核に伴うものなのかは、ここでは判別し難い。

2) 2A 区について

次に、2A 区各層の遺物について概観してみよう。参考のため縄文時代の遺物包含層である 2 層・3 層を含め、各層の状況を記す。

2 層からは、計 57 点（黒曜石製 27 点・安山岩製 30 点）の石器および押型文土器が出土している。石器について、層全体の石材別の点数の比率をみると、安山岩製のものが 53% とやや勝っている。剥片・チップ類の他、スクレーパー、石核、石鏃等が出土している。

3 層からは、計 344 点（黒曜石製 171 点・安山岩製 172 点・その他 1 点）の石器および押型文土器が出土している。石器について、石材別の点数の比率をみると、黒曜石製・安山岩製がほぼ半分ずつを占める。剥片・チップ類の他、細石刃、細石核、剥片尖頭器他が出土しており（図 177 に一部図化）、詳細は一覧表を参照されたい。

4 層からは、計 1,469 点（黒曜石製 417 点・安山岩製 1,039 点・その他 13 点）の石器が出土している。石材別の点数の比率をみると、安山岩製のものが 71% と多くを占めており、石材別に主要器種の数量を比較しても、安山岩製がやや勝っているように見受けられる。

黒曜石製の細石刃 3 点・細石核 1 点の他、各種の石器が出土しているが、剥片尖頭器の出土数が目立つ。剥片尖頭器は、黒曜石製 5 点、安山岩製 10 点が出土しており（図 178- 2～179- 3）、刃部がさほど長くないものや短いもので占められており、基部の成形も一部のものを除き、不明瞭なものが大半を占めるといってよいだろう。角錐状石器は、黒曜石製 3 点、安山岩製 4 点が出土しており（図 179- 4～10）、一部に横長剥片素材のものがみられる。いずれも小型で、礫面を残すものもみられる。また、ナイフ形石器は計 19 点出土しているが、二側縁加工ナイフ、国府型ナイフが出土している他、今峠型ナイフの出土が目立つ（図 180～181 に一部図化）。まとまった点数の今峠型ナイフが出土するのは、5 層とともにこの層の特徴といえよう。また、台形石器は 4 点出土しているが（いずれも黒曜石製）、一側縁に抉りを入れるバチ形のもの（図 181- 5・6）、逆台形のもの（図 181- 7）等がある。この他、スクレーパー 40 点（黒曜石製 12 点・安山岩製 26 点・その他 2 点）、彫器 1 点（黒曜石製）、石核 24 点（黒曜石製 15 点・安山岩製 9 点）等が出土している（図 181～図 183 に一部図化）。

5 層からは、計 668 点（黒曜石製 147 点・安山岩製 518 点・その他 3 点）の石器が出土している。石材別の点数の比率をみると、安山岩製のものが 78% と多くを占めており、主要器種に限ってみても、安山岩製のものが多くを占める。

5 層からは、黒曜石製の細石刃 2 点が出土しているが、細石刃はこの層より下位の層からは出土していない。4 層と同様、剥片尖頭器（黒曜石製 2 点・安山岩製 4 点）の出土が目立つ（図 184- 1～6）。刃部の長さ、基部の成形の様子等、4 層出土のものと同様の傾向がうかがえる。角錐状石器（黒曜石製 1 点・安山岩製 1 点）についても、4 層と同様、小型のものが出土している（図 184- 10・11）。ナイフ形石器については 10 点（黒曜石製 1 点・安山岩製 9 点）出土しているが、二側縁加工ナイフが 1 点出土している他は、4 層と同様、今峠型ナイフがまとまって出土している（図 185 に一部図化）。この他、台形石器 3 点（黒曜石製 2 点・安山岩製 1 点）、スクレーパー 14 点（黒曜石製 2 点・安山岩製 11 点・その他 1 点）、彫器 1 点（安山岩製）、石核 11 点（黒曜石製 7 点・安山岩製 3 点・その他 1 点）等が出土している（図 185・186 に一部図化）。

6 層～11 層については、スクレーパー、二次加工剥片等が少数出土した他は、剥片・チップしか出土しておらず、

点数も、数点～数十点と少ない（図 187- 1：9 層出土石核のみ図化）。石材別に数量を比較すると、6 層～9 層については、多寡があるものの、黒曜石製のものよりも安山岩製のものが多い。10 層については同数、11 層は逆に、黒曜石製のものが多い。

12 層は、計 5 点の石器が出土しただけであるが、安山岩製の剥片の他、同じく安山岩製のナイフ形石器、黒曜石製のスクレーパーが 1 点ずつ、黒曜石製の石核 2 点が出土している（図 187- 1・4）。ナイフ形石器（図 187- 2）については、小型の二側縁加工ナイフである。

13 層は、計 23 点の石器が出土しただけであるが、剥片・チップを除くと、安山岩製の二次加工剥片 1 点以外は、すべて黒曜石製である。ナイフ形石器 1 点（図 187- 5）、スクレーパー 1 点（図 187- 6）他が出土している。ナイフ形石器については、スクレーパーもしくはスクレーパー転用とも考えられるが、ナイフ形石器に含めた。

14 層は、調査区の北端近くだけに分布する層で、無遺物層である。

15 層からは、計 223 点（黒曜石製 172 点・安山岩製 48 点・その他 3 点）の石器が出土している。石材別の点数の比率をみると、黒曜石製のものが 77% と多くを占めており、主要器種についても、黒曜石製のものが多い。15 層からは、ナイフ形石器 3 点（黒曜石製）、台形石器 1 点（黒曜石製）、スクレーパー 11 点（黒曜石製 8 点・安山岩製 3 点）、彫器 2 点（黒曜石製）、石核 9 点（黒曜石製 6 点・安山岩製 3 点）等が出土している（図 188 に一部図化）。ナイフ形石器 3 点については、いずれも小型で、このうち 2 点（図 188- 1・2）は一側縁加工である。

16 層からは、計 290 点（黒曜石製 234 点・安山岩製 49 点・その他 7 点）の石器が出土している。石材別の点数の比率をみると、黒曜石製のものが 81% と多く、剥片・チップを除く製品類についても同様の傾向を示す。ナイフ形石器 5 点（黒曜石製）、台形石器 4 点（黒曜石製 3 点・安山岩製 1 点）、スクレーパー 10 点（黒曜石製 8 点・安山岩製 2 点）、彫器 2 点（黒曜石製）、石核 7 点（黒曜石製 6 点・安山岩製 1 点）等が出土している（図 189・190 に一部図化）。ナイフ形石器については、いずれも二側縁加工で、台形石器については、大型の逆台形のものがある。

2A 区の遺物の状況についてまとめてみると、まず、1 区に比べてナイフ形石器の点数が少ないことがあげられる。特に AT 前後や AT 上位においては極端に少ない。また、AT 下位において認められる少数のものについては、一側縁加工ナイフが少数認められることを除けば、二側縁加工ナイフ自体の特徴は 1 区のものと同様を認め難い。石材についてみると、数量が少なく明言しにくいだが、1 区同様、AT 下位では黒曜石製で占められ、AT 上位ではこれに安山岩製のものが加わるという傾向があるようである。また、台形石器も 1 区同様、AT 上位・下位ともに、黒曜石製のものが大半を占めている。

今峠型ナイフ形石器については、4 層と 5 層からまとまった数が出土しており、1 区のものに比べやや大型のものが多い。これらの大多数は、安山岩製である。

剥片尖頭器・角錐状石器は、ともに 5 層から出土し始める。剥片尖頭器は、1 区のものと同様、先が短く基部の成形がやや不明瞭なものが多いが、中には、やや大型で基部の成形も明瞭な古相を示すものもみられる。角錐状石器は、形態的には 1 区のものと同様を認められない。

ちなみに、剥片尖頭器の点数は、角錐状石器に比べ圧倒的に多く、1 区の状況とは逆である。剥片尖頭器・角錐状石器ともに、黒曜石製のものと安山岩製のものとは数量的におおよそ半々で、1 区のように黒曜石製で占められることはないが、これは、剥片尖頭器の点数が多いことに起因していると考えられる。

なお、細石器に関係する遺物は極めて少なく、4 層から細石核 1 点、3 層から石核調整剥片 1 点が出土しているにすぎない。また、細石刃は 3～5 層で少数出土しているが、いずれも、本来の出土層準とは考えていない。

3) 3 区について

次に、3 区の遺物について概観してみる。3 区からは、1 層から 6 層まで遺物が出土しており、このうち旧石器時代の遺物包含層は 4 層であるが、参考のため、縄文時代遺物包含層である 3 層を含め、各層の概要を述べる。

3層からは、計8,733点（黒曜石製4,547点・安山岩製4,120点・その他66点）の石器および押型文土器が出土している。石器について、層全体の石材別の点数比率をみると、黒曜石製が52%、安山岩製が47%を占めている。石器の大部分は剥片およびチップだが、細石刃、細石核、剥片尖頭器、角錐状石器、ナイフ形石器等、各器種が出土している（図213・214に一部図化）。細石刃は250点出土しており、すべて黒曜石製である。角錐状石器は28点出土しているが（すべて黒曜石製）、いずれも小型のもので占められており、背面に礫面を残すものもみられる。また、剥片尖頭器は、欠損品ばかりで詳細は不明だが、どれも刃先が短いもののように見受けられ、茎部の成形はやや甘い。ナイフ形石器は、一側縁加工ナイフ、二側縁加工ナイフ等の他、国府型ナイフ形石器、今峠型ナイフ形石器が出土している。

4層からは、計12,837点（黒曜石製6,443点・安山岩製6,136点・その他258点）の石器が出土している。第3章4「遺跡の層序」に記したとおり、4層は、上・中・下の3層に細分できるのだが、これら遺物が出土したのは4上層に相当すると考えられる。層全体の石器石材別の点数の比率をみると、黒曜石製が50%、安山岩製が48%を占めている。

出土した石器をみると、まず、細石刃が多く出土していることに気づく（すべて黒曜石製：111点）。また、角錐状石器20点（黒曜石製19点・安山岩製1点）が出土している他、ナイフ形石器100点（黒曜石製90点・安山岩製10点）、台形石器49点（黒曜石製43点・安山岩製5点・その他1点）が出土している（図215に一部図化）。角錐状石器、剥片尖頭器は3層の様相と類似している。また、ナイフ形石器、台形石器についても同様である。

4層については、旧石器時代の遺物包含層ではあるものの、AT前後～細石刃期の石器が上下を保たずに出土しており、遺物の二次的な移動が激しいものと考えられる。5層および6層については、剥片・チップが少数出土しただけで、これらは、4層から移動したものと考えられる。なお、4層からは、押型文土器が出土するが、これは、上位層からの移動によるもので、本来の出土層準ではないと考えられる。

細石核・細石刃は、2層～4層で出土している。型式の判るものについてみると、2層からは石ヶ元型、野岳・休場型、3層からは福井型、石ヶ元型、野岳・休場型、4層からは福井型、野岳・休場型のものがそれぞれ出土している。出土した層位を考慮せず、単純に平面的な分布だけみると、野岳・休場型は調査区中央～北部に、石ヶ元型は調査区南部にそれぞれ偏っているようにも見受けられる。しかし、いずれにしても、これらは、本来の出土層準ではなく、二次的な堆積もしくは移動したものだと考えられる。

4) 小結

1区・2A区・3区の対応関係についてみると、調査区それぞれの間に若干の距離があること、さらに、土砂の堆積環境が異なることから、縄文時代の遺物包含層である黒色土を除くと、1区と2A区で検出されたATの一次堆積層以外に土質等から共通項を見極めるのは難しい。そのため、各区、各層から出土した石器群を比較し対応関係を探るしかないわけだが、これらについて示したものが図297である。また、各層から出土した石器群の様相から4段階に分け図示した。

石器群の様相としては、1区の層名でいう5a層から6層までを同じ段階だとしてまとめたが、石器ブロックの様相からみると、先に述べたように、5a層と6層は一応分別して考えた。逆に、石器ブロックの様相からみると、9b層以下は同じ相として捉えたが、石器群の様相からすると2段階に分けられる。このように、両者には、若干の差異があることは承知しつつ、石器ブロック等の様相から認識される遺跡の消長と、石器群から把握される段階とは、おおむね合致していると考えておきたい。

上述したように、1区の5a層～6層と2A区の4・5層は同じ段階に位置づけたが、1区では角錐状石器より剥片尖頭器の点数が多く、2区では逆に剥片尖頭器が角錐状石器より点数が多い。このような点数の違いは、2A区の剥片尖頭器にやや古相を示すものがあることを勘案すると、若干の時期差を示唆しているのかもしれない。

また、AT直上である1区の9a層の段階では、国府系の石器は認められないが、1区の6層からは横長剥片系

材の角錐状石器が出土し、さらにその上層である1区の5a層と2A区の4層からは国府型ナイフ形石器が出土している。地蔵平遺跡における国府系の石器の出現といえば、AT直上の9a層ではなく、今峠型ナイフ・剥片尖頭器・角錐状石器が出現する6層ということになるだろうが、6層から出土した角錐状石器は古相を示しているとはいえず、さらに6層と9a層の間には一定の断絶があり不明であることから、その出現期については慎重に考えねばならない。

なお、今峠型ナイフ形石器が出現する1区の6層とATの間には9a層があり、同じく2A区の5層とATの間にも間層があることから、AT降灰後、今峠型ナイフ形石器の出現まで若干の時間差があるように感じられる。剥片尖頭器についてみても、古相を示すものは見当たらず、AT降灰後、一定の期間が経過した後のものであることがうかがえる（富士小学校保管資料や確認調査出土遺物に若干古相を示すものはある）。

ちなみに、ナイフ形石器については、1区の概要をまとめた際、わずかにばかりではあるが、おおむねAT前後を境にして様相が異なっていることを述べたが、見方を変えてみると、特に二側縁加工ナイフ形石器に変化が乏しいとも言えるわけで、長時間の経過を示していない、つまり、1区でいえば、少なくとも10d層からAT降灰前後の9b層、9a層あたりについては、さほど時間が経過していないと言えるのかもしれない。

3 旧石器時代の石器石材について

まず、各区各層における石材別の比率をみてみよう（石器が一定数出土している層についてのみ検討する）。1区における各層の石材別の総重量をみると、縄文時代の遺物包含層である4層の「その他の石材」を除くと、ほぼすべての層において、安山岩の量が黒曜石の量を上回っている（図220）。ところが、各層の石材別の点数をみると、黒曜石と安山岩の比率に大きな差は認めがたい（図219）。これは、相対的にみて、安山岩製の製品は少ないが1点当たりの重量は重く、逆に黒曜石製の製品は多いが1点当たりの重量は軽いことを示している。

ちなみに、5a層についてみると、石器石材別の重量比は、安山岩製が69%を占めるが、点数は55%を占めるにとどまる（表11）。これらの内訳をみると、黒曜石製の細石刃の多さが目立つものの、他の製品についても黒曜石製のものが多い。剥片についてみると、安山岩製のものは黒曜石製のものより数は少ないが、重量ははるかに重い。また、チップについてみると、安山岩製のものが黒曜石製のものより点数が多い。

細石刃・細石核は黒曜石製に限られるため脇におくとして、それ以外のものについての上記の傾向は、5a層だけでなく、5b層、6層、9a層、9b層、9d層、9e層、10c層などにも認められる（表11）。唯一、10d層については、点数、重量ともに黒曜石製のものが勝っており、製品の数も黒曜石製のものが多い。

10d層を除く上記のような様相について考えると、黒曜石製の製品はさておき、安山岩製の製品については、当地で製作はしているが、取り扱いが粗雑で「使い捨て」られていたことも考えられる。これは、多久・小城といった安山岩の原産地に近く、石材の入手が容易だったことが要因だと考えられる。安山岩製の剥片の1点ずつが重たい（大きい）のは、素材を贅沢に使用していたからだと考えることもできよう。

2A区の各層についてみると、4層・5層においては、石器の重量および点数は、ともに安山岩製のものが勝っている（図254・255）。製品の数は安山岩製のものがやや多いだけだが、剥片・チップについては安山岩製のものが圧倒的に多い（表15）。逆に、15層・16層においては、石器の重量および点数は、ともに黒曜石のものが勝っており、製品の点数自体も黒曜石製のものが多いが、特に剥片の多さが目立つ。

上記したような2A区の様相については、安山岩製の今峠型ナイフ形石器が多数出土すること、安山岩製の剥片尖頭器や角錐状石器が1区と比較すると多いことなどに関係するのかもしれない。

次に黒曜石製の石器について、産地別にみてみよう。まず、1区については、各層とも、腰岳産黒曜石の出土量が圧倒的に多いことが共通している（図246）。5a層以下についてみると、5a層・6層においては、9a層より下

位の層に比べ、椎葉川産・針尾島産黒曜石の出土量が多く、AT 前後を境とした上下で様相が異なっていることがわかる。この傾向は、特に針尾島産黒曜石について顕著である。なお、1区では、小国産黒曜石は出土していない。

1区の針尾島産黒曜石についてみると、5a層、6層、9b層において出土量が多い（図246）。5a層においては、特定のブロックに集中する傾向はなく、ブロック外からの出土量が多いのだが、あえて言えばブロック6に集中するといえよう（図247）。ブロック6からは、計35点（計92.08g）の針尾島産黒曜石製の石器が出土しており、剥片・チップの他、角錐状石器が2点出土している。6層では、ブロック5・6・8・9において、やや多く出土しているが、特にブロック9で多く出土している（33点：37.17g）。ブロック9については、5a層のブロック7と位置的に重複しており、両層の間には間層がないことから、石器の移動により2層にまたがって検出されただけかもしれない。ただし、両層の間で石器の接合資料はなく、層をまたいで認定された母岩もないことから、一応ここでは分別して考えておきたい。また、ブロック4においては、点数自体は少ないが、他の産地の黒曜石の出土量より比率が高く、剥片・チップの他に角錐状石器が出土している。

9b層では、ブロック6・8・9・12において針尾島産黒曜石が出土しているが、このうちブロック8からの出土がやや多く（21点：63.92g）、ナイフ形石器の他、剥片・チップ等が出土している。

なお、椎葉川産黒曜石については、9a層より下位の層に比べ、6層より上位の層では、各層とも点数・重量ともに多い。

次に2A区の4層より下位の層についてみてみよう。2A区では、15層・16層で腰岳産黒曜石の出土量が突出しているのに対し、4層・5層では針尾島産黒曜石の出土量が勝っている（図273）。ブロック別では、4層ブロック2（99点：491.62g）、5層ブロック1（24点：223.62g）で出土量が目立つ（図274）。椎葉川産黒曜石については、出土量は少なく、4層・5層・16層で少量ずつ出土しているに過ぎない。小国産黒曜石は、4層および5層から出土している。出土量としては5層が多く、計67点（478.17g）が出土しているが、多くはブロック外からの出土である。ブロック別にみると、ブロック1からの出土が目立つ（5点：37.3g）。

4 おわりに

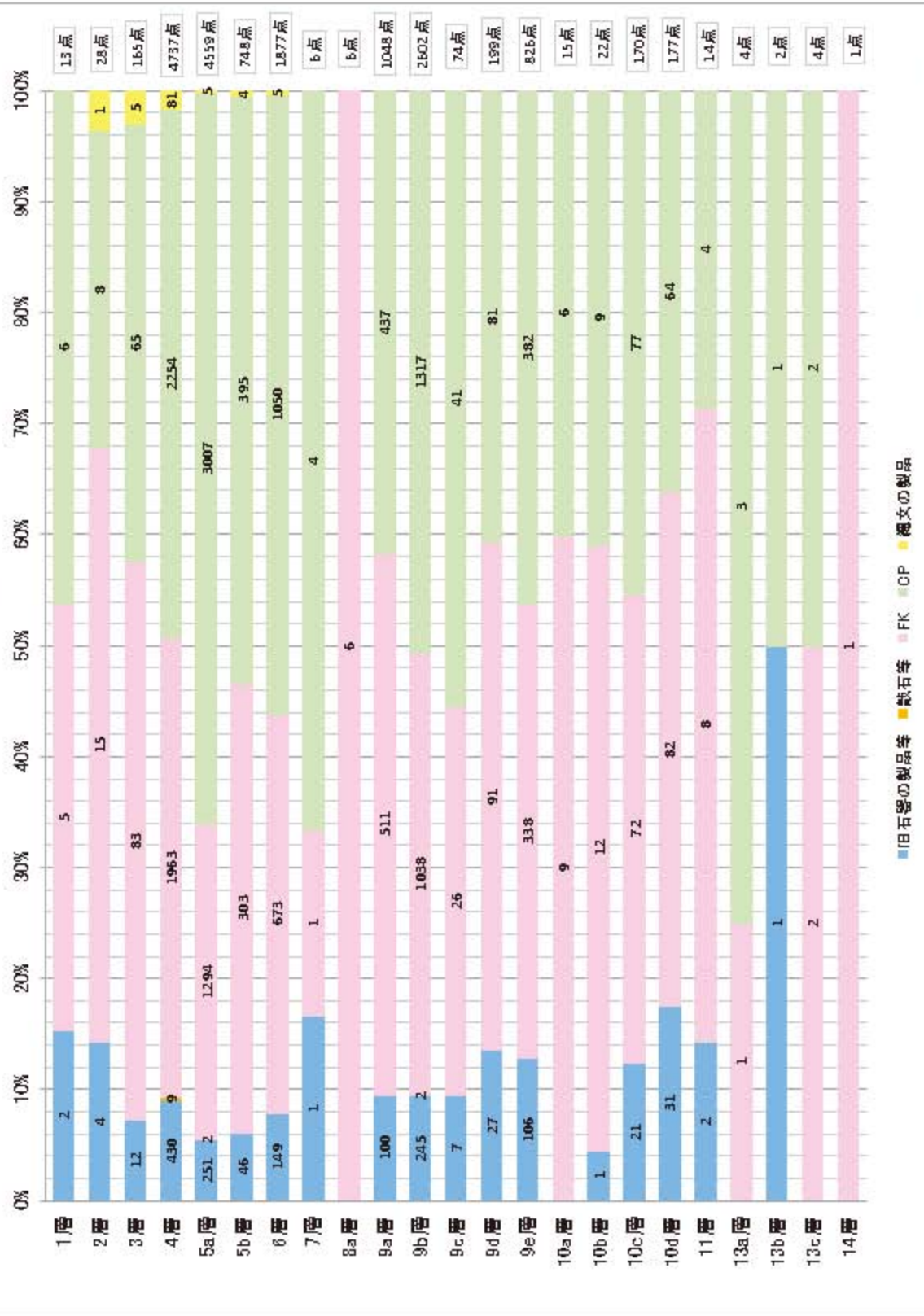
石器ブロック等の調査所見および石器群の様相から、地蔵平遺跡は、後期旧石器時代の脊振山間部における拠点的なキャンプサイトであったことがうかがえる。石器ブロックの中には、二次的な形成ではなく、人間の活動で形成されたものも確認されるが、これらが複数期に認められるということは、この場所が、断続的ではあるとしても、人間の活動領域、活動の場として、認識され続けていたことがうかがえる。黒曜石の一大原産地である腰岳を控え、さらに安山岩の原産地である小城・多久に近く、これらの地域を含め、唐津地域や福岡地域等々を結ぶ要衝の地であったことも十分想定されよう。

また、出土した石器群については、ATの一次堆積層を挟み重層的に出土していることから、これまで、北部九州各地で出土している当時期の石器群について、編年的な位置づけが総括される一助になることが期待される。

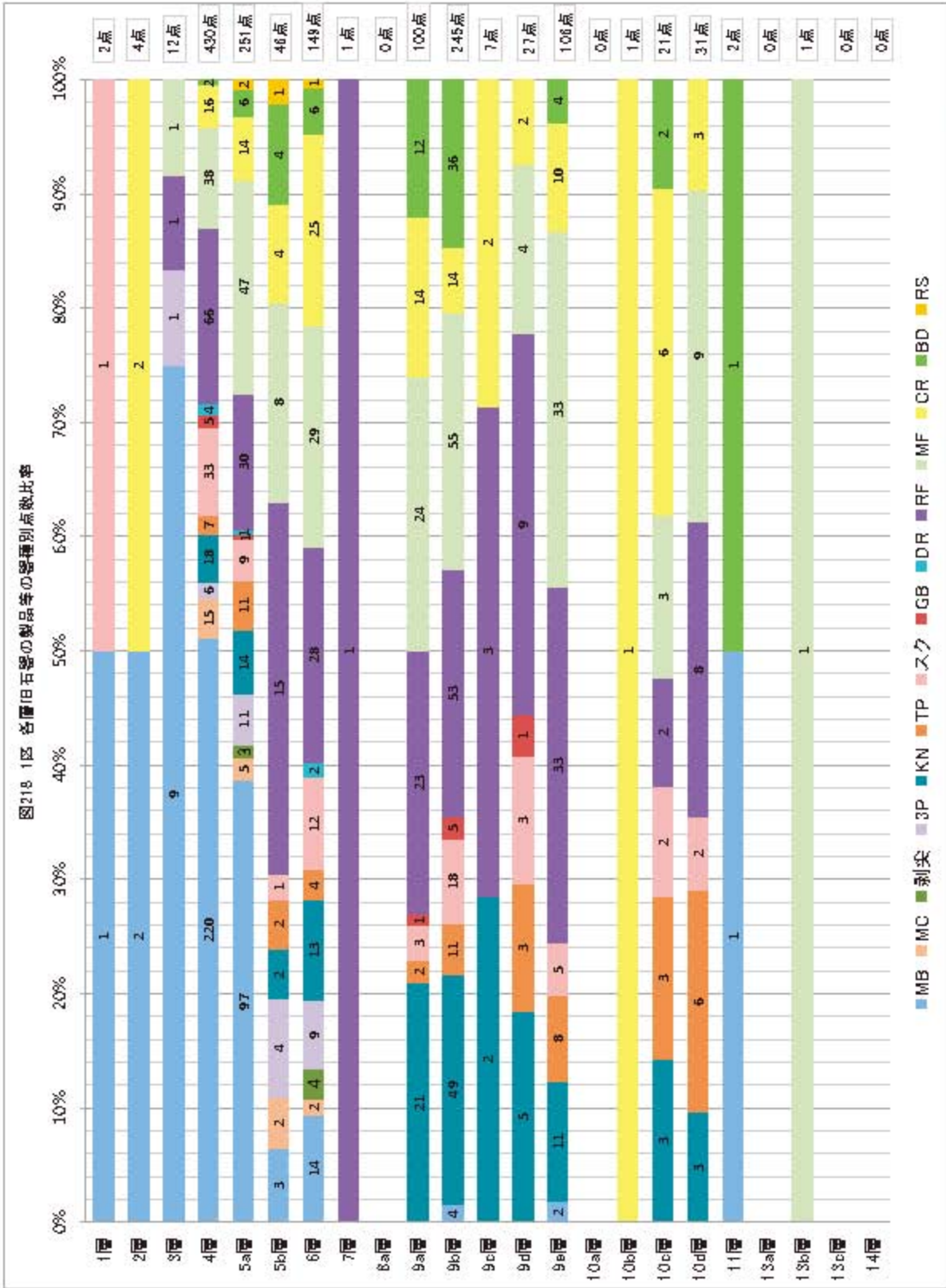
地蔵平遺跡の報告書作成に際し、ご指導いただいた先生には、遺跡を残した当時の人間の活動が復元できるよう情報を引き出すこと、遺跡が当時どのような場であったのか調査担当者の考えを強く主張すること等々、目指す方向を示していただいた。しかし、出来上がったものは、これらには、ほど遠い内容のものになった。

また、膨大な資料・情報を整理し報告するには、圧倒的に時間が不足していることは早くから懸念とされたが、有効な対策が講じられないまま時間が経過した。時間の不足、そして調査員の力量不足を弁解する手段として、本報告書の作成に際しては、中途半端なデータの提示や、即興の考察などは無価値と考え、調査成果・データ類をそのまま提示することを一禁とし、全データを収録したDVDを付録とした。関係各位の寛容を請いたい。

図2.17 1区 各層全石器の器種別点数比率



※旧石器の製品等=IB, MC, 剥片, 矛, KV, TP, スク, GB, DR, RF, MF, CR, ED, RS 縄文の製品=AP, PT, 石斧, つまみ形石器, 楕円石器
※グラフ内の数字は点数を示している



※隕石等、RK、CP、燧文製品(AP、PT、石斧、つまみ形石器、楔形石器)は含まない
 ※グラフ内の数字については点数を示している

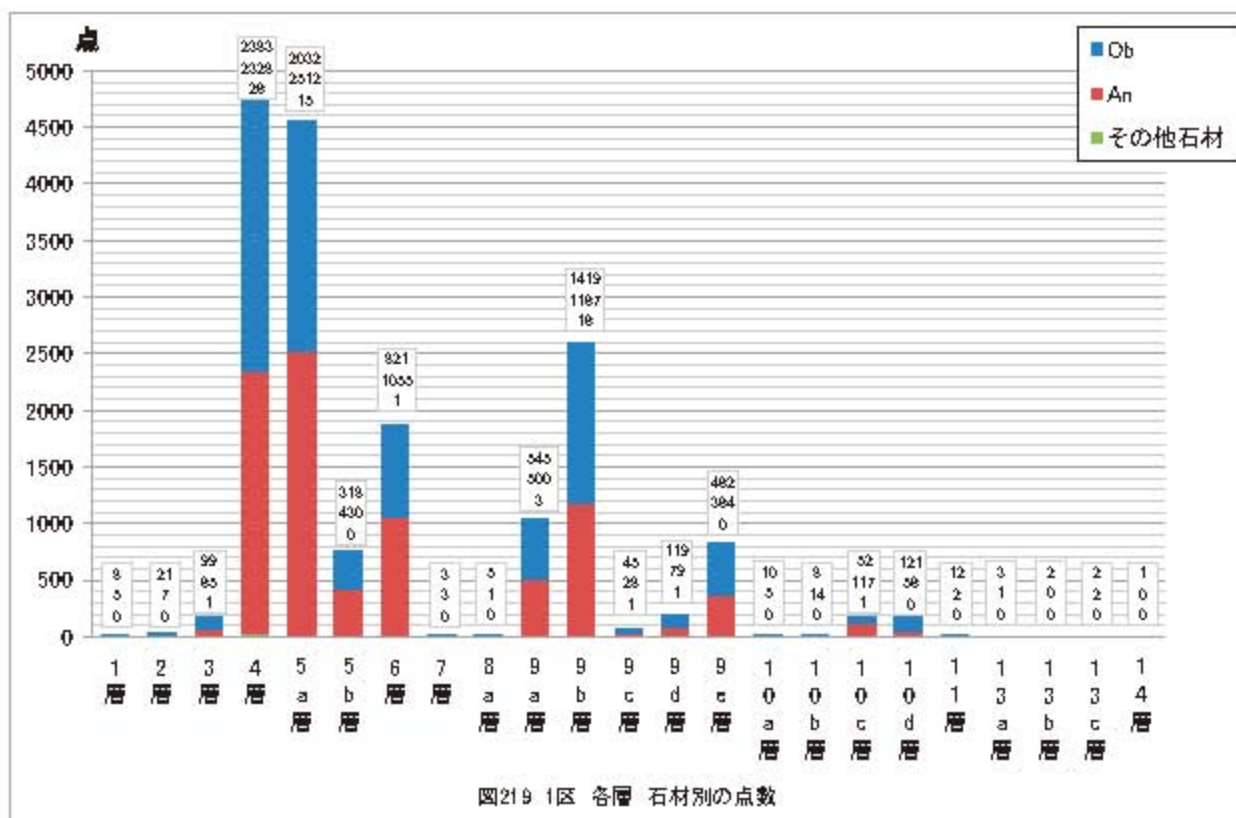


図219 1区 各層 石材別の点数

※グラフ内の3段の数字については上から順に石材ごとの点数を示している

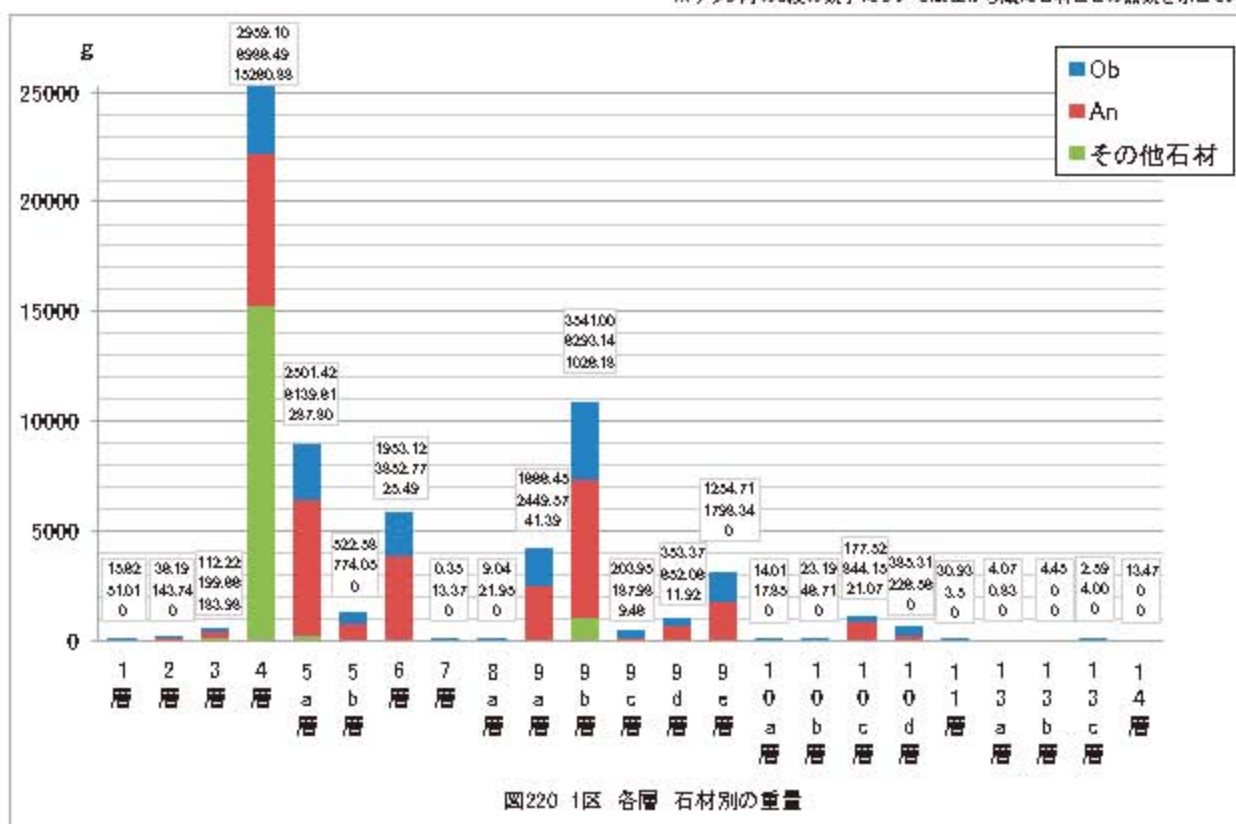


図220 1区 各層 石材別の重量

※グラフ内の3段の数字については上から順に石材ごとの重量を示している

表11 1区 各層の器種組成

層	MB	MC	MC	3P	YN	TP	ス	CB	DR	RF	MF	CR	ED	ED	RS	PK	CP	AP	PT	石片	つまみ	特殊	点	点
																					み	形	数	%
1	Ob	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-
		0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	250	625	-	-	-	-	-	-	-
		1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1422	124	-	-	-	-	-	-	1562
		-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	910	80	-	-	-	-	-	-	5
	Ah	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	600	200	-	-	-	-	-	-	-
合計							30.36									2055	0.10							5101
							59.5									40.3	0.2							13
							1									5	6							13
							7.7									385	46.1							
							30.36									3477	1.34							
2	Ob	9.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	7	-	-	-	-	-	-	-
		0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	524	333	-	-	-	-	-	-	-
		0.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.74	1.99	-	-	-	-	-	-	36.19
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	214	55	-	-	-	-	-	-	-
	Ah	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	1	-	-	-	-	-	7
合計							108.04									57.1	143							
							75.2									326.1	0.57							1437.4
							2									15	8							28
							7.1									535	285							
							13429									4035	256							
3	Ob	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54	31	2	-	-	-	-	-	-
		1.32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	545	313	2.0	-	-	-	-	-	10
		1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8859	329	0.59	-	-	-	-	-	495
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	790	2.9	0.5	-	-	-	-	-	40
	Ah	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	34	1	-	-	-	-	-	65
合計							175.44									445	523							
							127									175.44	12.95							19955
							0.6									879	65	5.0	-	-	-	-	-	1
							10									100	-	-	-	-	-	-	-	100
							18398									18398	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83	65	3	-	-	-	-	-	-
		5.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.3	39.4	1.8	-	-	-	-	-	0.6
		1.32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26403	1624	1059	-	-	-	-	-	49586
		0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	532	3.3	2.1	-	-	-	-	-	97.1
																0.2	1.0							0.9

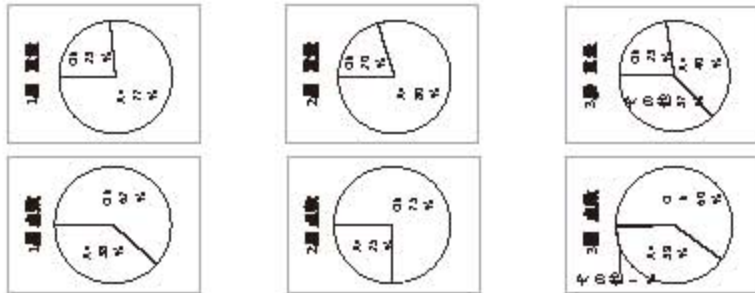


表 11 1 区 各層の器組成

層	MD	MC	精光	3P	YN	TP	スロ	OB	DR	RF	MF	CR	PD	録石存	KS	PK	CP	AP	PT	石率	つまみ み形	検形	
4	Ob	220	15	-	5	15	6	2	5	1	50	29	8	2	-	960	1038	27	-	-	-	238.3 点	
		9.2	0.6	-	0.2	0.5	0.3	0.1	0.2	0.1	2.1	1.2	0.3	0.1	-	40.3	43.6	1.1	-	-	-	%	
		26.98	89.72	-	32.84	32.60	10.73	9.85	83.21	2.03	246.79	91.46	216.46	6.07	-	1866.60	2246.0	18.24	-	-	-	2956.10 点	
		0.9	3.0	-	1.1	1.1	0.4	0.3	2.8	0.1	8.4	3.1	7.3	0.2	-	63.1	7.6	0.6	-	-	-	%	
		-	-	-	1	3	1	21	-	3	15	9	8	-	-	989	1213	47	7	-	-	232.8 点	
		-	-	-	0.1	0.1	0.1	1.3	-	0.1	0.7	0.4	0.3	-	-	42.5	52.1	2.0	0.3	-	-	%	
	Ab	-	-	-	32.09	22.27	3.88	793.74	-	20.97	222.66	136.47	3440.1	-	-	4974.30	325.20	46.93	64.97	-	-	-	6986.49 点
		-	-	-	0.5	0.3	0.1	11.4	-	0.3	3.2	2.0	4.9	-	-	71.2	4.6	0.6	0.9	-	-	-	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1.4	3	-	-	-	-	-	26 点
	その他 計村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	346	-	53.9	11.5	-	-	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15219.25	-	40.38	1.25	-	-	-	-	-	15260.88 点	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99.7	-	0.3	0.0	-	-	-	-	-	%	
合計	220	15	-	6	18	7	33	5	4	66	38	16	2	9	-	1963	2254	74	7	-	-	4737 点	
	4.6	0.3	-	0.1	0.4	0.15	0.7	0.1	0.1	1.4	0.8	0.3	0.1	0.2	-	41.4	47.6	1.6	0.15	-	-	%	
	26.98	89.72	-	64.93	54.77	14.61	802.89	83.21	23.00	471.45	227.93	560.49	6.07	15219.25	-	6680.28	851.05	64.17	64.97	-	-	28206.47 点	
	0.1	0.95	-	0.25	0.2	0.05	3.2	0.3	0.1	1.9	0.9	2.2	0.06	60.4	-	27.3	2.2	0.25	0.25	-	-	%	
Ob	97	5	3	10	10	11	4	1	1	19	44	7	6	-	1	679	1131	3	-	-	-	2032 点	
	4.8	0.2	0.1	0.5	0.5	0.5	0.2	0.1	0.1	0.9	2.2	0.3	0.3	-	0.1	33.4	55.7	0.1	-	-	-	%	
	9.22	25.81	19.69	76.40	21.81	16.49	449.3	5.95	15.7	92.29	142.39	1211.3	19.57	-	16.99	1580.30	302.99	4.49	-	-	-	2501.42 点	
	0.4	1.0	0.8	3.1	0.9	0.6	1.8	0.2	0.1	3.7	5.7	4.8	0.8	-	0.7	63.1	12.1	0.2	-	-	-	%	
Ab	-	-	-	-	4	-	4	-	-	10	3	7	-	-	1	609	1872	2	-	-	-	251.2 点	
	-	-	-	-	0.2	-	0.2	-	-	0.4	0.1	0.3	-	-	0.0	2.42	7.45	0.1	-	-	-	%	
	-	-	-	-	21.45	-	116.70	-	287.81	77.82	365.70	-	-	-	30.82	4378.24	869.57	150	-	-	-	6139.61 点	
	-	-	-	-	0.3	-	1.9	-	4.7	1.3	6.0	-	-	-	0.5	71.3	140	0.0	-	-	-	%	
その他 計村	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2	-	6	4	-	-	-	-	15 点	
	-	-	-	6.7	-	-	6.7	-	6.7	-	-	-	-	13.3	-	40.0	26.6	-	-	-	-	%	
	-	-	-	21.26	-	-	9.60	-	6.47	-	-	-	-	229.48	-	19.99	1.00	-	-	-	-	287.80 点	
	-	-	-	7.4	-	-	3.3	-	2.2	-	-	-	-	79.7	-	7.0	0.4	-	-	-	-	%	
Ob	97	5	3	11	14	11	9	1	1	30	47	14	6	2	2	129.4	300.7	5	-	-	-	45.9 点	
	2.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.2	0.2	0.05	0.05	0.7	1.0	0.3	0.1	0.05	0.05	28.4	66.0	0.1	-	-	-	%	
	9.22	25.81	19.69	97.66	42.26	16.49	171.23	5.95	15.7	96.57	220.21	466.83	19.57	229.48	47.81	5978.53	1163.66	5.99	-	-	-	8928.83 点	
	0.1	0.3	0.2	1.1	0.5	0.2	1.9	0.05	0.05	4.3	2.5	5.5	0.2	2.6	0.5	66.9	130	0.1	-	-	-	%	
Ab	3	2	-	4	2	1	1	-	-	10	8	2	4	-	-	15.4	126	1	-	-	-	3.18 点	
	0.9	0.6	-	1.3	0.6	0.3	0.3	-	3.2	2.5	0.6	1.3	-	-	48.5	39.6	0.3	-	-	-	-	%	
	0.23	4.90	-	28.99	4.99	2.26	32.4	-	70.18	37.43	26.40	14.33	-	-	293.42	36.55	0.26	-	-	-	-	522.58 点	
	0.05	0.9	-	5.55	0.85	0.4	0.6	-	13.4	7.2	5.1	2.75	-	-	56.15	7.0	0.05	-	-	-	-	%	
その他 計村	-	-	-	-	-	1	-	-	5	-	-	2	-	-	1	1.49	2.69	3	-	-	-	4.90 点	
	-	-	-	-	-	0.2	-	-	1.2	-	0.5	-	-	-	0.2	3.46	62.6	0.7	-	-	-	%	
Ab	-	-	-	-	-	1.80	-	-	6.60	-	41.72	-	-	-	29.90	663.31	79.06	3.19	-	-	-	77.405 点	
	-	-	-	-	-	0.2	-	-	8.4	-	5.4	-	-	-	3.9	71.5	10.2	0.4	-	-	-	%	
Ob	3	2	-	4	2	2	1	-	15	8	4	4	-	-	1	303	396	4	-	-	-	7.48 点	
	0.4	0.3	-	0.5	0.3	0.3	0.1	-	2.0	1.1	0.5	0.5	-	-	0.1	40.5	52.8	0.5	-	-	-	%	
	0.23	4.90	-	28.99	4.99	4.06	32.4	-	1.85	25.37	43	68.12	14.33	-	29.90	846.73	115.61	3.46	-	-	-	1296.63 点	
	0.05	0.4	-	2.2	0.3	0.3	0.25	-	10.4	2.9	5.3	1.1	-	-	2.3	65.3	8.9	0.3	-	-	-	%	

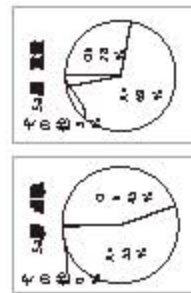
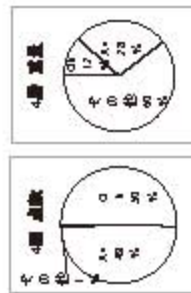


表 11 1 区 各層の器種組成

層	ME	MC	MC	3P	YN	YN	TP	ス	CB	DR	RF	MF	CR	ED	RS	PK	CP	AP	PT	石片	つまみ	特殊形	点
6	Ob	1.4	2	3	9	11	4	4	-	1	23	26	11	3	-	328	370	-	1	-	1	-	821
		1.7	0.2	0.4	1.1	1.3	0.5	0.5	-	0.1	2.8	3.2	1.3	0.4	-	412	45.1	-	0.1	-	0.1	-	%
		1.80	12.14	37.95	94.97	60.49	7.24	46.56	-	4.90	125.56	117.35	204.33	17.79	-	1074.08	135.44	-	10.28	-	2.24	-	1953.12
		0.1	0.5	1.9	4.9	3.1	0.4	2.4	-	0.3	6.4	6.0	10.5	0.9	-	55.0	6.9	-	0.5	-	0.1	-	%
		-	-	1	-	2	-	8	-	1	5	3	14	3	-	325	6.80	3	-	-	-	-	1055
		-	0.1	-	0.2	-	0.8	-	0.8	-	0.1	0.5	0.3	1.3	0.3	-	31.7	6.44	0.3	-	-	-	%
	An	-	-	11.24	-	42.22	-	253.54	-	7.35	49.14	33.77	676.19	246.9	-	2418.70	341.13	47.9	-	-	-	-	3852.77
		-	0.3	-	0.8	-	5.6	-	5.6	-	0.2	1.3	0.9	17.6	0.6	-	62.8	8.8	0.1	-	-	-	%
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	石村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	25.49
7	Ob	1.4	2	4	9	13	4	12	-	2	28	29	25	6	-	673	1050	3	1	-	1	-	1877
		0.7	0.1	0.2	0.5	0.7	0.2	0.6	-	0.1	1.5	1.5	1.3	0.3	-	0.1	35.9	55.9	0.2	0.1	-	0.1	%
	合計	1.80	12.14	49.19	94.97	52.71	7.24	300.10	-	12.26	174.70	151.12	880.52	42.48	-	25.49	342.78	479	10.28	-	2.24	-	5631.38
		0.1	0.2	0.8	1.6	1.6	0.1	5.1	-	0.2	3.0	2.6	15.1	0.7	-	0.4	5.99	8.2	0.1	0.2	-	0.1	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	3
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	%
	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.15	0.20	-	-	-	-	-	0.35
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42.9	57.1	-	-	-	-	-	%
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32.3	-	-	-	-	-	-	66.7	-	-	-	-	%
8a	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.55	-	-	-	-	-	3.82	-	-	-	-	-	13.37
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	71.4	-	-	-	-	-	28.5	-	-	-	-	-	%
	合計	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	6
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.7	-	-	-	-	-	16.7	65.6	-	-	-	-	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.55	-	-	-	-	-	0.15	4.02	-	-	-	-	13.72
	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	69.6	-	-	-	-	-	1.1	29.3	-	-	-	-	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	5
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	%
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.04	-	-	-	-	-	-	9.04
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	%
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	%	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.95	-	-	-	-	-	-	21.95	
Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	%	
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	6	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	%	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.99	-	-	-	-	-	-	30.99	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	%	

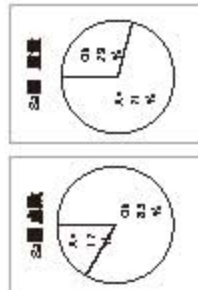
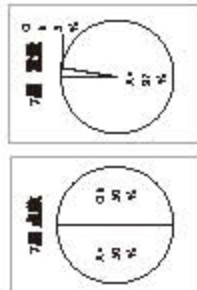
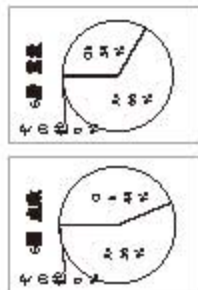


表 11 1 医 名 属 の 器 種 組 成

種	MD	MC	機	3P	YN	TP	ス	OB	DR	RF	MF	CR	PD	数	RS	PK	CP	AP	YT	石	つ	体		
																					ま	形		
																					み	形		
9a	Ob	-	-	-	18	2	-	1	-	18	16	10	9	-	-	273	198	-	-	-	-	5	点	
		-	-	-	3.3	0.4	-	0.2	-	3.3	1.8	1.8	1.7	-	-	50.1	36.3	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	40.18	5.75	-	2.96	-	86.16	86.47	375.44	41.28	-	-	968.96	69.25	-	-	-	-	-	1666.45	点
		-	-	-	2.4	0.3	-	0.2	-	5.2	5.2	2.25	2.5	-	-	57.5	4.2	-	-	-	-	-	500	点
An	-	-	-	0.6	-	0.4	-	-	1.0	1.6	0.8	0.6	-	-	47.2	47.8	-	-	-	-	-	-	%	
	-	-	-	8.43	-	109.98	-	-	104.91	100.50	420.91	9.01	-	-	1548.51	146.32	-	-	-	-	-	-	2449.57	点
その他	-	-	-	0.3	-	4.5	-	1	4.3	4.1	17.2	0.4	-	-	6.32	6.0	-	-	-	-	-	-	%	
計	-	-	-	-	21	2	3	1	23	24	14	12	12	-	5.11	4.7	-	-	-	-	-	-	1048	点
合計	-	-	-	-	2.0	0.2	0.3	0.1	2.2	2.3	1.3	1.1	1.1	-	48.8	41.7	-	-	-	-	-	-	%	
9b	Ob	0.53	-	-	89.62	25.21	106.26	35.27	-	141.16	299.19	232.11	122.97	-	2202.33	286.95	-	-	-	-	-	-	3541.00	点
		0.1	-	-	2.5	0.7	3.0	1.0	-	4.0	8.4	6.6	3.4	-	62.2	8.1	-	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	-	-	5	-	-	12	10	3	12	-	488	6.7	-	-	-	-	-	-	1167	点
	An	-	-	-	-	-	0.4	-	-	1.0	0.9	0.3	1.0	-	41.8	5.45	-	-	-	-	-	-	%	
その他	-	-	-	-	-	123.60	-	-	414.99	286.60	248.71	80.67	-	-	4776.75	361.82	-	-	-	-	-	-	6293.14	点
計	-	-	-	-	-	2.0	-	-	6.6	4.5	4.0	1.3	-	75.9	5.7	-	-	-	-	-	-	16	点	
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.25	-	-	-	-	81.25	-	-	-	-	-	-	-	%	
9c	Ob	-	-	-	2.2	-	-	-	-	6.7	-	2.2	-	-	35.6	5.3	-	-	-	-	-	-	203.95	点
		-	-	-	2.16	-	-	-	-	31.43	-	38.46	-	-	121.89	10.01	-	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	1.0	-	-	-	-	15.4	-	18.9	-	-	5.98	4.9	-	-	-	-	-	-	28	点
	An	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	9	1.7	-	-	-	-	-	-	%	
その他	-	-	-	2.6	-	-	-	-	-	-	3.6	-	-	32.1	6.07	-	-	-	-	-	-	-	187.98	点
計	-	-	-	0.86	-	-	-	-	-	66.15	-	-	-	120.74	10.23	-	-	-	-	-	-	-	%	
合計	-	-	-	0.5	-	-	-	-	-	-	2.99	-	-	6.42	5.4	-	-	-	-	-	-	-	1	点
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	%	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-	-	-	9.45	点
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	%	
その他	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	2	-	-	-	25	4.1	-	-	-	-	-	-	7.4	点
計	-	-	-	-	2.7	-	-	-	4.1	-	2.7	-	-	35.1	5.4	-	-	-	-	-	-	-	%	
合計	-	-	-	-	3.02	-	-	-	31.43	-	94.61	-	-	262.09	20.24	-	-	-	-	-	-	-	401.39	点
その他	-	-	-	-	0.8	-	-	-	7.8	-	2.6	-	-	-	62.8	5.0	-	-	-	-	-	-	%	

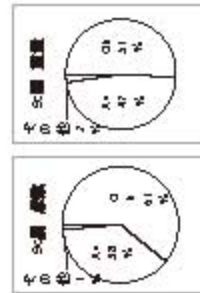
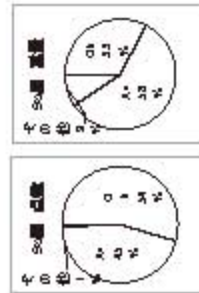
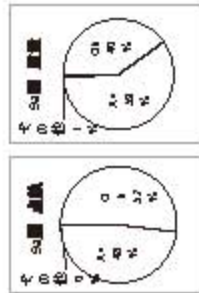


表 11 1 区 各層の器種組成

■	MB	MC	精光	3P	YN	TP	スノ	OB	DR	RF	MF	CR	BD	鉢石存	KS	PK	CP	AP	PT	石斧	つまみ	埴形	点	
9d	Ob	-	-	-	5	3	2	1	-	9	4	2	-	-	-	53	40	-	-	-	-	-	119	
		-	-	-	42	25	17	0.8	-	7.6	3.4	1.7	-	-	-	445	336	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	17.77	11.98	32.48	26.34	-	25.88	17.79	30.09	-	-	-	172.32	19.32	-	-	-	-	-	-	253.27
		-	-	-	5.0	32	92	7.5	-	7.3	5.0	8.5	-	-	-	48.8	5.5	-	-	-	-	-	-	79
9c	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	41	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	1.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46.8	51.9	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	46.85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	582.82	23.39	-	-	-	-	-	-	682.06	
		-	-	-	7.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83.4	3.6	-	-	-	-	-	-	1	
10a	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	-	-	-	-	%	
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1192	-	-	-	-	-	-	-	1192	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	5	3	3	1	-	9	4	2	-	-	-	91	81	-	-	-	-	-	199	
9e	合計	-	-	-	25	15	15	0.5	-	45	2.0	1.0	-	-	-	46.8	40.7	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	17.77	11.98	78.33	26.34	-	25.88	17.79	30.09	-	-	-	767.06	42.71	-	-	-	-	-	-	1017.35
		-	-	-	1.8	1.1	7.7	2.6	-	2.5	1.7	3.0	-	-	-	75.4	4.2	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	10	8	4	-	-	28	30	5	4	-	-	195	176	-	-	-	-	-	-	462
9b	Ob	0.4	-	-	2.2	1.7	0.9	-	-	6.1	6.5	1.1	0.8	-	-	42.2	38.1	-	-	-	-	-	%	
		0.24	-	-	26.18	26.18	3255	-	-	223.30	14426	80.42	12.98	-	-	637.56	70.03	-	-	-	-	-	1254.71	
		0.0	-	-	2.1	2.1	2.7	-	-	17.8	11.5	6.4	1.0	-	-	50.8	5.6	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	1	-	1	-	-	5	3	5	-	-	-	143	206	-	-	-	-	-	364	
9a	An	-	-	-	0.3	-	0.3	-	-	1.4	0.8	1.4	-	-	-	392	56.6	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	10.1	-	22.66	-	-	6222	76.55	475.94	-	-	-	1038.89	121.07	-	-	-	-	-	1796.34	
		-	-	-	0.1	-	1.3	-	-	3.4	4.2	26.5	-	-	-	57.8	6.7	-	-	-	-	-	%	
		2	-	-	11	8	5	-	-	33	33	10	4	-	-	328	382	-	-	-	-	-	826	
9f	Ob	0.2	-	-	1.3	1.0	0.6	-	-	40	40	1.2	0.5	-	-	40.9	46.3	-	-	-	-	-	%	
		0.24	-	-	27.19	26.18	5621	-	-	285.52	220.81	556.37	12.98	-	-	1676.46	191.10	-	-	-	-	-	3053.06	
		0.0	-	-	0.9	0.9	1.8	-	-	9.4	7.2	18.2	0.4	-	-	54.9	6.3	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	4	-	-	-	-	-	10	
10b	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	600	400	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.96	1.06	-	-	-	-	-	1401	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	92.5	7.5	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	-	-	-	-	-	5	
10c	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	600	400	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17.39	0.46	-	-	-	-	-	17.86	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	97.4	2.6	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	6	-	-	-	-	-	15	
10d	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	600	400	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.35	1.51	-	-	-	-	-	31.86	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96.3	4.7	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	%	

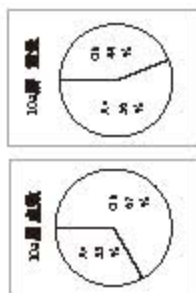
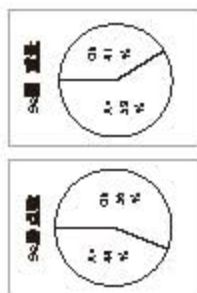
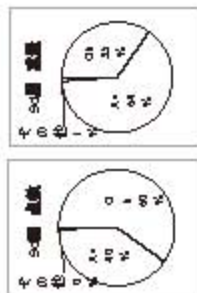


表 11 1 区 各層の器種組成

■	MB	MC	精製	3P	YN	TP	スロ	OB	DR	RF	MF	CR	BD	精石等	XS	PK	CP	AP	PT	石等	つまみ形	様形	g	点
10b	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	125	-	-	-	250	625	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17.65	-	-	-	4.17	1.37	-	-	-	-	-	-	2319 g
10c	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	76.1	-	-	-	180	59	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	4	-	-	-	-	-	-	14 点
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71.4	285	-	-	-	-	-	-	46.71 g
10d	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45.22	1.49	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96.8	32	-	-	-	-	-	-	36 g
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12	9	-	-	-	-	-	-	22 点
10e	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45	-	-	-	545	409	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17.65	-	-	-	49.39	2.85	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.3	-	-	-	70.6	41	-	-	-	-	-	-	69.90 g
10f	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	17	23	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.8	-	-	-	32.7	442	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.8	-	-	-	79.37	1090	-	-	-	-	-	-	17752 g
10g	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	344	-	-	-	447	62	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	-	55	54	-	-	-	-	-	-	-	117 点
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4	17	-	-	47.0	46.1	-	-	-	-	-	-	84415 g
10h	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	212	32	-	-	55.3	32	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 点
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2107 g
10i	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2	-	-	72	77	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	12	-	-	42.3	452	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	239.2	2670	-	-	546.30	3862	-	-	-	-	-	-	1047.74 g
10j	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	230	2.6	-	-	52.4	37	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1	-	-	58	35	-	-	-	-	-	-	-	121 点
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.6	0.8	-	-	47.9	28.9	-	-	-	-	-	-	-	385.31 g
10k	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.30	-	-	-	206.50	18.93	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.1	42	-	-	53.6	49	-	-	-	-	-	-	56 点
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	24	29	-	-	-	-	-	-	-	226.56 g
10l	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29.24	-	-	-	168.37	2321	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	69	129	-	-	639	103	-	-	-	-	-	-	177 点
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	82	64	-	-	-	-	-	-	-	611.87 g
10m	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.7	1.7	-	-	45.3	362	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2809	62.17	45.54	-	3543.7	42.14	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45	102	7.5	-	59.6	6.9	-	-	-	-	-	-	611.87 g

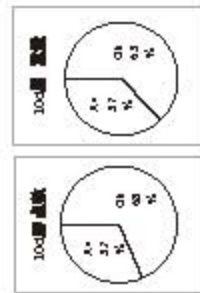
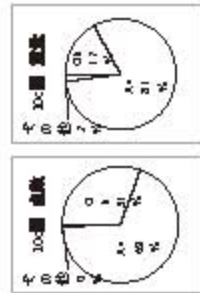
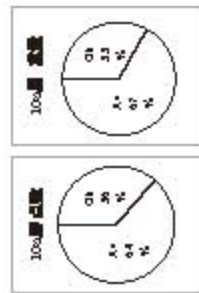


表 11 1区 各層の器種組成

層	MB	MC	機軸	3P	XN	TP	スウ	CB	DR	RF	MF	CR	PD	砕石等	KS	EK	CP	AP	PT	石片	つまみ み形	特殊形	12	占	
11	1※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	6	4	-	-	-	-	-	12	占	
	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3	-	-	500	33.4	-	-	-	-	-	%		
	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.15	-	-	-	25.14	0.52	-	-	-	-	-	30.93	占	
	0.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	81.3	1.6	-	-	-	-	-	%		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	占		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	%		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.50	-	-	-	-	-	-	3.50	占		
	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	8	4	-	-	-	-	-	%		
	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.1	-	-	57.2	28.5	-	-	-	-	-	-	14	占	
合計	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.15	-	-	23.64	0.52	-	-	-	-	-	-	34.43	占	
	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.0	-	-	83.2	1.5	-	-	-	-	-	-	3	占	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	3	占	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	%	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.25	0.81	-	-	-	-	-	-	4.07	占	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80.1	1.99	-	-	-	-	-	-	-	%	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	占	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	%	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.83	-	-	-	-	-	-	-	0.83	占
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	%	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	4	占
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	75.0	-	-	-	-	-	-	-	%	
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.25	1.64	-	-	-	-	-	-	-	4.90	占
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.65	3.25	-	-	-	-	-	-	-	%	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	占
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	%	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-	0.40	占
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.0	-	-	-	-	-	-	-	%	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	占
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	%	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00	占
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	占
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	0.40	-	-	-	-	-	-	4.90	占
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	4.90	占
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9.0	-	-	-	-	-	-	-	2	占
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2	占
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	2	占
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.02	0.98	-	-	-	-	-	-	-	4.00	占
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.55	2.45	-	-	-	-	-	-	-	4	占
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	4	占
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	6.69	占
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.69	1.90	-	-	-	-	-	-	-	6.69	占
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.12	2.88	-	-	-	-	-	-	-	7.12	占

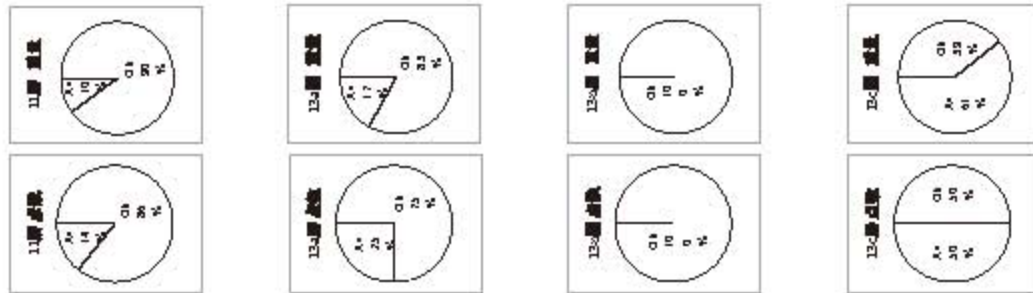
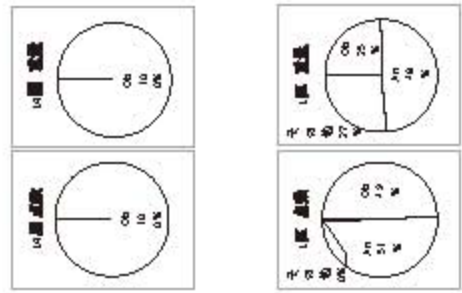
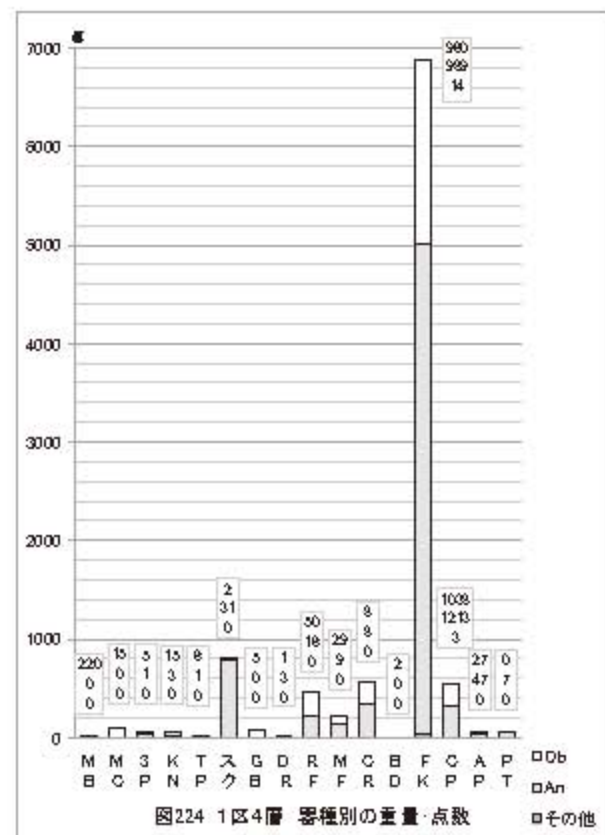
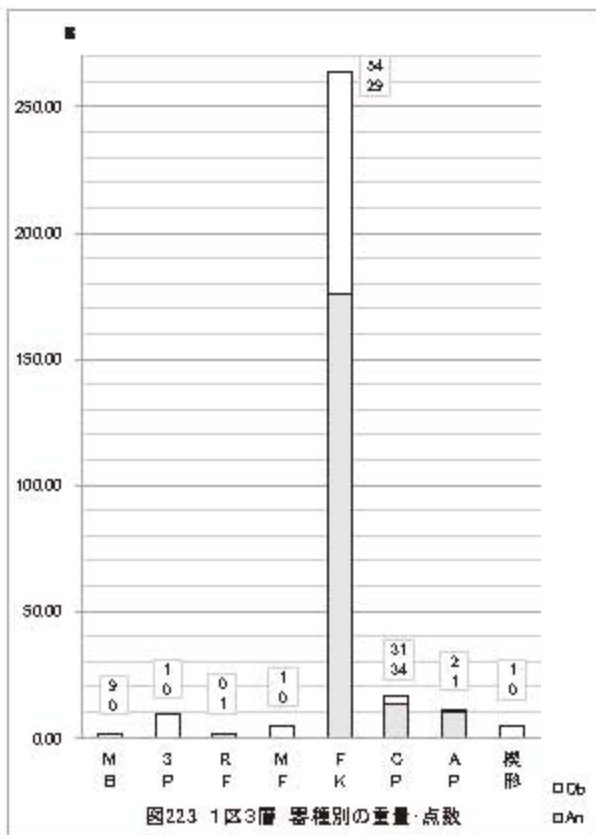
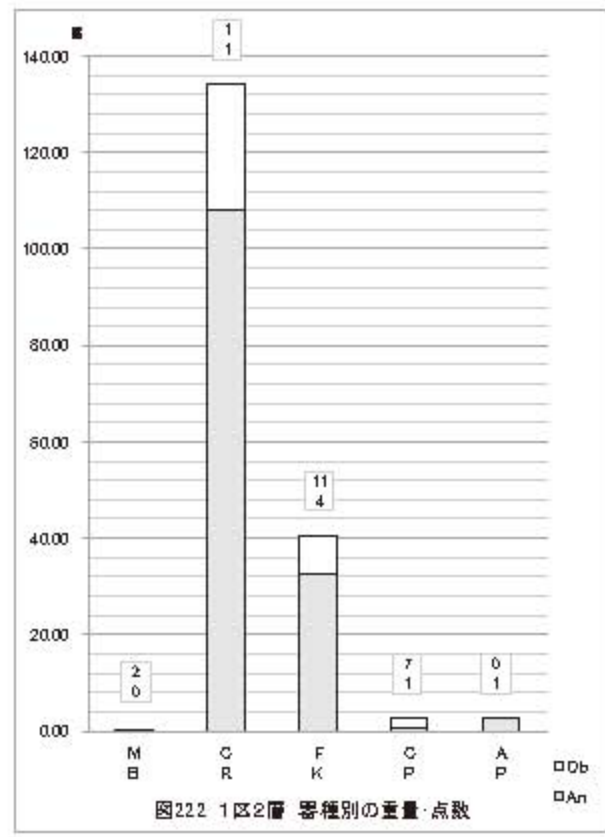
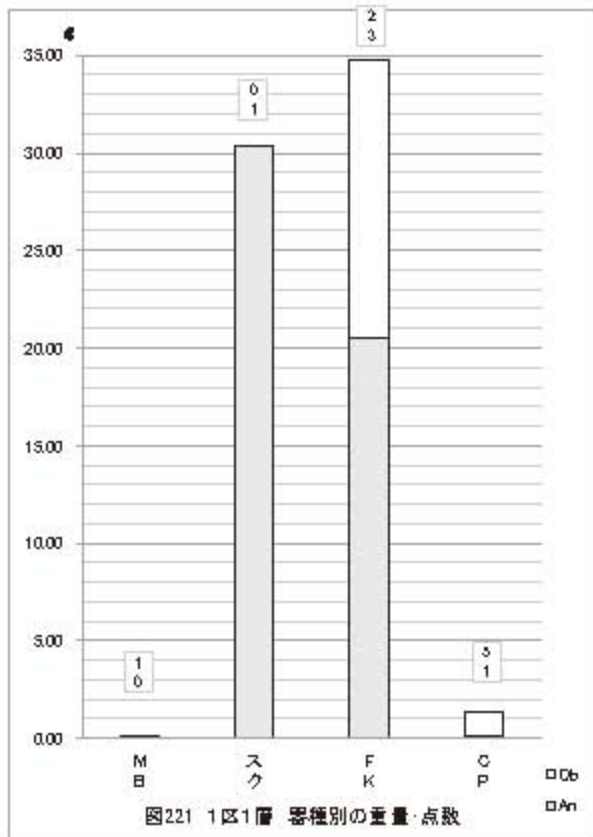


表 11 1 区 各層の器種組成

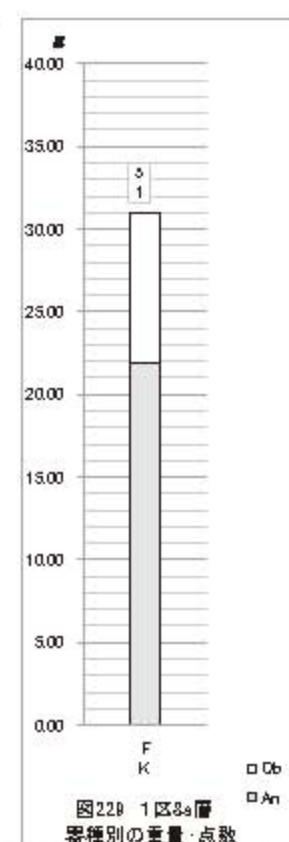
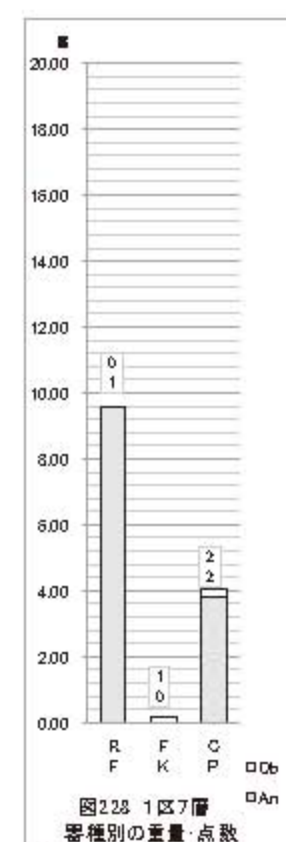
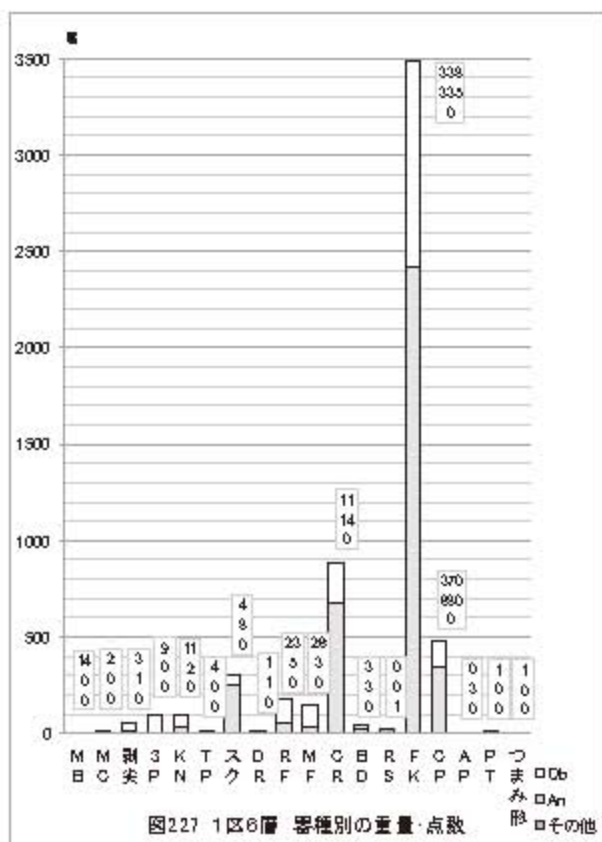
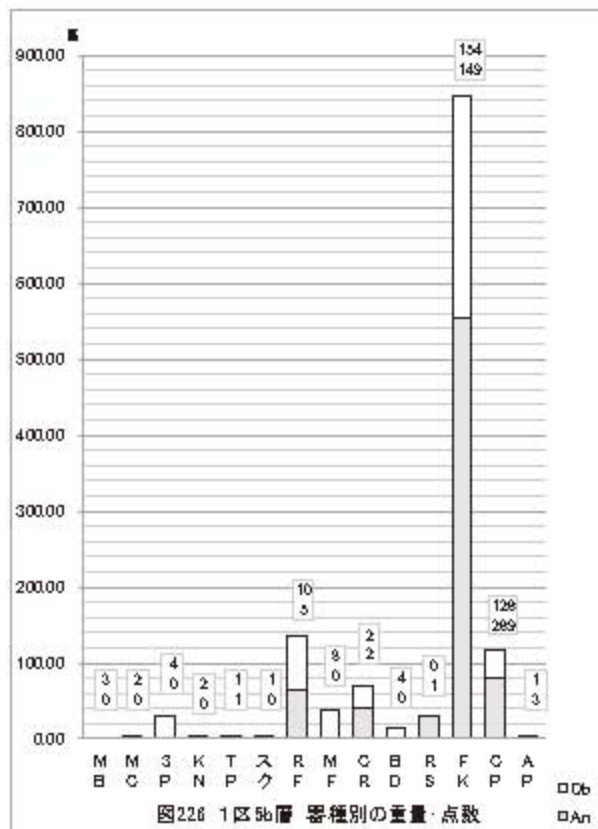
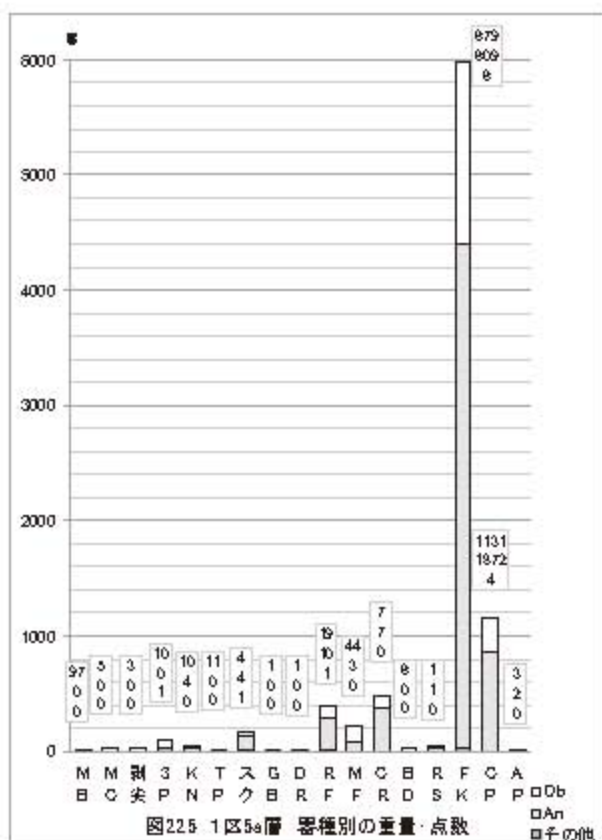
層	MB	MC	精炭	3P	YN	TP	スロ	CB	DR	RF	MF	CR	BD	練石缶	KS	PK	CP	AP	PT	石炭	つまみ形	体形		
14	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1 点	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13.47	-	-	-	-	-	-	13.47 %	
14	Ah	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0 点	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00 %	
合計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 点	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13.47	-	-	-	-	-	-	13.47 %	
合計		352	24	6	29	127	55	32	3	210	214	62	53	-	1	3370	3303	33	1	-	1	1	8491 点	
		42	0.3	0.1	0.3	1.5	0.6	0.3	0.2	0.05	2.4	2.5	0.7	0.6	-	0.05	39.7	46.0	0.4	0.05	-	0.05	0.05 %	
		40.81	132.57	57.64	242.45	316.26	132.19	215.98	153.13	8.50	1075.27	997.47	1446.21	240.14	-	16.99	9372.74	1196.16	2358	10.28	-	2.24	4.45	1578466.2
合計		0.3	0.8	0.4	1.5	2.0	0.8	2.0	1.0	6.8	6.3	9.2	1.5	-	0.1	59.4	7.5	0.1	0.1	-	-	-	0.05	0.05 %
		-	-	1	1	14	2	54	-	4	61	37	51	20	-	312.7	530.3	57	7	-	-	-	8741 点	
		-	-	0.0	0.0	0.2	0.0	0.6	-	0.0	0.7	0.4	0.6	0.2	-	0.0	35.8	60.7	0.7	0.1	-	-	%	
合計		-	-	11.24	32.09	85.24	5.68	1608.38	-	28.33	1249.69	727.45	2945.39	1410.7	-	60.72	21338.24	2339.92	67.93	5.497	-	-	30707.94 %	
		-	-	0.0	0.1	0.3	0.0	5.2	-	0.1	4.1	2.4	9.6	0.5	-	0.2	69.5	7.6	0.2	0.2	-	-	%	
		-	-	1	1	-	3	-	-	-	1	1	-	-	-	13	7	-	-	-	1	-	65 点	
その他		-	-	155	-	-	46	-	-	155	155	-	-	200	155	569	10.75	-	-	1.55	-	-	1.55 %	
		-	-	21.26	-	-	52.73	-	-	6.47	2.69	-	16060.91	25.49	512.39	2.25	-	-	-	183.98	-	-	16868.17 %	
		-	-	0.1	-	-	0.3	-	-	0.05	0.05	-	-	95.2	0.15	3.0	0.05	-	-	1.1	-	-	%	
合計		352	24	7	31	141	57	89	13	7	272	262	113	73	4	6534	9213	90	8	1	1	1	17297 点	
		2.0	0.1	0.05	0.2	0.8	0.3	0.5	0.1	0.05	1.5	1.45	0.55	0.4	0.1	0.05	37.8	53.25	0.5	0.07	0.01	0.01	0.01 %	
		40.81	132.57	68.88	295.80	402.50	137.87	1976.69	153.13	96.83	2331.43	1727.61	4391.60	3812.1	16060.91	103.20	31223.37	3538.33	91.51	75.25	183.98	2.24	4.45	63360.17 %
合計		0.1	0.2	0.1	0.5	0.6	0.2	3.1	0.2	0.1	3.7	2.7	6.9	0.6	25.3	0.2	49.3	5.6	0.1	0.1	0.3	0.05	0.05 %	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	%	

※ 9b 層、9e 層、11 層の MB については記入したものである

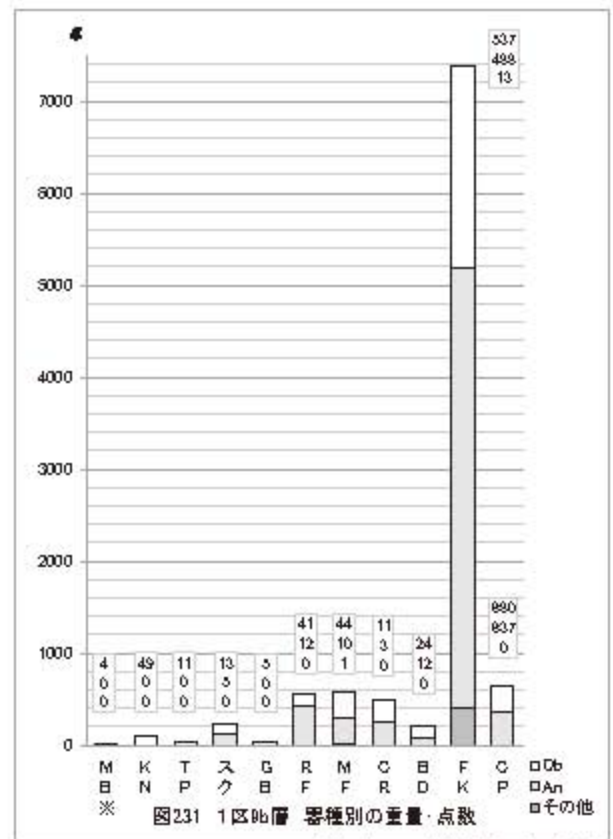
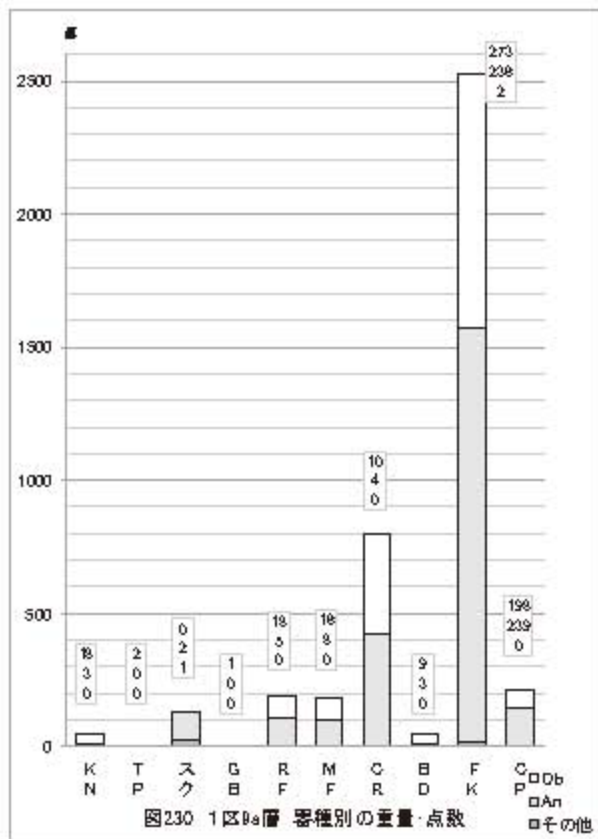




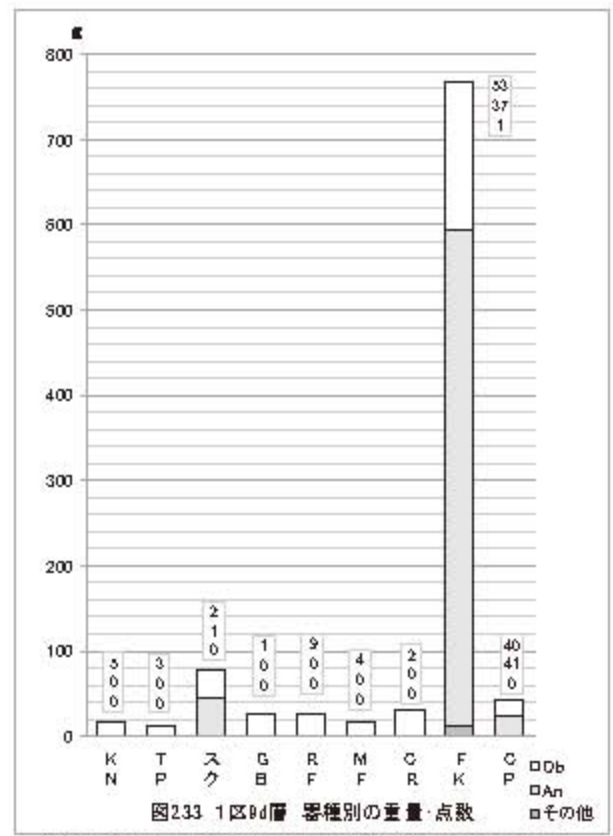
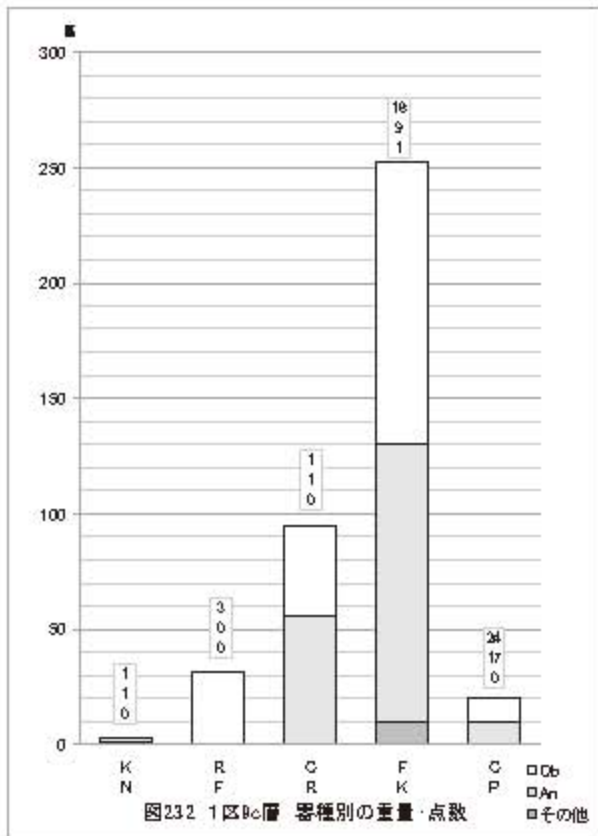
※グラフ内の2段・3段の数字については上から順に石材の点数を示している



※グラフ内の2段・3段の数字については上から順に石材の点数を示している



※MBについては埋入したものである



※グラフ内の3段の数字については上から順に石材の点数を示している

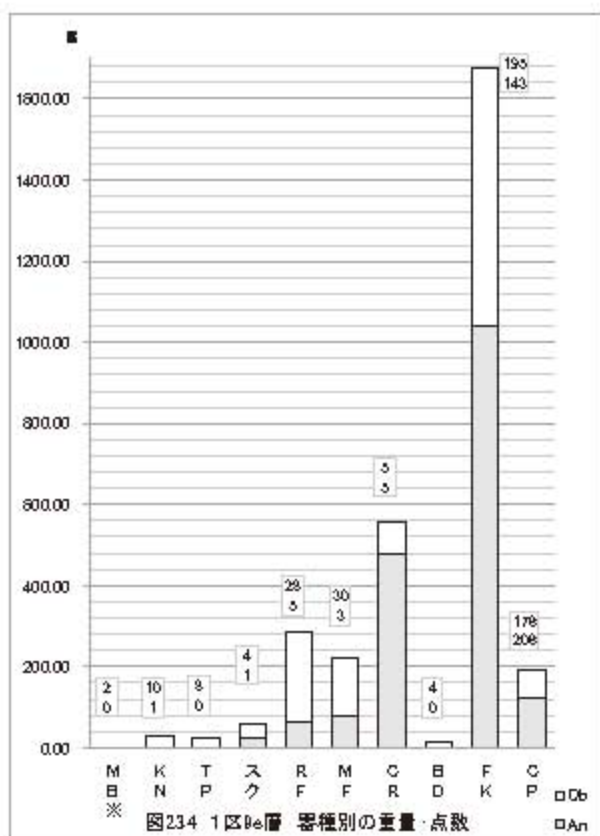


図234 1区10a層 器種別の重量・点数

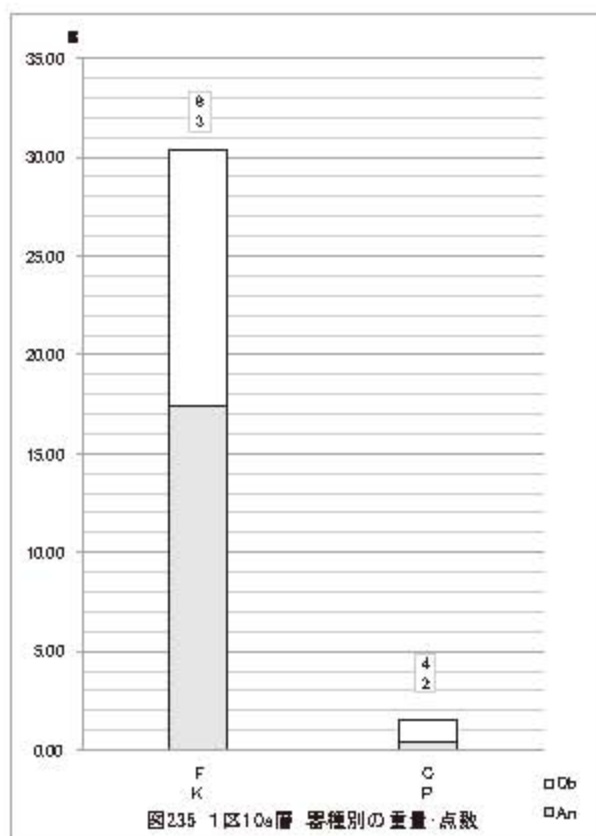


図235 1区10a層 器種別の重量・点数

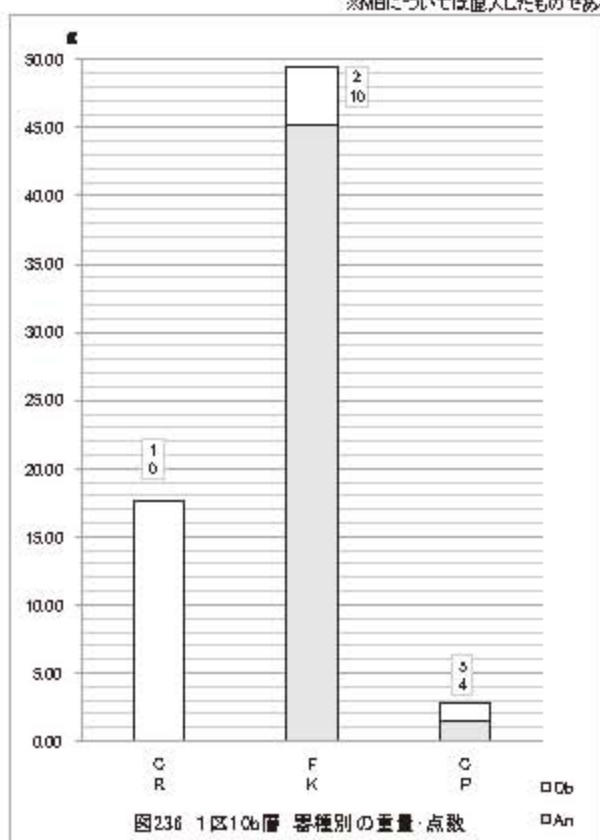


図236 1区10b層 器種別の重量・点数

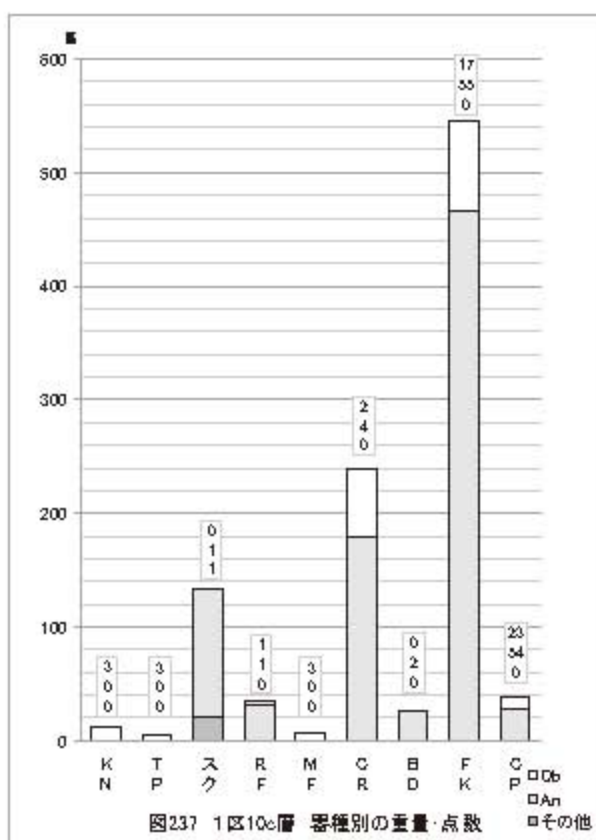
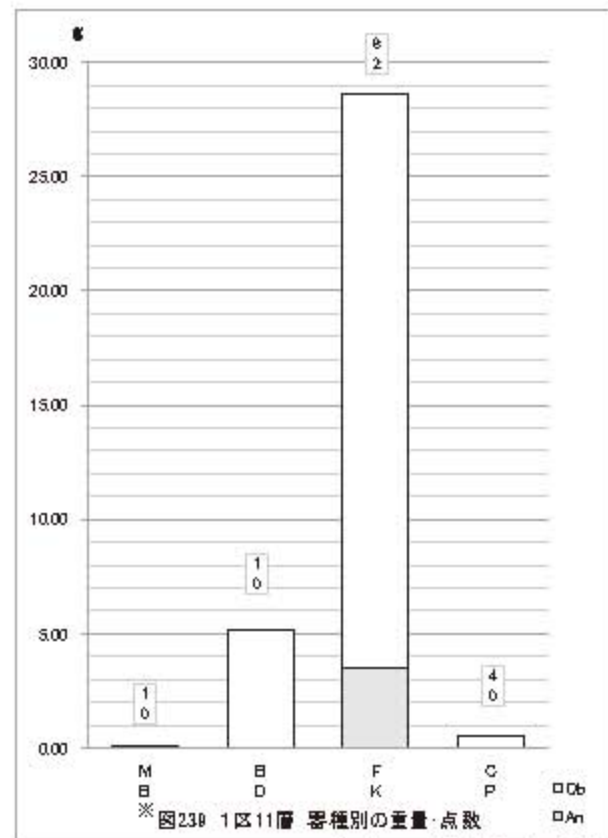
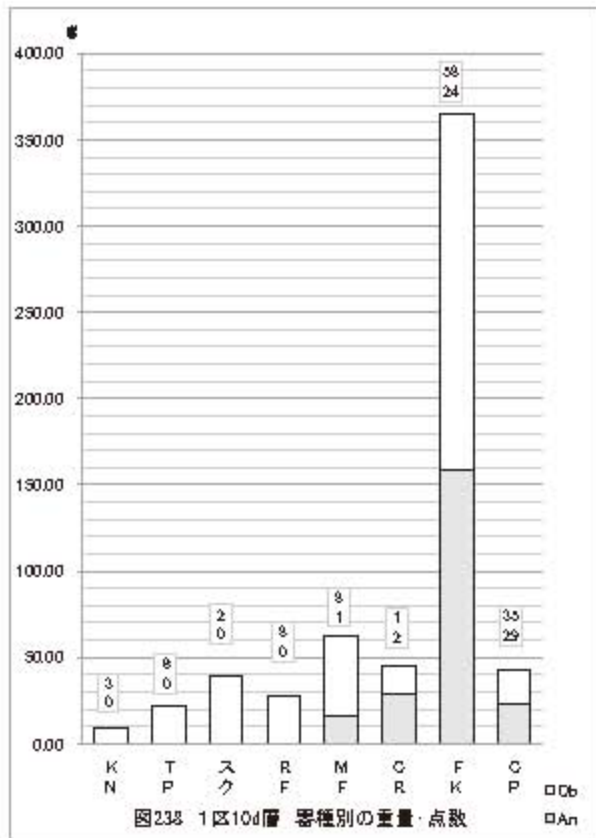
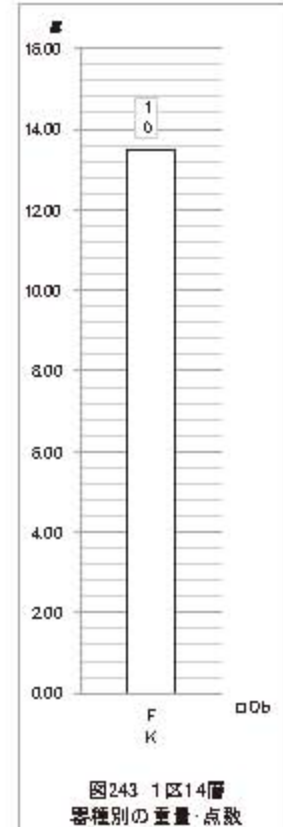
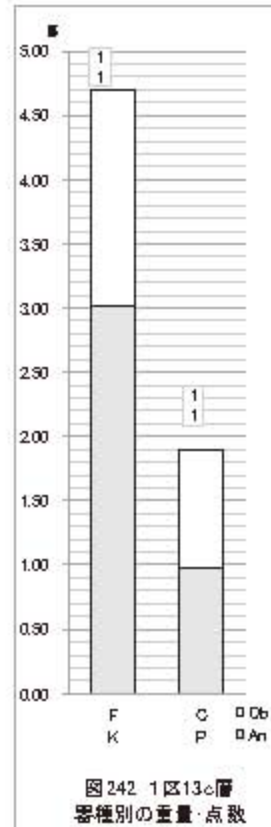
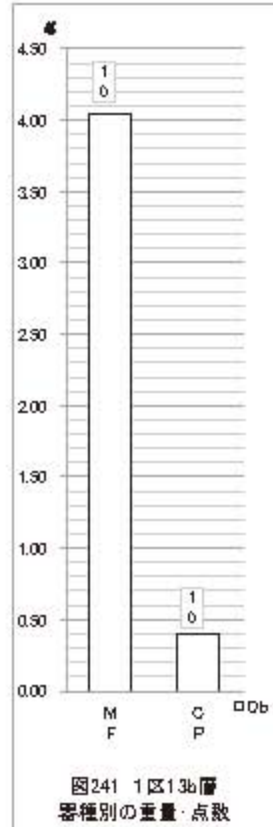
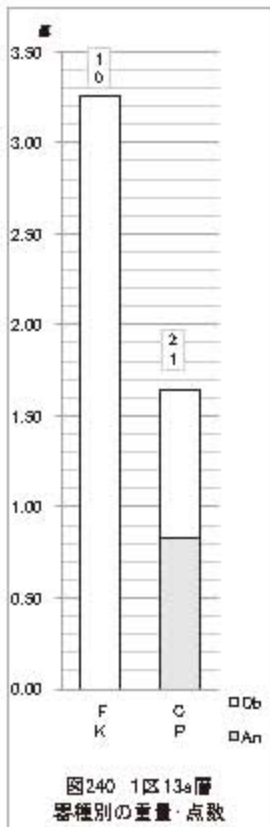


図237 1区10c層 器種別の重量・点数

※グラフ内の2段・3段の数字については上から順に石材の点数を示している



※MBについては埋入したものである

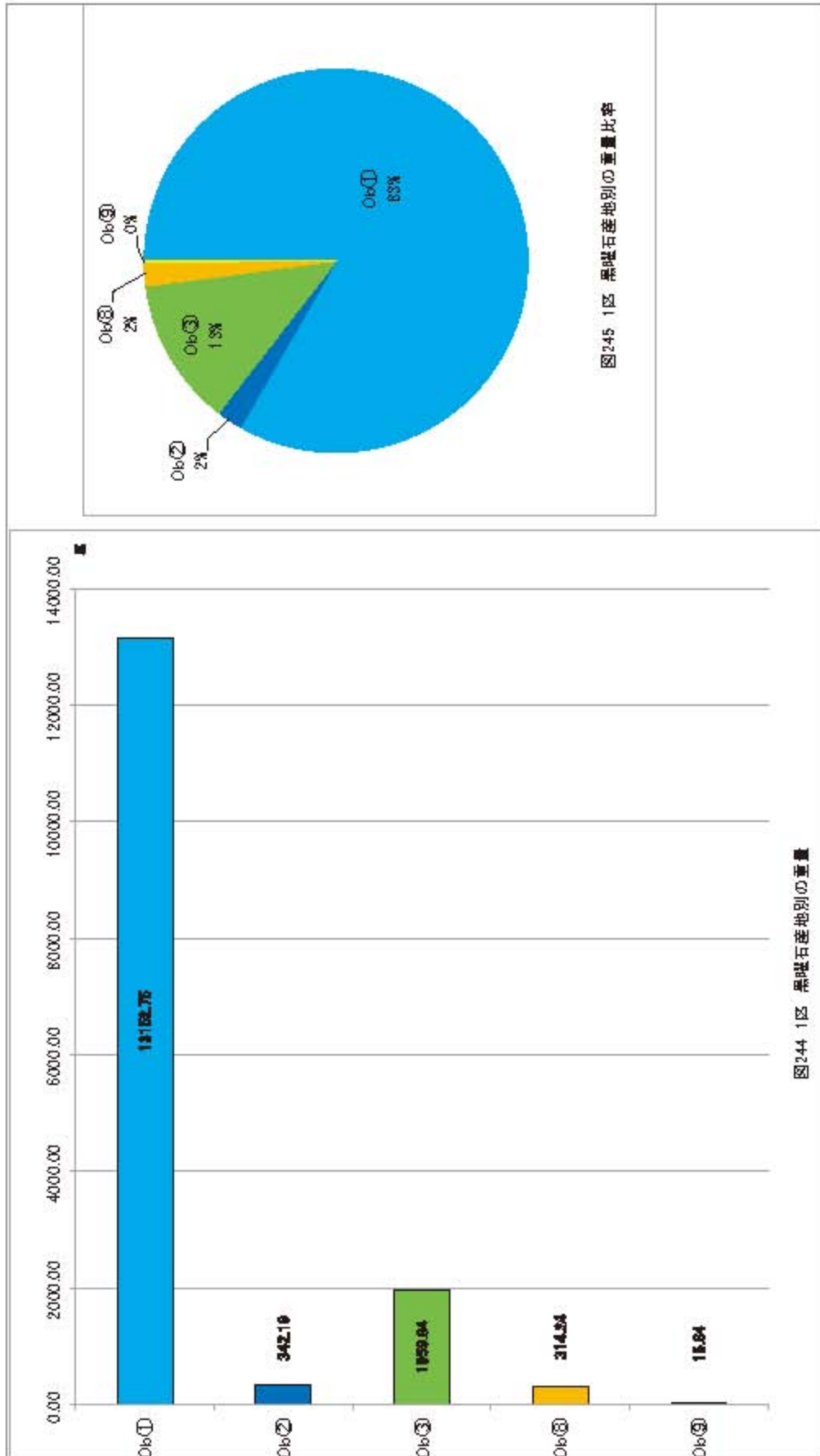


※グラフ内の2段の数字については上から順に石材の点数を示している

表12 1区 各層の黒曜石産地別の点数・重量

	Ob①	Ob②	Ob③	Ob④	Ob⑤	Ob⑥	Ob⑦	Ob⑧	Ob⑨	合計
1層	7	-	-	-	-	-	-	-	1	8 点
	15.30	-	-	-	-	-	-	-	0.32	15.62 g
2層	20	-	1	-	-	-	-	-	-	21 点
	36.1	-	0.09	-	-	-	-	-	-	36.19 g
3層	73	2	21	-	-	-	-	-	3	99 点
	73.64	1.56	36.95	-	-	-	-	-	0.07	112.22 g
4層	1839	223	304	-	-	-	-	6	11	2383 点
	2093.01	133.86	668.43	-	-	-	-	57.41	6.39	2959.10 g
5a層	1668	157	189	-	-	-	-	9	9	2032 点
	1981.8	97.76	355.44	-	-	-	-	58.85	7.57	2501.42 g
5b層	263	17	38	-	-	-	-	-	-	318 点
	410.91	16.44	95.23	-	-	-	-	-	-	522.58 g
6層	647	27	138	-	-	-	-	8	1	821 点
	1385.39	54.35	448.81	-	-	-	-	64.49	0.08	1953.12 g
7層	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3 点
	0.35	-	-	-	-	-	-	-	-	0.35 g
8a層	4	1	-	-	-	-	-	-	-	5 点
	8.56	0.48	-	-	-	-	-	-	-	9.04 g
9a層	516	9	17	-	-	-	-	3	-	545 点
	1621.98	13.75	27.88	-	-	-	-	2.84	-	1666.45 g
9b層	1309	12	53	-	-	-	-	43	2	1419 点
	3218.1	10.88	181.93	-	-	-	-	129.07	1.02	3541.00 g
9c層	42	-	2	-	-	-	-	-	1	45 点
	198.97	-	4.96	-	-	-	-	-	0.02	203.95 g
9d層	113	1	5	-	-	-	-	-	-	119 点
	349.82	0.72	2.83	-	-	-	-	-	-	353.37 g
9e層	418	7	31	-	-	-	-	-	6	462 点
	1161.07	3.87	89.60	-	-	-	-	-	0.17	1254.71 g
10a層	8	2	-	-	-	-	-	-	-	10 点
	8.61	5.4	-	-	-	-	-	-	-	14.01 g
10b層	8	-	-	-	-	-	-	-	-	8 点
	23.19	-	-	-	-	-	-	-	-	23.19 g
10c層	41	7	2	-	-	-	-	2	-	52 点
	170.96	3.12	1.86	-	-	-	-	1.58	-	177.52 g
10d層	108	-	13	-	-	-	-	-	-	121 点
	340.80	-	44.51	-	-	-	-	-	-	385.31 g
11層	12	-	-	-	-	-	-	-	-	12 点
	30.93	-	-	-	-	-	-	-	-	30.93 g
13a層	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3 点
	4.07	-	-	-	-	-	-	-	-	4.07 g
13b層	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2 点
	4.05	-	0.4	-	-	-	-	-	-	4.45 g
13c層	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2 点
	1.67	-	0.92	-	-	-	-	-	-	2.59 g
14層	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1 点
	13.47	-	-	-	-	-	-	-	-	13.47 g
合計	7105	465	816	0	0	0	0	71	34	8491 点
	13152.75	342.19	1959.84	0.00	0.00	0.00	0.00	314.24	15.64	15784.66 g

※ Ob①：黒岳産、Ob②：椎葉川産、Ob③：針尾島産、Ob④：小国産、Ob⑤：牟田産、
Ob⑥：針尾牛ノ岳産、Ob⑦：赤色の縞模様、Ob⑧：ガラス質安山岩、Ob⑨：①～⑧以外



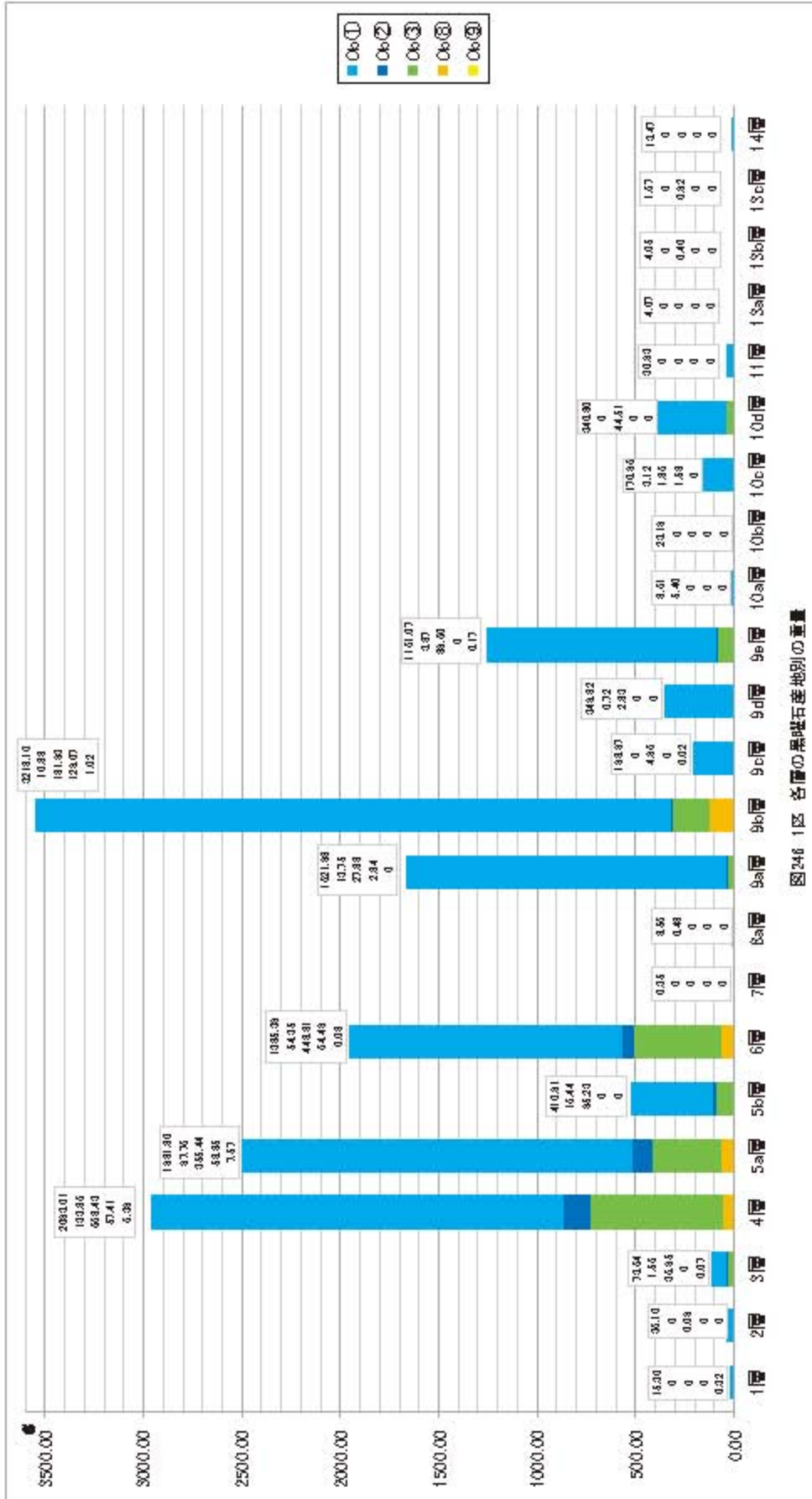


図246 1区 各層の黒曜石産地別の重量

※グラフ内の5桁の数字については上から5桁に産地ごとの重量を示している

表13 1区 名層の黒曜石産地別の器種組成

層	MB	MC	神杖	SP	MY	TP	スク	CB	DR	RF	MF	CR	BD	KS	EM	CP	AP	PT	つば 形状	特殊 形状	7 点		
1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	7 点		
	Ob①	143	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28.6	57.1	-	-	-	-	%		
		0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1422	0.92	-	-	-	-	15.30	%	
		10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	92.9	6.0	-	-	-	-	%		
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1 点		
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%		
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.32	-	-	-	-	0.32	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%		
		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	8 点		
	合計	125	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	82.5	-	-	-	-	%		
2	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1422	12.4	-	-	-	-	15.62	%	
	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	91.0	7.9	-	-	-	-	%		
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	11	6	-	-	-	-	20 点		
	Ob①	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.0	-	-	56.0	30.0	-	-	-	-	%		
		0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26.25	-	-	7.74	1.90	-	-	-	-	36.1	%	
		0.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72.7	-	-	21.4	5.3	-	-	-	-	%		
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1 点			
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%		
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	-	-	-	0.09	%	
	合計	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	11	7	-	-	-	-	21 点		
3	9.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-	52.4	32.3	-	-	-	-	%		
	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26.25	-	-	7.74	1.99	-	-	-	-	36.19	%	
	0.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72.5	-	-	21.4	5.5	-	-	-	-	%		
	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	37	25	1	-	-	-	1 73 点		
	Ob①	110	-	-	-	-	-	-	-	-	1.4	-	-	-	50.7	34.2	1.4	-	-	-	1.4	%	
		1.27	-	-	-	-	-	-	-	-	4.73	-	-	-	59.90	2.92	0.37	-	-	-	4.95	73.64	%
		1.7	-	-	-	-	-	-	-	-	6.4	-	-	-	81.3	4.0	0.5	-	-	-	6.0	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2 点		
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	%		
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	155	0.01	-	-	-	-	156	%	
3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99.4	0.6	-	-	-	-	%		
	Ob①	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	2	1	-	-	-	21 点		
		0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	76.2	9.5	4.8	-	-	-	%		
		0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27.14	0.29	0.22	-	-	-	36.96	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	73.5	0.8	0.6	-	-	-	%		
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	3 点		
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%		
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.07	-	-	-	-	0.07	%	
	合計	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%		
		9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	54	31	2	-	-	-	1 99 点	
	1.32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.73	-	-	-	54.6	31.3	2.0	-	-	-	1.0	%	
	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	-	-	-	88.59	3.29	0.59	-	-	-	4.95	112.22	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79.0	2.9	0.5	-	-	-	-	4.0	%	

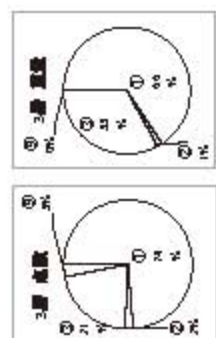
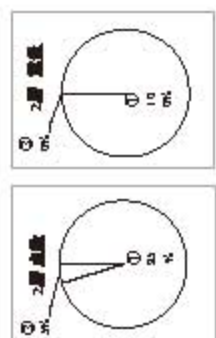
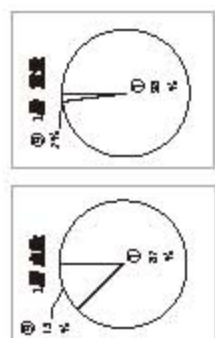


表 13 1 区 名層の黒曜石産地別の器種組成

層	MB	MC	補装	SP	RY	TP	スク	CB	DR	RF	MF	CR	BD	ES	EA	CP	AP	PT	つまみ形	特殊形	点
4	201	15	-	3	14	6	2	4	1	43	29	3	1	-	705	793	19	-	-	-	1839
	109	0.8	-	0.2	0.8	0.3	0.1	0.2	0.1	2.3	1.6	0.2	0.1	-	38.3	49.1	1.0	-	-	-	%
	250.4	89.72	-	16.21	30.86	10.73	9.86	7.417	2.03	20.491	91.46	136.27	1.20	-	1226.64	162.27	11.75	-	-	-	2091.01
	1.2	4.3	-	0.8	1.5	0.5	0.5	3.5	0.1	9.8	4.4	6.5	0.1	-	58.6	7.8	0.6	-	-	-	%
	15	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	66	13.4	5	-	-	-	223
	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9	-	0.4	-	-	29.6	60.1	2.2	-	-	-	%
	175	-	-	-	-	-	-	-	-	9.18	-	2.47	-	-	94.13	216.6	46.8	-	-	-	1318.6
	1.3	-	-	-	-	-	-	-	-	6.9	-	1.8	-	-	70.3	16.2	3.5	-	-	-	%
	4	-	-	-	2	1	-	-	1	-	5	-	4	1	183	101	2	-	-	-	304
	1.3	-	-	0.7	0.3	-	-	-	0.3	-	1.6	-	1.3	0.3	60.2	33.2	0.7	-	-	-	%
0.19	-	-	16.63	16.4	-	-	-	9.04	-	34.70	-	77.74	4.87	491.64	40.68	1.40	-	-	-	668.49	
0.0	-	-	2.5	0.2	-	-	-	1.4	-	5.2	-	11.6	0.7	72.1	6.1	0.2	-	-	-	%	
0.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	6	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83.3	-	16.7	-	-	-	77	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	57.00	-	0.41	-	-	-	57.41	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99.3	-	0.7	-	-	-	%	
0.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	11	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1	90.9	-	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.29	0.10	-	-	-	-	6.39	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	98.4	1.6	-	-	-	-	%	
220	15	-	5	15	6	2	5	1	50	29	8	2	-	960	1038	27	-	-	-	2383	
9.2	0.6	-	0.2	0.6	0.3	0.1	0.2	0.1	2.1	1.2	0.3	0.1	-	40.3	49.6	1.1	-	-	-	%	
26.96	89.72	-	32.84	32.50	10.73	9.86	8.321	2.03	24.879	91.46	216.48	6.07	-	1865.60	234.60	18.24	-	-	-	2969.10	
0.9	3.0	-	1.1	1.1	0.4	0.3	2.8	0.1	8.4	3.1	7.3	0.2	-	63.1	7.6	0.6	-	-	-	%	
90	5	2	5	9	10	4	1	1	16	38	6	1	-	552	922	-	-	-	-	1668	
5.4	0.3	0.1	0.3	0.5	0.6	0.2	0.1	0.1	1.0	2.3	0.4	0.4	-	33.1	66.3	-	-	-	-	%	
822	26.81	10.92	39.05	17.90	14.83	4.493	5.35	1.57	89.99	117.54	114.91	13.57	-	1639	1222.40	231.82	-	-	-	1981.80	
0.4	1.3	0.6	2.0	0.9	0.7	2.3	0.3	0.3	4.5	5.9	5.8	1.0	-	61.7	11.7	-	-	-	-	%	
4	-	-	-	1	-	1	-	-	1	2	-	-	-	8	11.3	-	-	-	-	157	
2.5	-	-	0.6	-	0.6	-	-	-	0.6	1.3	-	-	-	22.3	72.0	-	-	-	-	%	
0.48	-	-	4.19	-	1.66	-	-	-	0.36	3.72	-	-	-	70.09	17.26	-	-	-	-	97.76	
0.5	-	-	4.3	-	1.7	-	-	-	0.4	3.8	-	-	-	71.7	17.7	-	-	-	-	%	
3	-	-	1	3	1	-	-	-	2	4	1	-	-	86	86	3	-	-	-	189	
1.6	-	0.5	1.6	0.5	-	-	-	-	1.1	2.1	0.5	-	-	46.5	46.0	1.6	-	-	-	%	
0.62	-	8.77	27.82	39.1	-	-	-	-	1.94	21.13	6.22	-	-	231.38	49.46	4.49	-	-	-	355.44	
0.1	-	2.5	7.8	1.1	-	-	-	-	0.5	5.9	1.7	-	-	66.0	13.9	1.3	-	-	-	%	
-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	3	-	-	-	-	9	
-	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	56.6	33.3	-	-	-	-	%	
-	-	-	5.34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49.22	4.29	-	-	-	-	53.86	
-	-	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83.6	7.3	-	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	9	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.1	88.9	-	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.41	0.16	-	-	-	-	7.57	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	97.9	2.1	-	-	-	-	%	
97	5	3	10	10	11	4	1	1	19	44	7	6	1	679	1131	3	-	-	-	2032	
4.8	0.2	0.1	0.5	0.5	0.5	0.2	0.1	0.1	0.9	2.2	0.3	0.3	0.1	33.4	66.7	0.1	-	-	-	%	
922	26.81	19.69	76.40	21.81	16.49	4.493	5.35	1.57	89.29	142.39	121.13	13.57	-	1639	1630.30	302.99	4.49	-	-	2501.42	
0.4	1.0	0.8	3.1	0.9	0.6	1.8	0.2	0.1	3.7	5.7	4.8	0.8	0.7	63.1	12.1	0.2	-	-	-	%	

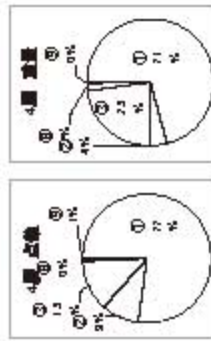


表 13 1区 名層の黒曜石産地別の器種組成

■	MP	MC	柄杓	SP	RN	TP	スク	OB	DR	RF	MF	CR	ED	RS	EM	CP	AP	PT	つまみ形	特形
5b	3	2	-	2	2	-	1	-	-	8	7	2	4	-	123	108	1	-	-	263
	1.1	0.8	-	0.8	0.8	-	0.4	-	-	3.0	2.7	0.8	1.5	-	46.8	41.1	0.4	-	-	%
	0.23	490	-	843	439	-	324	-	-	55.56	58.78	25.40	1433	-	233.17	242.2	0.26	-	-	410.91
	0.1	1.2	-	2.1	1.1	-	0.8	-	-	1.35	8.7	6.4	3.5	-	56.7	5.9	0.1	-	-	%
	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7	9	-	-	-	17
	-	-	-	-	-	5.9	-	-	-	-	-	-	-	-	41.2	52.9	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	2.26	-	-	-	-	-	-	-	-	11.15	30.3	-	-	-	16.44
	-	-	-	-	-	13.7	-	-	-	-	-	-	-	-	67.8	18.4	-	-	-	%
	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	24	9	-	-	-	38
	-	-	-	5.3	-	-	-	-	-	5.3	2.5	-	-	-	63.2	23.7	-	-	-	%
-	-	-	2056	-	-	-	-	-	14.62	165	-	-	-	49.10	9.30	-	-	-	95.23	
-	-	-	21.5	-	-	-	-	-	15.4	1.7	-	-	-	51.5	9.8	-	-	-	%	
3	2	-	4	2	1	1	1	-	10	8	2	4	-	154	126	1	-	-	318	
0.9	0.6	-	1.3	0.6	0.3	0.3	0.3	-	3.1	2.5	0.6	1.3	-	48.5	39.6	0.3	-	-	%	
0.23	490	-	2899	439	226	324	-	-	70.18	37.49	26.40	1433	-	293.42	365.6	0.26	-	-	522.88	
0.05	0.9	-	555	0.85	0.4	0.6	-	-	13.4	7.2	5.1	2.75	-	56.15	7.0	0.06	-	-	%	
13	2	2	3	8	4	4	4	-	1	19	24	9	3	260	293	-	1	1	647	
2.0	0.3	0.3	0.5	1.2	0.6	0.6	0.6	-	0.2	2.9	3.7	1.4	0.5	40.2	45.3	-	0.2	0.2	%	
1.71	12.14	3436	3129	2580	724	4656	-	490	85.97	95.08	167.30	1779	-	742.48	100.85	-	10.28	2.24	1385.39	
0.1	0.9	2.5	2.3	1.9	0.5	3.4	-	0.4	6.2	6.9	12.1	1.3	-	53.6	7.3	-	0.7	0.2	%	
-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	10	14	-	-	-	27	
-	-	-	3.7	3.7	-	-	-	-	3.7	-	-	-	-	37.0	51.9	-	-	-	%	
-	-	-	11.64	3.42	-	-	-	-	1.70	-	-	-	-	36	15.9	-	-	-	54.95	
-	-	-	21.4	6.3	-	-	-	-	3.1	-	-	-	-	66.2	2.9	-	-	-	%	
1	1	1	5	2	2	2	2	-	3	2	2	2	-	63	59	-	-	-	138	
0.7	-	0.7	3.6	1.4	-	-	-	-	2.2	1.4	1.4	1.4	-	45.7	42.8	-	-	-	%	
0.09	-	3.59	52.04	31.27	-	-	-	-	38.49	12.00	37.03	-	-	244.82	29.48	-	-	-	448.81	
0.0	-	0.8	11.6	7.0	-	-	-	-	8.6	2.7	8.3	-	-	54.5	6.5	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	3	-	-	-	8	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	-	-	-	50.0	37.5	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.86	-	-	-	45.49	3.44	-	-	-	64.9	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24.1	-	-	-	70.5	5.3	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.08	-	-	-	0.08	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	%	
14	2	3	9	11	4	4	4	-	1	23	27	11	3	337	370	-	1	1	821	
1.7	0.2	0.4	1.1	1.3	0.5	0.5	0.5	-	0.1	2.8	3.2	1.3	0.4	41.2	45.1	-	0.1	0.1	%	
1.80	12.14	37.95	94.97	60.49	7.24	46.56	-	490	125.56	122.64	204.33	1779	-	1068.79	135.44	-	10.28	2.24	1953.12	
0.1	0.5	1.9	4.9	3.1	0.4	2.4	-	0.3	6.4	6.3	10.5	0.9	-	54.7	6.9	-	0.5	0.1	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	3	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.15	0.20	-	-	0.15	0.20	-	-	-	0.35	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	57.1	-	-	4.9	57.1	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	1	2	-	-	-	3	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	33.3	66.7	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.15	0.20	-	-	0.15	0.20	-	-	-	0.35	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	57.1	-	-	4.9	57.1	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	1	2	-	-	-	3	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	33.3	66.7	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.15	0.20	-	-	0.15	0.20	-	-	-	0.35	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.9	57.1	-	-	4.9	57.1	-	-	-	%	

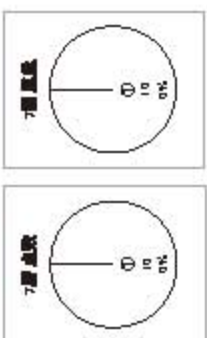
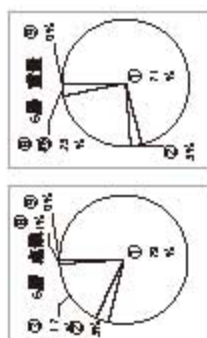
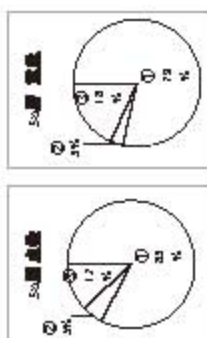


表13 1区 名層の黒曜石産地別の器種組成

■		MB	MC	特殊	SP	BN	TP	スク	OB	DX	RF	MF	CX	BD	KS	BN	CP	AP	PT	つまみ形	特殊形		
8a	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4 %	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-	856 %
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1 %
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-	0.48 %
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	5 %
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-	904 %
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-	516 %
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	259	184	-	-	-	-	-	50.2 %
Cb①	-	-	-	-	-	3.3	0.4	-	0.2	-	3.5	3.1	1.9	1.7	-	50.2	95.7	-	-	-	-	-	162.198 %
	-	-	-	-	-	2856	5.75	-	2.96	-	86.16	86.47	375.44	41.28	-	924.80	605.6	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	2.4	0.4	-	0.2	-	5.3	5.3	2.31	2.5	-	57.0	3.7	-	-	-	-	-	9 %
	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	3	-	-	-	-	-	56.6 %
Cb②	-	-	-	-	-	111	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.96	11.7	-	-	-	-	-	13.75 %
	-	-	-	-	-	162	-	-	-	-	-	-	-	-	-	79.7	8.5	-	-	-	-	-	9 %
	-	-	-	-	-	118	-	-	-	-	-	-	-	-	-	52.9	47.1	-	-	-	-	-	23.20 %
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2320	468	-	-	-	-	-	83.2 %
Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3 %
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	1000 %
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	284	-	-	-	-	-	284 %
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	1000 %
合計	-	-	-	-	-	18	2	-	1	-	18	16	10	9	-	273	198	-	-	-	-	-	545 %
	-	-	-	-	-	3.3	0.4	-	0.2	-	3.3	2.9	1.8	1.7	-	50.1	96.3	-	-	-	-	-	1665.45 %
	-	-	-	-	-	40.18	5.75	-	2.96	-	86.16	86.47	375.44	41.28	-	988.96	692.5	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	2.4	0.3	-	0.2	-	5.2	5.2	2.25	2.5	-	57.5	4.2	-	-	-	-	-	57.5 %

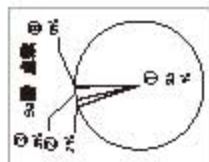
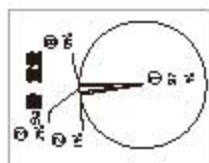
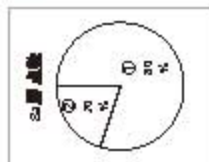
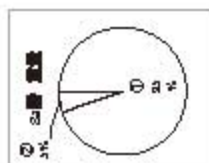


表13 1区 名層の黒曜石産地別の器種組成

■	MP	MC	特殊	SP	BN	TP	スク	OB	DR	RF	MF	CR	BD	RS	BR	CP	AP	PT	つまみ 形状	形状	
9b	4%	-	-	-	47	11	13	5	-	40	3.1	10	24	-	501	613	-	-	-	-	1308 点
	0.3	-	-	-	36	0.8	10	0.4	-	3.1	3.1	0.8	18	-	38.3	46.8	-	-	-	-	%
	0.53	-	-	-	86.95	25.21	106.26	35.27	-	137.76	252.28	208.08	122.97	-	1996.82	245.57	-	-	-	-	3218.1 点
	0.0	-	-	-	2.7	0.8	3.3	1.1	-	4.3	7.8	6.5	3.8	-	62.0	7.7	-	-	-	-	%
	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	9	-	-	-	-	12 点
	-	-	-	-	8.3	-	-	-	-	-	8.3	-	-	-	-	75.0	-	-	-	-	8.3 %
	-	-	-	-	2.48	-	-	-	-	-	10.0	-	-	-	2.68	47.2	-	-	-	-	10.88 %
	-	-	-	-	228	-	-	-	-	-	9.2	-	-	-	246	49.4	-	-	-	-	%
	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	22	28	-	-	-	-	5.3 点
	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	1.9	1.9	-	-	41.5	82.8	-	-	-	-	%
-	-	-	-	0.79	-	-	-	-	-	4.82	24.03	-	-	127.13	25.16	-	-	-	-	181.93 点	
-	-	-	-	0.4	-	-	-	-	-	2.6	13.2	-	-	69.9	13.8	-	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	12	29	-	-	-	-	43 点	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	2.3	-	-	27.9	67.4	-	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.40	41.09	-	-	74.75	38.3	-	-	-	-	129.07 点	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6	31.8	-	-	57.9	7.6	-	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2 点	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.95	0.07	-	-	-	-	1.02 点	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	93.1	6.9	-	-	-	-	%	
4	-	-	-	-	49	11	13	5	-	41	44	11	24	-	537	680	-	-	-	1419 点	
0.3	-	-	-	-	3.5	0.8	0.9	0.4	-	2.9	3.1	0.8	17	-	37.8	47.9	-	-	-	%	
0.53	-	-	-	-	89.62	25.21	106.26	35.27	-	141.16	299.19	232.11	122.97	-	2202.33	286.35	-	-	-	2541.00 点	
0.1	-	-	-	-	2.5	0.7	3.0	1.0	-	4.0	8.4	6.5	3.4	-	62.2	8.1	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	1	-	-	16	22	-	-	-	42 点	
-	-	-	-	-	2.4	-	-	-	-	4.8	-	2.4	-	-	38.1	52.4	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	2.16	-	-	-	-	27.36	-	38.46	-	-	121.89	9.10	-	-	-	198.97 点	
-	-	-	-	-	1.1	-	-	-	-	13.8	-	19.3	-	-	61.3	4.6	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2 点	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.7	-	-	-	-	0.89	-	-	-	-	4.96 点	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	82.1	-	-	-	-	17.9	-	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1 点	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	0.02 点	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	1	-	-	16	24	-	-	-	45 点	
-	-	-	-	-	2.2	-	-	-	-	6.7	-	2.2	-	-	35.6	53.3	-	-	-	%	
-	-	-	-	-	2.16	-	-	-	-	31.49	-	38.46	-	-	121.89	10.01	-	-	-	203.96 点	
-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	15.4	-	18.9	-	-	59.8	4.9	-	-	-	%	

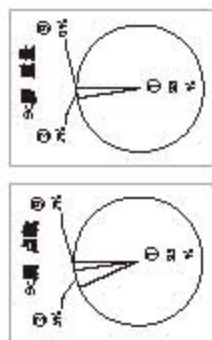
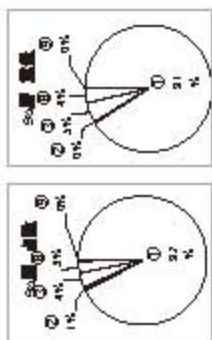


表13 1区 名産の黒曜石産地別の器種組成

■	MB	MC	神楽	SP	RN	TP	スク	OB	DR	RF	MF	CR	ED	RS	EM	CP	AP	PT	つまみ形	特形		
9d	Cb①	-	-	-	5	3	2	1	-	9	4	2	-	-	82	25	-	-	-	-	113 点	
		-	-	-	44	2.7	1.8	0.9	-	8.0	3.5	1.8	-	-	46.0	31.0	-	-	-	-	-	%
	Cb②	-	-	-	17.77	11.38	32.48	26.34	-	25.88	17.79	30.09	-	-	171.60	15.49	-	-	-	-	-	349.82 点
		-	-	-	5.1	2.3	9.3	7.5	-	7.4	5.1	8.6	-	-	49.1	4.7	-	-	-	-	-	%
	Cb③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1 点
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-	%
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.72	-	-	-	-	-	0.72 点
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-	%
	9e	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	5 点
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	%
合計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	283	-	-	-	-	-	283 点
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-	%
Cb②		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53	40	-	-	-	-	-	119 点
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44.5	33.6	-	-	-	-	-	%
合計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	172.32	19.32	-	-	-	-	-	353.37 点
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48.8	5.5	-	-	-	-	-	%
Cb③		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	175	160	-	-	-	-	-	418 点
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41.9	38.3	-	-	-	-	-	%
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	573.48	66.37	-	-	-	-	-	1161.07 点	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49.4	5.7	-	-	-	-	-	%	
10a	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	7 点	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42.9	42.9	-	-	-	-	%	
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.76	0.33	-	-	-	-	3.87 点	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	71.3	8.5	-	-	-	-	%	
	Cb②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	7	-	-	-	-	31 点	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54.8	22.6	-	-	-	-	%	
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	61.31	3.16	-	-	-	-	89.60 点	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	68.4	3.5	-	-	-	-	%	
	Cb③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	-	-	-	-	6 点	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	%	
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	0.17 点	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-	%	
10b	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	195	176	-	-	-	-	452 点	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42.2	38.1	-	-	-	-	%	
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.9756	7.003	-	-	-	-	125.471 点	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.8	5.6	-	-	-	-	%	
	Cb②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	4	-	-	-	-	8 点	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	%	
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.56	1.05	-	-	-	-	8.61 点	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	87.8	12.2	-	-	-	-	%	
	Cb③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2 点	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	%	
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.4	-	-	-	-	-	5.4 点		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	%		
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	4	-	-	-	-	10 点		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60.0	40.0	-	-	-	-	%		
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.96	1.05	-	-	-	-	14.01 点		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32.5	7.5	-	-	-	-	%		

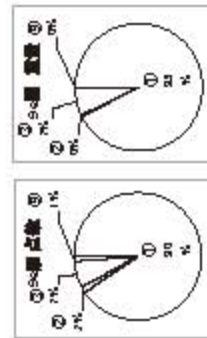
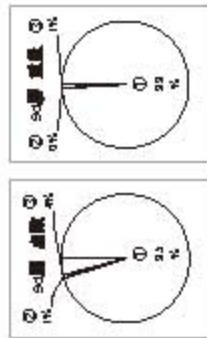


表13 1区 名層の黒曜石産地別の器種組成

層	MB	MC	神楽	SP	RY	TP	スク	OB	DR	RF	MF	CR	BD	KS	FK	CP	AP	PT	つまみ 形状	特形	点	%		
10b												1			2	5						8	%	
	Ob①											125			25.0	62.5							23.19	%
												17.66			4.17	1.37								%
	合計											76.1			2	5.9							8	%
10c												125			25.0	62.5							8	%
	Ob①											17.66			4.17	1.37							23.19	%
												76.1			18.0	5.9							8	%
	合計											125			25.0	62.5							8	%
10d												2			14	16							41	%
	Ob①											49			34.1	39.0							170.95	%
												358			45.1	4.7							7	%
	合計											358			45.1	4.7							7	%
11												1			1	6							2	%
	Ob①											500			14.3	85.7							186	%
												726			0.68	2.44							3.12	%
	合計											726			0.68	2.44							3.12	%
10a												1				1							2	%
	Ob①											500				50.0							186	%
												726			2	2.7							2	%
	合計											726			2	2.7							2	%
10b												3			17	23							52	%
	Ob①											5.8			32.7	44.2							177.82	%
												3.0			4.47	6.1							10.8	%
	合計											3.0			4.47	6.1							10.8	%
10c												2.8			45.4	23.7							340.80	%
	Ob①											28.09			167.14	13.78							340.80	%
												4.8			49.0	4.0							13	%
	合計											4.8			49.0	4.0							13	%
10d												9			69.2	30.8							44.51	%
	Ob①											39.96			39.96	5.15							44.51	%
												8			88.4	11.6							12.1	%
	合計											8			88.4	11.6							12.1	%
11												2.5			47.9	28.9							385.31	%
	Ob①											28.09			206.50	18.93							385.31	%
												4.2			53.6	4.9							12	%
	合計											4.2			53.6	4.9							12	%
11												8.3			50.0	33.3							30.93	%
	Ob①											5.15			25.14	0.52							30.93	%
												16.7			81.3	1.7							12	%
	合計											16.7			81.3	1.7							12	%
11												1			6	4							30.93	%
	Ob①											5.15			25.14	0.52							30.93	%
												16.7			81.3	1.7							12	%
	合計											16.7			81.3	1.7							12	%

表13 1区 各層の黒曜石産地別の器種組成

■		MB	MC	特殊	SP	DK	TP	スク	CB	DX	RF	MF	CX	ED	KS	PK	CP	AP	PT	つまみ形	特殊形	
13a	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	3
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32.3	66.7	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	326	0.81	-	-	-	-	407
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80.1	19.9	-	-	-	-	%
合計	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	3
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32.3	66.7	-	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	326	0.81	-	-	-	-	407
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80.1	19.9	-	-	-	-	%
13b	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	405	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	405
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	%
合計	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	500	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	405	-	-	-	-	-	0.40	-	-	-	-	4.95
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	910	-	-	-	-	-	9.0	-	-	-	-	%
13c	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	167	-	-	-	-	-	-	167
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-	%
合計	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	500	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	405	-	-	-	-	-	0.40	-	-	-	-	4.95
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	910	-	-	-	-	-	9.0	-	-	-	-	%
13d	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.92	-	-	-	-	-	0.92
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	%
合計	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	167	0.92	-	-	-	-	2.59
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	645	-	-	-	-	-	36.5	-	-	-	-	%
14	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13.47	-	-	-	-	-	-	13.47
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-	%
合計	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13.47	-	-	-	-	-	-	13.47
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-	%

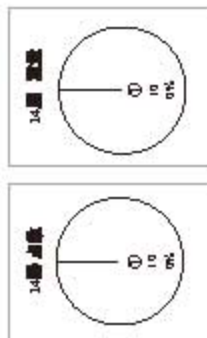
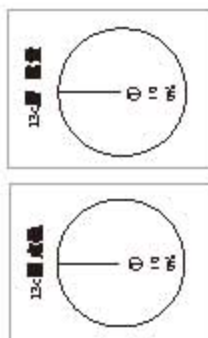
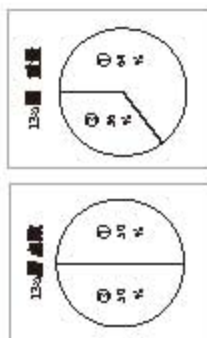
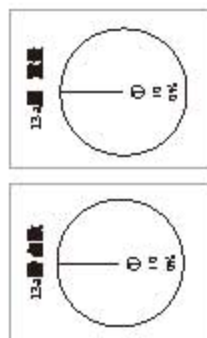
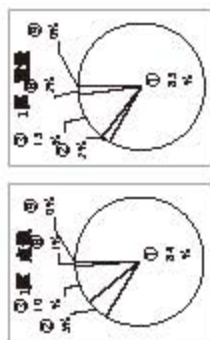


表13 1区 名層の黒曜石産地別の器種組成

■	MP	MC	MC	SP	RN	TP	スク	OB	DR	RF	MF	CR	ED	RS	EM	CP	AP	PT	つま 形状	形状	点	
Ob①	225	24	4	13	118	53	22	12	3	190	196	53	52	1	2776	2229	21	1	1	1	7106	
	46	0.3	0.1	0.2	1.7	0.7	0.5	0.2	0.0	2.7	2.8	0.7	0.7	0.0	39.1	46.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	%
	37.73	132.57	45.28	94.98	269.44	128.27	315.58	144.08	8.50	95.492	888.11	1298.72	235.27	16.99	7603.28	940.67	12.38	10.28	2.24	4.45	13152.75	%
Ob②	19	-	-	2	3	2	-	-	-	4	4	1	-	-	133	292	5	-	-	-	465	
	41	-	-	0.4	0.6	0.4	-	-	-	0.9	0.9	0.2	-	-	28.6	62.8	1.1	-	-	-	-	%
	223	-	-	15.83	7.52	3.92	-	-	-	11.24	5.50	2.47	-	-	236.60	52.20	4.68	-	-	-	34219	%
Ob③	0.7	-	-	4.6	2.2	1.1	-	-	-	3.3	1.6	0.7	-	-	69.1	15.3	1.4	-	-	-	-	
	9	-	-	13	6	-	-	1	-	15	13	8	1	-	429	313	6	-	-	-	816	
	1.1	-	-	0.2	0.7	-	-	0.1	-	1.8	1.6	1.0	0.1	-	52.6	38.4	0.7	-	-	-	-	
合計	0.85	-	-	12.36	126.30	39.30	-	9.04	-	105.71	52.80	145.02	4.87	-	1234.88	172.90	6.11	-	-	-	1969.84	
	0.0	-	-	0.6	6.4	2.0	-	0.5	-	5.4	2.7	7.4	0.2	-	66.6	8.8	0.3	-	-	-	-	
	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	28	38	1	-	-	-	71	
Ob④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.4	2.8	-	-	-	39.4	53.5	1.4	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.40	56.66	-	-	-	223.04	20.40	0.41	-	-	-	31424	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.1	18.0	-	-	-	72.6	6.5	0.1	-	-	-	-	
Ob⑤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	31	-	-	-	-	34	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.8	91.2	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1465	0.99	-	-	-	-	15.64	
合計	353	24	6	29	127	55	32	13	3	210	215	62	53	1	3369	3903	33	1	1	1	8491	
	4.2	0.3	0.1	0.3	1.5	0.6	0.3	0.2	0.05	2.4	2.5	0.7	0.6	0.05	39.7	46.0	0.4	0.05	0.05	0.05	0.05	
	40.81	132.57	57.64	242.46	316.26	132.19	315.58	153.13	8.50	1075.27	1002.76	1446.21	240.14	16.99	9367.45	1196.16	23.58	10.28	2.24	4.45	15784.66	
合計	0.3	0.8	0.4	1.5	2.0	0.8	2.0	1.0	0.1	6.8	6.3	9.2	1.5	0.1	59.4	7.5	0.1	0.1	0.05	0.05	0.05	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※ 9b層、9c層、11層のMPについては記入したものである
 ※ Ob①：黒石産、Ob②：榎原川産、Ob③：新屋産、Ob④：ガラン山産、Ob⑤：①-③以外



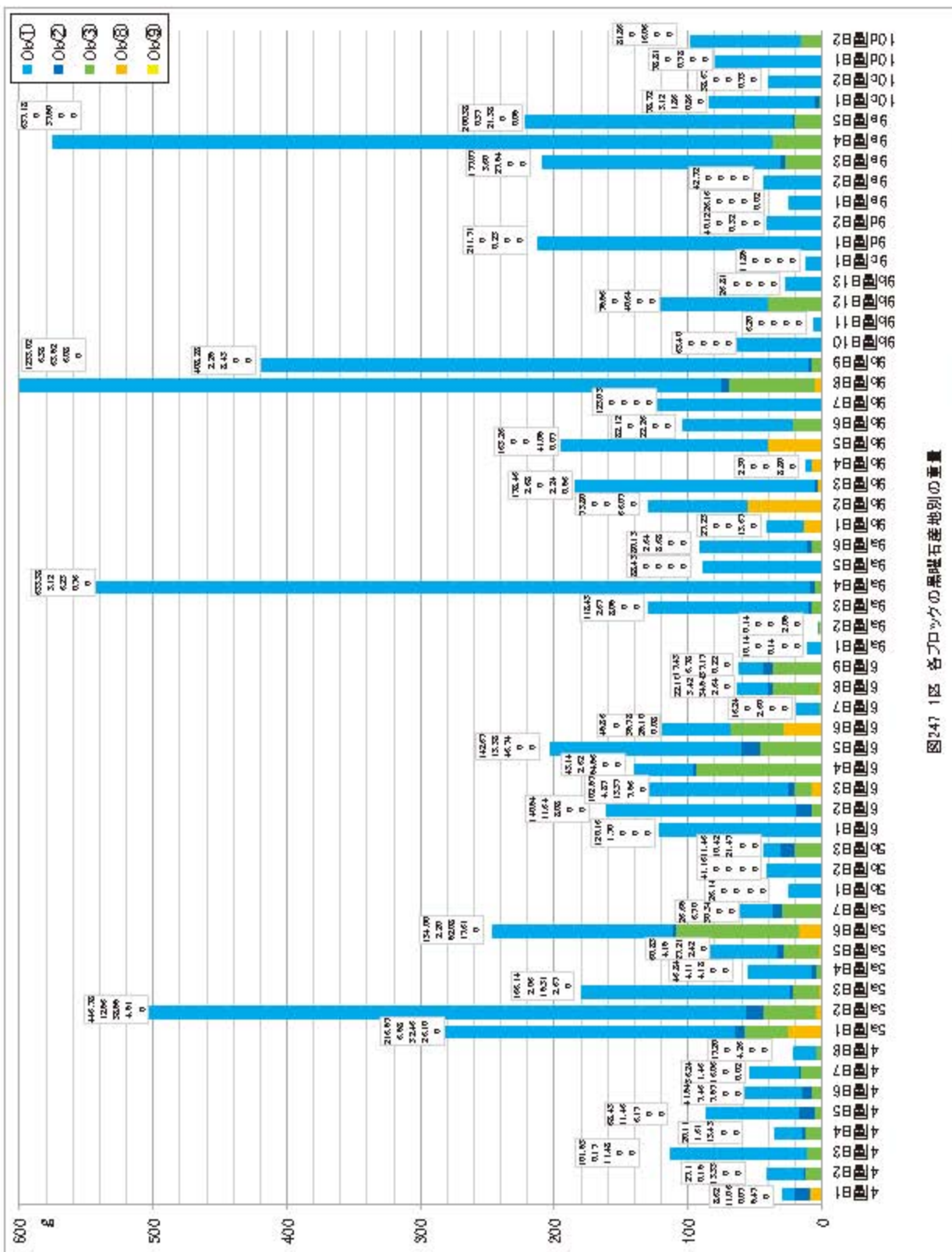


図 247 1区 各プログラムの黒曜石産地別の重量

※グラフ内の0値の数値については上から順に産地ごとの重量を示している

表14 1区 各層の石器の接合状況・組数

	折れ面	剥離面	合計
3層	1	-	1
4層	15	7	22
5a層	10	5	15
5a層+6層	3	1	4
5b層	1	-	1
6層	18	7	25
9a層	25	9	34
9a層+9b層	3	2	5
9a層+9c層	-	1	1
9a層+9e層	1	-	1
9b層	58	23	81
9b層+9d層	3	-	3
9b層+9e層	6	-	6
9b層+10b層	1	-	1
9b層+10c層	4	-	4
9b層+10d層	2	-	2
9c層	-	2	2
9c層+11層	-	1	1
9d層	1	1	2
9d層+9e層	1	-	1
9e層	14	4	18
10b層	-	1	1
10c層	3	3	6
合計	170	67	237

図248 1区 石器の接合状況・組数

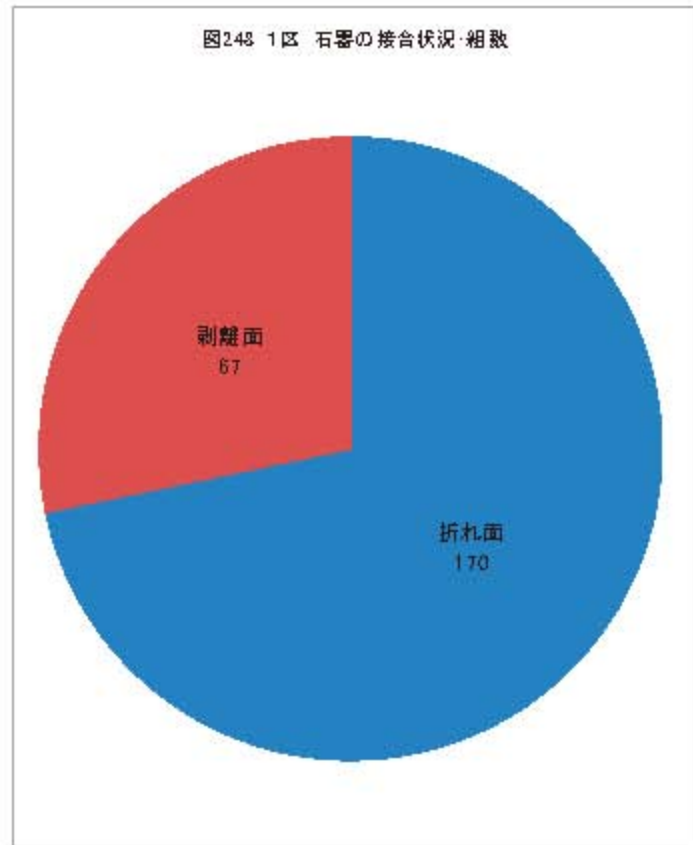
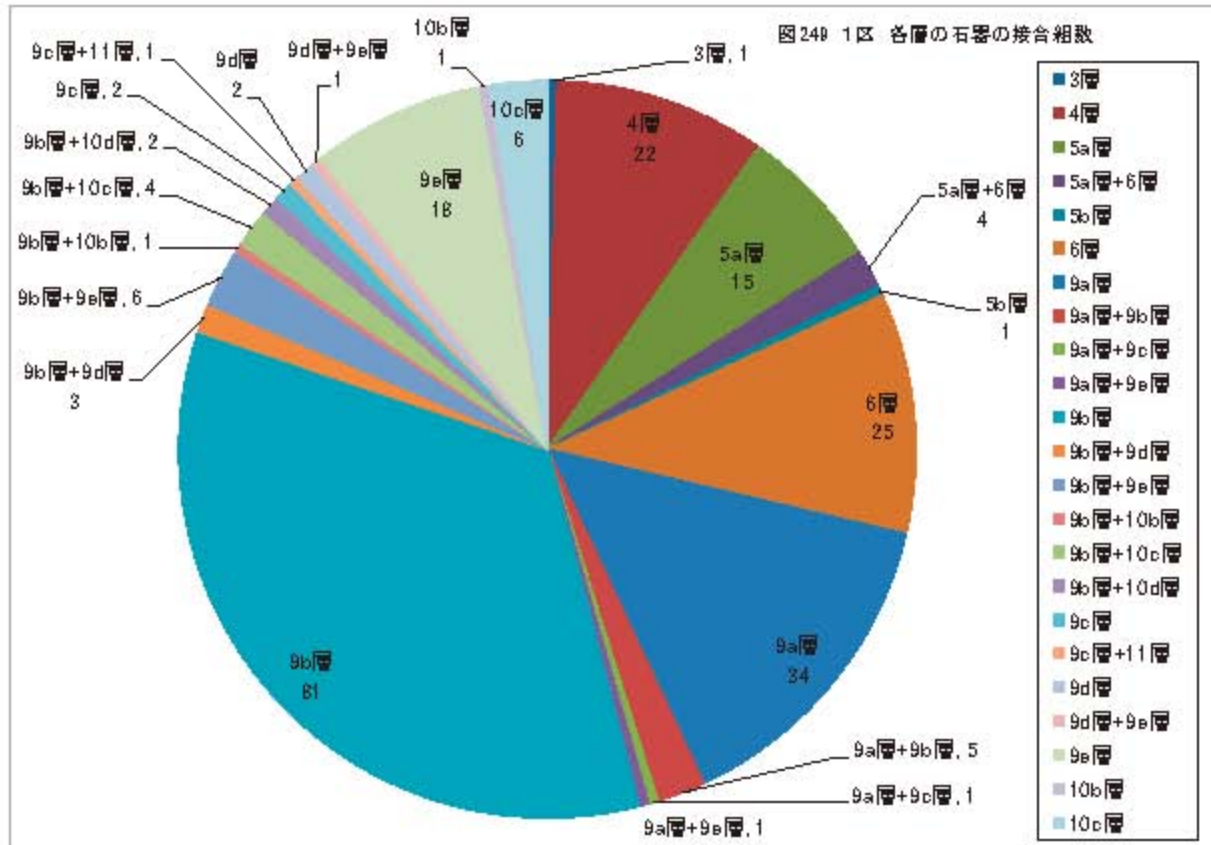
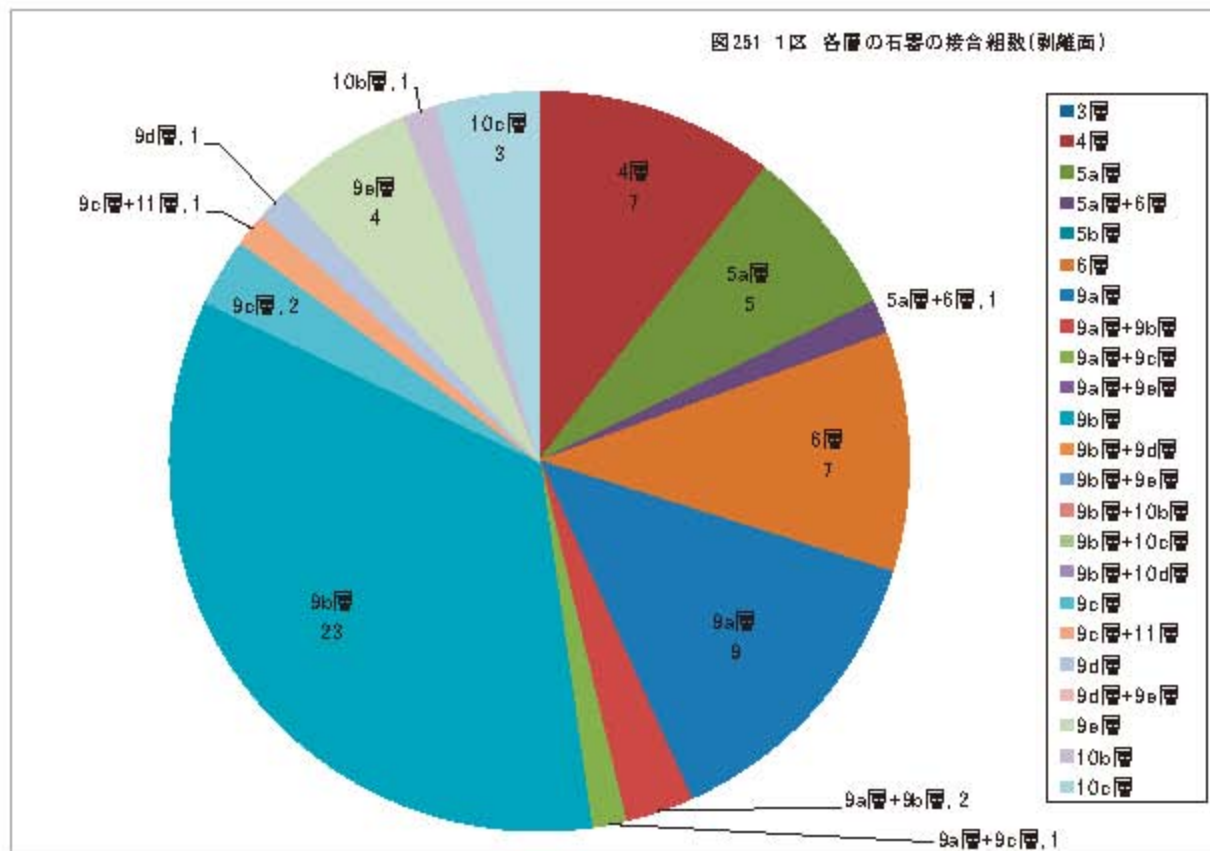
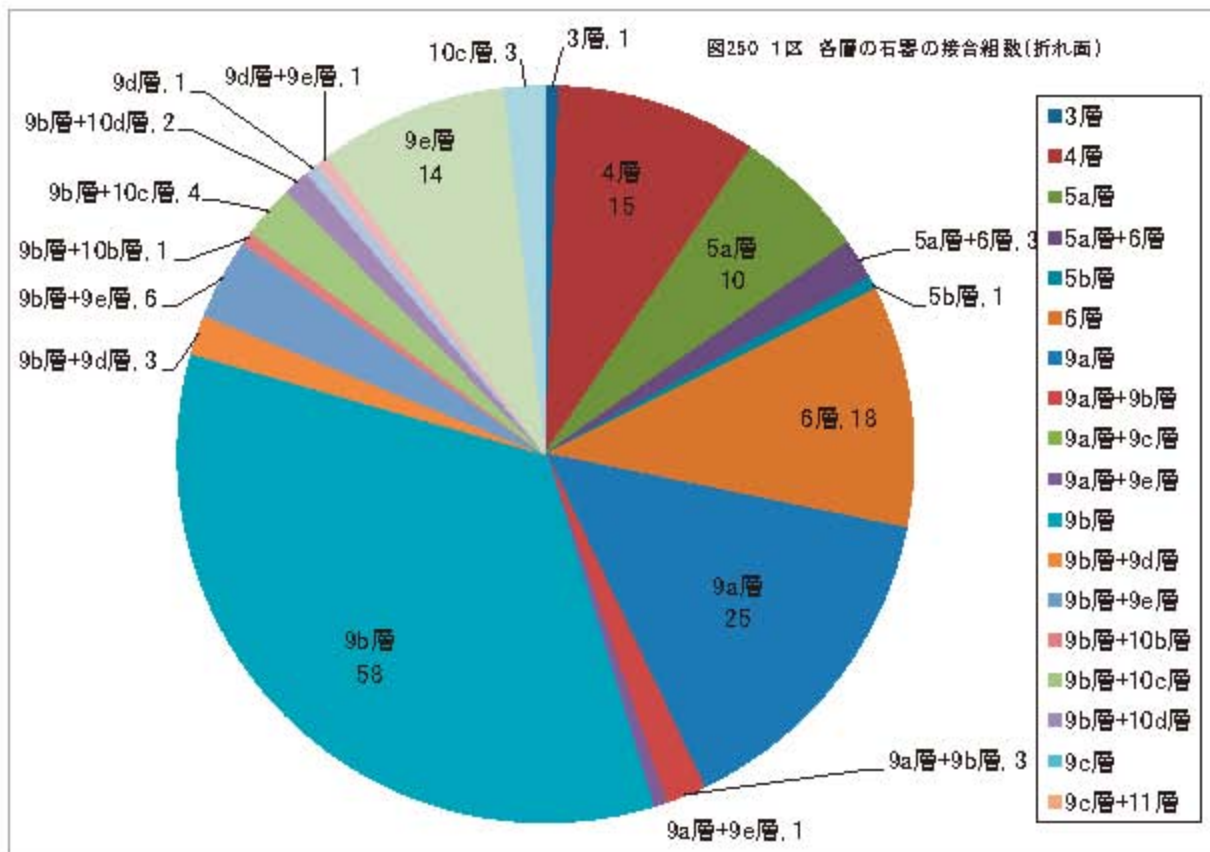


図249 1区 各層の石器の接合組数





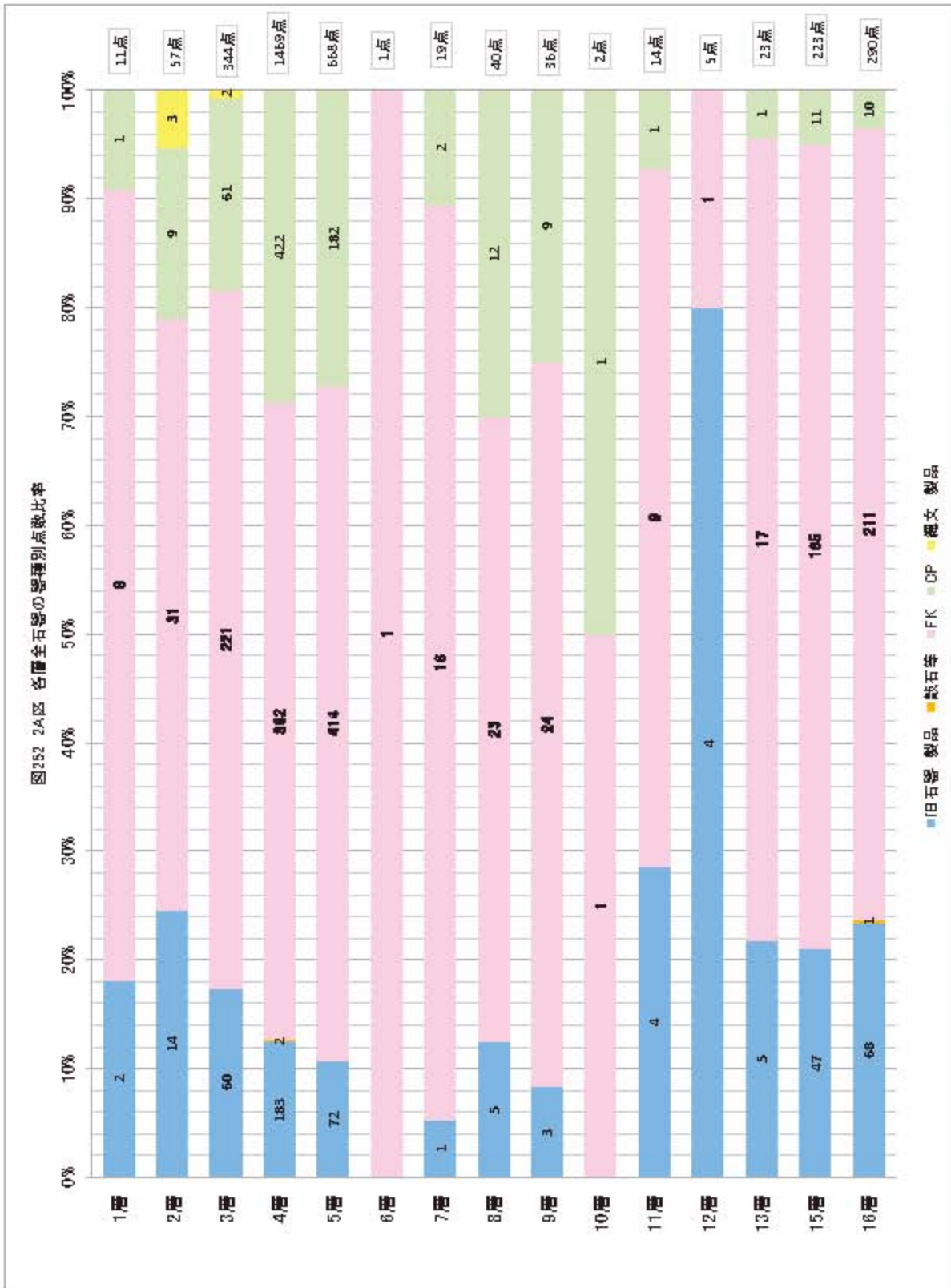
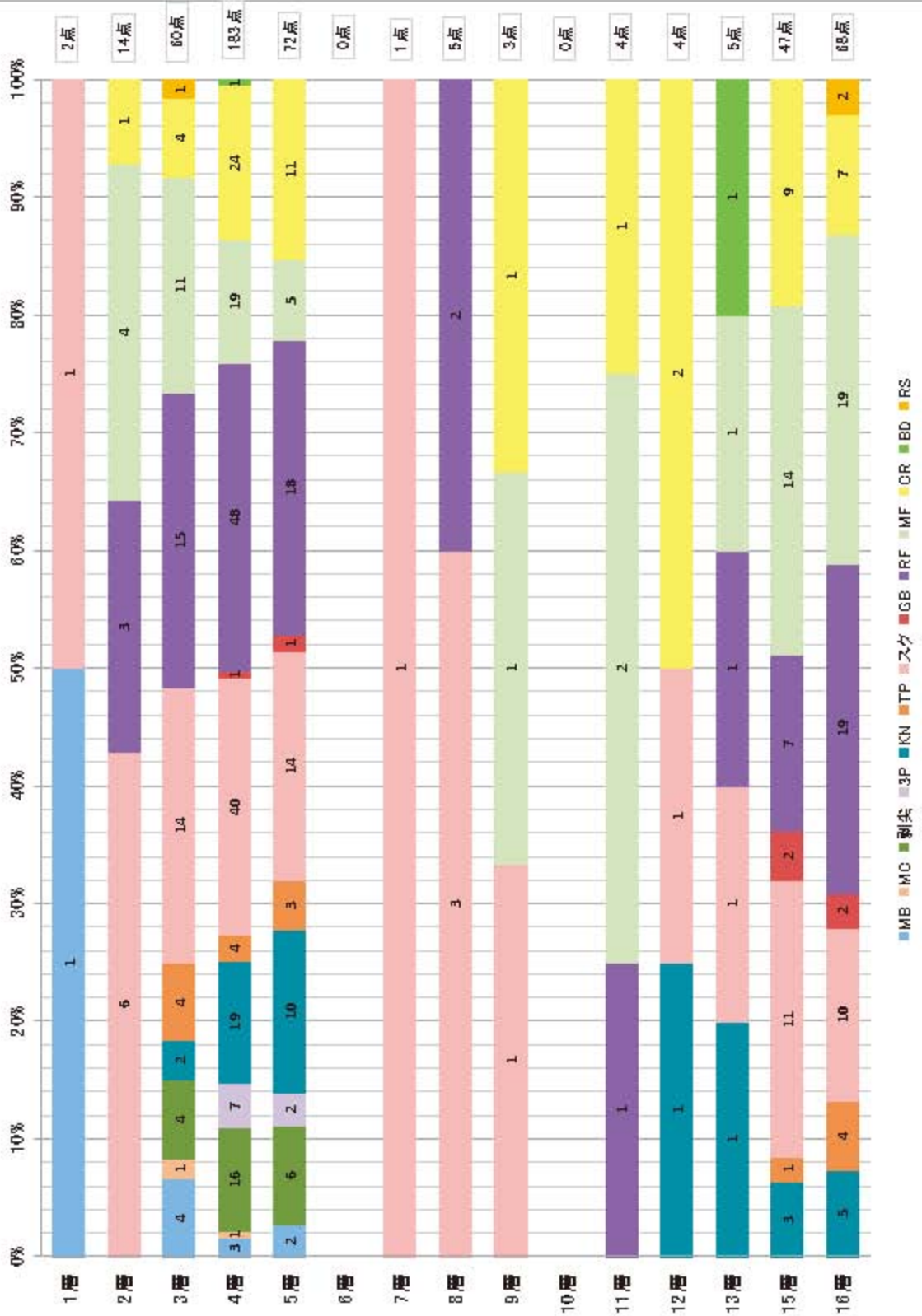
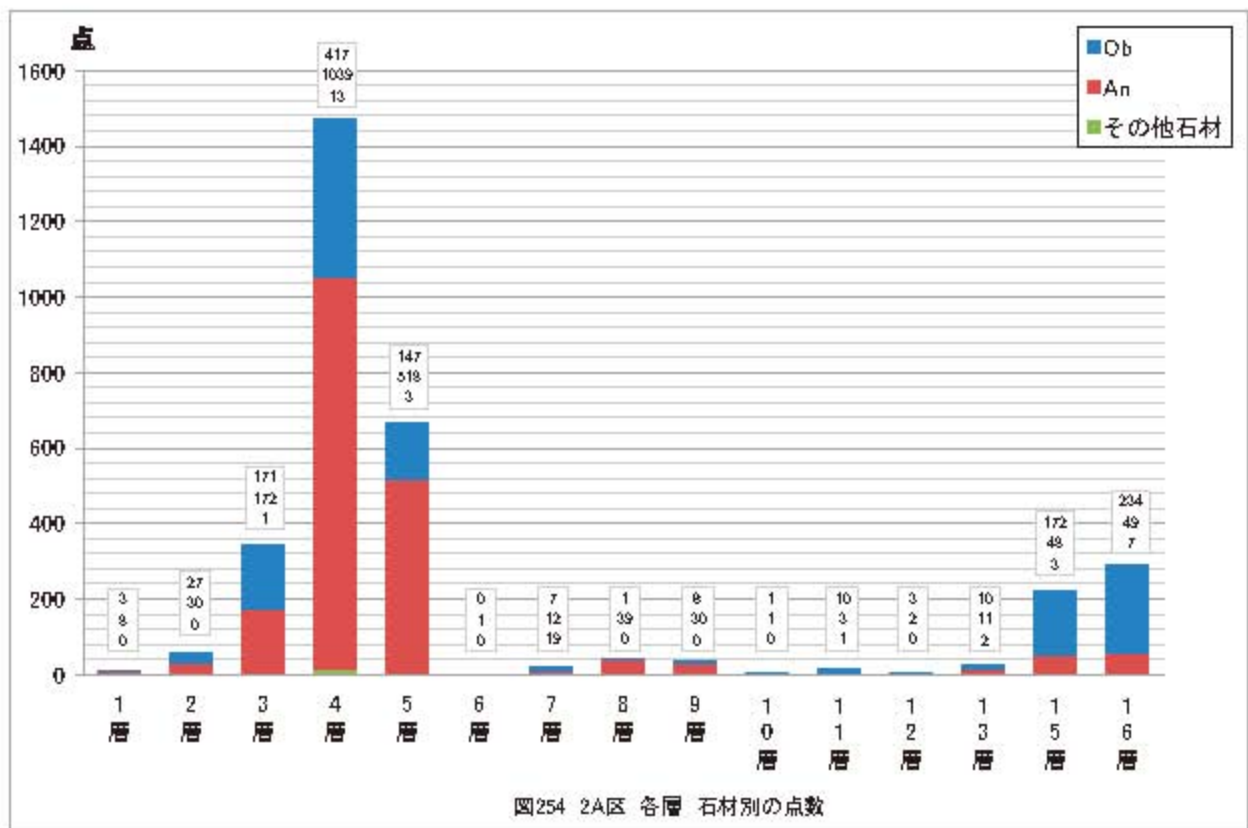


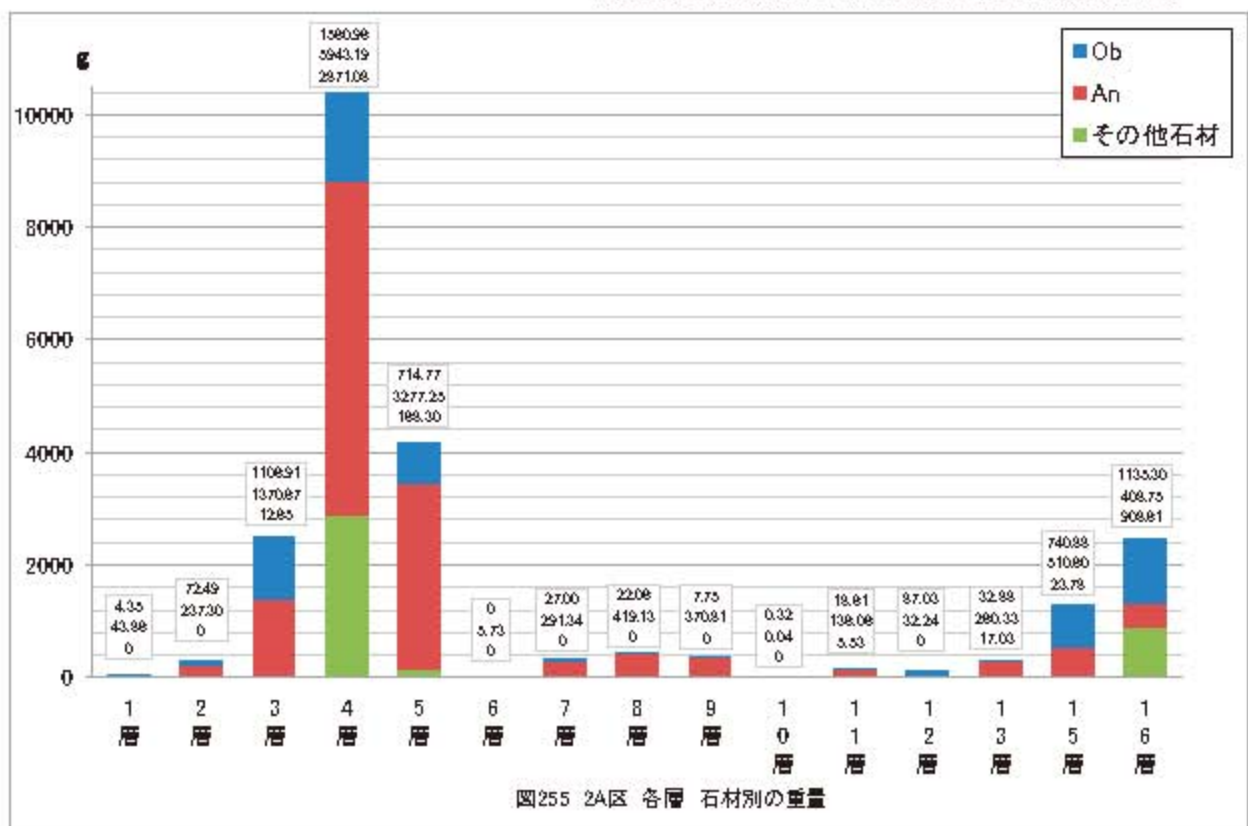
図253 2A区 各層旧石器の製品等の器種別点数比率



※隕石等、FK、CP、燧石製品 (AP、IS) は含まない
 ※グラフ内の数字については点数を示している



※グラフ内の3段の数字については上から順に石材ごとの点数を示している



※グラフ内の3段の数字については上から順に石材ごとの重量を示している

表15 2A区 各層の器種組成

層	MB	MC	機法	3P	XN	TP	スリ	OB	RF	MF	CR	ED	ED	計器等	RS	PK	CP	AP	ES	2	点
1	Ob	333	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
		009	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	333	333	-	-	-	-
		2.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	435	0.10	-	-	-	435
1	An	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	8
		9.1	-	-	-	-	125	-	-	-	-	-	-	-	-	875	-	-	-	-	8
		0.2	-	-	-	-	932	-	-	-	-	-	-	-	-	3394	-	-	-	-	4986
1	合計	9.1	-	-	-	-	225	-	-	-	-	-	-	-	-	77.4	-	-	-	-	11
		0.09	-	-	-	-	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1	-	-	-	11
		0.2	-	-	-	-	932	-	-	-	-	-	-	-	-	72.7	9.1	-	-	-	11
2	Ob	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	13	7	1	-	-	27
		3.7	-	-	-	-	37	-	-	-	-	-	-	-	-	43.1	25.9	3.7	-	-	27
		11.24	-	-	-	-	1124	-	-	-	-	-	-	-	-	27.30	1.08	1.76	-	-	72.49
2	An	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	18	2	1	-	-	30
		16.7	-	-	-	-	167	-	-	-	-	-	-	-	-	600	6.7	3.3	-	-	30
		0.2	-	-	-	-	7622	-	-	-	-	-	-	-	-	10329	0.69	1.02	-	-	237.30
2	合計	-	-	-	-	-	32.1	-	-	-	-	-	-	-	-	49.5	0.3	0.4	-	-	8.3
		1.5	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	31	9	2	-	-	57
		10.5	-	-	-	-	105	-	-	-	-	-	-	-	-	544	15.8	3.5	-	-	1.8
2	合計	-	-	-	-	-	87.46	-	-	-	-	-	-	-	-	13059	1.77	2.78	-	-	303.79
		8.45	-	-	-	-	282	-	-	-	-	-	-	-	-	42	0.6	0.9	-	-	6.4
		11.7	-	-	-	-	117	-	-	-	-	-	-	-	-	37.7	1.5	2.4	-	-	17.1
3	Ob	4	1	2	-	-	6	-	7	7	4	-	-	-	1	101	34	1	-	-	171
		2.3	0.18	1867	-	16.06	6.75	5366	-	2355	2501	13356	-	-	499.40	31767	5.21	0.45	-	-	110691
		0.1	0.0	1.7	-	1.5	0.6	48	-	2.7	2.3	12.1	-	-	45.1	28.7	0.5	0.0	-	-	106.91
3	An	-	-	2	-	1	8	-	8	4	-	-	-	-	-	119	27	1	-	-	172
		1.2	0.3	12	-	0.6	47	-	47	2.3	-	-	-	-	-	692	15.7	0.6	-	-	172
		0.74	0.18	52.46	-	36.86	15.17	40396	-	1463.74	5443	13356	-	-	499.40	112923	13.90	1.61	-	-	2402.3
3	合計	0.0	0.0	2.1	-	1.5	162	-	6.0	2.2	5.4	-	-	-	20.1	45.3	0.6	0.1	-	-	244
		0.0	0.0	2.1	-	1.5	162	-	6.0	2.2	5.4	-	-	-	20.1	45.3	0.6	0.1	-	-	244
		0.0	0.0	2.1	-	1.5	162	-	6.0	2.2	5.4	-	-	-	20.1	45.3	0.6	0.1	-	-	244

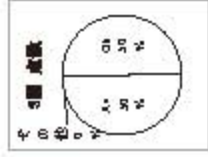
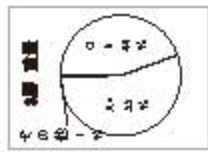
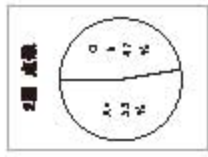
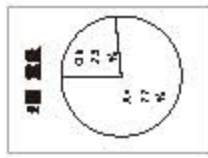
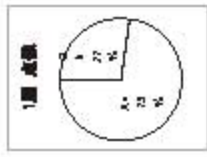
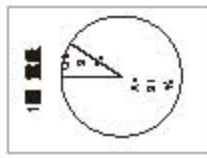


表 15 2A 区 名層の器種組成

区	層	MB	MC	MF	3P	KN	TP	スリ	OB	RF	MF	CR	ED	絞器等	FS	FK	CF	AP	ES	点	
4	Ob	3	1	5	2	7	4	12	1	18	10	15	1	-	-	242	95	-	-	417	
		0.7	0.2	12	0.7	1.7	1.0	2.9	0.2	4.3	2.4	3.6	0.2	-	-	58.0	22.8	-	-	%	
	An	0.43	1.15	46.94	24.48	44.68	1321	109.56	6.32	80.29	47.54	417.22	1.93	-	-	741.46	25.75	-	-	1560.96	
		0.0	0.1	30	1.5	2.9	0.8	7.0	0.4	5.1	3.0	25.7	0.1	-	-	47.5	1.6	-	-	%	
	その他	-	-	10	4	12	-	25	-	30	9	9	-	-	-	61.3	32.6	-	-	10.39	
		-	-	10	0.4	1.2	-	2.5	-	2.9	0.9	0.9	-	-	-	59.0	31.4	-	-	%	
	合計	-	-	187.08	70.26	130.78	-	590.69	-	377.45	91.30	66.406	-	-	-	3796.39	75.18	-	-	5943.19	
		-	-	3.1	1.2	2.2	-	9.9	-	6.4	1.5	11.2	-	-	-	63.2	1.3	-	-	%	
	5	Ob	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	7	1	-	-	1.3
			-	-	7.7	-	-	-	15.4	-	-	-	-	-	15.4	-	53.8	7.7	-	-	%
An		-	-	27.07	-	-	-	32.06	-	-	-	-	-	272.353	-	88.22	0.10	-	-	2871.08	
		-	-	0.9	-	-	-	1.1	-	-	-	-	-	94.9	-	3.1	0.0	-	-	%	
合計		3	1	15	7	19	4	40	1	48	19	24	1	1	2	86.2	42.2	-	-	1469	
		0.2	0.1	1.1	0.5	1.3	0.3	2.7	0.1	3.3	1.3	1.6	0.1	0.1	0.1	58.7	28.7	-	-	%	
その他		0.43	1.15	261.09	94.74	175.46	1321	732.31	6.32	457.74	138.84	1081.28	1.93	272.353	-	4585.07	10.103	-	-	10375.23	
		0.0	0.0	2.5	0.9	1.7	0.1	7.1	0.1	4.4	1.3	10.4	0.0	26.3	-	44.2	1.0	-	-	%	
合計		1.4	-	1.4	0.7	1.4	1.4	1.4	-	2.7	2.0	4.8	-	-	-	61.9	21.8	-	-	147	
		0.10	-	15.50	5.73	5.63	6.21	17.60	-	22.01	18.68	14.80	-	-	-	46.452	8.89	-	-	714.77	
その他	0.0	-	2.2	0.8	0.8	0.9	2.5	-	3.1	2.6	21.0	-	-	-	65.0	1.2	-	-	%		
	-	-	4	1	9	1	11	1	14	2	3	-	-	-	32.2	1.50	-	-	518		
合計	-	-	0.8	0.2	1.7	0.2	2.1	0.2	2.7	0.4	0.6	-	-	-	62.2	2.90	-	-	%		
	-	-	9.122	12.66	99.87	1.15	28.327	14.86	19.480	16.60	9.482	-	-	-	2421.82	46.18	-	-	3277.25		
その他	-	-	2.8	0.4	3.0	0.0	8.6	0.5	5.9	0.5	2.9	-	-	-	73.9	1.4	-	-	3		
	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	%		
合計	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	163.30		
	-	-	-	-	-	-	27.91	-	-	-	8.450	-	-	-	55.89	-	-	-	%		
合計	-	-	6	2	10	3	14	1	18	5	11	-	-	-	33.2	-	-	-	668		
	0.3	-	0.9	0.3	1.5	0.4	2.1	0.1	2.7	0.7	1.6	-	-	-	62.0	27.2	-	-	%		
その他	0.10	-	106.72	18.39	105.50	7.95	328.78	14.86	216.81	35.28	329.12	-	-	-	2942.33	55.07	-	-	4160.32		
	0.0	-	2.6	0.4	2.5	0.2	7.9	0.4	5.2	0.8	7.9	-	-	-	70.7	1.3	-	-	%		
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	%		
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	%		
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	%		
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.73	-	-	5.73		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	%		
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	%		
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.73	-	-	5.73		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	%		

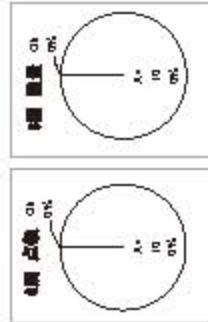
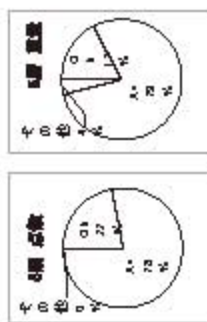
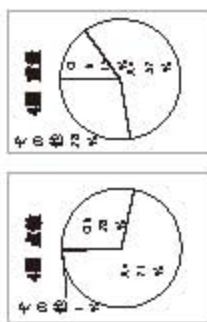


表15 2A区 名層の器種組成

層	MB	MOC	羽釜	3P	XN	TP	スク	CB	RF	MF	CR	ED	貯留塔	FS	PK	CP	AP	ES	7	点
7	Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	-	-	-	%
															86.7	14.3	-	-	-	27.00
															26.15	0.86	-	-	-	%
An							1	-	-	-	-	-	-	-	10	1	-	-	-	12
							8.3	-	-	-	-	-	-	-	83.3	8.3	-	-	-	%
							7564	-	-	-	-	-	-	-	21650	0.20	-	-	-	291.34
合計						260	-	-	-	-	-	-	-	740	0.1	-	-	-	%	
合計							1	-	-	-	-	-	-	-	16	2	-	-	-	19
							5.3	-	-	-	-	-	-	-	842	10.5	-	-	-	%
							7564	-	-	-	-	-	-	-	24165	1.05	-	-	-	318.34
合計						238	-	-	-	-	-	-	-	75.9	0.3	-	-	-	%	
Ob							-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	1
							-	-	-	-	-	-	-	-	22.06	-	-	-	-	22.06
							-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	%	
An							3	-	2	-	-	-	-	-	22	12	-	-	-	39
							7.7	-	5.1	-	-	-	-	-	66.4	30.8	-	-	-	%
							7626	-	1552	-	-	-	-	-	322.06	5.29	-	-	-	413.13
合計						182	-	3.7	-	-	-	-	-	76.8	1.3	-	-	-	%	
Ob							2	-	-	-	-	-	-	-	23	12	-	-	-	40
							7.5	-	5.0	-	-	-	-	-	57.5	30.0	-	-	-	%
							7626	-	1552	-	-	-	-	-	344.12	5.29	-	-	-	441.19
合計						17.3	-	3.5	-	-	-	-	-	78.0	1.2	-	-	-	%	
Ob							-	-	1	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	5
							-	-	16.7	-	-	-	-	-	33.3	50.0	-	-	-	%
							-	-	2.75	-	-	-	-	-	4.39	0.61	-	-	-	7.75
合計						-	-	35.5	-	-	-	-	-	66.6	7.9	-	-	-	%	
An							1	-	-	-	1	-	-	-	22	6	-	-	-	30
							3.3	-	-	3.3	-	-	-	-	73.3	20.0	-	-	-	%
							50.36	-	-	97.30	-	-	-	-	220.54	2.61	-	-	-	370.81
合計						135	-	-	26.2	-	-	-	-	69.5	0.7	-	-	-	%	
Ob							1	-	1	-	-	-	-	-	24	9	-	-	-	36
							2.8	-	2.8	2.8	-	-	-	-	66.7	25.0	-	-	-	%
							50.36	-	2.75	97.30	-	-	-	-	224.93	3.22	-	-	-	378.96
合計						13.3	-	0.7	25.7	-	-	-	-	69.4	0.9	-	-	-	%	
Ob							-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
							-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%
							-	-	-	-	-	-	-	-	0.32	-	-	-	-	0.32
合計						-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%	
An							-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
							-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	%
							-	-	-	-	-	-	-	-	0.04	-	-	-	-	0.04
合計						-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	%	
Ob							-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2
							-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	%
							-	-	-	-	-	-	-	-	0.32	0.04	-	-	-	0.36
合計						-	-	-	-	-	-	-	-	88.9	11.1	-	-	-	%	

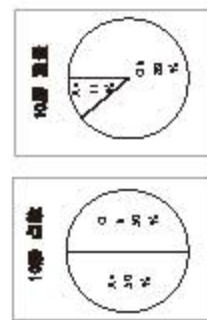
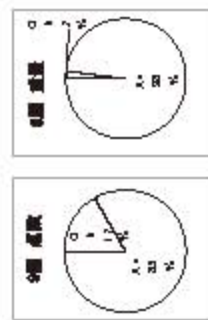
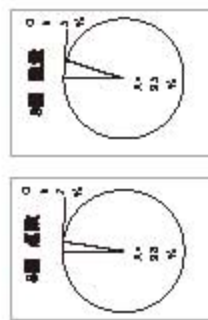
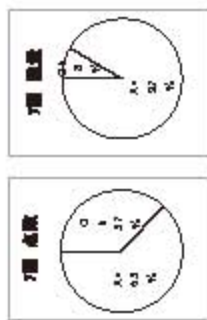


表 15 2A 区 名層の器種組成

層	MB	MOC	弥生	3P	XN	TP	スク	OB	RF	MF	CR	PD	数石等	FS	PK	CP	AP	E	点
11	Ob	-	-	-	-	-	-	-	100	200	-	-	-	-	600	100	-	-	1861
		-	-	-	-	-	-	-	462	747	-	-	-	-	636	0.16	-	-	1861
		-	-	-	-	-	-	-	248	401	0.0	-	-	-	342	0.9	-	-	342
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	333	-	-	-	667	-	-	-	667
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11876	-	-	-	1730	-	-	-	13606
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	873	-	-	-	127	-	-	-	10000	
12	Ob	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	9	1	-	-	14
		-	-	-	-	-	323	-	71	143	71	-	-	-	643	7.1	-	-	16020
		-	-	-	-	-	493	-	462	747	11876	-	-	-	2919	0.16	-	-	16020
	An	-	-	-	-	-	57	-	29	47	741	-	-	-	182	0.1	-	-	3
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	8703
13	Ob	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
		-	-	-	-	-	200	-	-	-	400	-	-	-	200	-	-	-	11927
		-	-	-	-	-	493	-	-	8210	-	-	-	-	3110	-	-	-	11927
	An	-	-	-	-	-	41	-	-	688	-	-	-	-	261	-	-	-	2
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	5	1	-	-	10
14	Ob	-	-	-	-	-	100	-	-	100	-	100	-	-	600	100	-	-	3288
		-	-	-	-	-	570	-	111	111	-	107	-	-	1833	0.08	-	-	3288
		-	-	-	-	-	173	-	34	-	33	-	-	-	667	0.2	-	-	342
	An	-	-	-	-	-	-	-	91	-	-	-	-	-	10	-	-	-	11
	合計	-	-	-	-	-	-	-	6747	-	-	-	-	-	909	-	-	-	26033
15	Ob	-	-	-	-	-	-	-	259	-	-	-	-	-	741	-	-	-	2
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1703
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	-	-	10000
	An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	23
	合計	-	-	-	-	-	-	-	6747	1.11	-	107	-	-	739	4.3	-	-	31024

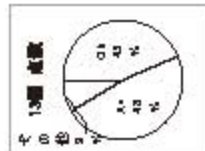
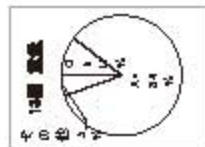
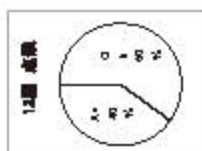
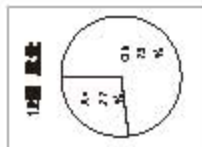
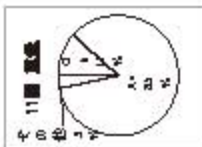
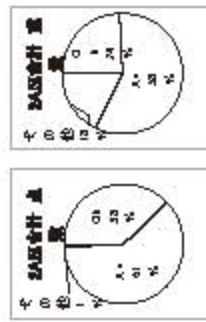
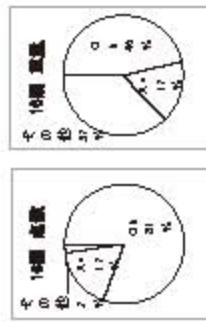
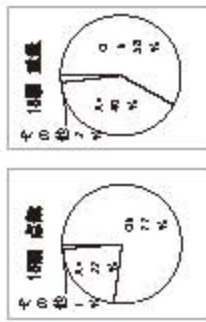
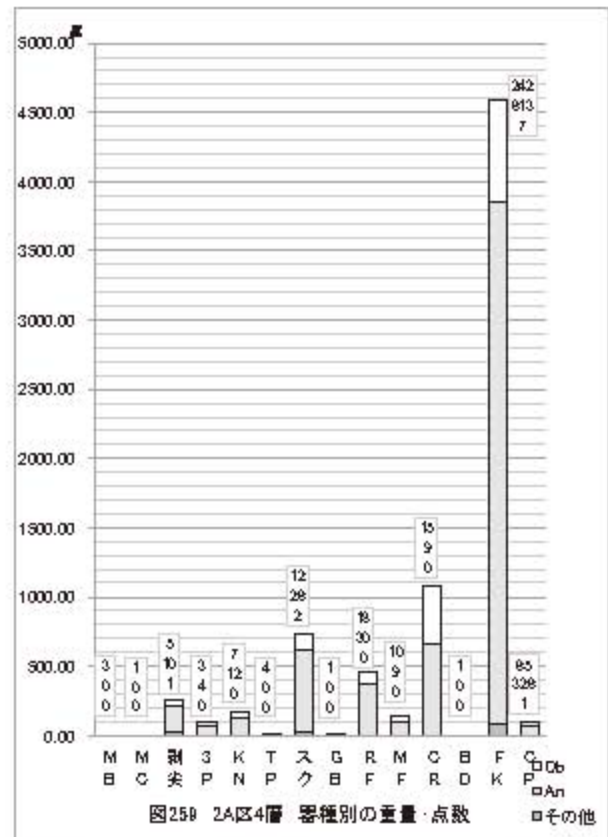
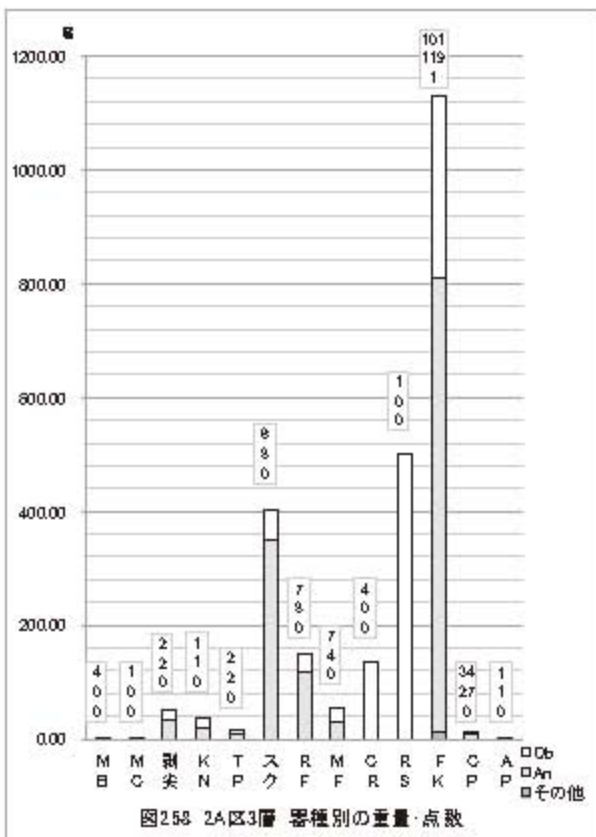
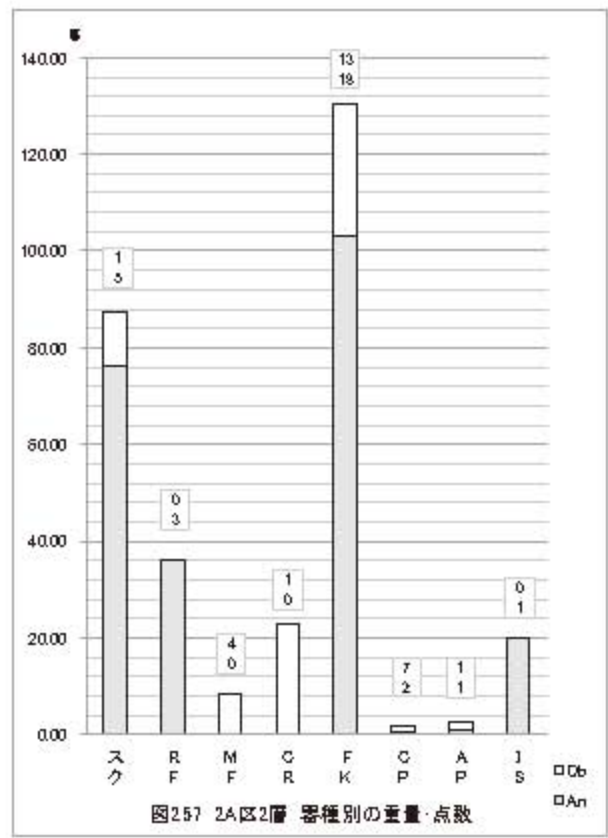
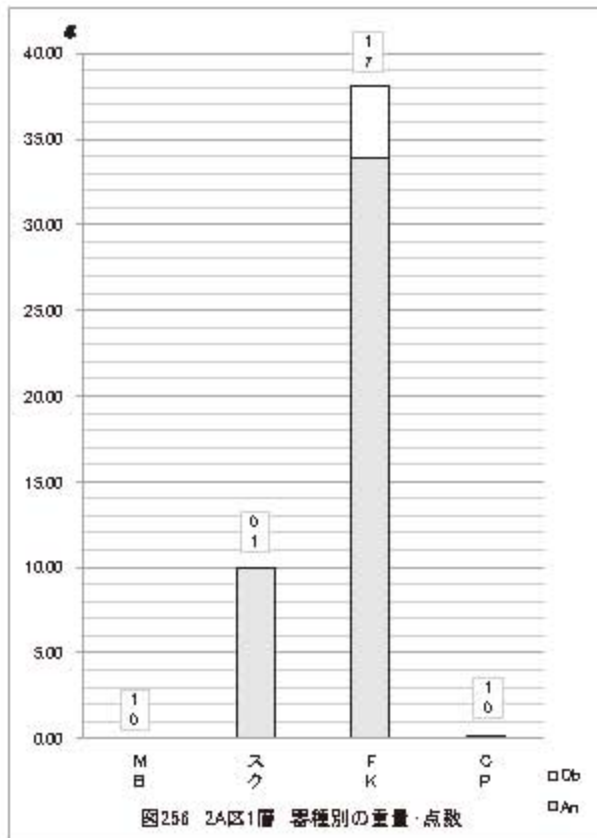


表 15 2A 区 各層の器種組成

層	MB	M2C	形状	3P	XN	TP	スリ	OB	RF	MF	CR	ED	積存率	RS	PK	CP	AP	ES	点	
15	Ob	-	-	-	3	1	8	2	4	10	6	-	-	-	130	8	-	-	172	
		-	-	-	1.7	0.6	47	12	2.3	5.8	3.5	-	-	-	75.6	47	-	-	%	
		-	-	-	7.46	1.66	9455	1838	1305	4671	10906	-	-	-	4840	2.62	-	-	740.88	
		-	-	-	1.0	0.2	128	25	1.8	6.2	14.7	-	-	-	60.5	0.4	-	-	%	
An	-	-	-	-	-	-	3	-	3	4	3	-	-	-	32	3	-	-	48	
		-	-	-	-	-	6.3	-	6.3	6.3	6.3	-	-	-	66.7	6.3	-	-	%	
		-	-	-	-	-	50.47	-	50.55	76.15	162.66	-	-	-	169.10	1.67	-	-	510.60	
		-	-	-	-	-	9.9	-	9.9	14.9	31.9	-	-	-	33.1	0.3	-	-	%	
その他 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2378	-	-	-	2378	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	%	
合計	-	-	-	-	3	1	11	2	7	14	9	-	-	-	165	11	-	-	223	
		-	-	-	1.3	0.4	49	0.9	3.1	6.3	4.0	-	-	-	74.0	4.9	-	-	%	
		-	-	-	7.46	1.66	14502	1838	6360	12186	27172	-	-	-	64128	4.29	-	-	127526	
		-	-	-	0.6	0.1	11.4	1.4	5.0	9.6	21.3	-	-	-	50.3	0.3	-	-	%	
Ob	-	-	-	-	5	3	8	2	18	19	6	-	-	-	167	6	-	-	234	
		-	-	-	2.1	1.3	3.4	0.9	7.7	8.1	2.6	-	-	-	71.4	2.6	-	-	%	
		-	-	-	13.63	5.77	10495	949	11286	9186	13646	-	-	-	66959	0.69	-	-	113530	
		-	-	-	1.2	0.5	9.2	0.8	9.9	8.1	12.0	-	-	-	58.1	0.1	-	-	%	
An	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	40	4	-	-	49	
		-	-	-	-	-	2.0	4.1	2.0	-	2.0	-	-	-	81.5	8.2	-	-	%	
		-	-	-	20.87	33.18	-	-	4.09	-	4450	-	-	-	30459	1.52	-	-	40875	
		-	-	-	-	-	5.1	8.1	1.0	-	10.9	-	-	-	74.5	0.4	-	-	%	
その他 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	7	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	23.6	57.1	-	-	%	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	844.30	10.74	5357	-	-	908.61	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	92.9	1.2	5.9	-	-	%	
合計	-	-	-	-	5	4	10	2	19	19	7	-	-	-	211	10	-	-	290	
		-	-	-	1.7	1.4	3.4	0.7	6.6	6.6	2.4	-	-	-	72.8	3.4	-	-	%	
		-	-	-	13.63	26.64	13813	949	11696	9186	18096	-	-	-	844.30	10.74	5357	-	2462.66	
		-	-	-	0.6	1.1	5.6	0.4	4.8	3.7	7.4	-	-	-	34.4	0.4	41.5	-	%	
Ob	10	2	9	4	18	12	39	5	52	57	41	2	-	1	766	189	2	-	1209	
		0.8	0.2	0.7	0.3	1.5	10	3.2	0.4	4.3	3.4	0.2	-	-	0.1	63.4	15.5	0.2	-	%
		1.36	1.33	8.111	30.21	94.06	3359	402.19	3419	262.38	2485.8	300	-	-	499.40	2740.81	46.04	2.21	-	5531.31
		0.0	0.0	1.5	0.5	1.7	0.6	7.3	0.6	47	45	19.0	0.1	-	9.0	49.5	0.8	0.0	-	%
An	-	-	-	-	5	4	61	1	62	19	18	-	-	-	1219	532	2	1	1963	
		-	-	-	0.8	0.3	1.2	0.2	3.1	10	0.9	-	-	-	62.1	27.1	0.1	0.1	%	
		-	-	-	312.09	82.92	25258	3044	1596.31	1486	865.95	21347	1182.10	-	8593.13	142.07	2.18	19.60	13307.30	
		-	-	-	2.3	0.6	1.9	0.2	12.0	1.6	8.9	-	-	-	64.5	1.1	0.0	0.1	%	
合計	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	1	-	-	2	19	1	-	-	30	
		-	-	-	3.3	-	10.0	-	-	-	3.3	-	-	-	10.0	6.7	63.3	3.3	-	%
		-	-	-	27.07	-	5397	-	-	-	8450	-	-	-	3667.93	10.74	266.67	0.10	-	4006.98
		-	-	-	0.7	-	1.5	-	-	-	2.1	-	-	-	89.0	0.3	6.4	0.0	-	%
合計	10	2	26	9	41	16	103	6	114	76	60	2	3	3	2004	722	4	1	3202	
		0.3	0.1	0.8	0.3	1.3	0.5	3.2	2.6	2.4	1.9	0.1	0.1	0.1	62.5	22.5	0.1	0.0	%	
		1.36	1.33	420.27	1131.3	3466.3	6403	2068.47	4905	1127.73	4620.6	2317.46	300	3667.93	510.14	11590.61	188.21	439	19.80	22845.59
		0.0	0.0	1.8	0.5	1.5	0.3	9.0	0.2	4.9	2.0	10.1	0.0	15.6	2.2	60.7	0.8	0.0	0.1	%





※グラフ内の2段・3段の数字については上から順に石材の点数を示している

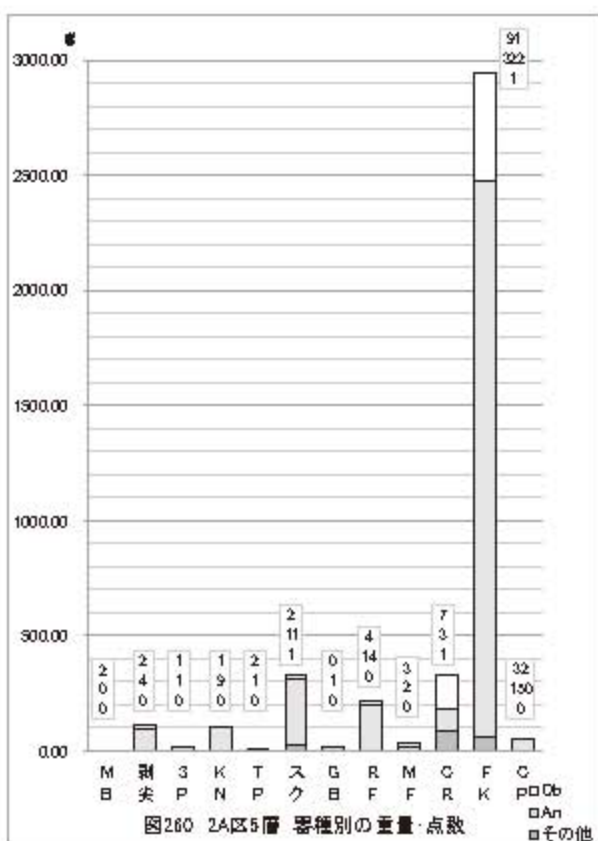


図260 2A区5層 器種別の重量・点数

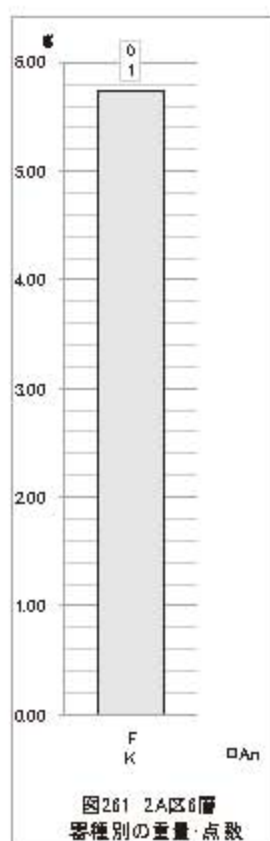


図261 2A区6層 器種別の重量・点数

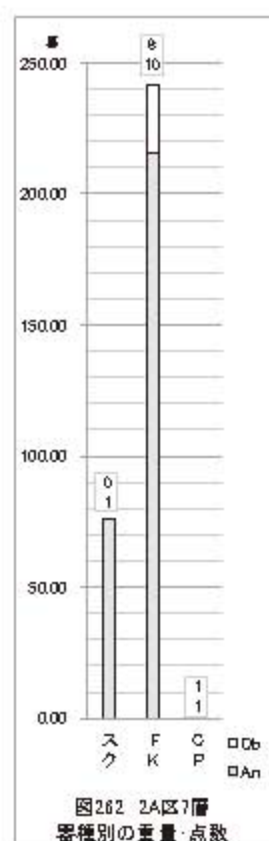


図262 2A区7層 器種別の重量・点数

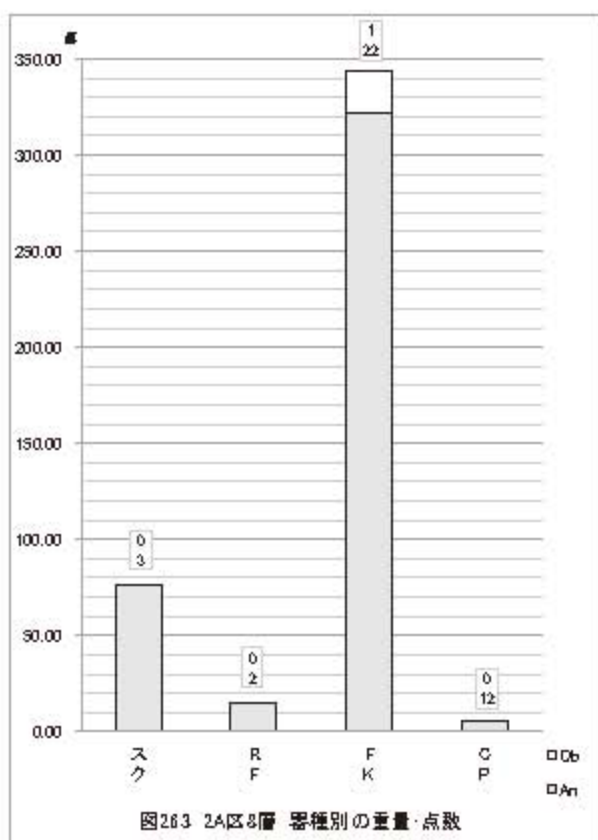


図263 2A区8層 器種別の重量・点数

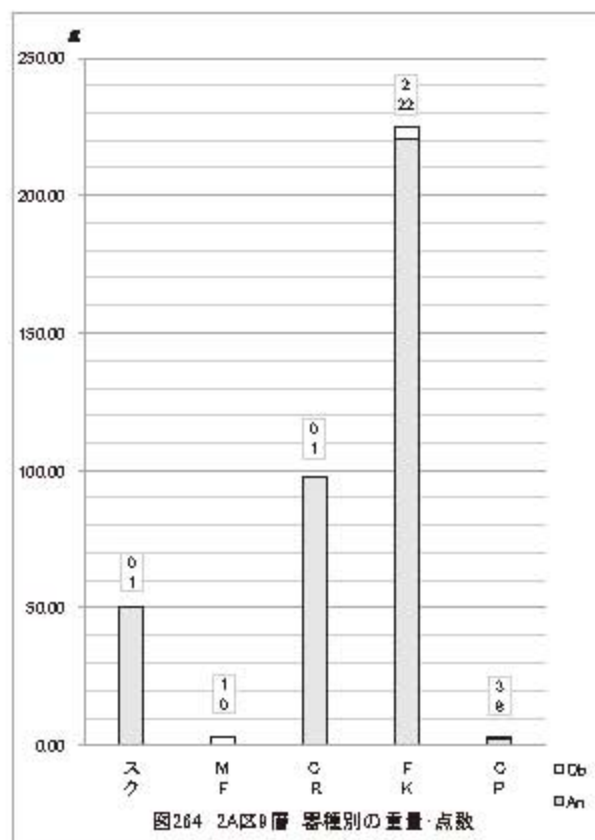
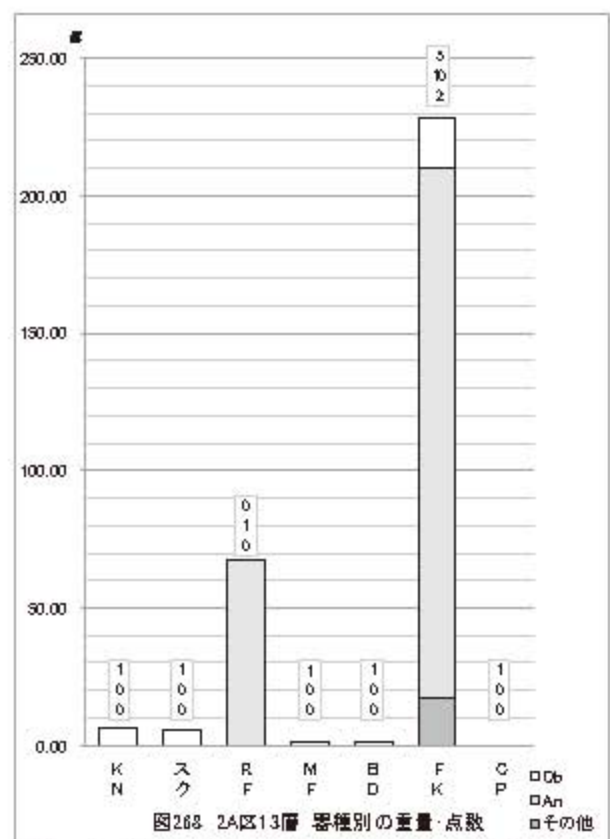
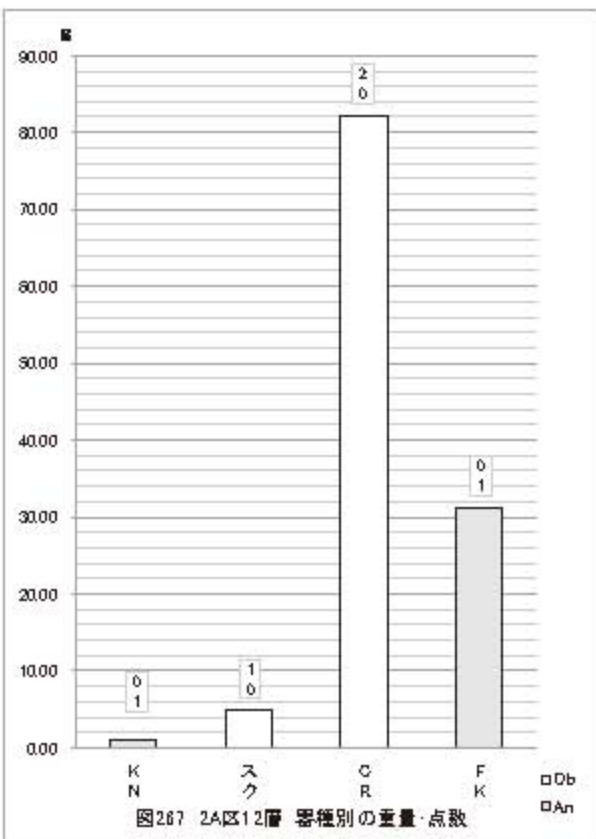
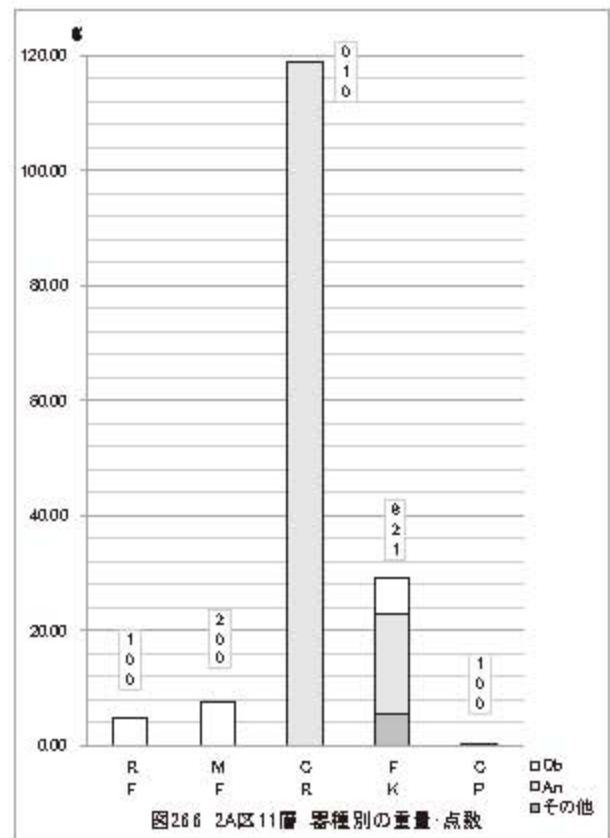
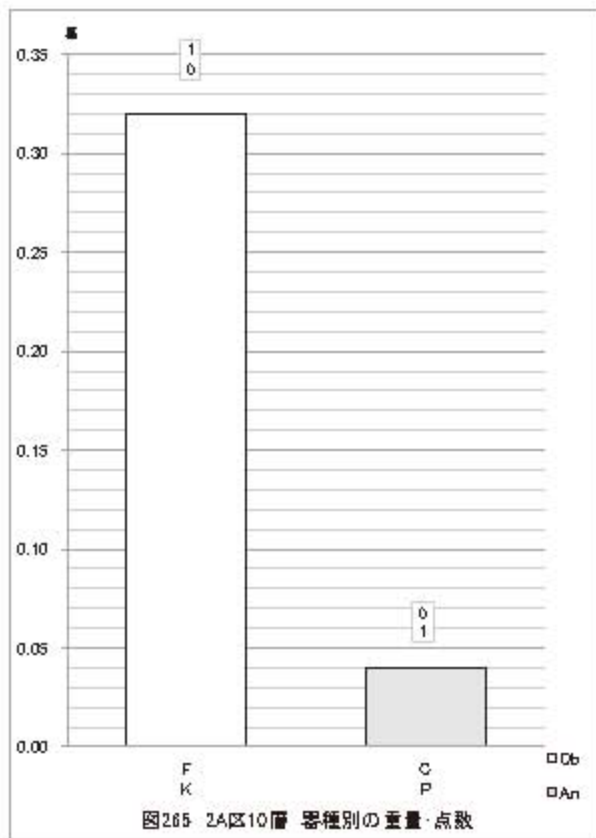
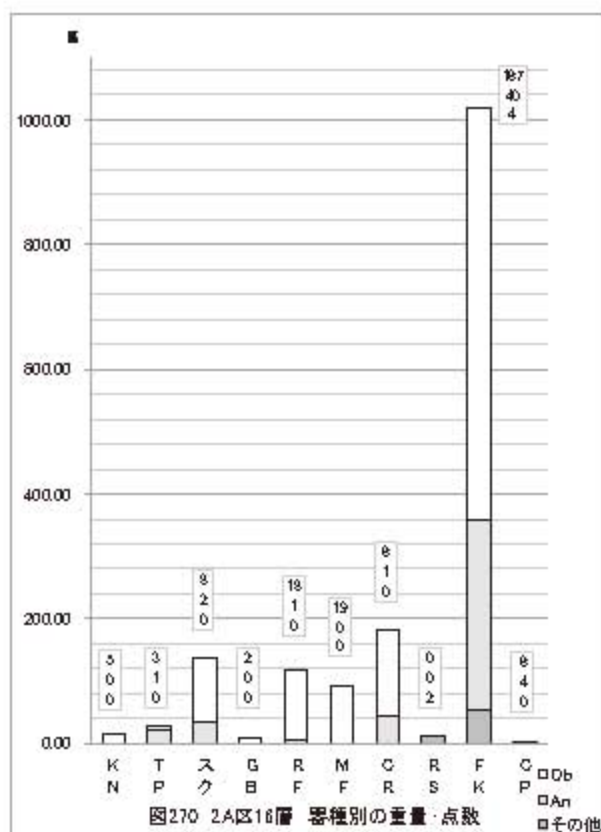
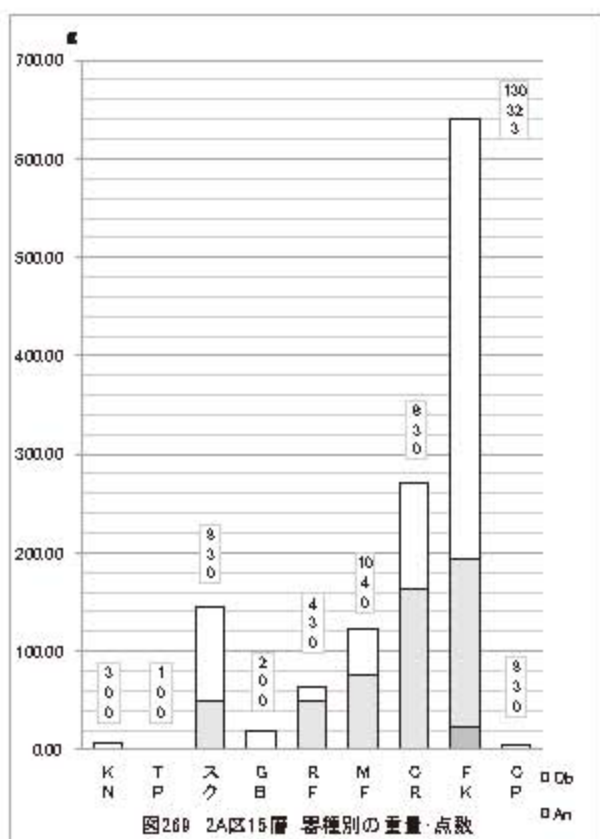


図264 2A区9層 器種別の重量・点数

※グラフ内の2段・3段の数字については上から順に石材の点数を示している



※グラフ内の2段・3段の数字については上から順に石材の点数を示している



※グラフ内の3段の数字については上から順に石材の点数を示している

表 16 2A 区 各層の黒曜石産地別の点数・重量

	Ob①	Ob②	Ob③	Ob④	Ob⑤	Ob⑥	Ob⑦	Ob⑧	Ob⑨	合計
1層	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3 点
	4.35	-	-	-	-	-	-	-	-	4.35 g
2層	19	-	7	-	-	-	-	1	-	27 点
	40.50	-	31.57	-	-	-	-	0.42	-	72.49 g
3層	98	6	60	1	-	-	-	4	2	171 点
	238.52	1.14	242.76	27.99	-	-	-	583.49	13.01	1106.91 g
4層	205	2	193	4	-	-	-	3	10	417 点
	688.55	0.98	831.30	7.50	-	-	-	25.75	6.88	1560.96 g
5層	69	1	67	5	-	-	-	2	3	147 点
	180.30	7.62	478.17	41.26	-	-	-	3.18	4.24	714.77 g
7層	1	-	-	-	-	-	-	6	-	7 点
	2.34	-	-	-	-	-	-	24.66	-	27.00 g
8層	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1 点
	22.06	-	-	-	-	-	-	-	-	22.06 g
9層	3	-	-	-	-	-	-	3	-	6 点
	3.93	-	-	-	-	-	-	3.82	-	7.75 g
10層	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1 点
	0.32	-	-	-	-	-	-	-	-	0.32 g
11層	8	-	2	-	-	-	-	-	-	10 点
	11.92	-	6.69	-	-	-	-	-	-	18.61 g
12層	2	-	1	-	-	-	-	-	-	3 点
	39.85	-	47.18	-	-	-	-	-	-	87.03 g
13層	7	-	3	-	-	-	-	-	-	10 点
	14.46	-	18.42	-	-	-	-	-	-	32.88 g
15層	148	-	21	-	-	-	-	1	2	172 点
	630.98	-	92.84	-	-	-	-	12.10	4.96	740.88 g
16層	191	3	33	-	-	-	-	5	2	234 点
	913.81	13.11	171.50	-	-	-	-	29.67	7.21	1135.3 g
合計	756	12	387	10	-	-	-	25	19	1209 点
	2791.89	22.85	1920.43	76.75	-	-	-	683.09	36.30	5531.31 g

※ Ob①：扇岳産、Ob②：推葉川産、Ob③：針尾島産、Ob④：小国産、Ob⑤：牟田産、
Ob⑥：針尾牛ノ岳産、Ob⑦：赤色の縞模様、Ob⑧：ガラス質安山岩、Ob⑨：①～⑧以外

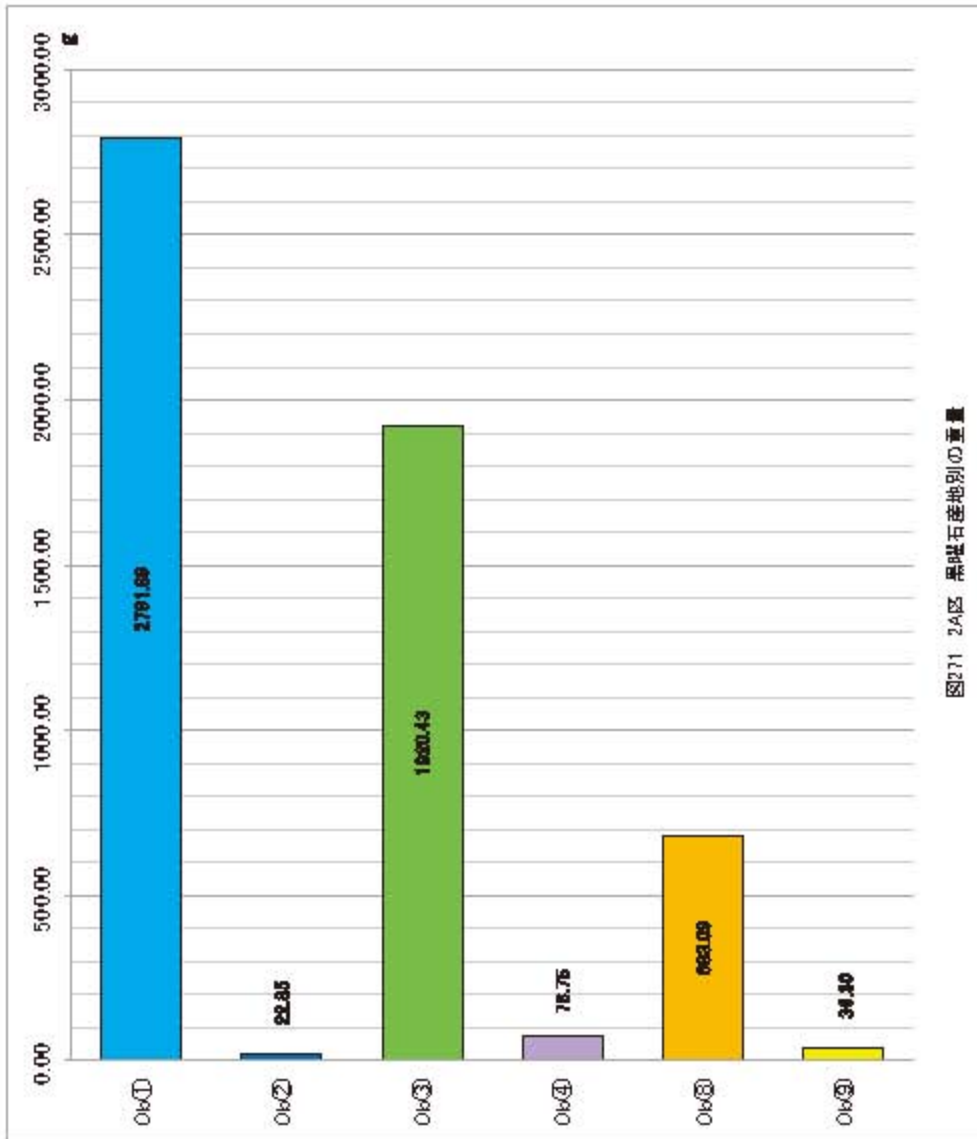


図271 2A区 黒曜石産地別の重量

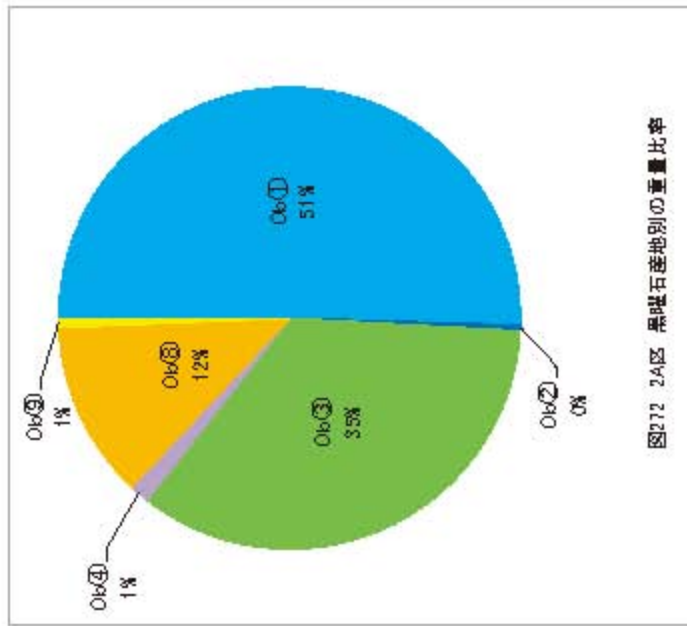


図272 2A区 黒曜石産地別の重量比率

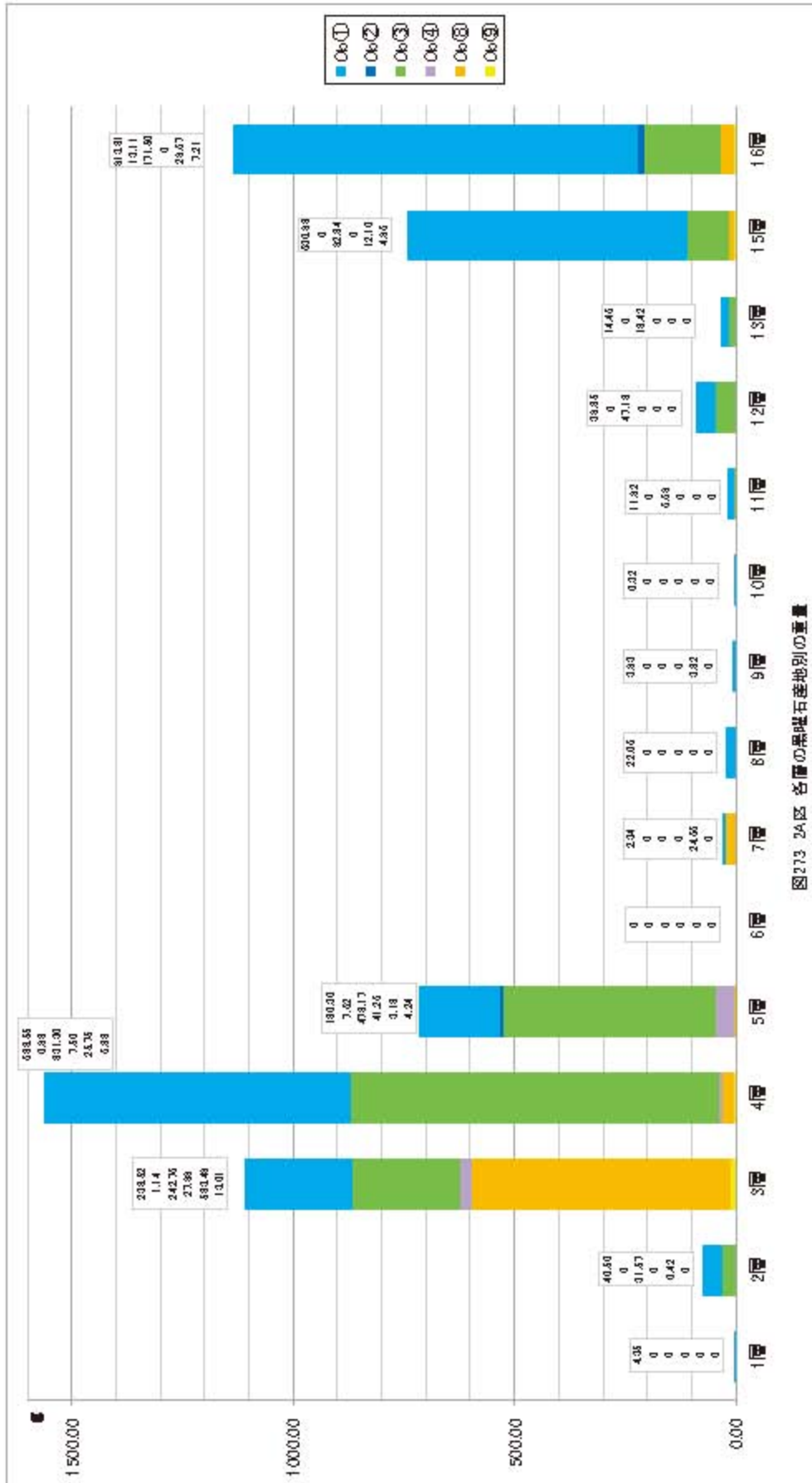


図273 2A区 各層の黒曜石産地別の重量

※グラフ内の8段の数字については上から5段に産地ごとの重量を示している

表 17 2A 区 名属の黒曜石産地別の器種組成

器種	MB	MC	MA	MF	MP	MR	MT	スチ	CF	PF	MF	CR	ED	ES	ER	CP	AP	点
Cb①	3	1	2	1	6	1	12	1	16	7	7	7	1	-	110	37	-	206
	15	0.5	10	0.5	2.9	0.5	5.9	0.5	7.8	3.4	3.4	3.4	0.5	-	53.7	18.0	-	%
	0.43	1.15	2188	827	3085	221	10956	632	7518	2917	13297	1397	1.93	-	258.23	9.40	-	68855
	0.1	0.2	32	12	45	0.3	15.9	0.9	10.9	4.2	19.5	0.3	-	-	37.5	1.4	-	%
Cb②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.98	-	-	0.98
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	%
Cb③	-	-	3	2	1	3	-	-	2	3	7	7	-	-	121	51	-	193
	-	-	16	10	0.5	1.6	-	-	10	1.6	3.6	3.6	-	-	62.7	26.4	-	%
	-	-	2506	1621	1383	1100	-	-	511	18.37	269.43	-	-	-	457.57	14.72	-	831.90
	-	-	30	19	1.7	1.3	-	-	0.6	2.2	32.4	-	-	-	55.0	1.8	-	%
4 Cb④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	4
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75.0	250	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.69	0.81	-	7.50
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	89.2	10.8	-	%
Cb⑤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	-	-	3
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	66.7	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1382	-	-	1193	-	-	25.75
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53.7	-	-	45.3	-	-	%
Cb⑥	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	6	-	10
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	600	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.06	0.82	-	6.88
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88.1	11.9	-	%
合計	3	1	5	3	7	4	12	1	18	10	15	15	1	-	242	95	-	417
	0.7	0.2	12	0.7	1.7	1.0	2.9	0.2	4.3	2.4	3.6	3.6	0.2	-	58.0	22.8	-	%
	0.43	1.15	4594	2448	4468	1321	10956	632	8029	47.54	417.22	1.93	-	-	741.45	25.75	-	1560.96
	0.0	0.1	30	16	2.9	0.8	7.0	0.4	5.1	3.0	26.7	0.1	-	-	97.5	1.6	-	%

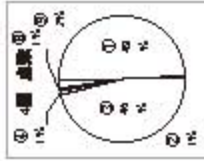
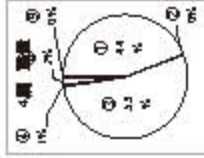


表 17 2A 区 名属の黒曜石産地別の器種組成

器種	MB	MC	種数	3P	RM	TP	スク	CP	RF	MF	CR	ED	KS	PK	CP	AP	点	%
Cb①	1	-	1	1	1	2	1	-	3	3	1	-	-	37	18	-	69	%
	1.4	-	1.4	1.4	1.4	2.9	1.4	-	4.3	4.3	1.4	-	-	53.6	26.1	-	180.30	%
	0.03	-	7.88	5.73	5.63	6.21	7.46	-	17.59	18.68	13.97	-	-	92.78	43.4	-	-	%
Cb②	0.0	-	4.4	3.2	3.1	3.4	4.1	-	9.8	10.4	7.7	-	-	51.5	2.4	-	-	%
	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	%
	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.62
Cb③	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	46	12	-	67	%
	1.5	-	-	-	-	1.5	1.5	-	1.5	-	9.0	-	-	68.7	17.9	-	-	%
	0.07	-	-	-	-	10.14	-	-	4.42	-	135.83	-	-	324.08	35.3	-	478.17	%
5	0.0	-	-	-	-	-	2.1	-	0.9	-	28.4	-	-	67.8	0.8	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	5	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	%
Cb④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41.26	-	-	41.26	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	%
Cb⑤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.17	0.01	-	3.18	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99.7	0.3	-	-	%
Cb⑥	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	3	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.33	0.91	-	42.4	%
合計	2	-	2	1	1	2	2	-	4	3	7	-	-	91	32	-	147	%
	1.4	-	1.4	0.7	0.7	1.4	1.4	-	2.7	2.0	4.8	-	-	61.9	21.8	-	-	%
	0.10	-	15.60	5.73	5.63	6.21	17.60	-	22.01	18.68	149.80	-	-	464.62	8.89	-	714.77	%
Cb①	0.0	-	2.2	0.8	0.8	0.9	2.5	-	3.1	2.6	21.0	-	-	66.0	1.2	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	%
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.34	-	-	2.34	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	-	6	%
Cb②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83.3	16.7	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23.81	0.85	-	24.66	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96.6	3.4	-	-	%
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	-	7	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	85.7	14.3	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26.15	0.85	-	27.00	%
Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96.9	3.1	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	%
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22.06	-	-	22.06	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	%
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22.06	-	-	22.06	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	%

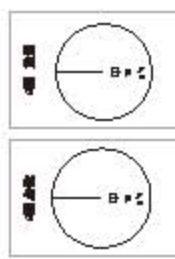
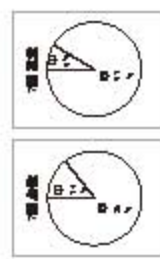


表 17 2A 区 名属の黒曜石産地別の器種組成

区	器種	MB	MC	MCA	歩	NM	TP	スケ	CP	PF	MGF	CR	ED	KS	PK	CP	AP	点			
																		1	2		
9	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	1	1	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.75	-	-	-	1.07	0.11	-	-	39.3	39.3
9	Cb②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	70.0	-	-	-	27.2	2.8	-	-	1	2	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	3	3	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7	-	-	33.3	66.7	
9	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	86.9	13.1	-	-	2	3	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	33.3	50.0	-	-	33.3	50.0	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.75	-	-	-	4.29	0.61	-	-	7.75	7.75	
10	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35.5	-	-	-	56.6	7.9	-	-	1	1	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.32	-	-	-	0.32	0.32	
10	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	1	1	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.32	-	-	-	0.32	0.32	
11	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	1	-	-	5	8	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	62.5	12.5	-	-	62.5	12.5	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.47	-	-	-	4.29	0.16	-	-	11.92	11.92	
11	Cb②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62.7	-	-	-	36.0	1.3	-	-	1	2	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	
11	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	69.1	-	-	-	-	2.07	-	-	-	6	10	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	20.0	-	-	60.0	10.0	-	-	60.0	10.0	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	46.2	7.47	-	-	6.36	0.16	-	-	18.61	18.61	
12	Cb①	-	-	-	-	-	-	-	-	248	40.1	-	-	-	34.2	0.9	-	-	1	2	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	
12	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	349.2	-	-	-	-	39.85	-	-	-	2	39.85	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.93	-	-	-	87.6	-	-	-	1	87.6	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	100.0	-	-	-	1	100.0	
12	Cb②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

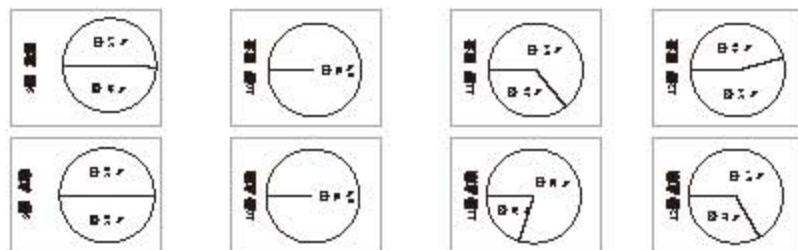
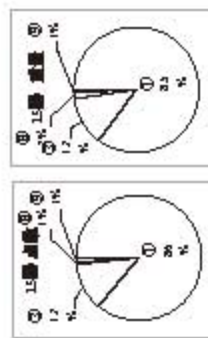
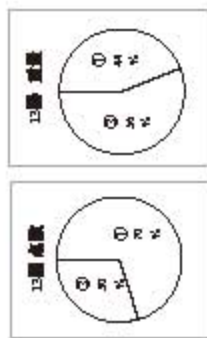


表 17 2A 区 各層の黒曜石産地別の器種組成

層	MB	MC	神法	歩	MN	TP	スリ	CF	RF	MF	CR	ED	KS	PK	CP	AP	点				
																	数	%			
13	Cb①	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	3	1	-	-	7			
		-	-	-	143	-	-	-	-	143	-	-	143	-	42.9	143	-	-	%		
		-	-	-	659	-	-	-	-	111	-	-	107	-	5.61	0.08	-	-	14.45	%	
		-	-	-	456	-	-	-	-	7.7	-	-	7.4	-	38.8	0.6	-	-	%		
		-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	%	
13	Cb②	-	-	-	-	-	333	-	-	-	-	-	-	56.7	-	-	-	44			
		-	-	-	-	-	5.70	-	-	-	-	-	-	12.72	-	-	-	18.42	%		
		-	-	-	-	-	30.9	-	-	-	-	-	-	69.1	-	-	-	%			
		-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	1	-	5	1	-	10	%		
		-	-	-	100	-	100	-	-	100	-	-	100	-	50.0	100	-	-	%		
合計	-	-	-	659	-	5.70	-	-	111	-	1.07	-	18.33	0.08	-	-	32.88	%			
	-	-	-	200	-	17.3	-	3.4	-	3.3	-	3.3	-	56.7	0.2	-	1.48	%			
	-	-	-	3	1	8	2	4	9	3	-	112	6	75.7	4.1	-	630.98	%			
	-	-	-	2.0	0.7	5.4	1.4	2.7	6.1	2.0	-	393.73	1.42	62.4	0.2	-	21	%			
	-	-	-	7.46	1.65	9.455	18.38	13.05	42.87	57.87	-	49.74	1.17	53.6	1.3	-	92.84	%			
15	Cb①	-	-	-	1.2	0.3	150	2.9	2.1	6.8	9.2	-	-	17	1	-	-	2.1			
		-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	81.0	4.8	-	-	%			
		-	-	-	-	-	-	-	-	28.4	39.09	-	-	49.74	1.17	-	-	92.84	%		
		-	-	-	-	-	-	-	-	3.1	42.1	-	-	53.6	1.3	-	-	1	%		
		-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	23	%		
15	Cb②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	12.10			
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.10	-	-	-	-	-	%			
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	2	%		
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	496	%		
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	0.6	%	
合計	-	-	-	3	1	8	2	4	10	6	-	-	-	130	8	-	172	%			
	-	-	-	1.7	0.6	4.7	1.2	2.3	5.8	3.5	-	-	-	75.6	4.7	-	-	%			
	-	-	-	7.46	1.65	9.455	18.38	13.05	45.71	109.06	-	-	-	48.40	2.62	-	-	740.88	%		
	-	-	-	1.0	0.2	12.8	2.5	1.8	6.2	14.7	-	-	-	60.5	0.4	-	-	%			
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	%		



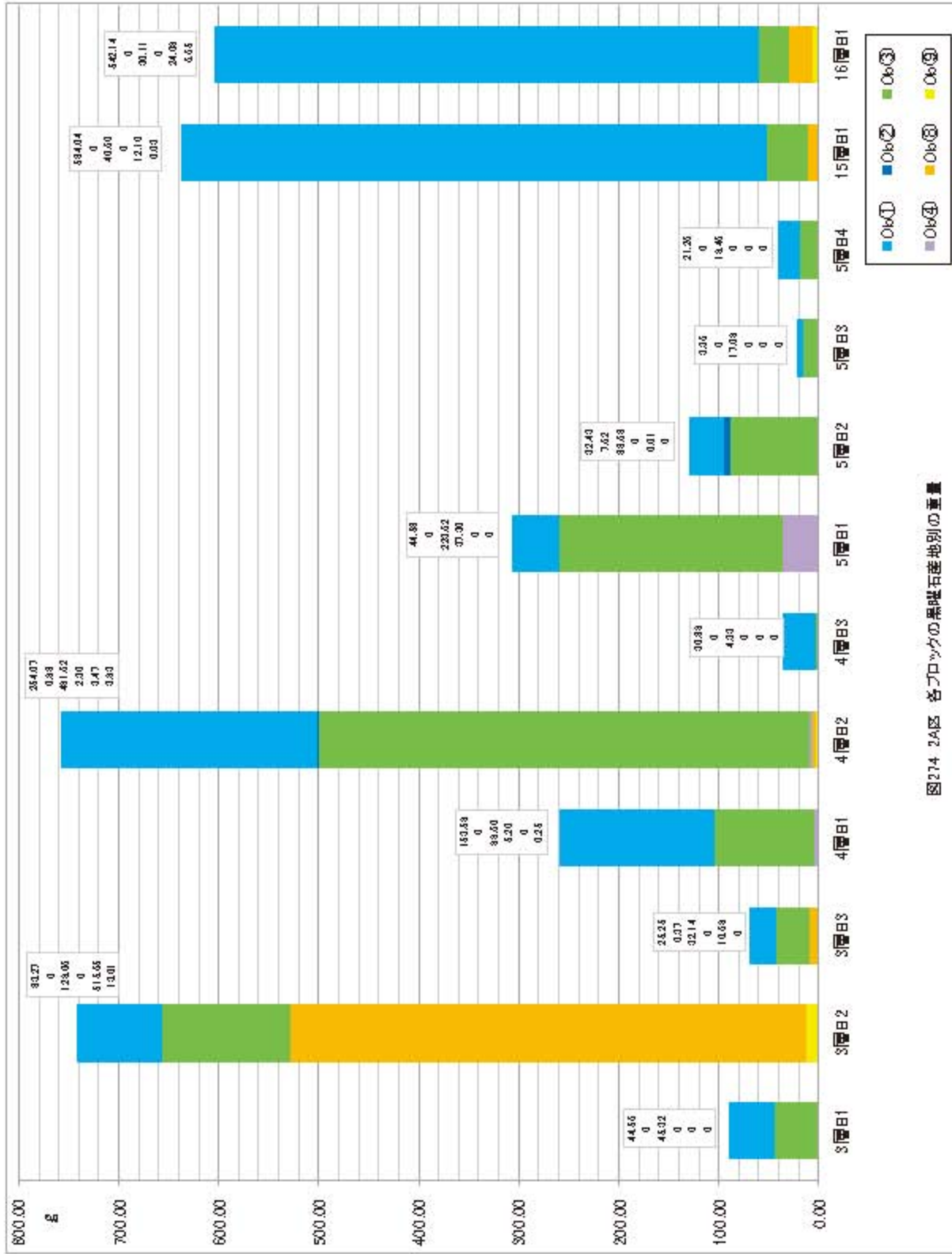


図274 2A区 各ブロックの黒曜石産地別の重量

※グラフ内の数値は上から順に産地ごとの重量を示している

表18 2A区 各層の石器の接合状況・組数

	折れ面	剥離面	合計
3層+4層	-	2	2
3層+5層	-	4	4
4層	5	14	19
4層+5層	6	6	12
5層	9	6	15
7層	-	1	1
8層	1	1	2
9層	1	-	1
15層	2	1	3
15層+16層	2	1	3
16層	2	2	4
合計	28	38	66

図275 2A区 石器の接合状況・組数

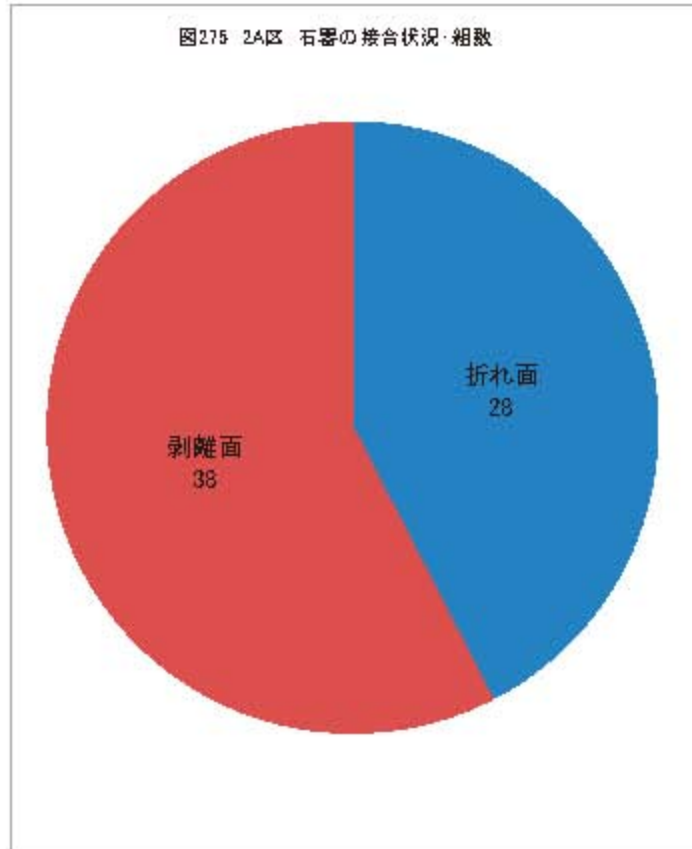


図276 2A区 各層の石器の接合組数

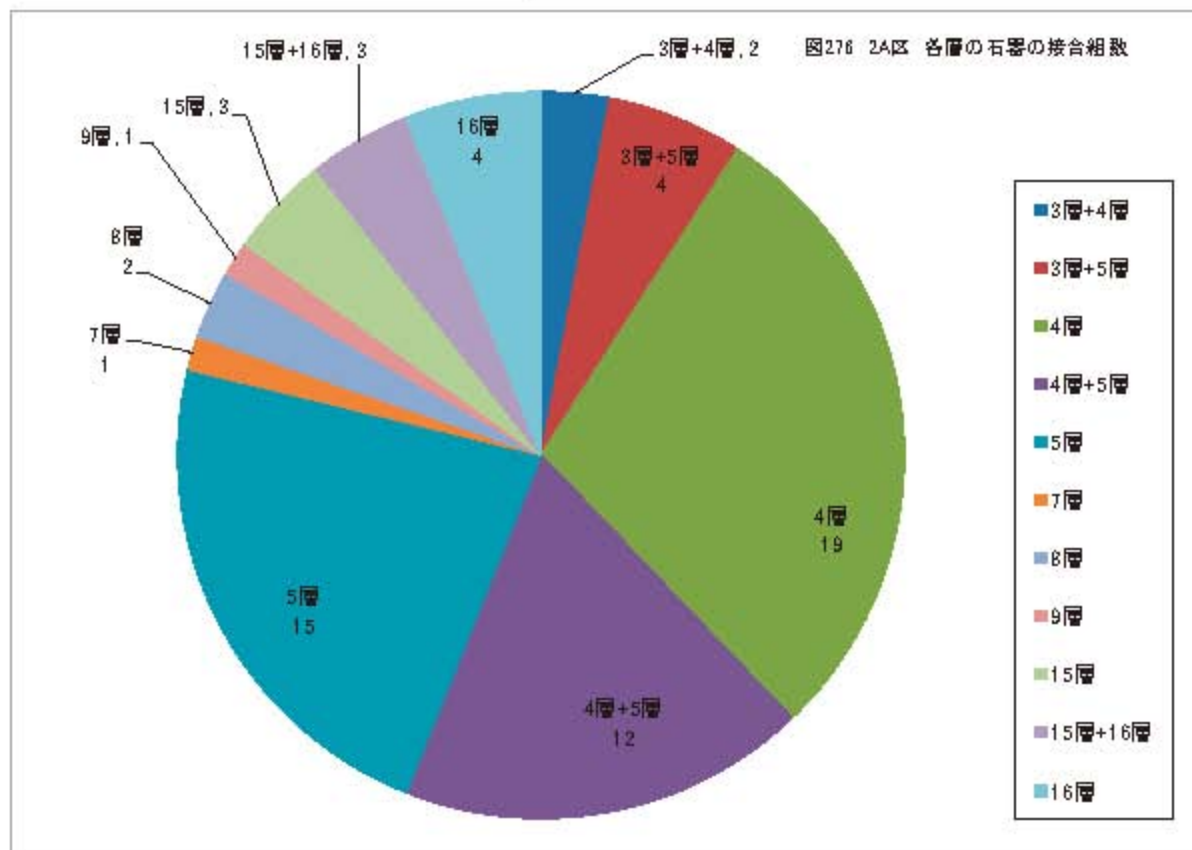


図277 2A区 各層の石器の接合組数(折れ面)

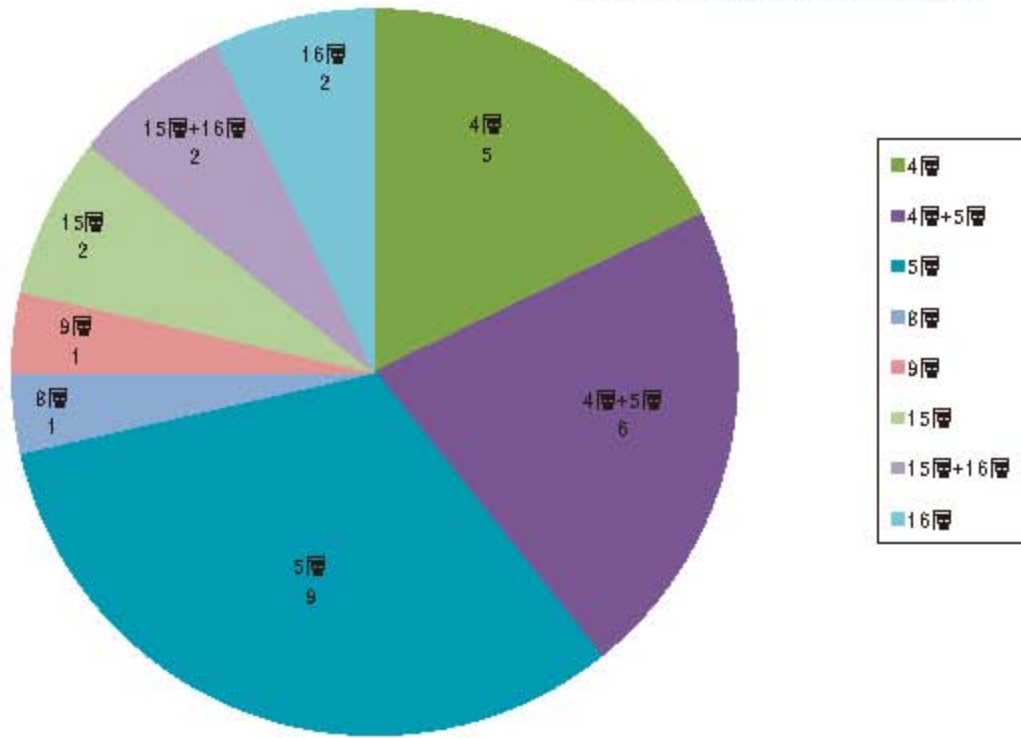
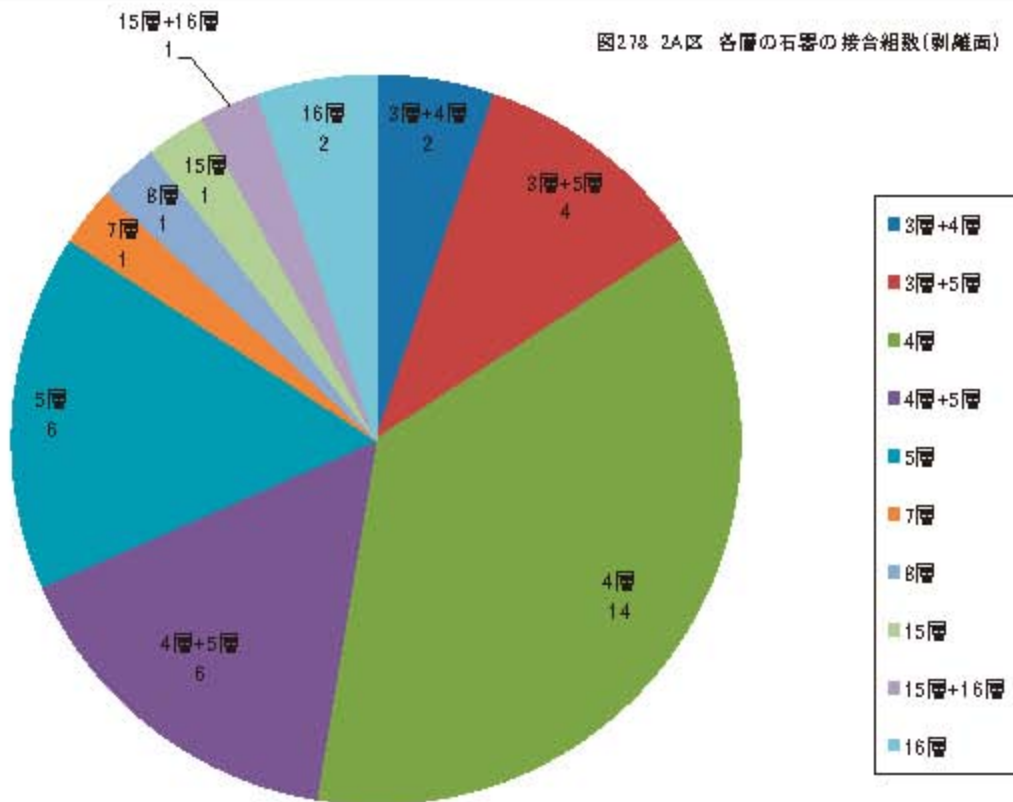
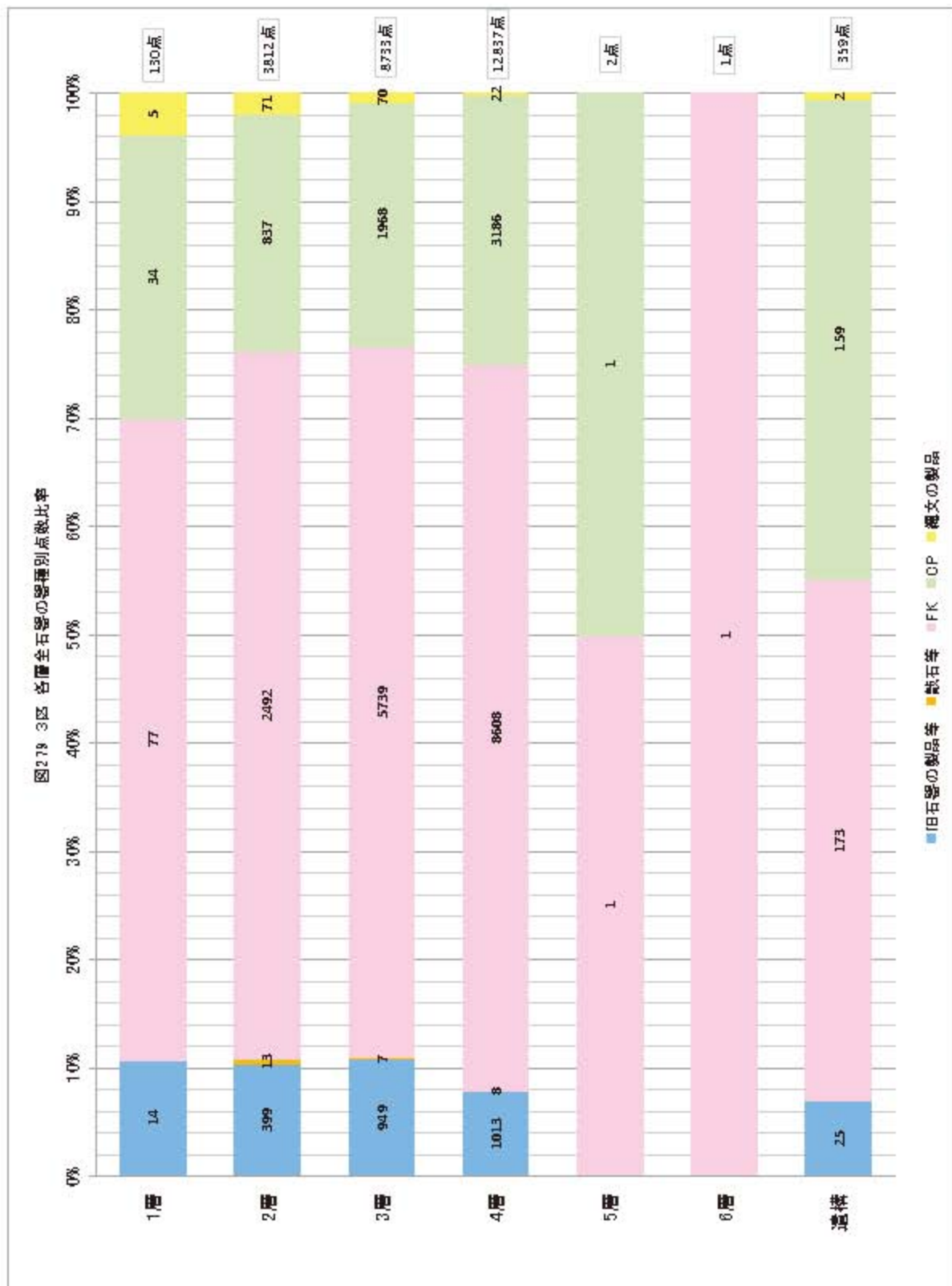
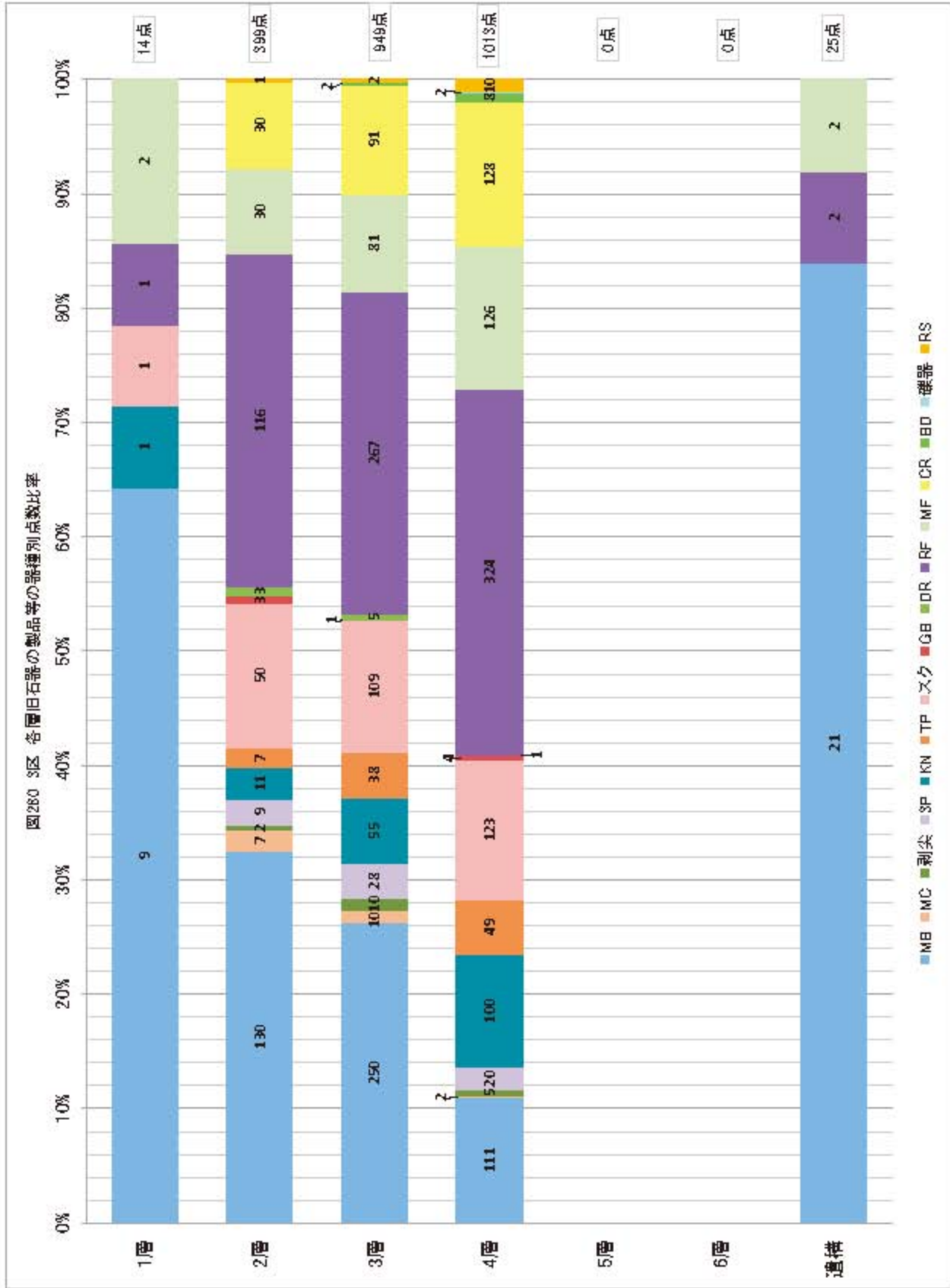
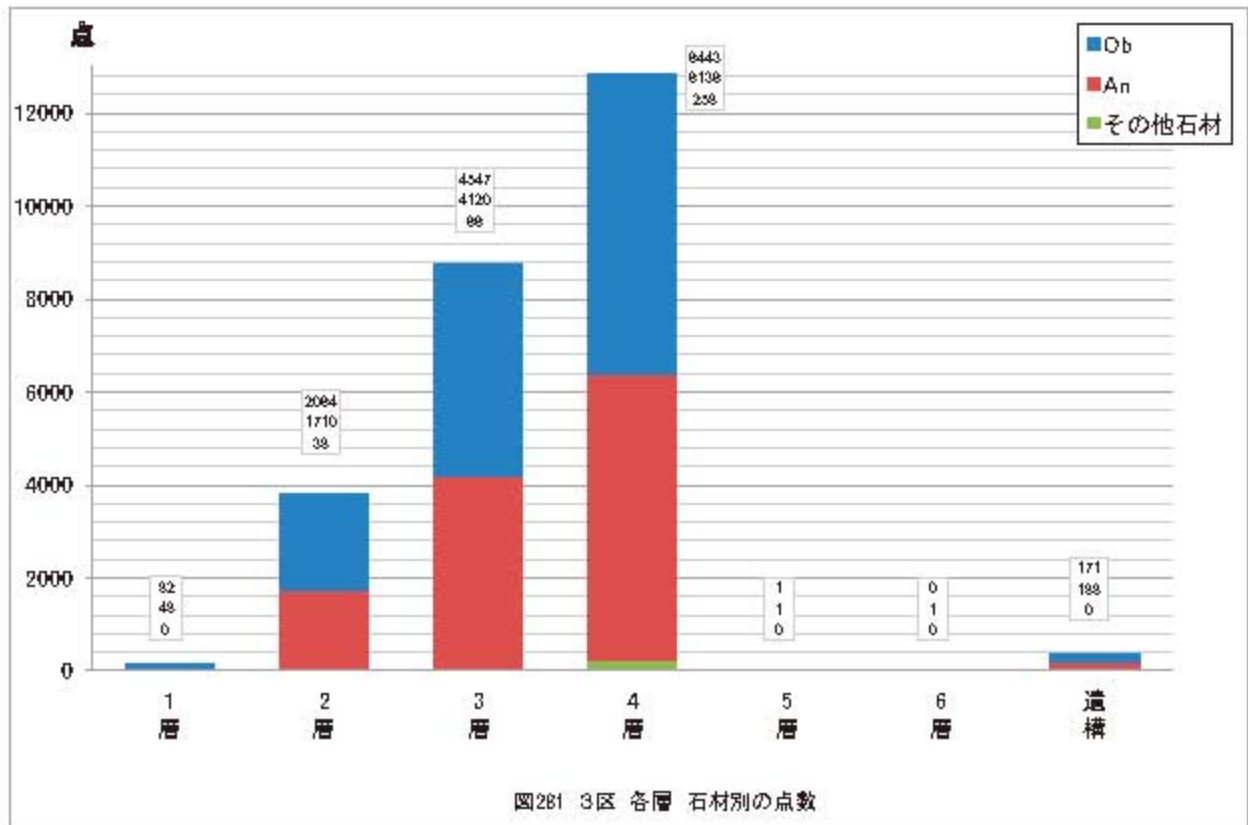


図278 2A区 各層の石器の接合組数(剥離面)

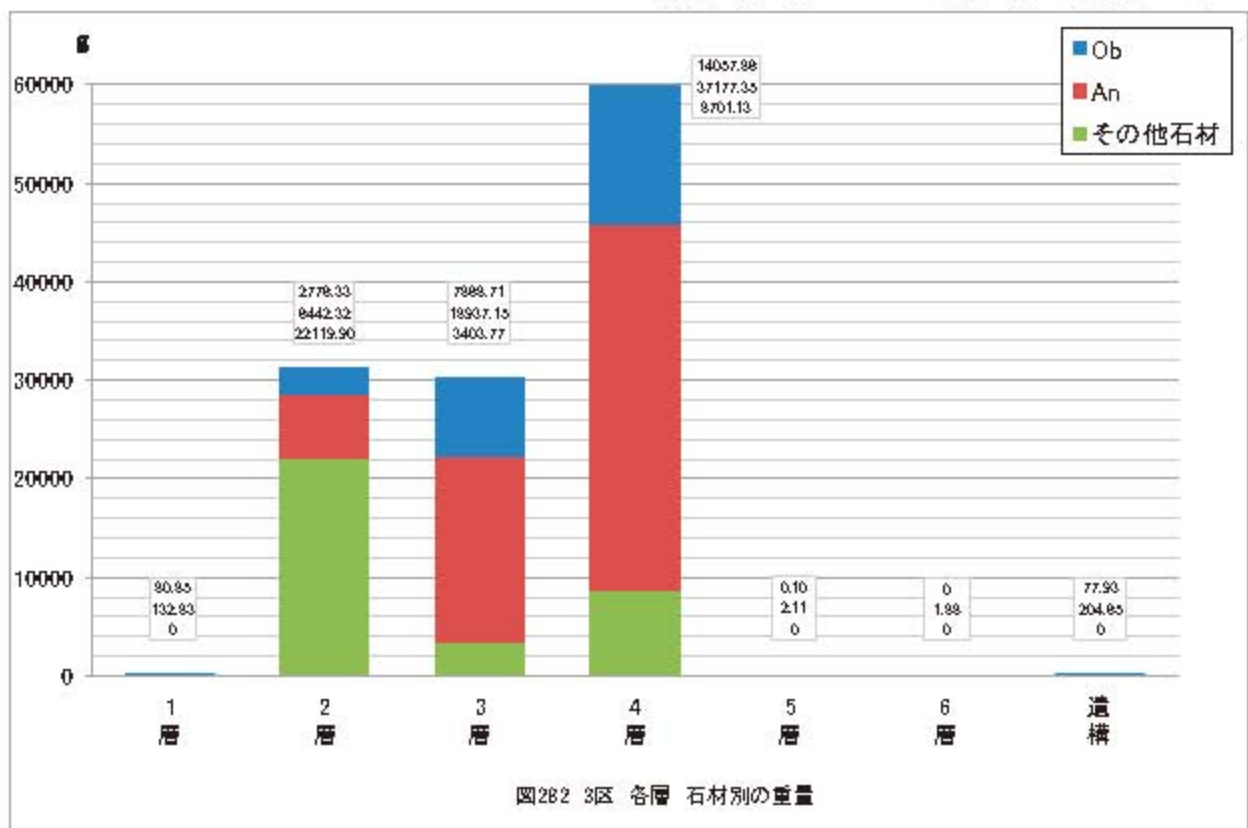








※グラフ内の3段の数字については上から順に石材ごとの点数を示している



※グラフ内の3段の数字については上から順に石材ごとの重量を示している

表 19 3区 各層の器種組成

層	ME	MC	補炭	3P	XM	TP	スク	OB	DR	RF	MF	CR	ED	積存率	腐蝕	YS	FR	CP	AP	VT	Σ	石碎	つまみ形	形状	点
1	9	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	45	20	3	-	-	-	-	-	82
	110	-	-	-	1.2	-	1.2	-	-	-	2.4	-	-	-	-	-	96.1	244	3.7	-	-	-	-	-	%
	0.88	-	-	-	0.91	-	26.45	-	-	-	2.70	-	-	-	-	-	46.30	2.04	157	-	-	-	-	-	80.85
	11	-	-	-	1.1	-	32.7	-	-	-	3.3	-	-	-	-	-	57.3	2.5	2.0	-	-	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	31	14	1	1	-	-	-	-	48
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	-	-	-	-	-	-	64.6	29.1	2.1	2.1	-	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.9	-	-	-	-	-	-	83.46	32.1	1.45	35.32	-	-	-	-	132.83
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.1	-	-	-	-	-	-	62.8	2.4	1.1	25.6	-	-	-	-	%
	9	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	77	34	4	1	-	-	-	-	130
	5.9	-	-	-	0.8	-	0.8	-	-	0.8	1.5	-	-	-	-	-	99.2	25.1	3.1	0.8	-	-	-	-	%
0.88	-	-	-	0.91	-	26.45	-	-	9.9	2.70	-	-	-	-	-	129.76	52.5	30.2	35.32	-	-	-	-	213.68	
0.4	-	-	-	0.4	-	12.4	-	-	4.4	1.3	-	-	-	-	-	60.7	2.5	1.4	16.5	-	-	-	-	206.4	
6.3	0.3	-	0.3	0.3	0.3	0.5	0.15	0.15	3.9	1.3	1.0	-	-	-	1	12.79	4.6	37	-	1	-	-	-	%	
1457	337.4	-	2356	1458	1099	69.78	10.12	20.25	244.70	74.80	252.8	-	-	-	20.38	1833.27	45.17	33.04	-	1.10	-	-	-	2776.33	
0.5	1.2	-	0.85	0.5	0.4	2.5	0.4	0.7	8.8	2.7	11.7	-	-	-	0.75	66.0	1.7	1.2	-	0.1	-	-	-	%	
-	-	-	2	3	4	1	40	-	36	3	10	-	-	-	-	11.92	38.7	25	4	3	-	1	-	1710	
-	-	-	0.1	0.2	0.1	2.3	-	-	2.0	0.2	0.6	-	-	-	-	69.7	22.5	1.5	0.2	0.2	-	0.1	-	%	
-	-	-	3460	2501	22.67	7.18	1337.66	-	3547.1	28.62	1130.62	-	-	-	-	3313.73	73.76	26.91	37.84	47.60	-	1.21	-	6442.32	
-	-	-	0.5	0.4	0.4	0.1	20.8	-	5.5	0.4	17.5	-	-	-	-	51.4	1.2	0.4	0.6	0.7	-	0.1	-	%	
その	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	21	4	-	-	-	-	-	38	
他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34.2	-	56.3	10.5	-	-	-	-	-	-	-	%
材料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21545.86	-	566.02	9.02	-	-	-	-	-	-	-	22119.90
合計	130	7	2	9	11	7	50	3	3	116	30	30	13	-	-	1	2492	837	62	4	4	-	1	-	3812
0.4	0.2	0.05	0.2	0.3	0.2	1.3	0.1	0.1	0.8	0.8	0.8	-	0.3	-	0.05	66.4	21.95	1.6	0.1	0.1	-	0.05	-	%	
1457	337.4	3460	4857	3725	18.17	1407.64	10.12	20.25	599.41	103.42	1455.90	-	21545.86	-	20.38	5712.02	123.95	59.95	37.84	48.70	-	1.21	-	31338.55	
0.01	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	4.5	0.0	0.1	1.9	0.3	4.6	-	68.8	-	0.1	18.2	0.4	0.2	0.1	0.18	-	0.01	-	%	
280	10	1	28	37	30	33	1	5	209	76	47	-	1	-	-	2369	818	31	1	-	-	-	-	4547	
5.5	0.025	0.0	0.6	0.8	0.7	0.7	0.025	0.1	4.6	1.7	1.0	0.025	-	-	-	66.3	18.0	0.7	0.025	-	-	-	-	%	
3145	5855	6355	22825	8379	62.05	4245.2	3.18	14.18	910.18	231.90	788.38	5.39	-	-	-	405.35	85.95	20.09	6.85	-	-	-	-	7868.71	
0.4	0.7	0.1	2.9	1.1	0.8	5.4	0.06	0.2	11.6	2.9	10.0	0.1	-	-	-	62.3	1.1	0.25	0.1	-	-	-	-	%	
-	-	-	9	-	18	8	76	-	68	5	39	1	-	-	-	1	27.32	11.40	27	5	1	-	-	-	4120
-	-	-	0.2	-	0.4	0.2	1.8	-	1.4	0.1	0.95	0.05	-	-	-	0.05	66.3	27.7	0.7	0.1	0.05	-	-	-	%
-	-	-	14988	-	10360	3304	1720.05	-	662.91	38.21	1987.42	10.61	-	-	-	59.37	1390.428	191.56	28.39	30.32	26.97	-	-	-	18937.15
-	-	-	0.8	-	0.5	0.2	9.1	-	3.4	0.2	10.5	0.1	-	-	-	0.3	73.4	1.0	0.2	0.2	0.1	-	-	-	%
-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	7	-	-	1	38	10	1	-	-	-	-	-	66
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.6	0.0	10.6	-	15	57.6	15.2	1.5	-	-	-	-	-	4.5
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63466	-	180604	-	110.34	701.18	30.05	2.23	-	-	-	-	-	9855
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18.6	0.0	53.1	-	32	20.6	0.3	0.1	-	-	-	-	-	1.2
280	10	10	28	55	38	109	1	5	267	81	91	-	2	-	2	57.39	196.8	59	6	1	1	-	3	-	8733
2.9	0.1	0.1	0.3	0.6	0.4	1.2	0.01	0.1	3.1	0.9	1.0	0.02	0.1	-	0.02	66.7	22.5	0.7	0.1	0.01	0.01	-	-	-	0.03
3145	5855	155.43	22825	187.39	95.09	2144.57	3.18	14.18	1569.09	270.11	3410.45	17.00	180604	-	189.71	19510.81	283.56	51.25	37.17	26.97	98.55	-	-	-	40.72
0.1	0.2	0.5	0.75	0.6	0.3	7.1	0.05	0.05	5.2	0.9	11.3	0.05	6.0	-	0.6	64.6	0.95	0.15	0.1	0.1	0.1	0.3	-	-	0.1

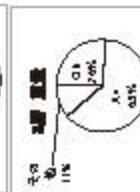
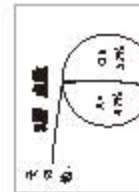
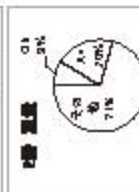
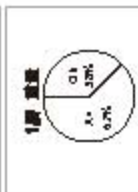
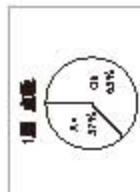


表 19 3 区 名属の器種組成

区	ME	MC	神先	3P	XN	TP	スウ	OB	DR	RF	MF	CR	ED	紋研片	背込	KS	PK	CP	AP	PT	E	塚袋	つまみ	板石	点
4	111	2	1	19	90	49	72	4	-	270	123	62	5	-	-	4	4975	1255	6	1	-	-	-	6442	
	17	0.02	0.01	0.3	1.4	0.7	1.1	0.05	-	42	1.9	0.95	0.05	-	-	0.05	67.9	195	0.08	0.01	-	-	-	-	
	1403	2442	2.77	1298	127455	8819	92350	3603	-	1288.13	487.03	1770.51	29.31	-	-	220.59	86233.94	13127	4.35	4.43	-	-	-	14057.85	
	0.1	0.2	0.02	0.9	1.95	0.5	5.5	0.25	-	9.2	3.5	12.5	0.2	-	-	1.5	61.32	0.9	0.03	0.03	-	-	-	-	
	-	-	4	1	10	5	49	-	1	82	3	59	3	-	-	2	4046	1885	13	1	-	-	-	6135	
	-	-	0.1	0.01	0.2	0.1	0.8	-	0.01	0.8	0.05	1.0	0.05	-	-	0.03	66.9	30.7	0.2	0.01	-	-	-	-	
	-	-	77.88	7.33	56.57	27.38	166.48	-	7.18	825.15	80.22	4707.15	4837	-	-	512.42	686.05	28159.94	29398	13.83	2.46	-	-	37177.95	
	-	-	0.2	0.02	0.2	0.1	4.5	-	0.02	2.2	0.2	12.7	0.1	-	-	1.4	1.8	75.7	0.8	0.05	0.01	-	-	-	
	-	-	-	-	-	1	2	-	-	2	-	7	-	-	8	4	187	45	-	-	-	1	-	-	258
	-	-	-	-	-	6.12	40.89	-	-	35.70	-	1177.69	-	2411.69	-	595.93	3943.96	1063.99	-	-	-	281.15	-	-	87011.3
5	111	2	5	20	100	49	123	4	1	324	125	138	8	8	2	10	8608	3185	19	2	-	-	-	12837	
	0.9	0.01	0.03	0.2	0.8	0.4	1.0	0.02	0.01	2.5	1.0	1.0	0.05	0.05	0.01	0.1	67.1	248	0.1	0.01	-	-	-	-	
	1403	2442	8065	13714	33112	121.69	262922	3603	7.18	2148.98	567.25	7656.36	7828	2411.69	512.42	160357	407328.4	538.24	18.18	6.89	-	-	-	59996.34	
	0.02	0.04	0.1	0.2	0.5	0.2	4.4	0.1	0.01	3.5	0.9	12.8	0.1	40	0.85	2.7	68.0	0.9	0.02	0.01	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1000	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	211	-	-	-	-	-	-	211
6	111	2	1	19	90	49	72	4	-	270	123	62	5	-	-	4	4975	1255	6	1	-	-	-	6442	
	17	0.02	0.01	0.3	1.4	0.7	1.1	0.05	-	42	1.9	0.95	0.05	-	-	0.05	67.9	195	0.08	0.01	-	-	-	-	
	1403	2442	2.77	1298	127455	8819	92350	3603	-	1288.13	487.03	1770.51	29.31	-	-	220.59	86233.94	13127	4.35	4.43	-	-	-	14057.85	
	0.1	0.2	0.02	0.9	1.95	0.5	5.5	0.25	-	9.2	3.5	12.5	0.2	-	-	1.5	61.32	0.9	0.03	0.03	-	-	-	-	
	-	-	4	1	10	5	49	-	1	82	3	59	3	-	-	2	4046	1885	13	1	-	-	-	6135	
	-	-	0.1	0.01	0.2	0.1	0.8	-	0.01	0.8	0.05	1.0	0.05	-	-	0.03	66.9	30.7	0.2	0.01	-	-	-	-	
	-	-	77.88	7.33	56.57	27.38	166.48	-	7.18	825.15	80.22	4707.15	4837	-	-	512.42	686.05	28159.94	29398	13.83	2.46	-	-	37177.95	
	-	-	0.2	0.02	0.2	0.1	4.5	-	0.02	2.2	0.2	12.7	0.1	-	-	1.4	1.8	75.7	0.8	0.05	0.01	-	-	-	
	-	-	-	-	-	1	2	-	-	2	-	7	-	-	8	4	187	45	-	-	-	1	-	-	258
	-	-	-	-	-	6.12	40.89	-	-	35.70	-	1177.69	-	2411.69	-	595.93	3943.96	1063.99	-	-	-	281.15	-	-	87011.3

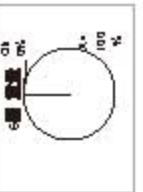
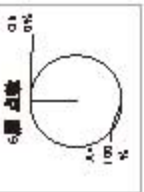
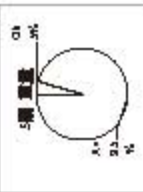
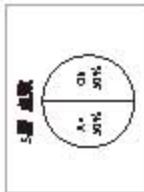
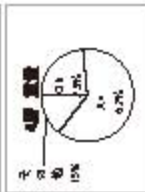


表 19 3 区 名属の器種組成

区	MB	MC	ML	MP	MR	TP	スク	CB	DR	XF	MF	CR	ED	貯存	機器	KS	DK	CP	AP	PT	E	石斧	つまみ形	形石	点
Ob	21	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	81	65	-	-	-	-	-	-	171
	12.3	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	1.2	-	-	-	-	-	47.3	38.0	-	-	-	-	-	-	%
	1.86	-	-	-	-	-	-	-	-	3.25	3.64	-	-	-	-	-	65.72	3.46	-	-	-	-	-	-	77.93
	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	4.7	-	-	-	-	-	84.3	4.4	-	-	-	-	-	-	%
An	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	92	9.4	2	-	-	-	-	-	188
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46.9	50.0	1.1	-	-	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	196.15	7.43	2.07	-	-	-	-	-	204.65
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96.4	3.6	1.0	-	-	-	-	-	%
合計	21	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	173	169	2	-	-	-	-	-	359
	5.8	-	-	-	-	-	-	-	-	0.6	0.6	-	-	-	-	-	46.2	44.2	0.6	-	-	-	-	-	%
	1.86	-	-	-	-	-	-	-	-	3.25	3.64	-	-	-	-	-	260.87	10.89	2.07	-	-	-	-	-	282.58
	0.7	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	1.3	-	-	-	-	-	92.3	3.8	0.7	-	-	-	-	-	%
Ob	521	19	2	53	135	79	116	8	8	562	230	129	6	-	-	-	8790	2605	77	2	1	-	-	-	13308
	3.9	0.1	0.01	0.4	1.0	0.6	0.9	0.1	0.1	4.2	1.7	1.0	0.04	-	-	-	66.7	1.96	0.6	0.01	0.01	-	-	-	%
	6279	116.31	9.32	381.62	373.83	161.23	1444.25	49.33	34.43	2446.26	800.07	2884.17	35.70	-	-	-	240.97	1649.68	259.99	59.06	11.28	1.10	-	-	24861.78
	0.3	0.5	0.04	1.5	1.5	0.6	5.8	0.2	0.1	9.8	3.2	11.6	0.2	-	-	-	1.0	62.3	1.1	0.2	0.05	0.01	-	-	%
An	-	-	-	4	32	14	166	-	1	146	11	108	4	-	-	-	8096	820	68	11	4	-	1	-	12204
	-	-	-	0.1	0.03	0.3	0.1	1.36	-	0.01	1.2	0.9	0.03	-	-	-	0.01	0.02	0.6	0.1	0.03	-	0.01	-	%
	-	-	-	262.36	32.34	182.84	67.60	4722.74	-	7.18	1842.16	147.06	59.68	-	-	-	46660.65	573.94	73.19	105.94	74.67	-	1.21	-	62898.29
	-	-	-	0.4	0.1	0.3	0.1	7.5	-	0.06	2.9	0.2	12.4	0.1	-	-	-	72.6	0.9	0.1	0.2	0.1	-	-	%
その他	-	-	-	-	-	1	2	-	-	2	-	12	-	28	-	-	246	60	1	-	-	2	-	3	362
	-	-	-	-	-	0.3	0.6	-	-	0.6	-	3.3	-	7.7	-	-	1.4	67.9	16.6	0.3	-	0.6	-	0.8	%
	-	-	-	-	-	6.12	40.89	-	-	35.70	-	1812.95	-	25763.69	-	-	807.27	5210.16	126.06	2.23	-	-	379.71	-	40.72
	-	-	-	-	-	0.01	0.1	-	-	0.1	-	5.29	-	75.3	-	-	2.4	16.2	0.4	0.0	-	-	1.1	-	0.1
合計	521	19	17	57	167	94	283	8	9	710	241	249	10	28	2	13	17091	6185	146	13	5	2	1	3	25874
	20	0.1	0.1	0.2	0.6	0.4	1.1	0.02	0.03	2.7	0.9	1.0	0.04	0.1	0.01	0.05	66.0	23.9	0.6	0.1	0.02	0.01	0.01	0.01	%
	6279	116.31	271.68	413.96	566.67	234.96	6207.88	49.33	41.61	4924.12	947.12	12521.72	96.28	25763.69	512.42	1793.66	66360.29	971.99	134.47	117.22	75.67	379.71	1.21	40.72	121984.87
	0.1	0.1	0.2	0.3	0.5	0.2	5.08	0.04	0.03	3.5	0.8	10.26	0.1	21.1	0.4	1.5	54.4	0.8	0.1	0.1	0.05	0.3	0.01	0.03	%



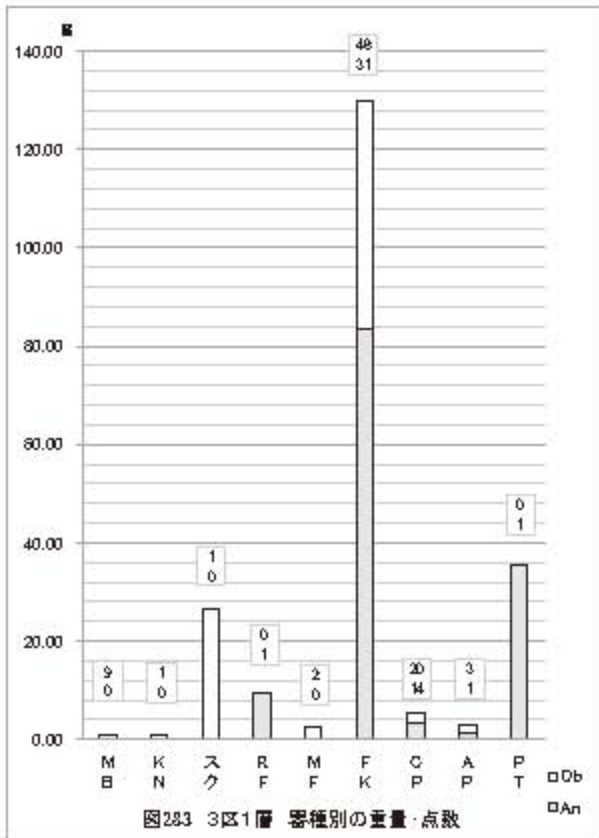


図283 3区1層 器種別の重量・点数

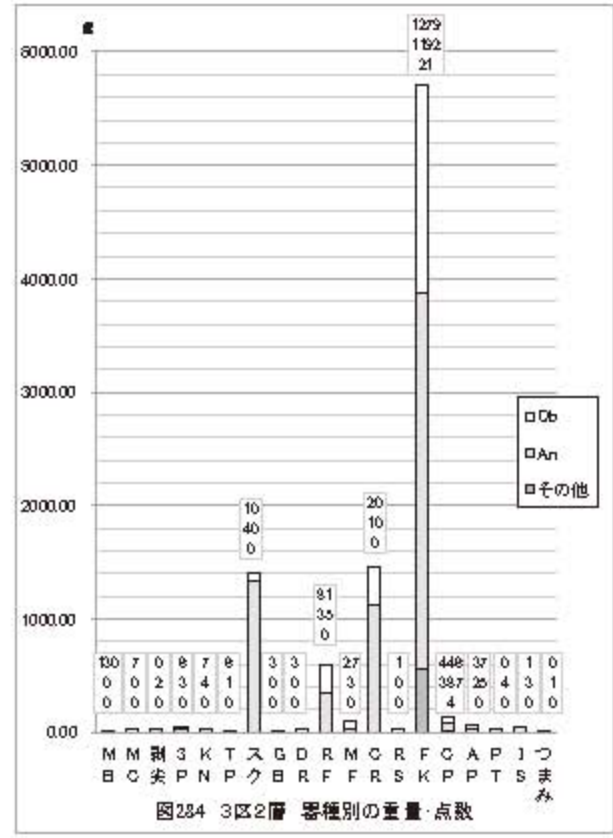


図284 3区2層 器種別の重量・点数

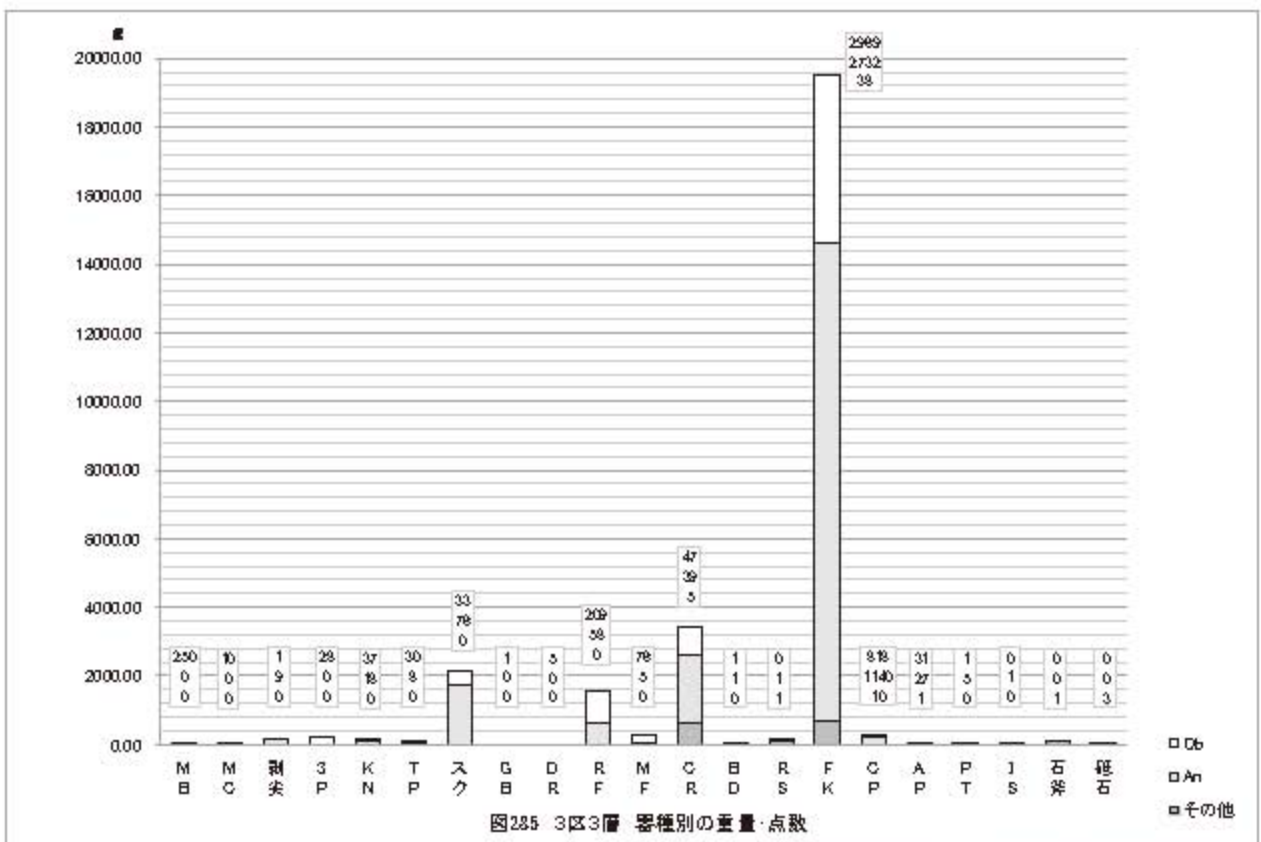
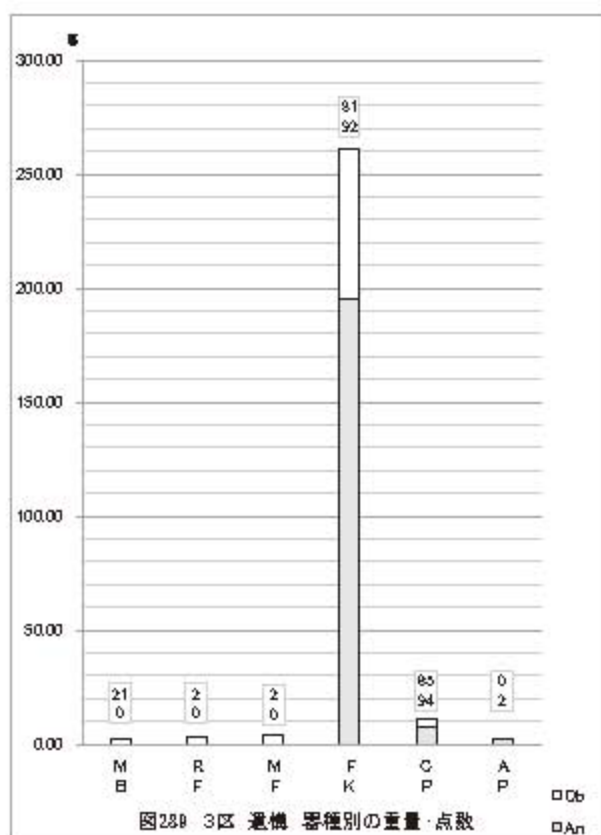
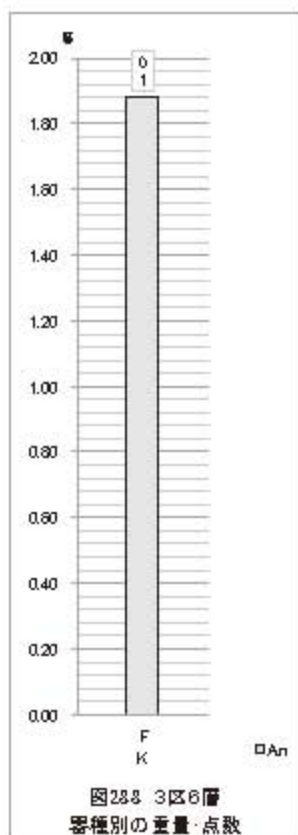
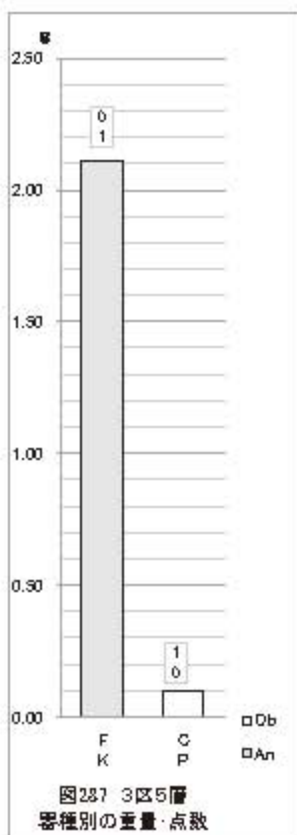
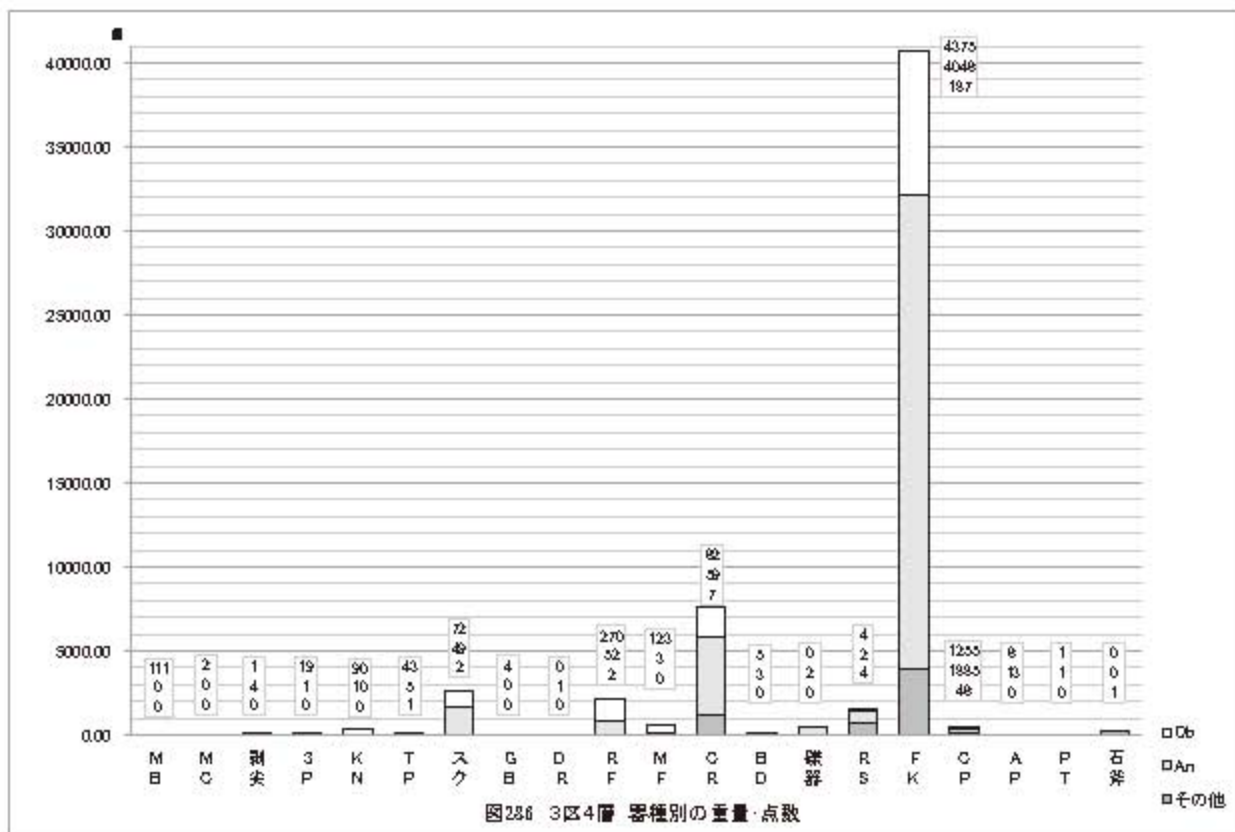


図285 3区3層 器種別の重量・点数

※グラフ内の2段・3段の数字については上から順に石材の点数を示してい



※グラフ内の2段・3段の数字については上から順に石材の点数を示している

表 20 3区 各層の黒曜石産地別の点数・重量

	Ob①	Ob②	Ob③	Ob④	Ob⑤	Ob⑥	Ob⑦	Ob⑧	Ob⑨	合計
1層										3 点
										435 g
2層										27 点
										72.49 g
3層										171 点
										1106.91 g
4層										417 点
										1560.96 g
5層										147 点
										714.77 g
6層										7 点
										27.00 g
遺構										1 点
										22.06 g
合計	756	12	387	10	0	0	0	25	19	1209 点
	2791.89	22.85	1920.43	76.75	0.00	0.00	0.00	683.09	36.30	5531.31 g

※ Ob①：扇岳産、Ob②：椎葉川産、Ob③：針尾島産、Ob④：小国産、Ob⑤：牟田産、
Ob⑥：針尾牛ノ岳産、Ob⑦：赤色の縞模様、Ob⑧：ガラス質安山岩、Ob⑨：①～⑥以外

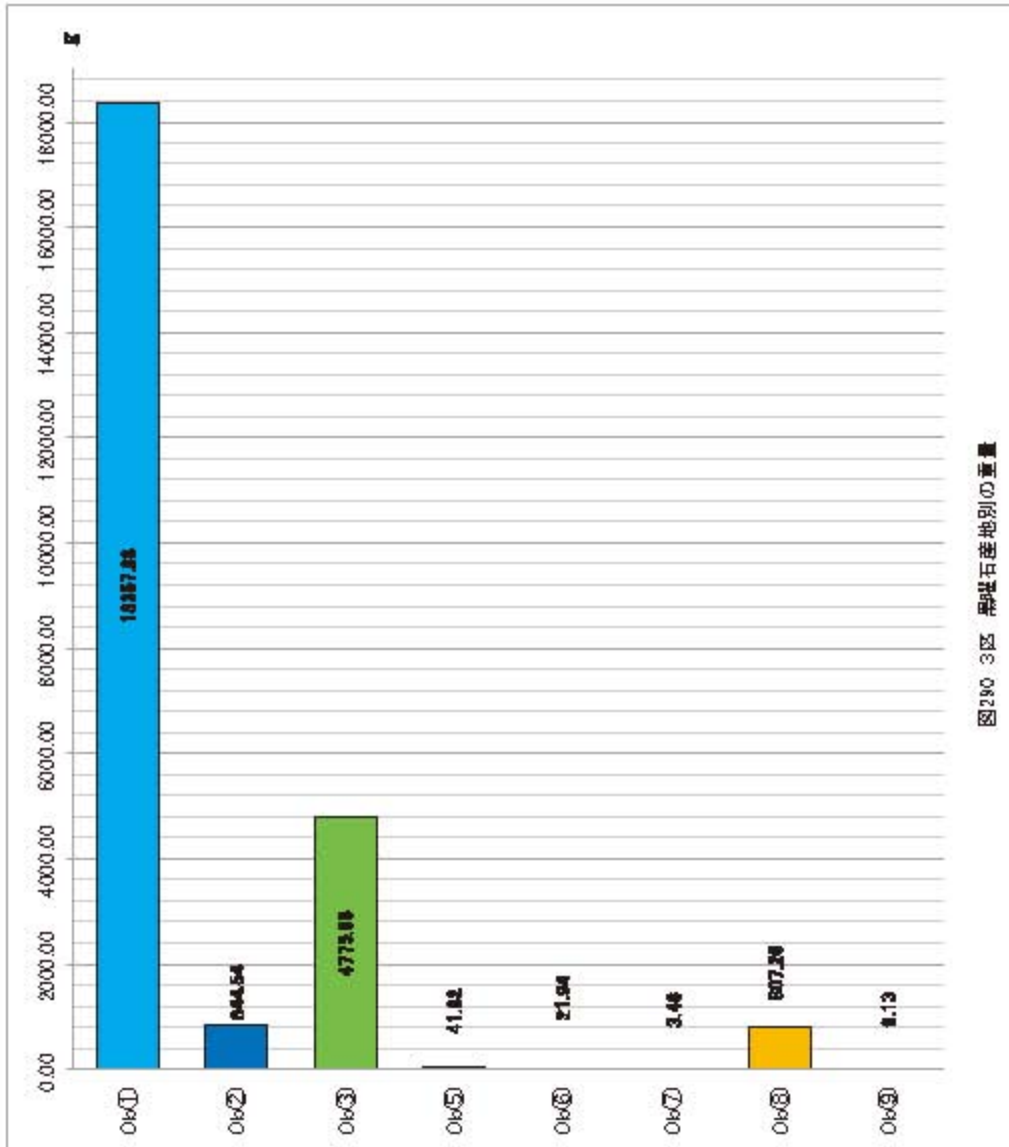


図290 3区 黒曜石産地別の重量

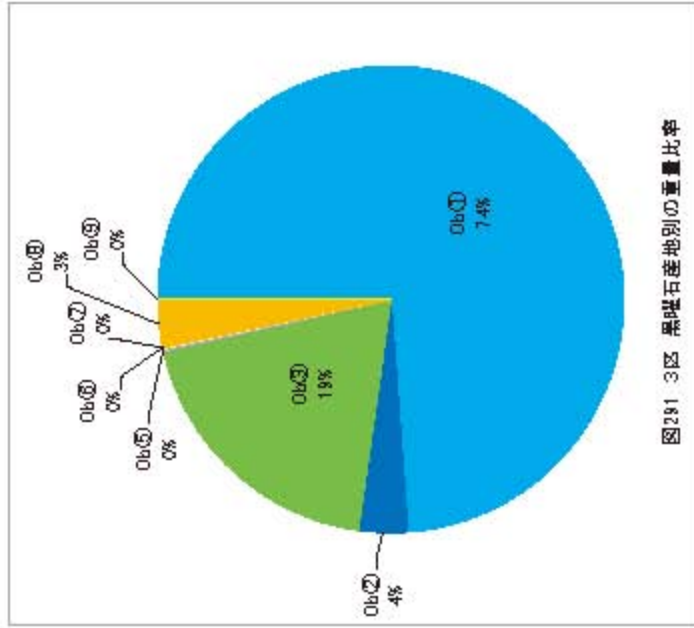


図291 3区 黒曜石産地別の重量比率

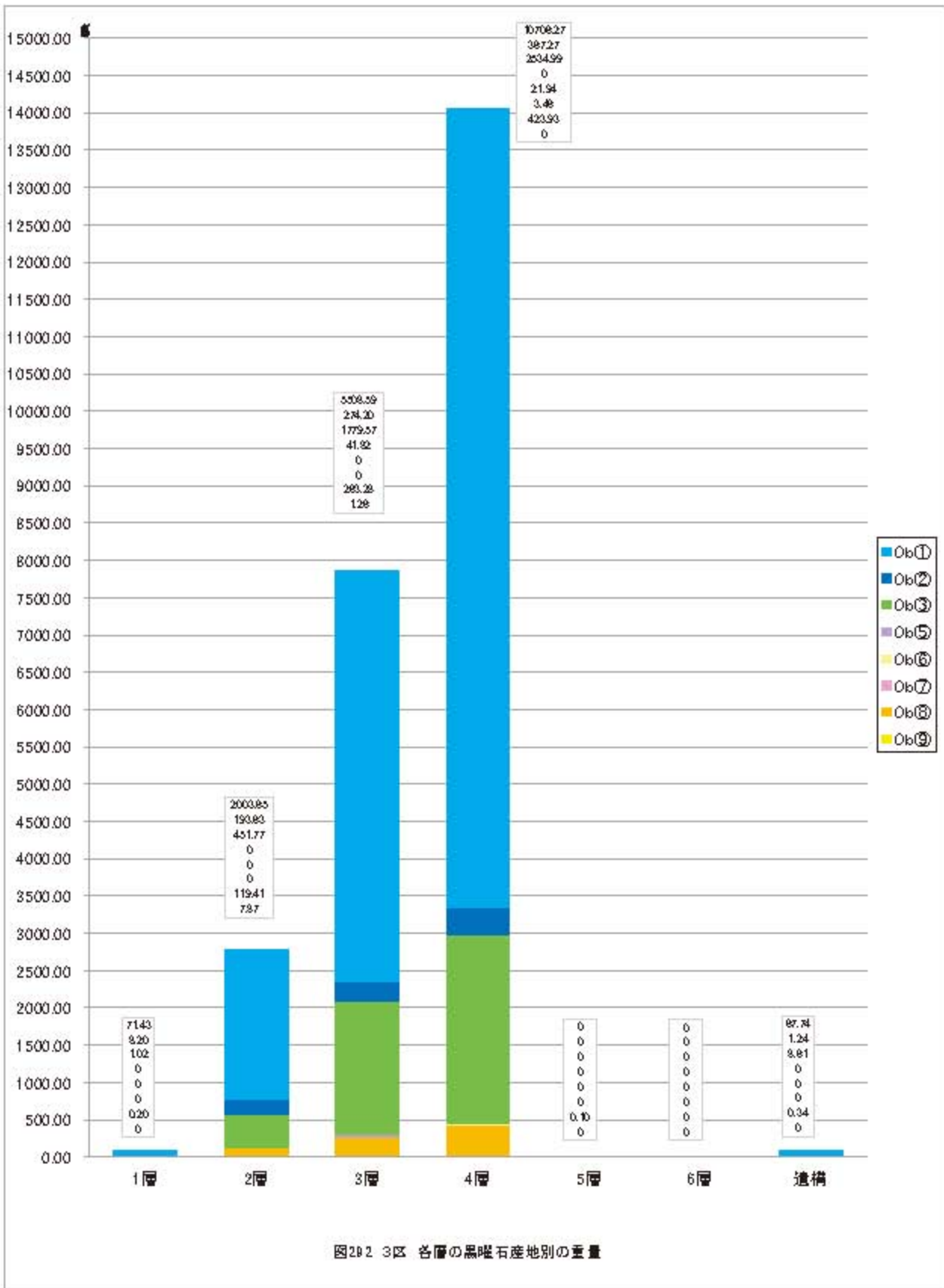


図202 3区 各層の黒曜石産地別の重量

※グラフ内の8段の数字については上から順に産地ごとの重量を示している

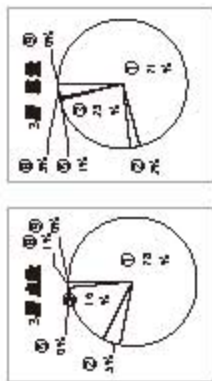


表 21 3 区 各層の黒曜石産地別の器種組成

区	層	MB	MC	MA	3P	XN	TP	スリ	CP	DR	DF	MF	CR	RD	KS	DK	CP	AP	PT	ES	点
Ob	①	219	8	1	17	24	26	24	1	4	174	66	37	1	-	2268	670	24	1	-	3655
	②	62	0.2	0.0	0.5	0.7	0.7	0.7	0.0	0.1	4.9	1.9	1.0	0.0	-	62.5	18.8	0.7	0.0	-	85
Ob	①	2667	4075	656	10722	4346	5617	33646	318	1232	71364	19360	60674	639	-	2268.01	65.43	16.66	6.85	-	5506.58
	②	0.5	0.7	0.1	1.9	0.8	1.0	6.1	0.1	0.2	13.0	3.5	11.0	0.1	-	59.3	1.2	0.3	0.1	-	202
Ob	①	40	0.5	-	-	10	-	0.5	-	-	2.5	1.5	-	-	-	71.8	16.3	2.0	-	-	85
	②	0.83	9.02	-	-	8.25	-	12.42	-	-	36.48	10.33	-	-	-	152.66	2.30	1.92	-	-	27420
Ob	①	0.3	3.3	-	-	30	-	45	-	-	13.3	3.8	-	-	-	70.3	0.8	0.7	-	-	85
	②	23	1	-	9	11	4	8	-	1	29	7	9	-	-	508	110	3	-	-	723
Ob	①	32	0.1	-	1.2	1.5	0.6	1.1	-	0.1	4.0	1.0	1.2	-	-	70.3	15.2	0.4	-	-	85
	②	3.95	8.88	-	70.97	32.09	6.88	76.65	-	1.25	158.18	27.97	139.82	-	-	1236.38	149.3	1.51	-	-	1779.57
Ob	①	0.2	0.5	-	4.0	1.8	0.4	4.3	-	0.1	8.9	1.6	7.9	-	-	69.5	0.8	0.1	-	-	85
	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
Ob	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	85
	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41.82	-	-	-	-	-	-	-	-	41.82
Ob	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	56	5	-	-	64
	②	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	56	5	-	-	-	64
Ob	①	-	-	-	3.1	-	-	-	-	-	1.6	-	-	-	-	87.5	7.8	-	-	-	85
	②	-	-	-	50.06	-	-	-	-	1.88	-	-	-	-	-	207.06	4.29	-	-	-	263.28
Ob	①	-	-	-	19.0	-	-	-	-	-	0.7	-	-	-	-	78.6	1.6	-	-	-	85
	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	2	
Ob	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	85
	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.26	-	-	-	-	1.26
Ob	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	85
	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	85
合計	①	260	10	1	28	37	30	33	1	5	209	76	47	1	-	2969	818	31	1	-	4547
	②	55	0.2	0.0	0.6	0.8	0.7	0.7	0.0	0.1	4.6	1.7	1.0	0.0	-	66.3	18.0	0.7	0.0	-	85
合計	①	3145	5865	656	22825	8379	6205	42462	318	1418	91018	23190	78838	639	-	405.35	86.95	20.09	6.85	-	7868.71
	②	0.4	0.7	0.1	2.9	1.1	0.8	5.4	0.0	0.2	11.6	2.9	10.0	0.1	-	62.3	1.1	0.3	0.1	-	85

表 21 3 区 各層の黒曜石産地別の器種組成

層	MB	MbC	羽状	3P	XN	TP	スノ	CP	DR	RF	MDF	CR	FD	KS	ER	CP	AP	PT	Σ	点	
4	96	2	-	15	75	37	60	4	-	238	119	42	2	3	3295	921	4	-	-	4913	
	Ob	2.0	0.0	0.3	1.5	0.8	12	0.1	0.0	4.8	2.4	0.9	0.0	0.1	67.1	18.7	0.1	-	-	%	
	①	12.31	24.42	-	116.57	252.75	69.35	778.43	36.03	-	1146.66	474.39	1336.40	17.76	217.64	6133.82	86.95	2.79	-	-	10706.27
	0.1	0.2	0.0	1.1	2.4	0.6	7.3	0.3	0.0	10.7	4.4	12.5	0.2	2.0	57.3	0.8	0.0	-	-	%	
	7	-	-	-	4	1	1	1	-	2	2	1	2	1	184	80	-	-	-	-	283
	Ob	2.5	-	-	1.4	0.4	0.4	-	-	-	0.7	0.4	0.7	0.4	65.0	28.3	-	-	-	-	%
	②	0.75	-	-	4.77	3.49	10.47	-	-	4.58	0.11	2.793	1.73	-	307.47	5.97	-	-	-	-	367.27
	0.2	-	-	-	1.3	1.0	2.9	-	-	1.2	0.0	7.6	0.5	-	83.7	1.6	-	-	-	-	%
	8	-	-	1	4	10	5	10	-	-	30	3	15	2	1	844	241	1	1	-	1176
	Ob	0.7	-	0.1	0.3	0.9	0.4	0.9	-	-	2.6	0.3	1.3	0.2	0.1	71.8	20.5	0.1	0.1	-	%
③	0.97	-	2.77	13.24	14.22	15.35	112.00	-	-	136.89	12.53	32.307	9.82	2.95	1848.93	36.95	0.86	4.43	-	2534.99	
0.0	-	-	0.1	0.5	0.6	4.4	-	-	-	5.4	0.5	12.7	0.4	0.1	72.9	1.5	0.0	0.2	-	%	
Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	
④	-	-	-	-	500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	%	
Ob	-	-	-	-	2.81	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19.13	-	-	-	-	21.94	
0.2	-	-	-	-	128	-	-	-	-	-	-	-	-	-	87.2	-	-	-	-	%	
Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	
⑤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%	
Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.46	-	-	-	-	3.46	
0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%	
Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%	
⑥	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	50	13	1	-	-	68	
Ob	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	44	-	-	-	73.5	19.1	1.5	-	-	%	
0.2	-	-	-	-	-	-	22.60	-	-	-	-	83.11	-	-	315.13	1.39	0.70	-	-	42.393	
-	-	-	-	-	-	-	5.3	-	-	-	-	19.6	-	-	74.6	0.3	0.2	-	-	%	
111	2	1	1	19	90	43	72	4	-	270	123	52	5	4	4375	1255	6	1	-	6443	
1.7	0.0	0.0	0.3	1.4	0.7	1.1	1.1	0.1	-	4.2	1.9	1.0	0.1	0.1	67.9	19.5	0.1	0.0	-	%	
14.03	24.42	2.77	129.81	274.55	88.19	92.350	36.03	-	-	1288.13	487.03	1770.51	23.31	220.59	8628.94	131.27	4.95	4.43	-	14057.86	
0.1	0.2	0.0	0.9	2.0	0.6	6.6	0.3	-	-	9.2	3.5	12.6	0.2	1.6	61.4	0.9	0.0	0.0	-	%	
Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	
⑦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%	
Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	-	-	-	-	0.10	
0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%	
Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	
0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%	
Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	0.10	
0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%	
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	%	

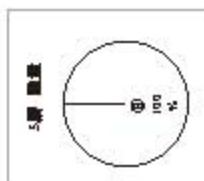
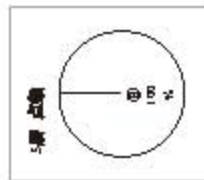
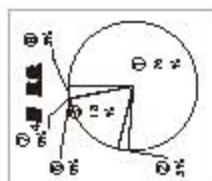
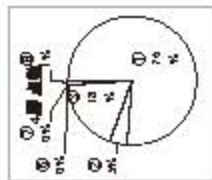


表 21 3 区 各層の黒曜石産地別の器種組成

層	MB	MC	MF	3P	XN	TP	ス	CP	DR	RF	MF	CF	PD	KS	FK	CP	AP	PT	Σ	点
	15	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	68	54	-	-	-	138
Ob	109	-	-	-	-	-	-	-	-	1.4	1.4	-	-	-	47.1	39.1	-	-	-	%
①	123	-	-	-	-	-	-	-	-	325	364	-	-	-	5683	279	-	-	-	6774
	1.8	-	-	-	-	-	-	-	-	4.8	5.4	-	-	-	83.9	41	-	-	-	%
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
Ob	500	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	%
②	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.17	-	-	-	-	12.4
	5.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	94.4	-	-	-	-	%
	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	9	-	-	-	26
Ob	15.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	346	-	-	-	%
③	0.56	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.56	0.42	-	-	-	8.61
	6.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	87.8	5.7	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	3
Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32.3	66.7	-	-	-	%
④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.16	0.18	-	-	-	0.34
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47.1	52.9	-	-	-	%
	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	81	65	-	-	-	171
合計	123	-	-	-	-	-	-	-	-	1.2	1.2	-	-	-	47.4	38.0	-	-	-	%
	186	-	-	-	-	-	-	-	-	325	364	-	-	-	6572	345	-	-	-	7793
	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	4.7	-	-	-	84.3	44	-	-	-	%

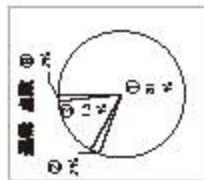
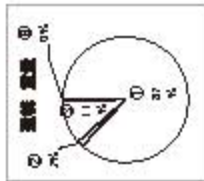


表 21 3 区 各層の黒曜石産地別の器種組成

層	MB	MC	MA	3P	XN	TP	スノ	CP	DR	PF	MF	CF	PD	KS	ER	CP	AP	PT	E	点
Ob	440	17	1	37	106	67	82	8	6	49	212	96	3	3	6649	2042	61	1	1	1025
	43	0.2	0.0	0.4	1.0	0.6	0.9	0.1	0.1	4.6	2.1	0.9	0.0	0.0	64.4	19.8	0.6	0.0	0.0	%
	52.07	96.91	6.55	244.96	310.78	132.69	1175.80	49.33	30.56	2060.73	737.31	2224.10	2.415	217.64	10744.69	192.95	46.50	6.85	1.10	18257.67
Ob	0.3	0.5	0.0	1.3	1.7	0.7	6.4	0.3	0.2	11.2	4.0	12.1	0.1	1.2	58.5	1.1	0.3	0.0	0.0	%
	28	1	0	1	7	2	3	0	1	12	5	3	1	1	395	121	7	-	-	588
	48	0.2	0.0	0.2	1.2	0.3	0.5	0.0	0.2	2.0	0.9	0.5	0.2	0.2	67.2	20.6	1.2	-	-	%
Ob	315	9.02	0.00	2.39	13.93	4.35	44.32	0.00	2.61	89.89	19.02	40.47	1.73	20.38	609.12	9.22	49.4	-	-	8445.4
	0.4	1.1	0.0	0.3	1.6	0.5	5.2	0.0	0.3	7.1	2.3	4.8	0.2	2.4	72.1	1.1	0.5	-	-	%
	50	1	1	13	21	10	20	0	1	70	12	25	2	1	1578	418	8	1	-	2232
Ob	2.2	0.0	0.0	0.6	0.9	0.4	0.9	0.0	0.0	3.1	0.5	1.1	0.1	0.0	70.7	18.7	0.4	0.0	-	%
	757	8.88	2.77	84.21	45.31	24.19	201.53	0.00	1.26	323.76	43.74	479.90	9.82	2.95	3465.97	61.76	6.91	4.43	-	4775.96
	0.2	0.2	0.1	1.8	1.0	0.5	4.2	0.0	0.0	6.8	0.9	10.0	0.2	0.1	72.6	1.3	0.1	0.1	-	%
Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41.82	-	-	-	-	-	-	-	41.82
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	%
Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19.13	-	-	-	-	21.94
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	87.2	-	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.46	-	-	-	-	3.46
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%
Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.3	23	1	-	-	155
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	79.4	148	0.6	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.6	-	-	628.08	6.06	0.70	-	-	807.25
Ob	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	77.8	0.8	0.1	-	-	%
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	3
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	91.3	-	-	-	-	91.3
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	%
	521	19	2	53	185	79	116	8	8	562	230	129	6	5	8750	2605	77	2	1	13308
合計	3.9	0.1	0.0	0.4	1.0	0.6	0.9	0.1	0.1	4.2	1.7	1.0	0.0	0.0	65.7	19.6	0.5	0.0	0.0	%
	62.79	116.81	9.32	381.62	373.83	161.23	1444.25	49.33	34.43	2446.26	800.07	2884.17	25.70	240.97	15479.58	269.99	59.05	11.23	1.10	24661.78
	0.3	0.5	0.0	1.5	1.5	0.6	5.8	0.2	0.1	9.8	3.2	11.6	0.1	1.0	62.3	1.1	0.2	0.0	0.0	%

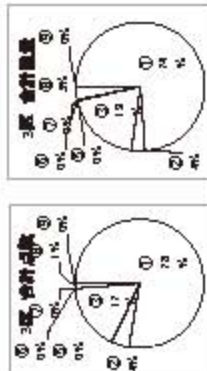


表 22 3区 各層の石器の接合状況・組数

	折れ面	剥離面	合計
2層	6	2	8
2層+3層	2	-	2
2層+4層	1	-	1
3層	9	3	12
3層+4層	4	1	5
4層	47	16	63
合計	69	22	91

図 203 3区 石器の接合状況・組数

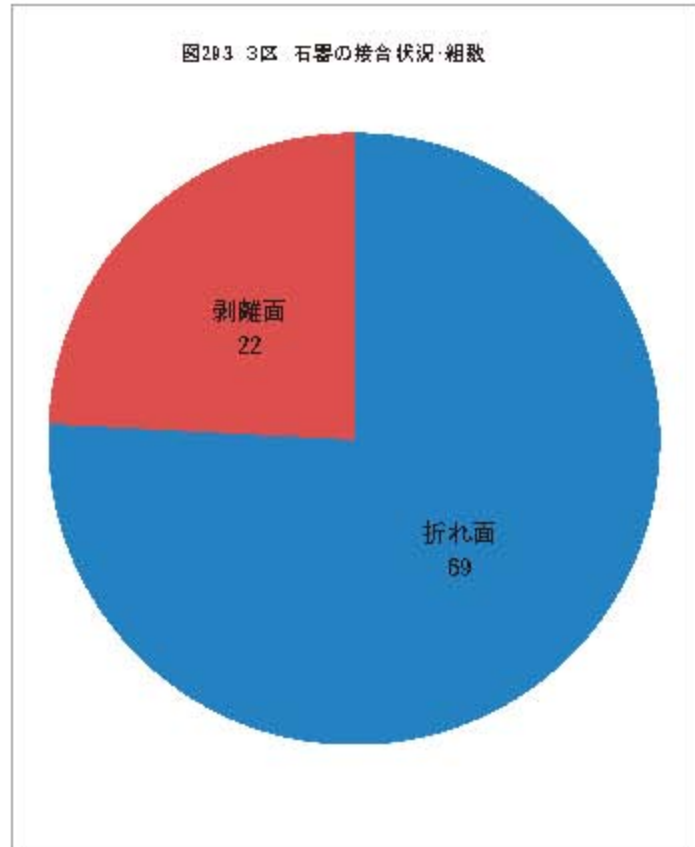
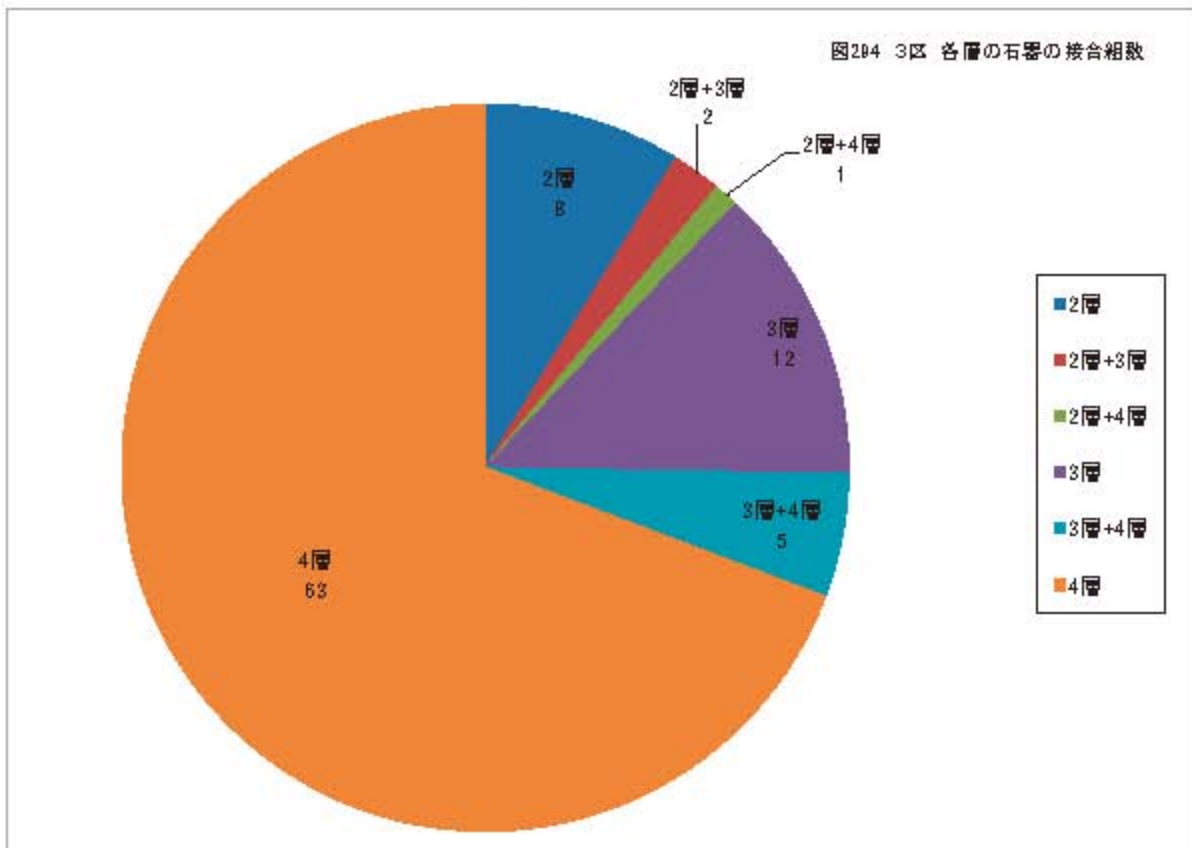
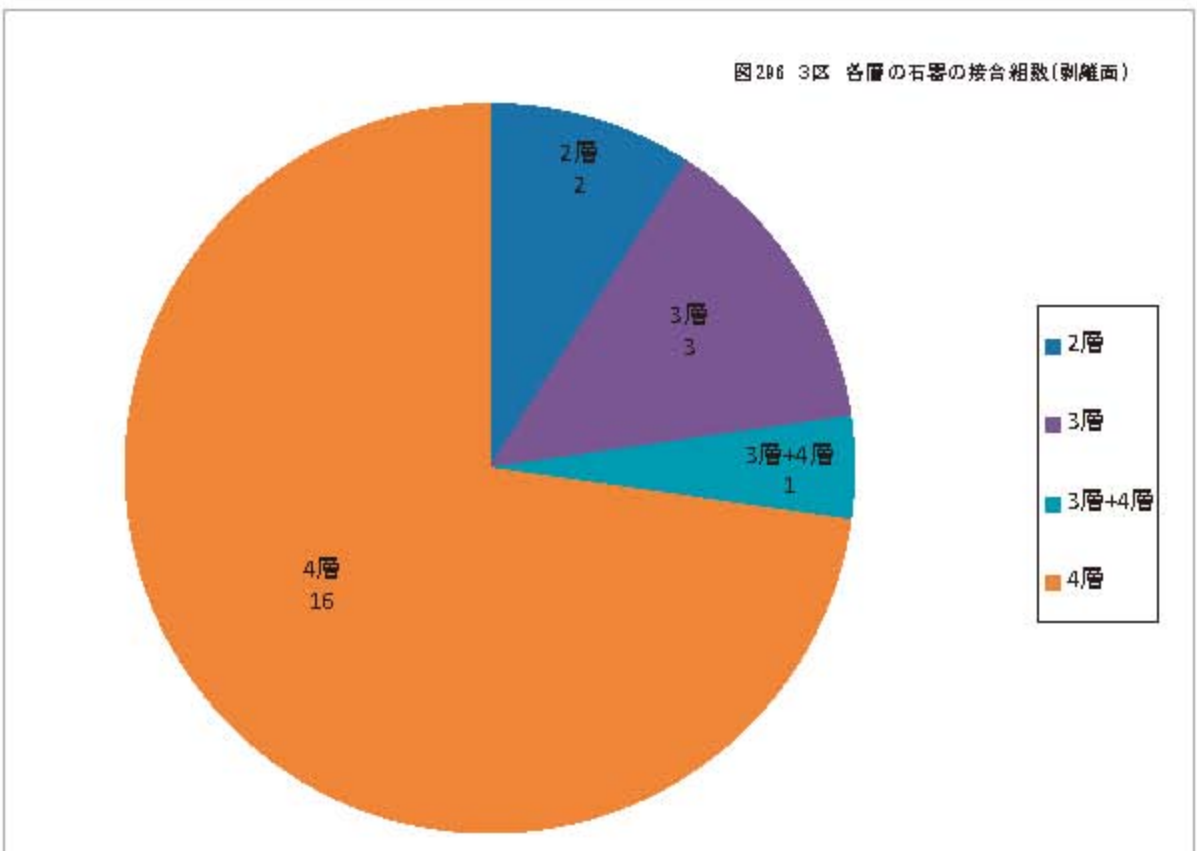
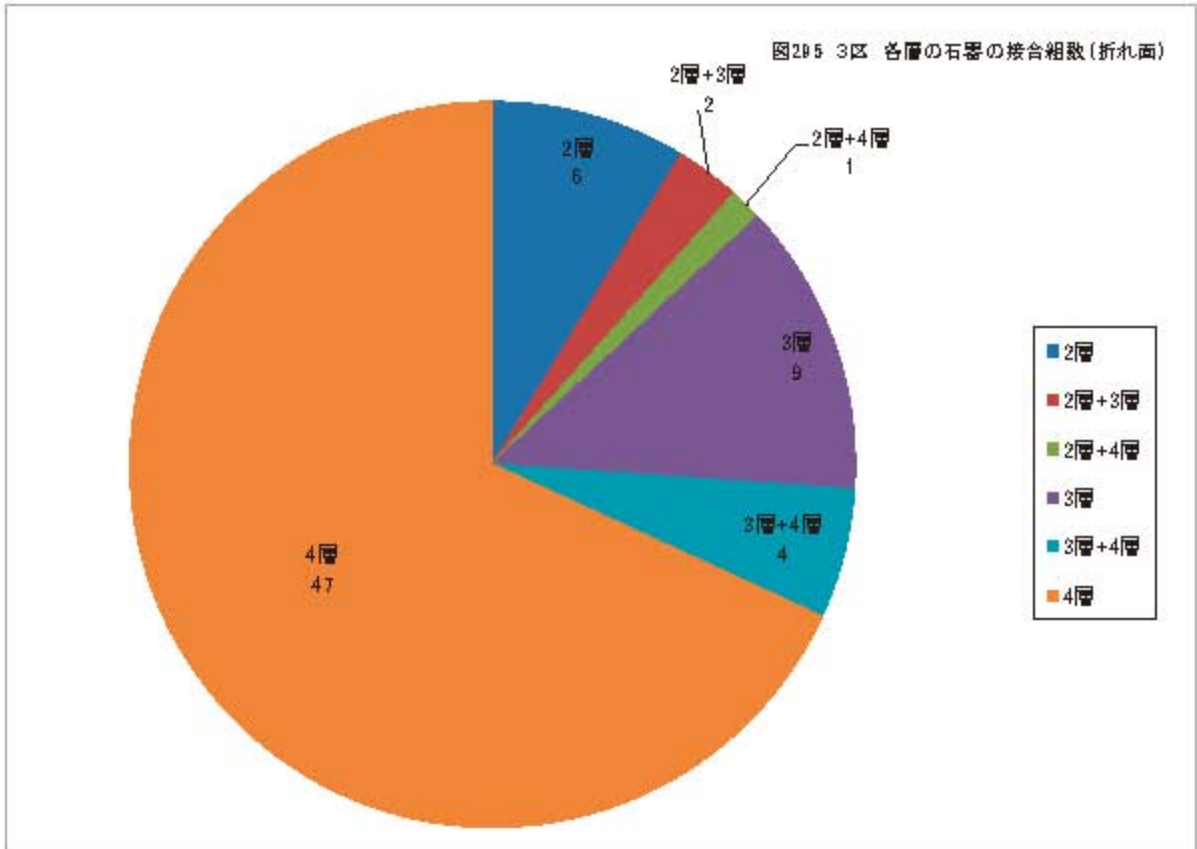


図 204 3区 各層の石器の接合組数





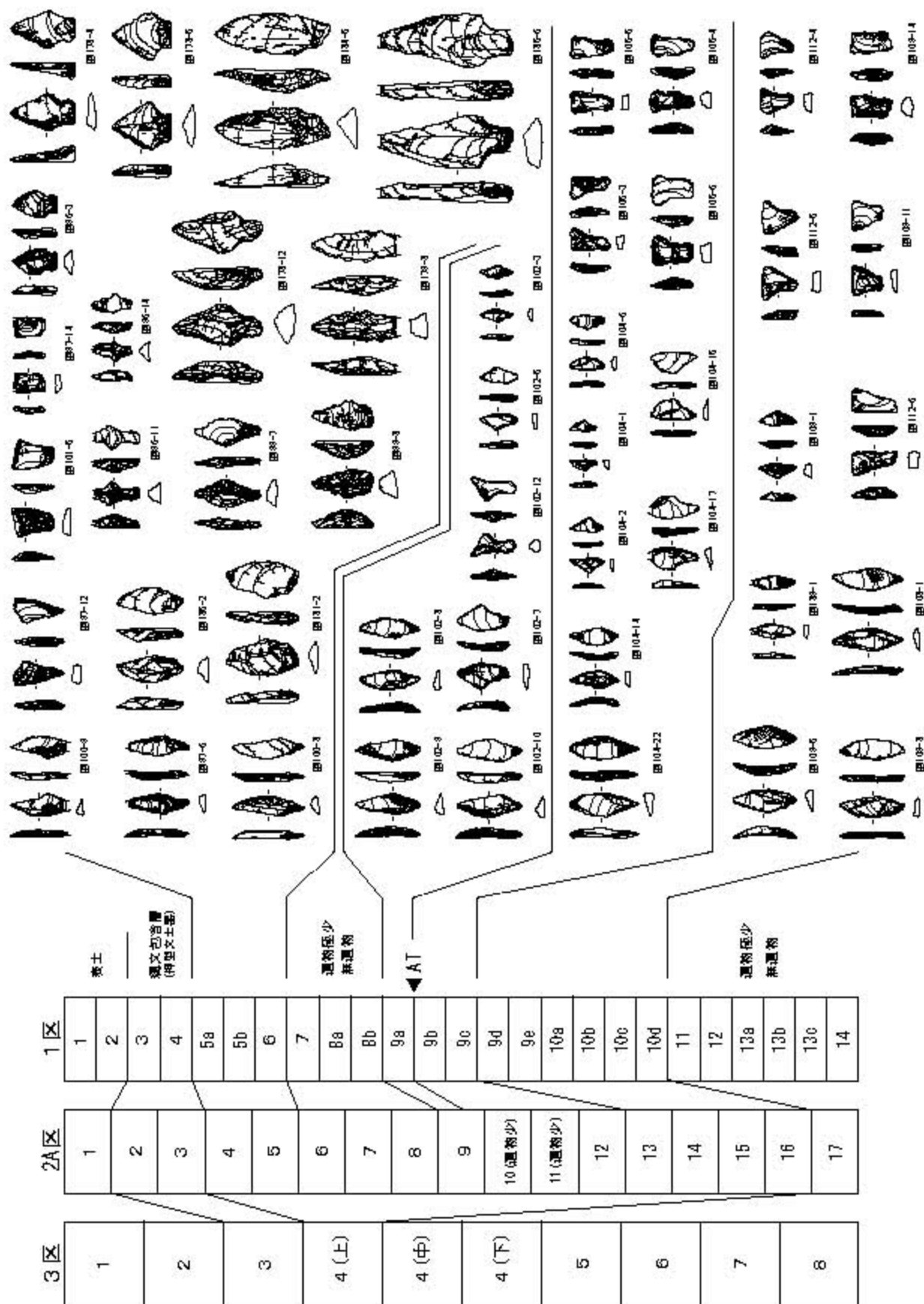


図 297 1区・2A区・3区の土層柱状図および主要器種の変遷

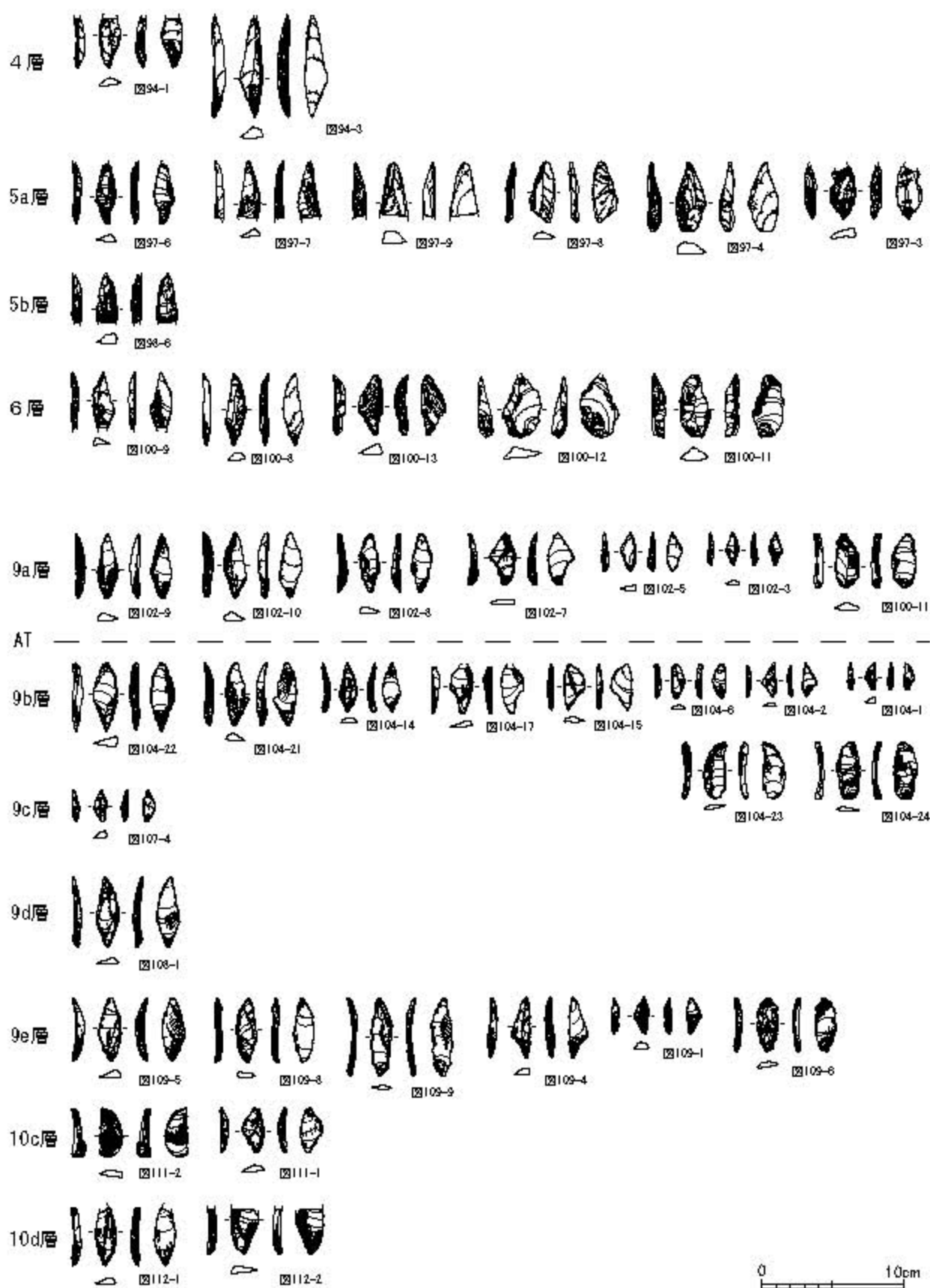


図298 1区 各層出土のナイフ形石器 (1/4)

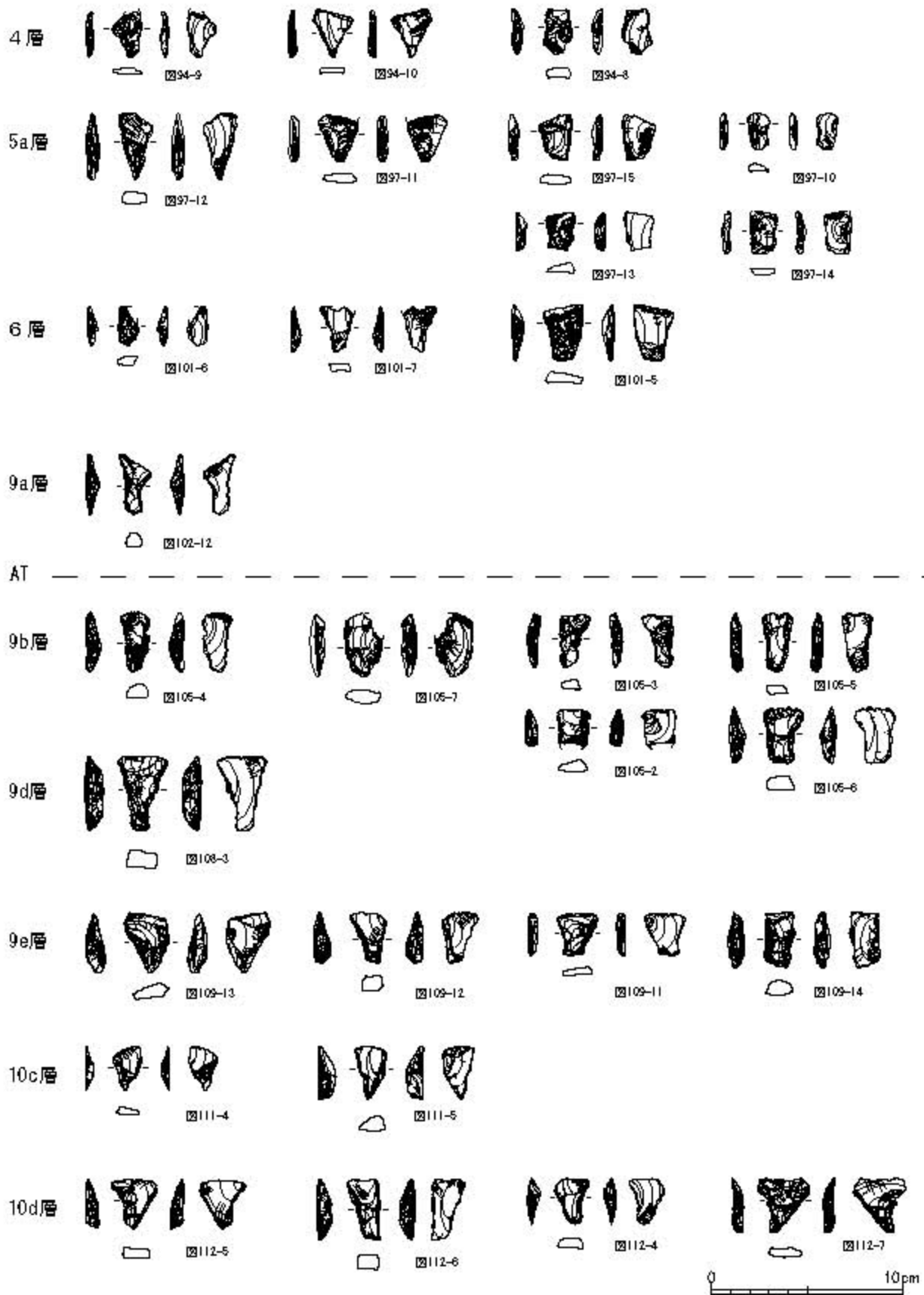


図 299 1区 各層出土の台形石器 (1/3)

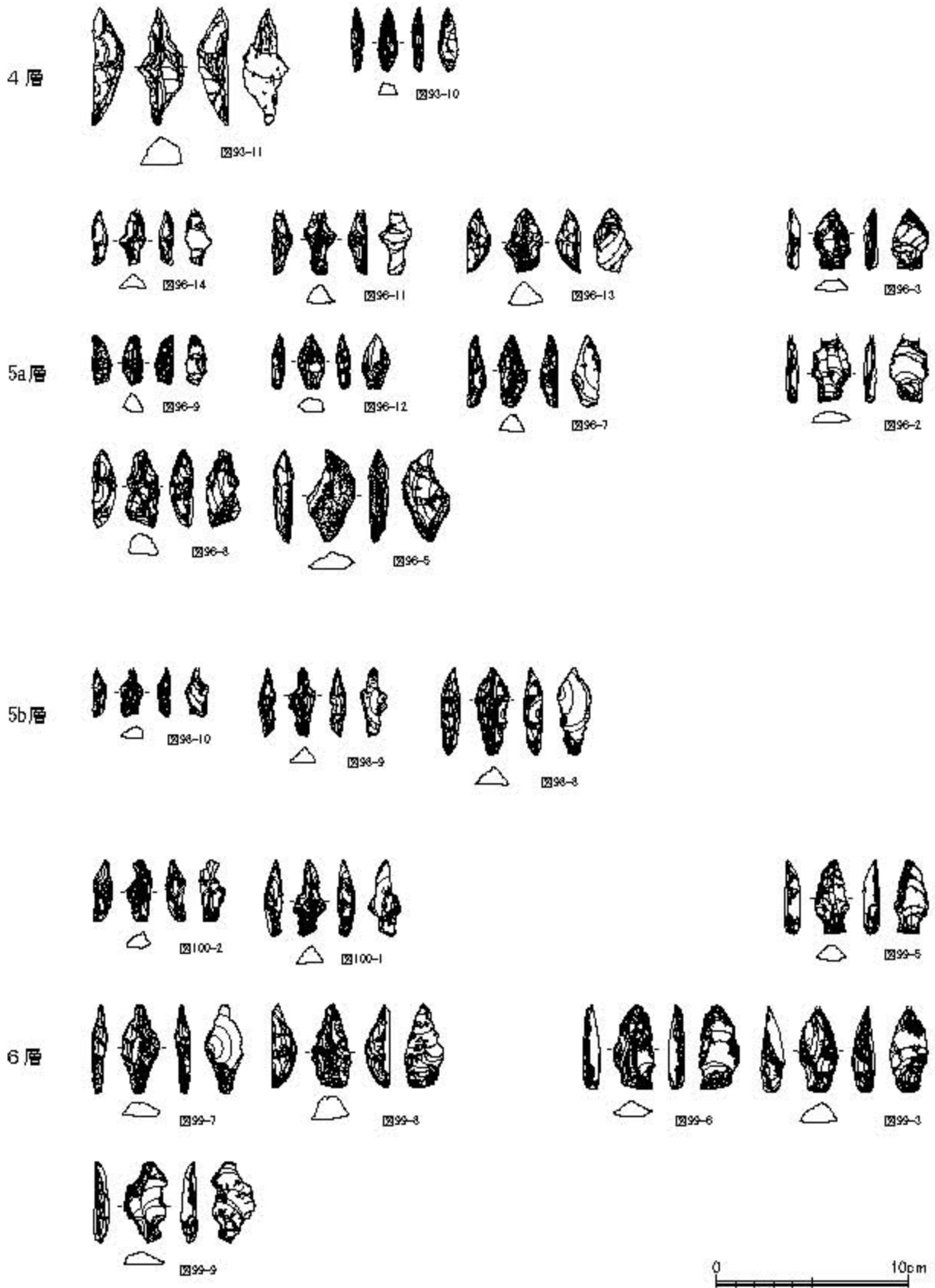


図300 1区 各層出土の剥片尖頭器・角錐状石器 (1/3)

地蔵平遺跡（本文編）

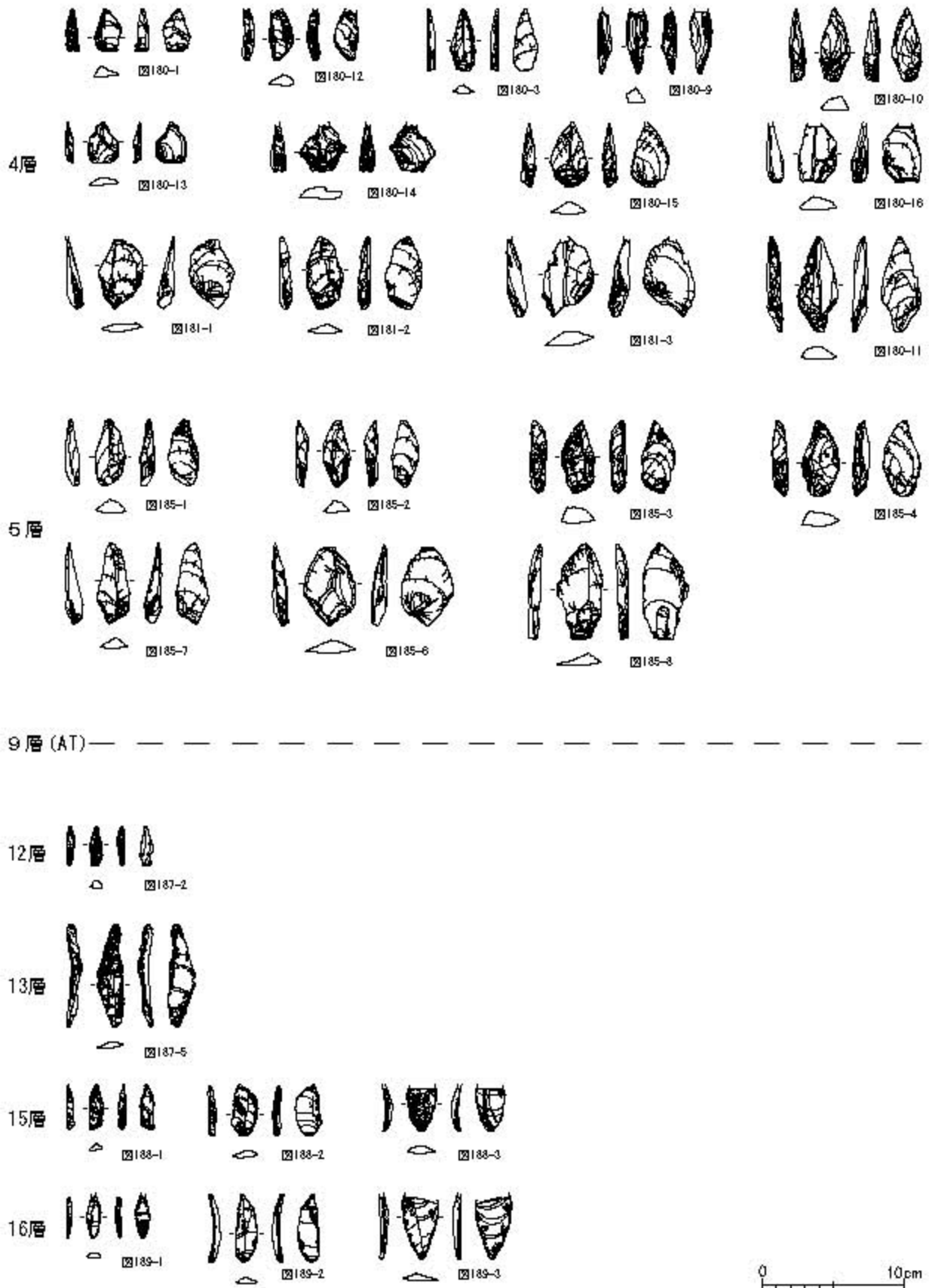


図301 2A区 各層出土のナイフ形石器 (1/4)



図302 2A区 各層出土の台形石器 (1/3)



図303 2A区 各層出土の剥片尖頭器・角錐状石器 (1/4)

第8章 自然科学分析

1 地蔵平遺跡1区ほかテフラ分析業務

株式会社 古環境研究所

1) はじめに

北部九州に分布する後期更新世以降に堆積した地層や土壌の中には、中九州地方や南九州地方などに位置する火山から噴出したテフラ（tephra、火山砕屑物、いわゆる火山灰）が堆積している。テフラの中には、すでに噴出年代が明らかにされている指標テフラがあり、それらとの関係を求めることで、地形や土壌の形成年代や地層の堆積年代のみならず、遺構や遺物の層位や年代などについても知ることができるようになっている。ただし、この地域でテフラの一次堆積層がみられることは、後期更新世前半に阿蘇カルデラから噴出した大規模な阿蘇4火砕流堆積物を除けばまれである。

地蔵平遺跡をはじめとする佐賀市嘉瀬川ダム遺跡群の発掘調査では、テフラの良好な堆積が認めることができた。そこで、現地において地形地質調査を行って、遺跡とその周辺の地形の概要を把握記載するとともに、土層断面の記載を実施して、地形発達に関する資料の収集を行った。さらに、発掘調査担当者により採取されたテフラ試料を対象に重鉱物組成分析と屈折率測定を実施して、指標テフラとの同定を行った。

2) 土層の層序

脊振山地に源を発し、脊振山地と筑紫山地の間に広がる山間地から佐賀平野を流下し、有明海に注ぐ嘉瀬川の流域には、比較的小規模ながら複数の河成段丘が発達している。嘉瀬川ダム遺跡群の多くも、このような河成段丘面上に位置している。土層の観察記載の対象となった地点は、河成段丘面上の地蔵平遺跡1区5トレンチ北地点および1区5トレンチ南地点、2A区7Bトレンチ、九郎遺跡1C区A-B土層断面ベルト西壁、東畑遺跡東部の5地点である。以下、各地点の土層の層序を記載する。

地蔵平遺跡1区5トレンチ北地点

地蔵平遺跡1区5トレンチ北地点では、下位より黄褐色粘質土（層厚36cm、9e層）、炭化物に富む砂混じり灰色土（層厚15cm、9b層）、黄灰色粘質土（層厚16cm、9a層）、黄灰色砂層（層厚12cm、8b層）、黄灰白色砂層（層厚56cm、8a層）、灰白色砂層（層厚32cm、7層）、砂混じり黄褐色土（層厚33cm、6層）、黄褐色土（層厚59cm、5（5a+5b）層）、暗灰褐色土（層厚10cm、4層）が認められる。

これらのうち、9a層・9b層からは旧石器時代のナイフ形石器、6層および5（5a+5b）層からは、旧石器時代および縄文時代草創期にかけての細石器が検出されている。

地蔵平遺跡1区5トレンチ南地点

地蔵平遺跡1区5トレンチ南地点では、段丘礫層（礫の最大径317mm、13c層）の上位に、下位より層理の発達した礫混じり灰色砂層（層厚35cm、礫の最大径218mm、12層）、砂混じり黄色土（層厚21cm）、黄灰色砂質土（層厚12cm）、黄色土（層厚12cm）、砂混じり黄灰色土（層厚19cm、以上11層）、灰色砂層（層厚24cm、10c層）、黄灰色砂質土（層厚26cm、10b層）、黄色土（層厚24cm、9c層）、黄灰色土（層厚42cm、9b層）、灰白色砂層（層厚20cm以上、8a層）が認められる。

地蔵平遺跡 2A 区 7B トレンチ 東壁

地蔵平遺跡 2A 区 7B トレンチの東壁では、下位より層理の発達した黄色砂層（層厚 28cm）、黄色砂層（層厚 9cm）、若干粒度が細かい黄色砂層（層厚 33cm）、黄褐色砂礫層（層厚 26cm、15 層）、灰色シルト質砂層（層厚 11cm、15 層）、灰色シルト質砂層（層厚 11cm、11 層）、黄色砂層（層厚 15cm）、灰色シルト質砂層（層厚 13cm）、灰色砂質土（層厚 12cm）、黄色凝灰質砂質土（層厚 3cm、パッチ状）、灰色砂質土（層厚 5cm）が認められる。

なお、2A 区の西側に位置する 8B トレンチでは、黄色凝灰質砂質土のもとと考えられるテフラ層が認められる。下部の黄色粗粒火山灰層（層厚 4cm）と、上部の橙褐色細粒火山灰層（層厚 3cm）からなるこのテフラ層は、テフラ分析の結果（後述）から、約 2.6～2.9 年前に始良カルデラから噴出した始良 Tn 火山灰（AT、町田・新井、1976、1992、松本ほか、1987、村山ほか、1993、池田ほか、1995）に同定される。

九郎遺跡 1C 区 A-B 土層断面ベルト西壁

九郎遺跡 1C 区 A - B 土層断面ベルト西壁では、下位より黄色砂質土（層厚 9cm、10 層）、黄色がかった灰色土（層厚 14cm）、若干色調の暗い灰色土（層厚 21cm、9 層）、暗灰色土（層厚 20cm）、砂混じり暗灰色土（層厚 14cm、以上 6 層）、若干色調の暗い灰色土（層厚 21cm）、黄色がかった灰色土（層厚 22cm）、黄色土（層厚 10cm）、黄灰色土（層厚 10cm、以上 4 層）、灰褐色土（層厚 11cm、2 層）、灰色土（層厚 23cm、1 層）が認められる。これらのうち、9 層基底部付近からは縄文時代早期の土器、また 3 層中部からは多くの縄文時代の土器や集石が検出されている。

なお、1C 区 A - B 土層断面ベルト西壁付近では、4 層中にブロック状の橙色砂質細粒火山灰層（最大層厚 3cm）を認めることができた。このテフラ層は、テフラ分析の結果（後述）から、約 7,300 年前に南九州の鬼界カルデラから噴出した鬼界アカホヤ火山灰（K-Ah、町田・新井、1978）に同定される。

東畑瀬遺跡 東部 1 区 トレンチ 東壁

東畑瀬遺跡 東部の 1 区 トレンチ東壁では、下位より黄褐色砂質土（層厚 23cm 以上）、灰色砂層（層厚 19cm）、亜円礫を多く含む黄灰色砂質土（層厚 27cm）、灰色砂質土（層厚 13cm）、鉄分を含む灰褐色土（層厚 13cm）、灰色土（層厚 24cm）が認められる。ここでは、表層部から縄文時代後晩期の土器が検出されている。

3) 重鋳物組成分析

(1) 分析方法

発掘調査担当者により採取された 8 試料（表 23）を対象に、重鋳物組成分析を実施した。分析の手順は次のとおりである。なお今回の分析試料については、観察の結果、ガラス質テフラの可能性が高いと判断されたことから、火山ガラス比分析も合わせて行った。

- ① 試料 10g を秤量。
- ② 超音波洗浄装置により泥分を除去。
- ③ 80°C で恒温乾燥。
- ④ 分析篩により、2φ（1/4mm）- 3φ（1/8mm）および 3φ（1/8mm）- 4φ（1/16mm）の粒子を篩別。
- ⑤ 2φ（1/4mm）- 3φ（1/8mm）の粒子 250 粒子について、偏光顕微鏡下で火山ガラスの形態別比率（バブル型ガラスについては色調別比率）を求める。
- ⑥ 2φ（1/4mm）- 3φ（1/8mm）の重鋳物について、偏光顕微鏡下で重鋳物組成を実施する。

なお、重鋳物のうち、本遺跡群の位置する地域周辺に分布する白亜紀花崗岩類に多く含まれる雲母類につい

ては、薄くはがれる性質をもっており、その形状から重鉱物であるにもかかわらず比重分離による検出は難しい。そこで、今回は重液を用いた比重分離を実施していない。また、不透明鉱物のうち黒色で光沢をもつものを便宜的に磁鉄鉱とした。その他のほとんどは、磁鉄鉱以外の不透明鉱物である。

(2) 分析結果

重鉱物組成分析の結果をダイヤグラムにして図 305 に、その内訳を表 24 および表 25 に示す。火山ガラスについては、いずれの試料からも多くあるいは比較的多く検出された。一方、重鉱物については、全体的に比率が低く、とくに試料 200731 ~ 200733 については、2-3 ϕ 粒子のうちの 0.4% 以下と非常に低いものであった。そのため、試料 200734 ~ 200738 については通常の 250 粒子を対象にできたものの、試料 200731 ~ 200733 では全体の試料の量も考慮し、100 粒子を観察対象とするにとどまった。以下、各試料に含まれる粒子の傾向を記載する。

試料 200731：火山ガラスの比率が非常に高く、純度がかなり高いガラス質テフラの試料と考えられる。火山ガラスとしては無色透明のバブル型の火山ガラスの比率がとくに高く（87.2%）、ほかには、繊維束状に発泡した軽石型ガラス（4.4%）や淡褐色のバブル型ガラス（0.4%）などが認められる。一方、重鉱物の比率は非常に低い（0.4%）。含まれる重鉱物としては、斜方輝石、磁鉄鉱、雲母、角閃石、単斜輝石などである。

試料 200732：火山ガラスの比率が非常に高く、純度がかなり高いガラス質テフラの試料と考えられる。火山ガラスとしては無色透明のバブル型の火山ガラスの比率がとくに高く（82.8%）、ほかには、繊維束状に発泡した軽石型ガラス（8.8%）や淡褐色のバブル型ガラス（0.4%）などが認められる。一方、重鉱物の比率は非常に低い（0.4%）。含まれる重鉱物としては、雲母、斜方輝石、磁鉄鉱、角閃石、単斜輝石などである。

試料 200733：火山ガラスの比率が非常に高く、純度がかなり高いガラス質テフラの試料と考えられる。火山ガラスとしては無色透明のバブル型の火山ガラスの比率がとくに高く（93.2%）、ほかには、繊維束状に発泡した軽石型ガラス（4.4%）などが認められる。一方、重鉱物の比率は非常に低い（0.4%未満）。含まれる重鉱物としては、磁鉄鉱、雲母、斜方輝石などである。

試料 200734：火山ガラスの比率が比較的高い。火山ガラスとしては、無色透明のバブル型の火山ガラス（40.8%）のほか、繊維束状に発泡した軽石型ガラス（6.4%）、淡褐色のバブル型ガラス（2.0%）、褐色のバブル型ガラス（0.4%）などが認められる。重鉱物としては、磁鉄鉱（39.2%）や雲母（21.2%）のほか、斜方輝石（9.2%）、単斜輝石（4.4%）、角閃石（3.6%）などが含まれている。

試料 200735：火山ガラスの比率が高く、純度が高いガラス質テフラの試料と考えられる。火山ガラスとしては、無色透明のバブル型の火山ガラス（71.6%）のほか、繊維束状に発泡した軽石型ガラス（13.2%）、淡褐色のバブル型ガラス（3.6%）、褐色のバブル型ガラス（1.2%）などが認められる。重鉱物としては、磁鉄鉱（34.8%）、斜方輝石（30.4%）、単斜輝石（13.2%）などが含まれている。

試料 200736：火山ガラスの比率が高く、純度が高いガラス質テフラの試料と考えられる。火山ガラスとしては、無色透明のバブル型の火山ガラス（78.0%）のほか、繊維束状に発泡した軽石型ガラス（9.6%）、淡褐色のバブル型ガラス（2.8%）、褐色のバブル型ガラス（2.0%）などが認められる。重鉱物としては、磁鉄鉱（42.4%）、

斜方輝石（26.8%）、単斜輝石（17.6%）、雲母（1.6%）などが含まれている。

試料 200737：火山ガラスの比率が高く、純度が高いガラス質テフラの試料と考えられる。火山ガラスとしては、無色透明のバブル型の火山ガラス（67.2%）のほか、繊維束状に発泡した軽石型ガラス（11.2%）、淡褐色のバブル型ガラス（2.8%）、褐色のバブル型ガラス（1.2%）などが認められる。重鉱物としては、雲母（26.4%）、磁鉄鉱（22.4%）、斜方輝石（14.4%）、単斜輝石（6.8%）、角閃石（4.0%）などが含まれている。

試料 200738：火山ガラスの比率が高く、純度が高いガラス質テフラの試料と考えられる。火山ガラスとしては、無色透明のバブル型の火山ガラス（72.0%）のほか、繊維束状に発泡した軽石型ガラス（12.8%）、淡褐色のバブル型ガラス（1.6%）、褐色のバブル型ガラス（1.2%）などが認められる。重鉱物としては、磁鉄鉱（43.6%）、斜方輝石（21.2%）、単斜輝石（18.4%）、雲母（1.2%）、角閃石（0.8%）などが含まれている。

4) 屈折率測定

測定方法

8 試料に含まれる火山ガラス（3-4 φ）について、温度変化型屈折率測定装置（京都フィッション・トラック社製 RIMS2000）により屈折率の測定を実施した。

測定結果

試料に含まれる火山ガラスの屈折率測定の結果を表 26 に示す。試料 200731～200733 に含まれる火山ガラスについては、比較的低い値（ $n: 1.498-1.501$ ）が得られた。一方、試料 20075～200738 からは、比較的高い値（ $n: 1.506-1.512$ ）が得られた。試料 200734 に含まれる火山ガラスについては、後者の火山ガラスのほかに、若干低い値をもつ火山ガラスも混在している。

5) 考察

試料に含まれるテフラ粒子の起源について

試料のうち、透明のバブル型ガラスの比率が高く、火山ガラスの屈折率が低い試料 200731～200733 に含まれるテフラ粒子のほとんどは AT に由来すると考えられる。火山ガラスの比率が非常に高いことや、試料採取地点の土層の状況などから、これら 3 試料については純度の高い AT から採取されたと考えられよう。

一方、透明のバブル型ガラスの比率が高く、褐色のバブル型ガラスを少量含み、火山ガラスの屈折率が高い試料 20075～200738 に含まれるテフラ粒子のほとんどは、その層位を合わせて考慮すると K-Ah に由来すると考えられる。火山ガラスの比率が非常に高いことや、試料採取地点の土層の状況などから、これら 4 試料については純度の高い K-Ah から採取されたと考えられる。

また、試料 200734 に含まれるテフラ粒子の多くも、上記の理由で K-Ah に由来すると考えられるが、火山ガラスの比率がさほど高くないことや、若干屈折率が低い火山ガラスが含まれていることから、ほかに異なるテフラに由来する火山ガラスが混在している可能性が考えられる。その候補としては、雲仙火山起源のテフラが挙げられよう。雲仙火山では、完新世に噴出したテフラの存在が知られている（たとえば星住・渡辺，1996）。島原半島以外での降灰例はまだ知られていないが、その中には角閃石や黒雲母を含むものがある（古環境研究所，未公表資料）。

さらに本地域には、後期更新世以降、10.5～11 万年前に阿多カルデラから噴出した阿多テフラ（Ata, Nagaoka, 1988, 町田・新井, 2003 など）、約 9.5 万年前に鬼界カルデラから噴出した鬼界葛原テフラ（K-Tz,

町田・新井, 1983, 2003, Nagaoka, 1988)、約 8.5～9.0 万年前に阿蘇カルデラから噴出した阿蘇4火砕流堆積物(小野ほか, 1977, 町田・新井, 2003 など)やその噴火時に形成された噴煙柱や火砕流の灰かぐらなどに由来する co-ignimbrite ash である阿蘇4テフラ(Aso-4, 町田ほか, 1985, 町田・新井, 2003 など)などが堆積している。なお、阿蘇火山起源のテフラの中には、少なくとも島原半島方向へ降灰したのものもあるようで(古環境研究所, 未公表資料)、佐賀市周辺でも留意しておく必要がある。これらのテフラが、今後、嘉瀬川流域における地形発達史解明に役立つ可能性がある。

遺物および遺物包含層とテフラとの関係について

今回の分析試料については、分析測定者が採取したものではなく、一次堆積層か否かに関する判断は難しいが、少なくとも土層断面を突見できた地蔵平2A区西側の8Bトレンチの成層したテフラ層についてはATの一次堆積層と考えられる。一次堆積層が下部の粗粒部と上部の細粒部からなり、両者は正の級化構造的に漸移するものではなく、それぞれ独立したフォール・ユニットをなすように見えることは、ATを噴出した噴火の推移を考える上で興味深い。

このように、一般に遺物や遺物包含層との層位関係を検討する際には、層相および純度を考慮する必要がある。つまり一次堆積層の堆積構造をもつ場合以外には、純度が高い場合には堆積構造を合わせて考慮しなければならない。一次堆積層の構造をもたない場合には、純度が低い場合を合わせ、試料採取層準は実際にはテフラ降灰後の層位にあると考える必要がある。

地蔵平遺跡1区の試料200731(9b層)は、ATの純度が高い試料である。仮に本試料がATの降灰層準から採取されたものであれば、9b層から検出された旧石器時代遺物は、AT降灰層準付近に層位があると考えられる。一方、6層および5層についてはATより上位にあることになる。

地蔵平遺跡2A区の試料200732(9層)および試料200733(9層)も、ATの純度が高い試料である。火山ガラスの比率は下位の試料200733(9層)でより高く、9層以下にATの降灰層準のある可能性が考えられる。したがって9層から検出された旧石器時代遺物は、AT降灰層準付近に層位のある可能性が考えられる。

九郎遺跡1B区の試料200734(6層)にはK-Ah起源のテフラ粒子は含まれているものの、その純度がさほど高くない。したがって、試料の採取状況にもよるが、K-Ah降灰後に形成された可能性が高いように思われる。ただし、より下位にK-Ah起源のテフラ粒子が認められないようであれば、本試料採取層準がK-Ah降灰層準に相当している可能性もあろう。また、九郎遺跡1C区の4層中部付近には、前述のようにK-Ahがブロック状に認められる。したがって、同地点から採取された試料200735もK-Ahである可能性が高い。試料本地点では、K-Ahを含む土層より下位の土層から縄文時代の遺物が検出されているものと推定される。

小ヶ倉遺跡の試料200736(9層)については、K-Ahの純度が高い。これがK-Ahの降灰層準から採取されたものであれば、下位から壱ノ神B式土器が検出されていることになる。

西畑瀬遺跡4区の試料200737(4b層)には、K-Ahに由来するテフラ粒子が多く含まれている。したがって、壱ノ神B式土器を含む4a層はK-Ahより上位と考えられる。また、西畑瀬遺跡5N区の試料200738(8層)にも、K-Ahに由来するテフラ粒子が多く含まれている。この試料がK-Ahの降灰層準から採取されたものであれば、下位から縄文時代早期末の条痕文土器や壱ノ神B式土器が検出されていることになる。一方、壱ノ神B式土器を含む4a層はK-Ahより上位と考えられる。

より詳細な層位の検討には、現地調査の際に地点ごとに、層位にそって定期的に採取された複数の試料の分析が必要となる。

嘉瀬川ダム遺跡群に關係する地形発達史について

嘉瀬川ダム遺跡群調査域では、人為的な地形改変のために微細な地形の保存状態は良くないものの、今回の詳細な地質断面観察の結果、少なくとも6面の河岸段丘が認められるようである。これらは、佐賀平野（筑紫平野）のいわゆる低位段丘面（郷原ほか、1964）に相当する。ここでは、仮に高位より1～6面と呼ぶことにする。

地蔵平遺跡では、このうち1～3面と、おそらく5面に相当すると思われる段丘が認められる。1面と2面は現在では一つの段丘面のようにみえる（2A区7Aトレンチ）。1面は巨礫を含む段丘堆積物からなるようで、堆積段丘の可能性があろう。その上位の土層中にはATの一次堆積層が認められる。2面は、1面覆土中のATの高度が河川側で急に低下する面があることから、その存在が明らかになった。段丘堆積物の詳細は不明であるが、おそらく1面を切って形成された浸食段丘と考えられる。この2面は、表面上より下位の段丘面のようにみえる人為的な段状の地形の下部にまで続いている（2A区7Bトレンチ）。この段状地形は、浸食段丘面の可能性もあるが、河川側の人的な攪乱により調査範囲内での判断は困難である。

1区5トレンチ北地点や同南地点の位置する3面は、AT降灰層準をのせるかAT降灰後に形成された段丘面である。離水後まもなくフラッド・ローム（flood loam、氾濫原土）が形成されるような時期に、旧石器時代の人々が生活をしていいたらしい。最下位の段丘面については、地質断面を観察できなかったことから詳細は不明であるが、河川との高度差などから、後述する東畑遺跡の位置する5面あるいは6面に相当するようと思われる。

九郎遺跡は、嘉瀬川支流沿いにおいてより詳細な検討を必要とするが、4面に相当する河岸段丘面に位置するようである。ここでは、段丘を構成する堆積物は不明であるものの、フラッド・ロームと思われる黄色砂質土の上位に、縄文時代早期以降の遺物を含む厚い腐植質土壌の発達が認められる。そして、その土層中にはK-Ahも認められた。分析でK-Ahを検出できた考えられる小ヶ倉遺跡や西畑遺跡も、この4面上かより高位の段丘面上に位置する可能性がある。

東畑遺跡でも、段丘堆積物を観察することはできなかったが、K-Ahは認められず、5面を構成する段丘堆積物上のフラッド・ローム質堆積物の上位に縄文時代後晩期の遺物包含層が広がるらしい。さらに下位には、この段丘面を切って谷を灰白色砂礫層（層厚19cm以上、礫の最大径22mm）が覆う6面がある。この6面と現河床との比高はわずかである。

6) まとめ

地蔵平遺跡をはじめとする佐賀市嘉瀬川ダム遺跡群において、地質調査とテフラ分析（重鉱物組成分析・屈折率測定）を行った。テフラ試料からは、始良Tn火山灰（AT、約2.6～2.9万年前）や鬼界アカホヤ火山灰（K-Ah、約7,300年前）などに由来する火山ガラスなどを検出することができた。とくに前者の一次堆積層の発見は、北部九州での例はあまり多くない。詳細な調査分析の結果、嘉瀬川流域においては、少なくとも6面に及ぶ低位段丘面が存在していることが明らかになった。地蔵平遺跡において旧石器時代遺物が検出された段丘面は、このうち3面上にあると考えられる。

文献

- 郷原保真・新坂友行・鈴木康司・野村 哲・小森長生（1964）北九州の第四紀層に関する諸問題。資源開発 62, p.83-108.
- 黒住英夫・池田一徳（1996）新期雲仙火山に由来する火砕流堆積物と広域テフラー雲仙火山北麓での層序。日本第四紀学会報「第四紀研究集—日本のテフラ」, p.298
- 池田典子・奥野 充・中村俊夫・青井正明・小井哲夫（1995）南九州、始良カルデラ起源の大隅下野石と入戸火砕流中の炭化樹木の加速質量分析法による¹⁴C年代。第四紀研究, 34, p.377-379.
- 町田 洋・新井啓夫（1976）広域に分布する火山灰—始良Tn火山灰の発見とその意義。科学, 46, p.333-347.
- 町田 洋・新井啓夫（1978）南九州鬼界カルデラから噴出した広域テフラーアカホヤ火山灰。第四紀研究, 17, p.143-163.
- 町田 洋・新井啓夫（1983）鬼界カルデラ起源の新広域テフラと九州における更新世後期大規模噴出の噴出年代。火山, 28, p.206.
- 町田 洋・新井啓夫（1992）火山灰アトラス。東京大学出版会, 276p.
- 町田 洋・新井啓夫（2003）新編火山灰アトラス。東京大学出版会, 336p.

- 松本英二・前田保夫・竹村喜二・西田史朗 (1987) 始良Tn 火山灰 (AT) の ^{14}C 年代, 第四紀研究, 26, p.79-83
- 村山穂史・松本英二・中村俊夫・岡村 真・安田尚盛・平 朝彦 (1993) 四國沖ビストンコア試料を用いた AT 火山灰噴出年代の再検討—タンデムイオン加速器質量分析計による浮遊性有孔虫の ^{14}C 年代, 地質誌, 99, p.787-798
- Nagao ka, S. (1988) The late Quaternary tephra layers from the caldera volcanoes in and around Kagoshima Bay, southern Kyushu, Japan. Geogr. Rept Tokyo Metropol. Univ., 23, p.49-122
- 小野晃司・松本征夫・古久三千平・寺岡易司・神戸信伸 (1977) 竹田地域の地質, 5 万分の 1 地域地質図および説明書, 地質研究所, 145p.

表 23 分析試料

試料	遺跡	採取地点	土層
200731	地藏平遺跡	1区5トレンチ	9b層
200732	地藏平遺跡	2A区7Aトレンチ	9層
200733	地藏平遺跡	2A区7Aトレンチ	9層
200734	九郎遺跡	1B区	6層
200735	九郎遺跡	1C区	4層
200736	小ヶ倉遺跡	F区試掘坑20	9層
200737	西畑遺跡	4区N21区画	4b層
200738	西畑遺跡	5N区J17区画	8層

表 24 重鉱物組成分析結果 (火山ガラス比)

試料	bw (cl)	bw (ph)	bw (br)	md	pm(sp)	pm(fb)	その他	合計
200731	218	1	0	1	1	11	18 (1)	250
200732	207	1	0	1	0	22	19 (1)	250
200733	233	0	0	2	0	11	4 (0)	250
200734	102	5	1	0	0	16	126 (16)	250
200735	179	9	3	0	1	33	25 (5)	250
200736	195	7	5	0	1	24	18 (3)	250
200737	168	7	5	0	0	28	44 (9)	250
200738	180	4	3	2	1	32	28 (8)	250

数字は粒子数, bw:バブル型, md:中間型, pm:軽石型, cl:透明, ph:淡褐色, br:褐色, sp:スポンジ状, fb:繊維束状, その他の(数字):重鉱物の粒子数

表 25 重鉱物組成分析結果（重鉱物組成）

試料	ol	opx	cpx	am	bi	mt	opq	合計
200731	0	9	1	5	7	8	70	100**
200732	0	15	1	1	19	7	57	100**
200733	0	10	0	0	21	34	35	100**
200734	0	23	11	9	53	98	56	250
200735	0	76	33	0	0	87	54	250
200736	0	67	44	0	4	106	29	250
200737	0	36	17	10	66	56	65	250
200738	0	53	46	2	3	109	37	250

数字は粒子数。※ 1：重鉱物の比率が非常に低いため100粒子。ol：カンラン石、opx：斜方輝石、cpx：単斜輝石、am：角閃石、bi：雲母、mt：磁鉄鉱、opq：磁鉄鉱以外の不透明鉱物。

表 26 屈折率測定結果

試料	火山ガラスの屈折率 (n)	採取地点
200731	1.498-1.501	20
200732	1.498-1.501	20
200733	1.498-1.501	20
200734	1.503-1.511	17
200735	1.506-1.510	10
200736	1.507-1.512	18
200737	1.506-1.512	23
200738	1.508-1.512	18

測定は温度変化型屈折率測定装置（RIMS2000）による。

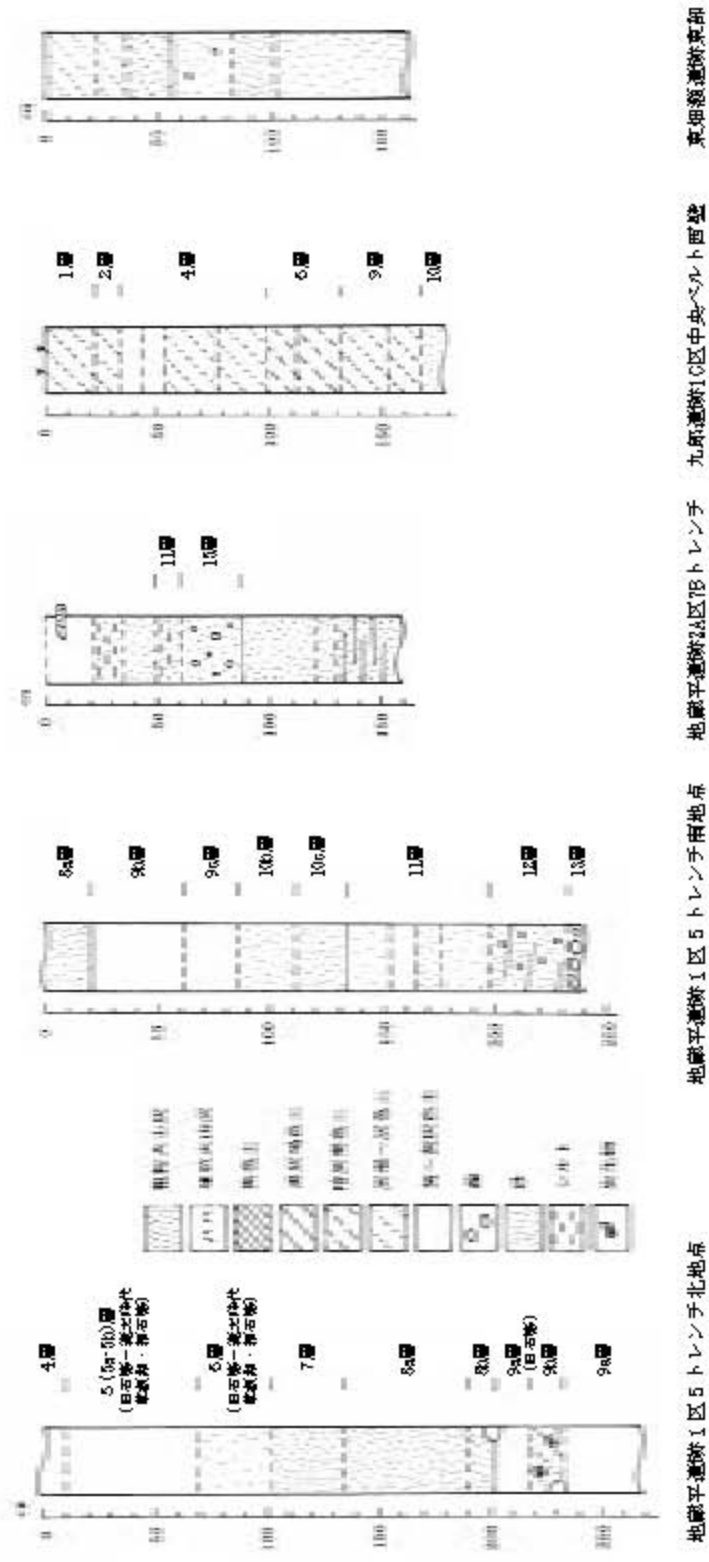


図 30.4 地蔵平遺跡1区ほかの土層柱状図

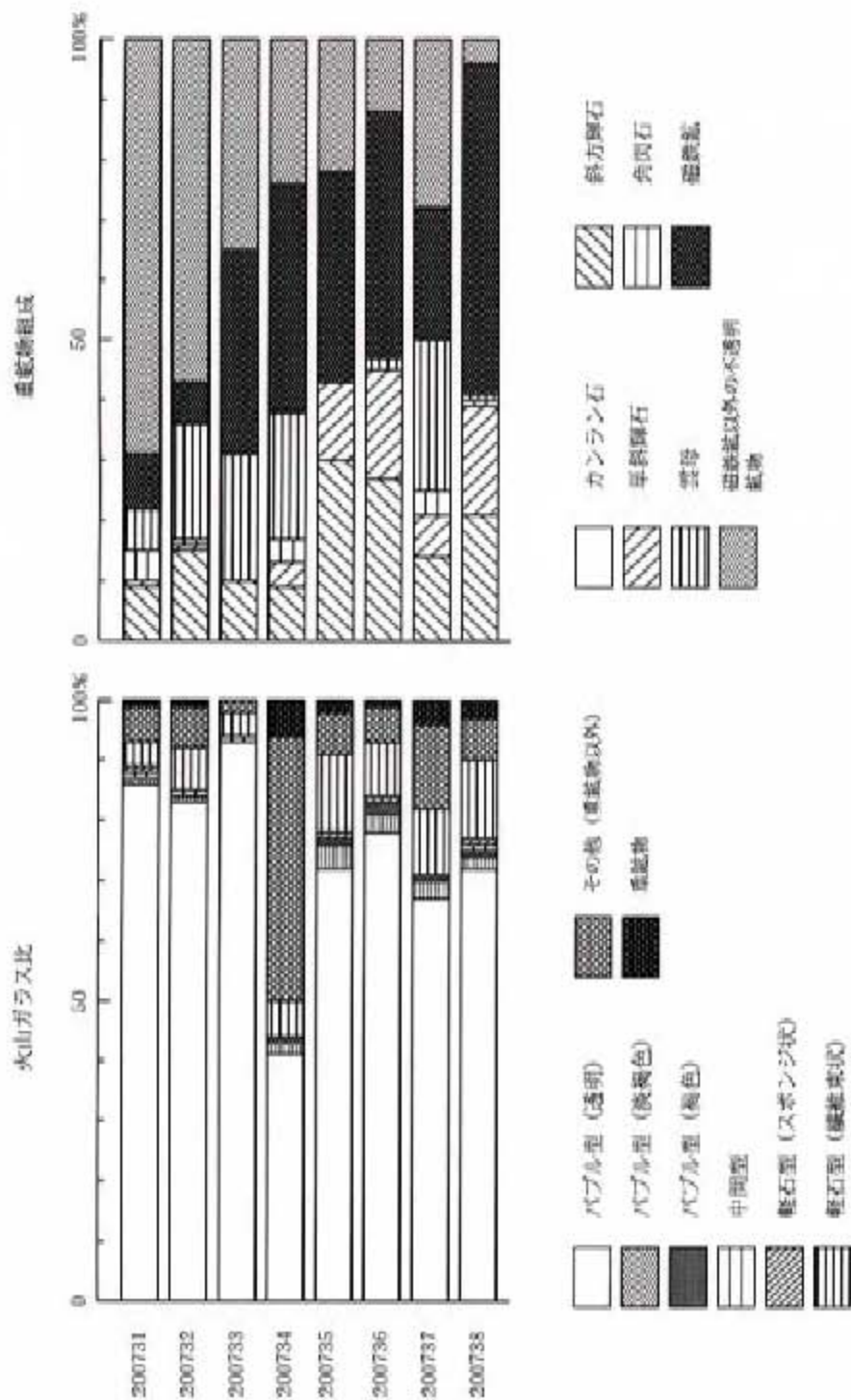
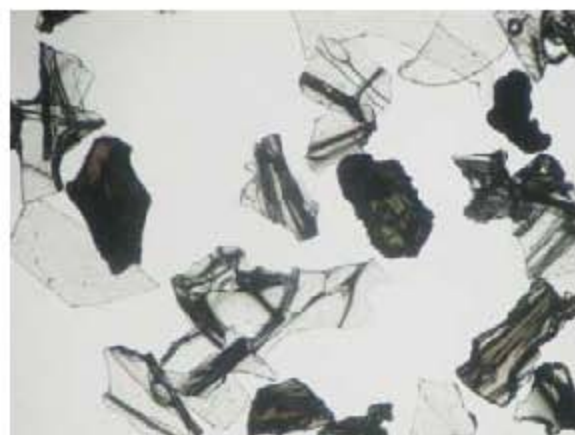


図 305 高瀬川ダム遺跡群テフラ試料の重鉱物組成ダイアグラム

顕微鏡写真



200731 ATガラス



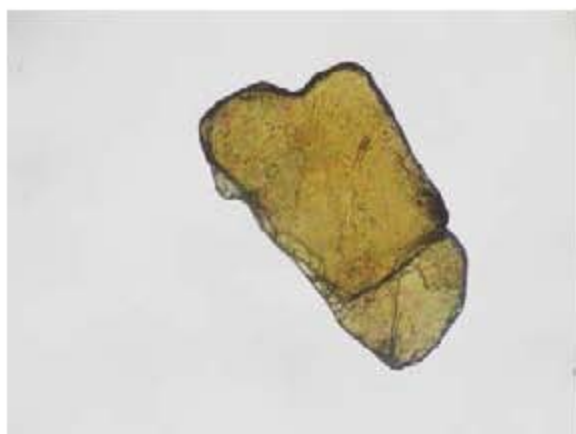
200736 斜方輝石



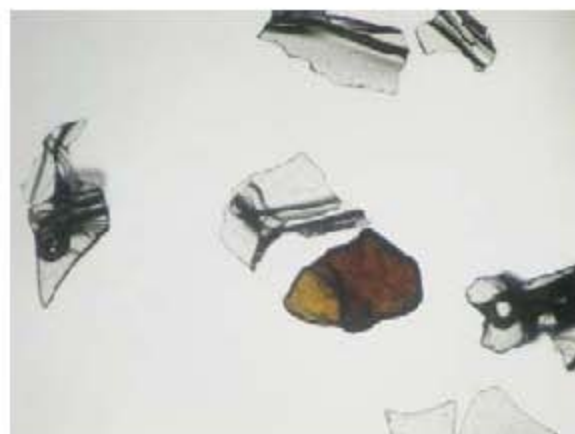
200376 単斜輝石



200738 K-Ahガラス



200378 窓母



200738-1 窓母

— 10 μm



地蔵平遺跡



地蔵平遺跡 1区



地蔵平2遺跡A区7B



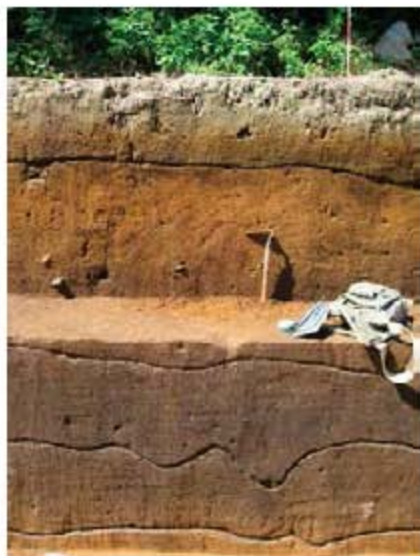
地蔵平遺跡8Bトレ



地蔵平遺跡1区5トレ



地蔵平遺跡1区5トレ8a-9a層



九郎遺跡1G区A-B土層断面ペルト西壁



九郎遺跡1G区K-Ah



小ヶ倉遺跡遠景



東畑瀬遺跡

2 地蔵平遺跡の地形地質とテフラ-テフラ分析委託業務総括報告

株式会社 火山灰考古学研究所

1) はじめに

九州地方北部に位置する佐賀市域とその周辺には、阿蘇、始良、鬼界など、中九州や南九州などの火山に由来するテフラ（いわゆる火山灰）が分布している。それらの多くは、すでに年代や岩石記載の特徴が明らかにされている指標テフラで、層位関係を把握することによって地形や地層の形成年代のみならず、遺構や遺物包含層の年代などについても明らかにできるようになっている。このような火山灰編年学は、わが国の第四紀研究を特徴づける方法にもなっている。

嘉瀬川左岸の河岸段丘面上にひろがる佐賀市地蔵平遺跡の発掘調査では、かなり早い段階で火山灰層が検出された（たとえば渡部、2008）。また、九州地方北部としてはかなり良好な赤土の堆積が認められたことから、複数のテフラの降灰層準の把握も期待できた。そこで、現地での地形地質調査により遺跡とその周辺の地形発達過程を明らかにするとともに、純度の高い分析試料を採取し、室内において重軽鉱物組成分析、重鉱物組成分析、火山ガラス比分析、火山ガラスおよび斜方輝石の屈折率測定、さらに火山ガラスの主成分化学組成分析を実施して、地形形成の年代や遺物包含層の層位などについて火山灰編年学的検討を行った。

2) 地蔵平遺跡の地形と土層

地形の概要

地蔵平遺跡周辺の元来の地形は、人工改変を受けていて非常にわかりにくくなっている。しかしながら、西部の高い河岸段丘面（Ⅰ面）、嘉瀬川本流沿いに残る河岸段丘面（Ⅱ面）、支流の左岸に広く、また支流の右岸にわずかに、さらに嘉瀬川本流沿いにも認められる河岸段丘面（Ⅲ面）、支流沿いに形成された谷の谷底部（Ⅳ面）、そして嘉瀬川沿いの低位の河岸段丘面（Ⅴ面）に区分される（図 306）。

Ⅰ面は、より高位の広いⅠa面と、より低位のⅠb面に区分される。前者は、おもに嘉瀬川本流の礫で構成されているものの、支流を流下した泥流や洪水などの堆積物に覆われており、嘉瀬川本流方向に向かって緩く傾斜している¹⁾。Ⅰb面は人為による削削をうけている可能性もあるものの、嘉瀬川本流の浸食作用により形成されたことも考えられる。

Ⅱ面は、粗粒で比較的粒径が良くそろった垂円礫層で構成されている。支流左岸のⅢa面の下方部にも同じような礫が認められ、またⅣ面にも傾斜の変換線があることから、この付近にはⅢ面の段丘地形が埋没しているのかも知れない。

Ⅲ面は、より高位のⅢa面と低位のⅢb面に区分される。Ⅲa面はとくに支流の左岸に広く残っている緩傾斜の段丘面で、堆積物中に巨礫を含む土石流堆積物が挟在されている。Ⅲb面は、嘉瀬川本流沿いに認められる段丘面である。Ⅲa面と同じく、段丘堆積物中に約2.8～3万年前に始良カルデラから噴出した始良Tn火山灰(AT、町田・新井、1976、1992、2003、早田、2010など)を挟在し、その上位に細粒の褐色土（いわゆるローム層²⁾）の堆積が認められることから（後述）、離水の時間差はさほどないと思われる。

Ⅳ面は支流の谷底部である。上方に一部原面と思われるより高い平坦面が認められるが、全体として棚田の形成などによる人工改変をとくにひどくうけている。2B区で撮影された土層断面の写真をみると、Ⅲ面を切って形成された谷沿いの緩斜面をローム層が覆った後に水成堆積物が谷が埋没しているようにみえる。同じくⅣ面上の※(5トレから東に15m)地点でもローム層の堆積は認められなかったようで、おそらくその埋没はおもに完新世初頭ころから本格化したと考えられよう。なお、嘉瀬川本流対岸に位置する九郎遺跡の主要な調査区が位置する段丘面

でも、ローム層は認められず、約7,300年前に鬼界カルデラから噴出した鬼界アカホヤ火山灰(K-Ah, 町田・新井, 1978, 1992, 2003)を挟在する黒ボク土の堆積のみが認められたことから、IV面はこの段丘面に対比されるのかも知れない。V面は嘉瀬川本流沿いに認められる低位の段丘面で、完新世に形成された新しい河岸段丘と思われる。

なお、地蔵平遺跡で旧石器時代の遺物が検出された地形面は、I～III面である。ここでは、今回の調査分析の対象であるI面とIII面について詳しく述べる。

土層の層序

① I a 面

・3区20トレンチ東端地点

3区20トレンチ東端地点では、下位より支流起源のほかに嘉瀬川本流の段丘堆積物の可能性もある垂円礫層(層厚5cm以上、礫の最大径212mm, 8層)の上位に、下位より垂角礫を少量含み褐色がかかった灰色砂層(層厚32cm, 礫の最大径33mm, 7層)、黄色がかかった灰白色砂層(層厚9cm)、わずかに緑色を帯びた黄灰色砂層(層厚12cm, 以上6層)、細かい礫を含む白色砂層(層厚23cm, 礫の最大径4mm)、黄白色砂層(層厚19cm, 以上の2層をα砂層と仮に呼ぶ)、黄色がかかった灰白色土(層厚18cm, 以上5層)、灰色がかかった黄色土(層厚12cm)、褐色がかかった黄灰色土(層厚19cm)、灰色がかかった黄色土(層厚17cm)、灰色がかかった黄色土(層厚19cm)、黄灰色土(層厚24cm, 以上4層)、わずかに色調が暗い黄色がかかった灰色土(層厚9cm)、黒灰褐色土(層厚21cm, 以上3層)、暗灰褐色土(層厚11cm)、橙色がかかった褐色土(層厚16cm, 以上2層)、黒灰褐色土(層厚12cm, 1層)が認められる(図307)。

・3区20トレンチ北東壁

深掘トレンチが作成された3区20トレンチの北東壁では、下位より垂円礫混じりで層理が発達した灰白色砂層(層厚21cm, 礫の最大径172mm)、黄灰色砂をレンズ状に挟在する黄灰褐色砂礫層(層厚105cm, 礫の最大径192mm)、層理が発達した砂混じり黄褐色礫層(層厚37cm, 礫の最大径112mm)、灰色シルト層(層厚3cm)、層理が発達した灰色砂層(層厚8cm)、黄灰色砂層(層厚9cm, 以上7層)、灰色砂質シルト層(層厚10cm)、若干黄色がかかった灰色砂層(層厚10cm)、黄灰色砂質土(層厚8cm, 以上6層)、細礫混じり白色砂層(層厚23cm, 礫の最大径5mm)、褐色土混じり白色砂層(層厚17cm, α砂層, 以上5層)、褐がかかった白色砂質土(層厚10cm)、砂を多く含む褐色土(層厚13cm)、砂混じり褐色土(層厚18cm)、白色がかかった褐色土(層厚31cm)、褐色土(層厚37cm)、灰色がかかった褐色土(層厚8cm, 以上4層)、暗灰色土(層厚36cm, 3層)、橙褐色土(層厚16cm, 2層)、炭化物混じりで色調が暗い灰褐色土(層厚16cm, 1層)が認められる(図308)。

・3区22トレンチ南東壁

3区22トレンチ南東壁では、下位より灰色がかかった白色砂層(層厚10cm以上, 5層, α砂層)、若干桃色がかかった褐色土(層厚12cm, 4層下)、灰白色砂層(層厚19cm, β砂層, 4層中)、砂混じり褐色土(層厚29cm)、褐色土(層厚39cm, 以上4層上)が認められる(図309)。

・3区31トレンチ北東壁

3区31トレンチ北東壁では、下位より灰色砂層(層厚10cm, α層に対比される)、桃色がかかった褐色土(層厚12cm, 以上5層)、最下部に褐色泥層(層厚29cm)を伴う褐灰色泥流堆積物(層厚207cm, 礫の最大径198mm)、砂混じり褐色土(層厚23cm)、褐色土(層厚38cm)、灰色がかかった褐色土(層厚16cm, , 以上4層)

が認められる（図 310）。

②Ⅲ a 面

・2A 区北壁

支流沿いに形成され、その後開析をうけた緩斜面状の段丘の断面である 2A 区北壁では、下位より灰色砂層（層厚 10cm 以上、17 層）、褐色砂礫層（層厚 61cm、礫の最大径 260mm）、礫混じり灰色砂質土（層厚 17cm、礫の最大径 38mm、以上 16 層）、層理が発達したシルト混じり灰白色砂層（層厚 13cm）、巨礫を含む砂混じり黄灰色土（層厚 51cm、礫の最大径 899mm、土石流堆積物、13 層）、灰色粘質土（層厚 6cm）、黒色炭化物層（層厚 1cm）、灰色粘質土（層厚 2cm）、層理が発達した粒径が粗い黄灰色砂層（層厚 34cm）、黄灰色シルト層（層厚 3cm、以上 10 層）、わずかに黄色を帯びた層理が発達した灰色砂層（層厚 16cm）、成層したテフラ層（層厚 10cm）、黄色がかかった礫混じり灰色砂層（層厚 8cm、礫の最大径 6mm、以上 9 層）、礫混じり黄灰色砂層（層厚 66cm、5 層）、褐色土（層厚 54cm、4 層）、黒褐色土（層厚 25cm、3 層）が認められる（図 311）。

これらのうち成層したテフラ層は、下部の正の級化構造をもつ粗粒の黄色火山灰層（層厚 8cm）と、上部の気泡をもつ褐色細粒火山灰層（層厚 2cm）から構成される。

3) 重軽鉱物組成分析・重鉱物分析・火山ガラス比分析

分析試料と分析方法

3 区 20 トレンチ東端地点の土層断面において、土層の層界をまたがないように基本的に 5cm ごとに設定採取された試料のうちの 7 試料を対象に、重軽鉱物組成分析と重鉱物組成分析が行われた。これらの分析によりガラス質テフラの降灰が期待できたことから、3 区の 20 トレンチ東端地点のほかの試料、また 20 トレンチ北東壁、22 トレンチ南東壁、31 トレンチ北東壁、2A 区北壁において同様の方法で設定採取された試料のうちの 32 点を対象に火山ガラス比分析が実施された。分析の手順は次の通りである。

- ①試料 15g を秤量。
- ②超音波洗浄装置を用いながら、ていねいに泥分を除去。
- ③80℃で恒温乾燥。
- ④1/4～1/8mm および 1/8～1/16mm の粒子を篩別。
- ⑤偏光顕微鏡下で 250 粒子を観察し、火山ガラスの色調形態別比率、さらに石英・長石・岩片と重鉱物の比率を求める（重軽鉱物組成分析）。なお、火山ガラスの色調形態別比率のみを求める分析を火山ガラス比分析とする。
- ⑥偏光顕微鏡下で 250 粒を観察し、重鉱物組成を求める（重鉱物組成分析）。

分析結果

重軽鉱物組成分析と重鉱物組成分析の結果を表 27 と表 28 に、火山ガラス比分析の結果を表 29 に示す。また、3 区 20 トレンチ東端地点における火山ガラス比分析結果と重鉱物組成分析、3 区の 20 トレンチ北東壁、22 トレンチ南東壁、2A 区の北壁における火山ガラス比分析の結果を、ダイヤグラムにして図 312～314 に示す。

3 区 20 トレンチでは、東端地点の試料 19 および 15 に無色透明の火山ガラスの出現ピークが認められる。それより上位では、試料 5 に火山ガラスが多く含まれている。この試料に含まれる火山ガラスは、比率が高い順に無色透明のバブル型（35.6%）、淡褐色のバブル型および繊維束状の軽石型（各 4.4%）、分厚い中間型（1.6%）、褐色のバブル型（1.2%）である。一方、試料 19 より下位では、北東壁の試料 39～35 と、東端地点の試料 37 より上位で連続的に火山ガラスが検出された。その中では、東端地点の試料 33 において無色透明のバブル型（1.2%）

と繊維束状の軽石型（0.4%）が検出され、上下の試料よりわずかにより多くの火山ガラスが含まれていることが明らかになった。

重鉱物としては不透明鉱物（おもに磁鉄鉱、角閃石、黒雲母、斜方輝石、単斜輝石などが認められる。その比率は、試料 27、試料 19、試料 15 でやや高い傾向にある。とくに、試料 19 では斜方輝石の比率が、上下の試料と比較して高い（14.8%）。試料 7 では、斜方輝石（20.0%）や単斜輝石（10.0%）の比率が高く、角閃石のそれが低い（4.4%）。

以上のことから、3区 20 トレンチ東端地点の試料 19 付近に無色透明のバブル型ガラスや斜方輝石、また試料 5 付近に褐色や淡褐色など有色のバブル型ガラスで特徴づけられるテフラの降灰層準があると推定される。さらに、顕著ではないものの 3区 20 トレンチ東端地点の試料 33 付近に、やはり無色透明のバブル型や繊維束状の火山ガラスで特徴づけられるテフラの降灰層準のある可能性が示唆される。

3区 22 トレンチ南東壁では、試料 12 と試料 10 から無色透明のバブル型ガラスがごく少量ずつ検出された（各 0.4%）。3区 31 トレンチ北東壁において、火山ガラスは検出されなかった。

2A 区北壁では、試料 18 から試料 15 にかけて中間型ガラスを中心に火山ガラスがごくわずかずつ検出された。しかしながら、その顕著な濃集は認められない。成層したテフラ層から採取された試料 1 には、火山ガラスが高率に含まれている（74.0%）。その内訳は、比率が高い順に、無色透明のバブル型（53.2%）、繊維束状の軽石型（17.2%）、中間型（2.0%）、淡褐色のバブル型およびスポンジ状に発泡した軽石型（各 0.8%）である。

4) 屈折率測定

測定試料と測定方法

指標テフラとの同定精度を向上させるため、重軽鉱物分析の対象のうちの 6 試料に含まれる火山ガラス（1/8-1/16mm）について、温度変化型屈折率測定装置（古澤地質社製 MAIOT）を利用して屈折率の測定を行った。また、火山ガラス比分析の対象となった試料のうち、AT より下位で火山ガラスがより多く認められた 3区 20 トレンチ東端地点の試料 33、一次堆積層のテフラが認められた 2A 区北壁の試料 1、その下位の試料 18 の 3 試料に含まれる火山ガラス（1/8-1/16mm）を対象に、温度変化型屈折率測定装置（京都フィッシュン・トラック社製 RIMS2000）を用いて屈折率の測定を実施した。さらに、2A 区北壁の 13 層から採取された試料に含まれる斜方輝石（>1/8mm）を実体顕微鏡下でピッキングし、屈折率測定を行った。

測定結果

屈折率測定の結果を表 30 に示す。3区 20 トレンチ東端地点の試料 33 に含まれる火山ガラス（6 粒子）の屈折率（ n ）は、1.496-1.499 である。試料 31 に含まれる火山ガラス（3 粒子）の屈折率（ n ）は、1.496、1.499、1.508 である。試料 27 に含まれる火山ガラス（5 粒子）の屈折率（ n ）は、1.498 である。試料 23、試料 19、試料 15、試料 7 に含まれる火山ガラスの屈折率（ n ）のほとんどは 1.498-1.501 の range にあるが、試料 7 には 1.510-1.511 の値をもつ火山ガラスも含まれている。

また、2A 区北壁の試料 18 に含まれる火山ガラスの屈折率（ n ）は、1.496（1 粒子）と、1.498-1.499（3 粒子）である。量が少ないために単独の試料での測定はできないが、試料 18 を含む 13 層から検出された斜方輝石（16 粒子）の屈折率（ γ ）は、1.700-1.701 である。試料 1 に含まれる火山ガラス（31 粒子）の屈折率（ n ）は、1.497-1.500 である。

5) 火山ガラスの主成分化学組成分析

分析試料と分析方法

3区 20 トレンチ東端地点の試料 33 と、一次堆積層のテフラが認められた 2A 区北壁の試料 1 に含まれる火山

ガラスについて、指標テフラとの同定精度をさらに向上させるために、波長分散型エレクトロンプローブX線マイクロアナライザー（以下、WDS型EPMAとする）により主成分化学組成分析を実施した。分析に使用した分析機器は、山形大学理学部の日本電子 JXA8600MWDS 型 EPMA である。加速電圧 15kV、照射電流 0.01 μ A、ビーム径 10 μ m の条件で行った。補正法は Oxide ZAF 法を用いた。

分析結果

火山ガラスの主成分化学組成分析結果を表 31 と表 32 に示す。また、九州地方とその周辺に分布する代表的な後期更新世指標テフラとの比較のために表 33 を作成した。分析の結果、いずれの試料にも AT に主成分化学組成がよく似た火山ガラスが含まれていることが明らかになった。

6) 考察

指標テフラの層位

2A 区北壁で認められた成層したテフラ層（9 層の中位、試料 1）は、層相、無色透明のバブル型が多い火山ガラスの形態や色調、火山ガラスの屈折率特性および主成分化学組成から AT に同定される。このように AT の一次堆積層が陸上堆積物中に認められることは、北部九州ではまれである。本遺跡におけるこの AT の一次堆積層は、下部の正の級化構造をもつ黄色粗粒火山灰層と、上部の気泡をもつ褐色細粒火山灰層に区分される。上部の気泡については、細粒の火山灰が集まって火山豆石 (accretionary lapilli) として降下堆積したことを示している。層相から、これら 2 層は下位より広義の AT のうち AT-B および AT-C (町田・新井, 1992, 2003) に各々対比される可能性がある。これらのユニットは、いずれも入戸火砕流の 2 つのフロー・ユニット (flow unit) に対応する cognimbrite ash と考えられている (町田・新井, 1992)

3 区 20 トレンチ東端地点のとくに試料 23 (4 層中部) より上位に含まれる火山ガラスの多くについては、無色透明のバブル型ガラスで特徴づけられることや、その屈折率特性などから、AT と考えられる。その本来の降灰層準は、無色透明のバブル型を含む火山ガラスの比率が高いこと、また斜方輝石の比率がもっとも高いことから、試料 19 付近にあると推定される。ただし、試料 23 付近にも AT 起源の火山ガラスが混在していると考えられることから、遺物包含層の最終的な形成は AT 降灰後とも考えられる。旧生活面の把握を慎重に実施して、AT との層位関係を検討する必要がある。

一方、それより下位にある火山ガラスのうち、3 区 20 トレンチ東端地点の試料 33 (5 層上部)、試料 31 層、試料 27 (以上 4 層下部) に含まれる屈折率 (n) が 1.496-1.499 のものについては、その屈折率特性から、約 9.5 万年前に鬼界カルデラから噴出した鬼界葛原テフラ (K-Tz, 町田ほか, 1983, Nagaoka, 1988, 町田・新井, 1992, 2003)、約 3.25 万年前に始良カルデラから噴出した始良大塚テフラ (A-Ot, Nagaoka, 1988, 町田・新井, 1992, 2003)、約 3.1 万年前に始良カルデラから噴出した始良築港テフラ (A-Fm, Nagaoka, 1988, 町田・新井, 1992, 2003) に由来する可能性が考えられる。もしかすると、約 5 万年前以前に三瓶火山から噴出した三瓶雲南テフラ (SUn, 林・三浦, 1986, 三浦・林, 1991, 町田・新井, 1992, 2003) も混在しているのかも知れない。

このうち、試料 33 (5 層上部) に含まれる火山ガラスの主成分化学組成は、AT に非常に良く似ている。何らかの攪乱作用を受けて AT の火山ガラスが下位の試料 33 付近に混入している可能性も完全に否定できないものの、層位的に AT の降灰層準からかなり離れていることから、ここでは主成分化学組成も考慮して AT の下位の始良系テフラの可能性を指摘しておきたい。

今回検出された可能性のある AT より下位の始良系テフラについては、四国地方西部でも検出されている A-Fm (早田・多田, 未公表資料)、あるいはその下位の A-Ot かも知れない。さほど知られていないようであるが、これまで中部九州のいくつかの遺跡で、AT の下位に起源が不明なテフラが検出されている。たとえば、島原市大崎鼻遺跡

では、いわゆる「AT 下位の暗色帯」の下位から基底帯にかけて中間型や無色透明のバブル型やスポンジ状に発泡した軽石型の火山ガラスが検出されており、暗色帯基底帯に含まれるその屈折率 (n) は 1.499-1.500 である (古環境研究所, 2001a)。その報告では、試料中にカンラン石が含まれていることや斜方輝石の屈折率から、阿蘇カルデラ起源の可能性が指摘されているが、阿蘇カルデラ起源のテフラの中にこの屈折率特性をもつ火山ガラスは今のところ知られておらず、火山ガラスについては他の火山に由来する可能性もある。

また、延岡市赤木遺跡でも、AT の一次堆積層の下位の「AT 下位の暗色帯」中に中間型ガラスで特徴づけられるテフラの濃集が認められる。この火山ガラスについては、屈折率特性などは不明であるものの、同定される可能性として A-Ot、A-Fm、阿蘇草千里ヶ浜テフラ (Aso-K) が挙げられている (古環境研究所, 2007a)。しかしながら、Aso-K に含まれる火山ガラスは基本的に少なく、しかもスポンジ状や繊維束状に発泡した軽石型で特徴づけられるらしい (古環境研究所, 2007b)。さらに、同じような火山ガラスは、熊本市石の本遺跡 38 南側壺区深屈トレンチ第 1 地点や 3097 グリッド北壁で認められる「AT 下位の暗色帯」中でも多く認められている (古環境研究所, 2001b, c)。このテフラの層位を考慮すると、阿蘇系テフラでなければ、A-Ot より A-Fm の可能性が高いように思われる。

いずれにしても、AT より下位の始良系テフラに含まれる火山ガラスの主成分化学組成分析の実施例は知られていない。また、阿蘇系テフラについても、Aso-K の岩石記載的分析の実施例はあるものの (たとえば町田・新井, 1992, 2003)、火山ガラスの屈折率特性は不明で、このテフラを含め類質物質として黒曜石が噴出した際に中間型テフラが形成されて降灰した可能性もある。さらに、雲仙火山や九重火山についても、未知のテフラやテフラの特性があるのかも知れない。今後、広くテフラに含まれる火山ガラスや斜方輝石の屈折率特性や、火山ガラスの主成分化学組成を明らかにして、地蔵平遺跡で AT の下位から検出されたテフラ粒子の起源を明らかにしなければならない。

なお、試料 31 に含まれる屈折率 (n) が 1.508 の火山ガラスについては、その屈折率特性から、10.5~11 万年前に阿多カルデラの北の海底カルデラから噴出した阿多テフラ (Ata, Nagaoka, 1988, 町田・新井, 1992, 2003 など)、あるいは約 8.5~9.0 万年前に阿蘇カルデラから噴出した阿蘇 4 火砕流堆積物 (小野ほか, 1977) を含む阿蘇 4 テフラ (Aso-4, 町田ほか, 1985, 町田・新井, 1992, 2003 など) に由来すると思われる。

3 区 20 トレンチ東端地点において、AT 降灰層準より上位の試料 7 には、高い屈折率をもつ火山ガラスが含まれている。この火山ガラスは淡褐色や褐色のバブル型ガラスで特徴づけられることや、その屈折率特性などから、K-Ah に由来すると思われる。このテフラについても一次堆積層としては認められないことから、少なくとも試料 7 が採取された 2 層は K-Ah 降灰後に形成された土層と考えられる。なお、テフラ粒子の出現ピークを降灰層準とするならば、それは試料 5 付近となる。

2A 区北壁において AT (9 層中位) の下位の 13 層に含まれる火山ガラスも、その屈折率特性から、やはり K-Tz、SUn、A-Fm などに由来すると推定される。ただし、この地点では、13 層に含まれる火山ガラスが非常に少ないことから、実際のテフラの降灰層準はより下位にある可能性が十分考えられる。なお、斜方輝石については、その屈折率特性から Aso-4 など阿蘇系テフラに由来すると思われる。

地形発達過程と人々の生活域

地蔵平遺跡周辺に認められる段丘面のうち、もっとも高位の I a 面は、地形や堆積物の層厚から堆積段丘の可能性が高い。その離水後、まもなく支流側からの α 砂層 (5 層下部) により覆われた。しばらくして、支流沿いを泥流 (4 層中) が流下して I a 面を覆っている。発掘調査担当者の土層観察の結果によれば、I a 面の比較的東側で認められる β 砂層については、この泥流堆積物の同時異相と考えられるらしい。なお、泥流堆積物分布域において、泥流堆積物直下にある 4 層下については、報告者は泥流堆積物の下部の可能性を考えている。

これらα砂層や、泥流-β砂層との関係は不明ではあるが、これらの堆積前後にI b面が形成された可能性がある。これら段丘の形成時期に関しては、A-Fmの降灰層準が5層最上部付近にあって、それらと段丘堆積物の間に大きな不整合がないとし、Aso-4起源のテフラ粒子が比較的少ないことも合わせて総合的に考えれば、海洋酸素同位体ステージ(MIS)3の可能性が指摘されよう。その下位のII面の形成過程や年代については、現代のところ不明な点が多い。いずれにしても、地蔵平遺跡における人々の最初の活動は、A-Fm降灰後に行われたと推定される。

III面に関しては、堆積物中に巨礫を含む土石流堆積物やATが挟在されている。巨礫の分布をみると、土石流は支流沿いを流下し、現在の嘉瀬川本流付近にまで達したようである。その下位より後期旧石器時代の遺物が検出されていることから、人々はI a面などより高位の段丘面だけでなく、より低い当時の河床周辺でも活動していた可能性がある。このIII面を構成する段丘堆積物の上位には細粒の褐色土（いわゆるローム層）の堆積が認められることから、その離水は最終氷期後半の寒冷期であるMIS2と推定される。III a面の形成後まもなく、嘉瀬川本流によって下方が侵食され本流沿いにIII b面が形成されたと思われる。

細粒の褐色土（いわゆるローム層）の形成中(MIS2)に、少なくともIII a面の下方で谷の形成が始まり、後氷期であるMIS1の初期には、谷は埋没し始めてIV面が形成されている。その後、嘉瀬川本流の下刻により形成された堆積性の段丘面は、嘉瀬川本流対岸の九郎遺跡付近でも形成されたと推定される。九郎遺跡では縄文時代早期の土器が検出されていることから、縄文時代の人々はこの段丘面の離水後比較的早い時期に生活活動を始めたらしい。完新世になると、低位の河成段丘(V面)が形成されている。この段丘面が、仮に縄文時代後期の遺物が検出された東畑遺跡の上位の段丘面に対比されるとすれば、その離水は縄文時代後期以前と推定される。

7) まとめ

佐賀市地蔵平遺跡において、地質調査を実施して地形地質の記載を行うとともに、採取した高純度の試料を対象に重軽鉱物組成分析、重鉱物組成分析、火山ガラス比分析、火山ガラスおよび斜方輝石の屈折率測定、さらに火山ガラスの主成分化学組成分析を実施した。その結果、始良Tn火山灰(AT, 約2.8~3.0万年前)の一次堆積層やその降灰層準を検出できた。また、ATの下位から、阿多テフラ(Ata, 約10.5~11万年前)、鬼界葛原テフラ(K-Tz, 約9.5万年前)、阿蘇4テフラ(Aso-4, 約8.5~9.0万年前)、始良深港テフラ(A-Fm, 約3.1万年前)などに由来する可能性のあるテフラ粒子を検出した。一方、ATの上位で鬼界アカホヤ火山灰(K-Ah, 約7,300年前)の降灰層準も検出できた。そして、これらのテフラを時空軸として、地蔵平遺跡における地形発達過程を解明するとともに、遺物包含層の層位や年代について検討を行うことができた。

八木浩司山形大学地域教育文化学部教授には、空中写真による地形分析を試みていただき、現地においても地形観察を実施し地形地質の記載に関してご助言いただいた。また、東京大学大学院人文社会系研究科の林和広氏には、ファブリック解析を実施していただいた。ここに記して御礼申し上げます。

*1 林正和氏から2010年に佐賀県社会教育・文化財課に送付された「地蔵平遺跡ファブリック解析結果報告」(8p)によれば、堆積物のファブリック解析の結果、泥流堆積物(土石流堆積物)の供給源は北北東~北東で、南西に向かって堆積したと推定される。一方、段丘遺留の下部は西~南西から、また上部は西北西からの流向、つまり嘉瀬川本流により形成されたことがわかるらしい。

*2 ローム層についてはさまざまな成因が考えられているが、ここでは、更新世に火山ガラスの風化物のほかに、大陸からの黄砂(広域風成塵)や河床周辺からの風成塵が混在して形成された細粒で褐色の風成堆積物を指す。

文献

林 正久・三浦 清(1986) 三瓶県南石段の遺物特性と分布の広域性。鳥根大山陸地学(自然環境), 2, p17-26

古墳研究所(2001a) 布津町、大崎遺跡の火山灰分析。長崎県布津町教育委員会編「大崎遺跡」, p.34-38

古墳研究所(2001b) 石の本遺跡と同辺地域の地質とテフラ。熊本県教育委員会編「石の本遺跡報告Ⅲ」, p113-136

古墳研究所(2001c) 石の本遺跡と土層とテフラ。熊本県教育委員会編「石の本遺跡報告Ⅳ」, p135-139

古墳研究所(2007a) 火山灰分析。古墳学地理文化財センター編「赤木遺跡第8地点(第二次発掘)」, p.87-92

古墳研究所(2007b) 高畑乙ノ原遺跡およびその周辺の土層とテフラ。山形県教育委員会編「高畑乙ノ原遺跡・高畑前線遺跡・高畑古ノ下遺跡」, p127-143

- 町田 洋・新井啓夫 (1976) 広域に分布する火山灰—始良 Tn 火山灰の発見とその意義. 科学, 46, p.339-347.
- 町田 洋・新井啓夫 (1978) 南九州島界カルデラから噴出した広域テフラ—アカホヤ火山灰. 第四紀研究, 17, p.143-163.
- 町田 洋・新井啓夫 (1992) 火山灰アトラス. 東京大学出版会, 276p.
- 町田 洋・新井啓夫 (2003) 新編火山灰アトラス. 東京大学出版会, 347p.
- 町田 洋・新井啓夫・百瀬 貴 (1985) 阿蘇 4 火山灰—分布の広域性と後期更新世示温層としての意義—. 火山, 30, p.49-70.
- 町田 洋・新井啓夫・長岡徳治 (1983) 広域テフラによる南関東と南九州の後期更新世海成段丘の対比. 日本第四紀学会 論文要旨集, no.13, p.45-46.
- 三浦 清・林 正久 (1991) 中国・四国地方の第四紀テフラ研究—広域テフラを中心として—. 第四紀研究, 30, p.339-351.
- Nagaoka, S. (1988) The late Quaternary tephra layers from the caldera volcanoes in and around Kagoshima Bay, southern Kyushu, Japan. Geogr. Rept Tokyo Metropol Univ., 23, p.49-122.
- 小野亮司・松本征夫・吉久三千平・寺岡勇司・神戸信伸 (1977) 竹田地域の地質. 地域地質研究報告 (5 万分の 1 回縮), 地質調査所, 156p.
- 早田 勉 (2010) 第四紀更新世の自然と人痕. 宿田孝司・佐藤宏之編「關東日本の考古学—旧石器時代上」, 青木書店, p.77-102.
- 早田 勉 (2011) 九州・沖縄地方の旧石器考古学に関するテフラ研究の現状と課題. 九州旧石器, no.15, p.1-11.
- 徳新芳久 (2008) 佐賀県地蔵平遺跡の発掘調査. 九州旧石器, no.12, p.73-77.

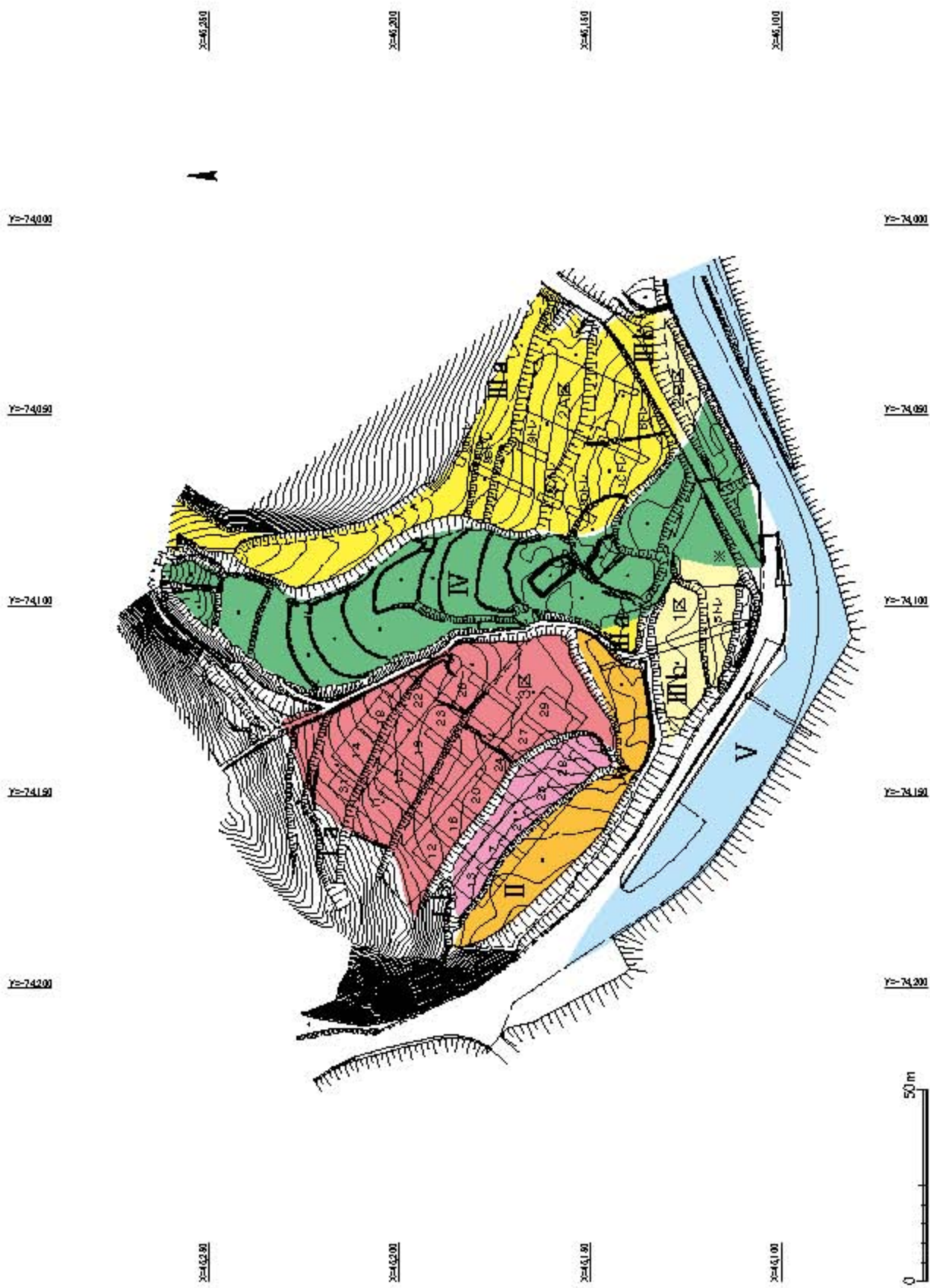


図 306 地形区分図

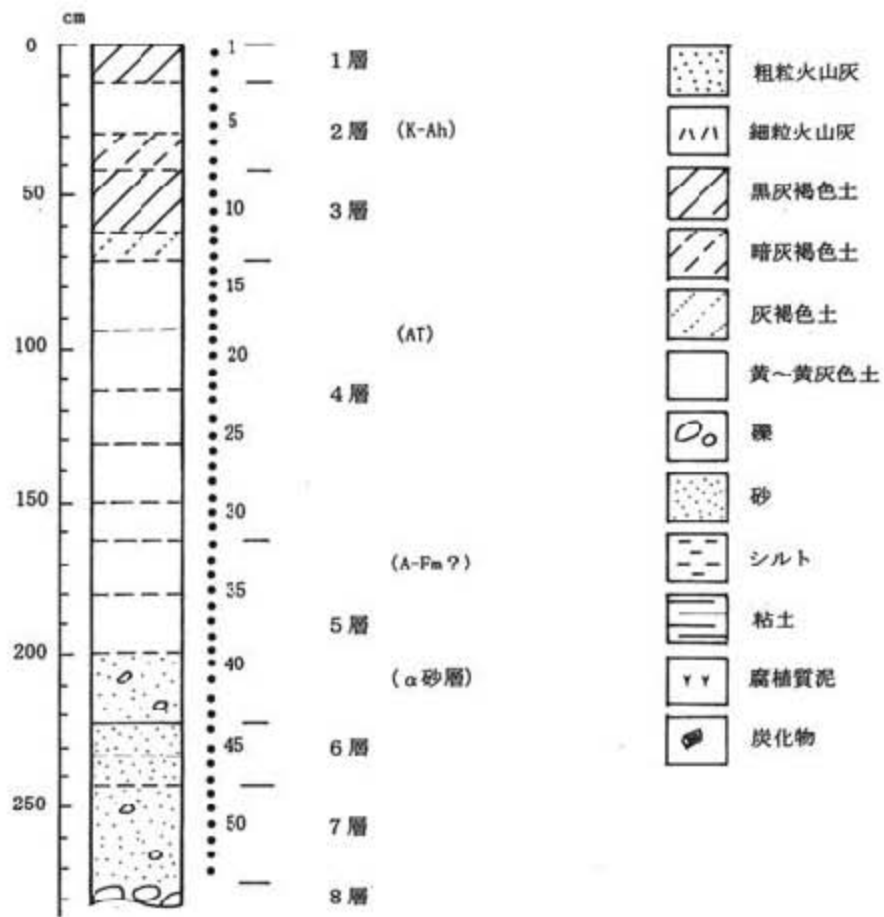


図 307 3区 20 トレンチ東端地点の土層柱状図

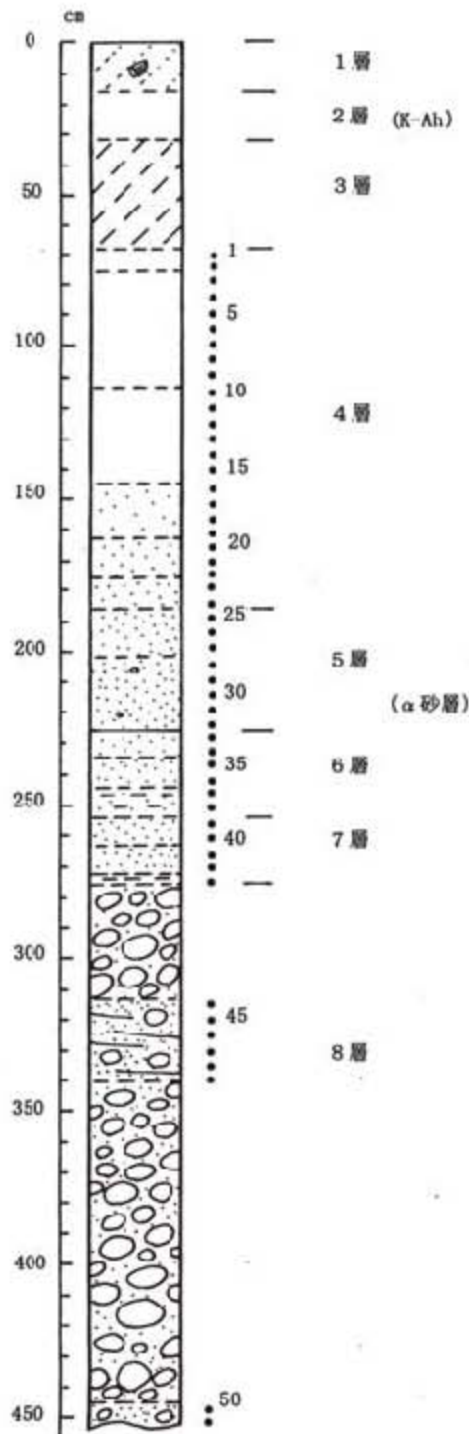


図308 3区20トレンチ北東壁の土層柱状図

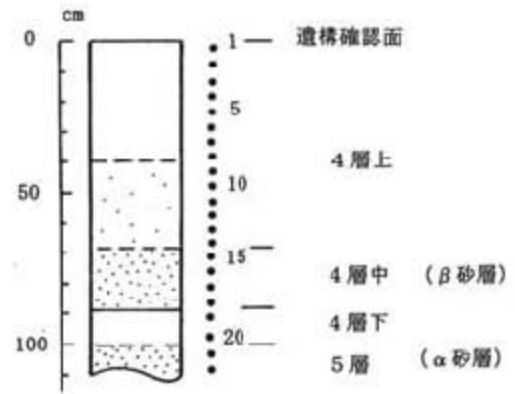


図309 3区22トレンチ南東壁の土層柱状図

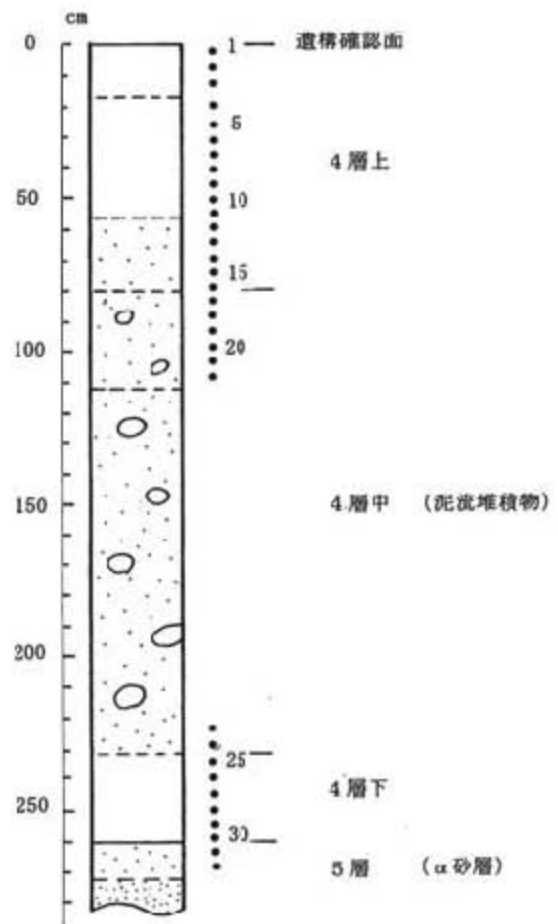


図310 3区31トレンチ北東壁の土層柱状図

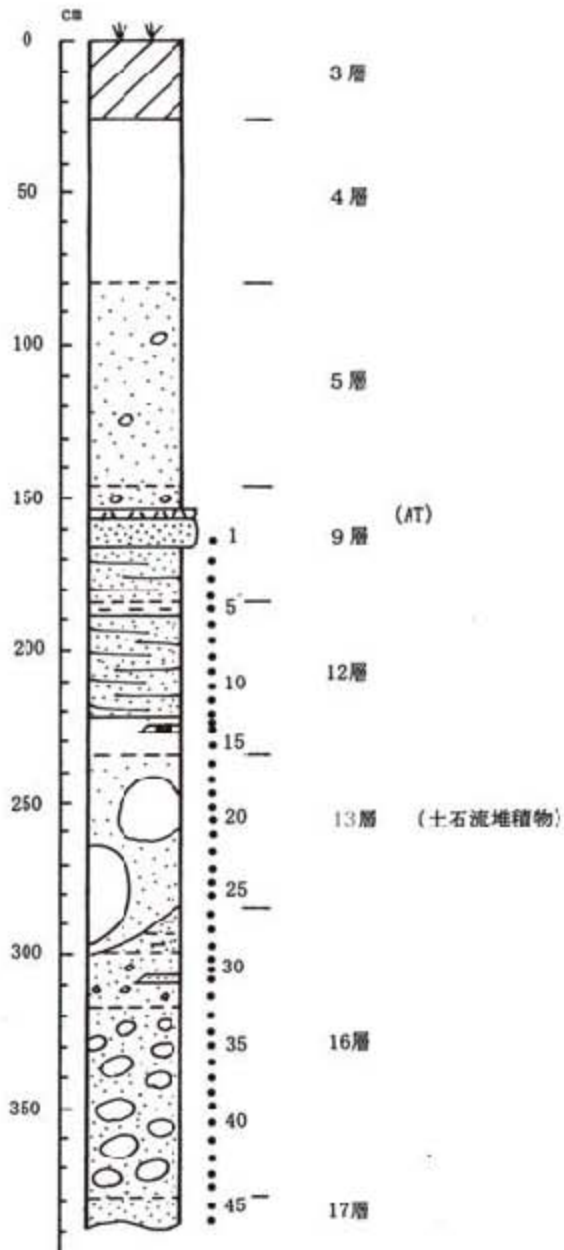


図311 2A区北壁の土層柱状図

表 27 重鉱物組成分析結果

地点名	試料	bw (c)	bw (pb)	bw (φ)	md	pm(sp)	pm (f)	軽鉱物・岩片	重鉱物	合計
3区20トレンチ東側地点	7	55	5	2	7	1	7	157	16	250
	13	72	2	0	3	1	8	153	11	250
	15	86	0	0	6	2	3	134	19	250
	19	77	0	0	3	2	12	140	16	250
	23	56	0	0	0	0	4	182	8	250
	27	1	0	0	1	0	1	233	14	250
	31	1	0	0	1	0	0	243	5	250

bw: バブル型, pm: 軽石型, md: 中間型, pm: 軽石型, cl: 藍色透明, pb: 従褐色, br: 褐色, sp: スポンジ状, f: 繊維束状, 数字は粒子数。

表 28 重鉱物組成分析結果

地点名	試料	ol	opr	cpr	am	bi	opq	その他	合計
3区20トレンチ東側地点	7	1	50	25	11	14	142	7	250
	13	0	19	0	52	10	161	6	250
	15	0	15	2	42	17	159	5	250
	19	0	37	4	66	24	139	4	250
	23	0	8	1	61	43	125	7	250
	27	0	10	5	21	45	122	7	250
	31	0	8	5	4	95	113	8	250

ol: カンラン石, opr: 斜方輝石, cpr: 単斜輝石, am: 角閃石, bi: 黒雲母, opq: 不透明鉱物 (おもに従褐色), 数字は粒子数。

表 29 火山ガラス比分析結果 (表 27 の一部データを統合)

地点名	試料	bw (c)	bw (pb)	bw (φ)	md	pm(sp)	pm (f)	その他	合計
3区20トレンチ東側地点	5	89	11	3	4	0	11	132	250
	7	55	5	2	7	1	7	173	250
	13	72	2	0	3	1	8	164	250
	15	86	0	0	6	2	3	153	250
	19	77	0	0	3	2	12	156	250
	23	56	0	0	0	0	4	190	250
	25	5	0	0	1	0	0	244	250
	27	1	0	0	1	0	1	247	250
	29	0	0	0	0	0	1	249	250
	31	1	0	0	1	0	0	248	250
	33	3	0	0	0	0	1	246	250
	35	1	0	0	0	0	0	249	250
	3区20トレンチ北東側	37	1	0	0	0	0	0	249
39		0	0	0	0	0	0	250	250
41		0	0	0	0	0	0	249	250
43		0	0	0	0	0	0	250	250
45		0	0	0	0	0	0	250	250
51		0	0	0	0	0	0	250	250
53		0	0	0	0	0	0	250	250
22トレンチ南東側	10	1	0	0	0	0	0	249	250
	12	1	0	0	0	0	0	249	250
	20	0	0	0	0	0	0	250	250
31トレンチ北東側	25	0	0	0	0	0	0	250	250
	27	0	0	0	0	0	0	250	250
	31	0	0	0	0	0	0	250	250
2区北側	1	89	11	3	4	0	11	132	250
	4	0	0	0	0	0	0	250	250
	13	0	0	0	0	0	0	250	250
	15	0	1	0	1	0	0	248	250
	16	0	0	0	1	0	0	249	250
	18	0	0	0	1	0	0	249	250
	20	0	0	0	0	0	0	250	250
	22	0	0	0	0	0	0	250	250
	24	0	0	0	0	0	0	250	250
	27	0	0	0	0	0	0	250	250
	32	0	0	0	0	0	0	250	250
44	0	0	0	0	0	0	250	250	

bw: バブル型, pm: 軽石型, md: 中間型, pm: 軽石型, cl: 藍色透明, pb: 従褐色, br: 褐色, sp: スポンジ状, f: 繊維束状, 数字は粒子数。

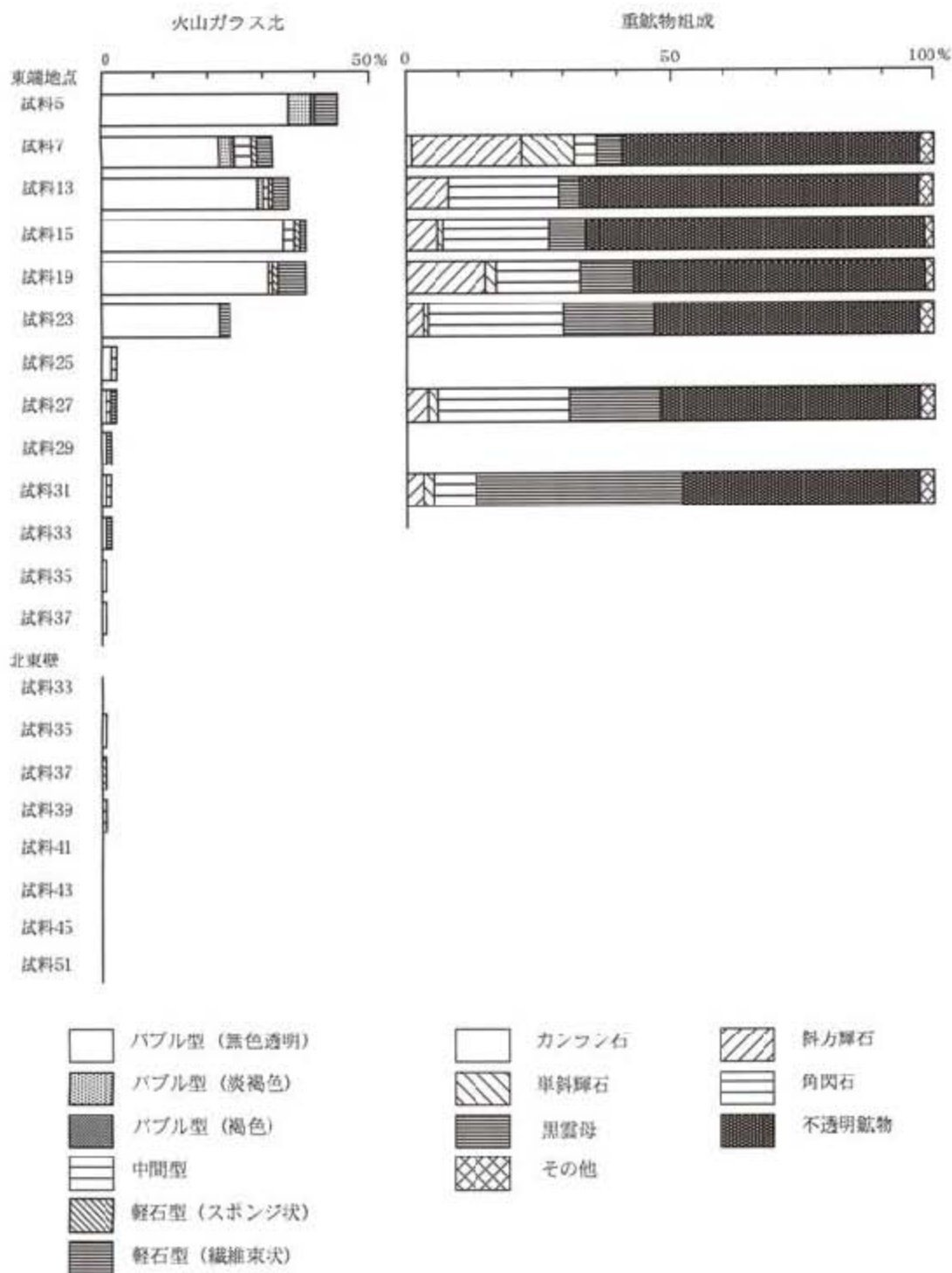


図 312 3区 20 トレンチ（東端地点・北東壁）の火山ガラス比および重鉱物組成ダイアグラム

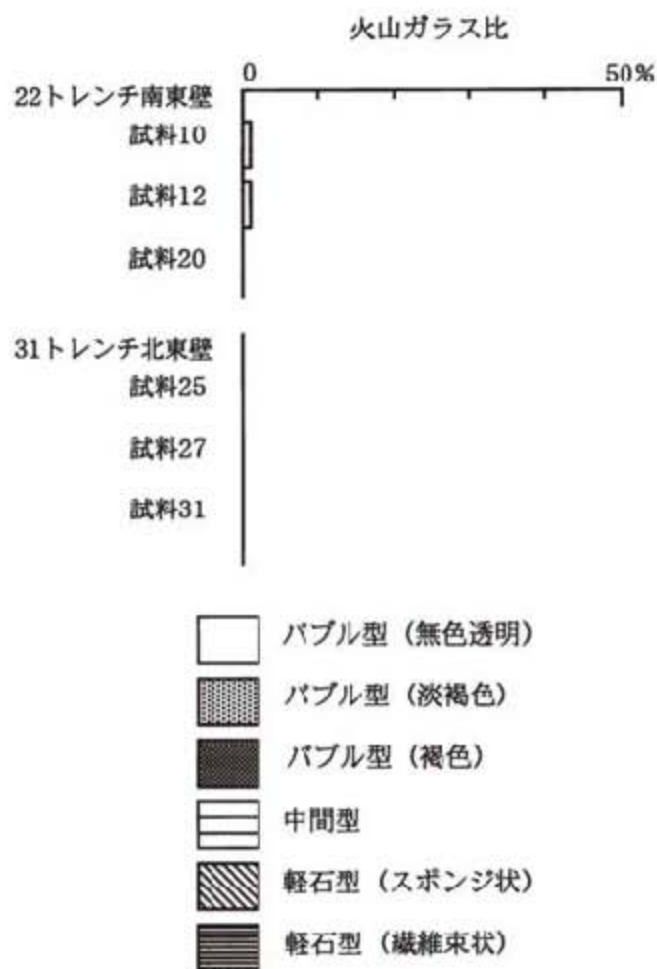


図313 3区22トレンチ・3区31トレンチの火山ガラス比ダイヤグラム

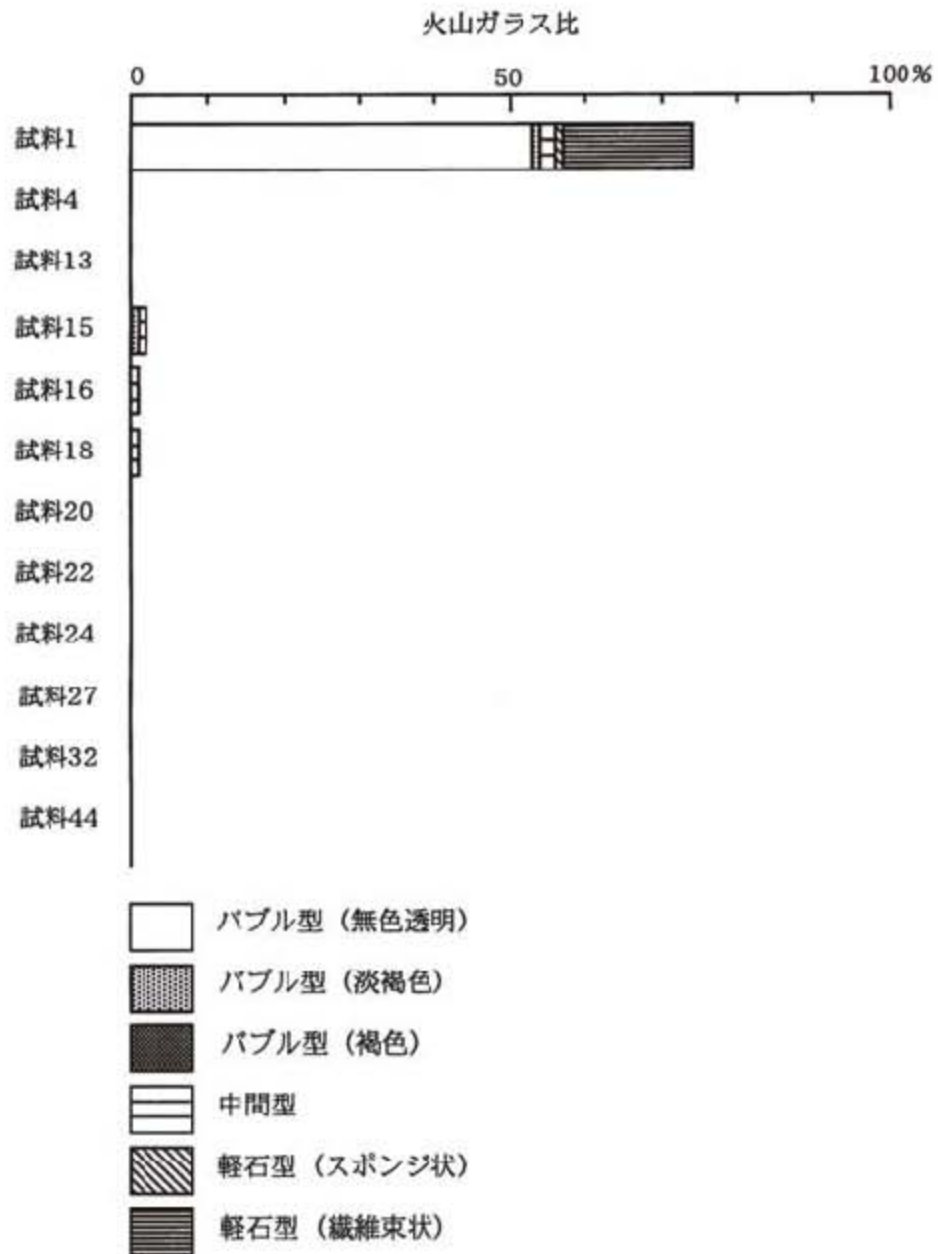


図314 2A 区北壁の火山ガラス比ダイヤグラム

表 30 屈折率測定結果

地点名	採種・デフラ	火山ガラス		採種点数	採種点数	屈折率 (Y)	屈折率 (Y)	測定法
		屈折率 (n)	屈折率 (Y)					
3区20トレンチ東端地点	採種 7	1.498-1.501	1.510-1.511	27	3			1
	採種 15	1.498-1.501		31				1
	採種 19	1.499-1.501		30				1
	採種 23	1.499-1.501		32				1
	採種 27	1.498		5				1
2A区北端	採種 31	1.496-1.499	1.508	1, 1, 1				1
	採種 33	1.496-1.499		6				2
	採種 1	1.497-1.500		31				2
	採種 18	1.496-1.498	1.499	1, 3				2
14b層					1.700-1.701	16		2
採種デフラ	境界アマホヤ (K-Ah)	1.508-1.516				1.708-1.713		3
	粗悪燻煙 (Sz-S)	1.509-1.513				1.708-1.712		3
	始良Tn (AT)	1.498-1.501				1.728-1.734		3
	始良深池 (A-Fm)	1.499-1.502				1.720-1.729		3
	三新燻煙 (SUh)	1.496-1.498*						3
	阿蘇 4 (Aso-4)	1.506-1.510				1.699-1.701		3
	境界燻煙 (K-Tz)	1.497-1.499				1.705-1.709		3
	阿多 (Ata)	1.508-1.512				1.704-1.708		3
	阿蘇 3 (Aso-3)	1.512-1.540				1.702-1.705		3

採種デフラの屈折率は野田・新井 (2003)、*1: 屈折率は同じ産地(サイケル)の三新燻煙デフラ (SOD, 火砕岩製煉物)。
 屈折率測定法: 1. 直度法(2)屈折率測定法 (OMADT), 2. 直度法(1)屈折率測定法 (ODMS2000), 3. 直度一定型屈折率測定法 (新井, 1972, 1993)。

表 31 3区20トレンチ東端地点試料 33に含まれる火山ガラスの主成分化学組成

地点	試料	試料番号	SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	FeO	MnO	MgO	CaO	Na ₂ O	K ₂ O	P ₂ O ₅	Total	
3区20トレンチ東端地点	33	1	78.13	0.19	12.06	1.23	0.06	0.09	1.14	3.33	3.76	0.01	100	
		2	78.00	0.23	12.37	1.30	0.08	0.10	0.10	1.20	2.18	2.53	0.00	100
		3	78.33	0.08	12.35	1.24	0.11	0.13	0.13	1.18	2.14	2.43	0.00	100
		4	77.92	0.15	12.47	1.29	0.01	0.11	0.11	1.10	3.39	3.55	0.01	100
		5	77.57	0.17	12.37	1.37	0.00	0.12	0.12	1.11	3.46	3.62	0.01	100
		6	77.94	0.16	12.26	1.24	0.02	0.12	0.12	1.06	2.55	2.65	0.00	100
		7	78.11	0.13	12.43	1.31	0.07	0.11	0.11	1.10	3.04	3.65	0.05	100
		8	78.70	0.11	12.17	1.12	0.01	0.07	0.07	1.07	2.14	2.66	0.04	100
		9	78.23	0.09	12.50	0.79	0.00	0.09	0.09	0.77	3.31	4.15	0.07	100
		10	78.09	0.11	12.41	1.17	0.02	0.14	0.14	1.13	3.40	3.53	0.00	100
		11	78.14	0.13	12.65	1.17	0.07	0.12	0.12	1.06	3.31	3.36	0.00	100
		12	78.77	0.08	12.08	1.04	0.03	0.15	0.15	1.15	2.97	3.74	0.00	100
		平均	78.16	0.14	12.34	1.19	0.04	0.11	1.09	3.27	3.65	0.02	100	
		標準偏差	0.23	0.04	0.13	0.11	0.03	0.02	0.07	0.14	0.15	0.02	0.02	

表 32 2A 区北壁試料 1 に含まれる火山ガラスの主成分化学組成

地点	試料	粒子番号	SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	FeO	MnO	MgO	CaO	Na ₂ O	K ₂ O	P ₂ O ₅	Total
2A 区北壁	1	1	77.99	0.17	12.14	1.29	0.07	0.13	1.18	3.36	3.68	0.00	100
		2	77.47	0.06	12.89	1.00	0.03	0.14	1.21	3.49	3.73	0.01	100
		3	77.59	0.08	12.64	1.26	0.03	0.08	1.08	3.52	3.70	0.03	100
		4	77.65	0.16	12.92	1.10	0.01	0.10	1.05	3.38	3.99	0.04	100
		5	78.16	0.15	12.32	1.18	0.09	0.14	1.06	3.35	3.53	0.04	100
		6	77.87	0.12	12.50	1.15	0.07	0.12	1.12	3.18	3.81	0.07	100
		7	78.71	0.09	12.48	1.09	0.00	0.12	1.10	2.88	3.83	0.01	100
		8	77.53	0.18	12.55	1.33	0.04	0.12	1.09	3.81	3.81	0.00	100
		9	78.44	0.08	12.64	1.19	0.00	0.12	1.07	3.00	3.89	0.07	100
		10	78.03	0.14	12.75	1.25	0.03	0.12	1.10	2.92	3.67	0.00	100
		11	78.21	0.11	12.57	1.22	0.03	0.10	1.10	3.21	3.45	0.01	100
		12	78.11	0.16	12.49	1.31	0.03	0.09	1.13	3.11	3.58	0.00	100
	平均		77.98	0.12	12.57	1.20	0.04	0.11	1.11	3.20	3.65	0.02	100
	標準偏差		0.30	0.03	0.16	0.08	0.02	0.01	0.03	0.21	0.12	0.02	0.02

表 33 地蔵平遺跡試料と指標テフラに含まれる火山ガラスの主成分化学組成

地点・テフラ	試料	SiO ₂	TiO ₂	Al ₂ O ₃	FeO	MnO	MgO	CaO	Na ₂ O	K ₂ O	P ₂ O ₅	文様
3 区 20 トレンチ・東壁地点	33	78.16	0.14	12.34	1.19	0.04	0.11	1.09	3.27	3.65	0.02	本報告
2A 区北壁	1	77.96	0.12	12.37	1.20	0.04	0.11	1.11	3.20	3.65	0.02	本報告
鬼界アキホヤ (K-Ah)		75.00	0.53	13.00	2.50	0.07	0.90	2.00	3.60	2.90		町田・新井 (1992)
始良 Tn (AT)		78.40	0.13	12.20	1.20	0.04	0.14	1.10	3.30	3.40		町田・新井 (1992)
三瓶遺跡 (Su n)		77.49	0.03	13.26	0.41	0.06	0.06	0.55	3.83	4.24	0.05	町田・新井 (1992)
阿蘇 4 (Aso-4)		72.70	0.43	14.90	1.60	0.10	0.40	1.20	4.60	4.20		町田・新井 (1992)
鬼界遺跡 (K-Ti)		79.07	0.24	12.04	1.07	0.04	0.20	1.06	3.01	3.26		町田・新井 (1992)
阿蘇 (Aso)		73.93	0.40	13.83	2.06	0.00	0.70	1.63	4.09	3.16		町田・新井 (1992)
阿蘇 3 (Aso-3)		70.61	0.68	15.13	2.37	0.13	0.68	1.85	4.51	4.05		町田・新井 (1992)

数字に括弧

3 地蔵平遺跡出土石器石材の産地同定

佐賀大学 文化教育学部 角縁 進

本遺跡出土の黒曜石 26 点、サヌカイト 15 点について、蛍光 X 線分析による産地同定をおこなった。分析は佐賀大学文化教育学部の波長分散型蛍光 X 線分析装置 (RIGAKU: ZSX Primus II) を用い、Rh 管球で管電流と管電圧は 50kV - 60mA、サンプルスピンの条件で、測定資料は ϕ 10mm の Y 型マスクでサンプルホルダーに固定し、X 線ビーム径を 10mm に絞り、真空中でなるべく平坦な面の測定をおこなった。

従来、石器の非破壊蛍光 X 線分析では絶対値の測定が不可能であったため、測定結果はある元素との強度比（例えば Fe/K など）で表されることが多かった。今回はファンダメンタルパラメーター法 (FP 法) を用いて、化学組成の計算をおこなった。FP 法とは蛍光 X 線発生原理に基づき、測定条件とファンダメンタルパラメーター（物理定数）を用いて、蛍光 X 線強度を理論的に計算し、この理論強度を利用して測定強度から組成を求める方法である。FP 法による定量分析では、より分析精度を高めるために標準試料を用いて元素感度計数を求めてから未知試料の定量分析をおこなう必要がある。今回、標準試料としては、正確な化学組成を求めてある腰岳の黒曜石と、多久のサヌカイトを使用し、FP 法計算のマッチングライブラリーに登録した。測定前には、これらの標準試料で FP 法により求めた化学組成と、真の化学組成とが一致することを確認している。

表 34 にサヌカイトの分析結果を示す。サヌカイトは $\text{SiO}_2=64 \sim 73\text{wt}\%$ であり、デイサイトから流紋岩の組成を有する。遺物番号 11294 は他のサヌカイトと異なり、 $\text{Na}_2\text{O} > \text{K}_2\text{O}$ の特徴的な組成を示す。微量元素組成では、Ba, Rb, Sr, Zr を多く含む。資料によっては Zn を 100ppm 以上含むものもある。遺物番号 11294 は微量元素組成でも他のサヌカイト資料とは異なり、Rb に乏しく (116ppm)、Sr (436ppm) と Zr (297ppm) に富む。黒曜石と同様に、産地同定のために Rb-Sr-Zr で百分率を求めた。その結果を図 315 に示す。北部九州の代表的なサヌカイト産地の岩石の領域も図中には示してある。岡本（老松山）産と多久産のサヌカイトは明らかに領域が異なり、多久の方がより Zr% に富んだ特徴を有する。遺物番号 41164 は多久の領域よりわずかに Rb% に乏しい値を有することから、推定産地は多久? とした。

地質学のこれまでの研究で、針尾島産のサヌカイトは Sr 含有量が異なる 2 つのタイプが存在することがわかっている。針尾島には明星ノ鼻から西海橋にかけての海岸にサヌカイトが分布するが、明星ノ鼻付近が低 Sr タイプ、それより西側が高 Sr タイプである。遺物番号 11294 は針尾島の低 Sr タイプのサヌカイトの領域にあたることから、明星ノ鼻付近から採取されたものと考えられる。各サヌカイトの推定産地は表 34 に記した。

表 35 に黒曜石の分析結果を示す。遺物番号 23169 はやや SiO_2 含有量が乏しいが、その他の黒曜石はいずれも SiO_2 含有量が 70wt% 以上の流紋岩であり、 Na_2O や K_2O に富んだ組成を有する。微量元素組成では、Ba, Rb, Sr, Zr を多く含む。産地の同定のために、Rb-Sr-Zr で百分率を求めた。その結果を図 316 に示す。本遺跡から出土した黒曜石は、大きく 5 つのグループに区分できる。あらかじめ様々な産地の黒曜石を測定し、その化学組成の領域も図 315 に示してある。遺物番号 40601 は各領域から外れ、腰岳の黒曜石に近いが、やや Sr% に乏しい。そのため産地の推定は腰岳? とした。その他の黒曜石資料は、腰岳産、針尾島産、針尾島（牛ノ岳）産、小国産、椎葉川産の領域内にプロットされることから、産地が同定される。表 35 に推定産地を記載してある。

表34 遺跡出土サヌカイト資料の蛍光X線分析値

地区名	1	1	1	1	1	1	2A	2A	2A
遺物番号	10251	11294	13920	2700	5786	6784	22144	22780	23557
SiO ₂ (wt%)	67.78	64.17	67.47	66.58	69.69	68.86	66.25	67.33	67.69
TiO ₂	0.83	1.20	0.90	0.90	0.99	1.19	1.02	0.82	1.10
Al ₂ O ₃	14.41	15.28	15.10	15.35	13.31	12.17	15.97	14.62	14.52
Fe ₂ O ₃	5.02	6.89	4.97	5.37	4.71	6.48	5.08	5.15	5.31
MnO	0.06	0.10	0.07	0.07	0.04	0.07	0.07	0.07	0.07
MgO	0.49	0.40	0.34	0.79	0.24	0.74	0.57	0.46	0.53
CaO	3.12	2.57	2.93	3.06	2.13	2.13	2.52	3.29	2.36
Na ₂ O	2.73	5.24	2.83	2.75	2.85	2.48	2.90	3.19	3.03
K ₂ O	4.89	3.84	4.75	4.33	5.41	5.08	4.93	4.51	4.74
P ₂ O ₅	0.11	0.08	0.13	0.18	0.09	0.09	0.16	0.12	0.12
Total	99.44	99.76	99.49	99.38	99.45	99.28	99.47	99.57	99.48
Ba (ppm)	375	495	314	387	310	530	428	384	317
Ca	39	24	41	27	53	45	30	0	25
Mb	36	18	27	34	47	40	49	33	41
Pb	0	22	0	21	0	0	25	22	0
Rb	194	116	161	164	198	219	205	155	162
Sr	293	436	277	285	292	295	286	269	304
Zn	98	116	107	115	72	132	105	80	76
Zr	114	297	100	102	154	126	151	91	138
Rb%	32.3	13.7	29.9	29.8	30.7	34.3	32.0	30.1	26.8
Sr%	48.7	51.4	51.5	51.7	45.4	46.0	44.5	52.3	50.3
Zr%	19.0	34.9	18.6	18.5	23.9	19.7	23.6	17.6	22.9
推定産地	同本	奈良	同本	同本	多久	同本	多久	同本	多久

地区名	3	3	3	3	3	3
遺物番号	34290	40117	41164	44090	44905	48096
SiO ₂ (wt%)	69.12	68.74	73.13	67.69	64.29	69.27
TiO ₂	0.75	0.85	0.30	0.85	0.96	0.73
Al ₂ O ₃	14.09	13.12	13.94	15.28	17.40	13.32
Fe ₂ O ₃	4.44	5.22	2.24	4.55	5.65	5.20
MnO	0.04	0.07	0.10	0.06	0.07	0.08
MgO	0.32	0.67	0.68	0.53	1.16	0.77
CaO	2.70	3.10	1.57	2.68	3.02	2.59
Na ₂ O	3.49	3.09	3.29	3.25	2.19	3.10
K ₂ O	4.51	4.39	4.04	4.51	4.43	4.39
P ₂ O ₅	0.07	0.13	0.11	0.12	0.20	0.08
Total	99.54	99.36	99.40	99.51	99.38	99.53
Ba (ppm)	298	394	467	349	343	381
Ca	34	35	0	28	32	24
Mb	31	29	14	44	34	33
Pb	0	0	0	0	20	20
Rb	171	149	121	172	171	167
Sr	286	268	302	295	274	222
Zn	68	79	71	86	99	101
Zr	131	94	126	137	96	112
Rb%	29.1	29.1	22.0	28.4	31.6	33.3
Sr%	48.7	52.4	55.0	48.8	50.7	44.3
Zr%	22.3	18.4	23.0	22.8	17.8	22.4
推定産地	多久	同本	多久?	多久	同本	多久

表 35 遺跡出土黒曜石資料の蛍光 X 線分析値

地区名	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2A
遺物番号等	10354	10481	12586	13793	15113	196	4718	5036	5309	7074	866	22550	22380
SiO ₂ (wt%)	75.46	74.01	75.37	75.61	73.53	7.495	74.48	72.75	75.79	73.51	76.06	75.50	74.91
TiO ₂	0.07	0.06	0.10	0.04	0.07	0.04	0.07	0.09	0.03	0.10	0.03	0.12	0.05
Al ₂ O ₃	13.52	14.40	12.71	13.46	15.36	1.425	13.49	15.93	13.18	15.06	13.21	13.24	14.07
Fe ₂ O ₃	1.10	1.28	1.35	1.09	1.27	1.16	1.30	1.31	1.17	1.42	1.15	1.17	1.21
MnO	0.03	0.06	0.03	0.05	0.06	0.05	0.04	0.07	0.05	0.05	0.05	0.07	0.05
MgO	0.07	0.14	0.00	0.08	0.20	0.14	0.10	0.35	0.08	0.28	0.05	0.14	0.04
CaO	0.65	1.08	0.70	0.60	1.07	0.63	0.69	1.09	0.60	0.68	0.62	0.84	0.64
Na ₂ O	3.83	4.62	4.36	4.27	4.11	3.90	4.10	3.98	4.30	3.56	4.04	4.42	3.61
K ₂ O	4.85	4.11	5.03	4.47	3.93	4.47	5.26	3.95	4.48	4.74	4.46	4.15	4.99
FeO _x	0.02	0.04	0.01	0.03	0.06	0.05	0.02	0.08	0.03	0.06	0.02	0.02	0.04
Total	99.59	99.71	99.64	99.70	99.65	99.63	99.53	99.61	99.70	99.46	99.70	99.66	99.60
Ba (ppm)	368	394	359	191	317	178	359	387	163	390	189	467	196
Ca	21	0	17	18	0	16	0	0	24	21	25	16	25
Nb	13	16	0	14	18	21	10	13	15	17	17	12	19
Pb	15	14	21	15	19	24	23	19	15	0	14	0	18
Rb	168	157	191	174	139	188	205	153	188	165	190	127	210
Sr	64	217	69	44	200	46	60	210	49	81	47	133	47
Zn	37	46	44	43	30	56	46	45	44	53	45	80	36
Zr	105	59	131	67	52	64	116	61	74	100	62	107	69
Rb%	51.3	36.4	48.8	61.3	35.5	63.1	53.9	36.1	60.6	47.7	63.5	34.5	64.4
Sr%	16.6	50.0	17.6	15.3	51.2	15.5	15.7	49.6	15.7	23.3	15.7	36.3	14.4
Zr%	32.0	13.6	33.6	23.4	13.3	21.4	30.4	143	23.6	29.0	20.8	29.2	21.2
推定産地	針尾島	榑栗川	針尾島	奥岳	榑栗川	奥岳	針尾島	榑栗川	奥岳	針尾島	奥岳	小田	奥岳

地区名	2A	2A	2A	2A	3	3	3	3	3	3	3	3	3
遺物番号等	21227	22548	23169	23319	19 奥表採 20090625	19 奥面 3層 20811	36150	40601	42664	42846	47495	47705	47990
SiO ₂ (wt%)	73.07	70.40	61.04	74.00	73.42	73.24	72.56	76.58	75.33	76.00	70.89	72.65	75.08
TiO ₂	0.09	0.22	0.31	0.13	0.15	0.09	0.09	0.05	0.07	0.03	0.16	0.11	0.06
Al ₂ O ₃	15.44	16.83	26.69	13.91	14.41	14.56	16.37	12.93	13.55	13.29	15.64	15.71	14.08
Fe ₂ O ₃	1.49	2.10	2.99	1.63	1.79	1.66	1.43	0.89	1.20	1.09	2.73	1.71	1.16
MnO	0.05	0.07	0.07	0.04	0.07	0.08	0.06	0.03	0.03	0.05	0.08	0.06	0.06
MgO	0.34	0.23	1.19	0.13	0.18	0.27	0.42	0.06	0.09	0.08	0.32	0.33	0.12
CaO	0.74	1.67	0.77	0.78	1.39	1.06	1.01	0.53	0.64	0.57	1.08	0.88	1.02
Na ₂ O	3.86	3.70	1.86	3.97	4.23	3.66	3.42	3.91	3.91	4.19	3.66	3.85	4.18
K ₂ O	4.40	4.33	4.15	4.99	3.98	4.79	4.07	4.62	4.79	4.36	5.08	4.25	3.87
FeO _x	0.06	0.06	0.33	0.03	0.05	0.06	0.07	0.02	0.03	0.02	0.06	0.05	0.03
Total	99.53	99.61	99.39	99.60	99.67	99.46	99.52	99.62	99.62	99.68	99.38	99.59	99.65
Ba (ppm)	327	413	265	340	419	450	403	204	343	150	632	324	403
Ca	21	0	24	27	14	24	0	0	15	25	25	17	16
Nb	13	16	28	13	17	16	16	8	10	18	25	17	10
Pb	19	17	29	23	15	27	16	19	24	27	0	16	17
Rb	154	159	262	197	141	170	151	163	171	182	232	146	137
Sr	84	247	57	86	204	253	220	21	47	50	189	119	188
Zn	49	53	65	53	46	44	39	39	44	44	65	45	31
Zr	116	62	91	154	61	61	63	70	100	61	234	135	56
Rb%	49.4	34.0	63.9	45.1	34.6	35.1	34.7	64.2	53.6	62.0	35.4	36.4	35.9
Sr%	23.8	52.8	13.9	19.7	50.2	52.3	50.7	8.2	14.8	17.0	28.8	29.8	49.3
Zr%	32.7	13.3	22.2	35.2	15.1	12.7	14.5	27.6	31.5	20.9	35.8	33.8	14.8
推定産地	針尾島	榑栗川	奥岳	針尾島	榑栗川	榑栗川	榑栗川	奥岳?	針尾島	奥岳	針尾島 (牛ノ岳)	針尾島 (牛ノ岳)	榑栗川

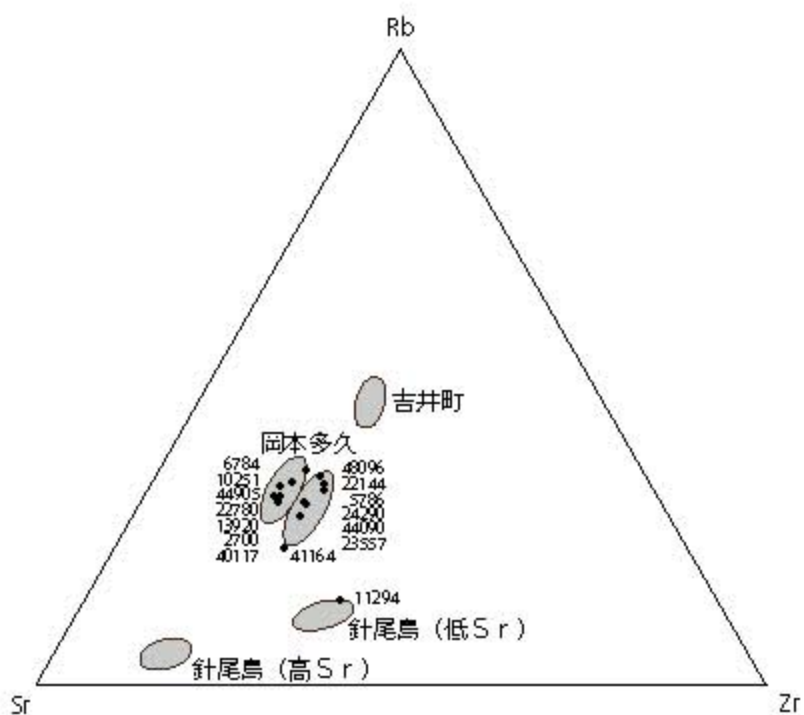


図 315 サヌカイトの Rb-Sr-Zr 図

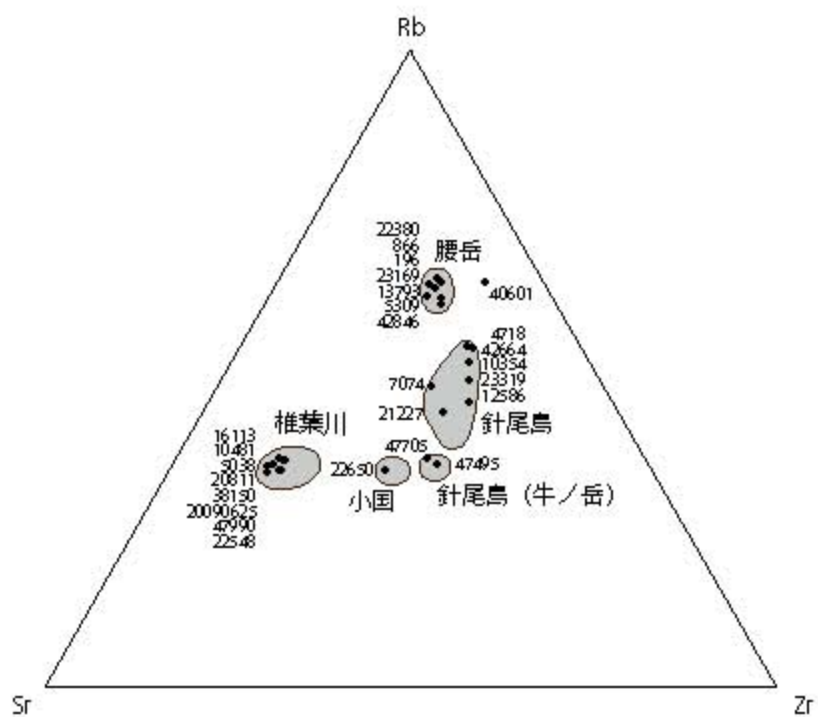


図 316 黒曜石の Rb-Sr-Zr 図

4 地蔵平遺跡出土旧石器時代資料の放射性炭素年代測定

パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ

伊藤茂・尾崎大真・丹生越子・廣田正史・山形秀樹・小林紘一

Zaur Lomtadze・Ineza Jorjoliani・中村賢太郎

1) はじめに

佐賀県佐賀市富士町に位置する地蔵平遺跡より検出された試料について、加速器質量分析法（AMS法）による放射性炭素年代測定を行った。

2) 試料と方法

測定試料の情報、調製データは表 36 のとおりである。

表 36 測定試料および処理

測定番号	調製データ	試料データ	処理
PLD-18734	試料 No. 1 層位区: 1 遺構: SX1003 層位: 9a 層 その他: AT 直上	試料の種類: 炭化材 試料の性状: 部位不明 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・脱洗浄 (塩酸: 1.2N, 水酸化ナトリウム: 1N, 塩酸: 1.2N) 乾燥炉の処理: 900°C 5h 焼
PLD-18735	試料 No. 2 層位区: 1 遺構: SX1004 層位: 9a 層 その他: AT 直上	試料の種類: 炭化材 試料の性状: 部位不明 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・脱洗浄 (塩酸: 1.2N, 水酸化ナトリウム: 1N, 塩酸: 1.2N) 乾燥炉の処理: 900°C 5h 焼
PLD-18736	試料 No. 3 層位区: 1 遺構: SX1005 層位: 9a 層 その他: AT 直上	試料の種類: 炭化材 試料の性状: 部位不明 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・脱洗浄 (塩酸: 1.2N, 水酸化ナトリウム: 1N, 塩酸: 1.2N) 乾燥炉の処理: 900°C 5h 焼
PLD-18737	試料 No. 4 層位区: 1 遺構: SX1006 層位: 9a 層 その他: AT 直上	試料の種類: 炭化材 試料の性状: 部位不明 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・脱洗浄 (塩酸: 1.2N, 水酸化ナトリウム: 1N, 塩酸: 1.2N) 乾燥炉の処理: 900°C 5h 焼
PLD-18738	試料 No. 5 層位区: 1 遺構: SX1009 層位: 9e 層 その他: AT 下	試料の種類: 炭化材 試料の性状: 部位不明 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・脱洗浄 (塩酸: 1.2N, 水酸化ナトリウム: 1N, 塩酸: 1.2N) 乾燥炉の処理: 900°C 5h 焼
PLD-18739	試料 No. 6 層位区: 1 位置: SU7-S3 層位: 9b 層 その他: AT	試料の種類: 炭化材 試料の性状: 部位不明 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・脱洗浄 (塩酸: 1.2N, 水酸化ナトリウム: 1N, 塩酸: 1.2N) 乾燥炉の処理: 900°C 5h 焼
PLD-18740	試料 No. 7 層位区: 1.1 位置: SU7-S2 層位: 9b 層 その他: AT	試料の種類: 炭化材 試料の性状: 部位不明 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・脱洗浄 (塩酸: 1.2N, 水酸化ナトリウム: 1N, 塩酸: 1.2N) 乾燥炉の処理: 900°C 5h 焼
PLD-18741	試料 No. 8 層位区: 1 位置: SU7-S4 層位: 9b 層 その他: AT	試料の種類: 炭化材 試料の性状: 部位不明 状態: dry	超音波洗浄 酸・アルカリ・脱洗浄 (塩酸: 1.2N, 水酸化ナトリウム: 1N, 塩酸: 1.2N) 乾燥炉の処理: 900°C 5h 焼

試料は始良 Tn テフラ (AT) を含む層およびその上下の層準から採取された炭化材 8 点である。AT 下位の 9e 層から 1 点 (試料 No.5: PLD-18738)、AT を含む 9b 層から 3 点 (試料 No.6 ~ 8: PLD-18739 ~ 18741)、AT 直上の 9a 層から 4 点 (試料 No.1 ~ 4: PLD-18734 ~ 18737) が採取された。

試料は調製後、加速器質量分析計（パレオ・ラボ、コンパクト AMS：NEC 製 1.5SDH）を用いて測定した。得られた ^{14}C 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、 ^{14}C 年代、暦年代を算出した。

3) 結果

表 37 に、同位体分別効果の補正に用いる炭素同位体比 ($\delta^{13}\text{C}$)、同位体分別効果の補正を行って暦年較正に用いた年代値と較正によって得られた年代範囲、慣用に従って年代値と誤差を丸めて表示した ^{14}C 年代を、図 317 に層序と暦年較正結果を、図 318 に各試料の暦年較正結果をそれぞれ示す。暦年較正に用いた年代値は下 1 桁を丸めていない値であり、今後暦年較正曲線が更新された際にこの年代値を用いて暦年較正を行うために記載した。

^{14}C 年代は AD1950 年を基点にして何年前かを示した年代である。 ^{14}C 年代 (yrBP) の算出には、 ^{14}C の半減期として Libby の半減期 5568 年を使用した。また、付記した ^{14}C 年代誤差 ($\pm 1\sigma$) は、測定の統計誤差、標準偏差等に基づいて算出され、試料の ^{14}C 年代がその ^{14}C 年代誤差内に入る確率が 68.2%であることを示す。

なお、暦年較正の詳細は以下のとおりである。

暦年較正とは、大気中の ^{14}C 濃度が一定で半減期が 5568 年として算出された ^{14}C 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の ^{14}C 濃度の変動、および半減期の違い (^{14}C の半減期 5730 ± 40 年) を較正して、より実際の年代値に近いものを算出することである。

^{14}C 年代の暦年較正には OxCal4.1 (較正曲線データ：IntCal09) を使用した。なお、 1σ 暦年代範囲は、OxCal の確率法を使用して算出された ^{14}C 年代誤差に相当する 68.2% 信頼限界の暦年代範囲であり、同様に 2σ 暦年代範囲は 95.4% 信頼限界の暦年代範囲である。カッコ内の百分率の値は、その範囲内に暦年代が入る確率を意味する。グラフ中の縦軸上の曲線は ^{14}C 年代の確率分布を示し、二重曲線は暦年較正曲線を示す。

表 37 放射性炭素年代測定および暦年較正の結果

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	暦年較正年代 (cal BP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代 (yrBP $\pm 1\sigma$)	^{14}C 年代を暦年代に較正した年代範囲	
				1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
PLD-18734 (試料 No. 1)	-25.42 \pm 0.16	24288 \pm 72	24290 \pm 70	29388-28947 cal BP (68.2%)	29461-28617 cal BP (95.4%)
PLD-18735 (試料 No. 2)	-25.69 \pm 0.12	24607 \pm 75	24610 \pm 80	29645-29361 cal BP (68.2%)	29686-29215 cal BP (95.4%)
PLD-18736 (試料 No. 3)	-23.67 \pm 0.15	24660 \pm 77	24660 \pm 80	29676-29386 cal BP (68.2%)	29775-29280 cal BP (95.4%)
PLD-18737 (試料 No. 4)	-25.46 \pm 0.17	24756 \pm 77	24760 \pm 80	29675-29426 cal BP (68.2%)	30031-29347 cal BP (95.4%)
PLD-18738 (試料 No. 5)	-23.60 \pm 0.12	25295 \pm 82	25300 \pm 80	30351-30163 cal BP (69.3%) 30020-29783 cal BP (68.9%)	30401-29646 cal BP (95.4%)
PLD-18739 (試料 No. 6)	-25.01 \pm 0.12	25219 \pm 80	25220 \pm 80	30277-30136 cal BP (64.8%) 30079-29773 cal BP (63.4%)	30340-29618 cal BP (95.4%)
PLD-18740 (試料 No. 7)	-23.28 \pm 0.16	25418 \pm 83	25420 \pm 80	30444-30200 cal BP (68.2%)	30547-30166 cal BP (77.8%) 30045-29680 cal BP (17.6%)
PLD-18741 (試料 No. 8)	-22.42 \pm 0.17	24996 \pm 81	25000 \pm 80	30165-29926 cal BP (67.0%) 29805-29588 cal BP (61.2%)	30211-29526 cal BP (95.4%)

4) 考察

2σ 暦年代範囲 (確率 95.4%) に着目すると、AT 下位 9e 層の試料 No. 5 (PLD-18738) は 30401-29646 cal BP (95.4%)、AT を含む 9b 層の試料 No. 6 (PLD-18739) は 30340-29618 cal BP (95.4%)、試料 No. 7 (PLD-18740) は 30547-30166 cal BP (77.8%) および 30045-29680 cal BP (17.6%)、試料 No. 8 (PLD-18741) は 30211-

29526 cal BP (95.4%)、AT直上9a層の試料No. 1 (PLD-18734) は 29461-28617 cal BP (95.4%)、試料No. 2 (PLD-18735) は 29686-29215 cal BP (95.4%)、試料No. 3 (PLD-18736) は 29775-29250 cal BP (95.4%)、試料No. 4 (PLD-18737) は 30031-29347 cal BP (95.4%)を示した。

図 3167 に示すとおり、層序と暦年較正結果の新旧に矛盾は見られない。

また、ATの¹⁴C年代については、辻ほか（2000）や町田・新井（2003）において、AMS法による値が24～25 ka BPにまとまる傾向が指摘されている。24～25 ka BPの¹⁴C年代をIntCal09で暦年較正すると28.5～30 ka cal BPである。

今回、ATを含む層から得られた試料No. 6～8 (PLD-18739～18741) は、¹⁴C年代がおおよそ25～25.5 ka BP、暦年較正結果がおおよそ29.5～30.5 ka cal BPの範囲で、従来得られているATの¹⁴C年代およびその暦年較正結果とほぼ一致した。

参考文献

Bronk Ramsey, C. (2009) Bayesian Analysis of Radiocarbon dates. Radiocarbon, 51(1), 337-360.
 町田洋・新井嘉夫 (2003) 新編火山灰アトラス, 336p, 東京大学出版会.
 中村俊夫 (2000) 放射性炭素年代測定法の基礎. 日本先史時代の¹⁴C年代編集委員会編「日本先史時代の¹⁴C年代」: 3-20, 日本第四紀学会.
 Reimer, P.J., Bard, M.G.L., Bard, E., Bayliss, A., Beck, J.W., Blackwell, P.G., Bronk Ramsey, C., Buck, C.E., Burr, G.S., Edwards, R.L., Friedrich, M., Grootes, P.M., Guilderson, T.P., Hajdas, I., Heaton, T.J., Hogg, A.G., Hughen, K.A., Kaiser, K.F., Kromer, B., McCormac, E.G., Manning, S.W., Reimer, R.W., Richards, D.A., Southon, J.R., Talamo, S., Turney, C.S.M., van der Plicht, J. and Weyhenmeyer C.E. (2009) IntCal09 and Marine09 Radiocarbon Age Calibration Curves, 0-50,000 Years cal BP. Radiocarbon, 51, 1111-1150.
 辻誠一郎・奥野亮・福島大輔 (2000) テフラの放射性炭素年代. 日本先史時代の¹⁴C年代編集委員会編「日本先史時代の¹⁴C年代」: 41-58, 日本第四紀学会.

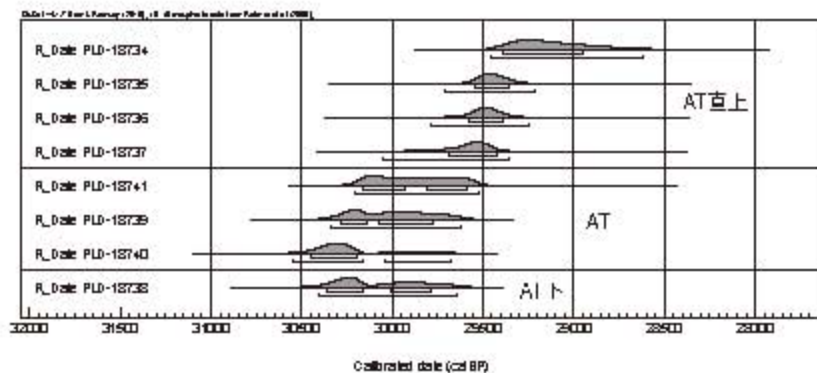


図 317 層序暦年較正結果

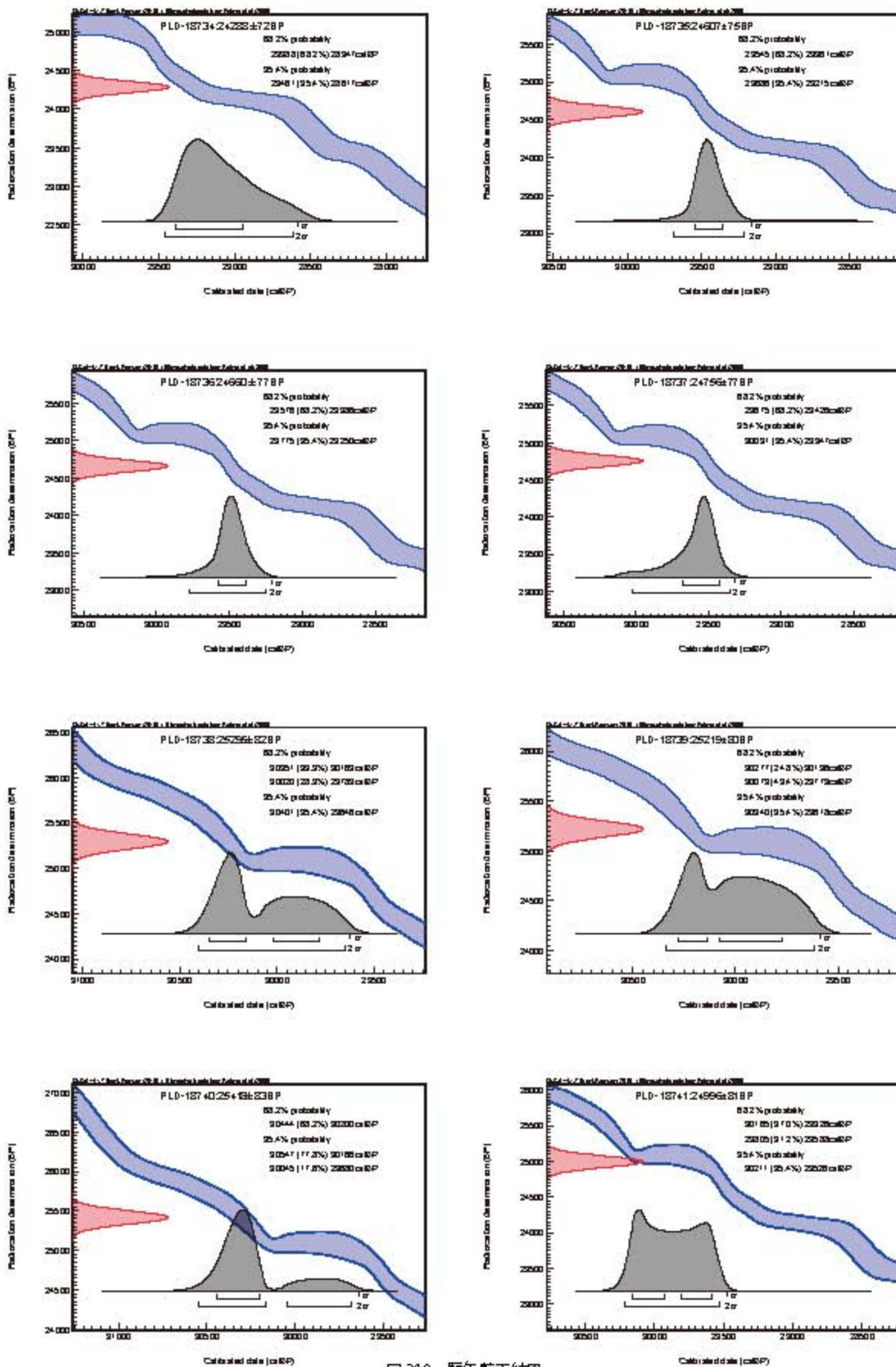


圖 318 曆年較正結果

報告書抄録

ふりがな	じぞうだいらいせき							
書名	地蔵平遺跡							
別書名	高瀬川ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	8							
シリーズ名	佐賀県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第198集							
編著者名	市田佳奈子 今泉好孝 梶山裕史 白木原直 吉田大輔 杉原敏之 角津進 古環境研究所 火山灰考古学研究所 パレオ・ラボ AMS年代測定グループ							
発行機関	佐賀県教育委員会							
所在地	〒840-8570 佐賀市城内一丁目1番59号							
発行年月日	平成24(西暦2012)年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °' "	東経 °' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
じぞうだいらいせき 地蔵平遺跡	まがしよじょうの跡地跡地の 佐賀市富士町大字大野	412045	-	33°24'51" 世界測地系 (33°24'51")	130°12'10" 世界測地系 (130°12'11")	20060926 ～ 20100623	20,000	高瀬川ダム建設に伴う事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
地蔵平遺跡	集落 遺物散布地	旧石器		深溝 土坑 石器ブロック		石器		ATの一次堆積層
		縄文		集石遺構 土坑		石器 土器		

佐賀県文化財調査報告書第 196 集

地蔵平遺跡（本文編）

— 嘉瀬川ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 8 —

平成 24 年（2012）年 3 月 31 日

発行 佐賀県教育委員会

〒840-8570 佐賀県佐賀市城内 1 丁目 1 番 59 号

印刷 (株)佐賀印刷社

〒849-0921 佐賀市高木町西 6 丁目 11 番 7 号

